HITACHI
Inspire the Next

2020.10 > 2021.3

研修サービスガイド

COURSE

日立製品 講座
JP1
uCosminexus Application Server
HiRDB　OpenTP1
VOS3　XDM
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ　Pentaho

デジタルトランスフォーメーション 講座
DXマインド・プロセス・マネジメント
課題分析(何をなすべきかを着想する)
仮説構築(ビジネスモデルをデザインする)
プロトタイピングと価値検証(共通)
プロトタイピングと価値検証(データ環境構築)
プロトタイピングと価値検証(分析モデル構築)

RPA 講座

クラウド/サーバ仮想化 講座

ITサービスマネジメント 講座

システム基盤 講座
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux　Microsoft　ネットワーク
ハードウェア　セキュリティ　データベース

IT戦略・IS企画 講座

システム開発 講座
要件定義/設計　プログラミング

情報処理技術者試験対策 講座

ITリテラシ 講座

プロジェクトマネジメント 講座

コンプライアンス 講座

ビジネス/ヒューマン 講座

グローバル 講座

OT(製造・生産技術) 講座

Topics 1 社会イノベーション事業を
加速するためのデジタルトランスフォーメーション研修体系
－デジタル人財に必要なものとは?－

Topics 2 RPAトレーニングの拡充!
Automation Anywhere(A2019)、Blue Prismコースのご案内

Topics 3 メガクラウドを使いこなそう!

Topics 4 ITIL®4ファンデーションコース日本語版リリースのご案内

Topics 5 新入社員の育成に、オールインワンパッケージが新登場!
－<eラーニング>ITスキル基礎パッケージ－

株式会社 日立製作所
株式会社 日立アカデミー

https://www.hitachi-ac.co.jp/
日立アカデミーWebサイト

日立講習会

はじめに

平素は、株式会社 日立製作所および人財育成サービス会社である株式会社 日立アカデミーの各種研修サービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。

日立グループはいま、さまざまな事業領域のお客さまとともに、次の社会に向けて新しい価値を創出する「デジタルイノベーション」に取り組んでいます。

当社は、お客さまやパートナーとの協創による社会イノベーション事業に対応する人財の育成を強化し、各種研修体系を整備しております。
これらの研修体系に基づき、本ガイドでご案内する研修サービス（以下、「日立講習会」といいます。）にてお客さまの人財育成をご支援いたします。

本ガイドは、2020年10月から2021年3月までの研修サービスをご紹介いたします。人財の可能性と価値を最大限に引き出すために、豊富なメニューをご用意しております。

お客さまの人財育成に本研修サービスをご活用いただければ幸いでございます。

2020年7月

株式会社 日立製作所
株式会社 日立アカデミー

研修サービスに関するお問い合わせ先：
株式会社 日立アカデミー

東京地区	TEL 03-5471-8962	FAX 03-5471-2564
大阪地区	TEL 06-4797-7360	FAX 06-4797-7361
名古屋地区	TEL 052-269-8940	FAX 052-261-8276
広島地区	TEL 082-546-6172	FAX 082-546-6173
福岡地区	TEL 092-844-7522	FAX 092-844-7580

日立講習会開催時間のお知らせ
※当社 Web サイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
正式には、ご受講前に送付いたします「日立講習会受講ご案内」（メール、または受講券）をご確認ください。

CERTIFICATION JAMOTE ISO29990:2010 JMT-LS110001B 日立講習会 大森キャンパス開催
CSLS Certification Scheme for Learning Services-Japan 学習サービス認証スキーム ISO29990:2010

本ガイドに記載している内容および金額は、2020年6月時点のものであり、将来変更する場合があります。

CONTENTS

Topics

Topics 1 社会イノベーション事業を加速するためのデジタルトランスフォーメーション研修体系 —デジタル人財に必要なものとは?—
Topics 2 RPAトレーニングの拡充!Automation Anywhere（A2019）、Blue Prismコースのご案内
Topics 3 メガクラウドを使いこなそう!
Topics 4 ITIL®4ファンデーションコース日本語版リリースのご案内
Topics 5 新入社員の育成に、オールインワンパッケージが新登場!－<eラーニング>ITスキル基礎パッケージ－

1 体系的にIT技術修得を進めるための日立講習会コース活用例 12
2 開催コース／スケジュール一覧 18
3 講座別コースフロー／コースカリキュラム 54
4 研修会場 256
5 お申込方法 258
6 受講規約 260

※本ガイドは2020年6月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※集合研修の開催時間については、当社Webサイトでご確認ください。

本ガイドで紹介する研修サービスは、お客さまのご要望に合わせてカスタマイズできるオーダー研修サービスもございます。研修の実施だけでなく、研修企画、開発実施、アフターフォローまでワンストップでご提供も可能です。詳しくはお問い合わせください。

最新のコース開催情報・お薦めコースのご案内

https://www.hitachi-ac.co.jp/

日立アカデミーのWebサイトでは、最新のコース開催情報・お薦めコースを掲載しております。また、コースのお申し込みはWebサイトから行うことができますので、ぜひご活用ください。

コース最新情報 | お薦めコース | 臨時開催コース | 話題のコース | 人気コースランキング
講座別コース紹介（PDFファイル） | スキル標準対応研修コースマップ | iCD対応研修コースマップ

デジタルトランスフォーメーション

Topics 1

社会イノベーション事業を加速するためのデジタルトランスフォーメーション研修体系 ―デジタル人財に必要なものとは？―

今、あらゆる産業において、AI×データ、IoTの活用などにより、新たなビジネスやサービスが立ち上がり、事業構造の変革が起こっています。こうした変革は、デジタルトランスフォーメーション（DX）と呼ばれ、どの企業においても重点経営課題として議論されています。DXは過去に起きた技術トレンドとは異なり、ICTを活用した新たな社会であるSociety5.0を実現するための手段として注目されています。一般社団法人 日本経済団体連合会（以下 経団連）が発表した資料「Society5.0概要(※1)」には、「デジタル革新と多様な人々の想像・創造力の融合によって、社会の課題を解決し、価値を創造する社会」と定義されています。

（※1）経団連「Society5.0概要」http://www.keidanren.or.jp/policy/2018/095_gaiyo.pdf

［日立アカデミーが提供する研修の構造］

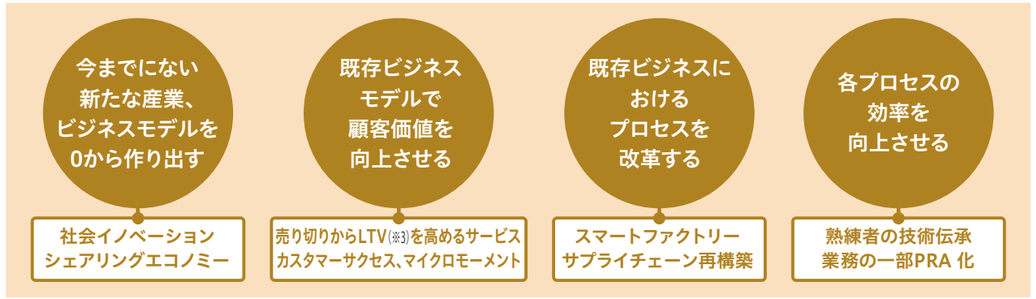
多くの企業においてDXは、実証実験段階から実行段階へ移行しつつあります。DXには、「現場視点でビジネスを考える」、「利用者にとってのデータによる価値を考える」、「価値を生み出すデータを集約する」の三つの視点が重要です。

DXを推進する現場やソリューションを提供する組織など、DXへの関わり方によって、重視するスキルが異なります。

当社では、日立グループ内の多くの有識者と連携し、各社がこれまで蓄えてきた知見と、連携を通じて得られた現場の取り組み、ノウハウを融合して、DX研修体系として継続的に整備し提供しています。

（※2）OT：Operational Technology

DXを推進する会社・組織が取り扱う課題はさまざまで、時間・空間を含めた異なるレイヤーで分解・構成できます。また、デジタル時代に合った個人・組織に変容させることも同時に必要となります。



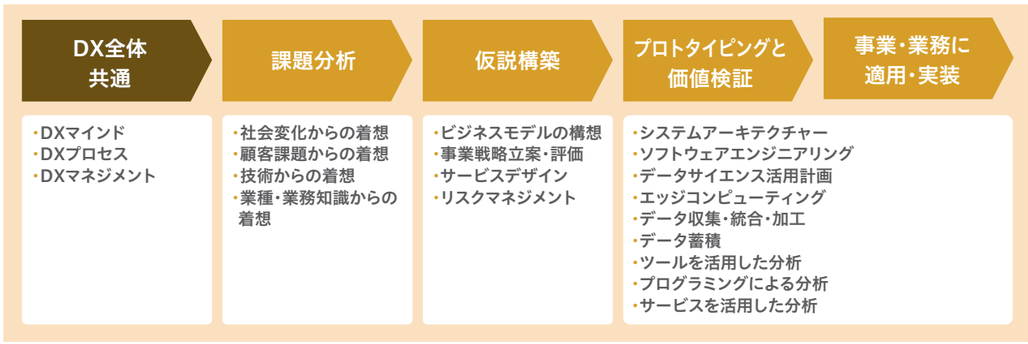
（※3）LTV：Life Time Value（顧客生涯価値）

［DXを推進する会社・組織が取り扱う課題の例］

いずれの課題に取り組む場合でも、取り扱う課題をデータで解いて、エコシステムを作りたいと想像することから始まります。その上で、業務、サービスなど、ビジネス（事業）としてどういう形になるか周囲の共感を得るような絵（ビッグピクチャ）を描き、データの利活用やデータ分析で解くビジネス課題として定義していきます。ある程度企画がまとまると、データの利活用やデータ分析に必要なデジタルデータを取得する、実際に分析、モデル化し、業務プロセスを変え、業務にモデルを組み込んでいくことで、DXは推進されます。

［DXの推進イメージ］

当社では、DXに必要なプロセス・タスクを整理・分類・体系化しています。また、こうしたDXの考え方やプロセスに沿って、必要な人財の育成・拡充をめざしています。



［DXのプロセスと各プロセスに必要な要素］

DX研修はLumada協創プロセス(※4)を軸に「課題分析」「仮説構築」「プロトタイピングと価値検証」をスコープにし、さらに「ビジネスデザイン」、「データサイエンス」、「テクノロジー」の観点でも整理した階層構造となっています。また、全体共通として、DXに必要なマインドセット、プロセス理解、マネジメントの領域を整理しています。

［DX研修体系］

NO.	第二階層	第三階層	ビジネスデザイン	データサイエンス	テクノロジー
1	DX全体共通（プロセス・マインド）	DXマインド	■	■	■
		DXプロセス	■	■	■
		DXマネジメント	■	■	■
2	課題分析（何をなすべきかを着想する）	社会変化からの着想	■	▨	
		顧客課題からの着想	■	▨	
		技術からの着想	■		▨
		業種・業務知識からの着想	■	▨	
3	仮説構築（顧客と日立それぞれのビジネスモデルをデザインする）	ビジネスモデルの構想	■	▨	
		事業戦略立案・評価	■	▨	
		サービスデザイン	■	▨	
		リスクマネジメント	■	▨	
4	プロトタイピングと価値検証（共通）	システムアーキテクチャ		▨	▨
		ソフトウェアエンジニアリング		▨	▨
		データサイエンス活用計画	▨	■	
5	プロトタイピングと価値検証（データ環境構築）	エッジコンピューティング		▨	▨
		データ収集・統合・加工		▨	▨
		データ蓄積		▨	▨
6	プロトタイピングと価値検証（分析モデル構築）	ツールを活用した分析		■	▨
		プログラミングによる分析		■	▨
		サービスを活用した分析		■	▨

■ 重要要素　▨ 参考要素

［DX実現に必要な共通スキル］

DX実現に必要なスキルは、解くべき課題を解ける状態にまで落とし込んで定義していくビジネスデザイン、データの力を解き放ち、課題解決に結びつけるデータサイエンス、課題解決のために必要な環境、機器などを設計・実装していくためのデジタルテクノロジーによって構成されています。この3要素はプロセスにおいて、必要の度合いは異なります。プロセス遂行上、コアとなる重要要素と参考となる要素に色分け、イメージしやすくしています。

（※4）Lumada協創プロセスについては右記のサイトをご参照ください。http://www.hitachi.co.jp/products/it/lumada/about/index.html

RPA

Topics 2

RPAトレーニングの拡充！ Automation Anywhere（A2019）、Blue Prismコースのご案内

働き方改革の取り組みの一つとしてRPA（Robotic Process Automation）は浸透しつつあり、多くの企業や組織でロボットによる業務自動化や業務時間の削減を推進しています。これは、RPAによって定型的な業務からの解放と本来めざすべきビジネスへシフトすることが想定できます。また、昨今はテレワークの導入が話題となっていますが、業務が効率よく進むことで、さらなる働き方への変化が求められる時代とも考えられます。

しかしながら、RPAを導入する現場では、「RPAのスキルを持つ人が少ない」「RPAの人財育成の体制が整っていない」といった声が挙がっており、取り組みにおける課題が生じています。この世間的なRPAのニーズと現場のギャップを埋めるためには人財育成が急務となってきます。

当社では、「Automation Anywhere」、「UiPath」、「BizRobo!」といった利用する製品に合わせて最適な学習ができるよう、数多くのコースを提供しています。新たに、「Blue Prism」、および「Automation Anywhere」の新製品である「Automation Anywhere Enterprise A2019」の対応コースをご提供します。

今後も製品動向、ニーズに合わせて、研修体系を拡充していくことで、RPAの導入を幅広くサポートしていきます。

こんな方におススメ！

RPAの基本から学習し、ロボット開発・実行方法を修得したい方
実務に直結するロボット開発のノウハウを修得したい方

RPAコース体系

各RPAの基本から応用に至る最適なコースをご用意しています。

Automation Anywhere

- Renewal RPJ007 1日 RPA入門－概説と操作体験（Automation Anywhere）－
- Renewal RPD002 3日 Automation Anywhere 認定RPAトレーニング（Mastering Bots：V11）
- New RPD003 3日 Automation Anywhere認定 RPAトレーニング（Mastering Bots：A2019）
- または
- RPJ005 0.5日 Automation Anywhere におけるロボット開発の勘所
- RPJ006 1日 IQ Botトレーニング －Automation Anywhere－

Blue Prism

- New RPJ008 2日 RPA入門 －概説と基本操作（Blue Prism）－

UiPath

- RPJ002 1日 UiPath公式速習プログラム入門 －基本操作ハンズオン－
- RPJ003 2日 UiPath公式速習プログラム実践 －業務プロセス定義書・ワークフロー開発－

BizRobo!

- RPJ004 1日 RPA入門－概説と操作演習（BizRobo!）

RPAコース紹介

Automation Anywhere Enterprise A2019

Automation Anywhere Enterprise A2019は、2019年にリリースされたAutomation Anywhere社の新製品です。Webブラウザを使用してロボットの開発・実行・管理が行うことができ、ロボット実行PCにクライアント製品をインストールする必要がないため、従来の製品であるAutomation Anywhere Enterprise V11と比較し導入がしやすくなっています。

Automation Anywhere Enterprise A2019対応コースのご案内です。

コースコード	コース名	日数	コース概要
RPD003	New Automation Anywhere認定 RPAトレーニング（Mastering Bots：A2019）	3日	Automation Anywhere Enterprise A2019を実際に使用することで、単純なものからやや複雑な業務を自動化するためのロボット開発方法について、マシン実習を通して修得します。

また、現在リリース中の次のコースをAutomation Anywhere Enterprise A2019対応に改訂いたします。なお、本コースはAutomation Anywhere Enterprise V11をお使いの方でもロボット開発のノウハウを修得できる内容となっております。

コースコード	コース名	日数	コース概要
RPJ007	Renewal RPA入門－概説と操作体験（Automation Anywhere）－	1日	RPAの基礎について学習し、RPA製品（Automation Anywhere Enterprise）によるロボット作成を体験します。

その他のAutomation Anywhere対応コースのご案内です。

コースコード	コース名	日数	コース概要
RPD002	Renewal Automation Anywhere認定 RPAトレーニング（Mastering Bots：V11） ※旧コース名：Mastering Bots: Design and Build an Advanced Digital Workforce	3日	Automation Anywhere Enterprise V11を実際に使用することで、単純なものからやや複雑な業務を自動化するためのロボット開発方法について、マシン実習を通して修得します。
RPJ006	IQ Botトレーニング －Automation Anywhere－	1日	Automation Anywhere EnterpriseおよびIQ Botを実際に使用することで、非構造データを構造化データに変換しボットにて登録する一連のプロセスについて、マシン実習を通して修得します。
RPJ005	Automation Anywhereにおける ロボット開発の勘所	0.5日	ロボットの安定稼働と品質をテーマに、ロボットの開発・管理・運用という観点でマニュアルでは紹介されないノウハウ（ロボット開発のコツ、安定稼働のための構成）を学習します。

Blue Prism

Blue Prismは、エンタープライズ向けRPAツールとして、拡張性、セキュリティ、コンプライアンスの各機能を備えたサーバー型RPAです。サーバーで大多数のロボットを一元管理することが可能であり、セキュリティが重要視される大手企業や金融機関への導入実績が豊富となっています。

コースコード	コース名	日数	コース概要
RPJ008	New RPA入門 －概説と基本操作（Blue Prism）－	2日	RRAツール「Blue Prism」の業務を自動化するための機能について、マシン実習（ロボット作成）を通して学習し、基本操作を修得します。

UiPath

UiPathは、PC上のさまざまなアプリ（Office、デスクトップアプリ、Webブラウザーなど）を自動化できます。ロボット開発時は、直観的な操作で容易にワークフローを開発・メンテナンスができるため、ユーザーフレンドリーな開発作業が可能です。

コースコード	コース名	日数	コース概要
RPJ002	UiPath公式速習プログラム入門 －基本操作ハンズオン－	1日	UiPath Studioの基本操作を学習し、UiPathの特徴であるセレクター、処理の制御方法を理解しUiPathと業務のRPA化につなげます。
RPJ003	UiPath公式速習プログラム実践 －業務プロセス定義書・ワークフロー開発－	2日	RPA開発までのフェーズごとに必要なことと、業務改善手法の基礎、業務可視化のための業務フロー図の作成を学習します。また、RPA開発においてコミュニケーションの要ともなる「業務プロセス定義書」の作成、活用方法を学習します。 次に、メンテナンス性が高く、効率的なワークフロー開発、Configファイルの概念を学習します。

BizRobo!

BizRobo!は、ソフトウェアロボット（Digital Labor）の導入・運用を支援するデジタルレイバープラットフォームであり、スモールスタート（BizRobo! Mini）、クラウド型（BizRobo! DX Cloud）、大規模（BizRobo! Basic）など自動化の規模にあわせて選べます。また、ユーザーフレンドリーな開発作業が可能です。

コースコード	コース名	日数	コース概要
RPJ004	RPA入門－概説と操作演習（BizRobo!）	1日	RPA（BizRobo!）の基礎について学習し、RPAツール（BizRobo!）によるロボット作成の演習を行います。

クラウド/
サーバ仮想化
Topics 3

メガクラウドを使いこなそう！

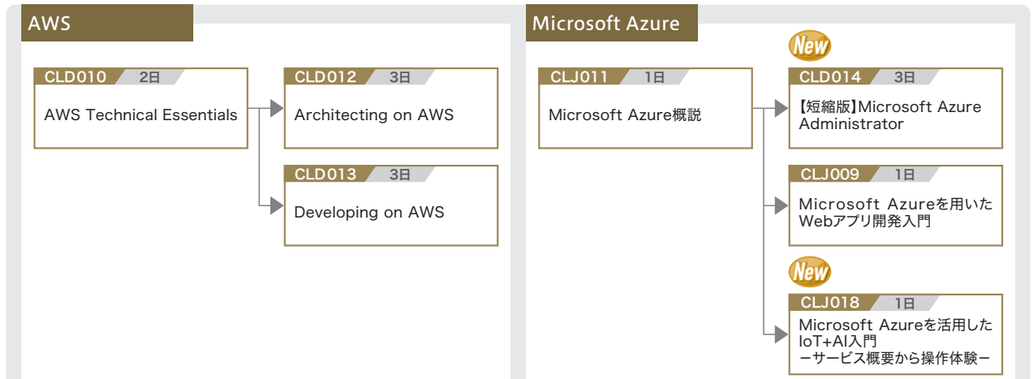
近年、クラウドサービスを利用する企業が右肩上がりに増えており、総務省が発表している「情報通信白書（令和元年版）(※1)」では、2018年にはクラウドサービスを一部でも利用している企業の割合は約6割に到達していることが報告されています。

この背景にはAWS（Amazon Web Services）、Azure（Microsoft Azure）などのメガクラウドサービスの急速な普及があります。これは、メガクラウドベンダー各社が先進的なクラウドサービスを安価に提供していることがその要因になりますが、現在ではクラウドコンピューティングの利点をフル活用してアプリケーションを構築・実行する「クラウドネイティブ」と呼ばれるアプローチが広まっており、クラウド技術を使いこなしていくことが重要視されています。このような中、企業がDXを推進するためには、IoTやAIなどのデジタル技術を駆使した新たなビジネスをクラウド基盤上にいかに素早く立ち上げていけるかが、鍵になっています。

そこで当社は、クラウド技術を使いこなしていただくため、メガクラウドベンダーのクラウド技術を取り扱うコースを提供しております。

（※1）情報通信白書令和元年版　https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/r01.html

メガクラウドベンダーのクラウド技術体系図



コースコード	コース名	日数	コース概要
CLD010	AWS Technical Essentials	2日	AWSの特徴やコアサービスを学習し、可用性の高いWebシステムを構築します。構築システムの性能監視とログの収集やバックアップなどを実施し、AWS上のシステムの基本的な運用管理を学習します。
CLD012	Architecting on AWS	3日	AWSサービスを使って、システムを設計／構築する方法を学習します。また、伸縮自在性、スケーラビリティ、セキュリティ、および高可用性のためのベストプラクティスと機能について学習します。
CLD013	Developing on AWS	3日	セキュアで信頼性が高く、スケーラブルなAWSベースのアプリケーションを設計、構築する方法を学習します。AWS コードライブラリ、SDK、IDE ツールキットの使い方も学習し、AWS プラットフォームでの効率的なコード開発とデプロイの方法を学習します。
CLJ011	Microsoft Azure概説	1日	Microsoft Azureの概要およびMicrosoft AzureのPaaS機能、IaaS機能について学習します。マシン実習によりMicrosoft AzureのPaaS、IaaSに対する理解を深めます。
CLD014	New【短縮版】Microsoft Azure Administrator	3日	Microsoft Azure Administrator試験に対応した、Microsoft AzureのIaaSサービス、IDaaSサービスについて基礎的な内容を学習します
CLJ009	Microsoft Azureを用いたWebアプリ開発入門	1日	Microsoft AzureのWeb Appsやクラウドサービス上に、Web アプリを開発、配置する方法を、マシン実習を通して学習します。また、Webアプリのデータを SQLデータベースやストレージに保存する方法も学習します。
CLJ018	New Microsoft Azureを活用したIoT+AI入門 -サービス概要から操作体験-	1日	Azure IoTを利用したIoTデバイスからAzureへのデータ送信の概要とAzure AIを用いたデータ分析の概要について、マシン実習を通して学習します。

ITサービス
マネジメント
Topics 4

ITIL®4ファンデーションコース 日本語版リリースのご案内

ITIL®は2019年2月に新バージョンITIL®4をリリースしました。ITIL®v3（2011edition）は「サービスプロバイダが顧客に価値を提供する」一方的な観点でしたが、ITIL®4は「サービスプロバイダと顧客が価値を協創する」観点に変化しています。またITIL®4の認定スキームも大きく変化しています。当社では、ITIL®4対応コースの第1弾として、2020年7月から用語や概念を理解できるファンデーションコースを開催し、皆さまにご提供しています。

- 各ストリームで対応するモジュールに合格することで取得可能
- ITIL®マネージングプロフェッショナルまたはITIL®Strategic Leadershipを取得するために必須のモジュール
- ITIL®マネージングプロフェッショナルおよびITIL®Strategic Leadershipで共通しているモジュール
- ITIL®V3にて17クレジット以上保有者またはエキスパートがITIL® MPに移行するためのモジュール

Based upon AXELOS® ITIL® materials. Material is used under license from AXELOS Limited. All rights reserved.
出典：株式会社ITプレナーズジャパン・アジアパシフィック　https://www.itpreneurs.co.jp/itil-4/#p2

こんな方におススメ！

- サービスマネジメント分野において第一歩を踏み出したい
- 旧来のITIL®や類似したベストプラクティスについて知識を有しており、ITIL®4について新たに学びたい
- ITIL®ファンデーション資格を取得したい

コース概要

ITIL®4

コースコード	コース名	日数	コース概要
ITJ013	New（PDU）ITIL®4ファンデーション（認定試験付）	3日	ITIL®4は、ITサービスマネジメントのベストプラクティスです。本コースでは、用語や概念からITIL®4のコアコンセプトを学習します。PMP®資格更新に必要なPDU（18ポイント）の修得が可能です。

ITIL®v3

ITIL®は管理フレームワークであり、考え方の切り口や枠組みを提供します。日本国内ではITIL®v3からITIL®4への本格的な認定スキームの移行が始まっていますが、必ずしもITIL®4が全ての組織の事業戦略、ニーズ、業務遂行に適合するとは限りません。ITIL®v3に適合する組織もあると考えられます。そのような組織においては、ITIL®v3研修のご受講をお薦めします。

コースコード	コース名	日数	コース概要
ITJ014	Renewal（PDU）ITIL®ファンデーション（ITIL®2011対応）（認定試験付）	3日	ITIL®は、ITサービスマネジメントのベストプラクティスです。このコースでは、ITIL®にて紹介されたライフサイクルモデルを学習します。本コースは、PMP®資格更新に必要なPDU（18ポイント）の修得が可能です。

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶https://www.hitachi-ac.co.jp/

eラーニング
パッケージ

Topics 5

新入社員の育成に、オールインワンパッケージが新登場！

―＜eラーニング＞ITスキル基礎パッケージ―

新入社員や新たにIT部門へ配属された社員に効率よく必要な知識を身につけさせたい。時間や場所にとらわれず学習したい。そんなご要望にお応えして、ITエンジニアに必要なITスキルの基礎が修得できる複数のeラーニングコースをまとめ、パッケージ商品にしました。

こんな方に おススメ！

- 採用時に、人財育成を自社の強みとしてPRしたい
- 自社の独自研修や行事に合わせ、受講日程を自由に決めたい
- 実績のあるIT基礎研修カリキュラムを受講させたい
- なるべくコストを抑えて、効率よく学習させたい
- 申し込みや受講管理には手間をかけたくない

ここが ポイント！

- 年間のべ4万人の受講実績があるコース群
- 自社で決めた日程で自由に受講可能
- 自律人財の育成に役立つ学習計画表や学習サポートメール
- 申込は一括でオトク（最大58%OFF）

パッケージ概要

「ITスキル基礎パッケージ」シリーズは、日立講習会の中から、基本的なITスキルが修得できるコースを厳選し、体系的に学習し効果的なスキルアップを図れるようにまとめた、eラーニングのパッケージ商品です。ご希望により、2つのパッケージからお選びいただけます。

選べる！

学習計画表

EXCELで提供される学習計画表に、推奨受講フローを参考にして学習計画を立てます。漫然と受講するのではなく、自分で学習の計画を立て、進捗を確認し、対策を立てることで、PDCAを回します。

学習計画表(2020年4月～9月)

日付	曜日	【午前】	【午後】	ステータス	備考
4/1	水		ビジネススキル基礎	予定通り	
4/2	木	ビジネススキル基礎	コンピュータ基礎―ハードウェア編―	予定通り	
4/3	金	コンピュータ基礎―ハードウェア編―	コンピュータ基礎―ハードウェア編―	予定通り	
4/4	土				
4/5	日				
4/6	月	コンピュータ基礎―ソフトウェア編―	コンピュータ基礎―ソフトウェア編―	予定通り	
4/7	火	コンピュータ基礎―情報の基礎理論編―		遅れあり	
4/8	水	コンピュータ基礎―情報の基礎理論編―	コンピュータ基礎―情報システム編―	-	
4/9	木	ネットワーク基礎Ⅰ―イーサネットの仕組み―	ネットワーク基礎Ⅰ―イーサネットの仕組み―		
4/10	金	ネットワーク基礎Ⅰ―イーサネットの仕組み―	ネットワーク基礎Ⅰ―イーサネットの仕組み―		
4/11	土				
4/12	日				
4/13	月	ネットワーク基礎Ⅱ―TCP/IPの仕組み―	ネットワーク基礎Ⅱ―TCP/IPの仕組み―		
4/14	火	ネットワーク基礎Ⅱ―TCP/IPの仕組み―	ネットワーク基礎Ⅱ―TCP/IPの仕組み―		
4/15	水	情報セキュリティリテラシー―セキュリティの必要性と対策―	情報技術者に求められるセキュリティの基礎―要素技術(暗号、認証)編―		
4/16	木	情報技術者に求められるセキュリティの基礎―要素技術(暗号、認証)編―	アルゴリズムの基礎―フローチャート編―		
4/17	金	アルゴリズムの基礎―フローチャート編―	アルゴリズムの基礎―フローチャート編―		
4/18	土				
4/19	日				
4/20	月	アルゴリズムの基礎―フローチャート編―	アルゴリズムの基礎―フローチャート編―		
4/21	火				

学習サポートメール

学習アドバイザから知識定着をうながすアドバイスメールが届きます。受講コースに関連したおまけコンテンツの視聴URL付きで、飽きさせません。

学習サポートメール文例

こんにちは。学習アドバイザの水木です。今回は、理解度を確認する別の方法として、実際に手を動かす方法をご紹介します。
「アルゴリズム」で学習した内容を、手を動かして確認するにはどんな方法があるでしょうか。例えば、フローチャートをトレースし、変数に値が入ったり、画面に出力される様子を紙に描いてみましょう。
ご自身の日々の作業をフローチャートに描いてみましょう。
とはいえ、初めのうちはどうやってトレースすればよいか、イメージしにくいかもしれません。トレースのコツを動画にしました。

(アルゴリズムの基本)どのようにトレースすると効果的か？
http://www.....

ライト
パッケージ

ITスキル基礎（ライトパッケージ）

コースコード:SJE709　受講料：¥116,600(税込)

各コースの受講料合計の 40%OFF

学習開始日 10/5、11/9、12/7　学習終了日 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります

新社会人としてIT業界で働くための基礎知識が修得できるよう、複数のeラーニングコースを1つのパッケージとしてまとめました。もっとも基本的な9コースのパッケージです。

コースコード(単科)	コース名	標準学習時間
HSE049	＜eラーニング＞ビジネススキル基礎	8時間
SJE701	＜eラーニング＞【ナビ機能付き】コンピュータ基礎―ハードウェア編―	8時間
SJE702	＜eラーニング＞【ナビ機能付き】コンピュータ基礎―ソフトウェア編―	8時間
SJE703	＜eラーニング＞【ナビ機能付き】コンピュータ基礎―情報の基礎理論編―	4時間
SJE704	＜eラーニング＞【ナビ機能付き】コンピュータ基礎―情報システム編―	4時間
CBE006	＜eラーニング＞アルゴリズムの基礎―フローチャート編―	16時間
NWE706	＜eラーニング＞【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅰ―イーサネットの仕組み―	12時間
NWE707	＜eラーニング＞【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ―TCP/IPの仕組み―	12時間
DBE711	＜eラーニング＞【ナビ機能付き】データベース基礎	8時間

フル
パッケージ

ITスキル基礎（フルパッケージ）

コースコード:SJE710　受講料:¥275,000(税込)

各コースの受講料合計の 58%OFF

学習開始日 10/5、11/9、12/7　学習終了日 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります

最も基本的な9コースに加え、セキュリティ、プログラミング言語、システム開発やプログラムのテスト技法まで含めた、全25コースのフルパッケージです。

コースコード(単科)	コース名	標準学習時間
HSE049	＜eラーニング＞ビジネススキル基礎	8時間
HSE126	＜eラーニング＞ロジカルシンキング基礎―論理の可視化と論理チェックのポイント―	8時間
HSE709	＜eラーニング＞【ナビ機能付き】WHYで学ぶアカウンティング（基礎知識編）	8時間
SJE701	＜eラーニング＞【ナビ機能付き】コンピュータ基礎―ハードウェア編―	8時間
SJE702	＜eラーニング＞【ナビ機能付き】コンピュータ基礎―ソフトウェア編―	8時間
SJE703	＜eラーニング＞【ナビ機能付き】コンピュータ基礎―情報の基礎理論編―	4時間
SJE704	＜eラーニング＞【ナビ機能付き】コンピュータ基礎―情報システム編―	4時間
NWE706	＜eラーニング＞【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅰ―イーサネットの仕組み―	12時間
NWE707	＜eラーニング＞【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ―TCP/IPの仕組み―	12時間
SCE708	＜eラーニング＞【ナビ機能付き】情報セキュリティリテラシー―セキュリティの必要性と対策―	4時間
SCE703	＜eラーニング＞【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎―要素技術(暗号、認証)編―	6時間
DBE711	＜eラーニング＞【ナビ機能付き】データベース基礎	8時間
DBE703	＜eラーニング＞【ナビ機能付き】SQL入門	8時間
CBE006	＜eラーニング＞アルゴリズムの基礎―フローチャート編―	16時間
SJE707	＜eラーニング＞【ナビ機能付き】システム開発の基礎	4時間
ITE701	＜eラーニング＞【ナビ機能付き】運用管理概説	6時間
OJE701	＜eラーニング＞【ナビ機能付き】オブジェクト指向概説	6時間
OJE702	＜eラーニング＞【ナビ機能付き】Javaプログラミング1（基本文法編）	24時間
OJE703	＜eラーニング＞【ナビ機能付き】Javaプログラミング2―基本クラス編―	16時間
CCE701	＜eラーニング＞【ナビ機能付き】C言語プログラミング1（前編）―制御文と関数を学ぶ―	8時間
CCE702	＜eラーニング＞【ナビ機能付き】C言語プログラミング1（後編）―データ構造とポインタを学ぶ―	16時間
CCE005	＜eラーニング＞C言語プログラミング2―ポインタ実践編―	24時間
CBE004	＜eラーニング＞COBOLプログラミング基礎編（フローチャート）	16時間
CBE005	＜eラーニング＞COBOLプログラミング応用編（フローチャート）	16時間
SPE701	＜eラーニング＞【ナビ機能付き】プログラムのテスト技法	7時間

1 体系的にIT技術修得を進めるための日立講習会コース活用例

日立講習会では、企業や組織で必要となるITの修得に適したコースを各種ご用意しています。
階層別研修とともに、IT研修の企画立案の際に日立講習会のコースをぜひご活用ください。

IT修得に必要な一連のコースを
ご用意しています!!

●情報システム部門の方向け推奨IT研修体系

企業における情報システムの役割は、合理化・効率化を進めるツールから、他社との差別化・競争力強化を図るツールへと変遷しました。ITは、経営戦略や事業戦略を成功に導く重要な要素になりました。

これらの背景から、情報システム部門は、システムの実装技術だけでなく、戦略に結び付くITサービスを企画立案 / 開発し、継続して提供し続けるスキルが求められます。

日立講習会では、システム化戦略策定から運用管理や実装技術まで一連のIT修得に対応したコースをご用意しています。下記は、日立講習会を活用した情報システム部門の研修体系の一例です。

日立講習会を活用したIT修得コースマップの例

項目		初級	中級	上級
IS戦略 IS戦略評価		HSJ175 0.5日間 データ利活用のパターンとビジネス着想 HSJ181 1日間 (PDU)ソリューション提案のための経営と情報戦略 ー経営・事業・情報戦略のあるべき関係性ー	CTJ016 1日間 (PDU) IT投資対効果の考え方 ーIT投資マネジメントの基礎ー HSJ159 2日間 顧客価値発見とビジネスモデルのデザイン	HSJ213 1日間 デジタル時代における成果型サービスのデザイン ージョブ理論とダブルダイヤモンドフレームワークの活用ー SPJ008 2日間 (PDU) IT投資の評価手法 ーIT投資の種類・パターンから効果を考えるー CTD013 2日間 (PDU)エンタープライズ・ビジネスアナリシス
IS企画 IS企画評価			CTJ055 1日間 IT主導で攻めのビジネスを実現するための構想立案とIT化企画の作り方 CTJ054 1日間 IT活用による業務改善を実現するための問題分析と新業務プロセス設計技法 CTJ068 2日間 (PDU) BABOK®で学ぶビジネスアナリシスの基礎	CTJ051 1日間 ビジネス要求引き出しのための業務課題抽出のテクニック SPJ036 2日間 システム化要求を実現するための業務設計 CTJ005 2日間 (PDU)トラブルを防止する調達要件の分析 ーRFPの作成と提案書の評価を中心にー
IS導入	システム開発	SJE707 4時間 eL【ナビ機能付き】システム開発の基礎 SPJ058 2日間 演習で学ぶ!情報システムの役割と開発の進め方	SPJ071 2日間 システムのニーズ分析 CTJ046 1日間 情報システム導入を成功させる要件定義とベンダー折衝の実践ポイント CTJ026 1日間 情報システムのユーザテストと移行・切替・本番稼働の準備実務	CTJ065 2日間 エンタープライズITアーキテクチャのセオリー
	要件定義	SPJ024 2日間 システムの要件定義技法 CTJ053 1日間 現場主導で現状業務の見える化を推進するための業務フロー作成技法	CTJ052 1日間 現行システムのリプレース／改修における現状洗い出しを確実にするための業務フロー作成技法 SPJ067 1日間 後工程で慌てないユーザ／業務要件の漏れを未然に防ぐ業務設計と要件定義のコツ CTJ018 1日間 非機能要求の考え方	CTJ051 1日間 ビジネス要求引き出しのための業務課題抽出のテクニック
	設計技法	NWE031 8時間 eL Webアプリケーション設計の基礎	SPE017 5時間 eL 構造化モデリングによるシステムの機能抽出 SPJ069 1日間 開発での手戻りを最小限にする要件品質チェックポイントと基本設計の肝	
	アプリケーション開発	CBE006 16時間 eL アルゴリズムの基礎 ーフローチャート編ー SPJ028 1日間 品質確保のためのソフトウェアテスト SPE019 3時間 eL 速習! Webシステムテストのポイント プログラミング言語ごとのコース群	SPE016 8時間 eL 実践!テストケース設計(テスト技法演習編) SPJ051 1日間 実践!テストケース設計(テスト設計実践編) SPJ038 2日間 アプリケーション・アーキテクチャ策定演習	SPJ060 1日間 体験!最新OSSを活用したDevOps入門 ーLumadaにおけるアプリケーション開発の流れー SPJ059 1日間 (PDU)実践! DevOpsによるアジャイル開発 ーお客様に素早く価値を届けるために一
	システム基盤	UXE003 4時間 eL クラウドコンピューティング入門 サーバ製品ごとのコース群 CLJ005 1日間 実機で学ぶ! サーバ仮想化入門 ーVMware vSphere、Microsoft Hyper-V、KVMー	CLJ014 1日間 実機で学ぶ! クラウドコンピューティング入門 CLD001 2日間 事業と技術の観点から検討するクラウドへの移行と管理ーCloud Essentialsー	CLJ019 0.5日間 クラウドコンピューティングで読み解くITサービスの最新動向
	セキュリティ	SCE708 4時間 eL【ナビ機能付き】情報セキュリティリテラシー ーセキュリティの必要性と対策ー SCE706 8時間 eL【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説 ーセキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度ー SCJ052 1日間 情報セキュリティ基礎 ーセキュリティ全体を俯瞰するー	SCE705 6時間 eL【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎ーネットワーク構成技術とシステム保護の概要編ー SCJ038 1日間 情報セキュリティマネジメント運用 SCJ039 1日間 情報セキュリティマネジメントの評価と改善	SCJ047 1日間 ケーススタディから学ぶ情報セキュリティリスクマネジメント
	ネットワーク	NWJ103 2日間 ネットワーク基礎 NWE715 8時間 eL【ナビ機能付き】LANの技術ー高可用ネットワークー NWE717 8時間 eL【ナビ機能付き】WANの技術ーVPNサービスへの変遷ー	NWJ099 2日間 TCP/IPプロトコル解析 NWE704 6時間 eL【ナビ機能付き】ネットワーク管理解説 NWE028 4時間 eL ネットワーク設計基礎	NWJ084 2日間 ネットワークトラブル解決
	データベース	DBJ045 1日間 データベース入門 ー解説と操作体験ー DBJ055 1日間 速習!1日でわかるデータベース設計の基礎 データベース製品ごとのコース群	DBJ054 2日間 データベース設計技法と演習	
プロジェクトマネジメント		PMJ065 2日間 プロジェクトマネジメント基礎	PMJ066 2日間 (PDU)ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践 CTJ022 2日間 情報システム部門のための開発工程におけるベンダー・マネジメント プロジェクトマネージャ向けのコース群	CTJ069 2日間 (PDU)プロジェクトマネジメントにおけるベンダーマネジメント
ITサービスマネジメント 運用管理・保守		ITJ008 1日間 情報システム運用入門 ー運用からITサービスへー ITJ009 1日間 IT運用におけるヒューマンエラー予防	ITJ014 3日間 (PDU) ITIL®ファンデーション(ITIL®2011対応)(認定試験付) ITJ013 3日間 (PDU) ITIL®4ファンデーション(認定試験付) ITJ004 2日間 システム運用の現状分析・設計力養成ワークショップ SPJ033 1日間 保守開発におけるトラブル対策の考え方	HSJ062 1日間 事例から学ぶシステムトラブル対策の考え方 ー高信頼性システム実現のためにー
システム監査			HSJ018 2日間 システムトラブルの予防と是正 ーISMS・システム監査の視点からー	

eL eラーニング

● SI 企業 /IT 開発ベンダ向け推奨 IT 研修体系

現在のIT産業は、ハードウェアやソフトウェアといったプロダクトの提供だけではなく、顧客企業がめざす経営戦略や事業戦略を実現する IT サービスの提供が重要です。これを実現するために、高い専門性を持つ人財の必要性が高まっています。そのため、企業の競争力強化に向けた体系的な人財育成が重要です。

高い専門性を身につける「基礎体力」として、IT の基本をしっかり身につけることが重要です。

日立講習会では、JP1 や HiRDB といった製品技術修得のコースに留まらず、IT 基本、情報セキュリティ、ネットワークやデータベースといった汎用的な IT の修得に対応したコースをご用意しています。

下記は、日立講習会を活用した研修体系の一例です。

日立講習会を活用した情報システム/ソフトウェア開発技術者のITスキル（ITの基礎体力）修得コースマップの例

項目			初級	中級	上級
IT 基本		コンピュータ科学基礎、コンピュータシステムの構成	SJJ009 5日間 コンピュータ基礎 SJE701 8時間 eL【ナビ機能付き】コンピュータ基礎ーハードウェア編ー SJE702 8時間 eL【ナビ機能付き】コンピュータ基礎ーソフトウェア編ー SJE703 4時間 eL【ナビ機能付き】コンピュータ基礎ー情報の基礎理論編ー SJE704 4時間 eL【ナビ機能付き】コンピュータ基礎ー情報システム編ー		
		セキュリティ、ネットワーク、データベースの基本	SCE708 4時間 eL【ナビ機能付き】情報セキュリティリテラシーーセキュリティの必要性と対策ー NWJ103 2日間 ネットワーク基礎 DBJ045 1日間 データベース入門ー解説と操作体験ー		
システム基盤	クラウド / サーバ仮想化	仮想化技術	CLJ005 1日間 実機で学ぶ！サーバ仮想化入門ーVMware vSphere、Microsoft Hyper-V、KVMー CLJ016 1日間 実機で学ぶ！デスクトップ仮想化入門ーCitrix Virtual Apps and DesktopとVMware vSphereー	仮想化製品提供ベンダーごとのコース群	
		クラウド	UXE003 4時間 eL クラウドコンピューティング入門 CLJ003 1日間 クラウドコンピューティング技術解説 CLJ014 1日間 実機で学ぶ！クラウドコンピューティング入門	CLD001 2日間 事業と技術の観点から検討するクラウドへの移行と管理ーCloud Essentialsー CLJ019 0.5日間 クラウドコンピューティングで読み解くITサービスの最新動向 クラウドサービス提供ベンダーごとのコース群	
	サーバ OS	UNIX/Linux	UXJ078 2日間 UNIX/Linux 基礎ーコマンド編ー UXJ049 2日間 UNIX/Linux 基礎ーシェルスクリプト編ー UXJ029 2日間 Linuxシステム管理 前編ーLinuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎ー UXJ030 2日間 Linuxシステム管理 後編ーシステム起動の仕組みとディスク管理技術ー UXE004 3時間 eL オープンソースソフトウェア（OSS）概説	UXJ080 2日間 Linuxトラブルシューティング	
		Windows	MSJ052 2日間 Wndows Server 2019 管理概説 Windows Serverの運用目的に応じたコース群	Windows Serverの運用目的に応じたコース群	
	データベース	データベース設計、実装技術	DBJ055 1日間 速習！1日でわかるデータベース設計の基礎 DBJ063 2日間 基礎から学ぶSQLー現場で使える力をつけるー DBE706 6時間 eL【ナビ機能付き】データウェアハウス概説 データベース製品ごとのコース群	DBJ067 1日間 脱初心者のためのSQLーSQLでここまでできるー DBJ054 2日間 データベース設計技法と演習 データベース製品ごとのコース群	
	ネットワーク	ネットワークシステムの要素技術	NWE715 8時間 eL【ナビ機能付き】LANの技術ー高可用ネットワークー NWE717 8時間 eL【ナビ機能付き】WANの技術ーVPNサービスへの変遷ー NWJ147 1日間 ネットワークインフラ構築ー基礎編ー	NWJ133 2日間 ネットワークインフラ構築ースイッチ編ー NWJ138 2日間 ネットワークインフラ構築ールータ編ー	
		ネットワーク設計	NWE028 4時間 eL ネットワーク設計基礎 NWE703 12時間 eL【ナビ機能付き】IPv6の基礎と移行技術	NWJ120 2日間 ネットワークインフラ構築ー冗長化・負荷分散編ー	
	セキュリティ	要素技術、セキュリティ計画、リスクマネジメント	SCE706 8時間 eL【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説ーセキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度ー SCE703 6時間 eL【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎ー要素技術（暗号、認証）編ー SCE705 6時間 eL【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎ーネットワーク構成技術とシステム保護の概要編ー SCE704 4時間 eL【ナビ機能付き】データベースセキュリティ概説	SCJ038 1日間 情報セキュリティマネジメント運用 SCJ039 1日間 情報セキュリティマネジメントの評価と改善 SCJ047 1日間 ケーススタディから学ぶ情報セキュリティリスクマネジメント	
システム設計 / システム開発		ソフトウェアエンジニアリング	SJE707 4時間 eL【ナビ機能付き】システム開発の基礎 SPJ058 2日間 演習で学ぶ！情報システムの役割と開発の進め方	PMJ006 1日間 ソフトウェア開発の品質管理と信頼性ー日立の取り組み紹介ー	
		ニーズ分析、要件定義	SPJ024 2日間 システムの要件定義技法 CTJ052 1日間 現行システムのリプレース/改修における現状洗い出しを確実にするための業務フロー作成技法 SPJ071 2日間 システムのニーズ分析	CTJ018 1日間 非機能要求の考え方 SPJ067 1日間 後工程で慌てないユーザ/業務要件の漏れを未然に防ぐ業務設計と要件定義のコツ CTJ068 2日間 （PDU）BABOK®で学ぶビジネスアナリシスの基礎	CTJ051 1日間 ビジネス要求引き出しのための業務課題抽出のテクニック CTD013 2日間 （PDU）エンタープライズ・ビジネスアナリシス
		システム設計、業務アプリケーション設計	NWE031 8時間 eL Webアプリケーション設計の基礎 NWJ144 1日間 スマートフォンの特性を踏まえたWebアプリケーション設計の考え方 SPE017 5時間 eL 構造化モデリングによるシステムの機能抽出	SPJ038 2日間 アプリケーション・アーキテクチャ策定演習 SPJ036 2日間 システム化要求を実現するための業務設計 SPJ069 1日間 開発での手戻りを最小限にする要件品質チェックポイントと基本設計の肝	CTJ065 2日間 エンタープライズITアーキテクチャのセオリー
		アプリケーション開発	Javaテクノロジー	CLJ017 2日間 クラウドアプリケーション開発 SPJ060 1日間 体験！最新OSSを活用したDevOps入門ーLumadaにおけるアプリケーション開発の流れー SPJ059 1日間 （PDU）実践！ DevOpsによるアジャイル開発ーお客様に素早く価値を届けるためにー	
プログラミング		アルゴリズム / プログラミング	CBJ001 2日間 アルゴリズムの基礎ーフローチャート編ー CBE004 16時間 eL アルゴリズムの基礎ーフローチャート編ー プログラミング言語ごとのコース群		
		テスト技法	SPE701 7時間 eL【ナビ機能付き】プログラムのテスト技法 SPJ028 1日間 品質確保のためのソフトウェアテスト SPE016 8時間 eL 実践！ テストケース設計（テスト技法演習編） SPJ051 1日間 実践！ テストケース設計（テスト設計実践編）	SPE019 3時間 eL 速習！ Webシステムテストのポイント SPJ062 1日間 Javaによるテスト駆動開発演習 SPJ035 1日間 Seleniumによる Webアプリケーションテスト自動化演習	
評価、改善、信頼性向上 リスクマネジメント				SPJ033 1日間 保守開発におけるトラブル対策の考え方 HSJ062 1日間 事例から学ぶシステムトラブル対策の考え方ー高信頼性システム実現のためにー	HSJ018 2日間 システムトラブルの予防と是正ーISMS・システム監査の視点からー
プロジェクトマネジメント			PMJ065 2日間 プロジェクトマネジメント基礎	PMJ066 2日間 （PDU）ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践 CTJ069 2日間 （PDU）プロジェクトマネジメントにおけるベンダーマネジメント 知識エリアごとのコース群	

eL eラーニング

日立講習会を活用したITサービス企画/開発/運用管理技術者のITスキル（ITの基礎体力）修得コースマップの例

分野	項目	初級	中級	上級
新事業・サービスの創成	戦略／マーケティング	HSJ181 1日間 (PDU)ソリューション提案のための経営と情報戦略 ー経営・事業・情報戦略のあるべき関係性ー	HSJ159 2日間 顧客価値発見とビジネスモデルのデザイン HSJ182 1日間 (PDU)ITビジネスにおける戦略の基本と最新動向 ーイノベーション実現のためにー	HSJ213 1日間 デジタル時代における成果型サービスのデザイン ージョブ理論とダブルダイヤモンドフレームワークの活用ー CTD011 2日間 (PDU) IT経営ストラテジ（IT戦略コース）
	イノベーション	HSJ175 0.5日間 データ利活用のパターンとビジネス着想 HSJ163 1日間 クリエイティブシンキング HSJ157 2日間 システムシンキング基礎 ー問題を構成する互いに影響しあう要素の「つながり」を可視化するー	HSJ170 2日間 イノベーティブ思考ー単なるアイディアで終わらせないための ロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせかたー HSJ159 2日間 顧客価値発見とビジネスモデルのデザイン	HSJ158 1日間 イノベーションプロセスを強化する シナリオプランニング
	超上流工程		CTJ068 2日間 (PDU) BABOK®で学ぶビジネスアナリシスの基礎 SPJ071 2日間 システムのニーズ分析 CTJ051 1日間 ビジネス要求引き出しのための業務課題抽出のテクニック	CTJ051 1日間 ビジネス要求引き出しのための業務課題抽出のテクニック CTD013 2日間 (PDU)エンタープライズ・ビジネスアナリシス
サービス企画／開発	サービスプロデュース		HSJ213 1日間 デジタル時代における成果型サービスのデザイン ージョブ理論とダブルダイヤモンドフレームワークの活用ー CTJ055 1日間 IT主導で攻めのビジネスを実現するための構想立案とIT化企画の作り方	
	サービスレベル設計	ITE006 4時間 eL SLAにおけるサービスレベル設計の基礎	CTJ018 1日間 非機能要求の考え方	
システム化企画／導入	システム企画	SPJ058 2日間 演習で学ぶ！情報システムの役割と開発の進め方	CTJ054 1日間 IT活用による業務改善を実現するための問題分析と新業務プロセス設計技法 SPJ036 2日間 システム化要求を実現するための業務設計	
	要件定義	CTJ053 1日間 現場主導で現状業務の見える化を推進するための業務フロー作成技法 CTJ052 1日間 現行システムのリプレース／改修における現状洗い出しを確実にするための業務フロー作成技法	SPJ024 2日間 システムの要件定義技法 CTJ018 1日間 非機能要求の考え方	CTJ065 2日間 エンタープライズITアーキテクチャのセオリー
	運用テスト・移行	SPJ028 1日間 品質確保のためのソフトウェアテスト	CTJ026 1日間 情報システムのユーザテストと移行・切替・本番稼働の準備実務	
ITサービス運用	ITシステム運用	ITJ008 1日間 情報システム運用入門 ー運用からITサービスへー	ITJ009 1日間 IT運用におけるヒューマンエラー予防 ITE006 4時間 eL SLAにおけるサービスレベル設計の基礎	
	ITプラットフォーム運用 クラウド	UXE003 4時間 eL クラウドコンピューティング入門 CLJ014 1日間 実機で学ぶ！クラウドコンピューティング入門	CLD001 2日間 事業と技術の観点から検討するクラウドへの移行と管理ーCloud Essentialsー CLJ019 0.5日間 クラウドコンピューティングで読み解くITサービスの最新動向	
	ITプラットフォーム運用 セキュリティ	SCE708 4時間 eL【ナビ機能付き】情報セキュリティリテラシー ーセキュリティの必要性と対策ー SCE706 8時間 eL【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説 ーセキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度ー SCJ052 1日間 情報セキュリティ基礎 ーセキュリティ全体を俯瞰するー SCE705 6時間 eL【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎ーネットワーク構成技術とシステム保護の概要編ー	SCJ038 1日間 情報セキュリティマネジメント運用 SCJ047 1日間 ケーススタディから学ぶ情報セキュリティリスクマネジメント SCJ039 1日間 情報セキュリティマネジメントの評価と改善	
	ITプラットフォーム運用 ネットワーク	NWJ103 2日間 ネットワーク基礎 NWE715 8時間 eL【ナビ機能付き】LANの技術ー高可用ネットワークー	NWJ099 2日間 TCP/IPプロトコル解析 NWE704 6時間 eL【ナビ機能付き】ネットワーク管理解説	NWJ084 2日間 ネットワークトラブル解決
	ITプラットフォーム運用 UNIX/Linuxサーバ	UXJ078 2日間 UNIX/Linux 基礎 ーコマンド編ー UXJ049 2日間 UNIX/Linux 基礎 ーシェルスクリプト編ー	UXJ029 2日間 Linuxシステム管理 前編 ーLinuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎ー UXJ030 2日間 Linuxシステム管理 後編 ーシステム起動の仕組みとディスク管理技術ー	UXJ080 2日間 Linuxトラブルシューティング
	ITプラットフォーム運用 Windowsサーバ	MSJ052 2日間 Wnidows Server 2019 管理概説 MSJ053 2日間 実践! Active Directoryの基礎	MSJ047 1日間 実践! Windows PowerShellを用いたシステム管理の効率化ー Windows Server 2016編ー	
	ITプラットフォーム運用 DB	DBJ045 1日間 データベース入門 ー解説と操作体験ー DBJ063 2日間 基礎から学ぶSQL ー現場で使える力をつけるー SCE704 4時間 eL【ナビ機能付き】データベースセキュリティ概説	データベース製品ごとのコース群	
ITサービスの評価	IT投資評価		CTJ016 1日間 (PDU) IT投資対効果の考え方 ーIT投資マネジメントの基礎ー	SPJ008 2日間 (PDU) IT投資の評価手法 ーIT投資の種類・パターンから効果を考えるー
	ITサービスの品質向上		HSJ062 1日間 事例から学ぶシステムトラブル対策の考え方 ー高信頼性システム実現のためにー	HSJ018 2日間 システムトラブルの予防と是正 ーISMS・システム監査の視点からー
ITサービスのライフサイクル全体	ITサービスのグローバルスタンダード	ITJ014 3日間 (PDU) ITIL®ファンデーション（ITIL®2011対応）（認定試験付） ITJ013 3日間 (PDU) ITIL®4ファンデーション（認定試験付）	ITJ004 2日間 システム運用の現状分析・設計力養成ワークショップ	

eL eラーニング　：コース内で主に扱う工程　：コース内で概要もしくは副次的に扱う工程

開催コース／スケジュール一覧

日立講習会は下記の通り「日立製品研修」と「ＩＴ／ビジネス研修」からなり、ＩＴの利活用に必要なコースを多数取り揃えております。

「日立製品研修」、「ＩＴ／ビジネス研修」の概要および提供するコースをご紹介します。

日立製品研修

日立製品

日立製作所のオープンミドルウェア、プラットフォームソフトウェアなどを扱うために必要な技術が修得できます。

● JP1
統合システム運用管理ソフトウェアJP1を扱うために必要となる機能や操作、設定方法等の技術が修得できます。

● uCosminexus Application Server
uCosminexus Application Serverを使用したアプリケーション開発やシステム構築を行ううえで必要となる知識と技術が修得できます。

● HiRDB
データベースマネジメントシステムであるHiRDBのシステム運用やアプリケーション開発を行ううえで必要となる知識と技術が修得できます。

● OpenTP1
TPモニタであるOpenTP1システムの構築や運用、およびアプリケーションを開発するうえで必要となる知識と技術が修得できます。

● VOS3
日立メインフレームOSであるVOS3の使用方法や機能、システム運用管理技術が修得できます。

● XDM
日立メインフレームDB/DCであるXDMの機能や設定、システム運用管理技術が修得できます。

● Hitachi Advanced Data Binder
情報系システム向け超高速データベースエンジン、Hitachi Advanced Data Binderのアーキテクチャや導入までのWBS、設計や構築・運用管理に必要となるスキルが修得できます。

● 日立ストレージ
日立ブロックストレージに関する製品・機能について必要な知識やスキルを修得できます。

● Pentaho
データ統合・分析基盤であるPentahoを使用したデータの統合処理や、分析・可視化に必要な機能や操作等の技術が修得できます。

ＩＴ／ビジネス研修

デジタルトランスフォーメーション

デジタル化に対応するための要素技術やデジタルビジネスに必要なスキルが修得できます。

● DXマインド・プロセス・マネジメント
DXがもたらすビジネスへインパクト、可能性について理解し、DXを推進するためのマインドを修得できます。

● 課題分析（何をなすべきかを着想する）
社会変化や顧客課題、技術や業種・業務知識といったさまざまな要因から何をなすべきか着想するイノベーティブな考え方・技法を修得できます。

● 仮説構築（ビジネスモデルをデザインする）
あらゆるモノをサービスとして提供する『XaaS』を実現するためにビジネスモデルを構想する思考法、フレームワークなどを修得できます。

● プロトタイピングと価値検証（共通）
IoT/AI/ビッグデータなどの技術を理解し、ビジネス価値検証も含めたアーキテクチャ設計や、システム開発手順・実装技術、データサイエンス活用計画を修得できます。

● プロトタイピングと価値検証（データ環境構築）
データ収集・統合・加工技術、データ蓄積のためのデータレイクやデータウェアハウスの技術を修得できます。

● プロトタイピングと価値検証（分析モデル構築）
各種アナリティクスツールを有効活用し、データ利活用・データ分析を効率的に進めるスキルや、プログラミングによる分析も修得できます。

RPA

RPA(Robotic Process Automation)製品を使用して業務自動化のロボットを開発するために必要な基礎知識と技術が修得できます。

クラウド／サーバ仮想化

クラウド/サーバ仮想化やクラウドという最新システムについての基礎知識と技術が修得できます。

ITサービスマネジメント

情報システムを活用し、ビジネスを支援するITサービスの業務プロセスを管理・改善するITサービスマネジメントの基礎知識・手法が修得できます。

システム基盤

ネットワーク、データベースやOSなどのシステム基盤構築、管理するために必要な技術が修得できます。

● IT基本
IT基礎力に必要な知識や技術が修得できます。

● オープンソースソフトウェア（OSS）
OSSの概要や活用方法を理解し、OSSによるシステム運用やサーバ構築に関する技術が修得できます。

● Linux
Linuxの機能や操作方法を理解し、システム構築・運用管理に関する技術が修得できます。

● Microsoft
Windows ServerなどのMicrosoft製品を使用した、システム構築・運用管理に関する技術が修得できます。

● ネットワーク
ネットワークの構成を理解し、LANおよびWANに接続したシステム設計・構築・運用管理に関する技術が修得できます。

● ハードウェア
サーバ・ストレージシステムの構築・活用に有効なハードウェア技術が修得できます。

● セキュリティ
個人情報保護や情報セキュリティに関する基礎知識、セキュリティを考慮したシステム構築・管理に必要な技術が修得できます。

● データベース
データベースの概念を理解し、データベースシステムを構築するための技術が修得できます。

IT戦略・IS企画

IT戦略・企画立案やプロセス評価、BA（Business Analysis）に関する知識や手法が修得できます。

システム開発

システム開発／アプリケーション開発を行うために必要な技術が修得できます。

● 要件定義／設計
情報システムの開発に必要な基礎知識や、開発手順、分析、設計技法が修得できます。

● プログラミング
各種プログラミング言語を使用したアプリケーション開発を行うために必要な基本文法やプログラミング技術、Webアプリケーションの開発技術が修得できます。

情報処理技術者試験対策

情報処理技術者試験の資格取得に向け、知識や解答技法が修得できます。

ITリテラシ

情報の扱い方、特にコンピュータを利用して業務を行うための基礎的な知識や技術が修得できます。

プロジェクトマネジメント

情報システム開発プロジェクトの計画・実行を行うために必要な知識や手順、技法が修得できます。

コンプライアンス

個人情報保護や情報セキュリティ、内部統制といった、コンプライアンス意識向上に不可欠な知識が修得できます。

ビジネス／ヒューマン

仕事を進めるうえで必要となるスキル（ロジカルシンキング、コミュニケーション、ライティング、リーダシップ、業務知識など）が修得できます。

グローバル

グローバルでビジネスを進めるうえで必要となるスキル（グローバルマインドセット、各国の動機付け要因、反発要因など）が修得できます。

OT（製造・生産技術）

自動化設備の運用・保守に関する電気と制御の基礎知識が修得できます。

新設コース

分野		コースコード	コース名	日数※
● 日立製品				
JP1		JPJ304	JP1プロフェッショナル 統合管理3ーインテリジェント統合管理基盤ー	1日
		JPE328	<eラーニング>【マシン演習付き】JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理	12時間
		JPJ303	JP1プロフェッショナル ジョブ管理ークライアント業務自動化ー	1日
● デジタルトランスフォーメーション				
プロトタイピングと価値検証（共通）	ソフトウェアエンジニアリング	DBJ121	NVIDIA JetsonNanoを用いたAIエッジコンピューティングハンズオンーディープラーニング×Jetbotによる自動走行体験ー	2日
		IOJ022	デジタルビジネスを支えるIoTの理解	3日
プロトタイピングと価値検証（分析モデル構築）	ツールを活用した分析	HSJ211	BI活用事例に学ぶ分析提案の進め方	1日
		DBJ124	テキストマイニング入門ープログラミングレスで学ぶテキストデータ分析の勘所ー	1日
● RPA				
RPA		RPD003	Automation Anywhere認定RPAトレーニング（Mastering Bots：A2019）	3日
		RPJ008	RPA入門ー概説と基本操作（Blue Prism）ー	2日
● クラウド／サーバ仮想化				
クラウド／サーバ仮想化		CLJ018	Microsoft Azureを利用したIoT+AI入門ーサービス概要から操作体験ー	1日
		CLD014	【短縮版】Microsoft Azure Administrator	3日
● ITサービスマネジメント				
ITサービスマネジメント		ITJ013	（PDU）ITIL®4ファンデーション（認定試験付）PDU	3日
● システム基盤				
オープンソースソフトウェア（OSS）		UXE005	<eラーニング>Hyperledger Fabric基礎	35時間
		UXE006	<eラーニング>Kubernetes基礎	35時間
Microsoft		MSJ053	実践! Active Directoryの基礎	2日
データベース	Oracle	DBE043	<eラーニング>資格試験準備セミナー：ORACLE MASTER Bronze DBA（受験チケット付）	7時間
		DBE044	<eラーニング>資格試験準備セミナー：ORACLE MASTER Silver SQL（受験チケット付）	7時間
		DBE045	<eラーニング>資格試験準備セミナー：ORACLE MASTER Silver DBA（受験チケット付）	7時間
		DBE046	<eラーニング>資格試験準備セミナー：ORACLE MASTER Gold DBA（受験チケット付）	7時間
● IT戦略・IS企画				
IT戦略・IS企画		CTJ068	（PDU）BABOK®で学ぶビジネスアナリシスの基礎 PDU	2日
● システム開発				
プログラミング	共通	DBJ123	プログラミングはじめの一歩ーPythonで学ぶアルゴリズム入門ー	1日
● 情報処理技術者試験対策				
情報処理技術者試験対策	春秋期実施試験対策	SJD012	基本情報技術者試験【FE】対策講座（試験直前に模擬試験で得点をUPする）	1日

※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています。
PDU：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶https://www.hitachi-ac.co.jp/

改訂コース

コース内容の大幅な変更（改訂）と、コース名称を変更したものは下記の通りです。改訂したコースについては、表右側の「改訂のポイント」をご覧ください。

分野		コースコード	コース名	日数※	改訂のポイント
● 日立製品					
日立ストレージ		SPL076	日立ストレージ製品概要−ストレージ基礎・製品紹介編−	1日	新製品に対応
			旧コースコードおよび名称>> SPL063 日立ストレージ製品概要−ストレージ基礎・製品紹介編−		
		SPL077	日立ストレージハードウェア−ミッドレンジストレージ編−	1日	新製品に対応
			旧コースコードおよび名称>> SPL064 日立ストレージハードウェア−ミッドレンジストレージ編−		
		SPL078	日立ストレージ機能−リモートコピー編−	1日	新製品に対応
			旧コースコードおよび名称>> SPL068 日立ストレージ機能−リモートコピー編−		
		SPL079	日立ストレージ機能−無停止運用管理編−	1日	新製品に対応
			旧コースコードおよび名称>> SPL069 日立ストレージ機能−無停止運用管理編−		
● デジタルトランスフォーメーション					
仮説構築（ビジネスモデルをデザインする）	ビジネスモデルの構想	HSJ213	デジタル時代における成果型サービスのデザイン −ジョブ理論とダブルダイヤモンドフレームワークの活用−	1日	コース名称変更
			旧コースコードおよび名称>> HSJ177 実現可能性を高める! ユーザーの言葉を使って解決する成果志向型のサービスデザイン −事業開発の失敗リスクを最小化するための事業・競争環境、内部プロセスの検討−		
		HSJ210	デジタル時代における顧客接点のデザイン−顧客経験ジャーニーマップの活用−	1日	コース名称変更
			旧コースコードおよび名称>> HSJ176 顧客との関係を深め続けられる顧客接点のビジネスモデルデザイン −モバイル時代の消費者行動の変化を捉え、経験価値をデザインする−		
		HSJ209	デジタル時代における収益モデルのデザイン−KPIツリーによる事業性の評価−	1日	コース名称変更
			旧コースコードおよび名称>> HSJ178 新規事業における利益の健全性評価と収益性の高いビジネスモデルのデザイン −不確実性の高いビジネスにおける仮説検証、価値ベースのプライシングを身に付ける−		
プロトタイピングと価値検証（分析モデル構築）	ツールを活用した分析	DBD064	機械学習による問題解決実践 −機械学習で大量データを分析し、データからビジネス価値を創出−	2日	コース名称変更
			旧コースコードおよび名称>> DBD059 機械学習による問題解決実践 −機械学習で大量データを分析し、データからビジネス価値を創出−		
● RPA					
RPA		RPJ007	RPA入門−概説と操作体験（Automation Anywhere）−	1日	内容の改訂
			旧コースコードおよび名称>> RPJ001 RPA入門−概説と操作体験（Automation Anywhere）−		
		RPD002	Automation Anywhere認定RPAトレーニング（Mastering Bots：V11）	3日	コース名称変更
			旧コースコードおよび名称>> RPD001 Mastering Bots: Design and Build an Advanced Digital Workforce		
● クラウド／サーバ仮想化					
クラウド／サーバ仮想化		CLJ017	クラウドアプリケーション開発	2日	内容の改訂
			旧コースコードおよび名称>> CLJ012 クラウドアプリケーション開発		
● ITサービスマネジメント					
ITサービスマネジメント		ITJ014	（PDU）ITIL®ファンデーション（ITIL®2011対応）（認定試験付） PDU	3日	コース名称変更、 および受講料の改訂
			旧コースコードおよび名称>> ITJ012（PDU）ITIL® ファンデーション（認定試験付） PDU		
● システム基盤					
オープンソースソフトウェア（OSS）		UXJ081	OSSによるWebシステム構築入門−Linux、Apache、PostgreSQL、PHP−	2日	バージョンアップに伴う改訂
			旧コースコードおよび名称>> UXJ028 OSSによるWebシステム構築 −Linux、Apache、PostgreSQL、PHP−		
		UXJ082	OSS-DB PostgreSQL 導入と運用	2日	開催時間の変更
			旧コースコードおよび名称>> UXJ072 OSS-DB PostgreSQL 導入と運用		
Linux		UXJ080	Linuxトラブルシューティング	2日	内容の改訂
			旧コースコードおよび名称>> UXJ062 Linuxトラブルシューティング		
データベース	Oracle	DBD065	Oracle Database 12c 入門 SQL基礎I	3日	開催時間の変更
			旧コースコードおよび名称>> DBD048 Oracle Database 12c 入門 SQL基礎I		
		DBD066	Oracle Database 12c R2 管理クイック・スタート	2日	開催時間の変更
			旧コースコードおよび名称>> DBD060 Oracle Database 12c R2 管理クイック・スタート		
		DBD067	Oracle Database 12c R2 管理ネクスト・ステップ	3日	開催時間の変更
			旧コースコードおよび名称>> DBD061 Oracle Database 12c R2 管理ネクスト・ステップ		
		DBD069	Oracle Database 実例から学ぶ!トラブル・シューティング	1日	開催時間の変更
			旧コースコードおよび名称>> DBD063 Oracle Database 実例から学ぶ!トラブル・シューティング		
		DBD068	Oracle Database 実例から学ぶ!パフォーマンス・チューニング	1日	開催時間の変更
			旧コースコードおよび名称>> DBD062 Oracle Database 実例から学ぶ!パフォーマンス・チューニング		
● IT戦略・IS企画					
IT戦略・IS企画		CTD013	（PDU）エンタープライズ・ビジネスアナリシス PDU	2日	受講料の改訂、 および開催時間の変更
			旧コースコードおよび名称>> CTJ062（PDU）エンタープライズ・ビジネスアナリシス PDU		
		CTJ069	（PDU）プロジェクトマネジメントにおけるベンダーマネジメント PDU	2日	コース名称、 および開催時間の変更
			旧コースコードおよび名称>> CTJ037（PDU）SEのためのベンダーマネジメント PDU		
● システム開発					
要件定義／設計		SPJ071	システムのニーズ分析	2日	開催時間の変更
			旧コースコードおよび名称>> SPJ037 システムのニーズ分析		
		CLJ019	クラウドコンピューティングで読み解くITサービスの最新動向	0.5日	内容の改訂
			旧コースコードおよび名称>> SPJ040 クラウドコンピューティングで読み解くITサービスの最新動向		
プログラミング	Java	OJJ034	Javaによるデータベースプログラミング	2日	内容の改訂
			旧コースコードおよび名称>> OJJ026 Javaによるデータベース・プログラミング		
		OJJ033	Javaによる保守開発のためのリファクタリング	1日	日数の変更、 および受講料の改訂
			旧コースコードおよび名称>> OJJ028 Javaによる保守開発のためのリファクタリング		
	VB/VC#	VBJ039	ASP.NET WebFormを利用したWebアプリケーション開発	2日	内容の改訂
			旧コースコードおよび名称>> VBJ037 ASP.NETプログラミング		
	Web関連技術	NWE032	<eラーニング>Webシステム入門	6時間	受講料の改訂、 およびナビ機能付きから 従来型へ変更
			旧コースコードおよび名称>> NWE711 <eラーニング>【ナビ機能付き】Webシステム入門		
	スマートデバイス	NWJ150	体験! Androidアプリケーションの開発−Kotlinを利用して−	1日	コース名称変更、 および内容の改訂
			旧コースコードおよび名称>> NWJ135 体験! Androidアプリケーションの開発		
● プロジェクトマネジメント					
プロジェクトマネジメント		PMJ072	（PDU）プロジェクトマネジメント仮想体験講座 PDU	2日	開催時間の変更
			旧コースコードおよび名称>> PMJ038（PDU）プロジェクトマネジメント仮想体験講座 PDU		

※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています。
PDU：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。

分野	コースコード	コース名	日数※	改訂のポイント
プロジェクトマネジメント	PMJ076	(PDU)ケースメソッドによるPM判断・行動力強化 −複数ケースを短期間で学びPM力向上− PDU 旧コースコードおよび名称>> PMJ059 (PDU)ケースメソッドによるPM判断・行動力強化 −複数ケースを短期間で学びPM力向上− PDU	1日	開催時間の変更
	PMJ077	(PDU)ケースメソッドによるPM判断・行動力強化(上流工程編) −PJの成功・失敗分岐点を学ぶ− PDU 旧コースコードおよび名称>> PMJ062 (PDU)ケースメソッドによるPM判断・行動力強化(上流工程編) −PJの成功・失敗分岐点を学ぶ− PDU	1日	開催時間の変更
	PMJ078	(PDU)トラブルプロジェクトのアセスメント PDU 旧コースコードおよび名称>> PMJ040 (PDU)トラブルプロジェクトのアセスメント PDU	2日	開催時間の変更
	PMJ073	(PDU)プロジェクトの敵を味方にするステークホルダーマネジメント PDU 旧コースコードおよび名称>> PMJ060 (PDU)プロジェクトの敵を味方にする ステークホルダーマネジメント PDU	1日	開催時間の変更
	PMJ074	(PDU)プロジェクト・マネージャ・コンピテンシ指向トレーニング(PMCOT) −プロジェクト・マネージャに必要な行動・思考の気付きと振り返り− PDU 旧コースコードおよび名称>> PMJ069 (PDU)プロジェクト・マネージャ・コンピテンシ指向トレーニング(PMCOT) −プロジェクト・マネージャに必要な行動・思考の気付きと振り返り− PDU	2日	開催時間の変更
	PMJ080	(PDU)プロジェクト・ポートフォリオ・マネジメント −プロジェクトの横断的な把握、経営資源の効果的な配分のために− PDU 旧コースコードおよび名称>> PMJ042 (PDU)プロジェクト・ポートフォリオ・マネジメント −プロジェクトの横断的な把握、経営資源の効果的な配分のために− PDU	2日	開催時間の変更
	PMJ081	(PDU)プロジェクトマネジメントの契約・調達マネジメント PDU 旧コースコードおよび名称>> PMJ048 (PDU)プロジェクトマネジメントの 契約・調達マネジメント PDU	2日	開催時間の変更
	PMJ082	(PDU)プロジェクトマネージャのためのファイナンシャルマネジメント PDU 旧コースコードおよび名称>> PMJ039 (PDU)プロジェクトマネージャのための ファイナンシャルマネジメント PDU	2日	開催時間の変更
	PMD019	(PDU)プロジェクトマネジメントの要求マネジメント PDU 旧コースコードおよび名称>> PMJ041 (PDU)プロジェクトマネジメントの要求マネジメント PDU	2日	受講料の改訂、 および開催時間の変更
	PMJ083	(PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー PDU 旧コースコードおよび名称>> PMJ063 (PDU) PMBOK®ガイド第6版セミナー PDU	2日	開催時間の変更
	PMJ084	(PDU) PMBOK®ガイド第5版と第6版の差分講座−半日でわかる第6版− PDU 旧コースコードおよび名称>> PMJ064 (PDU) PMBOK®ガイド第5版と第6版の差分講座 −半日でわかる第6版− PDU	0.5日	開催時間の変更
	PMJ075	(PDU)マネージャのための 1日でわかるアジャイル・プロジェクトマネジメントの効用 PDU 旧コースコードおよび名称>> PMJ061 (PDU)マネージャのための 1日でわかるアジャイル・プロジェクトマネジメントの効用 PDU	1日	開催時間の変更
	PMD017	(PDU) PRINCE2®ファンデーション(認定試験付き) PDU 旧コースコードおよび名称>> PMD014 (PDU) PRINCE2®ファンデーション(認定試験付き) PDU	3日	受講料の改訂
	PMD018	(PDU) PRINCE2®プラクティショナ(認定試験付き) PDU 旧コースコードおよび名称>> PMD015 (PDU) PRINCE2®プラクティショナ(認定試験付き) PDU	2日	受講料の改訂
● ビジネス／ヒューマン				
ビジネス／ヒューマン コミュニケーション	HSJ212	(PDU)ストラクチャード・コミュニケーション −会議を空中戦にせず、図で共有する・伝える・理解する・考える− PDU 旧コースコードおよび名称>> HSJ174 (PDU)ストラクチャード・コミュニケーション −会議を空中戦にせず、図で共有する・伝える・理解する・考える− PDU	1日	受講料の改訂、 および開催時間の変更
ビジネス／ヒューマン マネジメント／リーダシップ	HSJ214	コーチング基礎−ケース動画で実感が高まる!− 旧コースコードおよび名称>> HSJ206 コーチング基礎−VR体験で実感が高まる!− PDU	1日	コース名称変更

※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています。
PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

廃止コース

新設コースの実施や大幅な内容改訂を図り、ニーズの高いコース・お役に立てるコースの充実に努めております。
そのため、大変ご迷惑をお掛けしますが、次のコースを廃止とさせていただきます。なお、下記廃止コースのうち、内容が同等または類似のコースがある場合は、廃止コース名の下段に対象のコース名をご紹介します。
コースの詳細は日立アカデミーのWebサイトをご覧ください。

分野	コースコード	コース名	日数※
● デジタルトランスフォーメーション			
プロトタイピング価値検証(分析モデル構築) ツールを活用した分析	OAJ048	Excelによるデータ可視化−Excelでビジュアルに強くなる−	1日
	HSJ162	BI・マイニング事例で学ぶデータ分析提案の進め方 >>同等または類似のコースコードおよび名称>>HSJ211 BI活用事例に学ぶ分析提案の進め方 DBJ124 テキストマイニング入門−プログラミングレスで学ぶテキストデータ分析の勘所−	2日
	DBJ115	データビジュアライゼーション実装　地図上への可視化編	1日
	DBJ116	データビジュアライゼーション実装　ネットワーク構造の可視化編	1日
● クラウド / サーバ仮想化			
クラウド / サーバ仮想化	CLD006	Systems Operations on AWS	3日
● システム基盤			
Microsoft	MSJ042	Windows Server 2016管理概説 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> MSJ052 Wnidows Server 2019管理概説	2日
	MSJ045	実践! Active Directoryの基礎−Windows Server 2016編− >>同等または類似のコースコードおよび名称>> MSJ053 実践! Active Directoryの基礎	2日
	MSJ048	実践! Windows Server 2016によるインフラ構築演習−Windows Server 2016編−	2日
	MSJ049	【短縮版】Windows Server 2016のセキュリティ	2日
	OAE026	<eラーニング>SharePointによる社内ポータル作成入門	3時間
ネットワーク	NWJ148	インターネットプロトコル(DNS、メール、HTTP)解説とサーバ構築	2日
	NWJ109	無線LAN環境構築	2日
	NWE708	<eラーニング>【ナビ機能付き】Software Defined Networking(SDN)概説−ネットワーク仮想化−	4時間
	NWE712	<eラーニング>【ナビ機能付き】基礎から学ぶネットワーク運用管理	12時間
データベース Oracle	DBE029	<eラーニング>資格試験準備セミナー：ORACLE MASTER Bronze 12c(受験チケット付)	7時間
	DBE030	<eラーニング>資格試験準備セミナー：ORACLE MASTER Silver 12c(受験チケット付)	7時間
	DBE031	<eラーニング>資格試験準備セミナー：ORACLE MASTER Gold 12c(受験チケット付)	7時間
● IT戦略・IS企画			
IT戦略・IS企画	HSJ017	(PDU) IT戦略の立案−IT-BSCの活用による− PDU	1日
	CTJ059	(PDU)ビジネスアナリシスの基礎 PDU >>同等または類似のコースコードおよび名称>> CTJ068 (PDU) BABOK® で学ぶビジネスアナリシスの基礎 PDU	2日
	CTJ060	(PDU)要求の引き出しとマネジメント PDU	2日
	CTJ064	業務参照モデルを利用したバリューチェーンの紐解き方	1日
	CTJ063	ビジネスアナリシス体験−源流と超上流をつなげる−	1日
● グローバル			
グローバル	GBJ008	(PDU)情理と論理のグローバルコミュニケーション−日本文化に根ざし、人間力で考える戦略思考− PDU	1日

開催コース／スケジュール一覧

日立製品（コースコード末尾に「T」を表示しているコースは「試験付」です。「試験」は研修終了後に実施します。）

JP1（掲載ページ：P. 56 ～）

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
JPJ277		JP1操作入門	¥44,000	1日	マシン実習	東京（大森）		10	11	29	26		−
JPJ278 (JPJ278T)		JP1エンジニア −機能概説−	¥44,000 (¥50,600)	1日	レクチャ	東京（大森）	12	9	10	28	25		−
JPJ279		JP1プロフェッショナル 統合管理 1 −システム監視−	¥110,000	2日	マシン実習	東京（大森）		16~17	15~16	18~19		9~10	−
						大阪					25~26		−
JPJ280 (JPJ280T)		JP1プロフェッショナル 統合管理 2 −システム設定−	¥110,000 (¥118,800)	2日	マシン実習	東京（大森）		18~19	17~18	20~21		11~12	−
JPJ281 (JPJ281T)		JP1プロフェッショナル 統合管理 セットコース	¥198,000 (¥206,800)	4日	マシン実習	東京（大森）		16~19	15~18	18~21		9~12	−
JPJ304	New	JP1プロフェッショナル 統合管理3 −インテリジェント統合管理基盤−	¥55,000	1日	マシン実習	東京（大森）		20		22			−
JPE326		<eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル 統合管理1 −システム監視−	¥110,000	12時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は21日間です
JPE327		<eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル 統合管理2 −システム設定−	¥110,000	12時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は21日間です
JPJ282 (JPJ282T)		JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理	¥110,000 (¥118,800)	2日	マシン実習	東京（大森）		16~17		18~19		11~12	−
JPE328	New	<eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理	¥110,000	12時間	eラーニング	別途ご案内いたします							−
JPJ283		JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 −ジョブ定義・監視−	¥110,000	2日	マシン実習	東京（大森）	13~14, 27~28	10~11, 24~25	8~9, 21~22	12~13, 26~27	4~5, 16~17	2~3, 15~16	−
						大阪		10~11					
						名古屋					2~3		
JPJ284 (JPJ284T)		JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 −システム設定・運用管理−	¥110,000 (¥118,800)	2日	マシン実習	東京（大森）	15~16, 29~30	12~13, 26~27	10~11, 23~24	14~15, 28~29	18~19	4~5, 17~18	−
						大阪		12~13					
						名古屋					4~5		
JPJ285 (JPJ285T)		JP1プロフェッショナル ジョブ管理 セットコース	¥198,000 (¥206,800)	4日	マシン実習	東京（大森）	13~16, 27~30	10~13, 24~27	8~11, 21~24	12~15, 26~29	16~19	2~5, 15~18	−
						大阪		10~13					
						名古屋					2~5		
JPE322		<eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 −ジョブ定義・監視−	¥110,000	12時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は21日間です
JPE323		<eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 −システム設定・運用管理−	¥110,000	12時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は21日間です
JPJ303	New	JP1プロフェッショナル ジョブ管理 −クライアント業務自動化−	¥55,000	1日	マシン実習	東京（大森）				25			−
JPJ286		JP1プロフェッショナル IT運用自動化	¥110,000	2日	マシン実習	東京（大森）			21~22				−
JPJ288		JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1 −ネットワーク管理基盤−	¥110,000	2日	マシン実習	東京（大森）		11~12	21~22		1~2	3~4	−
JPJ289 (JPJ289T)		JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2 −システムリソース管理−	¥55,000 (¥63,800)	1日	マシン実習	東京（大森）		13	23		3	5	−
JPJ290 (JPJ290T)		JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 セットコース	¥143,000 (¥151,800)	3日	マシン実習	東京（大森）		11~13	21~23		1~3	3~5	−
JPJ291		JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 1 −資産管理編−	¥55,000	1日	マシン実習	東京（大森）			14		8		−
JPJ292		JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 2 −セキュリティ管理編−	¥55,000	1日	マシン実習	東京（大森）			15		9		−
JPJ293 (JPJ293T)		JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 3 −配布管理編−	¥55,000 (¥63,800)	1日	マシン実習	東京（大森）			16		10		−
JPJ294 (JPJ294T)		JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 セットコース	¥143,000 (¥151,800)	3日	マシン実習	東京（大森）			14~16		8~10		−
JPJ295 (JPJ295T)		JP1プロフェッショナル セキュリティ管理	¥55,000 (¥63,800)	1日	マシン実習	東京（大森）				29			−
JPJ287 (JPJ287T)		JP1プロフェッショナル バックアップ管理	¥55,000 (¥63,800)	1日	マシン実習	東京（大森）				28			−
JPJ296 (JPJ296T)		JP1コンサルタント 統合管理	¥55,000 (¥66,000)	1日	レクチャ	東京（大森）						8	−
JPJ297 (JPJ297T)		JP1コンサルタント パフォーマンス管理	¥55,000 (¥66,000)	1日	レクチャ	東京（大森）						9	−
JPJ298		JP1コンサルタント ジョブ管理 −システム設計編−	¥55,000	1日	レクチャ	東京（大森）				10		11	−
JPJ299 (JPJ299T)		JP1コンサルタント ジョブ管理 −チューニング編−	¥55,000 (¥66,000)	1日	レクチャ	東京（大森）				11		12	−
JPJ301 (JPJ301T)		JP1コンサルタント ネットワーク管理	¥55,000 (¥66,000)	1日	レクチャ	東京（大森）						15	−
JPJ300 (JPJ300T)		JP1コンサルタント 資産・配布管理	¥55,000 (¥66,000)	1日	レクチャ	東京（大森）						10	−
JPJ302		【日立パートナー様 限定コース】 JP1セールスコーディネーター	¥25,300	1日	レクチャ	東京（大森）		5			1		−
JPE016		<eラーニング> JP1機能概説(Version 11)	¥30,800	6時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
JPE017		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/IM管理1 −システム監視−(Version 11)	¥110,000	12時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は21日間です
JPE018		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/IM管理2 −システム設定−(Version 11)	¥110,000	12時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は21日間です
JPE324		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3管理 1 −ジョブ定義・監視−(Version 11)	¥110,000	12時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は21日間です
JPE325		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3管理 2 −システム設定・運用管理−(Version 11)	¥110,000	12時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は21日間です
JPJ102		JP1/AJS3 エキスパート育成講座 −開発編−	¥55,000	1日	マシン実習	東京（大森）				26			−
JPJ103		JP1/AJS3 エキスパート育成講座 −運用編−	¥55,000	1日	マシン実習	東京（大森）				27			−
JPE019		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/PFM(Version 11)	¥110,000	12時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は21日間です
JPE308		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/IM 管理 1 −システム監視−(Version 10)	¥88,000	12時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は21日間です
JPE309		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/IM 管理 2 −システム設定−(Version 10)	¥88,000	12時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は21日間です
JPE310		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/PFM(Version 10)	¥88,000	12時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は21日間です
JPE006		<eラーニング> JP1機能概説(Version 10)	¥28,050	6時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
JPE311		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3 管理 1 −ジョブ定義・監視−(Version 10)	¥88,000	12時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は21日間です
JPE312		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3 管理 2 −システム設定・運用管理−(Version 10)	¥88,000	12時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は21日間です

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません

PDU：PMP® 資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。

学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P. 55）を参照ください。

※2020年6月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

uCosminexus Application Server（掲載ページ：P. 72 ～）

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
CSE302		<eラーニング>【マシン演習付き】 uCosminexus Application Server 入門 －構築基礎－	¥33,000	6時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は21日間です
CSE303		<eラーニング>【マシン演習付き】 uCosminexus Application Server 実践1 －設計・構築－	¥88,000	12時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は21日間です
CSE304		<eラーニング>【マシン演習付き】 uCosminexus Application Server 実践2 －トラブルシュート－	¥44,000	6時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は21日間です
CSE001		<eラーニング> uCosminexus Application Server 実践3 －性能設計・性能対策－	¥33,550	6時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります

※下記集合研修のコースについてお問い合わせがある場合は、日立オープンミドルウエア技術者認定センターまでご連絡願います。
「CSJ017 uCosminexus Application Server入門－構築基礎－」
「CSJ018 uCosminexus Application Server実践1－設計・構築－」

【日立オープンミドルウエア技術者認定センター問い合わせ窓口】
https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/it/soft/cert_contact/form.jsp

HiRDB（掲載ページ：P. 74 ～）

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
DBJ064		HiRDB入門 －データベース構築編－	¥33,000	1日	マシン実習	東京（大森）		9		12			－
DBE338		<eラーニング>【ナビ機能付き】【マシン演習付き】 HiRDB入門－データベース構築編－	¥33,000	7時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は21日間です
DBE307		<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDB入門 －GUIによる構築・運用・チューニング操作体験編－	¥33,000	7時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は21日間です
DBE015		<eラーニング> HiRDB機能解説	¥26,950	7時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBJ092		HiRDBデータベース管理	¥66,000	2日	マシン実習	東京（大森）			1~2		4~5		－
DBE305		<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDBデータベース管理	¥66,000	12時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は21日間です
DBE306		<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDB アプリケーションプログラミング	¥33,000	6時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は21日間です
DBE026		<eラーニング> HiRDBデータベースチューニング	¥30,800	6.5時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBE318		<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDB アプリケーションチューニング	¥88,000	13時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は21日間です
DBE330		<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDBバックアップリカバリとクラスタリング	¥88,000	12時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は21日間です
DBE329		<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDBパラレルサーバ構築	¥88,000	13時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は21日間です

OpenTP1（掲載ページ：P. 78 ～）

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
DBJ009		OpenTP1基礎	¥33,000	1日	レクチャ	東京（大森）		24					－
DBE709		<eラーニング>【ナビ機能付き】 OpenTP1基礎	¥20,900	6時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBJ041		OpenTP1の設計と運用 －Server Base編－	¥88,000	2日	マシン実習	東京（大森）			7~8				－
DBE023		<eラーニング> OpenTP1の設計と運用 －MCF編－	¥19,800	6時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBE014		<eラーニング> OpenTP1性能チューニング解説	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります

※2020年6月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「TJ」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

VOS3（掲載ページ：P. 80 ～）

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
VSJ016		VOS3基礎1 －はじめてのメインフレーム－	¥33,000	1日	レクチャ	東京（大森）			14	18			－
VSE003		<eラーニング> VOS3基礎1－はじめてのメインフレーム－	¥18,700	8時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
VSJ015		VOS3基礎2－JCL－	¥61,600	2日	レクチャ	東京（大森）			15~16	19~20			－
VSE004		<eラーニング> VOS3基礎2－JCL－	¥36,300	16時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
VSJ011		VOS3システム解説	¥33,000	1日	レクチャ	東京（大森）			17	21			－
VSJ017		VOS3応用 －VSAMデータセットの活用－	¥33,000	1日	レクチャ	東京（大森）				22			－
VSJ018	休講	VOS3ジョブ管理解説	¥61,600	2日	レクチャ								－

XDM（掲載ページ：P. 83 ～）

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
DBE016		<eラーニング> XDMリレーショナル DB機能と設定 －環境構築編－	¥15,620	4時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBE017		<eラーニング> XDMリレーショナル DB機能と設定 －データベース作成編－	¥15,620	4時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBE018		<eラーニング> XDMリレーショナル DB機能と設定 －運用編－	¥15,620	4時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBJ104	休講	XDMリレーショナル DB機能と設定	¥55,000	2日	レクチャ								－
DBE024		<eラーニング> XDM構造型DB機能と設定	¥55,000	18時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBJ105	休講	XDM構造型DB機能と設定	¥82,500	3日	レクチャ								－
DBE025		<eラーニング> XDM/DCCM3機能解説とシステム運用	¥37,400	12時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBJ103	休講	XDM/DCCM3機能解説とシステム運用	¥55,000	2日	レクチャ								－
DBE028		<eラーニング> XDMシステムの設計と運用	¥78,650	18時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります

Hitachi Advanced Data Binder（掲載ページ：P. 87 ～）

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
DBJ118	休講	Hitachi Advanced Data Binder概説	¥17,600	0.5日	レクチャ								－

日立ストレージ（掲載ページ：P. 88 ～）

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
SPL076	Renewal	日立ストレージ製品概要 －ストレージ基礎・製品紹介編－	¥25,300	1日	レクチャ	東京（大森）		20			17		－
SJE708		<eラーニング>【ナビ機能付き】 ストレージシステム基礎	¥15,400	8時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SPL077	Renewal	日立ストレージハードウェア －ミッドレンジストレージ編－	¥38,500	1日	レクチャ	東京（大森）	30			25		8	－
SPL073		日立ストレージハンズオン －バックアップ編－	¥55,000	1日	マシン実習	東京（大森）		4			4	9	－
SPL074		日立ストレージハンズオン －仮想化編－	¥55,000	1日	マシン実習	東京（大森）		5			5	10	－

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません
PDU：PMP® 資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。
学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P. 55）を参照ください。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
SPL078	Renewal	日立ストレージ機能 －リモートコピー編－	¥38,500	1日	レクチャ	東京（大森）		6				11	－
SPL079	Renewal	日立ストレージ機能 －無停止運用管理編－	¥38,500	1日	レクチャ	東京（大森）						12	－
SPL072		日立ストレージハンズオン －iSCSI活用編－	¥55,000	1日	マシン実習	東京（大森）		17			10		－
SPL075		日立ストレージハンズオン －REST API編－	¥38,500	1日	マシン実習	東京（大森）			18				－

Pentaho（掲載ページ：P. 91 ～）

PTD001		（Pentaho認定）ビジネスアナリティクス ユーザーコンソール	¥110,000	1日	マシン実習	東京（大森）	19						－
PTJ001		Pentahoによるデータの可視化・分析	¥38,500	0.5日	マシン実習	東京（大森）	15	17					－
PTD002		（Pentaho認定）ビジネスアナリティクス レポートデザイナー	¥209,000	2日	マシン実習	東京（大森）	20~21						－
PTD003		（Pentaho認定）ビジネスアナリティクス データモデリング	¥209,000	2日	マシン実習	東京（大森）			7~8				－
PTD004		（Pentaho認定） CToolsの基本	¥209,000	2日	マシン実習	東京（大森）		5~6					－
PTJ002		データ加工・統合入門 －Pentahoを用いて－	¥66,000	1日	マシン実習	東京（大森）	16	18					－
PTD005		（Pentaho認定）データ統合の基本	¥308,000	3日	マシン実習	東京（大森）			23~25				－

デジタルトランスフォーメーション

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日

DXマインド・プロセス・マネジメント（掲載ページ：P. 94 ～）

DXマインド

HSJ163		クリエイティブシンキング	¥44,000	1日	グループ演習	東京（大森）	8, 15	30	18	15, 21	18, 25	2	－

課題分析（何をなすべきかを着想する）（掲載ページ：P. 95 ～）

社会変化からの着想

HSJ207		協創型イノベーション開発手法 （モノとコトを結び新たな顧客価値を創出する）	¥138,600	2日	グループ演習	別途ご案内いたします							－
HSJ208		モノづくり事業をベースとした 高収益サービスの創生法 －Product-Service Systems（PSS）－	¥198,000	3日	グループ演習	別途ご案内いたします							－
HSJ158		イノベーションプロセスを強化する シナリオプランニング	¥49,500	1日	グループ演習	東京（大森）		20		15			－

顧客課題からの着想

HSJ170		イノベーティブ思考 －単なるアイディアで終わらせないための ロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせかた－	¥96,800	2日	グループ演習	東京（大森）		10~11					－

技術からの着想

IOE004		<eラーニング> デジタル時代に必要なIT技術概説	¥19,800	6時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
IOE005	New	<eラーニング> マイクロラーニングで学ぶ!はじめてのIoT	¥17,600	8時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
IOJ001		IoT概説	¥20,900	0.5日	レクチャ	東京（大森） 大阪 名古屋	12, 26	24	15 9	12, 26 26	8		－

※2020年6月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
HSJ175		データ利活用のパターンとビジネス着想	¥28,600	0.5日	レクチャ	東京（大森） 大阪 名古屋 広島		9	1 18		10	3	－
IOJ011		スマートスピーカの最新動向と 社会インフラ適用の可能性	¥40,700	0.5日	レクチャ	東京（大森）			4				－

仮説構築（ビジネスモデルをデザインする）（掲載ページ：P. 98 ～）

ビジネスモデルの構想

HSJ159		顧客価値発見とビジネスモデルのデザイン	¥66,000	2日	グループ演習	東京（大森）	20~21		16~17		3~4		－
HSJ213	Renewal	デジタル時代における成果型サービスのデザイン －ジョブ理論とダブルダイヤモンドフレームワークの活用－	¥38,500	1日	グループ演習	東京（大森）				18			－
HSJ210	Renewal	デジタル時代における顧客接点のデザイン －顧客経験ジャーニーマップの活用－	¥38,500	1日	グループ演習	東京（大森）			1				－
HSJ209	Renewal	デジタル時代における収益モデルのデザイン －KPIツリーによる事業性の評価－	¥38,500	1日	グループ演習	東京（大森）		19					－
HSJ157		システムシンキング基礎 －問題を構成する互いに影響しあう要素の 「つながり」を可視化する－	¥96,800	2日	グループ演習	東京（大森）			7~8	18~19		17~18	－

プロトタイピングと価値検証（共通）（掲載ページ：P. 100 ～）

システムアーキテクチャ

DBJ106		ビッグデータにおけるシステム設計実践 －多様なデータを統合しビッグデータとして活用する－	¥48,125	1日	グループ演習	東京（大森）		19		21			－
IOJ020		「IoTシステム技術検定（基礎検定）」対策講座	¥33,000	1日	レクチャ	東京（大森）	22	9, 16, 30					－
IOJ021		「IoTシステム技術検定（中級）」対策講座	¥92,400	2日	レクチャ	東京（大森） 大阪		12~13, 26~27 16~17					－

ソフトウェアエンジニアリング

SPJ060		体験!最新OSSを活用したDevOps入門 －Lumadaにおけるアプリケーション開発の流れ－	¥44,000	1日	マシン実習	東京（大森） 大阪 名古屋		16			5 1	 3	－
SPJ059		（PDU）実践! DevOpsによるアジャイル開発 －お客様に素早く価値を届けるために－ PDU	¥44,000	1日	マシン実習	東京（大森） 大阪 名古屋		30				 4	－
IOJ016		体験! Node-REDによるIoTシステム入門 －Raspberry Piを使用した風車のリアルタイム 監視から予兆診断まで－	¥41,800	1日	マシン実習	東京（大森）		25	15		2		－
IOJ018		IoTにおけるイベント駆動型システム開発入門 －Hitachi Application Framework/Event Driven Computing（HAF/EDC）による 故障予知診断を例にして－	¥22,000	0.5日	レクチャ	東京（大森）		30		12			－
IOJ017		IoTにおけるイベント駆動型システム開発実践 －Hitachi Application Framework/Event Driven Computing（HAF/EDC）による アプリケーション、システム開発演習を通して－	¥83,600	2日	マシン実習	東京（大森）			9~10		18~19		－
DBJ121	New	NVIDIA JetsonNanoを用いた AIエッジコンピューティングハンズオン －ディープラーニング×Jetbotによる自動走行体験－	¥165,000	2日	マシン実習	別途ご案内いたします							－
IOJ022	New	デジタルビジネスを支えるIoTの理解	¥132,000	3日	マシン実習	東京（大森） 大阪 名古屋 福岡	19~21 14~16		 22~24	20~22	24~26	 16~18	－

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません
PDU：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。
学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P. 55）を参照ください。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
データサイエンス活用計画													
HSJ198		定量分析のスキル	¥82,500	2日	グループ演習	東京（大森）	5~6, 13~14, 15~16, 22~23	12~13, 19~20	1~2, 8~9	19~20, 28~29	9~10, 16~17	3~4	−
						大阪		12~13				4~5	
						名古屋			7~8				
						広島	22~23						
						福岡				21~22			
HSE116		<eラーニング> データ分析手法の理論と適用	¥36,300	14時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSJ109		データ分析手法の理論と適用 −ビジネスにおける統計的手法活用の広がり−	¥82,500	2日	マシン実習	東京（大森）	22~23	19~20					−
						大阪		26~27				17~18	
						名古屋					18~19		
						広島		5~6					
						福岡					9~10		
AIE004		<eラーニング> AIリテラシー−AI技術の概要と活用事例−	¥107,800	20時間	eラーニング	学習開始日	5	2	7	4	1	1	サービス有効期間は30日間です

プロトタイピングと価値検証（データ環境構築）（掲載ページ：P. 104 ～）

データ収集・統合・加工													
IOE002		<eラーニング> IoT技術解説 セキュリティ編	¥12,100	3時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
IOE003		<eラーニング> IoT技術解説 IoTネットワーク編	¥12,100	3時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
IOJ019		IoT技術解説 5G編	¥28,600	0.5日	レクチャ	東京（大森）			18			1	−
						大阪						5	
						名古屋						24	
データ蓄積													
CLJ015		Hadoop入門 −HBaseとSparkハンズオン−	¥57,750	1.5日	マシン実習	東京（大森）	29~30		3~4				−
DBE706		<eラーニング>【ナビ機能付き】 データウェアハウス概説	¥22,000	6時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBE705		<eラーニング>【ナビ機能付き】 データウェアハウスにおけるデータモデリング解説	¥22,000	6時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります

プロトタイピングと価値検証（分析モデル構築）（掲載ページ：P. 106 ～）

ツールを活用した分析													
DBJ110		NVIDIA Deep Learning Institute（DLI）認定コース 1日でできるディープラーニング−画像認識入門−	¥88,000	1日	マシン実習	東京（大森）	16	9	14	27	24		−
DBE040		<eラーニング> 機械学習 基礎知識編 −初めてでもOK！データ分析を身近に−	¥39,600	9時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBJ120		機械学習 ケーススタディで学ぶ実践編 −製造物の種類判別と生産設備の故障予兆−	¥108,900	2日	マシン実習	東京（大森）	13~14		8~9	21~22			−
DBJ111		試行錯誤から学ぶ! Rによるデータ可視化のハンズオン	¥38,500	1日	マシン実習	東京（大森）						8	−
						大阪		10					
DBJ112		試行錯誤から学ぶ!統計理論抜きで学ぶ Rによる統計的手法のハンズオン	¥38,500	1日	マシン実習	東京（大森）		18		20			−
						大阪						10	
OAJ049		Excelによる問題解決のためのデータ分析	¥37,400	1日	マシン実習	東京（大森）			15			16	−
						大阪					2		
DBE039		<eラーニング>【スキル定着】 Rでのデータ可視化 −オープン環境を活用した実装力の磨き方−	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSJ211	New	BI活用事例に学ぶ分析提案の進め方	¥59,400	1日	マシン実習	東京（大森）			16	15		12	−

※2020年6月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
DBJ124	New	テキストマイニング入門 −プログラミングレスで学ぶテキストデータ分析の勘所−	¥41,250	1日	マシン実習	東京（大森）					16	16	−
DBD058		SQLによる集計・分析 −分析の基本的なプロセスを修得し、自社DBデータの活用へ−	¥132,000	1.5日	マシン実習	別途ご案内いたします							−
DBD057		Rによる統計解析 −分析結果を統計的に正しく理解し、次の意思決定に向けた提案へ−	¥220,000	2.5日	マシン実習	別途ご案内いたします							−
DBJ107		0から始めるPython入門 −データ分析での活用をテーマとして−	¥77,000	2日	マシン実習	東京（大森）		9~10, 24~25	3~4, 16~17	28~29	25~26	11~12	−
						大阪				28~29			
						名古屋			17~18				
						広島			9~10				
DBE038		<eラーニング>【スキル定着】 Pythonでのデータ可視化 −オープン環境を活用した実装力の磨き方−	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBJ088		体感!機械学習 −ビッグデータ時代のシステムを支える技術−	¥44,000	1日	マシン実習	東京（大森）	28	13	22	12	15	17	−
						大阪						23	
						名古屋		9					
						広島			11				
						福岡					17		
DBD064	Renewal	機械学習による問題解決実践 −機械学習で大量データを分析し、データからビジネス価値を創出−	¥242,000	2日	グループ演習	別途ご案内いたします							−
DBJ100		データビジュアライゼーション基礎	¥53,900	1日	マシン実習	東京（大森）	21		11				−
AIE001		<eラーニング> AIエンジニアリング入門(1) −機械学習の理論と実践−	¥217,800	70時間	eラーニング	学習開始日	5	2	7	4	1	1	サービス有効期間は60日間です
AIE002		<eラーニング> AIエンジニアリング入門(2) −深層学習の理論と実践−	¥107,800	34時間	eラーニング	学習開始日	5	2	7	4	1	1	サービス有効期間は30日間です
AIE003		<eラーニング> 日本ディープラーニング協会（JDLA） E資格取得対策講座	¥107,800	40時間	eラーニング	学習開始日	5	2	7	4	1	1	サービス有効期間は60日間です

RPA

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
RPA（掲載ページ：P. 111 ～）													
RPJ007	Renewal	RPA入門 −概説と操作体験（Automation Anywhere）−	¥66,000	1日	マシン実習	東京（大森）	26	24		8	9		−
						大阪		27					
						名古屋				19			
RPD002	Renewal	Automation Anywhere認定 RPAトレーニング（Mastering Bots：V11）	¥231,000	3日	マシン実習	東京（大森）		25~27		13~15		16~18	−
						大阪				6~8			
RPD003	New	Automation Anywhere認定 RPAトレーニング（Mastering Bots：A2019）	¥231,000	3日	マシン実習	東京（大森）		10~12			1~3		−
RPJ005		Automation Anywhereにおける ロボット開発の勘所	¥38,500	0.5日	レクチャ	東京（大森）		4					−
RPJ006		IQ Botトレーニング −Automation Anywhere−	¥77,000	1日	マシン実習	東京（大森）			4				−
RPJ002		UiPath公式速習プログラム入門 −基本操作ハンズオン−	¥49,500	1日	マシン実習	東京（大森）	4		9		8		−
						大阪					10		
						名古屋					26		
RPJ003		UiPath公式速習プログラム実践 −業務プロセス定義書・ワークフロー開発−	¥99,000	2日	マシン実習	東京（大森）		5~6	10~11		15~16		−
						大阪						17~18	

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません
PDU：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。
学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P. 55）を参照ください。

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶https://www.hitachi-ac.co.jp/

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
RPJ004		RPA入門 −概説と操作演習（BizRobo !）	¥77,000	1日	マシン実習	東京（大森）			1, 22				−
RPJ008	New	RPA入門 −概説と基本操作（Blue Prism）−	¥132,000	2日	マシン実習	東京（大森）	22~23		17~18				−

クラウド / サーバ仮想化

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
クラウド / サーバ仮想化（掲載ページ：P. 114 ～）													
CLE703		<eラーニング>【ナビ機能付き】 ストレージ関連者向けサーバ仮想化技術概説	¥9,900	3時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CLJ005		実機で学ぶ! サーバ仮想化入門 −VMware vSphere、Microsoft Hyper-V、KVM−	¥38,500	1日	マシン実習	東京（大森）			8, 22	19			−
CLJ016		実機で学ぶデスクトップ仮想化入門 −Citrix Virtual Apps and DesktopsとVMware vSphere−	¥38,500	1日	マシン実習	東京（大森）		4	1	15	19		−
CLJ014		実機で学ぶ!クラウドコンピューティング入門	¥38,500	1日	マシン実習	東京（大森）		30		7	26		−
CLE704		<eラーニング>【ナビ機能付き】 デスクトップ仮想化概説	¥12,100	4時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
UXE003		<eラーニング> クラウドコンピューティング入門	¥7,700	4時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CLE002		<eラーニング> Cloud beginnerのためのインフラストラクチャ基礎	¥19,800	6時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CLJ003		クラウドコンピューティング技術解説	¥38,500	1日	レクチャ	東京（大森）	16					12	−
CLJ017	Renewal	クラウドアプリケーション開発	¥82,500	2日	マシン実習	東京（大森）		9~10			25~26		−
CLD001		事業と技術の観点から検討するクラウドへの移行と管理 −Cloud Essentials−	¥121,000	2日	グループ演習	東京（大森）				12~13		15~16	−
CLJ011		Microsoft Azure概説	¥38,500	1日	マシン実習	東京（大森） 大阪 名古屋	16		11	 14 8	16		−
CLJ018	New	Microsoft Azureを利用したIoT+AI入門 -サービス概要から操作体験-	¥44,000	1日	マシン実習	東京（大森）					5	18	−
CLJ009		Microsoft Azureを用いたWebアプリ開発入門	¥38,500	1日	マシン実習	東京（大森）		25					−
CLD014	New	【短縮版】Microsoft Azure Administrator	¥198,000	3日	マシン実習	東京（大森）				20~22		3~5	−
CLD010		AWS Technical Essentials	¥154,000	2日	マシン実習	東京（大森）	8~9	19~20	17~18	18~19	8~9	4~5	−
CLD012		Architecting on AWS	¥231,000	3日	マシン実習	東京（大森）	19~21	4~6	21~23	25~27	24~26	16~18	−
CLD013		Developing on AWS	¥231,000	3日	マシン実習	東京（大森）	28~30						−
VMJ007		VMware vSphere システム構築実習[V6.7] −実装編−	¥110,000	2日	マシン実習	東京（大森）	26~27		10~11	12~13		15~16	−
VMD010		VMware vSphere: Install, Configure, Manage[V6.7]	¥544,500	5日	マシン実習	東京（大森）		16~20		25~29		1~5	−

ITサービスマネジメント

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
ITサービスマネジメント（掲載ページ：P. 121 ～）													
ITE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】 運用管理概説	¥20,900	6時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
ITJ008		情報システム運用入門 −運用からITサービスへ−	¥33,000	1日	グループ演習	東京（大森）				18			−
ITJ014	Renewal	（PDU）ITIL®ファンデーション（ITIL®2011対応） （認定試験付）PDU	¥174,900	3日	レクチャ	別途ご案内いたします							−
ITJ013	New	（PDU）ITIL®4ファンデーション（認定試験付） PDU	¥198,000	3日	レクチャ	東京（大森）	28~30	4~6					−
ITE006		<eラーニング> SLAにおけるサービスレベル設計の基礎	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
ITJ009		IT運用におけるヒューマンエラー予防	¥44,000	1日	グループ演習	東京（大森） 大阪	6	2	23	25	8 10		−
ITJ004		システム運用の現状分析・設計力養成ワークショップ	¥83,600	2日	グループ演習	東京（大森）	8~9						−

システム基盤

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
IT基本（掲載ページ：P. 125 ～）													
SJJ009		コンピュータ基礎	¥132,000	5日	レクチャ	東京（大森）	5~9						−
SJE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】 コンピュータ基礎−ハードウェア編−	¥19,800	8時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SJE702		<eラーニング>【ナビ機能付き】 コンピュータ基礎−ソフトウェア編−	¥19,800	8時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SJE703		<eラーニング>【ナビ機能付き】 コンピュータ基礎−情報の基礎理論編−	¥9,900	4時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SJE704		<eラーニング>【ナビ機能付き】 コンピュータ基礎−情報システム編−	¥9,900	4時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SJJ030		アプリケーション開発者のための文字コード入門 −アプリケーションの文字化けを防ぐ−	¥33,000	1日	マシン実習	東京（大森）	16						−
ESE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】 組込みシステムとは	¥20,900	7時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
オープンソースソフトウェア（OSS）（掲載ページ：P. 128 ～）													
UXE004		<eラーニング> オープンソースソフトウェア（OSS）概説	¥9,900	3時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
UXJ077		Linuxで実現! Zabbixによるシステム監視	¥44,000	1日	マシン実習	東京（大森）	26				1		−
UXJ079		Linuxにおけるコンテナ環境の使い方 −DockerとKubernetes編−	¥44,000	1日	マシン実習	東京（大森）	28			29		12	−
UXE005	New	<eラーニング> Hyperledger Fabric基礎	¥36,300	35時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
UXE006	New	<eラーニング> Kubernetes基礎	¥36,300	35時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
UXJ081	Renewal	OSSによるWebシステム構築入門 −Linux、Apache、PostgreSQL、PHP−	¥77,000	2日	マシン実習	東京（大森）		4~5		26~27			−
UXJ082	Renewal	OSS-DB PostgreSQL 導入と運用	¥88,000	2日	マシン実習	東京（大森）						10~11	−

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。

学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P. 55）を参照ください。

※2020年6月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
Linux（掲載ページ：P. 132 ～）													
UXJ078		UNIX/Linux 基礎 −コマンド編−	¥66,000	2日	マシン実習	東京（大森）		10~11			9~10		−
UXJ049		UNIX/Linux 基礎 −シェルスクリプト編−	¥66,000	2日	マシン実習	東京（大森）		12~13	10~11	14~15		1~2	−
UXE303		<eラーニング>【ナビ機能付き】【マシン演習付き】 UNIX/Linux基本使用法	¥38,500	8時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は21日間です
UXJ029		Linuxシステム管理 前編 −Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎−	¥77,000	2日	マシン実習	東京（大森）	20~21	17~18	15~16		18~19	8~9	−
UXJ030		Linuxシステム管理 後編 −システム起動の仕組みとディスク管理技術−	¥77,000	2日	マシン実習	東京（大森）	22~23	19~20	17~18		24~25		−
UXJ080	Renewal	Linuxトラブルシューティング	¥88,000	2日	マシン実習	東京（大森）			3~4		15~16		−
UXJ063		Linuxで実現! セキュリティ対策手法の解説と要塞化実習	¥82,500	2日	マシン実習	東京（大森）				21~22			−
Microsoft（掲載ページ：P. 135 ～）													
MSJ051		ここが新しい! Windows Server 2019新機能	¥44,000	1日	マシン実習	東京（大森）		17		29			−
MSJ052		Wnidows Server 2019管理概説	¥82,500	2日	マシン実習	東京（大森）		19~20		25~26		8~9	−
						大阪		19~20					
						名古屋	19~20						
MSJ053	New	実践! Active Directoryの基礎	¥82,500	2日	マシン実習	東京（大森）			17~18			11~12	−
						大阪					9~10		
						名古屋				21~22			
						福岡						11~12	
MSE306		<eラーニング>【ナビ機能付き】【マシン演習付き】 Windows Server 2016管理概説	¥82,500	13時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は21日間です
MSE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】 Active Directoryの基礎 −Windows Server 2016編−	¥22,000	6時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
MSE307		<演習環境> Active Directoryの基礎 −Windows Server 2016編−	¥22,000	4時間		学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は21日間です
SCE707		<eラーニング>【ナビ機能付き】 グループポリシーを使用したセキュリティ強化 −Windows Server 2016編−	¥9,900	4時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
MSE308		<演習環境> グループポリシーを使用したセキュリティ強化 −Windows Server 2016編−	¥22,000	4時間		学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は21日間です
MSJ047		実践! Windows PowerShellを用いた システム管理の効率化 −Windows Server 2016編−	¥38,500	1日	マシン実習	東京（大森）		10			24		−
CLJ010		実践!Hyper−Vのインストールから可用性向上まで −Windows Server 2016編−	¥38,500	1日	マシン実習	東京（大森）			4				−
						大阪				15			
						名古屋			1				
ネットワーク（掲載ページ：P. 139 ～）													
NWJ103		ネットワーク基礎	¥55,000	2日	レクチャ	東京（大森）		5~6	2~3	13~14	9~10		−
						大阪	22~23						
						名古屋		5~6					
						広島			1~2				
						福岡	29~30						
NWE706		<eラーニング>【ナビ機能付き】 ネットワーク基礎 I −イーサネットの仕組み−	¥41,800	12時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWE707		<eラーニング>【ナビ機能付き】 ネットワーク基礎 II −TCP/IPの仕組み−	¥41,800	12時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWE715		<eラーニング>【ナビ機能付き】 LANの技術 −高可用ネットワーク−	¥22,000	8時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWE714		<eラーニング>【ナビ機能付き】 TCP/IP機能概説 −ルーティング編−	¥22,000	8時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWJ099		TCP/IPプロトコル解析	¥77,000	2日	マシン実習	東京（大森）		12~13	23~24			16~17	−
						大阪					9~10		
NWE717		<eラーニング>【ナビ機能付き】 WANの技術 −VPNサービスへの変遷−	¥22,000	8時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWE001		<eラーニング> インターネット技術入門	¥16,500	6時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWE028		<eラーニング> ネットワーク設計基礎	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWJ146		ネットワーク設計基礎と演習	¥38,500	1日	グループ演習	東京（大森）		5		12			−
						大阪		20					
						名古屋			14				
NWJ147		ネットワークインフラ構築 −基礎編−	¥38,500	1日	マシン実習	東京（大森）	27	30	4	22	8	3	−
						大阪		6					
						名古屋			2				
						広島				15			
						福岡		20					
NWJ138		ネットワークインフラ構築 −ルータ編−	¥77,000	2日	マシン実習	東京（大森）				26~27		11~12	−
NWJ133		ネットワークインフラ構築 −スイッチ編−	¥81,400	2日	マシン実習	東京（大森）			10~11		4~5		−
NWJ120		ネットワークインフラ構築 −冗長化・負荷分散編−	¥81,400	2日	マシン実習	東京（大森）			17~18			8~9	−
NWE703		<eラーニング>【ナビ機能付き】 IPv6の基礎と移行技術	¥41,800	12時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWJ084		ネットワークトラブル解決	¥81,400	2日	マシン実習	東京（大森）		19~20	7~8		25~26	2~3	−
						大阪				28~29			
						福岡						11~12	
NWE704		<eラーニング>【ナビ機能付き】 ネットワーク管理解説	¥22,000	6時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
ハードウェア（掲載ページ：P. 145 ～）													
SJE705		<eラーニング>【ナビ機能付き】 SAN概説	¥22,000	5時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SJE016		<eラーニング> Fibre Channel概説 −日立ストレージ・ホストの接続を理解するために−	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SJE028		<eラーニング> SCSI入門 −ストレージインタフェースを理解するために−	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SJE018		<eラーニング> SAS（Serial Attached SCSI）入門 −ストレージインタフェースを理解するために−	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SJE017		<eラーニング> SATA入門	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません

PDU：PMP® 資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。

学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P. 55）を参照ください。

※2020年6月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
セキュリティ（掲載ページ：P. 147 ～）													
情報セキュリティ													
SCE708		<eラーニング>【ナビ機能付き】 情報セキュリティリテラシー −セキュリティの必要性と対策−	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SCJ052		情報セキュリティ基礎 −セキュリティ全体を俯瞰する−	¥44,000	1日	レクチャ	東京（大森）		24				3	−
						大阪						4	
						名古屋		10					
						広島			17				
SCJ041		セキュリティ最新動向	¥30,800	0.5日	レクチャ	東京（大森）		12		8		11	−
SCE706		<eラーニング>【ナビ機能付き】 情報セキュリティマネジメント概説 −セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度−	¥22,000	8時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SCJ048		セキュリティリスク分析 −IPA「制御システムのセキュリティリスク分析ガイド」解説−	¥55,000	1日	グループ演習	東京（大森）				26			−
SCJ047		ケーススタディから学ぶ 情報セキュリティリスクマネジメント	¥44,000	1日	グループ演習	東京（大森）	16	11		12		15	−
SCJ038		情報セキュリティマネジメント運用	¥44,000	1日	グループ演習	東京（大森）					1		−
SCJ039		情報セキュリティマネジメントの評価と改善	¥44,000	1日	グループ演習	東京（大森）					2		−
SCE011		<eラーニング> サイバー攻撃対応基礎（知識修得編）	¥11,000	3時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SCJ053		サイバー攻撃対応コミュニケーション訓練 （ITシステム編）	¥28,600	0.5日	グループ演習	東京（大森）			17		8		−
						大阪				15			
						名古屋			11				
						広島						5	
						福岡					8		
セキュリティ技術													
SCE703		<eラーニング>【ナビ機能付き】 情報技術者に求められるセキュリティの基礎 −要素技術（暗号、認証）編−	¥20,900	6時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SCE705		<eラーニング>【ナビ機能付き】 情報技術者に求められるセキュリティの基礎 −ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編−	¥20,900	6時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SCJ051		ネットワークセキュリティ対策実習 −FW/IDS/PKI−	¥77,000	2日	マシン実習	東京（大森）	22~23		7~8		15~16	11~12	−
						大阪			17~18				
						名古屋			3~4				
						広島					18~19		
						福岡				28~29			
SCE704		<eラーニング>【ナビ機能付き】 データベースセキュリティ概説	¥12,100	4時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SCD001		CEH（Certified Ethical Hacker）	¥547,800	5日	マシン実習	オーダー研修での開催をご希望の方は、お問い合わせください							−
データベース（掲載ページ：P. 154 ～）													
共通													
DBJ045		データベース入門 −解説と操作体験−	¥33,000	1日	マシン実習	東京（大森）		4	1	13	24		−
						大阪	7						
						名古屋		16					
						広島				22			
						福岡			25				

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
DBE711		<eラーニング>【ナビ機能付き】 データベース基礎	¥20,900	8時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBJ063		基礎から学ぶSQL −現場で使える力をつける−	¥66,000	2日	マシン実習	東京（大森）	19~20		3~4		15~16		−
						大阪	8~9						
						名古屋				13~14			
DBE703		<eラーニング>【ナビ機能付き】 SQL入門	¥19,800	8時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBJ055		速習! 1日でわかるデータベース設計の基礎	¥33,000	1日	レクチャ	東京（大森）	7		14	28			−
						名古屋		17					
DBE710		<eラーニング>【ナビ機能付き】 データベース概説 −入門・設計・SQL編−	¥39,600	12時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBE708		<eラーニング>【ナビ機能付き】 速習! 1日でわかるデータベース設計の基礎	¥30,250	6時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBJ054		データベース設計技法と演習	¥72,600	2日	レクチャ	東京（大森）	22~23		21~22			8~9	−
						大阪			17~18				
						名古屋				18~19			
DBE707		<eラーニング>【ナビ機能付き】 データベース設計基礎	¥22,000	6時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
DBE304		<eラーニング>【マシン演習付き】 SQLによる標準データベースプログラミング −体感!埋め込みSQL−	¥33,000	6時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は21日間です
DBJ067		脱初心者のためのSQL −SQLでここまでできる−	¥44,000	1日	マシン実習	東京（大森）		19			8		−
DBJ090		データ分析に使えるSQL −SQLでビッグデータに立ち向かう−	¥44,000	1日	マシン実習	東京（大森）		20		14			−
						大阪			1				
DBE704		<eラーニング>【ナビ機能付き】 OLTP概説	¥22,000	7時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SQL Server													
DBE337		<eラーニング>【マシン演習付き】 SQL Server 2016 データベース管理	¥82,500	14時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は21日間です
DBJ113		SQL Server 2016 データベース管理	¥88,000	2日	マシン実習	東京（大森）				7~8			−
Oracle													
DBE346		<eラーニング>【マシン演習付き】 MySQL 5.7 データベース管理 I	¥112,200	14時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は90日間です
DBE347		<eラーニング>【マシン演習付き】 MySQL 5.7 データベース管理 II	¥168,300	21時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は90日間です
DBE345		<eラーニング>【マシン演習付き】 MySQL パフォーマンス・チューニング	¥314,160	28時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は90日間です
DBE316		<eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Database 12c 新機能	¥392,700	35時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は90日間です
DBD065	Renewal	Oracle Database 12c 入門 SQL基礎I	¥235,620	3日	マシン実習	東京（大森）		16~18		18~20			−
						大阪	19~21						
						名古屋		11~13					
DBE333		<eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Database 12c SQL基礎II	¥157,080	14時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は90日間です
DBD066	Renewal	Oracle Database 12c R2 管理 クイック・スタート	¥157,080	2日	マシン実習	東京（大森）				28~29		17~18	−
						大阪			3~4				
						名古屋				21~22			
DBD067	Renewal	Oracle Database 12c R2 管理 ネクスト・ステップ	¥235,620	3日	マシン実習	東京（大森）					17~19		−
						大阪					24~26		
DBE332		<eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Database 12c PL/SQL基礎	¥157,080	14時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は90日間です

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません

PDU：PMP® 資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。

学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P. 55）を参照ください。

※2020年6月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「TJ」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
DBE309		<eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Database 12c PL/SQLプログラム開発	¥235,620	21時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は90日間です
DBD069	Renewal	Oracle Database 実例から学ぶ！トラブル・シューティング	¥78,540	1日	レクチャ	東京(大森)	21						−
DBD052		Oracle Database 12c SQLチューニングワークショップ	¥235,620	3日	マシン演習	東京(大森)					1~3		−
DBE308		<eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Database 12c バックアップ・リカバリ	¥392,700	35時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は90日間です
DBE310		<eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Database 12c パフォーマンス・チューニング	¥392,700	35時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は90日間です
DBD068	Renewal	Oracle Database 実例から学ぶ！パフォーマンス・チューニング	¥78,540	1日	レクチャ	東京(大森)				25			−
DBE311		<eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Database 12c インストール&アップグレード	¥157,080	14時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は90日間です
DBE315		<eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Database 11g R2 管理 ワークショップ II	¥392,700	35時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は90日間です
DBE319		<eラーニング>【マシン演習付き】 Exadata Database Machine 管理 ワークショップ	¥654,500	35時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は90日間です
DBE322		<eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Database 12c Clusterware 管理	¥392,480	28時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は90日間です
DBE331		<eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Database 12c RAC管理	¥392,480	28時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は90日間です
DBE321		<eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Database 12c ASM 管理	¥196,240	14時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は90日間です
DBE324		<eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Database 12c セキュリティ	¥490,600	35時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は90日間です
DBE323		<eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Database 12c Database Vault	¥157,080	14時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は90日間です
DBE325		<eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Database 12c マルチテナント・アーキテクチャ	¥157,080	14時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は90日間です
DBE341		<eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Database 12c R2 新機能 for 12c R1 管理者	¥392,700	35時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は90日間です
DBE343		<eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Enterprise Manager Cloud Control 12c による管理	¥294,360	21時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は90日間です
DBE019		<eラーニング> Oracleではじめる統計入門	¥78,540	7時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は90日間です
DBE342		<eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Database 12c データ・マイニング手法	¥157,080	14時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は90日間です
DBE043	New	<eラーニング> 資格試験準備セミナー： ORACLE MASTER Bronze DBA（受験チケット付）	¥58,520	7時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は180日間です
DBE044	New	<eラーニング> 資格試験準備セミナー： ORACLE MASTER Silver SQL（受験チケット付）	¥58,520	7時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は180日間です
DBE045	New	<eラーニング> 資格試験準備セミナー： ORACLE MASTER Silver DBA（受験チケット付）	¥58,520	7時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は180日間です
DBE046	New	<eラーニング> 資格試験準備セミナー： ORACLE MASTER Gold DBA（受験チケット付）	¥58,520	7時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は180日間です
DBE714		<eラーニング>【マシン演習付き】 Oracle Unlimited Product Learning Subscription	¥1,055,340	−	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は365日間です

※2020年6月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

IT戦略・IS企画

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
IT戦略・IS企画（掲載ページ：P. 171 ～）													
SPJ008		(PDU) IT投資の評価手法 −IT投資の種類・パターンから効果を考える−PDU	¥82,500	2日	グループ演習	東京(大森)			1~2				−
CTJ016		(PDU) IT投資対効果の考え方 −IT投資マネジメントの基礎− PDU	¥38,500	1日	グループ演習	東京(大森)						15	−
CTJ005		(PDU)トラブルを防止する調達要件の分析 −RFPの作成と提案書の評価を中心に− PDU	¥110,000	2日	グループ演習	東京(大森)					17~18		−
SPJ033		保守開発におけるトラブル対策の考え方	¥38,500	1日	グループ演習	東京(大森)			9				−
CTD010		(PDU) IT経営ストラテジ（経営戦略コース） PDU	¥66,000	2日	レクチャ	別途ご案内いたします							−
CTD011		(PDU) IT経営ストラテジ（IT戦略コース） PDU	¥66,000	2日	レクチャ	別途ご案内いたします							−
CTD007		ITC資格試験対策 PDU	¥44,000	1日	レクチャ	別途ご案内いたします							−
CTJ068	New	(PDU) BABOK®で学ぶ ビジネスアナリシスの基礎 PDU	¥110,000	2日	グループ演習	東京(大森)			14~15				−
CTD013	Renewal	(PDU)エンタープライズ・ビジネスアナリシス PDU	¥110,000	2日	グループ演習	別途ご案内いたします							−
CTD008		(PDU) CBAP® 試験対策コース PDU	¥165,000	3日	レクチャ	別途ご案内いたします							−
CTJ046		情報システム導入を成功させる要件定義と ベンダー折衝の実践ポイント	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)		13					−
CTJ026		情報システムのユーザテストと 移行・切替・本番稼働の準備実務	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)		25					−
CTJ022		情報システム部門のための開発工程における ベンダー・マネジメント	¥77,000	2日	グループ演習	東京(大森)					9~10		−
CTJ069	Renewal	(PDU)プロジェクトマネジメントにおける ベンダーマネジメント PDU	¥88,000	2日	グループ演習	東京(大森)			3~4	21~22			−
CTJ054		IT活用による業務改善を実現するための 問題分析と新業務プロセス設計技法	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)		20					−
CTJ055		IT主導で攻めのビジネスを実現するための 構想立案とIT化企画の作り方	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)			14				−
CTJ053		現場主導で現状業務の見える化を推進するための 業務フロー作成技法	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)			7				−
CTJ052		現行システムのリプレース／改修における 現状洗い出しを確実にするための業務フロー作成技法	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)				29			−
CTJ051		ビジネス要求引き出しのための 業務課題抽出のテクニック	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)			7				−

システム開発

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
要件定義／設計（掲載ページ：P. 178 ～）													
SPJ058		演習で学ぶ!情報システムの役割と開発の進め方	¥66,000	2日	グループ演習	東京(大森)		16~17					−
SJE707		<eラーニング>【ナビ機能付き】 システム開発の基礎	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SPJ071	Renewal	システムのニーズ分析	¥82,500	2日	グループ演習	東京(大森) 大阪	28~29		21~22		15~16	1~2	−
SPJ036		システム化要求を実現するための業務設計	¥82,500	2日	グループ演習	東京(大森)			15~16				−

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません
PDU：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。
学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P. 55）を参照ください。

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶https://www.hitachi-ac.co.jp/

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
SPJ024		システムの要件定義技法	¥70,400	2日	グループ演習	東京(大森)				18~19		4~5	−
						大阪			7~8				
						名古屋				21~22			
CTJ018		非機能要求の考え方	¥38,500	1日	グループ演習	別途ご案内いたします							−
CTD009		ビジネスプロセスの分析と設計	¥49,500	1日	グループ演習	東京(大森)			23				−
SPE702		<eラーニング>【ナビ機能付き】 待ち行列理論	¥22,000	7時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CTJ065		エンタープライズ　ITアーキテクチャのセオリー	¥99,000	2日	グループ演習	東京(大森)			17~18			11~12	−
SPE017		<eラーニング> 構造化モデリングによるシステムの機能抽出	¥19,800	5時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CTE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】 アプリケーション・アーキテクチャ基礎	¥20,900	6時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SPJ038		アプリケーション・アーキテクチャ策定演習	¥77,000	2日	マシン実習	東京(大森)		11~12		28~29	1~2		−
CLJ019	Renewal	クラウドコンピューティングで読み解く ITサービスの最新動向	¥29,700	0.5日	レクチャ	東京(大森)		4		18			−
UXJ070		gitによるソフトウェア構成管理	¥38,500	1日	マシン実習	東京(大森)	30			18			−
SPJ067		後工程で慌てない! ユーザ／業務要件の漏れを未然に防ぐ 業務設計と要件定義のコツ	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)	19	9		22		1	−
SPJ068		業務要件とユーザビリティを確保するための 要件定義のポイント	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)	21				19		−
SPJ069		開発での手戻りを最小限にする 要件品質チェックポイントと基本設計の肝	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)	26		11	19		12	−
SPJ028		品質確保のためのソフトウェアテスト	¥33,000	1日	レクチャ	東京(大森)	12				9		−
						大阪		9					
						名古屋		30					
SPJ063		ソフトウェアテストの管理手法	¥38,500	1日	レクチャ	東京(大森)				29			−
SPE016		<eラーニング> 実践!テストケース設計（テスト技法演習編）	¥18,700	8時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SPJ051		実践!テストケース設計（テスト設計実践編）	¥33,000	1日	マシン実習	東京(大森)		6		19		3	−
						大阪		25					
						名古屋			14				
SPE019		<eラーニング> 速習! Webシステムテストのポイント	¥8,800	3時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SPJ032		Javaモジュールテスト演習	¥33,000	1日	マシン実習	東京(大森)		20					−
SPJ062		Javaによるテスト駆動開発演習	¥33,000	1日	マシン実習	東京(大森)				8			−
SPJ035		SeleniumによるWebアプリケーションテスト 自動化演習	¥33,000	1日	マシン実習	東京(大森)					5		−
SPE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】 プログラムのテスト技法	¥20,900	7時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
SPD002		DevOpsテスト入門 〜継続的デリバリーを実現するテスト自動化の基礎〜	¥46,200	1日	グループ演習	麻布台(SHIFT)	12		14	25		29	−
SPD003		テストプロセス改善 〜評価・改善案策定を一日で習得!〜	¥55,000	1日	グループ演習	麻布台(SHIFT)		6		22		12	−

※2020年6月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「TJ」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
プログラミング（掲載ページ：P. 186 ～）													
共通													
DBJ123	New	プログラミングはじめの一歩 −Pythonで学ぶアルゴリズム入門−	¥33,000	1日	マシン実習	東京(大森)	20	13					−
CBJ001	休講	アルゴリズムの基礎−フローチャート編−	¥55,000	2日	レクチャ								−
CBE006		<eラーニング> アルゴリズムの基礎−フローチャート編−	¥11,220	16時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
OJE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】 オブジェクト指向概説	¥20,900	6時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
Java													
OJJ016		Javaプログラミング1（基本文法編）	¥99,000	3日	マシン実習	東京(大森)		4~6					−
						名古屋	26~28						
OJE702		<eラーニング>【ナビ機能付き】 Javaプログラミング1（基本文法編）	¥60,500	24時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
OJE020		<eラーニング>【スキル定着】 Javaプログラミング1（前編）	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
OJE021		<eラーニング>【スキル定着】 Javaプログラミング1（後編）	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
OJJ017		Javaプログラミング2（基本クラス編）	¥66,000	2日	マシン実習	東京(大森)		24~25			1~2		−
						名古屋					17~18		
OJE703		<eラーニング>【ナビ機能付き】 Javaプログラミング2−基本クラス編−	¥40,700	16時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
OJJ032		Javaプログラミング3 −StreamAPI、モジュールシステム編−	¥66,000	2日	マシン実習	東京(大森)						8~9	−
OJJ034	Renewal	Javaによるデータベースプログラミング	¥66,000	2日	マシン実習	東京(大森)				12~13			−
OJJ018		サーバサイドJavaプログラミング (Servlet/JSP編)	¥99,000	3日	マシン実習	東京(大森)					15~17		−
						大阪						3~5	
						名古屋						16~18	
OJJ020		実践! Javaプログラミング	¥66,000	2日	マシン実習	東京(大森)			10~11			4~5	−
						大阪					4~5		
NWJ145	休講	システムを危険から守る!セキュアプログラミング	¥44,000	1日	マシン実習								−
OJJ033	Renewal	Javaによる保守開発のためのリファクタリング	¥33,000	1日	マシン実習	東京(大森)				26			−
OJE025		<eラーニング>【マシン演習付き】 Java SE 7 パフォーマンス・チューニング	¥294,360	21時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は90日間です
OJE022		<eラーニング> 資格試験準備セミナー：OCJP Bronze SE 7 / 8 （受験チケット付）	¥44,220	7時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は180日間です
OJE023		<eラーニング> 資格試験準備セミナー：OCJP Silver SE 8 （受験チケット付）	¥58,520	7時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は180日間です
OJE024		<eラーニング> 資格試験準備セミナー：OCJP Gold SE 8 （受験チケット付）	¥58,520	7時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は180日間です
COBOL													
CBJ002	休講	COBOLプログラミング基礎編（PAD）	¥82,500	3日	マシン実習								−
CBJ004	休講	COBOLプログラミング応用編（PAD）	¥107,800	4日	マシン実習								−
CBJ007	休講	COBOLプログラミング基礎編（フローチャート）	¥82,500	3日	マシン実習								−

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません
PDU：PMP® 資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。
学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P. 55）を参照ください。

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶https://www.hitachi-ac.co.jp/

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
CBJ008	休講	COBOLプログラミング応用編（フローチャート）	¥107,800	4日	マシン実習								−
CBE301		<eラーニング>【マシン演習付き】 COBOLプログラミング基礎編（PAD）	¥99,000	24時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は21日間です
CBE302		<eラーニング>【マシン演習付き】 COBOLプログラミング応用編（PAD）	¥124,300	32時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は21日間です
CBE303		<eラーニング>【マシン演習付き】 COBOLプログラミング基礎編（フローチャート）	¥99,000	24時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は21日間です
CBE304		<eラーニング>【マシン演習付き】 COBOLプログラミング応用編（フローチャート）	¥124,300	32時間	eラーニング	学習開始日	8	5	3	7	4	4	サービス有効期間は21日間です
CBE002		<eラーニング> COBOLプログラミング基礎編（PAD）	¥25,300	16時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CBE003		<eラーニング> COBOLプログラミング応用編（PAD）	¥25,300	16時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CBE004		<eラーニング> COBOLプログラミング基礎編（フローチャート）	¥25,300	16時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CBE005		<eラーニング> COBOLプログラミング応用編（フローチャート）	¥25,300	16時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
−		COBOLプログラミング基礎編（PAD） （自習テキスト）	¥4,180	18時間									−
−		COBOLプログラミング応用編（PAD） （自習テキスト）	¥4,180	18時間									−
−		COBOLプログラミング基礎編（フローチャート） （自習テキスト）	¥4,180	18時間									−
−		COBOLプログラミング応用編（フローチャート） （自習テキスト）	¥4,180	18時間									−
C/C++													
CCJ009		C言語プログラミング1 −基本マスタ編−	¥99,000	3日	マシン実習	東京（大森） 名古屋		9~11		6~8			−
CCJ014		C言語プログラミング2 −ポインタ実践編−	¥99,000	3日	マシン実習	東京（大森）				27~29			−
CCE005		<eラーニング> C言語プログラミング2−ポインタ実践編−	¥78,650	24時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CCE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】 C言語プログラミング1（前編） −制御文と関数を学ぶ−	¥20,900	8時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
CCE702		<eラーニング>【ナビ機能付き】 C言語プログラミング1（後編） −データ構造とポインタを学ぶ−	¥40,700	16時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
ESJ001		リアルタイムOSを利用した ソフトウェアプログラミング	¥66,000	2日	マシン実習	東京（大森）					3~4		−
VB/VC#													
VBJ038		Visual Basicプログラミング	¥77,000	2日	マシン実習	東京（大森）	26~27			12~13			−
VBJ039	Renewal	ASP.NET WebFormを利用した Webアプリケーション開発	¥77,000	2日	マシン実習	東京（大森）					9~10	10~11	−
VCJ010		Visual C#プログラミング	¥77,000	2日	マシン実習	東京（大森）		12~13	2~13				−
Web関連技術													
NWE032	Renewal	<eラーニング> Webシステム入門	¥18,700	6時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWE031		<eラーニング> Webアプリケーション設計の基礎	¥18,700	8時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWE709		<eラーニング>【ナビ機能付き】 CSSによるWebコンテンツ制作	¥20,900	8時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります

※2020年6月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「TJ」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
NWE710		<eラーニング>【ナビ機能付き】 HTMLによるWebコンテンツ制作	¥20,900	8時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWJ141		JavaScriptプログラミング −ECMAScript 2015対応−	¥77,000	2日	マシン実習	東京（大森） 大阪 名古屋		26~27	14~15	25~26 28~29			−
NWJ142		HTML5プログラミング	¥38,500	1日	マシン実習	東京（大森）					25		−
NWJ140		HTML5/JavaScriptによる Webアプリケーション開発実践	¥110,000	2日	マシン実習	東京（大森） 大阪		19~20			9~10	1~2	−
スマートデバイス													
NWE029		<eラーニング> スマートデバイス活用システムの提案概説	¥11,000	3時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
NWJ144		スマートフォンの特性を踏まえた Webアプリケーション設計の考え方	¥33,000	1日	マシン実習	東京（大森）					1		−
NWJ150	Renewal	体験! Androidアプリケーションの開発 −Kotlinを利用して−	¥33,000	1日	マシン実習	東京（大森）					17		−

情報処理技術者試験対策

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
情報処理技術者試験対策（掲載ページ：P. 203 ～）													
春秋期実施試験対策													
SJE301		<eラーニング> 集中演習 ITパスポート試験【IP】	¥6,600	80時間	eラーニング	学習開始日				18	2, 16	2	開始日にかかわらず学習終了日は4月30日になります
SJE302		<eラーニング> 集中演習 情報セキュリティマネジメント試験【SG】	¥11,000	162時間	eラーニング	学習開始日				18	2, 16	2	開始日にかかわらず学習終了日は4月30日になります
SJE303		<eラーニング> 集中演習 基本情報技術者試験【FE】	¥18,700	200時間	eラーニング	学習開始日				18	2, 16	2	開始日にかかわらず学習終了日は4月30日になります
SJD012	New	基本情報技術者試験【FE】対策講座 （試験直前に模擬試験で得点をUPする）	¥38,500	1日	レクチャ	東京（大森）						15	−
SJD002		応用情報技術者試験【AP】対策講座 （合格に必要な知識と解答力を養う）	¥115,500	3日	レクチャ	東京（大森）				18(1日目)	8(2日目)	8(3日目)	−
SJD003		応用情報技術者試験【AP】対策講座 （試験直前に模擬試験で得点をUPする）	¥38,500	1日	レクチャ	東京（大森）						16	−
SJE304		<eラーニング> 集中演習 応用情報技術者試験【AP】	¥18,700	162時間	eラーニング	学習開始日				18	2, 16	2	開始日にかかわらず学習終了日は4月30日になります
SJD006		情報処理安全確保支援士試験【SC】対策講座 （合格に必要な知識と解答力を養う）	¥115,500	3日	レクチャ	東京（大森）				21(1日目)	18(2日目)	10(3日目)	−
SJD007		情報処理安全確保支援士試験【SC】対策講座 （試験直前に模擬試験で得点をUPする）	¥38,500	1日	レクチャ	東京（大森）						12	−
SJE312		<eラーニング> 集中演習 情報処理安全確保支援士試験【SC】	¥18,700	162時間	eラーニング	学習開始日				18	2, 16	2	開始日にかかわらず学習終了日は4月30日になります
春期実施試験対策													
SJD004		データベーススペシャリスト試験【DB】対策講座 （合格に必要な知識と解答力を養う）	¥115,500	3日	レクチャ	東京（大森）				20(1日目)	17(2日目)	17(3日目)	−
SJD005		データベーススペシャリスト試験【DB】対策講座 （試験直前に模擬試験で得点をUPする）	¥38,500	1日	レクチャ	東京（大森）						18	−
SJE309		<eラーニング> 集中演習 データベーススペシャリスト試験【DB】	¥18,700	162時間	eラーニング	学習開始日				18	2, 16	2	開始日にかかわらず学習終了日は4月30日になります
SJD011		春期高度試験【PM】【AU】対策講座 実践!論文を書く −添削指導で合格するための論述力を養成する−	¥77,000	2日	レクチャ	東京（大森）				19(1日目)	24(2日目)		−
SJE307		<eラーニング> 集中演習 プロジェクトマネージャ試験【PM】	¥18,700	162時間	eラーニング	学習開始日				18	2, 16	2	開始日にかかわらず学習終了日は4月30日になります

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません
PDU：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。
学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P. 55）を参照ください。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
SJE311		<eラーニング> 集中演習 システム監査技術者試験【AU】	¥18,700	162時間	eラーニング	学習開始日				18	2, 16	2	開始日にかかわらず学習終了日は4月30日になります
秋期実施試験対策													
SJD008	休講	ネットワークスペシャリスト試験【NW】対策講座 （合格に必要な知識と解答力を養う）	¥115,500	3日	レクチャ								−
SJD009	休講	ネットワークスペシャリスト試験【NW】対策講座 （試験直前に模擬試験で得点をUPする）	¥38,500	1日	レクチャ								−
SJE308	休講	<eラーニング> 集中演習 ネットワークスペシャリスト試験【NW】	¥18,700	162時間	eラーニング								−
SJD001		高度試験受験者向け 論文の書き方 −問題文の読み方から論文構成方法まで−	¥38,500	1日	レクチャ	東京（大森）				28	16		−
SJD010	休講	秋期高度試験【SM】【SA】【ST】対策講座 実践！論文を書く −添削指導で合格するための論述力を養成する−	¥77,000	2日	レクチャ								−
SJE310	休講	<eラーニング> 集中演習 ITサービスマネージャ試験【SM】	¥18,700	162時間	eラーニング								−
SJE305	休講	<eラーニング> 集中演習 ITストラテジスト試験【ST】	¥18,700	162時間	eラーニング								−
SJE306	休講	<eラーニング> 集中演習 システムアーキテクト試験【SA】	¥18,700	162時間	eラーニング								−

ITリテラシ

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
ITリテラシ（掲載ページ：P. 210 ～）													
OAE027		<eラーニング> Excel 2016 基礎編	¥6,600	2時間	eラーニング	学習開始日	5	2	7	4	1	1	サービス有効期間は30日間です
OAE028		<eラーニング> Excel 2016 応用編	¥6,600	2時間	eラーニング	学習開始日	5	2	7	4	1	1	サービス有効期間は30日間です
OAJ046		Excelで業務データを使いこなす −関数とピボットテーブルを利用して−	¥38,500	1日	マシン実習	東京（大森）		27					−
OAE029		<eラーニング> Word 2016 基礎編	¥6,600	2時間	eラーニング	学習開始日	5	2	7	4	1	1	サービス有効期間は30日間です
OAE030		<eラーニング> Word 2016 応用編	¥6,600	2時間	eラーニング	学習開始日	5	2	7	4	1	1	サービス有効期間は30日間です
OAE031		<eラーニング> PowerPoint 2016 基礎編	¥6,600	2時間	eラーニング	学習開始日	5	2	7	4	1	1	サービス有効期間は30日間です
OAE032		<eラーニング> PowerPoint 2016 応用編	¥6,600	2時間	eラーニング	学習開始日	5	2	7	4	1	1	サービス有効期間は30日間です

プロジェクトマネジメント

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
プロジェクトマネジメント（掲載ページ：P. 213 ～）													
PMJ065		プロジェクトマネジメント基礎	¥66,000	2日	グループ演習	東京（大森） 大阪					1~2 16~17	3~4	−
PME007		<eラーニング>【ナビ機能付き】 プロジェクトマネジメント基礎	¥13,420	7時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PMJ066	休講	(PDU)ワークショップで学ぶ プロジェクトマネジメント実践 PDU	¥77,000	2日	グループ演習								−
PMJ072	Renewal	(PDU)プロジェクトマネジメント仮想体験講座 PDU	¥88,000	2日	グループ演習	別途ご案内いたします							−

※2020年6月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
PMJ076	Renewal	(PDU)ケースメソッドによるPM判断・行動力強化 −複数ケースを短期間で学びPM力向上− PDU	¥49,500	1日	グループ演習	東京（大森）		4					−
PMJ077	Renewal	(PDU)ケースメソッドによるPM判断・行動力強化 （上流工程編）−PJの成功・失敗分岐点を学ぶ− PDU	¥49,500	1日	グループ演習	東京（大森）						9	−
PMJ003	休講	(PDU)プロジェクト経験者のための プロジェクトマネジメント上級編 PDU	¥88,000	2日	グループ演習								−
PMJ078	Renewal	(PDU)トラブルプロジェクトのアセスメント PDU	¥99,000	2日	グループ演習	東京（大森）			22~23	7~8			−
PMJ073	Renewal	(PDU)プロジェクトの敵を味方にする ステークホルダーマネジメント PDU	¥33,000	1日	グループ演習	東京（大森）			8				−
PMJ074	Renewal	(PDU)プロジェクト・マネージャ・コンピテンシ 指向トレーニング（PMCOT） −プロジェクト・マネージャに必要な行動・思考の 気付きと振り返り PDU	¥93,500	2日	グループ演習	東京（大森）			17~18		8~9		−
PMJ079	Renewal	(PDU)プロジェクト・マネージャーのためのメンバーの力を引き出すモチベーション・マネジメント −行動特性分析に基づく− PDU	¥102,850	2日	グループ演習	東京（大森） 大阪			10~11	21~22	3~4		−
PMJ080	Renewal	(PDU)プロジェクト・ポートフォリオ・マネジメント −プロジェクトの横断的な把握、経営資源の効果的な 配分のために− PDU	¥99,000	2日	グループ演習	東京（大森）			17~18				−
PMJ054		(PDU)プロジェクトを円滑に進めるための 合意形成力強化トレーニング PDU	¥82,500	2日	グループ演習	東京（大森）		9~10		18~19			−
PMJ081	Renewal	(PDU)プロジェクトマネジメントの 契約・調達マネジメント PDU	¥99,000	2日	グループ演習	東京（大森）			15~16				−
PMJ082	Renewal	(PDU)プロジェクトマネージャのための ファイナンシャルマネジメント PDU	¥99,000	2日	レクチャ	東京（大森）	8~9				18~19	1~2	−
PMJ006		ソフトウェア開発の品質管理と信頼性 −日立の取り組み紹介−	¥33,000	1日	レクチャ	別途ご案内いたします							−
PMD019	Renewal	(PDU)プロジェクトマネジメントの 要求マネジメント PDU	¥110,000	2日	グループ演習	別途ご案内いたします							−
PME701		<eラーニング>【ナビ機能付き】 (PDU)ファンクションポイント法基礎 PDU	¥12,100	4時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME005		<eラーニング> (PDU)2時間でわかるファンクションポイント法 PDU	¥8,800	2時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PMJ083	Renewal	(PDU) *PMBOK®ガイド*第6版セミナー PDU	¥92,400	2日	レクチャ	大阪 名古屋 福岡	22~23 26~27		2~3				−
PME013		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド*第6版セミナー プロジェクトとは PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME014		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド*第6版セミナー プロジェクトの運営環境と プロジェクト・マネジャーの役割 PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME018		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド*第6版セミナー 統合マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME011		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド*第6版セミナー スコープ・マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME010		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド*第6版セミナー スケジュール・マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME008		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド*第6版セミナー コスト・マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME019		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド*第6版セミナー 品質マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません
PDU：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。
学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P. 55）を参照ください。

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶https://www.hitachi-ac.co.jp/

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
PME016		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド*第6版セミナー 資源マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME009		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド*第6版セミナー コミュニケーション・マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME015		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド*第6版セミナー リスク・マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME017		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド*第6版セミナー 調達マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PME012		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド*第6版セミナー ステークホルダー・マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
PMJ084	Renewal	(PDU) *PMBOK®ガイド*第5版と第6版の差分講座 −半日でわかる第6版− PDU	¥33,000	0.5日	レクチャ	東京(大森)	29						−
PMJ056		PMP®対策講座(2日間)	¥88,000	2日	レクチャ	東京(大森)	6~7, 12~13	9~10, 19~20					−
						大阪		5~6					
						福岡		16~17					
PMJ028		PMP®直前講座(模試)(1日間)	¥49,500	1日	レクチャ	東京(大森)		6, 13	11, 21				−
						大阪			4				
						福岡			7				
SPJ064		スクラムの基礎と実践	¥55,000	1日	グループ演習	東京(大森)			8		2	10	−
SPJ045		(PDU) [リーダー向け]アジャイル開発における 自律型チーム運営 PDU	¥46,200	1日	グループ演習	東京(大森)			18				−
PMJ075	Renewal	(PDU)マネージャのための1日でわかる アジャイル・プロジェクトマネジメントの効用 PDU	¥38,500	1日	グループ演習	東京(大森)						5	−
PMD012		「EXIN アジャイル スクラム ファンデーション」 資格対策	¥157,300	2日	レクチャ	麹町(ITプレナーズ)		25~26			25~26		−
SPJ070		アジャイル開発(スクラム)における プロダクトオーナー体験ワークショップ	¥77,000	1日	グループ演習	東京(大森)					8		−
PMD017	Renewal	(PDU) PRINCE2®ファンデーション (認定試験付き) PDU	¥292,600	3日	グループ演習	別途ご案内いたします							−
PMD018	Renewal	(PDU) PRINCE2®プラクティショナ (認定試験付き) PDU	¥256,300	2日	グループ演習	別途ご案内いたします							−

コンプライアンス

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
コンプライアンス(掲載ページ：P. 227 ～)													
HSJ062		事例から学ぶシステムトラブル対策の考え方 −高信頼性システム実現のために−	¥38,500	1日	グループ演習	東京(大森)		17			24		−
HSJ018		システムトラブルの予防と是正 −ISMS・システム監査の視点から−	¥77,000	2日	グループ演習	東京(大森)				26~27			−
HSE129		<eラーニング> SNSのリスクと利用時のガイドライン	¥6,600	1時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります

※2020年6月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

ビジネス／ヒューマン

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
ビジネス／ヒューマン(掲載ページ：P. 230 ～)													
思考法													
HSJ202		クリティカルマインド基礎 −メタ思考で「考え抜ける」ビジネスパーソンへ−	¥28,600	0.5日	グループ演習	東京(大森)	28						−
HSJ116		ロジカルシンキング基礎 −論理の可視化と論理チェックのポイント−	¥82,500	2日	グループ演習	東京(大森)	20~21		24~25	7~8, 25~26	1~2, 4~5	3~4, 11~12	−
						大阪	27~28						
						名古屋	8~9						
						広島		17~18					
						福岡		5~6					
HSE126		<eラーニング> ロジカルシンキング基礎 −論理の可視化と論理チェックのポイント−	¥18,700	8時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSE066		<eラーニング> 思考技法の概要	¥9,900	4時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSE036		<eラーニング> QFD(品質機能展開)で学ぶマトリクス表の上手な 使い方−マトリクス表を使って「決める」を考える−	¥9,900	4時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSE037		<eラーニング> TRIZで学ぶ発想のパターン −科学的な強制発想法−	¥9,900	4時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSE302		<eラーニング>【スキル定着】 相手を納得させる論理構成力を磨く	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
ライティング													
HSE131		<eラーニング> ビジネスライティング(基礎知識編) −読みやすい文書を作成する−	¥18,700	8時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSJ204		ビジネスライティング(演習編) −読みやすい文書を作成する−	¥33,000	1日	グループ演習	東京(大森)	23	17	11			22	−
						広島			3				
						福岡			11				
HSE132		<eラーニング> ロジカルライティング(基礎知識編) −読み手が納得・行動する文書を作成する−	¥18,700	6時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSJ205		ロジカルライティング(演習編) −読み手が納得・行動する文書を作成する−	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)	19		25		9	12	−
HSJ153		リーダ向け「文書添削と指導法」	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)	14	18	15	22			−
プレゼンテーション													
HSJ154		ロジカルプレゼンテーション基礎	¥74,800	2日	グループ演習	東京(大森)	8~9, 15~16, 29~30		2~3, 23~24	12~13, 21~22		11~12	−
						大阪		19~20					
						名古屋					18~19		
						広島			15~16				
						福岡		26~27					
HSE127		<eラーニング> ロジカルプレゼンテーション基礎−レクチャ編−	¥18,700	8時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSE708		<eラーニング>【ナビ機能付き】 グラフィカルトレーニング −思考を図解で強化する−	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSE701		<eラーニング>【ナビ機能付き】 ビジュアル化技法の基本 −魅力的なビジュアル資料を作る−	¥12,100	4時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSJ155		プレゼンを生き生きさせるビジュアル化技法 −相手を惹きつけるための資料作成−	¥24,750	0.5日	マシン実習	東京(大森)	9, 26		7	8	3, 15	1, 11	−
HSE301		<eラーニング>【スキル定着】 ビジュアルデザイン	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません
PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。
学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例(P.55)を参照ください。

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶https://www.hitachi-ac.co.jp/

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
意思決定													
HSE072		<eラーニング> 意思決定のスキル −合理と心理を理解したうえでの意思決定−	¥8,800	4時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSJ137		意思決定のスキルⅡ −ディシジョンマネジメントを実践するために−	¥38,500	1日	グループ演習	東京(大森)		13					−
交渉													
HSE711		<eラーニング>【ナビ機能付き】 協創を生みだす交渉（基礎知識編）	¥12,100	4時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSJ145		協創を生みだす交渉（基礎演習編）	¥27,500	1日	グループ演習	東京(大森)		26	21	29	26		−
						福岡		10					
HSJ146		協創を生みだす交渉（実践演習編）	¥82,500	1.5日	グループ演習	東京(大森)				25~26		15~16	−
						大阪		16~17					
HSJ185		行動経済学を応用した パースエイション（説得）のスキル −ハーバード流交渉術を越えて−	¥38,500	1日	グループ演習	東京(大森)			16				−
コミュニケーション													
HSE049		<eラーニング> ビジネススキル基礎	¥18,700	8時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSJ126		報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎	¥33,000	1日	グループ演習	東京(大森)	5, 20	11			2	3	−
HSE123		<eラーニング> 報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎 −レクチャ編−	¥9,900	4時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSJ127		情報を整理して伝えるコミュニケーション技法 −ロゴス・パトス・エトスを高める−	¥82,500	2日	グループ演習	東京(大森)	15~16	26~27			18~19	8~9	−
						大阪			7~8				
HSE117		<eラーニング> (PDU)リーダ向け報連相 PDU	¥9,900	4時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSJ212	Renewal	(PDU)ストラクチャード・コミュニケーション −会議を空中戦にせず、図で共有する・伝える・理解する・考える− PDU	¥48,400	1日	グループ演習	東京(大森)	7, 27		3	12	9		−
						大阪			14				
						名古屋			15				
HSJ188		わたしを活かすキャリアデザイン −人生100年時代のキャリアを考える−	¥38,500	1日	レクチャ	東京(大森)			4		3		−
HSJ124		リスニング力を高めて コミュニケーションスキルアップ −職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上−	¥38,500	1日	グループ演習	東京(大森)			17	28	15	2	−
HSE124		<eラーニング> リスニング力を高めて コミュニケーションスキルアップ −レクチャ編−	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSJ125		(PDU)アサーティブ・コミュニケーション −職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上− PDU	¥38,500	1日	グループ演習	東京(大森)	13	20	2, 16	7, 29	16	8	−
						大阪			15				
HSE125		<eラーニング> アサーティブ・コミュニケーション −レクチャ編−	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSJ197		自分を知り他者を知るコミュニケーションマネジメント −DiSCモデルによる−	¥88,000	2日	グループ演習	東京(大森)	27~28	17~18	10~11		16~17, 25~26		−
マネジメント／リーダシップ													
HSJ052		メンバーシップとチームワーク −チーム力向上のために大切なこと−	¥33,000	1日	グループ演習	東京(大森)			1	13	10, 24	9	−
						大阪			23				
HSE122		<eラーニング> メンバーシップとチームワーク −レクチャ編−	¥8,800	4時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSE128		<eラーニング> リーダシップの原理・原則	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSJ196		リーダのためのマインドフルネス基礎 −成果発揮へのセルフリーダシップとマインドフル−	¥66,000	1日	グループ演習	東京(大森)		24		12		4	−

※2020年6月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
HSJ214	Renewal	コーチング基礎 −ケース動画で実感が高まる!−	¥38,500	1日	グループ演習	東京(大森)	9, 14, 22	4, 12, 24	4, 9, 18	7, 14	2, 9, 17	2, 8, 15	−
						大阪			22				
						名古屋				20			
HSE121		<eラーニング> コーチング基礎−レクチャ編−	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSE097		<eラーニング> コーチングマニュアル	¥11,000	1時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSJ147		(PDU)目標達成のためのコーチング実践 PDU	¥88,000	2日	グループ演習	東京(大森)	12~13		1~2		4~5		−
HSJ148		(PDU)会議／プロジェクトを円滑に進めるための ファシリテーション・スキル向上 PDU	¥88,000	2日	グループ演習	東京(大森)	19~20		21~22	25~26		4~5, 15~16	−
						大阪			16~17				
						福岡						22~23	
HSJ152		SEのためのサービスマインド醸成 −顧客対応の質を高め、他社と差別化を図る−	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)		24	14	8		10	−
HSJ195		(PDU)部下のパフォーマンスを高める 1 on 1 ミーティングとフィードバック PDU	¥38,500	1日	グループ演習	東京(大森)	12	24		6, 29	18		−
HSJ187		共に勝つ人生戦略 ウィナーシップ研修 −ビジネスパーソンとして「本気づくり」に挑戦する−	¥44,000	1日	グループ演習	東京(大森)			9				−
戦略・マーケティング													
HSE130		<eラーニング> (PDU)知っておくべきビジネスモデルの基本 −顧客のビジネスをより理解するために− PDU	¥33,000	17時間	eラーニング	学習開始日	5	2	7	4	1	1	サービス有効期間は56日間です
HSJ181		(PDU)ソリューション提案のための経営と情報戦略 −経営・事業・情報戦略のあるべき関係性− PDU	¥38,280	1日	グループ演習	東京(大森)	15	30	18		19		−
						大阪						8	
						名古屋					17		
HSJ182		(PDU) ITビジネスにおける戦略の基本と最新動向 −イノベーション実現のために− PDU	¥55,000	1日	グループ演習	東京(大森)	12	25	9	18	8		−
HSJ201		サプライチェーン経営(SCM)の 世界標準APICSの認定講師と学ぶSCM基礎	¥33,000	0.5日	グループ演習	東京(大森)			10				−
HSJ203		体験型サプライチェーン経営(SCM)学習プログラム 「The Fresh Connection」	¥187,000	2日	グループ演習	東京(大森)			23~24				−
セールス													
HSJ180		顧客協創を促すディスカッションペーパーの 作成・活用の仕方	¥38,500	1日	グループ演習	東京(大森)	12	16		12	15		−
HSJ199		顧客の心をつかむ戦略的提案活動 −体系的に学ぶ提案活動の進め方−	¥96,800	2日	グループ演習	東京(大森)	15~16						−
HSJ200		高評価をねらえる提案書作成 −顕在・潜在ニーズに訴求する−	¥72,600	1日	グループ演習	東京(大森)			11	13	10		−
アカウンティング／ファイナンス													
HSE709		<eラーニング>【ナビ機能付き】 WHYで学ぶアカウンティング（基礎知識編）	¥19,800	8時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSE710		<eラーニング>【ナビ機能付き】 業務に活かす簿記入門	¥22,000	8時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSE705		<eラーニング>【ナビ機能付き】 (PDU)財務諸表の基礎知識 PDU	¥12,100	4時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
HSE103		<eラーニング> (PDU)よくわかるファイナンス1 −投資の判断、リスクとリターン− PDU	¥17,600	4時間	eラーニング	学習開始日	5	2	7	4	1	1	サービス有効期間は28日間です
HSE104		<eラーニング> (PDU)よくわかるファイナンス2 −企業価値評価− PDU	¥17,600	4時間	eラーニング	学習開始日	5	2	7	4	1	1	サービス有効期間は28日間です
HSE105		<eラーニング> (PDU)よくわかるファイナンス3 −資金調達の方法− PDU	¥17,600	6時間	eラーニング	学習開始日	5	2	7	4	1	1	サービス有効期間は28日間です

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません
PDU：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。
学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P.55）を参照ください。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
HSE106		<eラーニング> (PDU)よくわかるファイナンス4 −M&A、コーポレートガバナンス、財務計画− PDU	¥17,600	6時間	eラーニング	学習開始日	5	2	7	4	1	1	サービス有効期間は28日間です
ビジネスセンスアップ													
HSE118		<eラーニング> (PDU)よくわかるビジネス・ミクロ経済1 − 経済学の思考、費用分析、市場経済、ゲーム理論− PDU	¥17,600	6時間	eラーニング	学習開始日	5	2	7	4	1	1	サービス有効期間は28日間です
HSE098		<eラーニング> (PDU)よくわかるビジネス・ミクロ経済2 −不完全な情報、期待効用、行動経済学− PDU	¥17,600	4時間	eラーニング	学習開始日	5	2	7	4	1	1	サービス有効期間は28日間です
HSE099		<eラーニング> (PDU)よくわかるマクロ経済1 −効率性と公平性、アダムスミスとケインズ− PDU	¥17,600	4時間	eラーニング	学習開始日	5	2	7	4	1	1	サービス有効期間は28日間です
HSE100		<eラーニング> (PDU)よくわかるマクロ経済2 −GDP、為替、財政− PDU	¥17,600	6時間	eラーニング	学習開始日	5	2	7	4	1	1	サービス有効期間は28日間です
HSE101		<eラーニング> (PDU)よくわかるマクロ経済3 −金融政策、ハイエク、フリードマン、シュンペーター− PDU	¥17,600	4時間	eラーニング	学習開始日	5	2	7	4	1	1	サービス有効期間は28日間です
HSE102		<eラーニング> (PDU)よくわかるマクロ経済4 −景気循環、経済成長、格差社会と少子高齢化− PDU	¥17,600	6時間	eラーニング	学習開始日	5	2	7	4	1	1	サービス有効期間は28日間です
HSE115		<eラーニング> (PDU)中国古典に見る指導者の条件 PDU	¥33,000	10時間	eラーニング	学習開始日	5	2	7	4	1	1	サービス有効期間は56日間です
HSE113		<eラーニング> (PDU)「貞観政要」に学ぶリーダの心得 PDU	¥33,000	10時間	eラーニング	学習開始日	5	2	7	4	1	1	サービス有効期間は56日間です
HSE114		<eラーニング> (PDU)「書経」に学ぶリーダの心得 PDU	¥33,000	10時間	eラーニング	学習開始日	5	2	7	4	1	1	サービス有効期間は56日間です
HSE112		<eラーニング> (PDU)「韓非子」のリーダ学 PDU	¥33,000	10時間	eラーニング	学習開始日	5	2	7	4	1	1	サービス有効期間は56日間です
HSE109		<eラーニング> 経世済民の哲学としての朱子学	¥33,000	10時間	eラーニング	学習開始日	5	2	7	4	1	1	サービス有効期間は56日間です
HSE111		<eラーニング> (PDU)孫子の兵法を現代に役立てる方法 PDU	¥33,000	10時間	eラーニング	学習開始日	5	2	7	4	1	1	サービス有効期間は56日間です
HSE110		<eラーニング> (PDU)リーダに必要な人間力 三国志から学ぶリーダ学 PDU	¥33,000	10時間	eラーニング	学習開始日	5	2	7	4	1	1	サービス有効期間は56日間です

グローバル

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
グローバル（掲載ページ：P. 252 ～）													
GBE010		<eラーニング> (PDU)グローバルビジネスの基礎 −ビジネスルールと多様性−（基本セット） PDU	¥22,000	4時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
GBE025		<eラーニング> 多様性の理解（グローバルナビゲーター） A. アジア編	¥5,500	3時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
GBE026		<eラーニング> 多様性の理解（グローバルナビゲーター） B. ロシア、インド、イスラム編	¥5,500	3時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
GBE008		<eラーニング> 多様性の理解（グローバルナビゲーター） C.ヨーロッパ編	¥5,500	3時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります
GBE009		<eラーニング> 多様性の理解（グローバルナビゲーター） D.アメリカ、オセアニア編	¥5,500	3時間	eラーニング	学習開始日	7, 14, 21, 28	4, 11, 18, 25	2, 9, 16, 23	13, 20, 27	3, 10, 17, 24	3, 10	開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります

※2020年6月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
GBE023		<eラーニング> (PDU)中国ビジネスの鉄則 PDU	¥33,000	10時間	eラーニング	学習開始日	5	2	7	4	1	1	サービス有効期間は56日間です
GBE024		<eラーニング> (PDU)インドビジネスの鉄則 PDU	¥33,000	10時間	eラーニング	学習開始日	5	2	7	4	1	1	サービス有効期間は56日間です

OT（製造・生産技術）

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	10月	11月	12月	1月	2月	3月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
OT（製造・生産技術）（掲載ページ：P. 255 ～）													
OTJ001		リレーシーケンスの基礎とトラブル診断	¥99,000	2日	グループ演習	東京（大森）						24~25	−
						大阪	8~9						
						広島					25~26		
						福岡		26~27					
OTJ002		トラブルシューティング（制御系基礎）	¥264,000	5日間（宿泊有）	グループ演習	別途ご案内いたします							−
OTJ004		シーケンスコントローラ活用入門	¥264,000	5日間（宿泊有）	グループ演習	別途ご案内いたします							−

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません
PDU：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。
学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P.55）を参照ください。

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶https://www.hitachi-ac.co.jp/

e ラーニングコースのご紹介

ビジネススタイルやライフスタイルが多様化する中、自分の空いた時間を有効活用して知識やスキルを修得できる「eラーニング」は、非常に有効な研修方法です。

オリジナルeラーニング	マシン演習付き オリジナルeラーニング	提携コースeラーニング
・ナビ機能付きeラーニング ・スキル定着を支援するeラーニング ・動画型eラーニング		・Oracle トレーニング・オンデマンド　eラーニング ・アイテック社　情報処理技術者試験対策　eラーニング ・SBI大学院　eラーニング ・ライトワークス社　Microsoft Officeシリーズ　eラーニング ・STANDARD社　AI　eラーニング

種類やコースによってサービスの利用期間や学習利用環境（PCおよびWeb環境）が異なります。サービスの利用期間については、「開催コース／スケジュール一覧」（P.28 ～）または当社のWebサイトでご確認ください。学習利用環境については、当社のWebサイトでご確認いただけます。

ナビ機能付きeラーニング

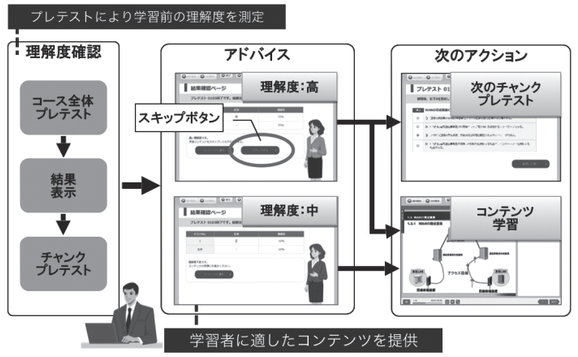
1つのコースを細かく複数の学習コンテンツ（チャンク）に分離し、プレテストで学習の必要度を判断しながら学習を進められるeラーニングです（既に理解しているチャンクは、スキップが可能）。また、学習コンテンツへのメモの書き込みやブックマーク保存、キーワードのWeb検索機能により、受講者の学習を支援します。

○ナビ機能付き e ラーニングの特長

学習者毎に学習内容を最適化し、提供するeラーニングです。学習をチャンク※と呼ばれる短い単位で区切ることで、細かく理解度を測りながら段階的に学習を進めることができます。
また、修了試験の結果から、理解度が不十分な箇所のみ、再学習できるようになっています。

※チャンク：5～15分程度の短い学習コンテンツ

- **Point 1** 学習前の知識レベルに応じて必要な学習内容を判断しながら進めるため、学習時間を短縮できます。
- **Point 2** 学習前に自分の理解度を知ることで、学習への動機が明確になります。



スキル定着を支援するeラーニング

「知識（わかる）」を「スキル（できる）」に！　スキル定着を支援するeラーニングです。

○スキル定着を支援する e ラーニングの特長

学習者の「知識（わかる）」を「スキル（できる）」にレベルアップさせる学習経験の機会を拡大し、さらなる主体的、継続的な学習や「実践力（使える）」の養成に向けたスキル定着のプロセスを支援します。

- **Point 1** 繰り返し設問に取り組むことにより、知識がスキルとして定着することを支援します。
- **Point 2** 実務ベースで起こりうるシーンを設問に取り入れているため、すぐに業務に活用できます。

●設問の画面例　●回答の画面例

設問に取り組みます。

自分なりの回答を作成後、回答例を確認します。

さらなるレベルアップをめざした継続的な学習や実践力養成をめざしたスキル定着を支援する e ラーニング!

動画型eラーニング

講義のプレゼンテーション画面や業務用アプリケーションなどのソフトウェア操作画面を、講師の説明音声とともに、動画にて学習できるeラーニングです。

マシン演習付きオリジナル eラーニング

従来のコンテンツによる学習やテストに加え、クラウド上のマシン環境で操作演習できるeラーニングです。

○マシン演習付きオリジナル e ラーニングの特長

学習者主体の学びが実現できるeラーニングに、クラウド上のマシン演習環境を合わせてご提供いたします。eラーニングで理解した内容をクラウド上のマシンで操作演習し、知識とスキルを定着させます。

- **Point 1** Web ブラウザとインターネット環境があれば、実機演習を用いた学習をすぐに開始できます。
  ※学習教材はPDFファイルにて提供いたします。
- **Point 2** ご自身のペースで実機演習に取り組めます。
- **Point 3** 受講期間中は、何度でもマシン演習環境を利用できます。

●学習教材 閲覧画面　●マシン演習 操作画面

操作演習用テキスト（PDF）をダウンロード

クラウド活用により迅速に演習環境を提供

実機演習を中心に知識とスキルを身につけるタイプの e ラーニング!

提携コース eラーニング

提携コースeラーニングは、各社に委託し提供しているeラーニングです。
このeラーニングは、提携各社のサービスを利用します。
（学習利用環境、学習要領など提携各社ごとに異なりますので、あらかじめご了承ください）

提携コースeラーニングには、以下のコースがあります。
- Oracle トレーニング・オンデマンド　eラーニング
- アイテック社　情報処理技術者試験対策　eラーニング
- SBI大学院　eラーニング
- ライトワークス社　Microsoft Officeシリーズ　eラーニング
- STANDARD社　AI　eラーニング

e ラーニングの学習利用環境

eラーニングのコースによって学習利用環境が異なります。

学習利用環境　学習利用環境については、下記のURLをご確認ください。
https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/elearning

e ラーニングの利用期間

（1）オリジナルeラーニングの利用期間

開始日にかかわらず学習終了日は各期の当社最終営業日となります。（3月末または9月末）
開始日によっては最大6ヶ月の利用期間となりますが、期末に近い開始日では利用期間が短くなりますので、お申し込み時に確認をお願いいたします。
なお、マシン演習付きオリジナルeラーニングと提携コースeラーニングは、従来どおりコースごとに設定された利用期間で変更はございません。

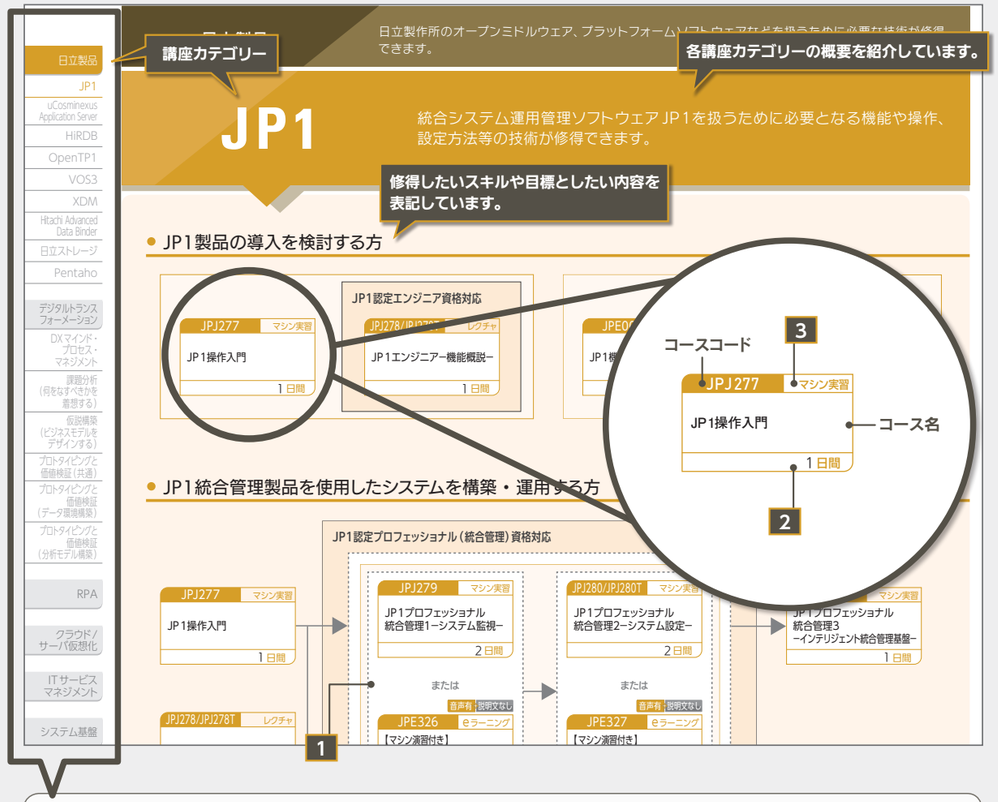
（2）利用時間

メンテナンス日を除き、サービスの利用時間は24時間365日となります。メンテナンスの日程は当社のWebサイトでお知らせします。

講座別コースフロー／コースカリキュラム

お客さまの人財育成に役立てていただけるよう適切な体系を考え、また各種スキル標準に沿ったかたちで、さまざまなカリキュラムをご用意しています。36の講座カテゴリーに分類し、体系的に学習し、効率的なスキルアップを図れるよう、コースフローを紹介しています。

コースフロー参照の POINT!



講座カテゴリー

日立製品研修

日立製品
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HiRDB
- OpenTP1
- VOS3
- XDM
- Hitachi Advanced Data Binder
- 日立ストレージ
- Pentaho

IT／ビジネス研修

デジタルトランスフォーメーション
- DX マインド・プロセス・マネジメント
- 課題分析（何をなすべきかを着想する）
- 仮説構築（ビジネスモデルをデザインする）
- プロトタイピングと価値検証（共通）
- プロトタイピングと価値検証（データ環境構築）
- プロトタイピングと価値検証（分析モデル構築）

RPA

クラウド / サーバ仮想化

IT サービスマネジメント

システム基盤
- IT 基本
- オープンソースソフトウェア（OSS）
- Linux
- Microsoft
- ネットワーク
- ハードウェア
- セキュリティ
- データベース

IT 戦略・IS 企画

システム開発
- 要件定義 / 設計
- プログラミング

情報処理技術者試験対策

IT リテラシ

プロジェクトマネジメント

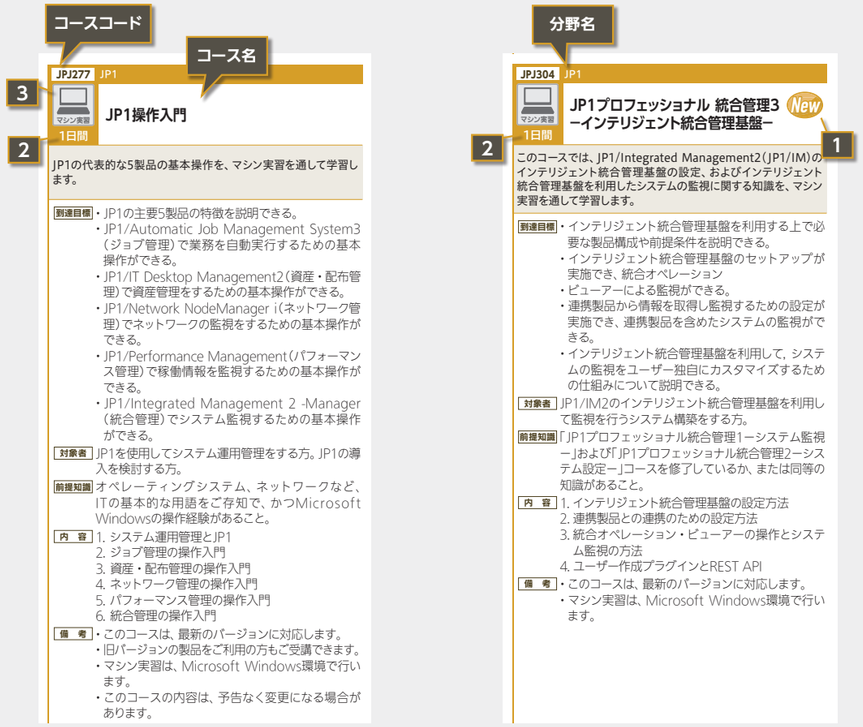
コンプライアンス

ビジネス / ヒューマン

グローバル

OT（製造・生産技術）

コースカリキュラム参照の POINT!



アイコン凡例

1 開催区分

New 新設コース　Renewal 改訂コース

休講 今期の定期開催はありません

2 開催日数／平均学習時間

コースの開催日数となります。
e ラーニング、自習テキスト・演習環境の場合は平均学習時間を表記しています。

3 学習形態

学習形態により学習利用環境が異なりますので、Web サイトをご参照のうえ、事前に環境をご確認ください。

集合研修

- マシン実習：原則として1人1台のマシンを使用しながらの研修
- グループ演習：グループ演習を中心とした研修
- レクチャ：座学による研修

その他

- <演習環境>：職場・ご自宅などでのマシン演習環境を使用した自己学習
- <自習テキスト>：職場・ご自宅など 自習テキストによる自己学習

eラーニング

- eラーニング <オリジナルeラーニング>
  - ナビ機能付き eラーニング
  - スキル定着 eラーニング
  - 動画型 eラーニング
- <マシン演習付きオリジナルeラーニング>
- <提携コースeラーニング>
  - Oracleトレーニング・オンデマンド eラーニング
  - アイテック社 情報処理技術者試験対策 eラーニング
  - SBI大学院 eラーニング
  - ライトワークス社 Microsoft Officeシリーズ eラーニング
  - STANDARD社 AI eラーニング

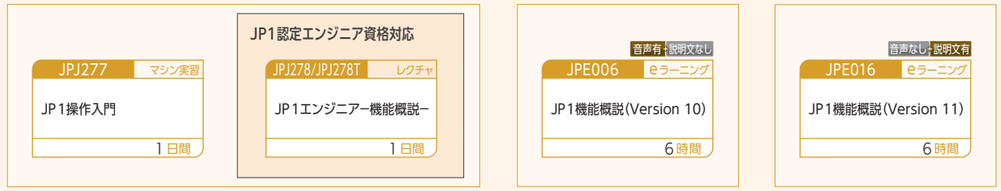
日立製品

日立製作所のオープンミドルウェア、プラットフォームソフトウェアなどを扱うために必要な技術が修得できます。

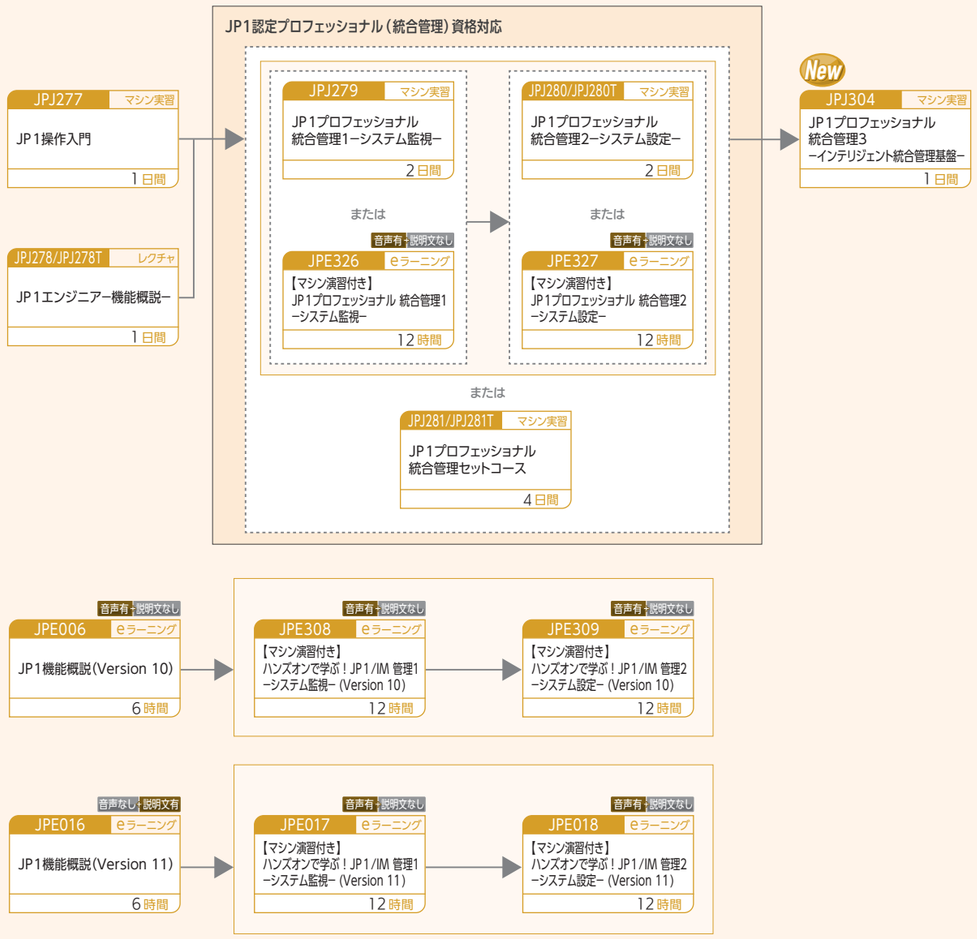
JP1

統合システム運用管理ソフトウェアJP1を扱うために必要となる機能や操作、設定方法等の技術が修得できます。

JP1製品の導入を検討する方



JP1統合管理製品を使用したシステムを構築・運用する方

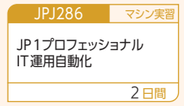


音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

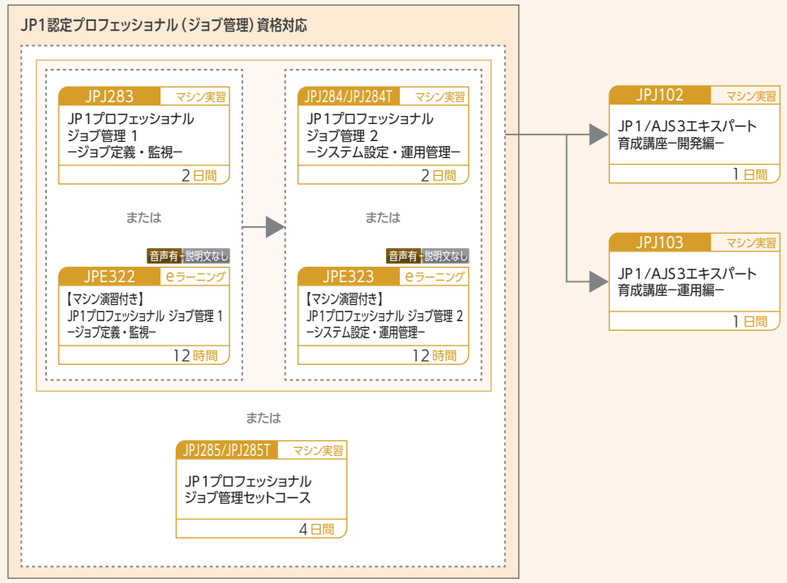
初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

JP1 IT運用自動化製品を使用したシステムを構築・運用する方



JP1ジョブ管理製品を使用したシステムを構築・運用する方

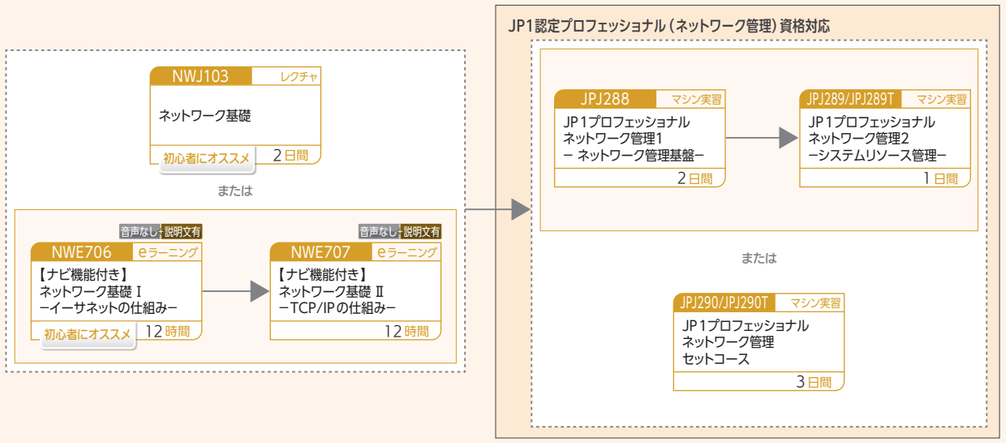


JP1クライアント業務自動化製品を使用したシステムを構築・運用する方

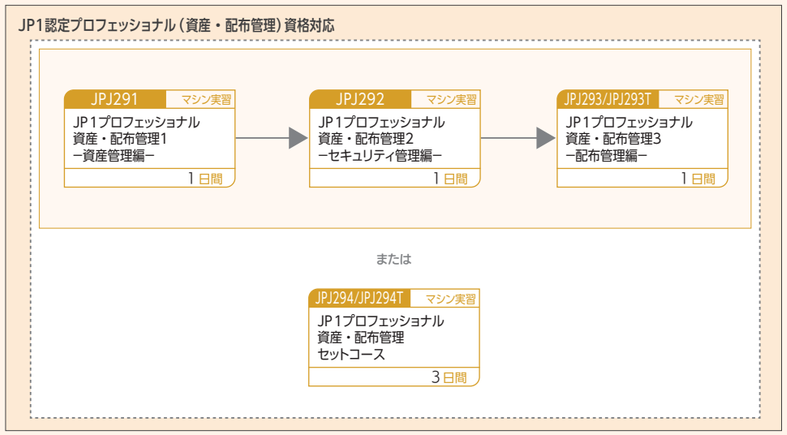
New

JPJ303 マシン実習
JP1プロフェッショナル ジョブ管理 ークライアント業務自動化ー
1日間

JP1ネットワーク管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



JP1資産・配布管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



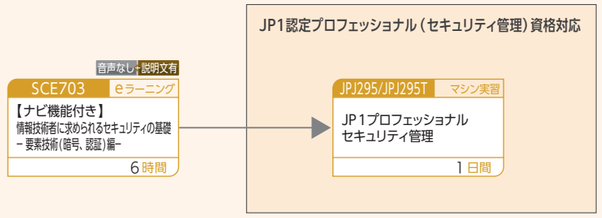
音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

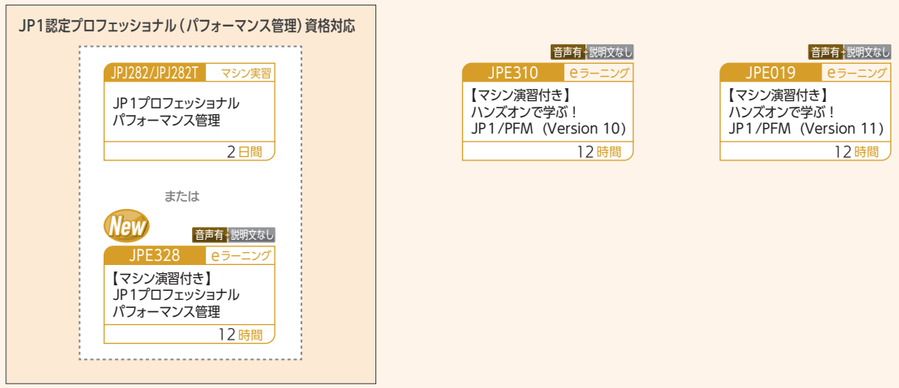
マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HiRDB
OpenTP1
VOS3
XDM
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
DXマインド・プロセス・マネジメント
課題分析（何をなすべきかを着想する）
仮説構築（ビジネスモデルをデザインする）
プロトタイピングと価値検証（共通）
プロトタイピングと価値検証（データ環境構築）
プロトタイピングと価値検証（分析モデル構築）
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル
OT（製造・生産技術）

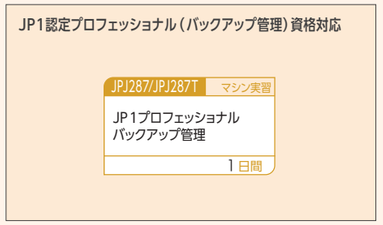
JP1セキュリティ管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



JP1パフォーマンス管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



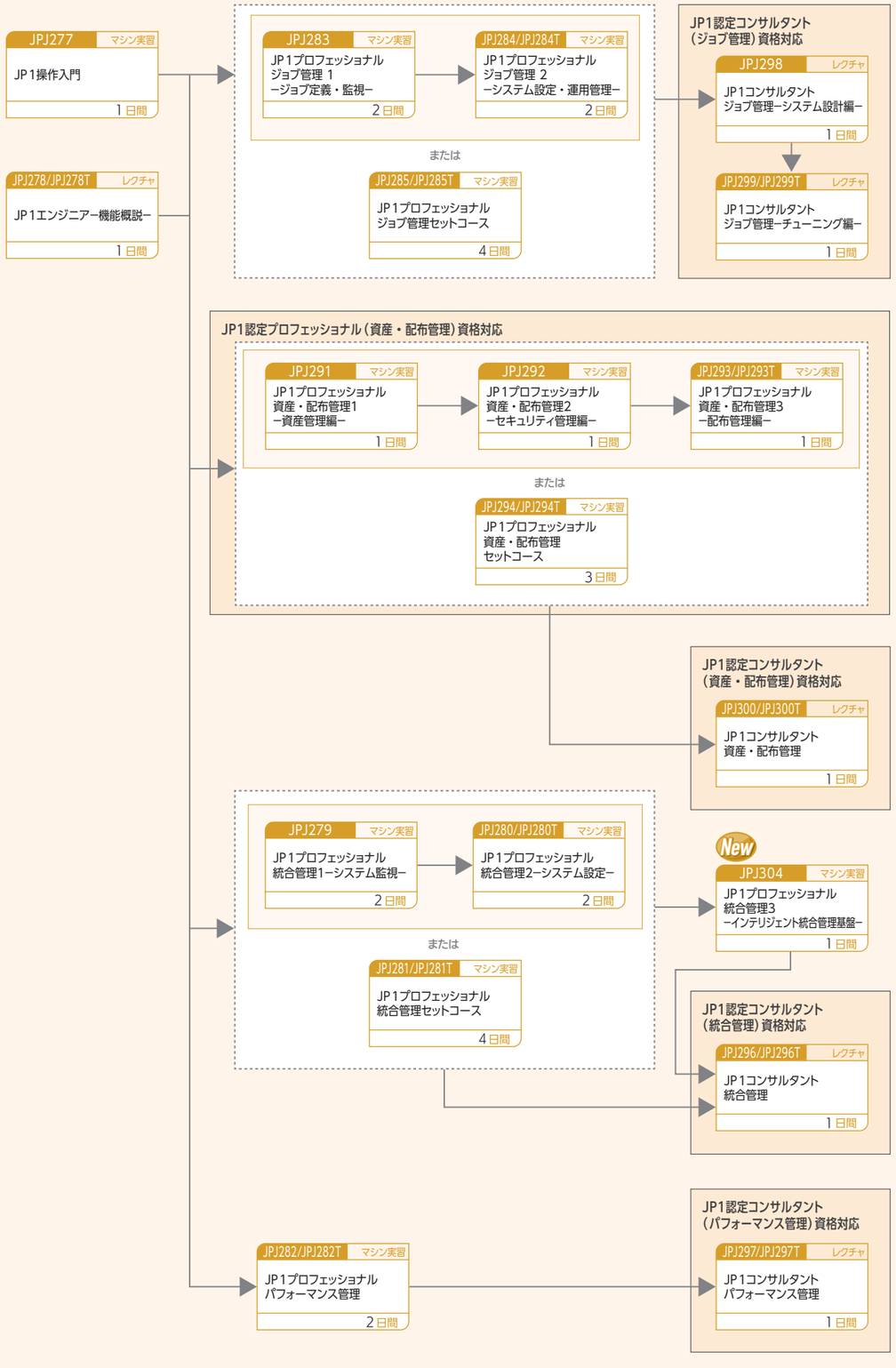
JP1バックアップ管理製品を使用したシステムを構築・運用する方

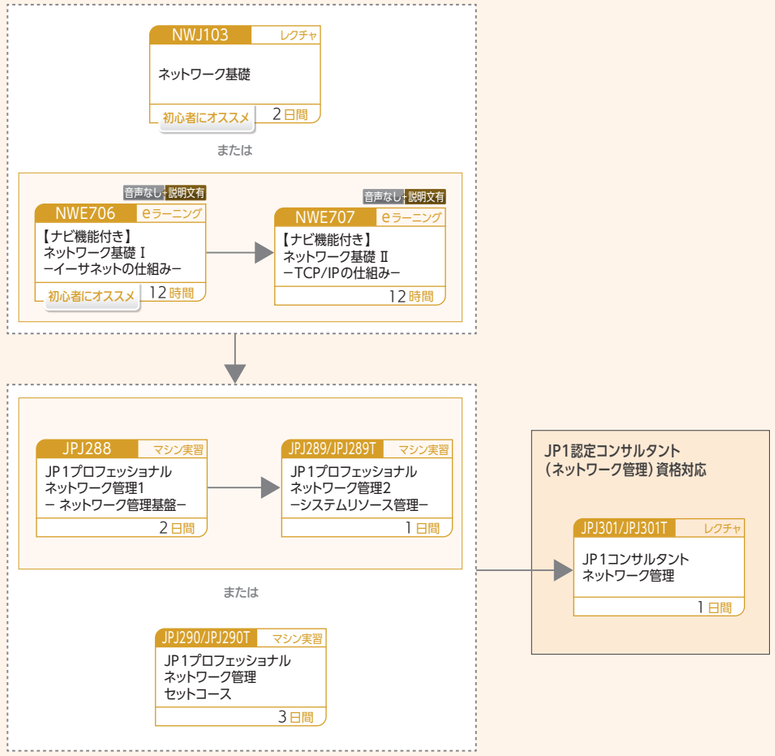


JP1の販売に携わる方

JPJ302 レクチャ
【日立パートナー様 限定コース】JP1セールスコーディネーター
1日間

JP1の各カテゴリ製品のシステム設計をする方





音声有・説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有・説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし・説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度 ── オープンミドルウェア編

日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度（オープンミドルウェア編）は、JP1製品を対象に、一定以上のスキルを有する技術者を日立が認定する制度です。セールスからシステム構築・運用、アプリケーション開発まで目的ごと、さらにレベルごとに資格を設け、「試験」により、厳格・公正な評価基準でそのスキルレベルを認定します。

資格取得をサポート

試験合格をサポートする学習コース「講座」もご用意しております。講座は、試験に準拠した内容となっており、かつ高度な知識やノウハウを体系的・効率的に学べる、と大変好評をいただいております。

信頼と安心の技術者資格認定

資格取得者は、そのスキルレベルを客観的に示すことができ、日立オープンミドルウェア各製品をご利用いただくお客さま、ソリューションやサービスを提供する方々から高い信頼と評価を得ることができます。また、人材育成や技術者のテクニカルスキルをはかる尺度としても活用できます。

資格取得者の特典

日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度では、資格取得者に対して専用のWebサイトをご用意し、資格のバージョンアップや継続してスキルアップを図るための技術情報をご提供しております。（ご希望の方にはメールでもご案内しております。）
また、認定証や名刺に貼ってご利用いただける認定ロゴシールや印刷して使用できるロゴも資格者専用の会員サイトにてご提供しております。

＜受験にあたってのお願い＞
- 受験当日は、ご本人を確認できる顔写真付き証明書（免許証、従業員証、パスポートなど）を忘れずにご持参ください。ご持参いただかない場合は、受験が無効になることがありますので、ご注意ください。
- 認定試験はマークシート方式のため、鉛筆またはシャープペンシル、プラスチック製消しゴムをご持参ください。
- 試験付コースをお申し込みの場合は、お申し込みの情報を日立オープンミドルウェア技術者認定センターに提供いたします。

JP1 技術者資格認定試験一覧

試験名	試験内容	認定基準	試験時間
JP1認定エンジニア　CBT 日立	試験問題20問	70%以上正解	40分
JP1認定プロフェッショナル　CBT 日立 （各カテゴリ別認定） ・統合管理 ・パフォーマンス管理 ・ジョブ管理 ・資産・配布管理 ・セキュリティ管理 ・ネットワーク管理 ・バックアップ管理	試験問題30問	70%以上正解	60分
JP1認定コンサルタント　CBT 日立 （各カテゴリ別認定） ・統合管理 ・パフォーマンス管理 ・ジョブ管理 ・資産・配布管理 ・ネットワーク管理	試験問題30問	70%以上正解	60分
JP1認定セールスコーディネーター※　CBT 日立	試験問題20問	70%以上正解	30分

CBT CBT試験サービス会社で受験できる試験　日立 当社で研修とともに受験できる試験

※日立パートナー様のみ受験可能です。

資格認定試験は、(株)日立製作所が提供するものです。
運営は、(株)日立アカデミーおよびCBT試験サービス会社に委託しています。

※受験可能なCBT試験サービス会社は下記のWebサイトでお確かめください。

日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度サイト ▶▶ JP1 http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/soft1/jp1/event/cert/index.html

● JP1 技術者資格認定制度の詳細・最新情報について
http://www.hitachi.co.jp/products/it/cert/middleware/index.html

● （株）日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部 日立オープンミドルウェア技術者認定センター お問い合わせ窓口
https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/it/soft/cert_contact/form.jsp

マシン実習 マシンを使用しながらの研修　グループ演習 グループ演習を中心とした研修　レクチャ 座学による研修　eラーニング インターネット接続による自己学習　その他　休講 今期の定期開催はありません

JP1技術者資格認定制度（Version 12対応）

※Version 11については日立オープンミドルウェア技術者認定センターまでお問い合わせください。

JP1

JP1技術者資格認定制度は、JP1の一定以上のスキルを有する技術者を日立が認定する制度です。
セールスからシステム構築・運用まで目的ごと、さらにレベルごとに資格を設け、「JP1試験」により、厳格・公正な評価基準でそのスキルレベルを認定します。

JP1 技術者資格認定一覧

資格名	認定スキル
JP1認定エンジニア　<Certified JP1 Engineer>	JP1全般の理解、および運用に必要なテクニカルスキルを修得したエンジニアを認定します。
JP1認定プロフェッショナル　<Certified JP1 Professional> ・統合管理 ・パフォーマンス管理 ・ジョブ管理 ・資産・配布管理 ・セキュリティ管理 ・ネットワーク管理 ・バックアップ管理	JP1各カテゴリ製品の導入とシステム構築ができるテクニカルスキルを修得したエンジニアをカテゴリごとに認定します。
JP1認定コンサルタント　<Certified JP1 Consultant> ・統合管理 ・パフォーマンス管理 ・ジョブ管理 ・資産・配布管理 ・ネットワーク管理	JP1各カテゴリ製品について、最適なコンサルテーションができるテクニカルスキルを修得したエンジニアを、カテゴリごとに認定します。
JP1認定セールスコーディネーター　<Certified JP1 Sales Coordinator>※	お客様に対し最適なJP1の提案・見積もりができるセールススキルを修得したエンジニアを認定します。

※日立パートナー様のみ受験可能です。

JP1 技術者資格認定制度の体系

構築・運用エンジニア　JP1 の構築・運用に携わる方

コース名 JP1 操作入門 ▶ 【資格名】JP1 認定エンジニア（コース名 JP1 エンジニア） ▶ 【資格名】JP1 認定プロフェッショナル（※1）（コース名 JP1 プロフェッショナル） ▶ 【資格名】JP1 認定コンサルタント（※2）（コース名 JP1 コンサルタント）

（※1）「JP1認定プロフェッショナル」には機能カテゴリごとに認定講座、認定試験があります。　（※2）「JP1認定コンサルタント」には機能カテゴリごとに認定講座、認定試験があります。

セールスエンジニア　JP1 の販売に携わる方

コース名 JP1 操作入門 ▶ 【資格名】JP1 認定セールスコーディネーター※（コース名 JP1 セールスコーディネーター）

※日立パートナー様のみ受験可能です。

JP1 技術者資格認定制度における出題範囲

試験名	試験の出題範囲
JP1認定エンジニア	「JP1エンジニア機能概説−」(コースコード：JPJ278)のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル 統合管理	「JP1プロフェッショナル 統合管理 1 −システム監視−」(コースコード：JPJ279)、「JP1プロフェッショナル 統合管理 2 −システム設定−」(コースコード：JPJ280)のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル パフォーマンス管理	「JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理」(コースコード：JPJ282)のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル ジョブ管理	「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 −ジョブ定義・監視−」(コースコード：JPJ283)、「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 −システム設定・運用管理−」(コースコード：JPJ284)のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル 資産・配布管理	「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 1 −資産管理編−」(コースコード：JPJ291)、「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 2 −セキュリティ管理編−」(コースコード：JPJ292)、「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 3 −配布管理編−」(コースコード：JPJ293)、のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル ネットワーク管理	「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1 −ネットワーク管理基盤−」(コースコード：JPJ288)、「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2 −システムリソース管理−」(コースコード：JPJ289)のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル バックアップ管理	「JP1プロフェッショナル バックアップ管理」(コースコード：JPJ287)のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル セキュリティ管理	「JP1プロフェッショナル セキュリティ管理」(コースコード：JPJ295)のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント 統合管理	「JP1コンサルタント 統合管理」(コースコード：JPJ296)、「JP1プロフェッショナル 統合管理 1 −システム監視−」(コースコード：JPJ279)、「JP1プロフェッショナル 統合管理 2 −システム設定−」(コースコード：JPJ280)のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント パフォーマンス管理	「JP1コンサルタント パフォーマンス管理」(コースコード：JPJ297)、「JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理」(コースコード：JPJ282)のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント ジョブ管理	「JP1コンサルタント ジョブ管理−システム設計編−」(コースコード：JPJ298)、「JP1コンサルタント ジョブ管理−チューニング編−」(コースコード：JPJ299)、「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 −ジョブ定義・監視−」(コースコード：JPJ283)、「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 −システム設定・運用管理−」(コースコード：JPJ284)のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント 資産・配布管理	「JP1コンサルタント 資産・配布管理」(コースコード：JPJ300)、「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 1 −資産管理編−」(コースコード：JPJ291)、「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 2 −セキュリティ管理編−」(コースコード：JPJ292)、「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 3 −配布管理編−」(コースコード：JPJ293)、のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント ネットワーク管理	「JP1コンサルタント ネットワーク管理」(コースコード：JPJ301)、「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1 −ネットワーク管理基盤−」(コースコード：JPJ288)、「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2 −システムリソース管理−」(コースコード：JPJ289)のテキスト内容から出題
JP1認定セールスコーディネーター※	「JP1セールスコーディネーター」(コースコード：JPJ302)のテキスト内容から出題　※日立パートナー様のみ受験可能です。

JPJ277 JP1

マシン実習 1日間

JP1操作入門

JP1の代表的な5製品の基本操作を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- JP1の主要5製品の特徴を説明できる。
  - JP1/Automatic Job Management System3（ジョブ管理）で業務を自動実行するための基本操作ができる。
  - JP1/IT Desktop Management2（資産・配布管理）で資産管理をするための基本操作ができる。
  - JP1/Network NodeManager i（ネットワーク管理）でネットワークの監視をするための基本操作ができる。
  - JP1/Performance Management（パフォーマンス管理）で稼働情報を監視するための基本操作ができる。
  - JP1/Integrated Management 2 -Manager（統合管理）でシステム監視するための基本操作ができる。

対象者 JP1を使用してシステム運用管理をする方。JP1の導入を検討する方。

前提知識 オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語をご存知で、かつMicrosoft Windowsの操作経験があること。

内 容
1. システム運用管理とJP1
2. ジョブ管理の操作入門
3. 資産・配布管理の操作入門
4. ネットワーク管理の操作入門
5. パフォーマンス管理の操作入門
6. 統合管理の操作入門

備 考
- このコースは、最新のバージョンに対応します。
- 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

JPJ278/JPJ278T JP1

レクチャ 1日間

JP1エンジニアー機能概説−

すべての運用管理分野におけるJP1製品の機能を学習します。

到達目標
- JP1製品の特徴が説明できる。
  - 各管理製品にどのような製品があるか説明できる。
  - 各管理の主要製品の主な機能を説明できる。

対象者 JP1製品の導入を検討する方、JP1のシステム構築・販売する方、JP1認定エンジニア資格の取得をめざす方。

前提知識 オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語について知識があること。

内 容
1. JP1の基礎知識
2. Intelligence
3. Intelligent Monitoring
4. Intelligent Automation
5. Intelligent Governance

備 考
- このコースは、「JP1認定エンジニア」資格に準拠したコースです。
- このコースは、最新のバージョンに対応します。
- マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
  コースコード：JPJ278（研修のみ）
  コースコード：JPJ278T（試験付）
- 試験付コースは、研修終了後にJP1試験を行います。
- 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験　定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。

JPJ279 JP1

マシン実習 2日間

JP1プロフェッショナル 統合管理 1 −システム監視−

JP1/Integrated Management 2（JP1/IM）を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- セントラルコンソールとセントラルスコープの概要を説明できる。
- セントラルコンソール、セントラルスコープを使って事象監視ができる。
- イベント監視ページのカスタマイズができる。
- セントラルコンソールに表示するイベントの設定（フィルター設定）ができる。
- 自動アクションの設定ができる。
- 重要イベントページのカスタマイズができる。
- 自動アクションの設定ができる。
- 重要イベントページのカスタマイズができる。
- 必要なイベントを検索できる。
- 他のJP1製品と連携したモニター起動と統合機能メニューを操作できる。
- コマンド実行の操作ができる。

対象者 JP1/IMを使用してシステムを監視する方。JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「JP1エンジニア−機能概説−」コース、または「JP1操作入門」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 統合管理の全体像
2. システム監視
   (1)システム監視の基本操作
   (2)繰り返しイベントの表示抑止
   (3)フィルターによるJP1イベントの絞り込み
3. システム障害の検知
   (1)自動アクション
   (2)ローカルアクション
   (3)重要イベントページ
   (4)ビジュアル監視
   (5)監視ツリー
4. システム障害の調査・対処
   (1)ガイド情報の表示
   (2)メモ情報の設定
   (3)コマンド実行

備 考
- このコースは、「JP1認定プロフェッショナル（統合管理）」資格に準拠したコースです。
- このコースは、最新のバージョンに対応します。
- 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

JPJ280/JPJ280T JP1

マシン実習 2日間

JP1プロフェッショナル 統合管理 2 −システム設定−

JP1/Integrated Management 2（JP1/IM）のインストール、設定に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- インストールする上で必要な製品構成を説明できる。
- 認証サーバを構築し、JP1ユーザーを管理できる。
- マネージャ・エージェントを構築できる。
- ログファイル監視の設定ができる。
- 監視ツリーの作成やカスタマイズができる。
- ビジュアル監視の設定ができる。

対象者 JP1/IMのシステム構築をする方。JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナル統合管理1−システム監視−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 統合管理の概要
2. 統合管理の導入
   (1)インストール　(2)IMデータベースの構築
   (3)サービスの起動・終了
3. JP1イベントの集中管理設定
   (1)構成管理設定　(2)JP1イベントの転送設定
   (3)リモート監視構成管理の設定
4. ユーザー管理機能
   (1)ユーザー認証の設定　(2)認証サーバの閉塞
   (3)ユーザーマッピングの設定
5. 監視対象の設定
   (1)アプリケーションが出力するログの監視
   (2)Windowsイベントログの監視
   (3)リモート監視ホストのログ監視
   (4)イベントストーム発生時のイベント転送抑止設定
6. 監視画面の設定
   (1)セントラルスコープのセットアップ
   (2)監視ツリー画面の設定
   (3)ビジュアル監視画面の設定

備 考
- このコースは、「JP1認定プロフェッショナル（統合管理）」資格に準拠したコースです。
- このコースは、最新のバージョンに対応します。
- マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
  コースコード：JPJ280（研修のみ）
  コースコード：JPJ280T（試験付）
- 試験付コースは、研修終了後にJP1試験を行います。
- 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験　定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。

JPJ281/JPJ281T JP1

マシン実習 4日間

JP1プロフェッショナル 統合管理 セットコース

JP1/Integrated Management 2（JP1/IM）を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、マシン実習を通して学習します。また、JP1/IMのインストール・設定に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

●このコースは、セットコースのご案内となります。
各コースの詳細情報をご参照ください。

<JPJ279>
JP1プロフェッショナル 統合管理 1−システム監視−

<JPJ280/JPJ280T>
JP1プロフェッショナル 統合管理 2−システム設定−

備 考
- このコースは、「JP1認定プロフェッショナル（統合管理）」資格に準拠したコースです。
- このコースは、最新のバージョンに対応します。
- マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
  コースコード：JPJ281（研修のみ）
  コースコード：JPJ281T（試験付）
- 試験付コースは、研修終了後にJP1試験を行います。
- 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験　定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。

JPJ304 JP1

マシン実習 1日間

JP1プロフェッショナル 統合管理3 −インテリジェント統合管理基盤−

New

このコースでは、JP1/Integrated Management2（JP1/IM）のインテリジェント統合管理基盤の設定、およびインテリジェント統合管理基盤を利用したシステムの監視に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- インテリジェント統合管理基盤を利用する上で必要な製品構成や前提条件を説明できる。
- インテリジェント統合管理基盤のセットアップが実施でき、統合オペレーション
- ビューアーによる監視ができる。
- 連携製品から情報を取得し監視するための設定が実施でき、連携製品を含めたシステムの監視ができる。
- インテリジェント統合管理基盤を利用して、システムの監視をユーザー独自にカスタマイズするための仕組みについて説明できる。

対象者 JP1/IM2のインテリジェント統合管理基盤を利用して監視を行うシステム構築をする方。

前提知識 「JP1プロフェッショナル統合管理1−システム監視−」および「JP1プロフェッショナル統合管理2−システム設定−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. インテリジェント統合管理基盤の設定方法
2. 連携製品との連携のための設定方法
3. 統合オペレーション・ビューアーの操作とシステム監視の方法
4. ユーザー作成プラグインとREST API

備 考
- このコースは、最新のバージョンに対応します。
- マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休 講 今期の定期開催はありません

JPE326 JP1

eラーニング 12時間

<eラーニング>【マシン演習付き】JP1プロフェッショナル 統合管理1 −システム監視−

JP1/Integrated Management2（JP1/IM）を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
- セントラルコンソールとセントラルスコープの概要を説明できる。
- セントラルコンソール、セントラルスコープを使って事象監視ができる。
- イベント監視ページのカスタマイズができる。
- セントラルコンソールに表示するイベントの設定（フィルター設定）ができる。
- 自動アクションの設定ができる。
- 重要イベントページのカスタマイズができる。
- 必要なイベントを検索できる。
- 他のJP1製品と連携したモニター起動と統合機能メニューを操作できる。
- コマンド実行の操作ができる。

対象者 JP1/IMを使用してシステムを監視する方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「JP1エンジニア−機能概説−」コース、または「JP1操作入門」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 統合管理の全体像
2. システム監視
   (1)システム監視の基本操作
   (2)繰り返しイベントの表示抑止
   (3)フィルターによるJP1イベントの絞り込み
3. システム障害の検知
   (1)自動アクション　(2)ローカルアクション
   (3)重要イベントページ　(4)ビジュアル監視
   (5)監視ツリー
4. システム障害の調査・対処
   (1)ガイド情報の表示　(2)メモ情報の設定
   (3)コマンド実行

備 考
- サービス有効期間は21日間です。

【お申し込み前に必ずご確認ください】
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
  https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

JPE327 JP1

eラーニング 12時間

<eラーニング>【マシン演習付き】JP1プロフェッショナル 統合管理2 −システム設定−

JP1/Integrated Management 2（JP1/IM）のインストール・設定に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- インストールする上で必要な製品構成を説明できる。
- 認証サーバを構築し、JP1ユーザーを管理できる。
- マネージャ・エージェントを構築できる。
- ログファイル監視の設定ができる。
- 監視ツリーの作成やカスタマイズができる。
- ビジュアル監視の設定ができる。

対象者 JP1/IMのシステム構築をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナル統合管理1−システム監視−」コース、または、【「マシン演習付き」JP1プロフェッショナル統合管理1−システム監視−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 統合管理の概要
2. 統合管理の導入
   (1)インストール　(2)IMデータベースの構築
   (3)サービスの起動・終了
3. JP1イベントの集中管理設定
   (1)構成管理設定　(2)JP1イベントの転送設定
   (3)リモート監視構成管理の設定
4. ユーザー管理機能
   (1)ユーザー認証の設定　(2)認証サーバの閉塞
   (3)ユーザーマッピングの設定
5. 監視対象の設定
   (1)アプリケーションが出力するログの監視
   (2)Windowsイベントログの監視
   (3)リモート監視ホストのログ監視
   (4)イベントストーム発生時のイベント転送抑止設定
6. 監視画面の設定
   (1)セントラルスコープのセットアップ
   (2)監視ツリー画面の設定
   (3)ビジュアル監視画面の設定

備 考
- サービス有効期間は21日間です。

【お申し込み前に必ずご確認ください】
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
  https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

JPJ282/JPJ282T JP1

マシン実習 2日間

JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理

ITシステムの稼働情報を監視するJP1/Performance Management（JP1/PFM）製品の機能について、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- JP1/PFMのインストールとセットアップができる。
- パフォーマンスデータの収集ができる。
- レポート、アラームの作成、操作ができる。
- 統合コンソールとの連携設定ができる。

対象者 JP1/PFMのシステム構築、稼働情報監視を行う方。JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 オペレーティングシステムや各種サーバの基礎的な知識があること。

内 容
1. アベイラビリティ管理の概要
2. JP1/PFMによる稼働情報の監視
   (1)監視コンソールサーバへのログイン
   (2)サーバの稼動監視　(3)アラームによる稼動監視
   (4)レポートによるパフォーマンスデータの参照
3. JP1/PFMのシステム構築
   (1)JP1/PFMのシステム構成
   (2)JP1/PFMのインストールとセットアップ
   (3)JP1/PFM-RMのセットアップ（エージェントレス構成）
   (4)JP1/PFMの起動と停止　(5)ユーザーアカウントの管理
4. 監視エージェントの設定
   (1)エージェント階層の設定
   (2)パフォーマンスデータの収集設定
   (3)レポート定義のカスタマイズ　(4)新規レポートの定義
5. アラーム定義
   (1)アラームの概要　(2)クイックガイドでのアラームの作成
   (3)アラーム階層でのアラーム作成
   (4)プロセス・サービスの稼働状況監視
   (5)複数アラームテーブルの監視　(6)稼動状況のサマリ表示
6. 統合コンソールとの連携
   (1)統合コンソールとの連携の概要
   (2)サーバ稼働管理と統合コンソールの連携

備 考
- このコースは、「JP1認定プロフェッショナル（パフォーマンス管理）」資格に準拠したコースです。
- このコースは、最新のバージョンに対応します。
- マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
  コースコード：JPJ282（研修のみ）
  コースコード：JPJ282T（試験付）
- 試験付コースは、研修終了後にJP1試験を行います。
- 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験　定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。

JPE328 JP1

eラーニング 12時間

<eラーニング>【マシン演習付き】JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理

New

ITシステムの稼働情報を監視するJP1/Performance Management（JP1/PFM）製品の機能について、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
- JP1/PFMのインストールとセットアップができる。
- パフォーマンスデータの収集ができる。
- レポート、アラームの作成、操作ができる。
- 統合コンソールとの連携設定ができる。

対象者 JP1/PFMのシステム構築、稼働情報監視を行う方。JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 オペレーティングシステムや各種サーバの基礎的な知識があること。

内 容
1. アベイラビリティ管理の概要
2. JP1/PFMによる稼働情報の監視
   (1)監視コンソールサーバへのログイン
   (2)サーバの稼動監視　(3)アラームによる稼動監視
   (4)レポートによるパフォーマンスデータの参照
3. JP1/PFMのシステム構築
   (1)JP1/PFMのシステム構成
   (2)JP1/PFMのインストールとセットアップ
   (3)JP1/PFM-RMのセットアップ（エージェントレス構成）
   (4)JP1/PFMの起動と停止　(5)ユーザーアカウントの管理
4. 監視エージェントの設定
   (1)エージェント階層の設定
   (2)パフォーマンスデータの収集設定
   (3)レポート定義のカスタマイズ　(4)新規レポートの定義
5. アラーム定義
   (1)アラームの概要　(2)クイックガイドでのアラームの作成
   (3)アラーム階層でのアラーム作成
   (4)プロセス・サービスの稼働状況監視
   (5)複数アラームテーブルの監視　(6)稼動状況のサマリ表示
6. 統合コンソールとの連携
   (1)統合コンソールとの連携の概要
   (2)サーバ稼働管理と統合コンソールの連携

備 考
- サービス有効期間は21日間です。

【お申し込み前に必ずご確認ください】
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
  https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースは、最新のバージョンに対応します。
- 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- このコースは、「JP1認定プロフェッショナル」資格に準拠したコースです。

※別途ご案内いたします。

JPJ283 JP1

マシン実習 2日間

JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 −ジョブ定義・監視−

JP1/Automatic Job Management System 3（JP1/AJS3）を使用して、業務を自動化するための定義や監視を行う機能を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- JP1/AJS3の機能概要が説明できる。
- 自動化する業務（ジョブグループ、ジョブネット、ジョブ）の定義ができる。
- 運用スケジュール（運用日・休業日、開始時刻、サイクルなど）の設定ができる。
- 業務を実行する条件（イベント監視、起動条件）の定義ができる。
- ジョブネットの実行（即時、計画、確定）および監視（ジョブネット実行状況・結果、スケジュール運用状況）の操作ができる。

対象者 JP1/AJS3を使用してシステム運用管理をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内 容
1. JP1/AJS3の概要
2. 業務の自動化
   (1)ジョブ定義
   (2)即時実行登録
   (3)ジョブ実行状況の監視
3. スケジュールに基づいた業務の自動運用
   (1)カレンダー情報の設定
   (2)スケジュール設定
   (3)計画/確定実行登録
   (4)実行スケジュールの確認
4. 特定の事象を契機とした業務の自動運用
   (1)ファイル更新契機のジョブの実行
   (2)起動条件の設定
5. 業務の実行監視

備 考
- このコースは、「JP1認定プロフェッショナル（ジョブ管理）」資格に準拠したコースです。
- このコースは、最新のバージョンに対応します。
- マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。

JPJ284/JPJ284T JP1

マシン実習 2日間

JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 −システム設定・運用管理−

JP1/Automatic Job Management System 3（JP1/AJS3）のインストール、設定、運用に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- JP1/AJS3製品のインストールができる。
- エージェントの追加・変更ができる。
- JP1/AJS3を操作するためのユーザー情報の設定ができる。
- ジョブネットの定義の退避・回復、運用状況監視の操作ができる。
- 運用中のジョブネットの変更（ジョブネット変更・リリース管理）ができる。

対象者 JP1/AJS3を使用してシステム構築・運用管理をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナルジョブ管理1−ジョブ定義・監視−」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. JP1/AJS3のインストール
   (1)JP1/Base、JP1/AJS3-Manager、JP1/AJS3-View
2. ジョブ実行環境の設定
   (1)エージェント管理機能の設定
3. ユーザー管理機能の設定
   (1)JP1ユーザー、アクセス権限、ユーザーマッピング
4. JP1/AJS3システムの運用
   (1)複数スケジューラーサービス
   (2)スケジューラーサービス参照制限
   (3)実行エージェントの制限
   (4)同時接続数制限
5. ジョブネットの運用
   (1)ジョブネット定義の退避・回復
   (2)運用中のジョブネット変更
   (3)運用状況の監視

備 考
- このコースは、「JP1認定プロフェッショナル（ジョブ管理）」資格に準拠したコースです。
- このコースは、最新のバージョンに対応します。
- マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
  コースコード：JPJ284（研修のみ）
  コースコード：JPJ284T（試験付）
- 試験付コースは、研修終了後にJP1試験を行います。
- 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験　定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。

JPJ285/JPJ285T JP1

マシン実習 4日間

JP1プロフェッショナル ジョブ管理 セットコース

JP1/Automatic Job Management System 3（JP1/AJS3）を使用して、業務を自動化するための定義や監視を行う機能を、マシン実習を通して学習します。また、JP1/AJS3のインストール・設定・運用に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

●このコースは、セットコースのご案内となります。
各コースの詳細情報をご参照ください。

<JPJ283>
JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1
ージョブ定義・監視ー

<JPJ284/JPJ284T>
JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2
ーシステム設定・運用管理ー

備　考
- このコースは、「JP1認定プロフェッショナル（ジョブ管理）」資格に準拠したコースです。
- このコースは、最新のバージョンに対応します。
- マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
  コースコード：JPJ285（研修のみ）
  コースコード：JPJ285T（試験付）
- 試験付コースは、研修終了後にJP1試験を行います。
- 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験　定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。

JPE322 JP1

eラーニング 12時間

<eラーニング>【マシン演習付き】JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 ージョブ定義・監視ー

JP1/Automatic Job Management System 3（JP1/AJS3）の業務自動化定義や監視操作を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
- JP1/AJS3の機能概要が説明できる。
- 自動化する業務（ジョブグループ、ジョブネット、ジョブ）の定義ができる。
- 運用スケジュール（運用日・休業日、開始時刻、サイクルなど）の設定ができる。
- 業務を実行する条件（イベント監視、起動条件）の定義ができる。
- ジョブネットの実行（即時、計画、確定）および監視（ジョブネット実行状況・結果、スケジュール運用状況）の操作ができる。

対象者
- JP1/AJS3を使用してシステム運用管理をする方。
- JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内　容
1. JP1/AJS3の概要
2. 業務の自動化
   （1）ジョブ定義　（2）即時実行登録
   （3）ジョブ実行状況の監視
3. スケジュールに基づいた業務の自動運用
   （1）カレンダー情報の設定　（2）スケジュール設定
   （3）計画/確定実行登録　（4）実行スケジュールの確認
4. 特定の事象を契機とした業務の自動運用
   （1）ファイル更新契機のジョブの実行
   （2）起動条件の設定
5. 業務の実行監視
6. 修了試験（JP1認定資格試験ではありません）

備　考
- サービス有効期間は21日間です。

【お申し込み前に必ずご確認ください】
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
  https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf
- このコースは、最新バージョンに対応しております。
- 旧バージョンをご利用の方でもご受講できます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- このコースは、「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1ージョブ定義・監視ー」コース（集合研修）と同等内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

JPE323 JP1

eラーニング 12時間

<eラーニング>【マシン演習付き】JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 ーシステム設定・運用管理ー

JP1/Automatic Job Management System 3（JP1/AJS3）のインストール・設定・運用に関する知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
- JP1/AJS3のインストールができる。
- ジョブ実行環境のセットアップができる。
- JP1/AJS3を操作するユーザー情報の設定ができる。
- JP1/AJS3スケジューラーサービスの分割および参照制限ができる。
- 実行エージェントや接続元ホストでのジョブ実行の制限ができる。
- JP1ユーザーの同時接続制限ができる。
- ジョブネットの定義の退避・回復、運用状況監視の操作ができる。
- 運用中のジョブネットの変更ができる。

対象者
- JP1/AJS3を使用してシステム構築・運用管理をする方。
- JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識「JP1プロフェッショナルジョブ管理1ージョブ定義・監視ー」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. JP1/AJS3のインストール
   （1）JP1/Base、JP1/AJS3-Manager、JP1/AJS3-View
2. ジョブ実行環境の設定
   （1）エージェント管理機能の設定
3. ユーザー管理機能の設定
   （1）JP1ユーザー、アクセス権限、ユーザーマッピング
4. JP1/AJS3システムの運用
   （1）複数スケジューラーサービス
   （2）スケジューラーサービス参照制限
   （3）実行エージェントの制限　（4）同時接続数制限
5. ジョブネットの運用
   （1）ジョブネット定義の退避・回復
   （2）運用中のジョブネット変更　（3）運用状況の監視
6. 修了試験（JP1認定資格試験ではありません）

備　考
- サービス有効期間は21日間です。

【お申し込み前に必ずご確認ください】
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
  https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf
- このコースは、最新バージョンに対応しております。
- 旧バージョンをご利用の方でもご受講できます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- このコースは、「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2ーシステム設定・運用管理ー」コース（集合研修）と同等内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

JPJ303 JP1

マシン実習 1日間

JP1プロフェッショナル ジョブ管理 ークライアント業務自動化ー

New

JP1/Client Process Automation（JP1/CPA）を使用して、クライアント業務を自動化するための定義や実行、状態確認を行う機能を、マシン実習を通して修得できます。

到達目標
- JP1/CPAの概要が説明できる。
- 自動化するクライアント業務（ジョブ、アクションフローなど）の定義ができる。
- 運用スケジュール（運用日・休業日、開始時刻、サイクルなど）の設定ができる。
- 業務を実行する条件（日時条件、イベント監視、実行条件など）の定義ができる。
- ジョブの実行（即時、日時実行、イベント実行）および状態確認（ジョブの状態確認・再実行、停止）の操作ができる。

対象者 JP1/CPA（Client Process Automation）によるクライアント業務自動化を行う方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内　容
1. JP1/CPAの概要
2. JP1/CPAによるクライアント業務の自動化
3. スケジュールに基づいた業務の自動化
4. 特定の事象を契機とした業務の自動化
5. ジョブの状態確認
6. JP1/Automatic Job Management System 3やRPA製品との連携について

備　考
- このコースは、最新のバージョンに対応します。
- マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。

JPJ286 JP1

マシン実習 2日間

JP1プロフェッショナル IT運用自動化

JP1/Automatic Operation（JP1/AO）を使用してIT運用自動化のための定義や監視を行う機能をマシン実習を通して学習します。

到達目標
- JP1/AOの概要が説明できる。
- JP1/AOのインストールができる。
- サービスの登録、設定、実行の操作ができる。
- サービステンプレートの作成、部品の作成、カスタマイズができる。
- JP1/Navigation Platform（JP1/NP）と連携した運用ができる。

対象者 JP1/AOを使用してシステム構築・運用管理をする方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内　容
1. JP1/AOの概要
2. 設計と構築
3. JP1/AO運用
4. サービステンプレートの作成
5. JP1/NPとの連携

備　考
- このコースは、最新のバージョンに対応します。
- マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。

JPJ288 JP1

マシン実習 2日間

JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1 ーネットワーク管理基盤ー

ネットワーク接続機器の監視、管理を行うJP1/Network Node Manager i（JP1/NNMi）製品の機能について、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- JP1/NNMi のシステム構成と基本機能を説明できる。
- JP1/NNMi のインストール後のセットアップができる。
- 監視環境の構築（検出、ポーリング設定）ができる。
- インシデントの管理ができる。

対象者
- JP1/NNMiを使用したネットワーク管理、システム構築を行う方。
- JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識「ネットワーク基礎」コースを修了しているか、または同等の知識があること。「ネットワーク管理概説と演習」コースを修了しているか、ネットワーク管理プロトコルであるSNMPに関する知識があること。

内　容
1. JP1によるネットワーク管理の概要
   （1）JP1によるネットワーク管理
   （2）ネットワーク管理オプション製品
   （3）JP1/NNMiを使ったネットワーク管理の概要
2. セットアップ
   （1）システム構成
   （2）ユーザアカウントの作成
   （3）通信の基本設定
3. 監視対象の登録
   （1）ノードの登録
   （2）管理モード
   （3）ノードグループの作成
4. 障害監視・性能監視
   （1）障害監視の動作
   （2）監視設定
   （3）性能情報の利用
5. インシデント管理
   （1）インシデントの監視
   （2）インシデントへの対応
   （3）インシデント管理の設定

備　考
- このコースは、「JP1認定プロフェッショナル（ネットワーク管理）」資格に準拠したコースです。
- このコースは、最新のバージョンに対応します。
- マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。

JPJ289/JPJ289T JP1

マシン実習 1日間

JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2 ーシステムリソース管理ー

JP1/SNMP System Observer（JP1/SSO）を使用したサーバのリソース管理、プロセス監視の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- JP1/SSOのシステム構成と基本機能を説明できる。
- JP1/SSOのインストールができる。
- システムリソースの参照、収集設定ができる。
- プロセスリソースの状態監視、監視設定ができる。
- JP1/NNMiとの連携設定ができる。

対象者
- JP1/SNMP System Observer（JP1/SSO）を使用してサーバのリソース管理、プロセス管理を行う方。
- JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識「JP1プロフェッショナルネットワーク管理1ーネットワーク管理基盤ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. JP1によるリソース管理の概要
2. セットアップ
   （1）システム構成
   （2）監視マネージ、監視サーバ、リモート操作端末のセットアップ
   （3）SSOコンソールのユーザ認証
3. システムリソース管理
   （1）システムリソースの収集、参照
   （2）レポート機能
4. プロセスおよびサービス監視
   （1）監視設定、状態参照

備　考
- このコースは、「JP1認定プロフェッショナル（ネットワーク管理）」資格に準拠したコースです。
- このコースは、最新のバージョンに対応します。
- マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
  コースコード：JPJ289（研修のみ）
  コースコード：JPJ289T（試験付）
- 試験付コースは、研修終了後にJP1試験を行います。
- 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験　定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。

JPJ290/JPJ290T JP1

マシン実習 3日間

JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 セットコース

ネットワーク接続管理の監視、管理を行うJP1/Network Node Manager i（JP1/NNMi）製品の機能について、マシン実習を通して学習します。また、JP1/SNMP System Observer（JP1/SSO）を使用したサーバのリソース管理、プロセス監視の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。

●このコースは、セットコースのご案内となります。
各コースの詳細情報をご参照ください。

<JPJ288>
JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1
ーネットワーク管理基盤ー

<JPJ289/JPJ289T>
JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2
ーシステムリソース管理ー

備　考
- このコースは、「JP1認定プロフェッショナル（ネットワーク管理）」資格に準拠したコースです。
- このコースは、最新のバージョンに対応します。
- マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
  コースコード：JPJ290（研修のみ）
  コースコード：JPJ290T（試験付）
- 試験付コースは、研修終了後にJP1試験を行います。
- 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験　定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。

JPJ291 JP1

マシン実習 1日間

JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 1 ー資産管理編ー

JP1/IT Desktop Management2（JP1/ITDM2）を使用した資産管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- コンピュータなどの機器の状態を把握してメンテナンスができる。
- ハードウェア資産やソフトウェアのライセンス過不足の状況を把握できる。

対象者
- JP1/IT Desktop Management2（JP1/ITDM2）を使用してコンピュータの資産管理を実施する方。
- JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内　容
1. 資産管理の概要
2. JP1/ITDM2の導入
3. 機器管理
4. リモートコントロール
5. 資産管理
6. Asset Console

備　考
- このコースは、「JP1認定プロフェッショナル（資産・配布管理）」資格に準拠したコースです。
- このコースは、最新のバージョンに対応します。
- マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。

JPJ292 JP1

マシン実習 1日間

JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 2 ーセキュリティ管理編ー

JP1/IT Desktop Management 2（JP1/ITDM2）を使用したセキュリティ管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標 セキュリティ状況の把握と対策を検討できる。

対象者
- JP1/IT Desktop Management2（JP1/ITDM2）を使用してコンピュータのセキュリティ管理を実施する方。
- JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内　容
1. セキュリティ管理の概要
2. セキュリティポリシーの作成
3. セキュリティ状況の確認
4. 更新プログラムの管理
5. ネットワークの接続制御
6. スマートデバイス管理

備　考
- このコースは、「JP1認定プロフェッショナル（資産・配布管理）」資格に準拠したコースです。
- このコースは、最新のバージョンに対応します。
- マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。

JPJ293/JPJ293T JP1

マシン実習 1日間

JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 3 ー配布管理編ー

JP1/IT Desktop Management 2（JP1/ITDM2）を使用した配布管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標 パッチやファイルをコンピュータに配布し、インストールできる。

対象者
- JP1/IT Desktop Management2（JP1/ITDM2）を使用してコンピュータの配布管理を実施する方。
- JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内　容
1. 配布管理の概要
2. リモートインストールマネージャを利用した配布
3. ITDM互換配布

備　考
- このコースは、「JP1認定プロフェッショナル（資産・配布管理）」資格に準拠したコースです。
- このコースは、最新のバージョンに対応します。
- マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
  コースコード：JPJ293（研修のみ）
  コースコード：JPJ293T（試験付）
- 試験付コースは、研修終了後にJP1試験を行います。
- 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験　定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。

JPJ294/JPJ294T JP1

マシン実習 3日間

JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 セットコース

JP1/IT Desktop Management 2（JP1/ITDM2）を使用した資産管理、セキュリティ管理、配布管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。

●このコースは、セットコースのご案内となります。
各コースの詳細情報をご参照ください。

<JPJ291>
JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 1
ー資産管理編ー

<JPJ292>
JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 2
ーセキュリティ管理編ー

<JPJ293/JPJ293T>
JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 3
ー配布管理編ー

備　考
- このコースは、「JP1認定プロフェッショナル（資産・配布管理）」資格に準拠したコースです。
- このコースは、最新のバージョンに対応します。
- マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
  コースコード：JPJ294（研修のみ）
  コースコード：JPJ294T（試験付）
- 試験付コースは、研修終了後にJP1試験を行います。
- 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験　定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。

JPJ295/JPJ295T JP1

マシン実習 1日間

JP1プロフェッショナル セキュリティ管理

JP1/秘文を使用したセキュリティ管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- JP1/秘文のシステム構成と基本機能を説明できる。
- JP1/秘文のインストールとセットアップができる。
- 秘文DCによる持ち出し/読み込み制御の操作ができる。
- 秘文DEによるHD、リムーバブルディスク、ファイルの暗号化の操作ができる。
- 秘文Serverの設定と操作ができる。

対象者
- JP1/秘文を使用してセキュリティ管理を行う方。
- JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 セキュリティの基礎知識があり、かつMicrosoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内 容
1. JP1/秘文の概要
2. 秘文DC、秘文Serverの主要機能
3. 秘文DEの主要機能
4. 秘文DE（FS）、秘文Sever（ファイルサーバ）の主要機能
5. 秘文Server（秘文LM）
6. 秘文DPの主要機能

備 考
- このコースは、「JP1認定プロフェッショナル（セキュリティ管理）」資格に準拠したコースです。
- このコースは、最新のバージョンに対応します。
- マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
  コースコード：JPJ295（研修のみ）
  コースコード：JPJ295T（試験付）
- 試験付コースは、研修終了後にJP1試験を行います。
- 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験　定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。

JPJ287/JPJ287T JP1

マシン実習 1日間

JP1プロフェッショナル バックアップ管理

JP1/VERITAS NetBackupによるバックアップ管理機能を理解し、その使い方を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- JP1/VERITAS NetBackupの主な機能を説明できる。
- JP1/VERITAS NetBackupのシステム構成を説明できる。
- JP1/VERITAS NetBackupのインストールと環境設定ができる。
- バックアップジョブとリストアジョブを作成し実行できる。

対象者
- JP1/VERITAS NetBackupを使用してバックアップ管理を行う方。
- JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。また、一般的なバックアップの基礎知識があること。

内 容
1. JP1/VERITAS NetBackupの概要
   (1)バックアップとリストアの基礎知識
   (2)JP1/VERITAS NetBackupの製品概要
   (3)JP1/VERITAS NetBackupのシステム構成
2. インストールと環境設定
   (1)JP1/VERITAS NetBackupのインストール
   (2)JP1/VERITAS NetBackupの環境設定
3. バックアップとリストア
   (1)JP1/VERITAS NetBackupによるデータバックアップ
   (2)JP1/VERITAS NetBackupによるデータのリストア
4. 高度なバックアップ

備 考
- このコースは、「JP1認定プロフェッショナル（バックアップ管理）」資格に準拠したコースです。
- このコースは、最新のバージョンに対応します。
- マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
  コースコード：JPJ287（研修のみ）
  コースコード：JPJ287T（試験付）
- 試験付コースは、研修終了後にJP1試験を行います。
- 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験　定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。

JPJ296/JPJ296T JP1

レクチャ 1日間

JP1コンサルタント 統合管理

JP1統合管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を学習します。

到達目標 JP1統合管理製品の導入・構築のための設計ができる。

対象者
- JP1統合管理製品の導入・構築コンサルテーションを行う方。
- JP1認定コンサルタント資格（統合管理）の取得をめざす方。

前提知識「JP1プロフェッショナル統合管理1ーシステム監視ー」コースおよび「JP1プロフェッショナル統合管理2ーシステム設定ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. JP1による運用管理システムの構築工程
2. 想定する顧客システムの構成
3. 要件定義
4. 設計
5. 構築作業
6. 運用に向けて
7. 障害事例

備 考
- このコースは、「JP1認定コンサルタント（統合管理）」資格に準拠したコースです。
- このコースは、最新のバージョンに対応します。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
  コースコード：JPJ296（研修のみ）
  コースコード：JPJ296T（試験付）
- 試験付コースは、研修終了後にJP1試験を行います。
- 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験　定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。

JPJ297/JPJ297T JP1

レクチャ 1日間

JP1コンサルタント パフォーマンス管理

JP1パフォーマンス管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を学習します。

到達目標 JP1パフォーマンス管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を修得できる。

対象者
- JP1パフォーマンス管理製品の導入・構築コンサルテーションを行う方。
- JP1認定コンサルタント（パフォーマンス管理）資格の取得をめざす方。

前提知識「JP1プロフェッショナルパフォーマンス管理」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. パフォーマンス管理の導入事例
2. 想定するお客様とシステムの概要
3. 稼働監視システムの運用サイクル
4. 稼働監視システムの設計
5. 環境構築
6. 運用に向けた留意事項
7. 他のJP1製品との連携
8. 障害事例

備 考
- このコースは、「JP1認定コンサルタント（パフォーマンス管理）」資格に準拠したコースです。
- このコースは、最新のバージョンに対応します。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
  コースコード：JPJ297（研修のみ）
  コースコード：JPJ297T（試験付）
- 試験付コースは、研修終了後にJP1試験を行います。
- 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験　定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。

JPJ298 JP1

レクチャ 1日間

JP1コンサルタント ジョブ管理 ーシステム設計編ー

JP1/AJS3を中心としたジョブ設計、運用設計に関する知識を学習します。要件の確認からシステム設計、ジョブ運用までの一連の流れを学習します。

到達目標 JP1/AJS3を中心としたジョブ設計、運用設計に関する知識を修得できる。

対象者
- JP1ジョブ管理製品の導入・構築コンサルテーションを行う方。
- JP1コンサルタント資格（ジョブ管理）をめざす方。

前提知識「JP1プロフェッショナルジョブ管理1ージョブ定義・監視ー」、「JP1プロフェッショナルジョブ管理2ーシステム設定・運用管理ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 顧客要件の確認
2. システム設計
3. JP1設計ポイント
4. トラブルシュート

備 考
- このコースは、「JP1認定コンサルタント（ジョブ管理）」資格に準拠したコースです。
- このコースは、最新のバージョンに対応します。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。

JPJ299/JPJ299T JP1

レクチャ 1日間

JP1コンサルタント ジョブ管理 ーチューニング編ー

JP1/AJS3を中心としたジョブ管理の性能設計・性能対策および移行について学習します。

到達目標
- 性能設計に必要な条件が説明できる。
- 性能向上のための性能対策ができる。
- 移行の注意事項が説明できる。

対象者
- JP1ジョブ管理製品の導入・構築・運用において性能設計・性能対策および移行を行う方。
- JP1認定コンサルタント資格（ジョブ管理）の取得をめざす方。

前提知識「JP1コンサルタントジョブ管理ー構築・運用ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 性能に関するチューニング
2. JP1/AJS3への移行
3. JP1/AJS3トラブル事例

備 考
- このコースは、「JP1認定コンサルタント（ジョブ管理）」資格に準拠したコースです。
- このコースは、最新のバージョンに対応します。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
  コースコード：JPJ299（研修のみ）
  コースコード：JPJ299T（試験付）
- 試験付コースは、研修終了後にJP1試験を行います。
- 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験　定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。

JPJ301/JPJ301T JP1

レクチャ 1日間

JP1コンサルタント ネットワーク管理

JP1ネットワーク管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を学習します。

到達目標 JP1ネットワーク管理製品の導入・構築のための設計ができる。

対象者
- JP1ネットワーク管理製品の導入・構築コンサルテーションをする方。
- JP1認定コンサルタント資格（ネットワーク管理）の取得をめざす方。

前提知識「JP1プロフェッショナルネットワーク管理1ーネットワーク管理基盤ー」および「JP1プロフェッショナルネットワーク管理2ーシステムリソース管理ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 想定するお客様環境例
2. 監視要件の整理
3. 各種設定の解説

備 考
- このコースは、「JP1認定コンサルタント（ネットワーク管理）」資格に準拠したコースです。
- このコースは、最新のバージョンに対応します。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
  コースコード：JPJ301（研修のみ）
  コースコード：JPJ301T（試験付）
- 試験付コースは、研修終了後にJP1試験を行います。
- 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験　定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。

JPJ300/JPJ300T JP1

レクチャ 1日間

JP1コンサルタント 資産・配布管理

JP1資産・配布管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を学習します。

到達目標 JP1資産・配布管理製品の導入・構築のための設計ができる。

対象者
- JP1資産・配布管理製品の導入・構築コンサルテーションを行う方。
- JP1認定コンサルタント資格（資産・配布管理）の取得をめざす方。

前提知識「JP1プロフェッショナル資産・配布管理1、2、3」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 設計
2. 構築
3. JP1製品との連携
4. 障害事例

備 考
- このコースは、「JP1認定コンサルタント（資産・配布管理）」資格に準拠したコースです。
- このコースは、最新のバージョンに対応します。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 旧バージョンの製品をご利用の方もご受講できます。
- このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
  コースコード：JPJ300（研修のみ）
  コースコード：JPJ300T（試験付）
- 試験付コースは、研修終了後にJP1試験を行います。
- 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験　定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。

JPJ302 JP1

レクチャ 1日間

【日立パートナー様 限定コース】 JP1セールスコーディネーター

お客さまに対して最適なシステムの提案、および価格の見積りができるセールススキルを学習します。

到達目標
- JP1製品概要が説明できる。
- お客さまの要望に対し製品を提案できる。
- JP1製品の価格見積りができる。

対象者
- お客さまに対して最適なシステムの提案スキルを修得したい営業・SEの方。
- JP1認定セールスコーディネーター資格の取得をめざす方。

前提知識 コンピュータの基礎知識があること。

内 容
1. JP1の基礎知識（JP1の特長、製品体系など）
2. JP1の製品概要（JP1各製品の紹介など）
3. 拡販ツールの紹介（拡販ツールとその活用場面など）
4. 見積もりの基礎知識（JP1製品の提供形態とライセンス体系など）
5. 提案する製品の特長と見積方法
6. JP1認定セールスコーディネーター資格試験

備 考
- このコースは、日立パートナー様限定で提供するものです。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 試験については、「日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- JP1技術者資格認定制度については、Webサイトをご覧ください。
- 認定試験の受験料は、受講料に含まれます。

JPE016 JP1

eラーニング 6時間

<eラーニング> JP1機能概説（Version 11）

すべての運用管理分野におけるJP1製品の機能を学習します。

到達目標
- JP1製品の特長が説明できる。
- 各管理製品にどのような製品があるか説明できる。
- 各管理の主要製品の主な機能を説明できる。

対象者
- JP1製品の導入を検討する方。
- JP1のシステム構築・販売をする方。

前提知識 オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語をご存知のこと。

内 容
1. JP1の基礎知識
2. オートメーション
3. モニタリング
4. コンプライアンス
5. 修了試験（JP1認定資格試験ではありません）

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- このコースは、JP1 Version 11対応です。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

JPE017 JP1

eラーニング 12時間

<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ!JP1/IM管理1 ーシステム監視ー（Version 11）

JP1/Integrated Management（JP1/IM）を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
- セントラルコンソールとセントラルスコープの概要を説明できる。
- セントラルコンソール、セントラルスコープを使って事象監視ができる。
- イベント監視ページのカスタマイズができる。
- セントラルコンソールに表示するイベントの設定（フィルター設定）ができる。
- 自動アクションの設定ができる。
- 重要イベントページのカスタマイズができる。
- 必要なイベントを検索できる。
- 他のJP1製品と連携したモニター起動と統合機能メニューを操作できる。
- コマンド実行の操作ができる。

対象者 JP1/IMを使用してシステムを監視する方。

前提知識「JP1機能概説（Version 11）Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 統合管理の全体像
2. システム監視
   (1)システム監視の基本操作　(2)繰り返しイベントの表示抑止
   (3)フィルターによるJP1イベントの絞り込み
3. システム障害の検知
   (1)自動アクション　(2)ローカルアクション
   (3)重要イベントページ　(4)ビジュアル監視
   (5)監視ツリー
4. システム障害の調査・対処
   (1)ガイド情報の表示　(2)メモ情報の設定
   (3)コマンド実行
5. 修了試験（JP1認定資格試験ではありません）

備 考
- サービス有効期間は21日間です。
【お申し込み前に必ずご確認ください】
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
  https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf
- このコースは、JP1 Version 11対応です。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- このコースには、資格認定試験はありません。
- 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- このコースは、「JP1プロフェッショナル 統合管理1ーシステム監視ー（Version 11）」コース（集合研修）と同等内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。

JPE018 JP1

eラーニング 12時間

<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ!JP1/IM管理2 ーシステム設定ー（Version 11）

JP1/Integrated Management（JP1/IM）のインストール、設定に関する知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
- インストールする上で必要な製品構成を説明できる。
- 認証サーバを構築し、JP1ユーザーを管理できる。
- マネージャ・エージェントを構築できる。
- ログファイル監視の設定ができる。
- 監視ツリーの作成やカスタマイズができる。
- ビジュアル監視の設定ができる。

対象者 JP1/IMのシステム構築をする方。

前提知識「【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ!JP1/IM管理1ーシステム監視ー（Version 11）Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 統合管理の概要
2. 統合管理の導入
   (1)インストール　(2)IMデータベースの構築
   (3)サービスの起動・終了
3. JP1イベントの集中管理設定
   (1)構成管理設定　(2)JP1イベントの転送設定
   (3)リモート監視構成管理の設定
4. ユーザー管理機能
   (1)ユーザー認証の設定　(2)認証サーバの閉塞
   (3)ユーザーマッピングの設定
5. 監視対象の設定
   (1)アプリケーションが出力するログの監視
   (2)Windowsイベントログの監視
   (3)リモート監視ホストのログ監視
   (4)イベントストーム発生時のイベント転送抑止設定
6. 監視画面の設定
   (1)セントラルスコープのセットアップ
   (2)監視ツリー画面の設定　(3)ビジュアル監視画面の設定
7. 修了試験（JP1認定資格試験ではありません）

備 考
- サービス有効期間は21日間です。
【お申し込み前に必ずご確認ください】
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
  https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf
- このコースは、JP1 Version 11対応です。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- このコースには、資格認定試験はありません。
- 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- このコースは、「JP1プロフェッショナル統合管理2ーシステム設定ー（Version11）」コース（集合研修）と同等内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。

JPE324 JP1

eラーニング 12時間

<eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ!JP1/AJS3管理 1 ージョブ定義・監視ー（Version 11）

JP1/Automatic Job Management System 3（JP1/AJS3）の業務自動化定義や監視操作を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
- JP1/AJS3の機能概要が説明できる。
- 自動化する業務（ジョブグループ、ジョブネット、ジョブ）の定義ができる。
- 運用スケジュール（運用日・休業日、開始時刻、サイクルなど）の設定ができる。
- 業務を実行する条件（イベント監視、起動条件）の定義ができる。
- ジョブネットの実行（即時、計画、確定）および監視（ジョブネット実行状況・結果、スケジュール運用状況）の操作ができる。

対象者 ・JP1/AJS3を使用してシステム運用管理をする方。
・JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内 容
1. JP1/AJS3の概要
2. 業務の自動化
（1）ジョブ定義　（2）即時実行登録
（3）ジョブ実行状況の監視
3. スケジュールに基づいた業務の自動運用
（1）カレンダー情報の設定　（2）スケジュール設定
（3）計画/確定実行登録　（4）実行スケジュールの確認
4. 特定の事象を契機とした業務の自動運用
（1）ファイル更新契機のジョブの実行
（2）起動条件の設定
5. 業務の実行監視
6. 修了試験（JP1認定資格試験ではありません）

備 考
・サービス有効期間は21日間です。
【お申し込み前に必ずご確認ください】
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf
・このコースは、JP1 Version 11対応です。
・JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・このコースには、資格認定試験はありません。
・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
・このコースは、旧「JP1プロフェッショナルジョブ管理1ージョブ定義・監視ー（Version11）」コース（集合研修）と同等内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

JPE325 JP1

eラーニング 12時間

<eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ!JP1/AJS3管理 2 ーシステム設定・運用管理ー（Version 11）

JP1/Automatic Job Management System 3（JP1/AJS3）のインストール・設定・運用に関する知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
- JP1/AJS3のインストールができる。
- ジョブ実行環境のセットアップができる。
- JP1/AJS3を操作するユーザー情報の設定ができる。
- JP1/AJS3スケジューラーサービスの分割および参照制限ができる。
- 実行エージェントや接続元ホストでのジョブ実行の制限ができる。
- JP1ユーザーの同時接続制限ができる。
- ジョブネットの定義の退避・回復、運用状況監視の操作ができる。
- 運用中のジョブネットの変更ができる。

対象者 ・JP1/AJS3を使用してシステム構築・運用管理をする方。
・JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナルジョブ管理1ージョブ定義・監視ー（Version 11）」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. JP1/AJS3のインストール
（1）JP1/Base、JP1/AJS3-Manager、JP1/AJS3-View
2. ジョブ実行環境の設定
（1）エージェント管理機能の設定
3. ユーザー管理機能の設定
（1）JP1ユーザー、アクセス権限、ユーザーマッピング
4. JP1/AJS3システムの運用
（1）複数スケジューラーサービス
（2）スケジューラーサービス参照制限
（3）実行エージェントの制限　（4）同時接続数制限
5. ジョブネットの運用
（1）ジョブネット定義の退避・回復
（2）運用中のジョブネット変更　（3）運用状況の監視
6. 修了試験（JP1認定資格試験ではありません）

備 考
・サービス有効期間は21日間です。
【お申し込み前に必ずご確認ください】
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf
・このコースは、JP1 Version 11対応です。
・JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・このコースには、資格認定試験はありません。
・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
・このコースは、旧「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2ーシステム設定・運用管理ー（Version 11）」コース（集合研修）と同等内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

JPJ102 JP1

マシン演習 1日間

JP1/AJS3 エキスパート育成講座 ー開発編ー

ジョブ管理（JP1/AJS）を使用した業務開発で困っていることを、業務開発のノウハウとお薦め機能を使って解決する方法を学習します。

到達目標
- ジョブ管理の業務設計・開発ノウハウを活用できる。
- 効率的なテスト設計により、短期間でのテストができる。
- 問題点や注意点を活かした移行ができる。
- メンテナンスしやすい業務設計・開発ができる。

対象者 JP1/AJS3（JP1/AJS2）を使用した業務開発（ジョブ定義）の課題に対して解決策を検討する方。

前提知識 旧バージョンも含め「JP1プロフェッショナルジョブ管理1ージョブ定義・監視ー」コース/eラーニングコースおよび「JP1プロフェッショナルジョブ管理2ーシステム設定・運用管理ー」コース/eラーニングコースを修了しているか、または、同等の知識があること。

内 容
1. 業務設計のコツ
2. 業務開発のコツ
3. テスト効率化のコツ
4. 業務移行のコツ

備 考
・このコースは、最新のバージョンに対応します。
・旧バージョンの製品をご利用の方でもご受講できます。
・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

JPJ103 JP1

マシン演習 1日間

JP1/AJS3 エキスパート育成講座 ー運用編ー

ジョブ管理（JP1/AJS）を使用したシステム運用で困っていることを、運用のノウハウとお薦め機能を使って解決する方法を学習します。

到達目標
- ジョブ管理の本番適用／リリース時のノウハウを活用できる。
- 業務運用および監視の便利な機能を活用できる。
- コンプライアンスを守るためのオペレータ負荷の軽減や操作ミスの防止ができる。
- カレンダ、スケジュールの設定、変更時の注意点を活用できる。

対象者 JP1/AJS3（JP1/AJS2）を使用したシステム運用（ジョブ運用）の課題に対して解決策を検討する方。

前提知識 旧バージョンも含め「JP1プロフェッショナルジョブ管理1ージョブ定義・監視ー」コース/eラーニングコースおよび「JP1プロフェッショナルジョブ管理2ーシステム設定・運用管理ー」コース/eラーニングコースを修了しているか、または、同等の知識があること。

内 容
1. 本番適用/リリースのコツ
2. 業務監視、操作のコツ
3. カレンダー/スケジュール運用のコツ
4. セキュアな運用設計のコツ

備 考
・このコースは、最新のバージョンに対応します。
・旧バージョンの製品をご利用の方でもご受講できます。
・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

JPE019 JP1

eラーニング 12時間

<eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ! JP1/PFM（Version 11）

ITシステムの稼働情報を監視するJP1/Performance Management（JP1/PFM）製品の機能について、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
- JP1/PFMのインストールとセットアップができる。
- パフォーマンスデータの収集ができる。
- レポート、アラームの作成、操作ができる。
- 統合コンソールとの連携設定ができる。

対象者 JP1/PFMのシステム構築、稼働情報監視を行う方。

前提知識 オペレーティングシステムや各種サーバの基礎的な知識があること。

内 容
1. アベイラビリティ管理の概要
2. JP1/PFMによる稼働情報の監視
3. JP1/PFMのシステム構築
4. 監視エージェントの設定
5. レポート定義
6. アラーム定義
7. 統合コンソールとの連携
8. 修了試験（JP1認定資格試験ではありません）

備 考
・サービス有効期間は21日間です。
【お申し込み前に必ずご確認ください】
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf
・このコースは、JP1 Version 11対応です。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・このコースには、資格認定試験はありません。
・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
・このコースは、旧「JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理（Version 11）」コース（集合研修）と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

JPE308 JP1

eラーニング 12時間

<eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ! JP1/IM 管理 1 ーシステム監視ー（Version 10）

JP1/Integrated Management（JP1/IM）を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
- セントラルコンソールとセントラルスコープの概要を説明できる。
- セントラルコンソール、セントラルスコープを使って事象監視ができる。
- イベント監視ページのカスタマイズができる。
- セントラルコンソールに表示するイベントの設定（フィルター設定）ができる。
- 自動アクションの設定ができる。
- 重要イベントページのカスタマイズができる。
- 必要なイベントを検索できる。
- 他のJP1製品と連携したモニター起動と統合機能メニューを操作できる。
- コマンド実行の操作ができる。

対象者 JP1/IMを使用してシステムを監視する方。

前提知識 「JP1機能概説（Version 10）Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 統合管理の概要
2. システム監視
（1）イベントコンソール、監視ツリーによる監視
（2）フィルター機能
3. システム障害の検知
（1）自動アクション　（2）重要イベント監視
4. システム障害の調査・対処
（1）ガイド機能　（2）イベント検索
（3）モニター起動　（4）統合機能メニュー
（5）コマンド実行
5. 修了試験（JP1認定資格試験ではありません）

備 考
・サービス有効期間は21日間です。
【お申し込み前に必ずご確認ください】
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf
・このコースは、JP1 Version 10対応です。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・このコースには、資格認定試験はありません。
・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
・このコースは、旧「JP1プロフェッショナル 統合管理 ーシステム監視ー（Version 10）」コース（集合研修）と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

JPE309 JP1

eラーニング 12時間

<eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ! JP1/IM 管理 2 ーシステム設定ー（Version 10）

JP1/Integrated Management（JP1/IM）のインストール、設定に関する知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
- インストールする上で必要な製品構成を説明できる。
- 認証サーバを構築し、JP1ユーザーを管理できる。
- マネージャ・エージェントを構築できる。
- ログファイル監視の設定ができる。
- 監視ツリーの作成やカスタマイズができる。
- ビジュアル監視の設定ができる。

対象者 JP1/IMのシステム構築をする方。

前提知識 「【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ!JP1/IM管理1ーシステム監視ー（Version 10）Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 統合管理の導入
（1）インストール　（2）IMデータベースの構築
2. イベントの集中管理
3. ユーザー管理機能
（1）ユーザー認証設定　（2）ユーザーマッピング設定
4. 監視対象の設定
（1）イベント変換設定　（2）リモート監視
5. 監視画面の設定
（1）監視ツリー設定　（2）ビジュアル監視画面設定
6. 修了試験（JP1認定資格試験ではありません）

備 考
・サービス有効期間は21日間です。
【お申し込み前に必ずご確認ください】
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf
・このコースは、JP1 Version 10対応です。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・このコースには、資格認定試験はありません。
・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
・このコースは、旧「JP1プロフェッショナル アベイラビリティ管理（Version 10）」コース（集合研修）と同等内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

JPE310 JP1

eラーニング 12時間

<eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ! JP1/PFM（Version 10）

ITシステムの稼働情報を監視するJP1/Performance Management（JP1/PFM）製品の機能について、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
- JP1/PFMのインストールとセットアップができる。
- パフォーマンスデータの収集ができる。
- レポート、アラームの作成、操作ができる。
- 統合コンソールとの連携設定ができる。

対象者 JP1/PFMのシステム構築、稼働情報監視を行う方。

前提知識 オペレーティングシステムや各種サーバの基礎的な知識があること。

内 容
1. アベイラビリティ管理の概要
2. JP1/PFMによる稼働情報の監視
3. JP1/PFMのシステム構築
4. 監視エージェントの設定
5. レポート定義
6. アラーム定義
7. 統合コンソールとの連携
8. 修了試験（JP1認定資格試験ではありません）

備 考
・サービス有効期間は21日間です。
【お申し込み前に必ずご確認ください】
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf
・このコースは、JP1 Version 10対応です。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・このコースには、資格認定試験はありません。
・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
・このコースは、旧「JP1エンジニアー機能概説ー（Version 10）」コースと同等の内容です。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

JPE006 JP1

eラーニング 6時間

<eラーニング> JP1機能概説（Version 10）

すべての運用管理分野におけるJP1製品の機能を学習します。

到達目標
- JP1製品の特徴が説明できる。
- 各管理製品にどのような製品があるか説明できる。
- 各管理の主要製品の主な機能を説明できる。

対象者 JP1製品の導入を検討する方、JP1のシステム構築・販売する方。

前提知識 オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語について知識があること。

内 容
1. JP1の基礎知識
2. 統合管理
3. サービスレベル管理
4. アベイラビリティ管理
5. IT運用自動化
6. ジョブ管理
7. 資産・配布管理
8. セキュリティ管理
9. ネットワーク管理
10. ストレージ管理
11. 修了試験（JP1認定資格試験ではありません）

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、JP1 Version 10対応です。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・このコースには、資格認定試験はありません。
・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供します。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
・このコースは、旧「JP1エンジニアー機能概説ー（Version 10）」コースと同等の内容です。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

JPE311 JP1

eラーニング 12時間

<eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3 管理 1 ージョブ定義・監視ー（Version 10）

JP1/Automatic Job Management System 3（JP1/AJS3）の業務自動化定義や監視操作を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
- 自動化する業務の定義、実行、監視操作ができる。
- 運用スケジュールの定義、実行、監視操作ができる。
- 実行条件の定義、実行、監視操作ができる。

対象者 JP1/AJS3を使用した自動化業務の設定および、運用操作を行う方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内 容
1. JP1/AJS3の概要
2. 業務の自動化
（1）ジョブ定義
（2）即時実行登録
（3）ジョブ実行状況の監視
3. スケジュールに基づいた業務の自動運用
（1）カレンダー情報の設定
（2）スケジュール設定
（3）計画/確定実行登録
（4）実行スケジュールの確認
4. 特定の事象を契機とした業務の自動運用
（1）ファイル更新契機のジョブの実行
（2）起動条件の設定
5. 修了試験（JP1認定資格試験ではありません）

備 考
・サービス有効期間は21日間です。
【お申し込み前に必ずご確認ください】
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf
・このコースは、JP1 Version 10対応です。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・このコースには、資格認定試験はありません。
・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

JPE312 JP1

eラーニング 12時間

<eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3 管理 2 ーシステム設定・運用管理ー（Version 10）

JP1/Automatic Job Management System 3（JP1/AJS3）のインストール、設定、運用に関する知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
- JP1/AJS3のインストールができる。
- エージェントの追加・変更ができる。
- JP1/AJS3を操作するためのユーザー情報（JP1ユーザー、資源グループ別権限レベル、ユーザーマッピング）の設定ができる。
- JP1/AJS3のバックアップとリカバリーができる。
- ジョブネットの定義の退避・回復、運用状況監視の操作ができる。
- 運用中のジョブネットの変更（ジョブネット変更・リリース管理）ができる。

対象者 JP1/AJS3を使用してシステム構築・運用管理をする方。

前提知識 「ハンズオンで学ぶ!JP1/AJS3管理1ージョブ定義・監視ー（Version 10）Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. JP1/AJS3のインストール
（1）JP1/Base、JP1/AJS3-Manager、JP1/AJS3-View
2. ジョブ実行環境の設定
（1）エージェント管理機能の設定
3. ユーザー管理機能の設定
（1）JP1ユーザー、アクセス権限、ユーザーマッピング
4. ジョブネットの運用
（1）ジョブネット定義の退避・回復
（2）運用状況の監視　（3）運用中のジョブネット変更
5. システムのバックアップとリカバリー
（1）JP1/Base、JP1/AJS3のバックアップ、リカバリー
（2）JP1/AJS3データベースのバックアップ、リカバリー
6. 修了試験（JP1認定資格試験ではありません）

備 考
・サービス有効期間は21日間です。
【お申し込み前に必ずご確認ください】
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf
・このコースは、JP1 Version 10対応です。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・このコースには、資格認定試験はありません。
・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

uCosminexus Application Server

uCosminexus Application Serverを使用したアプリケーション開発やシステム構築を行ううえで必要となる知識と技術が修得できます。

uCosminexus Application Serverの設計・構築・運用をする方

音声有+説明文なし CSE302 eラーニング
【マシン演習付き】uCosminexus Application Server入門ー構築基礎ー
6時間
→ 音声有+説明文なし CSE303 eラーニング
【マシン演習付き】uCosminexus Application Server実践1ー設計・構築ー
12時間
→ 音声有+説明文なし CSE304 eラーニング
【マシン演習付き】uCosminexus Application Server実践2ートラブルシュートー
6時間

uCosminexus Application Serverを使用してWebアプリケーションの開発をする方

OJJ016 マシン実習
Javaプログラミング1（基本文法編）
初心者にオススメ 3日間
または
音声有+説明文なし OJE702 eラーニング
【ナビ機能付き】Javaプログラミング1（基本文法編）
初心者にオススメ 24時間
→
OJJ017 マシン実習
Javaプログラミング2（基本クラス編）
2日間
または
音声有+説明文なし OJE703 eラーニング
【ナビ機能付き】Javaプログラミング2ー基本クラス編ー
16時間
→
OJJ018 マシン実習
サーバサイドJavaプログラミング（Servlet/JSP編）
3日間
→ 音声有+説明文なし CSE304 eラーニング
【マシン演習付き】uCosminexus Application Server実践2ートラブルシュートー
6時間

uCosminexus Application Serverを使用したWebシステムの性能設計・性能対策をする方

音声有+説明文なし CSE302 eラーニング
【マシン演習付き】uCosminexus Application Server入門ー構築基礎ー
6時間
→ 音声有+説明文なし CSE303 eラーニング
【マシン演習付き】uCosminexus Application Server実践1ー設計・構築ー
12時間
→ 音声有+説明文なし CSE304 eラーニング
【マシン演習付き】uCosminexus Application Server実践2ートラブルシュートー
6時間
→ 音声有+説明文なし CSE001 eラーニング
uCosminexus Application Server実践3ー性能設計・性能対策ー
6時間

※下記集合研修のコースについてお問い合わせがある場合は、日立オープンミドルウエア技術者認定センターまでご連絡願います。
「CSJ017 uCosminexus Application Server入門ー構築基礎ー」
「CSJ018 uCosminexus Application Server実践1ー設計・構築ー」

【日立オープンミドルウエア技術者認定センター問い合わせ窓口】
https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/it/soft/cert_contact/form.jsp

音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

CSE302 uCosminexus Application Server
eラーニング 6時間
<eラーニング>【マシン演習付き】uCosminexus Application Server 入門ー構築基礎ー

uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの構築手法を学習します。uCosminexus Application Serverのインストールからシステムの構築までを扱います。

到達目標
・uCosminexus Application Serverの機能概要を説明できる。
・uCosminexus Application Serverを用いて基本的な構成のWebシステムを構築できる。

対象者 uCosminexus Application Serverを用いてWebシステムを構築する方、uCosminexus Application Serverの導入を検討している方。

前提知識 Webアプリケーションに関する基礎知識があり、かつMicrosoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内 容
1. アプリケーションサーバ概要
2. uCosminexus Application Serverシステム構築の流れ
3. uCosminexus Application Serverのインストール
4. セットアップウィザードを用いたシステム構築
5. 運用管理ポータルを用いた操作・設定
6. 修了試験

備 考
・サービス有効期間は21日間です。
【お申し込み前に必ずご確認ください】
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf
・このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
・このコースは、集合研修「uCosminexus Application Server 入門ー構築基礎ー」コース（CSJ017）と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
・このコースは、「【マシン演習付き】<eラーニング>CosminexusエンジニアアプリケーションサーバシステムSystem構築基礎ー」コースの名称を変更したものです。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

CSE303 uCosminexus Application Server
eラーニング 12時間
<eラーニング>【マシン演習付き】uCosminexus Application Server 実践1ー設計・構築ー

uCosminexus Application Serverを用いたシステムの設計・構築・運用に必要なノウハウを学習します。

到達目標
・要件にあった運用方法や信頼性確保手順を説明できる。
・システム構築に使用するパラメータを設計できる。
・システムの構築・運用ができる。

対象者 uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの設計・構築をする方。

前提知識 「【マシン演習付き】uCosminexus Application Server入門ー構築基礎ーJeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。さらにWebシステムの構築または運用に携わった経験があること。

内 容
1. 作業概要とシステム基本構成
2. システム基本設計
3. システム詳細設計
4. システム構築
5. 修了試験

備 考
・サービス有効期間は21日間です。
【お申し込み前に必ずご確認ください】
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf
・このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
・このコースは、集合研修「uCosminexus Application Server 実践 1ー設計・構築ー」コース（CSJ018）と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

CSE304 uCosminexus Application Server
eラーニング 6時間
<eラーニング>【マシン演習付き】uCosminexus Application Server 実践2ートラブルシュートー

uCosminexus Application Serverを用いたシステムのトラブルシュートについて学習します。トラブルが発生したときの対処方法を理解できます。

到達目標
・トラブルシュートの流れを説明できる。
・代表的なトラブルについて、原因を切り分けることができる。

対象者 uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの障害対応をする方、JavaEEアプリケーションの開発をする方。

前提知識 「【マシン演習付き】uCosminexus Application Server実践1ー設計・構築ーJeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。さらにJavaEEアプリケーション開発に携わった経験があること。

内 容
1. トラブルシュートの概要
2. トラブルシュート手順
3. 代表的なトラブルの原因切り分け方法
4. 修了試験

備 考
・サービス有効期間は21日間です。
【お申し込み前に必ずご確認ください】
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf
・このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
・このコースは、旧「uCosminexus Application Server実践 2ートラブルシュートー」コース（集合研修）と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

CSE001 uCosminexus Application Server
eラーニング 6時間
<eラーニング>uCosminexus Application Server 実践3ー性能設計・性能対策ー

uCosminexus Application Server を用いたWebシステムにおいて、要件を満たす性能設計、性能対策について学習します。

到達目標
・性能設計と性能検証の関係について説明できる。
・要件を満たす性能設計ができる。
・ボトルネックの要因を分析し、性能対策ができる

対象者 uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの性能設計および性能対策をする方。

前提知識 「【マシン演習付き】uCosminexus Application Server実践1ー設計・構築ー」および「【マシン演習付き】uCosminexus Application Server実践2ートラブルシュートー」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

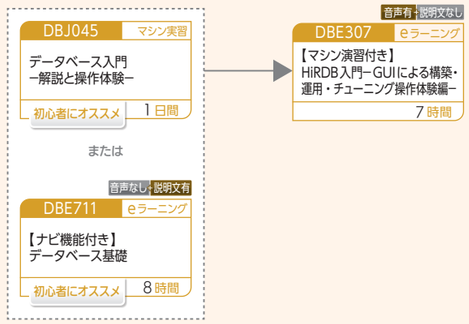
内 容
1. 性能設計と性能検証
2. 性能設計
3. 性能検証とチューニング
4. 修了試験

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。
・このコースは、旧「uCosminexus Application Server実践3ー性能設計・性能対策ー」コース（集合研修）をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

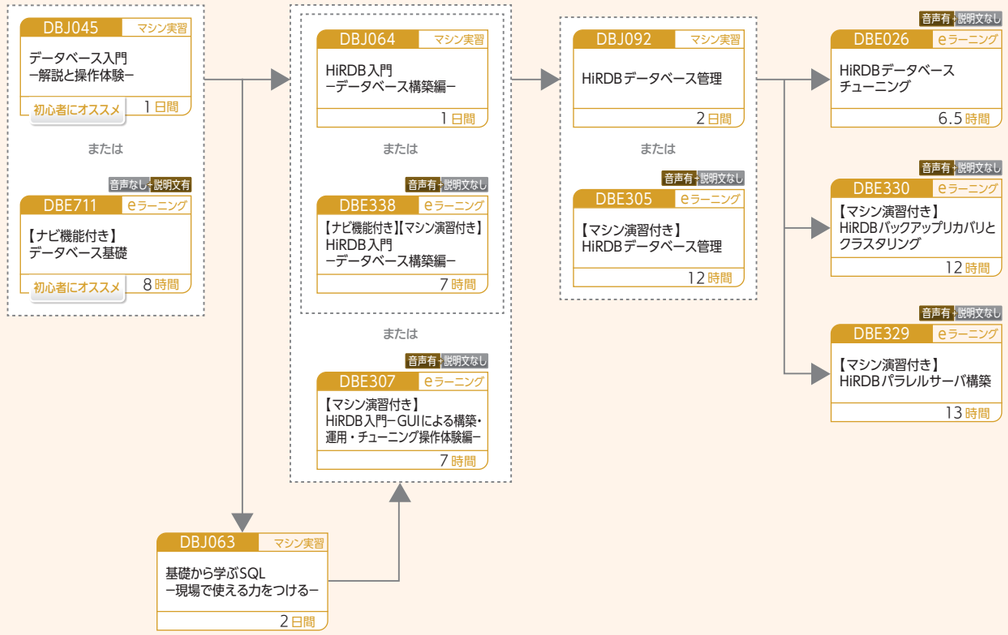
HiRDB

データベースマネジメントシステムであるHiRDBのシステム運用やアプリケーション開発を行ううえで必要となる知識と技術が修得できます。

● HiRDBが提供するGUIツールの操作概要を修得したい方



● HiRDBを使用してデータベースを構築・運用する方

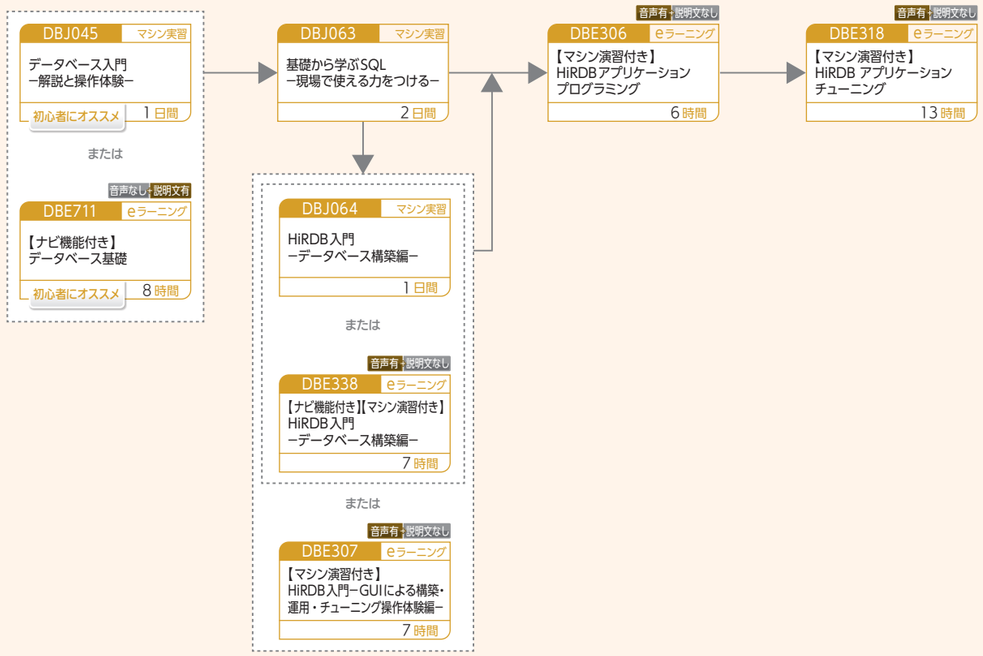


音声有・説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有・説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし・説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

● HiRDBにアクセスするアプリケーションプログラムを開発する方



● HiRDBの機能概要を修得したい方

DBJ064 HiRDB

マシン実習 1日間

HiRDB入門 −データベース構築編−

HiRDBを初めて使用するにあたって必要なHiRDBのアーキテクチャや、HiRDBにおけるユーザ・表・インデックスの概念、およびその定義方法に関する基礎知識を学習します。HiRDB講座の導入コースとしてお薦めです。

到達目標
・HiRDBシステムのアーキテクチャの概要を理解し説明できる。
・定義系SQLを用いて、HiRDB上にユーザ、スキーマ、テーブル、ビュー、インデックスを作成できる。

対象者 HiRDBシステムの基礎的な知識を必要とする方、現在HiRDBの導入を検討している方。

前提知識 「データベース入門ー解説と操作体験ー」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. HiRDBの概要
2. HiRDBインストール
3. HiRDB環境設定
4. HiRDBの開始と終了
5. ユーザの作成
6. スキーマの作成
7. 表の作成
8. インデックスの作成

備 考 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。

DBE338 HiRDB

eラーニング 7時間

<eラーニング>【ナビ機能付き】【マシン演習付き】HiRDB入門−データベース構築編−

HiRDBを初めて使用するにあたって必要なHiRDBのアーキテクチャやHiRDBにおけるユーザ・表・インデックスに関する基礎知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。HiRDB講座の導入コースとしてお薦めです。

到達目標
・HiRDBシステムのアーキテクチャの概要を理解し説明できる。
・定義系SQLを用いて、HiRDB上にユーザ、スキーマ、テーブル、ビュー、インデックスを作成できる。

対象者 ITエンジニア職、若手・中堅HiRDB初学者の方で、データベース構築を基礎から学習したい方。

前提知識 「データベース入門ー解説と操作体験ー」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. HiRDBの概要
2. HiRDBのインストール
3. HiRDBの環境設定
4. HiRDBの開始と終了
5. ユーザの作成
6. スキーマの作成
7. 表の作成
8. インデックスの作成
9. 修了試験

備 考
・サービス有効期間は21日間です。
【お申し込み前に必ずご確認ください】
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf
・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
・このコースは、「HiRDB入門ーデータベース構築ー」コースと同一内容です。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE307 HiRDB

eラーニング 7時間

<eラーニング>【マシン演習付き】HiRDB入門−GUIによる構築・運用・チューニング操作体験編−

HiRDBのGUIツールによる操作体験を通して、HiRDBの環境構築から運用・チューニングまでの概要を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
・各種GUIツールの概要を理解し説明できる。
・HiRDBの構築から運用・チューニングまでの概要を理解し説明できる。

対象者 HiRDBを使用したシステムの提案・構築・運用・アプリケーション開発に携わる方。

前提知識 「データベース入門ー解説と操作体験ー」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. HiRDBの概要
2. HiRDBのアーキテクチャ
3. データベースの構築
4. HiRDBの開始/終了
5. ユーザ管理
6. 表とインデックスの作成
7. データロード
8. RDエリアのメンテナンス
9. パフォーマンスチューニング
10. バックアップリカバリーオプションー
11. 修了試験

備 考
・サービス有効期間は21日間です。
【お申し込み前に必ずご確認ください】
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf
・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
・このコースは、旧「HiRDB入門ーGUIによる構築・運用・チューニング操作体験ー」コース（集合研修）をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE015 HiRDB

eラーニング 7時間

<eラーニング> HiRDB機能解説

HiRDBの特長、システム構成およびデータベース活用のための各種機能について学習します。

到達目標
・HiRDBシステムのアーキテクチャの概要を理解し説明できる。
・HiRDBシステムの各種機能の概要を理解し説明できる。

対象者 HiRDBシステムの設計・運用を行う方、HiRDBシステムの導入を検討している方。

前提知識 「データベース入門ー解説と操作体験ー」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 並列データベースの技術
2. HiRDBの概要
3. データベースの構造
4. HiRDBの各種機能
5. 修了試験

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBJ092 HiRDB

マシン実習 2日間

HiRDBデータベース管理

HiRDBのデータベース物理設計から環境構築、定期的な運用（バックアップ/リカバリ、再編成、セキュリティ等）など、データベース管理者として必要な基礎知識を学習します。

到達目標
・HiRDBシステムの設計を行える。
・HiRDBのコマンドを用いHiRDBシステムを構築できる。
・HiRDBシステムの基本的な管理作業の概要を理解し説明できる。

対象者 HiRDBのデータベース管理者としての基本的な知識を必要とする方。

前提知識 「基礎から学ぶSQLー現場で使える力をつけるー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. HiRDBのアーキテクチャ
2. 構築と運用要件の確認
3. データベース設計
4. データベース構築
5. データベースセキュリティ
6. データベースの運用と保守
7. トラブルシューティング

備 考 このコースは、「HiRDBプラットフォームエンジニアーデータベース管理ー」コースの名称を変更したものです。

DBE305 HiRDB

eラーニング 12時間

<eラーニング>【マシン演習付き】HiRDBデータベース管理

HiRDBのデータベース物理設計から環境構築、定期的な運用（バックアップ/リカバリ、再編成、セキュリティ等）など、データベース管理者として必要な基礎知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
・HiRDBシステムの設計を行える。
・HiRDBのコマンドを用い、HiRDBシステムを構築できる。
・HiRDBシステムの基本的な管理作業の概要を理解し、説明できる。

対象者 HiRDBのデータベース管理者としての基本的な知識を必要とする方。

前提知識 「基礎から学ぶSQLー現場で使える力をつけるー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. HiRDBのアーキテクチャ
2. 構築と運用要件の確認
3. データベース設計
4. データベース構築
5. データベースセキュリティ
6. データベースの運用と保守
7. トラブルシューティング
8. 修了試験

備 考
・サービス有効期間は21日間です。
【お申し込み前に必ずご確認ください】
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf
・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
・このコースは、「【マシン演習付き】<eラーニング>HiRDB プラットフォームエンジニアーデータベース管理ー」コースの名称を変更したものです。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休 講 今期の定期開催はありません

DBE306 HiRDB

eラーニング 6時間

<eラーニング>【マシン演習付き】HiRDB アプリケーションプログラミング

HiRDBにアクセスするアプリケーションを開発するために必要な知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標 各種アプリケーション開発技術を用い、HiRDBにアクセスするアプリケーションを作成できる。

対象者 HiRDBにアクセスするアプリケーションを開発する方。

前提知識 「基礎から学ぶSQLー現場で使える力をつけるー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. HiRDBのアーキテクチャ
2. HiRDBのアプリケーションプログラミング概要
3. 表のデータ型
4. アプリケーションプログラムの実装
5. ストアドプロシージャ、ストアドファンクションとトリガー
6. データベースセキュリティ
7. 修了試験

備 考
・サービス有効期間は21日間です。
【お申し込み前に必ずご確認ください】
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf
・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
・このコースは、集合研修「HiRDBアプリケーションプログラミング」コース（DBJ093）と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
・このコースは、「【マシン演習付き】<eラーニング>HiRDBアプリケーションエンジニアーデータベースプログラミングー」コースの名称を変更したものです。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE026 HiRDB

eラーニング 6.5時間

<eラーニング> HiRDBデータベースチューニング

HiRDBを効率良く運用するために必要なパフォーマンス診断や、チューニング方法を学習します。

到達目標 HiRDBサーバ上の各種要素に対するパフォーマンス診断、チューニング方針を理解し、説明できる。

対象者 HiRDBのパフォーマンスチューニングの知識を必要とする方。

前提知識 「HiRDBデータベース管理」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. パフォーマンスチューニング概要
2. データベース設計
3. グローバルバッファのチューニング
4. ログバッファのチューニング
5. SQLオブジェクトバッファのチューニング
6. 修了試験

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE318 HiRDB

eラーニング 13時間

<eラーニング>【マシン演習付き】HiRDB アプリケーションチューニング

HiRDBに適した処理効率の良い業務アプリケーションの開発技術や、アプリケーションのパフォーマンス診断およびチューニング方法を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
・応用的なSQLを用い、HiRDBを効率的に使用するための技術を実装できる。
・HiRDBに接続するアプリケーションの、パフォーマンス診断、チューニング作業を行える。

対象者 HiRDBにアクセスする処理効率の良いアプリケーションの開発技術を必要とする方。

前提知識 「【マシン演習付き】HiRDBアプリケーションプログラミングJeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. SQLコーディングテクニック
(1)応用的なSQL
(2)APの保守性/性能を高めるためのSQLの書き方
2. 排他制御
(1)排他制御の概要　(2)Isolationレベルの制御
(3)デッドロック対策
3. アクセス効率の良いアプリケーションプログラムの作成
(1)アクセスパス　(2)SQLとインデックス
(3)SQL最適化
4. SQLチューニング
(1)統計情報の収集　(2)SQLチューニング
(3)HiRDB SQL Tuning Advisorを使用したSQLチューニング
5. 修了試験

備 考
・サービス有効期間は21日間です。
【お申し込み前に必ずご確認ください】
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf
・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
・このコースは、集合研修「HiRDBアプリケーションチューニング」コース（DBJ095）と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE330 HiRDB

eラーニング 12時間

<eラーニング>【マシン演習付き】HiRDBバックアップリカバリとクラスタリング

HiRDBを安定して運用するための技術や、各種障害に応じたリカバリ方法およびクラスタリング（系切り替え）技術を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
・HiRDBシステムに対する各種バックアップ・リカバリ作業を行える。
・HiRDBシステムに対するクラスタリング技術の概要を理解し、説明できる。

対象者 HiRDB管理者として障害対策に関する知識を必要とする方。

前提知識 「HiRDBデータベース管理」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. バックアップリカバリとクラスタリングの概要
2. バックアップリカバリにあたっての基礎知識
3. データベースのバックアップ
4. データベースのリカバリ
5. システムファイルの障害対処
6. クラスタリングの概要
7. クラスタリング環境の構築と運用
8. 修了試験

備 考
・サービス有効期間は21日間です。
【お申し込み前に必ずご確認ください】
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf
・マシン演習は、Microsoft Windows環境で行います。
・クラスタリングに関するマシン演習はありません。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE329 HiRDB

eラーニング 13時間

<eラーニング>【マシン演習付き】HiRDBパラレルサーバ構築

HiRDBパラレルサーバを使ったHiRDBシステムの構築や運用に必要な基礎知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
・HiRDBパラレルサーバシステムの物理設計ができる。
・HiRDBパラレルサーバシステムの構築ができる。
・HiRDBパラレルサーバシステムが持つ機能について理解し、説明できる。

対象者 HiRDBのデータベース管理者としてHiRDBパラレルサーバシステムの構築に関する知識を必要とする方。

前提知識 「HiRDBデータベース管理」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

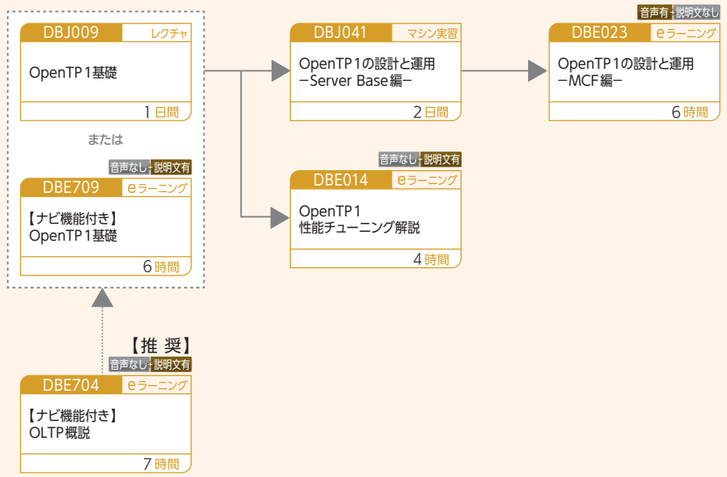
内 容
1. HiRDBパラレルサーバのアーキテクチャ
(1)HiRDBパラレルサーバの構成
(2)HiRDBパラレルサーバの特長
(3)HiRDBパラレルサーバの採用基準
2. 要件確認
(1)要件確認の目的　(2)要件確認項目一覧
(3)項目の確認および調査
(4)BES数見積もりに必要な項目の確認および調査
3. BESとFESの配置方針と必要台数の見積り
(1)基本的なサーバの配置方針
(2)BESの配置および必要台数の決定
(3)FESの配置および必要台数の決定
4. リソースの配置方針と容量見積り
(1)リソースの配置方針　(2)容量見積り
5. データベース構築
(1)データベース構築手順
(2)サーバマシン環境・データベース環境の決定
(3)システム定義ファイルの作成
(4)HiRDBファイルシステム領域の作成
(5)システムファイルの作成
(6)RDエリアの作成とHiRDBシステムの開始
(7)表の定義
6. HiRDBパラレルサーバのその他の機能
(1)高性能を実現するHiRDBパラレルサーバの機能
(2)HiRDBパラレルサーバシステムにおけるHAクラスタ
7. 修了試験

備 考
・サービス有効期間は21日間です。
【お申し込み前に必ずご確認ください】
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf
・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

OpenTP1

TPモニタであるOpenTP1システムの構築や運用、およびアプリケーションを開発するうえで必要となる知識と技術が修得できます。

● OpenTP1を使用してOLTPシステムを構築・運用・設計する方



音声有 説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有 説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし 説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

DBJ009 OpenTP1

レクチャ 1日間

OpenTP1基礎

OLTPシステムの構築に必要なOLTPの基礎知識、およびTPモニタとしてのOpenTP1の役割、構成、機能を学習します。

到達目標
- トランザクションの定義を説明できる。
- OLTPを説明できる。
- OpenTP1の機能を説明できる。

対象者 OpenTP1システムを構築・管理する方、OpenTP1システムにアクセスするアプリケーションを開発する方。

前提知識 OS、データベースおよびネットワークの基礎知識があること。

内容
1. OLTPの基礎知識
   (1)クライアントサーバシステム
   (2)OLTPの基礎知識
   (3)インターネット連携
2. OpenTP1の機能
   (1)アプリケーション間の通信形態
   (2)リモートプロシジャコール(RPC)
   (3)メッセージ送受信形態
   (4)メッセージキューイング形態
   (5)OpenTP1のプロセス制御
   (6)トランザクション制御
3. OpenTP1の日常的な運用
   (1)システムファイル
   (2)OpenTP1の開始および終了

DBE709 OpenTP1

eラーニング 6時間

<eラーニング>【ナビ機能付き】OpenTP1基礎

OLTPシステムを構築するにあたり必要となるOLTPの基礎知識、およびTPモニタとしてのOpenTP1の役割、構成、機能について学習します。

到達目標
- トランザクションの特徴とOLTPについて理解し説明できる。
- OpenTP1の役割、構成、機能について理解し説明できる。

対象者 OpenTP1システムを構築および管理する方、OpenTP1システムにアクセスするアプリケーションを開発する方。

前提知識 「【ナビ機能付き】OLTP概説」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
1. OLTPの基礎知識
   (1)クライアントサーバシステム
   (2)OLTPの基礎知識
   (3)OpenTP1の特徴
   (4)インターネット連携
2. OpenTP1の機能
   (1)アプリケーション間の通信形態
   (2)リモートプロシジャコール
   (3)メッセージ送受信形態
   (4)メッセージキューイング形態
   (5)OpenTP1のプロセス制御
   (6)トランザクション制御
   (7)OpenTP1のソフトウェア製品
3. OpenTP1の日常的な運用
   (1)システムファイル
   (2)OpenTP1の運用
4. 修了試験

備考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBJ041 OpenTP1

マシン実習 2日間

OpenTP1の設計と運用 −Server Base編−

OpenTP1によるOLTPシステムの構築に必要なOpenTP1のシステムの作成、運用方法を学習します。

到達目標
- OpenTP1のコマンドを用いOpenTP1システムを構築できる。
- OpenTP1システムの基本的な管理ができる。

対象者 OpenTP1システムを構築する方、OpenTP1システムを管理する方。

前提知識 「OpenTP1基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
1. OpenTP1の概要
2. OpenTP1システム構築
3. システムファイルの作成
4. システム定義の作成
5. リソースマネジャの登録
6. OpenTP1の運用
7. ユーザサーバの設定と運用
8. システムファイルの障害対策
9. OpenTP1クライアントの設定

DBE023 OpenTP1

eラーニング 6時間

<eラーニング> OpenTP1の設計と運用 −MCF編−

MCFを使用するOpenTP1のシステムの作成、運用方法について学習します。

到達目標
- OpenTP1のコマンドを用い、MCFの機能を実装したOpenTP1システムを構築できる。
- MCFの機能を実装したOpenTP1システムの基本的な管理作業ができる。

対象者 OpenTP1システムを構築する方、OpenTP1システムを管理する方。

前提知識 「OpenTP1設計と運用−Server Base編−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
1. メッセージ送受信形態
2. OpenTP1システムの構築
3. ネットワークコミュニケーション定義の作成
4. OpenTP1の運用
5. 修了試験

備考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE014 OpenTP1

eラーニング 4時間

<eラーニング> OpenTP1性能チューニング解説

OpenTP1における性能見積の考え方と、さまざまな性能チューニング方法について学習します。

到達目標
- OpenTP1における性能見積の考え方を理解し説明できる。
- さまざまな性能チューニング方法を理解し説明できる。

対象者 OpenTP1システムを管理する方。

前提知識 「OpenTP1基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

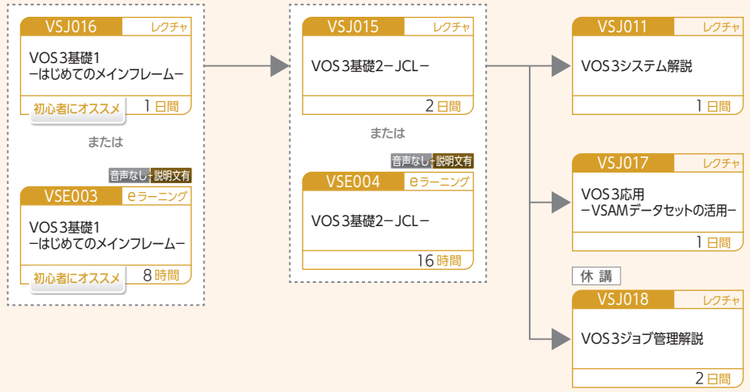
内容
1. OpenTP1の通信性能
2. OpenTP1のトランザクション性能
3. OpenTP1のプロセス・メモリ性能
4. OpenTP1の性能全般
5. 修了試験

備考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

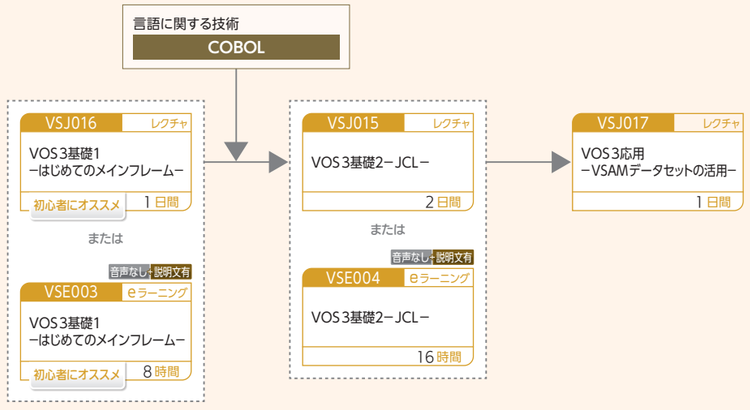
VOS3

日立メインフレーム OSであるVOS3の使用方法や機能、システム運用管理技術が修得できます。

● VOS3システムの運用設計および実装・運用する方



● VOS3システムでアプリケーションを開発する方



音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

VSJ016 VOS3 — VOS3基礎1 −はじめてのメインフレーム−

レクチャ 1日間

メインフレームシステムの構成要素（ハードウェア/ソフトウェア）、および日立メインフレームのオペレーティングシステムであるVOS3の基本的な機能を学習します。

到達目標
- メインフレームシステムの概要を説明できる。
- メインフレームシステムのデータ管理方式を説明できる。
- メインフレームシステムでのプログラム開発手順を説明できる。
- メインフレームシステムでのジョブの実行手順を説明できる。
- メインフレームシステムの運用管理機能を説明できる。

対象者 はじめてVOS3を学習する方で、今後アプリケーション開発や運用・管理をする方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. メインフレームシステムの概要
2. メインフレームシステムのデータ管理方式
3. メインフレームシステムでのプログラム開発手順
4. メインフレームシステムでのジョブの実行手順
5. メインフレームシステムの運用管理機能

VSE003 VOS3 — <eラーニング> VOS3基礎1 −はじめてのメインフレーム−

eラーニング 8時間

メインフレームシステムの構成要素（ハードウェア/ソフトウェア）、および日立メインフレームのオペレーティングシステムであるVOS3の基本的な機能を学習します。

到達目標
- メインフレームシステムの概要を説明できる。
- メインフレームシステムのデータ管理方式を説明できる。
- メインフレームシステムでのプログラム開発手順を説明できる。
- メインフレームシステムでのジョブの実行手順を説明できる。
- メインフレームシステムの運用管理機能を説明できる。

対象者 はじめてVOS3を学習する方で、今後アプリケーション開発や運用・管理をする方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. メインフレームシステムの概要
2. メインフレームシステムのデータ管理方式
3. メインフレームシステムでのプログラム開発手順
4. メインフレームシステムでのジョブの実行手順
5. メインフレームシステムの運用管理機能
6. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、集合研修「VOS3基礎1−はじめてのメインフレーム−」コース（VSJ016）と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

VSJ015 VOS3 — VOS3基礎2 −JCL−

レクチャ 2日間

VOS3システムでジョブの実行に必要な基本的なJCL（ジョブ制御文）や、システムメッセージリストの見方を学習します。

到達目標
- JCL（ジョブ制御文）の役割を説明できる。
- JOB文、EXEC文、DD文を使用してジョブ制御文を作成できる。
- システムメッセージリストからジョブ実行に関する情報を読み取ることができる。

対象者 VOS3システムでJCL（ジョブ制御文）を使用したアプリケーション開発や運用を行う方、ジョブ制御文を基礎から学習したい方。

前提知識 「VOS3基礎1−はじめてのメインフレーム−」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. JCL（ジョブ制御文）の役割
2. ジョブの実行過程
3. ジョブ制御文
   (1) JOB文
   (2) EXEC文
   (3) DD文
4. システムメッセージリストの見方

備 考 このコースは、旧「VOS3使用法」コース（集合研修）と同等の内容です。すでにご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。

VSE004 VOS3 — <eラーニング> VOS3基礎2 −JCL−

eラーニング 16時間

VOS3システムでジョブの実行に必要な基本的なJCL（ジョブ制御文）や、システムメッセージリストの見方を学習します。

到達目標
- JCL（ジョブ制御文）の役割を説明できる。
- JOB文、EXEC文、DD文を使用してジョブ制御文を作成できる。
- システムメッセージリストからジョブ実行に関する情報を読み取ることができる。

対象者 VOS3システムでJCL（ジョブ制御文）を使用したアプリケーション開発や運用を行う方、ジョブ制御文を基礎から学習したい方。

前提知識 「VOS3基礎1−はじめてのメインフレーム−」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. JCL（ジョブ制御文）の役割
2. ジョブの実行過程
3. ジョブ制御文
   (1) JOB文
   (2) EXEC文
   (3) DD文
4. システムメッセージリストの見方
5. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、旧「VOS3使用法」コース（集合研修）、または「VOS3基礎2−JCL−」コース（VSJ015）と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

VSJ011 VOS3 — VOS3システム解説

レクチャ 1日間

VOS3システムを管理するために必要となるVOS3の基礎知識や機能を学習します。

到達目標
- VOS3システムの処理形態を説明できる。
- 仮想空間の構成について説明できる。
- 仮想空間と記憶装置（主記憶・補助記憶）の関係を説明できる。
- TRUSTの機能について説明できる。
- システム運用の自動化機能について説明できる。

対象者 VOS3システムを管理する方。

前提知識 「VOS3基礎2−JCL−」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。VOS3の利用経験が2年以上あると、より理解が深まります。

内 容
1. VOS3の概要
2. 各種処理形態
   (1) バッチ
   (2) TSS
   (3) DB/DC
3. 仮想記憶装置のしくみ
4. データ処理の高速化機能
   (1) LPAの利用
   (2) XPL
   (3) VSAMHAF
   (4) VIO
   (5) SAMESF
5. セキュリティ管理機能（TRUST）
6. システム運用の自動化機能
   (1) AOMPLUS
   (2) HOPSS3
   (3) JP1との連携

VSJ017 VOS3 — VOS3応用 −VSAMデータセットの活用−

レクチャ 1日間

VOS3システムを管理、およびVOS3システムでアプリケーションプログラムを開発するうえで必要となるVSAMの基礎知識や機能を学習します。

到達目標
- VSAMデータセットの特長を説明できる。
- VSAMユーティリティの機能を説明できる。
- ライブラリ管理システム LIME E2の機能を説明できる。
- カタログの役割、機能を説明できる。

対象者 VOS3システムの運用を行う方、VOS3システムでアプリケーションの開発を行う方。

前提知識 「VOS3基礎2−JCL−」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. データセットとディスクボリューム
2. VSAMデータセットの特長
3. ライブラリ管理システムLIMEE2の機能
4. データセットのカタログ機能
5. VSAMユーティリティの機能

VSJ018 VOS3

レクチャ

VOS3ジョブ管理解説

休講

2日間

VOS3のシステム管理をするために必要となるJSS3の機能と設定方法を学習します。

到達目標
- JSS3の機能を説明できる。
- JSS3の起動の流れや仕組みを説明できる。
- ジョブ入出力に関するパラメタを説明できる。
- ジョブの実行スケジュールに関するパラメタを説明できる。

対象者 VOS3システムの運用管理に携わる方。

前提知識 「VOS3基礎2ーJCLー」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. JSS3の概要
2. JSS3の起動と初期設定
   (1)JSS3起動用カタログドプロシジャ
   (2)JSS3初期設定パラメタ
3. ジョブの実行管理
   (1)ジョブの流れ
   (2)ジョブの入力
   (3)ジョブの実行スケジュール
   (4)ジョブの実行制御
   (5)ジョブ結果の出力
   (6)スプールとジョブキューの管理

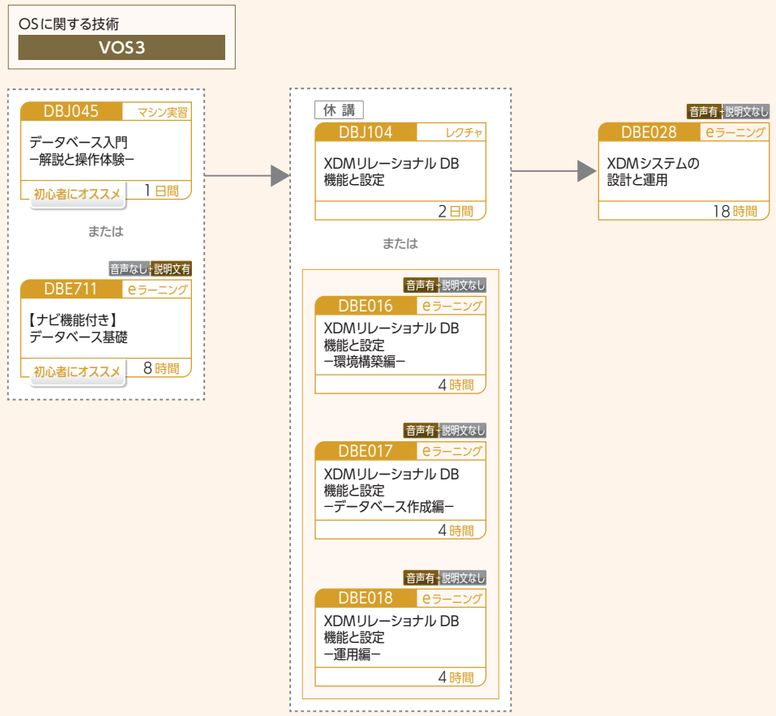
備　考 ※このコースは、休講とさせていただきます。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

XDM

日立メインフレーム DB/DCであるXDMの機能や設定、システム運用管理技術が修得できます。

● XDMを使用してリレーショナルデータベースを構築・運用・設計する方



音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● XDMを使用して構造型データベースを構築・運用・設計する方

OSに関する技術
VOS3

DBJ045 マシン実習
データベース入門
−解説と操作体験−
初心者にオススメ　1日間

または

音声なし・説明文有
DBE711 eラーニング
【ナビ機能付き】
データベース基礎
初心者にオススメ　8時間

休講
DBJ105 レクチャ
XDM構造型DB
機能と設定
3日間

または

音声有・説明文なし
DBE024 eラーニング
XDM構造型DB
機能と設定
18時間

音声有・説明文なし
DBE028 eラーニング
XDMシステムの
設計と運用
18時間

● XDM/DCCM3オンラインシステムを構築・運用・設計する方

OSに関する技術
VOS3

休講
DBJ103 レクチャ
XDM/DCCM3機能解説と
システム運用
2日間

または

音声有・説明文なし
DBE025 eラーニング
XDM/DCCM3機能解説と
システム運用
12時間

音声有・説明文なし
DBE028 eラーニング
XDMシステムの
設計と運用
18時間

音声有・説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有・説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし・説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

DBE016 XDM
eラーニング 4時間
<eラーニング> XDMリレーショナルDB機能と設定 −環境構築編−

XDMリレーショナルデータベース（XDM/RD）システムを構築する際に必要なデータベースの構造と、XDM/RD空間を起動するのに必要な定義方法を学習します。

到達目標 ・論理構造と物理構造を理解し説明できる。
・RD初期設定ユティリティで設定するオペランドを理解し説明できる。
対象者 XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。
前提知識 「データベース入門−解説と操作体験−」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容 1. XDMシステムの概要
2. データベースの論理構造と物理構造
(1)データベースの論理構造
(2)データベースの物理構造
3. XDM/RDシステムの作成
(1)XDM/RDシステムの作成手順
(2)XDM/RDシステムの作成の準備
(3)XDM/RDシステムの環境設定
4. 修了試験
備 考 ・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、「XDMリレーショナルDB機能と設定」コース（集合研修）の一部分をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE017 XDM
eラーニング 4時間
<eラーニング> XDMリレーショナルDB機能と設定 −データベース作成編−

XDMリレーショナルデータベースシステム（XDM/RD）を構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法を学習します。

到達目標 ・論理構造と物理構造を理解し説明できる。
・表およびインデクスを定義に必要なオペランドを理解し説明できる。
対象者 XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。
前提知識 「データベース入門−解説と操作体験−」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容 1. XDMシステムの概要
2. データベースの論理構造と物理構造
(1)データベースの論理構造
(2)データベースの物理構造
3. データベースの作成
(1)表の定義
(2)インデクスの定義
(3)データの初期ロードとインデクスの作成
(4)ビュー表の定義
4. 修了試験
備 考 ・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、「XDMリレーショナルDB機能と設定」コース（集合研修）の一部分をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE018 XDM
eラーニング 4時間
<eラーニング> XDMリレーショナルDB機能と設定 −運用編−

XDMリレーショナルデータベース（XDM/RD）システムを構築する際に必要なデータベースの構造と、XDM/RD空間を起動するのに必要な定義方法を学習します。

到達目標 ・機密保護、排他制御を理解し説明できる。
・パッチUAP用ユーザ空間の起動制御文に必要なオペランドを理解し説明できる。
対象者 XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。
前提知識 「データベース入門−解説と操作体験−」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容 1. XDMシステムの概要
2. データベースの定義と作成
(1)データベースの論理構造
(2)データベースの物理構造
3. データベースの管理と保守
(1)データディクショナリ
(2)機密保護
(3)排他制御
4. データベースの運用
(1)XDM/RDシステムの起動と停止
(2)データベースの再編成
5. 修了試験
備 考 ・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、「XDMリレーショナルDB機能と設定」コース（集合研修）の一部分をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBJ104 XDM
レクチャ 2日間 休講
XDMリレーショナルDB機能と設定

XDMリレーショナルデータベースシステムを構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法、データベースの管理や維持の方法を学習します。

到達目標 ・論理構造と物理構造を理解し、説明できる。
・表およびインデクスを定義できる。
・機密保護、排他制御を理解し、説明できる。
・パッチUAP用ユーザ空間を起動できる。
対象者 XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。
前提知識 「データベース入門−解説と操作体験−」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容 1. XDMシステムの概要
2. データベースの定義と作成
(1)データベースの論理構造
(2)データベースの物理構造
(3)XDM/RDシステムの作成
3. データベースの管理と保守
(1)データディクショナリ
(2)機密保護
(3)排他制御
4. データベースの運用
(1)XDM/RDシステムの起動と停止
(2)データベースの再編成
備 考 ※このコースは、休講とさせていただきます。

DBE024 XDM
eラーニング 18時間
<eラーニング> XDM構造型DB機能と設定

XDM構造型データベースシステムを構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法、データベースの管理や維持の方法を学習します。

到達目標 ・スキーマ、格納スキーマの適切な構造を定義できる。
・データベース実行環境の適切なオプションを選択できる。
・データベースの構造変更等の保守ができる。
対象者 XDM構造型データベースシステムを構築・運用する方。
前提知識 「データベース入門−解説と操作体験−」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容 1. XDMシステムの概要
2. データベースの論理構造とデータ操作
3. データベースの格納構造と定義
4. データベースの物理構造と定義
5. プログラムからのデータベース利用
(1)仮想構造
(2)データベースの操作機能
6. データベースの作成と保守
7. データベースの管理
(1)排他制御
(2)コミット（同期点）処理
(3)データベースの障害回復
備 考 ・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBJ105 XDM
レクチャ 3日間 休講
XDM構造型DB機能と設定

XDM構造型データベースシステムを構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法、データベースの管理や維持の方法を学習します。

到達目標 ・スキーマ、格納スキーマの適切な構造を定義できる。
・データベース実行環境の適切なオプションを選択できる。
・データベースの構造変更等の保守ができる。
対象者 XDM構造型データベースシステムを構築・運用する方。
前提知識 「データベース入門−解説と操作体験−」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容 1. XDMシステムの概要
2. データベースの論理構造とデータ操作
3. データベースの格納構造と定義
4. データベースの物理構造と定義
5. プログラムからのデータベース利用
(1)仮想構造
(2)データベースの操作機能
6. データベースの作成と保守
7. データベースの管理
(1)排他制御
(2)コミット（同期点）処理
(3)データベースの障害回復
備 考 ※このコースは、休講とさせていただきます。

DBE025 XDM

eラーニング 12時間

<eラーニング> XDM/DCCM3機能解説とシステム運用

XDMによるオンラインシステムを構築、運用するにあたり必要なXDM/DCCM3のメッセージ制御機能とオンラインシステム運用のための機能を説明します。

到達目標
・メッセージ制御についてさまざまなオプションを選択し、機能設定できる。
・トランザクション定義ができる。

対象者 XDM/DCCM3を使用したオンラインシステムを構築・運用する方。

前提知識 データベースおよびネットワークの基礎知識があること。

内 容
1. XDMシステムの概要
2. メッセージ制御
 (1)メッセージ受信/送信処理
 (2)UAPのローディング方式
 (3)メッセージ編集など
3. オンラインの運用
 (1)XDMシステムの開始と終了
 (2)センタ運用
 (3)端末運用
4. XDM/DCCM3システム定義例

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBJ103 XDM

レクチャ 2日間

XDM/DCCM3機能解説とシステム運用

休 講

XDMによるオンラインシステムを構築、運用するにあたり必要なXDM/DCCM3のメッセージ制御機能とオンラインシステム運用のための機能を説明します。

到達目標
・メッセージ制御についてさまざまなオプションを選択し機能設定できる。
・トランザクション定義ができる。

対象者 XDM/DCCM3を使用したオンラインシステムを構築・運用する方。

前提知識 データベースおよびネットワークの基礎知識があること。

内 容
1. XDMシステムの概要
2. メッセージ制御
 (1)メッセージ受信/送信処理
 (2)UAPのローディング方式
 (3)メッセージ編集など
3. オンラインの運用
 (1)XDMシステムの開始と終了
 (2)センタ運用
 (3)端末運用
4. XDM/DCCM3システム定義例

備 考 ※このコースは、休講とさせていただきます。

DBE028 XDM

eラーニング 18時間

<eラーニング> XDMシステムの設計と運用

XDMによるオンラインシステムを構築、運用する際に必要な効果的なシステムの定義方法や運用の手順、およびそれらの作業方法を学習します。

到達目標
・XDM空間を起動できる。
・オンラインのさまざまなオプションを選択し性能改善できる。
・センタ運用のさまざまなオプションを選択し省力化が図れる。

対象者 XDMシステムの管理者としてシステムの定義作成や運用をする方。

前提知識 「XDM構造型DB機能と設定」コース、または「XDMリレーショナルDB機能と設定」eラーニングコース（3コースすべて）と、「XDM/DCCM3機能解説とシステム運用」コースを修了し、かつVOS3の各種用語や機能についての知識があること。

内 容
1. 概要
2. XDMシステムの構築と運用
 (1)XDM運用のポイント
3. XDMシステムの管理を支援するツール
 (1)XDM/AOFE2
 (2)XDM/PAF
4. XDMの設計指針
 (1)性能設計
 (2)信頼性設計
 (3)DB設計
 (4)DC設計

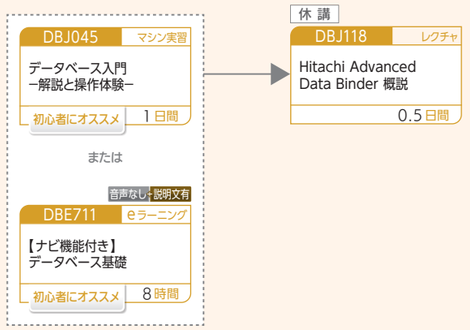
備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休 講 休講 今期の定期開催はありません

Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム

情報系システム向け超高速データベースエンジン、Hitachi Advanced Data Binderのアーキテクチャや導入までのWBS、設計や構築・運用管理に必要となるスキルが修得できます。

Hitachi Advanced Data Binderを使用したシステムを設計・開発する方



音声有 説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有 説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし 説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

DBJ118 Hitachi Advanced Data Binder

レクチャ 0.5日間

Hitachi Advanced Data Binder概説

休 講

Hitachi Advanced Data Binderの概要、導入から保守までの作業概要（WBS）および設計・構築・運用の基礎知識を学習します。

到達目標
・Hitachi Advanced Data Binderの概要を理解し、説明できる。
・Hitachi Advanced Data Binderの導入から保守までの作業概要（WBS）を理解し、説明できる。
・Hitachi Advanced Data Binderの設計・構築・運用の基礎知識を理解し、説明できる。

対象者 Hitachi Advanced DataBinderの導入をご検討中の方。

前提知識 「データベース入門－解説と操作体験－」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. HADBの概要
2. HADBの設計
3. HADBの構築の概要
4. HADBのテストおよびチューニングの概要

備 考 ※このコースは、休講とさせていただきます。

日立ストレージ

日立ブロックストレージに関する製品・機能について必要な知識やスキルを修得できます。

ストレージの基礎および周辺知識を知りたい方

【ストレージ】

音声有+説明文なし
CLE703 eラーニング
【ナビ機能付き】ストレージ関連者向けサーバ仮想化技術概説
3時間

Renewal
SPL076 レクチャ
日立ストレージ製品概要 −ストレージ基礎・製品紹介編−
1日間

音声なし+説明文有
SJE708 eラーニング
【ナビ機能付き】ストレージシステム基礎
8時間

【周辺知識】

音声有+説明文なし
SJE705 eラーニング
【ナビ機能付き】SAN概説
5時間

音声有+説明文なし
SJE016 eラーニング
Fibre Channel概説 −日立ストレージ・ホストの接続を理解するために−
4時間

音声有+説明文なし
SJE017 eラーニング
SATA入門
2時間

音声有+説明文なし
SJE028 eラーニング
SCSI入門 −ストレージインタフェースを理解するために−
2時間

音声有+説明文なし
SJE018 eラーニング
SAS(Serial Attached SCSI)入門−ストレージインタフェースを理解するために−
2時間

日立ストレージのハードウェア製品特長・構成を知りたい方

Renewal SPL076 レクチャ 日立ストレージ製品概要 −ストレージ基礎・製品紹介編− 1日間
→
Renewal SPL077 レクチャ 日立ストレージハードウェア −ミッドレンジストレージ編− 1日間

※SPL077は、製品シミュレータを使用したストレージ設定操作が体験できます。

日立ストレージの各機能を使用したシステムの構築・運用技術を知りたい方

Renewal SPL076 レクチャ 日立ストレージ製品概要 −ストレージ基礎・製品紹介編− 1日間
→ Renewal SPL077 レクチャ 日立ストレージハードウェア −ミッドレンジストレージ編− 1日間
→ SPL073 マシン実習 日立ストレージハンズオン −バックアップ編− 1日間
→ Renewal SPL078 レクチャ 日立ストレージ機能 −リモートコピー編− 1日間
→ Renewal SPL079 レクチャ 日立ストレージ機能 −無停止運用管理編− 1日間

SPL072 マシン実習 日立ストレージハンズオン −iSCSI活用編− 1日間

SPL075 マシン実習 日立ストレージハンズオン −REST API編− 1日間

SPL074 マシン実習 日立ストレージハンズオン −仮想化編− 1日間

※SPL077、SPL078、SPL079は、製品シミュレータを使用したストレージ設定操作が体験できます。

音声有+説明文有 ：説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

SPL076 日立ストレージ
レクチャ 1日間
日立ストレージ製品概要 −ストレージ基礎・製品紹介編− Renewal

Hitachi Storage Solutions製品の基礎知識、提案および見積りの手順について学習します。

到達目標 ・Hitachi Storage Solutionsの基礎知識、提案、見積りに必要な事項を修得し、カタログを用いてHitachi Storage Solutionsの製品説明ができる。
・顧客のニーズを把握できるようになる。
対象者 顧客に対しHitachi Storage Solutionsに関する最適なシステムの提案技術の修得をめざす営業・SEの方。
前提知識 特に必要としません。
内 容 1. ストレージと基礎知識
2. ストレージ製品ラインアップと特徴
3. 日立ストレージソフトウェアおよびソリューション
4. 日立ストレージ管理ソフトウェア
5. 日立ストレージ提案・見積り

SJE708 日立ストレージ
eラーニング 8時間
<eラーニング>【ナビ機能付き】ストレージシステム基礎

ストレージ(ディスク、テープ)に関する基本事項を学習します。

到達目標 ストレージに関する基本的な用語を理解でき、業務に活用できる。
対象者 ストレージに関する業務をこれから始める方。
前提知識 特に必要としません。
内 容 1. ディスクシステムとは
(1)ディスクシステムの位置付け
2. ディスクシステム基礎技術
(1)RAID技術
(2)ストレージインタフェース(オープンシステム・メインフレーム)
(3)ネットワークを使用したストレージ
(4)サーバ関連事項
3. テープバックアップ
(1)バックアップの必要性、テープバックアップを実現する要素
(2)テープ関連基礎知識
4. 修了試験
備 考 ・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SPL077 日立ストレージ
レクチャ 1日間
日立ストレージハードウェア −ミッドレンジストレージ編− Renewal

ハードウェアについては、製品ラインアップとオプション構成などハードウェアシステム構成ができる知識、ソフトウェア関連では、基本ソフトウェアの操作・設定ができる知識について学習します。なお、GUI操作も体験していただけます。

到達目標 ・ハードウェアシステム構成ができる知識を修得できる。
・オープン系ソフトウェアの操作・設定ができる。
対象者 日立ミッドレンジストレージについて基本的な技術の修得をめざす方。
前提知識 「日立ストレージ製品概要−ストレージ基礎・製品紹介編−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容 1. 日立ストレージ概要
2. ハードウェア
(1)全体構成
(2)ハードウェアコンポーネント
3. 内部動作
(1)Read・Write時の内部動作
4. 基本ソフトウェア(オープンシステム)
(1)LUN Manager(機能・操作)
(2)Performance Monitor など
(3)Hitachi Dynamic Provisioning
5. Hitachi Command Suiteストレージ設定

SPL073 日立ストレージ
マシン実習 1日間
日立ストレージハンズオン −バックアップ編−

ShadowImage、Thin Imageの基本機能、ペア操作(Storage Navigator、RAID Manager)について実機を使用した操作を通して学習します。

到達目標 ・ShadowImageの知識を修得し、操作・設定ができる。
・Thin Imageの知識を修得し、操作・設定ができる。
対象者 日立ブロックストレージのボリュームコピー系機能ShadowImage、ThinImageの技術の修得をめざす方。
前提知識 「日立ストレージハードウェアーミッドレンジストレージ編−」コースを修了しているか、または同等以上の知識があること。
内 容 1. ShadowImage
(1)基本機能、ペア操作と状態遷移
(2)RAID Managerを使用した設定・操作(構成定義ファイル編集を含む)
2. Thin Image
(1)基本機能、ペア操作と状態遷移(ペア操作)
(2)RAID Managerを使用した操作(raidcomコマンドによる操作)
3. Storage Navigatorによる基本操作

SPL074 日立ストレージ
マシン実習 1日間
日立ストレージハンズオン −仮想化編−

日立ストレージの仮想化機能Universal Volume Manager、Dynamic Provisioning、Dynamic Tieringの基本機能、システム構成、設定について実機操作を通して学習します。

到達目標 ・Universal Volume Managerの知識を修得し、操作・設定ができる。
・Dynamic Provisioningの知識を修得し、操作・設定ができる。
・Dynamic Tieringの知識を修得し、操作・設定ができる。
・active flashの知識を修得し、操作・設定ができる。
対象者 日立ブロックストレージの仮想化機能Universal Volume Manager、Dynamic Provisioning、Dynamic Tiering、active flashの技術の修得をめざす方。
前提知識 「日立ストレージハードウェアーミッドレンジストレージ編−」コースを修了しているか、または同等以上の知識があること。
内 容 1. Universal Volume Manager(UVM)
(1)基本機能、内部動作、システム設定・操作
(2)UVMを使用したデータ移行操作実習
2. Dynamic Provisioning(HDP)
(1)基本機能システム構成
(2)操作実習仮想ボリューム、プール作成、ホスト接続
3. Dynamic Tiering(HDT)
(1)基本機能システム構成、操作概要(スケジューリングなど)
4. active flash
(1)基本機能
(2)操作概要

SPL078 日立ストレージ
レクチャ 1日間
日立ストレージ機能 −リモートコピー編− Renewal

日立ストレージリモートコピー機能(TrueCopy、Universal Replicator)の基本機能、システム構成、ペア操作について学習します。なお、GUIおよびCLI操作も体験していただけます。

到達目標 ・TrueCopyの知識を修得し、操作・設定ができる。
・UniversalReplicatorの知識を修得し、操作・設定ができる。
対象者 日立ブロックストレージのリモートコピー機能TrueCopy、Universal Replicatorの技術の修得をめざす方。
前提知識 「日立ストレージハンズオンーバックアップ編ー(旧コース名称:Hitachi Storage Solutionsスペシャリストライト BLOCK I)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容 1. TrueCopy
(1)基本機能 状態遷移 システム構成(RAID Manager含む)ペア操作
2. Universal Replicator
(1)基本機能 状態遷移 システム構成(RAID Manager含む)ペア操作

SPL079 日立ストレージ

レクチャ 1日間

日立ストレージ機能 −無停止運用管理編−

Renewal

global virtualizationの概要と、global virtualizationをベースとした機能であるnondisruptive migration、global-active deviceの基本機能、システム構成、操作について学習します。

到達目標
- global virtualizationの概要を修得し、操作・設定ができる。
- nondisruptive migrationやglobal−active deviceの知識を修得し、操作・設定ができる。

対象者 ストレージの仮想化機能global virtualizationの技術の修得をめざす方。

前提知識 「日立ストレージ機能−リモートコピー編−（旧コース名称：Hitachi Storage SolutionsスペシャリストライトBLOCK III）」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. global virtualization
   (1)仮想ストレージ解説、仮想ストレージの作成
2. nondisruptive migration
   (1)基本機能 システム構成、操作（ボリューム移行）
3. global-active device
   (1)基本機能 システム構成、操作

SPL072 日立ストレージ

マシン実習 1日間

日立ストレージハンズオン −iSCSI活用編−

仮想化環境下で、iSCSIストレージを使用するための設定、サーバ、ストレージ間でのiSCSIを使用した接続、また、日立ストレージのリモートコピー機能、外部ストレージ接続機能での筐体間接続にiSCSIを使用する際の接続方法、注意事項など実機を通して学習します。

到達目標
- 仮想化環境下でiSCSIストレージの導入方法を理解できる。
- サーバとストレージ間をiSCSIを使用して接続できる。
- 日立ストレージのリモートコピー機能、外部ストレージ接続機能でiSCSIを活用できる。

対象者
- 仮想化環境を構築される方。
- 日立ストレージをiSCSIインタフェースで導入される方。

前提知識
- サーバ仮想化に関する知識があること。
- 日立ストレージに関する知識があること。
- 日立ストレージのリモートコピー、外部ストレージ接続機能の知識があること。

内 容
1. iSCSI概要
   (1)iSCSIとは
   (2)iSCSI導入メリット
   (3)iSCSI技術要素Target、iSCSI NAME、セキュリティ（CHAP認証）
2. サーバ、iSCSIストレージ接続
   (1)接続概要
   ・チャップ認証設定
   ・LUNセキュリティ設定
   (2)接続実習
3. 仮想化環境でのiSCSIストレージ導入
   (1)システム構成
   (2)データストア用ボリュームの作成から認識まで
   (3)実習
4. 日立ストレージ各種機能でのiSCSI活用
   (1)外部ストレージ接続機能（Universal Volume Manager）機能概要、筐体間接続設定、注意事項
   (2)UVM接続実習
   (3)リモートコピー機能（TrueCopy/Universal Replicator）機能概要、筐体間接続設定、注意事項
   (4)リモートコピー接続実習
5. iSCSI接続トラブルシューティング

SPL075 日立ストレージ

マシン実習 1日間

日立ストレージハンズオン −REST API編−

REST APIの基本的な使用方法から、ストレージの設定、管理方法をマシン実習を通して学習します。

到達目標
- REST APIの基本的な使用方法が理解できる。
- REST APIを使用してストレージの設定ができる。
- REST APIを使用してストレージの情報を確認できる。

対象者 ストレージの運用・管理を行う方。

前提知識 日立ストレージに関する知識があること。

内 容
1. REST APIとは
   (1)REST API概要
2. REST API操作
   (1)RESTクライアントインストール
   (2)認証（ベーシック認証、セッション認証）
   (3)ストレージ情報確認、設定操作
3. REST API演習
   (1)ストレージ設定、情報の確認などの演習

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

日立製作所のオープンミドルウェア、プラットフォームソフトウェアなどを扱うために必要な技術が修得できます。

Pentaho

データ統合・分析基盤であるPentahoを使用したデータの統合処理や、分析・可視化に必要な機能や操作等の技術が修得できます。

● Pentahoを使ってデータ操作・参照したい方

PTD001 マシン実習
(Pentaho認定)
ビジネスアナリティクス
ユーザーコンソール
1日間

● PentahoのBI機能を使ったデータ分析をしたい方

PTJ001 マシン実習
Pentahoによる
データの可視化・分析
0.5日間

→

PTD002 マシン実習
(Pentaho認定)
ビジネスアナリティクス
レポートデザイナー
2日間

PTD003 マシン実習
(Pentaho認定)
ビジネスアナリティクス
データモデリング
2日間

PTD004 マシン実習
(Pentaho認定)
CToolsの基本
2日間

● Pentahoを使用してデータ統合をしたい方

PTJ002 マシン実習
データ加工・統合入門
−Pentahoを用いて−
1日間

→

PTD005 マシン実習
(Pentaho認定)
データ統合の基本
3日間

音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PTD001 Pentaho

マシン実習 1日間

（Pentaho認定）ビジネスアナリティクス ユーザーコンソール

Pentaho上の意思決定にビジネスインテリジェンスを利用するユーザーに対して、Pentaho製品の円滑なスタートを提供します。また、このコースはすべてのビジネス・アナリティクスとデータ統合の学習のための出発点となり、より高度なトピックのための前提条件となります。

到達目標 インタラクティブレポート、アナライザ、レポートデザイナー、およびダッシュボードデザイナーの主な機能を説明できる。

対象者 ビジネスユーザーの方、ビジネスアナリストをめざす方、データアナリスト・Pentaho管理者・Pentahoサポートを担当する方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. Pentahoビジネスアナリティクス入門
2. インタラクティブレポートによるレポート作成
3. アナライザによるレポート作成
4. ダッシュボードデザイナーによるダッシュボード作成

備　考 カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。

PTJ001 Pentaho

マシン実習 0.5日間

Pentahoによるデータの可視化・分析

Pentahoのアナライザーレポート機能などを用いた、データの可視化および分析について学習します。

到達目標
- データ分析の処理方法であるOLAP（Online Analytical Processing）の概要を説明できる。
- Pentahoを用いてデータを可視化、分析できる。

対象者 Pentahoによるデータの可視化、分析について学びたい方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作についての知識があること。

内　容
1. Pentahoのデータ可視化、分析機能概要
   （1）概要
   （2）アナライザーレポート機能
   （3）その他のレポート機能
2. アナライザーレポート機能による可視化、分析
   （1）OLAP分析の概要
   （2）グラフ種別
   （3）データ分析操作
3. データ分析演習
   （1）仮説の作成
   （2）分析と仮説の検証

PTD002 Pentaho

マシン実習 2日間

（Pentaho認定）ビジネスアナリティクス レポートデザイナー

Pentahoレポートデザイナーにより、レポートのデザイン、作成、パブリッシュ方法を修得します。また、データソースへのアクセスからデザイン要素の追加までビジネスレポート作成に必要なすべてのステップを学習できます。

到達目標
- レポートデザイナーの主要な特徴を説明できる。
- データソースに接続してクエリーデザインツールによりレポートのためのクエリーが書ける。
- さまざまなデータを使用して要素をデザインできる。
- レポート要素をフォーマットして、条件フォーマットをレポート要素に適用できる。
- ハイパーリンクとパラメーターをレポートに追加できる。
- レポートデザイナーでチャートとサブレポートを使える。
- レポート内でリソースファイルを使うことができる。
- レポートウィザードを使ってレポートを作成できる。

対象者 ビジネスアナリストをめざす方、Pentahoサポートを担当する方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. Pentahoビジネスアナリティクス入門
2. レポートデザイナーによるレポート作成
3. 高度なレポーティングトピック
4. レポートウィザードによるレポート作成

備　考 カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。

PTD005 Pentaho

マシン実習 3日間

（Pentaho認定）データ統合の基本

Pentahoデータ統合を活用し、生産性を向上させるスキルを修得できます。また、Pentahoのデータ統合機能を使用して、さまざまなアプリケーションにデータを配信する方法を学習できます。

到達目標
- ステップやホップを含む基本的なデータ変換の作成、プレビュー、実行ができる。
- データ変換の結果をメトリクスビューやログビューで確認できる。
- 基本的なセキュリティを含むPentahoエンタープライズレポジトリを設定できる。
- Pentahoエンタープライズレポジトリを使用できる。
- データ変換ステップのためのエラーハンドリングができる。
- データベース接続を作成してデータベース探索が行える。
- データ変換の作成が行える。
- ストリーム上での複雑な計算を行うデータ変換の作成できる。
- パラメータや環境変数を使った繰り返しのデータ変換を作成できる。
- データ補正データクレンジングにPentahoデータ統合を使用できる。
- 異なるデータソースへデータをロードできる。
- ジョブを作成できる。
- データ変換やジョブのためのログを設定し、結果を検証できる。
- Pentahoデータ統合、Pentahoエンタープライズコンソールから、スケジュールしてモニタリングできる。

対象者 データアナリストをめざす方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 基本的なデータ変換の作成、プレビュー、実行
2. メトリクスビューやログビュー
3. Pentahoエンタープライズレポジトリ
4. エラーハンドリング
5. データベース接続
6. 各種データ変換
7. データ統合
8. ジョブの作成

備　考 カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。

PTD003 Pentaho

マシン実習 2日間

（Pentaho認定）ビジネスアナリティクス データモデリング

Pentahoメタデータエディターやスキーマワークベンチを使って、インタラクティブレポートやアナライザーで使用するデータモデルの作成を行います。

到達目標
- データソースウィザードを使用してCSVファイルからデータモデルを作成できる。
- Pentahoメタデータエディターを使って、複雑なDBテーブルやレポートデータに対するセキュリティパラメータの設定をするためのビジネス言語定義が行える。
- OLAP、ROLAP、ディメンジョナル・モデリングを説明できる。
- Mondrianスキーマの機能と目的を説明できる。
- Pentahoアナライザーの基本的なキューブを作成するために、スキーマワークベンチを使える。
- ヒエラルキー・レベル・計算メンバーを含むスタースキーマを作成するために、スキーマワークベンチを使える。
- スキーマワークベンチ内でMondrianスキーマをテストするために基本的なMDXクエリーを書ける。
- Mondrianスキーマへのアクセスを管理するため、どのようにスキーマワークベンチのロールを使うか説明できる。

対象者 ビジネスアナリスト、データアナリストをめざす方、Pentahoサポートを担当する方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. Pentahoビジネスアナリティクス入門
2. Pentahoによるデータソースの働き
3. OLAP/ROLAPとディメンジョナル・モデリング
4. スキーマワークベンチの使用

備　考 カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。

PTD004 Pentaho

マシン実習 2日間

（Pentaho認定）CToolsの基本

リッチなユーザー体験を提供するピクセルパーフェクトなダッシュボードの作成方法について学習します。

到達目標
- ダッシュボードデザインのためのトップーボトムアプローチが説明できる。
- DCFのようなダッシュボードフレームワークの目的を説明できる。
- コアのCTools（CDA、CDE、CCC）が使えて、その目的が説明できる。
- CToolsの中で使用されるテクノロジーが説明できる。
- CToolsトレーニング環境が説明できる。
- CDEを使ったダッシュボードのためのレイアウトが作成できる。
- CDEのライフサイクルの背景となる主要コンセプトが説明できる。
- CDEデータソースパースペクティブが説明できる。
- Mondrianデータソースをダッシュボードに追加できる。
- CCCとCCC2が説明できる。
- チャートや表がダッシュボードに追加できる。
- チャートカスタマイズのための拡張ポイントを見つけるためドキュメントを使える。
- パラメータコンポーネントをダッシュボードに追加できる。
- セレクターやウィジェットをダッシュボードに追加できる。

対象者 ビジネスアナリストをめざす方。

前提知識 「（Pentaho認定）ビジネスアナリティクス」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内　容
1. ダッシュボードデザイン
2. CToolsのアーキテクチャ
3. CDF/CDE入門
4. CDAによるダッシュボードデータソースの作成
5. ダッシュボードへのコンポーネント追加
6. CCCによるチャートの設定
7. コンポーネント間の相互利用
8. CGGとCDAのエクスポート機能

備　考 カリキュラムの詳細は、都合により多少変更される場合がございます。

PTJ002 Pentaho

マシン実習 1日間

データ加工・統合入門 −Pentahoを用いて−

データ統合で必要なETL処理について、データ加工の考え方やポイントを学習します。また、PentahoのPDI（Pentaho Data Integration）機能を使用した、ETL処理の定義・実行操作を学習します。

到達目標
- データ統合を目的としたETL（Extract/Transform/Load）処理のポイントを説明できる。
- Pentahoを用いてETL処理を定義・実行できる。

対象者
- 業務でデータ統合を実現する方法を学びたい方。
- Pentahoを使用したシステムの提案、導入を担当する営業、SEの方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作についての知識があること。

内　容
1. ETL概要
   （1）ETLとは
   （2）ETLにおけるデータ加工のポイント
2. Pentaho概要
   （1）Pentahoの概要と構成
   （2）PDIの用語・概念
3. データの名寄せ
   （1）名寄せとは
   （2）名寄せのポイント
   （3）PDIでの設定・実行例
   （4）演習
4. データのクレンジング
   （1）クレンジングとは
   （2）クレンジングのポイント
   （3）PDIでの設定・実行例
   （4）演習

DXマインド・プロセス・マネジメント

DXがもたらすビジネスへインパクト、可能性について理解し、DXを推進するためのマインドを修得できます。

● DXを推進するためのマインドセット・プロセスを理解したい方

HSJ175 レクチャ
データ利活用のパターンとビジネス着想
0.5日間

HSJ170 グループ演習
イノベーティブ思考
−単なるアイディアで終わらせないためのロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせ方−
2日間

HSJ163 グループ演習
クリエイティブシンキング
1日間

音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

HSJ163 DXマインド

グループ演習 1日間

クリエイティブシンキング

イノベーションを切り開くために必須となる、クリエイティブなアイデアを閃くためのプロセスを実践演習を通して体感・学習します。

到達目標
・クリエイティブなアイデアを閃くプロセスを実体験を通して理解することができる。
・クリエイティブなアイデアを閃くために必要な思考、行動様式を知ることができる。

対象者 新しいことを考え出したいすべての方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. なぜ今クリエイティブシンキングなのか？
2. イノベーションと知識創造社会とか何か？
3. IT人財にとってのクリエイティブ、イノベーティブとは？
4. クリエイティブシンキングの実体とは？
5. なぜ、できないのか？どうすれば、できるのか？
6. どうすれば実務で活かせるのか？
7. ワークショップ
8. 最後に

備　考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

課題分析（何をなすべきかを着想する）

社会変化や顧客課題、技術や業種・業務知識といったさまざまな要因から何をなすべきか着想するイノベーティブな考え方・技法を修得できます。

● 社会変化から着想する方

HSJ207 グループ演習
協創型イノベーション開発手法（モノとコトを結び新たな顧客価値を創出する）
2日間

HSJ208 グループ演習
モノづくり事業をベースとした高収益サービスの創生法
−Product-Service Systems（PSS）−
3日間

HSJ158 グループ演習
イノベーションプロセスを強化するシナリオプランニング
1日間

● 顧客課題から着想する方

HSJ170 グループ演習
イノベーティブ思考
−単なるアイディアで終わらせないためのロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせ方−
2日間

● 技術から着想する方

音声有+説明文なし
IOE004 eラーニング
デジタル時代に必要なIT技術概説
6時間

New 音声有+説明文有
IOE005 eラーニング
マイクロラーニングで学ぶ！はじめてのIoT
8時間

IOJ001 レクチャ
IoT概説
0.5日間

HSJ175 レクチャ
データ利活用のパターンとビジネス着想
0.5日間

IOJ011 レクチャ
スマートスピーカの最新動向と社会インフラ適用の可能性
0.5日間

音声なし+説明文有
UXE004 eラーニング
オープンソースソフトウェア（OSS）概説
3時間

RPJ004 マシン実習
RPA入門−概説と操作演習（BizRobo！）
1日間

Renewal
RPJ007 マシン実習
RPA入門
−概説と操作体験（Automation Anywhere）−
1日間

Renewal
RPD002 マシン実習
Automation Anywhere認定RPAトレーニング（Mastering Bots：V11）
3日間

New
RPD003 マシン実習
Automation Anywhere認定RPAトレーニング（Mastering Bots：A2019）
3日間

RPJ006 マシン実習
IQ Botトレーニング
−Automation Anywhere−
1日間

RPJ005 レクチャ
Automation Anywhereにおける
ロボット開発の勘所
0.5日間

RPJ002 マシン実習
UiPath公式
速習プログラム入門
−基本操作ハンズオン−
1日間

RPJ003 マシン実習
UiPath公式
速習プログラム実践
−業務プロセス定義書・ワークフロー開発−
2日間

New
RPJ008 マシン実習
RPA入門
−概説と基本操作（Blue Prism）−
2日間

音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

HSJ207 社会変化からの着想

グループ演習 2日間

協創型イノベーション開発手法（モノとコトを結び 新たな顧客価値を創出する）

イノベーション型の商品やサービスの開発は、従来の技術革新型開発やVOC型開発とは全く異なる開発スタイルです。このコースでは、日本企業の強みや良さを活かした協創型イノベーション開発手法を、日立製品を題材にした一連の流れ（着眼/観察/アイデア検討/効果評価/仮説立案）を講義とワークショップを通して学びます。

到達目標 新しい価値を創造して顧客や社会に大きな変化を生み出す協創型のイノベーションデザイン手法を身につけます。

対象者 社会イノベーション事業の核となるイノベーティブな製品やサービスを創生しようとしている事業企画、設計開発、品質保証、生産管理、営業、保守部門の方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 協創型イノベーションの概要
2. 狙うべき顧客と、顧客がやりたいコトを特定する
3. 顧客の行動分析から潜在課題を可視化する
4. 顧客の潜在課題を解決するアイデア
5. アイデアを評価しベネフィットを定義する
6. 概念モデル（仮説）を作る
7. 検証項目と方法を洗い出す

備 考 ※別途ご案内いたします。

HSJ208 社会変化からの着想

グループ演習 3日間

モノづくり事業をベースとした高収益サービスの創生法 −Product-Service Systems（PSS）−

対象とするサービスを第3次産業によるものに限定せず、製品の製造、販売、保守、終末処理なども含め、サービスを提供者が顧客から対価を得て価値提供する行為ると定義し、サービスを工業製品と同様に工学的に設計する対象として、そのイノベーションデザインを実現するための考え方と手法を学びます。

到達目標 高い競争力を有する創造性豊かな製品とサービスの統合を実現し、市場に対してイノベーションをもたらすProduct-Service Systems（PSS）のスキルを身につけます。

対象者 製品およびサービス事業に関して、イノベーションの実現手法を求めている事業企画、設計開発、品質保証、生産管理、営業、保守部門の方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. PSSとデザイン思考の概論
2. PSSビジネスゲームEDIPSの体験
3. ペルソナモデルによる顧客像の明確化
4. 顧客シナリオの構成
5. バックキャスティング
6. 顧客シナリオからの要求価値抽出
7. PSS設計解の実現に向けた移行プランの検討

備 考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
【持参品】
BまたはHBのシャープペンシル、消しゴム、多色ボールペン（赤・青・緑）、直定規（短いものでも可）

※別途ご案内いたします。

HSJ158 社会変化からの着想

グループ演習 1日間

イノベーションプロセスを強化するシナリオプランニング

シナリオプランニングの具体的な考え方・手法について学習します。

到達目標
- 企業などの組織が長期的な戦略策定をする際の方法論としてのシナリオプランニングを理解できる。
- 複数の未来を前提にし、長期的な視点で、広く世の中を見渡し、一度客観的に考えることができる。

対象者 新しい製品・サービスを生みだす部署の担当の方、顧客に対して新しい価値を提供する営業・フロントSEの方、将来、顧客のビジネス創出につながる提案をしていく方。

前提知識 7年以上の実務経験がある主任・係長以上であること。

内 容
1. シナリオプランニング概要
   （1）シナリオプランニングとは
   （2）ケーススタディ
2. シナリオ作成
   （1）シナリオテーマ作成
   （2）外部要因分析
   （3）ドライビング・フォース見極め
   （4）シナリオマトリクス作成
3. アクションプラン作成
   （1）戦略オプション検討
   （2）アクションプラン検討
4. 振り返り

備 考
- このコースでは、事前課題にお取り組みいただきます。当社サイトよりファイルをダウンロードいただき、課題にお取り組みください。
  https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/pre-problem.html
- 学習開始日15営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

IOJ001 技術からの着想

レクチャ 0.5日間

IoT概説

IoTの全体像を理解します。

到達目標
- IoTとは何かを理解できる。
- IoTのシステム構成を理解できる。
- 各社のIoTの動向を理解できる。
- IoTの技術的なポイントを理解できる。

対象者 IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者の方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. IoTとは
2. IoTシステムと関連技術
3. IoT技術動向
4. 各社の動向

HSJ175 技術からの着想

レクチャ 0.5日間

データ利活用のパターンとビジネス着想

IoTの事例は昨今たくさんあります。ただ、いくら事例を見ても、それだけでは自分のビジネスにおける活用は思いつきません。事例で示されるのはそのビジネス、その状況での非常に具体的な話であって、自分のビジネスとは何から何まで条件が違うのですから、どの箇所を参考にすればいいのか分かりません。適度に同じところと違うところが混在する抽象化が着想には必要となります。本コースでは、データ利活用を9パターンに抽象化し、具体的な利活用例とそれらを抽象化・整理したパターンを交互に見ることで、自らのビジネスに置き換えたデータ利活用のアイデア着想ができます。

到達目標
- データ利活用の事例をパターン化して理解できる。
- 自分のドメインや担当顧客でのデータ利活用を発想できる。
- 顧客と一緒に発想するワークショップのファシリテーションを自分がやってみようと思える。

対象者 フロント業務を行っており、事業案やサービス案を顧客と一緒に考える必要のある方、データを利活用したサービス提案をしなくてはいけないが顧客側でもものやもやしており、着想のきっかけをつかみたい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. はじめに
2. パターン（1）入力の手間を無くせる
3. パターン（2）行かなくても確認できる
4. パターン（3）判断を肩代わりする
5. パターン（4）未然に防げる
6. パターン（5）改善のサイクルが素早く回る
7. パターン（6）最適配分してくれる
8. パターン（7）問題と解決策を引き合わせる
9. パターン（8）利害が一致する
10. パターン（9）タイムリーにコンタクトできる
11. そして実務へ

IOJ011 技術からの着想

レクチャ 0.5日間

スマートスピーカの最新動向と社会インフラ適用の可能性

スマートスピーカを用いたビジネスのモデルからその実装までを概観するコースです。技術革新の激しい分野のため、業界に精通する外部講師に登壇いただき最新動向を解説します。

到達目標
- スマートスピーカの機能が理解できる。
- スマートスピーカの業界動向や個人や社会に与える影響が理解できる。
- スマートスピーカ関連のビジネスモデルや商機が理解できる。
- スマートスピーカ関連サービス/アプリ開発の雰囲気が理解できる（実機体験）。

対象者 スマートスピーカに関する最新動向を把握したいSE、営業職の方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. スマートスピーカの最新動向
   （1）市場動向　（2）基本機能と主な利用シーン
   （3）基本構造と低価格実現の背景
2. プラットフォーマー各社の動向とねらい
   （1）Amazon Alexa：EC注文増
   （2）Google Assistant：新しい検索手段
   （3）LINE Clova：新しいコミュニケーションスタイルの提案
3. スマートスピーカ周辺ビジネス
   （1）SKILL開発、SKILLストア
   （2）プラットフォームを利用したハードウェア開発
4. SKILL開発の全体像
   （1）チャットボットからの発展
   （2）従来アプリとの違い、SKILLに向いている機能
   （3）対話AIをはじめとする関連要素技術
   （4）Dialog flowでのSKILL開発
   （5）起動、終了コマンドの重要性
5. ボイスコンピューティングにおけるマネタイズの可能性
   （1）SKILLストア　（2）広告
   （3）家庭以外での活用
   （4）スマホユーザー以外へのリーチ

備 考 <持参品>
- 演習でLINEアカウントを使用します。お持ちの個人IDで問題ございません。IDをお持ちでない方は作成して研修当日にログイン情報をご持参ください。
- PCでログインできるようにするため、LINEアカウントにメールアドレス登録をお願いします。
  https://help.line.me/line/?contentId=20000059
- Clova Developer Centerへログインできることをご確認ください。
  https://clova-developers.line.me/#/

HSJ170 顧客課題からの着想

グループ演習 2日間

イノベーティブ思考 −単なるアイデアで終わらせないための ロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせかた−

このコースではイノベーティブな問題解決を進めるためのシステム思考×デザイン思考の考え、進め方、思考法を学習します。ここでいうシステムとは、ITシステムではなく、より広い「系」を指します。システム思考とは、社会・企業・人間集団を構成する要素の相互作用を捉え、問題の根源を見つけるミクロな視点と、その問題の根源に手を加えることによる「系」全体の変化のマクロな視点の両方を持ちながら問題解決にあたる考え方です。また、ここでいうデザインとは、モノの形状や色彩といった見た目のデザインのみならず、システムそのもののような無形のデザインも含めて指します。このコースで扱うデザイン思考は一般的なデザイン思考と異なり、システム思考による問題解決を有効にするためのアプローチ方法としてデザイン思考を利用します。たとえば、社会イノベーションを考えるには、問題を定義するにあたり、社会・企業・人間集団といった複雑系の全容を捉える必要があります。そしてその全容を捉えるには、観察と対話といったアプローチが重要な役割を果たします。さらに解決にあたっては、斬新な発想でありながら確実な効果が求められます。そのためには、既存の枠を超える発想法と試行錯誤を前提とした問題解決の進め方が有効です。

到達目標
- 自分自身が今のままでも十分イノベーティブである、自チームはいまからでもイノベーティブになれる、という気持ちになれる。
- 単なるアイディアだけで終わらないための、アイディア創出後の思考を理解できる。

対象者 職種・年齢層を問わず、自組織や自分自身がイノベーティブでないと思い込んでいる方、自社や自チームをイノベーティブな風土にしていく最初の一歩のきっかけをつかみたい方。

前提知識 論理的思考の基礎知識があること。

内 容
1. はじめに
2. 価値とは何かを考える
   （1）バリュープロポジションキャンバス
   （2）顧客価値連鎖分析（CVCA）
3. 問題を再定義する
   （1）2X2マトリクス　（2）バリューグラフ
4. アイディアを創出する
   （1）ブレインストーミング
   （2）親和図法　（3）マトリクス法
   （4）ピュー・コンセプト・エバリュエーション
5. 素早く試す
   （1）プロトタイピング
6. そして実務へ

備 考
- このコースは16年度上期開催「デザイン・シンキング基礎」17年度下期開催「デザインシンキング実践ワークショップ」コースと同一内容のコースです。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

IOE004 技術からの着想

eラーニング 6時間

<eラーニング> デジタル時代に必要なIT技術概説

社会イノベーション事業などITを活用したビジネスを企画・提案される方に必要となるIT技術の概要を学習します。

到達目標
- ビジネスにおいて活用されているITを説明できる。
- デジタルビジネスで活用されているIT技術を説明できる。
- デジタル化を実現するためのプロセス、提供モデルが説明できる。

対象者 デジタルビジネスやデジタルソリューションに関わる方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
0. 最新ITトレンド
1. デジタルトランスフォーメーション
   （1）DX
   （2）デザイン思考
   （3）リーン・スタートアップ
2. IoT/モノのインターネット
   （1）IoT
   （2）サイバーフィジカルシステム（CPS）
   （3）5G
   （4）MaaS
3. AI/人工知能
   （1）AI　（2）BI
   （3）機械学習
   （4）ディープラーニング　（5）ビッグデータ
4. ITインフラストラクチャ
   （1）仮想化　（2）コンテナ
5. クラウドコンピューティング
   （1）クラウドコンピューティング
   （2）クラウドのサービスモデル
6. 開発と運用
   （1）アジャイル開発　（2）RPA
   （3）DevOps　（4）マイクロサービス
7. 注目すべきテクノロジー
   （1）VR・AR・MR　（2）3Dプリンタ
   （3）ブロックチェーン　（4）量子コンピュータ

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

IOE005 技術からの着想

eラーニング 8時間 New

<eラーニング> マイクロラーニングで学ぶ! はじめてのIoT

IoTについての幅広い知識に加え、関連するOT、ITの知識を学習いただけます。
【マイクロラーニングの特長】
- ご自身の知識・技術レベルにあわせ、学習したい項目を選んで学習いただけます。
- ひとつの学習項目が数分で完了する作りになっていますので、すき間時間に学習できます。

到達目標 IoTのシステム構成、OTの目的および基本構成を理解し、IoT適用業務にスムーズに参加できるようになる。

対象者
- これからIoTを業務に適用する予定があり、IoT、IT、OTの技術や知識が不足していると感じている方。
- IoTを適用するIT技術者、SEの方。
- IoTについて学びたい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. IoTと関連技術を理解する
2. IoTデバイスを理解する
3. IoTにおける通信方法を理解する
4. IoTでデータを活用する
5. IoTシステムのセキュリティ
6. OTを知る

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 講義画面とアバター講師の解説（合成音声）により学習をすすめるタイプのeラーニングです。（字幕を表示するので音声再生環境がなくても学習いただけます。）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

仮説構築（ビジネスモデルをデザインする）

あらゆるモノをサービスとして提供する『XaaS』を実現するためにビジネスモデルを構想する思考法、フレームワークなどを修得できます。

● ビジネスモデルを構想する際に活用できる、思考法、可視化のフレームワークを活用したい方

- HSJ159 グループ演習 — 顧客価値発見とビジネスモデルのデザイン — 2日間
- Renewal HSJ213 グループ演習 — デジタル時代における成果型サービスのデザインージョブ理論とダブルダイヤモンドフレームワークの活用ー — 1日間
- Renewal HSJ210 グループ演習 — デジタル時代における顧客接点のデザインー顧客経験ジャーニーマップの活用ー — 1日間
- Renewal HSJ209 グループ演習 — デジタル時代における収益モデルのデザインーKPIツリーによる事業性の評価ー — 1日間
- HSJ157 グループ演習 — システムシンキング基礎ー問題を構成する互いに影響しあう要素の「つながり」を可視化するー — 2日間

● 事業戦略を立案するためのビジネスフレームワークの活用や、サービスデザイン、リスクマネジメントを実践したい方

- PDU HSJ182 グループ演習 — (PDU) ITビジネスにおける戦略の基本と最新動向ーイノベーション実現のためにー — 1日間
- 音声なし+説明文有 ITE006 eラーニング — SLAにおけるサービスレベル設計の基礎 — 4時間
- 音声なし+説明文有 SCE011 eラーニング — サイバー攻撃対応基礎（知識修得編） — 3時間
- SCJ053 グループ演習 — サイバー攻撃対応コミュニケーション訓練（ITシステム編） — 0.5日間

音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

HSJ159 ビジネスモデルの構想
グループ演習 2日間
顧客価値発見とビジネスモデルのデザイン

ビジネスモデルキャンバスを活用し、ビジネスモデルを可視化することで新たな価値の発見につなげます。顧客の潜在的価値発見の部分に重点を置き、ビジネスモデルを検討します。

到達目標
・ビジネスモデルキャンバスの活用方法を説明できる。
・ビジネスモデルを俯瞰し、検証する方法を説明できる。
・顧客の潜在的な価値を発見し、ビジネスモデルに反映することができる。

対象者 既存事業やサービスのビジネスモデルを検証し新たな価値を発見したい方、新規事業やサービスでイノベーションを起こしたい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. ビジネスモデルキャンバス
 (1)ビジネスモデルキャンバスの理解
 (2)事例をもとにしたビジネスモデルの可視化
2. 顧客の潜在価値発見
 (1)VP（バリュープロポジション）キャンバスによる検証
 (2)共感マップの理解・作成
 (3)「顧客理解」と「提供できる価値提案」を検証
3. 事例で学ぶビジネスモデルの作り方
 (1)ケーススタディ

備　考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

HSJ213 ビジネスモデルの構想
グループ演習 1日間
デジタル時代における成果型サービスのデザイン ーJobs理論とダブルダイヤモンドフレームワークの活用ー

ビジネスモデルが失敗する4つの主要な原因をご存知ですか？それは
(1)価値提案とターゲット顧客のミスマッチ
(2)収益とコストのミスマッチ
(3)外部事業環境の考慮不足
(4)ビジネスモデルの実行力不足 です。
このコースでは、このなかでも(3)(4)の2点に焦点を当て、サービスを実現するための内部プロセスを、ダブルダイヤモンド（正しい課題を発見する／正しい課題解決を発見する）、ジョブ理論（人々は何かを成し遂げるためにプロダクトやサービスを雇う）の考え方をベースに、サービス実現上の課題解決をデザインします。

到達目標
・ターゲットとする業界における主要活動のゴールを達成するための重要な成果（ニーズ）を収集し、その成果の実現を阻む課題（障壁／制約）を特定できる。
・特定された課題を解決し、成果を実現するために、IoTテクノロジーを活用してヒト、モノ、データ（リソース）を結び付けるためのソリューションを、顧客（ビジネスユーザー）が理解可能な言葉で説明できる。
・顧客の成果（ROI含む）に連動した収益モデルを含む自社のビジネスモデルの全体像を描ける。

対象者
・新規事業、新サービスを作ることを求められているが、どう検討すればいいか分からず検討の枠組みがまず欲しいと感じている方。
・ビジネスモデルキャンバスにおける顧客価値の検討を終え、実現可能性を検討することでビジネスモデルをブラッシュアップしたい方。

前提知識 「顧客価値発見とビジネスモデルのデザイン」コースを修了しているか、同等の知識があること。または、ビジネスモデルキャンバスに関する基本的な知識があること。

内　容
1. はじめに
 (1)成果経済の到来
 (2)成果指向型サービスデザインの基本的なアプローチ
2. サービス実現上の正しい課題を発見する
 (1)サービスを実現するための内部プロセスを明らかにする
 (2)望ましい成果に対する仮説を立てる
 (3)成果の実現を阻む課題の仮説を立てる
3. 解決方法をデザインする
 (1)ヒト、モノ、データを明らかにする
 (2)データをビジネス上の意思決定と結びつける
4. おわりに
 (1)実務活用に向けて
 (2)サービスデザインツールのご紹介

備　考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

HSJ210 ビジネスモデルの構想
グループ演習 1日間
デジタル時代における顧客接点のデザイン ー顧客経験ジャーニーマップの活用ー

このコースでは、まずオンラインとオフラインの間を気まぐれに行き来する新しい消費者行動（カスタマージャーニー）を描きながら、消費者のニーズに対する仮説を立てます。そして、このニーズを逃がさず新たなビジネス機会を獲得するために必要なチャネルやタッチポイント、それらの上で確立すべき顧客との関係や獲得すべきエンゲージメントについて考えます。

到達目標
・モバイル時代における顧客行動の変化（マイクロモーメント）を知る。
・購買に関する一連の顧客行動（カスタマージャーニー）とその理由の探り方が分かる。
・デジタル化経済に必要となるチャネル（タッチポイント）、顧客との関係（エンゲージメント）の組み合わせ方が分かる。

対象者
・新規事業、新サービスを作ることを求められているが、どう検討すればいいか分からず検討の枠組みがまず欲しいと感じている方。
・ビジネスモデルキャンバスにおける顧客価値の検討を終え、チャネルデザインを検討することでビジネスモデルをブラッシュアップしたい方。

前提知識 「顧客価値発見とビジネスモデルのデザイン」コースを修了しているか、同等の知識があること。または、ビジネスモデルキャンバスに関する基本的な知識があること。

内　容
1. はじめに
 (1)本講座の焦点（ビジネスモデルにおけるチャネル／顧客との関係）
 (2)どのように価値を提供するのかに焦点を当てる
2. モバイル時代における消費者行動の変化
 (1)4つのマイクロモーメント
 (2)マイクロモーメントに対する4つの戦術
3. 消費者の行動の流れと背後にある思いの物語（カスタマージャーニーマップ）
 (1)6つの購買／利用経験のステージ
 (2)カスタマージャーニーの描写
 (3)顧客との交流を支えるチャネルと顧客との関係
4. おわりに
 (1)実務活用に向けて

備　考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

HSJ209 ビジネスモデルの構想
グループ演習 1日間
デジタル時代における収益モデルのデザイン ーKPIツリーによる事業性の評価ー

Renewal

このコースでは、ビジネスモデルが失敗する大きな原因の1つである「財務上の収支が合わない（利益を生む構造になっていない）」点に焦点を当てます。具体的には、シンプルなケースを題材にし、「仮説指向型計画法」というアプローチを活用しながら、新規事業における目標利益に大きな影響を与える不確実性要素を見つけていきます。次に、最終利益に最も大きな影響を与えるプライシング戦略、価値ベースのプライシング、差別価格や市場価格といった多様なプライシングメカニズムについて、ケーススタディを含めて学習します。

到達目標
・主要なプライシング戦略、プライシングメカニズム、顧客価値と支払意思を知ることで、利益を最大化する方法を考えることができる。
・あらゆる業種で汎用的に活用される収益モデルを知り、それらを組み合わせることで、利害関係者の多い複合的なビジネスモデルにおけるマネタイズ方法を考えることができる。

対象者
・新規事業、新サービスを作ることを求められているが、どう検討すればいいか分からず検討の枠組みがまず欲しいと感じている方。
・ビジネスモデルキャンバスにおける顧客価値の検討を終え、収益性を検討することでビジネスモデルをブラッシュアップしたい方。

前提知識 「顧客価値発見とビジネスモデルのデザイン」コースを修了しているか、同等の知識があること。または、ビジネスモデルキャンバスに関する基本的な知識があること。

内　容
1. はじめに
 (1)本講座の焦点（ビジネスモデルにおける収益の流れ/コスト構造）
2. 最終利益の実現に影響を与える要素の可視化（リバース財務ツリー）
 (1)仮説指向型計画法とは
 (2)逆損益計算書、課題明細、リバース財務ツリーの作成
3. 収益モデルとプライシング
 (1)収益モデルの5W1H
 (2)3つのプライシングメカニズムとその戦略
 (3)コストを減らし価値を増やせる要因の可視化（戦略キャンバス）
4. 多くの利害関係者との間で交換される価値の可視化（価値交換マップ）
 (1)フロント/バックエンドのステークホルダー
 (2)ステークホルダー間で交換、共有、伝達される8つの価値
5.おわりに
 (1)サービスデザインツールのご紹介

備　考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

HSJ157 ビジネスモデルの構想
グループ演習 2日間
システムシンキング基礎 ー問題を構成する互いに影響しあう要素の「つながり」を可視化するー

ここでいうシステムとは、ITシステムではなく、より広い「系」を指します。システム思考とは、社会・企業・人間集団を構成する要素の相互作用を捉え、問題の根源を見つけるミクロな視点と、その問題の根源に手を加えることによる「系」全体の変化のマクロな視点の両方を持ちながら問題解決にあたる考え方です。このコースでは、システムを可視化する方法として因果ループ図・欲求連鎖分析を学習します。さらに、可視化した結果を有効に議論に活用するためのダイアローグを紹介します。これらの方法を使って以下のさまざまなサイズのシステムの問題解決を学習します。
・繰り返してしまう望ましくない行動とその背後にある動機の個人レベルのシステム
・「ありたい姿」ではないと分かっていながらも、全員が本心を隠しながら働いているチームレベルのシステム
・会社としての共通目標があるにもかかわらず、部門の目標に分解されたとたんに起こるセクショナリズムの組織レベルのシステム
・BtoC、かつBが主導権を持っている単純な形から、BtoBtoCやBtoCtoCなどへの変化するエコシステムレベルのシステム
・社会として持つ問題をビジネスとして解決する、B・C・社会資源が持続可能な関係になっていない不完全なビジネスモデルを作り変える社会レベルでのシステム

到達目標
・他者の動機/行動について因果ループ図（強化ループ）が描け、行動変容方針に活かせる。
・自社の部門をまたぐ課題を因果ループ図で描け、全体最適方針に活かせる。
・ビジネスのエコシステムを欲求連鎖分析図で描け、業界の協創を思い描ける。
・社会問題を欲求連鎖分析図で描ける。

対象者 相互の関連する要因から成る問題において、まずは現状把握をする必要のある方。例えば、部下・後輩の行動をどのように強化ループに巻き込むか考える必要がある、生産性の問題を部門横断的に明らかにし全体最適を考える必要がある、顧客・競合と共に協創するエコシステムを考える必要がある方。

前提知識 「ロジカルシンキング基礎ー論理の可視化と論理チェックのポイントー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。行動科学、TOCの基礎知識があるとより理解が深まります。

内　容
1. システムシンキングの基礎知識
 (1)システムシンキングとは？
 (2)なぜシステムシンキングが必要なのか？
 (3)どのようにシステムを捉えるのか？
2. 因果ループ図・欲求連鎖分析図
 (1)因果ループ図・欲求連鎖分析図とは
 (2)因果ループ図・欲求連鎖分析図の記載ルール
 (3)因果ループ図・欲求連鎖分析図の例
3. 因果ループ図での問題把握
 (1)後輩・部下はなぜ思ったとおりに行動してくれないのか？
 (2)業務の各プロセスでそれぞれ頑張っているのになぜ全体が良くならないのか？
 (3)競合となぜ消耗戦になるのか、協創できないものか？
 (4)儲かる仕組みって何だ？
 (5)社会問題はそもそもどんな構造なのか？
4. まとめ

備　考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

プロトタイピングと価値検証（共通）

IoT/AI/ビッグデータなどの技術を理解し、ビジネス価値検証も含めたアーキテクチャ設計や、システム開発手順・実装技術、データサイエンス活用計画を修得できます。

● SoEを実現するためのビジネス/OT/ITアーキテクチャ設計を行う方

DBJ106 グループ演習 ビッグデータにおけるシステム設計実践−多様なデータを統合しビッグデータとして活用する− 1日間	IOJ020 レクチャ 「IoTシステム技術検定（基礎検定）」対策講座 1日間	IOJ021 レクチャ 「IoTシステム技術検定（中級）」対策講座 2日間	CTJ065 グループ演習 エンタープライズITアーキテクチャのセオリー 2日間

● SoEを実現するためのビジネス/OT/ITアーキテクチャに基づき、システム開発・実装をされる方

SPJ064 グループ演習 スクラムの基礎と実践 1日間	SPJ060 マシン実習 体験! 最新OSSを活用したDevOps入門−Lumadaにおけるアプリケーション開発の流れ− 1日間	SPD002 グループ演習 DevOpsテスト入門 〜継続的デリバリーを実現するテスト自動化の基礎〜 1日間	PDU SPJ059 マシン実習 (PDU)実践! DevOpsによるアジャイル開発−お客様に素早く価値を届けるために− 1日間
SPD003 グループ演習 テストプロセス改善 〜評価・改善案策定を一日で習得！〜 1日間	IOJ016 マシン実習 体験! Node-REDによるIoTシステム入門−Raspberry Piを使用した風車のリアルタイム監視から予兆診断まで− 1日間	IOJ018 レクチャ IoTにおけるイベント駆動型システム開発入門−Hitachi Application Framework/Event Driven Computing（HAF/EDC）による故障予知診断を例にして− 0.5日間	IOJ017 マシン実習 IoTにおけるイベント駆動型システム開発実践−Hitachi Application Framework/Event Driven Computing（HAF/EDC）によるアプリケーション、システム開発演習を通して− 2日間
New DBJ121 マシン実習 NVIDIA JetsonNanoを用いたAIエッジコンピューティングハンズオンーディープラーニングx Jetbotによる自動走行体験− 2日間	New IOJ022 マシン実習 デジタルビジネスを支えるIoTの理解 3日間		

● データサイエンティストのためのビジネス力、サイエンス力、エンジニアリング力を高めたい方

HSJ198 グループ演習 定量分析のスキル 2日間	音声有+説明文なし HSE116 eラーニング データ分析手法の理論と適用 14時間	HSJ109 マシン実習 データ分析手法の理論と適用−ビジネスにおける統計的手法活用の広がり− 2日間	音声有+説明文なし AIE004 eラーニング AIリテラシー−AI技術の概要と活用事例− 20時間

音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

DBJ106 システムアーキテクチャ
グループ演習 1日間
ビッグデータにおけるシステム設計実践−多様なデータを統合しビッグデータとして活用する−

設備保守支援システム、業務最適化支援システムからテーマを選択し、それを実現するためのシステムの初期設計を行います。どこにどのような装置やソフトウェアを配置し、それらをどのようにつなげるか検討し、議論することでデータ活用システムの設計力を身につけます。

到達目標
・システムを構成するうえで必要となる要素技術の全体像を説明できる。
・ビッグデータシステムにおいて顧客要件から必要な技術を選択しシステムを設計できる。
・設計したシステムの意図を他者に説明できる。

対象者
・ITエンジニア職、若手・中堅の方。
・基幹DBや他のデータを、分析用に加工および統合するシステムを設計する方。
・分析に適したデータ設計をする方。

前提知識
・データベース、仮想環境、ビッグデータに関する基礎知識があること。
・基幹業務システムを構成する技術要素の基礎知識があること。

内容
1. オリエンテーション
2. 利用する技術要素の概要
3. グループワーク
4. 発表

備考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

IOJ020 システムアーキテクチャ
レクチャ 1日間
「IoTシステム技術検定（基礎検定）」対策講座

IoTの提案・企画を今後行う営業・SEに対して、「IoTシステムのデモンストレーション」、「座学」、「模擬試験」を使用し、IoTに関する基礎知識（考え方・用語）を紹介します。なお、このコースはMCPC主催「IoTシステム技術検定 基礎検定」についての対策講座です。

到達目標
・MCPC主催「IoTシステム技術検定（基礎検定）」に合格できる技術力を修得する。
・IoTシステムの概要、技術的なキーワードが理解できる。

対象者 SE・営業の若年層。これからIoTに携わる業務を行う営業・SEの方。

前提知識 特に必要としません。

内容
1. デモンストレーション（IoTデバイス・IoTサーバなど）
2. 技術ポイント解説
   (1) IoTシステム構築
   (2) センサ・アクチュエータ
   (3) IoTデータ活用（ビッグデータ・AI）
   (4) IoTセキュリティ
   (5) IoTシステムプロトタイピング
3. 模擬試験

備考 テキストとして「IoT技術テキスト 基礎編 [MCPC IoTシステム技術検定基礎対応]公式ガイド」を配布します（受講料に含まれます）。

IOJ021 システムアーキテクチャ
レクチャ 2日間
「IoTシステム技術検定（中級）」対策講座

IoT関連業務に携わっている方を対象に、模擬試験などを活用して、検定合格に必要な技術を効率的に修得していただきます。なお、このコースはMCPC主催「IoTシステム技術検定 中級検定」についての対策講座です。

到達目標 MCPC主催「IoTシステム技術検定（中級）」に合格できる技術力を修得できる。

対象者 IoTシステム構築に関連するSE/技術者の方。

前提知識 IoT関連業務（システム構築、製品開発など）に携わっている方。

内容
1. 試験の概要
2. IoTシステム構築と構築技術
   (1) IoTシステムアーキテクチャ
   (2) IoTサービスプラットフォーム
3. センサ/アクチュエータと通信方式
   (1) IoTデバイス
   (2) ネットワーク
   (3) プロトコル
4. AI分析とデータ活用
   (1) ビッグデータ分析技術
   (2) IoTデータ活用事例
5. セキュリティ対策とプライバシー保護
   (1) セキュリティ対策
   (2) 情報セキュリティと法制度
6. IoTのプロトタイピング
   (1) プロトタイピング

備考 テキストとして「IoT技術テキスト 第2版」を配布します（受講料に含まれます）。

SPJ060 ソフトウェアエンジニアリング
マシン実習 1日間
体験!最新OSSを活用したDevOps入門−Lumadaにおけるアプリケーション開発の流れ−

OSS（Redmine、Rocket.Chat、Git、Jenkins、Docker、Hubot）を活用したDevOps環境において、頻繁に設計、開発、テストを行うアプリケーション開発手法を体験しながら学習します。DevOps環境の体験は、Lumada Competency Centerを使います。

到達目標
・DevOpsの概要を説明できる。
・DevOps環境で基本的なアプリケーションの開発の流れを説明できる。

対象者 DevOpsによるアプリケーション開発を行う予定の方。

前提知識 システム開発に関する基礎知識があること。

内容
1. 概要
   (1) デジタルソリューションとシステム開発における課題
   (2) DevOpsとは
   (3) 最新OSSを活用したDevOps環境の概要
2. DevOps環境でのアプリケーション開発デモ
   (1) デモ環境（研修環境）の概要
   (2) アプリケーション開発の流れ
   (3) アプリケーション開発デモ
3. DevOps環境のツールの機能と操作
   (1) プロジェクト管理（Redmine）
   (2) コミュニケーション（Rocket.Chat）
   (3) ソースコード管理・ソースコードレビュー（Git/GitHub）
   (4) 継続的インテグレーション（Jenkins）
   (5) ChatOps（Hubot）
4. サンプルによるDevOps体験
   (1) DevOps環境での開発フロー
   (2) 演習（プロジェクト管理）
   (3) 演習（開発）
   (4) 演習（リリース）

SPJ059 ソフトウェアエンジニアリング
マシン実習 1日間
(PDU)実践! DevOpsによるアジャイル開発−お客様に素早く価値を届けるために− PDU

Redmineを用いてバックログを管理し、GitHubを使ってBDD（振る舞い駆動開発）などのアジャイル開発手法を実践的に学習します。実際の開発のシナリオに合わせて実習を行います。Lumada Competency Center上のPoC環境による開発を想定しています。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：6.5ポイント）の取得が可能です。

到達目標 DevOps環境を用いた開発の流れを実行できる。

対象者 DevOpsによるアプリケーション開発を行う予定の方。

前提知識 「体験！最新OSSを活用したDevOps入門−Lumadaにおけるアプリケーション開発の流れ−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容
1. 概要
   (1) はじめに
   (2) アジャイル開発における考え方
   (3) 開発プロセス全体像
   (4) 取り組み事例紹介
2. プロジェクト管理
   (1) プロジェクト方針
   (2) 要件管理（バックログ管理）
   (3) 開発計画立案（工数見積もり、スプリント定義、タスク分割）
   (4) 進捗管理（カンバンによる進捗管理）
   (5) 振り返り
3. 開発
   (1) プルリクエスト駆動開発
   (2) GitHubFlowとブランチ戦略
   (3) 振る舞い駆動開発（BDD）
   (4) 継続的インテグレーション（CI）
   (5) 各種自動化（ビルド・テスト・デプロイ）
   (6) ペアプログラミング
4. 改善
   (1) 開発作業の改善
   (2) 製品・サービスの改善
   (3) ログ分析
   (4) 事例紹介

備考 PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

IOJ016 ソフトウェアエンジニアリング
マシン実習 1日間
体験!Node-REDによるIoTシステム入門−Raspberry Piを使用した風車のリアルタイム監視から予兆診断まで−

ハードウェアデバイス/APIやオンラインサービスを接続するツールであるNode-REDを活用し、機器の監視から予兆診断、保守までを実行するIoTシステムの実装方法を学習します。IoTシステムのエッジとして使用されることが多いRaspberry Piを使用し、機器からセンサでデータ取集・処理を行います。風車のメンテナンスを事例に、顧客にとって有益なIoTシステムの設計、実装する演習を行い、実践力の強化を図ります。

到達目標
・IoTシステムにおけるデータ収集、加工、分析、可視化、予兆診断、保守などの処理の流れを説明できる。
・Node-RED上で簡単なフローを作成できる。
・Node-REDとRaspberry Piを連携させた、簡単なIoTシステムを設計、実装できる。

対象者 Node-REDを使用して、データ収集、加工、分析などの処理を行うIoTシステムを提案、設計、開発、実装する方。

前提知識
・Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。
・Linuxの基本的な操作（ls、cd、moreコマンド）ができること。

内容
1. LumadaとNode-RED
   (1) Lumadaの概要
   (2) LumadaにおけるNode-RED
2. 風車の予兆診断デモ
   (1) 風車保守最適化ソリューション
   (2) 風車の予兆診断デモ
3. Node-REDの処理フローとノード
   (1) Node-REDの概要
   (2) 処理フローの作成
   (3) ノードの紹介と主なフロー処理
4. RaspberryPiとNode-RED
   (1) RaspberryPi、SenseHATとNode-RED
   (2) MQTTによるセンサーデータ収集
   (3) データレイクとしてのElasticsearchの利用
5. 風車の予兆診断デモアプリケーション
   (1) 風車の予兆診断デモアプリケーションの概要
   (2) 風車の予兆診断デモアプリケーションの詳細

備考 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

IOJ018 ソフトウェアエンジニアリング

IoTにおけるイベント駆動型システム開発入門 −Hitachi Application Framework/Event Driven Computing（HAF/EDC）による故障予知診断を例にして−

レクチャ 0.5日間

分散処理に対応したイベント駆動型システムで何ができるのかを理解し、IoTの大量データを高速で柔軟に分析するための開発や運用の概要を学習します。Hitachi Application Framework/Event Driven Computing（HAF/EDC）の活用により、いかに効率よくイベント駆動型システムが開発できるかを学習します。※HAF/EDCは、Hitachi Application Framework/Event Driven Computingの略称です。

到達目標
・分散処理に対応したイベント駆動型システムの概要や効果を説明できる。
・HAF/EDCを用いたシステム開発の概要を説明できる。

対象者 イベント駆動型システムの開発に携わる方。

前提知識 システム開発に関する基礎知識があること。

内　容
1. イベント駆動型システムとは
　(1)イベント駆動型システムが求められる背景
　(2)イベント駆動型システムの特徴
2. HAF/EDCを用いたシステムの一例（産業機器の故障予知診断のデモ）
3. 核となるHAF/EDCエンジン
　(1)HAF/EDCの全体像
　(2)分散処理基盤の概要
　(3)イベント処理制御機能の概要
　(4)IoT共通フレームワーク基盤の概要
　(5)HAF/EDCのまとめ
4. HAF/EDCの開発・運用支援環境
　(1)高い生産性を実現する開発フレームワーク
　(2)設計・実装支援ツールの紹介とデモ
　(3)開発支援OSS群の活用

IOJ017 ソフトウェアエンジニアリング

IoTにおけるイベント駆動型システム開発実践 −Hitachi Application Framework/Event Driven Computing（HAF/EDC）によるアプリケーション、システム開発演習を通して−

マシン実習 2日間

Hitachi Application Framework/Event Driven Computing（HAF/EDC）は、イベント駆動型のシステム開発基盤・アプリケーションのデプロイから実際に動かすまでの一連の流れを学ぶことで、現場で動かすAIエッジ機器について学ぶことができます。自動運転デモでは、JetsonNanoを搭載したJetbotを用いて実際に車の模型で自動走行を体験します。使用したJetbotは研修終了後お持ち帰りいただき、研修後もご自身で試していただくことができます。

到達目標
・イベント駆動型のアプリケーションの設計や実装ができる。
・HAF/EDCを活用したIoTシステム開発の設計や実装ができる。

対象者
・HAF/EDCの利用を検討する方。
・HAF/EDCを用いたアプリケーションやIoTシステムを開発する方。

前提知識「IoTにおけるイベント駆動型システム開発入門−Hitachi Application Framework/Event Driven Computing（HAF/EDC）による故障予知診断を例にして−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. HAF/EDCの概要
　(1)背景
　(2)HAF/EDCとは
2. HAF/EDCの導入
　(1)動作環境の構築
　(2)HAF/EDCのインストール
　(3)HAF/EDCの環境設定
3. HAF/EDCを活用したIoTシステム設計・開発
　(1)IoT共通フレームワーク
　(2)演習題材の紹介
　(3)演習

DBJ121 ソフトウェアエンジニアリング

NVIDIA JetsonNanoを用いたAIエッジコンピューティングハンズオン −ディープラーニング×Jetbotによる自動走行体験−

New

マシン実習 2日間

NVIDIA JetsonNanoを用いてAIエッジコンピューティングのファーストステップを学びます。エッジ装置への学習済みモデルおよびアプリケーションのデプロイから実際にモデルをエッジ機器にデプロイするための基本的な流れがわかる・現場に設置するエッジコンピュータのイメージができる

到達目標
・AIエッジコンピューティングの概要を説明できる
・ディープラーニングで学習したモデルをエッジ機器にデプロイするための基本的な流れがわかる
・現場に設置するエッジコンピュータのイメージができる

対象者
・IoT事業に携わるSEおよび開発者の方。
・AIエッジ機器の開発に携わる方。
・ディープラーニングの推論処理の実装に携わるデータ分析部門の方。

前提知識
・ディープラーニングの基礎を理解している。
・Pythonの基本文法を理解しており、数十行レベルのコーディングができる。

内　容
1. ディープラーニング概要
2. GPU製品の使い分け
3. JetsonNanoハンズオン(1)ー簡易アプリの実装体験ー
4. JetsonNanoハンズオン(2)ーデータ収集とアノテーション体験ー
5. JetbotハンズオンーRoadFollowing：道路自動走行ー
6. 振り返り、質疑応答

備　考
・使用したJetbotは研修終了後お持ち帰りいただきます。
・NVIDIA JetsonNanoおよびJetbotの動作保証は研修内のみとさせていただきます。
・学習開始日14営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。

【事前準備のお願い】
研修開始までに、NVIDIAアカウントの作成が必要です。事前にアカウントを作成した上で、ご受講ください。
[1]http://courses.nvidia.com/joinへアクセス
[2][Create an account]をクリック
[3]右下、言語をEnglish[US]から日本語へ変更。
[4]「アカウントをお持ちでないですか？」の右、[アカウントを作成する]をクリック
[5]必要事項を入力し、[アカウントを作成する]をクリック
[6]プライバシー設定承認画面にて「許可する」をクリック
[7]確認用メールが届くので内容を確認
[8][電子メールアドレスの確認]をクリック
[9]姓名、組織名、場所、職種、興味分野を入力（英語）
[10][Submit]をクリック
[11][Public Username]を任意の名前で入力
[12][Create Account]をクリックで完了

※別途ご案内いたします。

HSJ109 データサイエンス活用計画

データ分析手法の理論と適用 −ビジネスにおける統計的手法活用の広がり−

マシン実習 2日間

このコースでは、ビッグデータの分析やデータマイニングの根底にある、データ分析の理論や作業スキルを学習します。また、理論や作業スキルにとどまらず、各分析手法をビジネスデータに適用する際の考え方もあわせて学習します。例えば、分析手法適用の際のインプットデータは、目的や仮説に基づいて抽出する必要があります。また、アウトプットの図表からは、「だから何が言えるのか」という、提言につながる考察を抽出する必要があります。このような、データを入手してからレポート作成するまでの一連の思考過程と作業を、Excelを利用した演習を通して学習します。

到達目標
・分析の目的と仮説を分析手法適用のインプットに反映できる。
・分析結果から意味を抽出し、提案や企画に活かすことができる。
・統計における各種数式の意味が理解できる。
・Excelを用いて効率よく分析ができる。

対象者 データ分析におけるExcel活用を学びたい方、Excel操作にとどまらずデータ分析における考え方のポイントを知りたい方。

前提知識「ロジカルシンキング基礎ー論理の可視化と論理チェックのポイントー」コースを修了しているか、または同等の知識があり、かつExcelの基本的な操作経験があること。

内　容
1. データ分析手法の分類
　(1)目的によるデータ分析手法の分類
　(2)データの種類によるデータ分析手法の分類
2. データ分析手法
　(1)分析のアウトプットの意味を考える
　(2)分析のインプットデータをどうすべきか考える（ヒストグラム/基本統計量/時系列分析/パレート分析/単回帰分析/散布図/重回帰分析/数量化Ⅰ類/主成分分析/判別分析/クラスター分析）
3. 確率と検定
　(1)区間推定
　(2)検定（t検定/独立性の検定/分散分析）
　(3)シミュレーションへの確率分布の適用
4. そして実務へ
　(1)分析計画の策定

備　考 このコースは、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

AIE004 データサイエンス活用計画

<eラーニング> AIリテラシー −AI技術の概要と活用事例−

eラーニング 20時間

AIの技術やAI活用に関するリテラシーについて、学習します。

到達目標
・データの活用方針を理解し説明できる。
・AIで解決すべき課題の提起ができる。
・顧客へ技術について説明できる。
・AIエンジニアと会話ができる。
・AI構築の委託先と連携できる。
・構築できたAIの継続的な運用ができる。

対象者 AIがどんなものなのか、何ができるのかを知りたい方。知ったうえで、活用提案をする方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. AIを利用する目的
2. AI技術の変遷
3. AIの定義
4. 応用分野と活用事例
5. 適切な組織設計
6. ビジネスサイドの要件
7. 契約と知的財産
8. 機械学習とは
9. 深層学習とは
10. データ関連技術
11. 人工知能をめぐる動向
12. 機械学習の手法
13. ディープラーニングの概要・手法
14. ディープラーニングの研究分野

備　考
・サービス有効期間は30日間です。
・音声での説明と画面で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境が必須です。）
・このコースは、STANDARD社より提供いたします。
・コース実施に必要となるご受講者の個人情報をSTANDARD社へ提供いたします。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・このコースでは、STANDARD社のAIエンジニアがメンターとして受講者に対応します。メンターは、チャットによる質問対応、演習課題へのフィードバック等を通して、受講者を強力にサポートします。なお、質問対応はSTANDARD社の営業日15:00−21:00となります。

IOJ022 ソフトウェアエンジニアリング

デジタルビジネスを支えるIoTの理解

New

マシン実習 3日間

MCPC主催「IoTシステム技術検定（基礎検定）」レベルの技術項目を学習します。また、IoTデバイス（Raspberry Pi）とIoTサーバを使用した実習によりIoTシステムの動作やできることを理解します。・テキストとして「IoT技術テキスト 基礎編［MCPC IoTシステム技術検定基礎対応］公式ガイド」を配布します（受講料に含まれます）。
※IoTの基礎知識をお持ちの方で、「IoTシステム技術検定（基礎検定）」の取得をめざされる方は、「IoTシステム技術検定（基礎検定）」対策講座」をご受講ください。

到達目標
・デジタルビジネスの動向が理解できる。
・IoTシステムの構成要素（デバイス、通信方式、データ分析など）を理解できる。
・IoTシステムでのデータ収集からデータ収集までの流れ、またIoTシステムでできることを実機実習を通して理解できる。

対象者 デジタルビジネスに今後携わる方。特に今まで関連業務を担当していない新入社員や初級SE・技術者を対象とします。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. デジタルビジネスとIoTの本質
　(1)IoTとは　(2)デジタルビジネス事例紹介
　(3)業界動向
2. IoTの概要を知る
　(1)IoTシステムの仕組み　(2)システム構成
　(3)第4次産業革命とは
　(4)IoT活用によるサービス展開
3. IoTデバイスを理解する
　(1)IoTデバイス概要　(2)センサ技術と種類
4. IoTにおける通信方式を知る
　(1)IoT通信方式の概要
　(2)IoTエリアネットワーク　(3)電波の特性
5. モバイル環境とその活用を知る
　(1)モバイル環境とは
　(2)ウェアラブルデバイスとは
　(3)位置情報の活用　(4)クラウドとの連携
6. IoTでデータを活用する
　(1)IoTでデータを活用
　(2)データ分析とアプローチ手法
　(3)機械学習、深層学習とは
　(4)深層学習の適用例
7. IoTのエコシステムを知る
　(1)IoTサービスの全体像　(2)IoTエコシステムとは
8. 演習
　センサ（IoTデバイス）からデータを収集し、IoTサーバでデータ処理

HSJ198 データサイエンス活用計画

定量分析のスキル

グループ演習 2日間

問題発見と解決の具体的な流れに従い、お客さまの課題を捉え、提案・解決する能力を学習します。演習での失敗、気付き、成功体験を通して、大量データに自身が感わされず何を読み取り、どう扱うか学習します。

到達目標
・問題発見・解決のプロセスを理解し、問題を定量的に捉えられる。
・お客さまのビジネス上の課題を構造的に捉え企画・提言ができる。

対象者
・論理的思考を活用しながらビジネスにおける課題を数値的に捉えたい方。
・大量のデータを読み解き、企画・提案につなげたい方。

前提知識「ロジカルシンキング基礎ー論理の可視化と論理チェックのポイントー」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. はじめに（ケース学習の概要と経験学習のご説明）
2. 目的の明確化と意味合いの抽出の重要性
3. 仮説立案の重要性と合理的決定の方法
4. 仮説立案、解析準備、解析・検証のサイクル
5. そして実務へー実務での適用に向けた分析計画ー
6. 2日間の振り返り

備　考
・このコースは定量分析の実事例をもとに開発したケースを使用しています。
・演習は全てグループ形式となっており、問題解決や定量分析の視点を拡げながら学習します。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

HSE116 データサイエンス活用計画

<eラーニング> データ分析手法の理論と適用

eラーニング 14時間

データ分析の理論や作業スキルに加え、各分析手法を適用する際の考え方も学習します。データを手に入れてからレポートとするまでの一連の頭と手の動かし方を学習します。

到達目標
・分析の目的と仮説を分析手法適用のインプットに反映できる。
・分析結果から意味を抽出し、提案や企画に活かすことができる。
・統計における各種数式の意味が理解できる。
・Excelを用いて効率よく分析ができる。

対象者
・データ分析におけるExcel活用を学びたい方。・Excel操作に留まらず、データ分析の考え方のポイントを知りたい方。
・「データ分析手法の理論と適用」コースをじっくり再学習したい、集合コースを受ける前に基礎知識を身につけておきたい方。
・じっくり自分のペースで学習したい方。

前提知識 Excelの基本的な操作経験をお持ちのこと。かつ、「ロジカルシンキング基礎ー論理の可視化と論理チェックのポイントー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. はじめに
　(1)データ分析力とは何か？
　(2)どのような手順で分析計画を考えるのか？
　(3)どのように掘り下げて分析するのか？
2. データ分析手法の分類
　(1)データを分類すると？
　(2)分析手法をデータの種類で分類すると？
　(3)分析手法を目的で分類すると？
　(4)問題解決のプロセスで分類すると？
3. QC手法の適用
　(1)ヒストグラムと基本統計量
　(2)管理図の活用（時系列図）　(3)パレート分析
　(4)散布図と単回帰分析
　(5)クロス集計とアソシエーション分析
4. 多変量解析の適用
　(1)重回帰分析　(2)数量化理論I類
　(3)判別分析　(4)ロジスティック回帰分析
　(5)決定木分析（分類木）
　(6)クラスター分析（k−means法）　(7)主成分分析
5. 確率と検定の適用
　(1)確率分布と検定手法の分類
　(2)区間推定　(3)t検定（平均値の差の検定）
　(4)χ2検定（独立性の検定）　(5)F検定（等分散の検定）
6. そして実務へ

備　考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、集合研修「データ分析手法の理論と適用−ビジネスにおける統計的手法活用の広がりー」コース（HSJ109）と同等の内容です。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

プロトタイピングと価値検証（データ環境構築）

データ収集・統合・加工技術、データ蓄積のためのデータレイクやデータウェアハウスの技術を修得できます。

● IoTなどからデータを収集し、クレンジング・統合・加工する技術を修得される方

音声なし+説明文有
IOE002 eラーニング
IoT技術解説 セキュリティ編
3時間

音声なし+説明文有
IOE003 eラーニング
IoT技術解説 IoTネットワーク編
3時間

IOJ019 レクチャ
IoT技術解説 5G編
0.5日間

PTJ002 マシン実習
データ加工・統合入門 −Pentahoを用いて−
1日間

PTD005 マシン実習
（Pentaho認定）データ統合の基本
3日間

PTD003 マシン実習
（Pentaho認定）ビジネスアナリティクス データモデリング
2日間

● 各種データを蓄積・活用する技術を取得される方

CLJ015 マシン実習
Hadoop入門 −HBaseとSparkハンズオン−
1.5日間

音声なし+説明文有
DBE706 eラーニング
【ナビ機能付き】データウェアハウス概説
6時間

音声なし+説明文有
DBE705 eラーニング
【ナビ機能付き】データウェアハウスにおけるデータモデリング解説
6時間

JPJ283 マシン実習
JP1プロフェッショナルジョブ管理 1 −ジョブ定義・監視−
2日間

JPJ284/JPJ284T マシン実習
JP1プロフェッショナルジョブ管理 2 −システム設定・運用管理−
2日間

JPJ285/JPJ285T マシン実習
JP1プロフェッショナルジョブ管理セットコース
4日間

音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

IOE002 データ収集・統合・加工
eラーニング 3時間
<eラーニング> IoT技術解説 セキュリティ編

IoTシステムでのセキュリティ適用に関するポイントを事例解説と通して学習します。

到達目標
・IoTでのセキュリティの重要性を説明できる。
・IoTでのセキュリティの考え方を説明できる。
・IoTシステムに即したセキュリティを提案できる。

対象者 IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者の方。

前提知識 「IoT概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. IoTセキュリティの重要性
2. ITセキュリティとの異なり
3. IoTシステムでのセキュリティ適用事例
4. 業界ごとのセキュリティ技術（自動車・製造関連・医療関連など）
5. セキュリティ技術：ホワイトリスト、SSL/TLSなど
6. その他
   (1)各種セキュリティガイドライン

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

IOE003 データ収集・統合・加工
eラーニング 3時間
<eラーニング> IoT技術解説 IoTネットワーク編

IoTネットワークの構築に必要な知識（電波特性・関連法令・ネットワークの種類）とともに、LPWAを使用したネットワークのシステム構成・セキュリティについて学習します。

到達目標
・IoT広域ネットワークで使用される技術について理解できる。
・IoTエリアネットワークで使用される技術について理解できる。
・IoTネットワークを構築するための関連知識について理解できる。

対象者 IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者の方。

前提知識 「IoT概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 無線関連の基礎知識
   (1)電波特性
   (2)関連法令
   (3)その他
2. 広域ネットワーク技術
   (1)LPWA
   LoRa、Sigfox、NB-IoT等
   (2)その他
3. エリアネットワーク技術
   (1)Wi-Fi
   (2)その他　ZigBeeなど
4. ネットワークセキュリティ技術概要

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

IOJ019 データ収集・統合・加工
レクチャ 0.5日間
IoT技術解説 5G編

IoTシステム構築・関連製品の企画・構築を行う方を対象に、高速・低遅延の無線ネットワークとして、各種IoTシステムやコネクテッドカーへの適用が進む5Gの構成と機能を学習します。

到達目標 5Gを使用したIoTシステムの構築について説明できる。

対象者 IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者の方。

前提知識 「IoT概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 5Gとは
   (1)5Gとは
   (2)4G（LTE）や既存LPWA（Sigfoxなど）との異なり
   (3)今後の適用
2. 5G詳細技術
   (1)フェーズ1関連技術
   (2)フェーズ2関連技術
3. IoTへの適用
   (1)自動車関連（コネクテッドカー・オートノマスカー）
   (2)医療関連
   (3)製造関連
4. 関連事項
   (1)3GPPや業界の動向
   (2)ローカル5G

CLJ015 データ蓄積
マシン実習 1.5日間
Hadoop入門 −HBaseとSparkハンズオン−

Hadoop/YARNの概要、HBaseの概要、Sparkの概要、それぞれ構築作業の実際についてハンズオンにて学習します。

到達目標
・Hadoop/MapReduceの概要と基本的な機能を理解できる。
・カラム指向DB（HBase）の基本と機能を理解できる。
・Sparkの基本と機能を理解できる。
・Linux上でHadoopとSparkを実装できる。

対象者 クラウドやビッグデータ技術に興味があるSE・運用管理者の方。

前提知識 「Linuxシステム管理前編」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. Hadoopの概要
2. ネットワーク構成（演習）
3. Hadoopの構成（演習）
4. HBaseの構成演習
5. Spark on YARN構成演習

DBE706 データ蓄積
eラーニング 6時間
<eラーニング>【ナビ機能付き】データウェアハウス概説

データウェアハウスの概念やデータウェアハウスの設計・構築方法および利用方法の基礎を学習します。

到達目標
・データウェアハウスの概念を理解し説明できる。
・データウェアハウスの利用方法について理解し説明できる。
・データウェアハウスに適する設計方法を理解し説明できる。

対象者 DSSシステムの管理者として、基本的な知識を必要とする方。

前提知識 「データベース入門ー解説と操作体験ー」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. データウェアハウス登場の背景
2. 意思決定支援システムにおけるデータウェアハウス
3. データウェアハウスとは
4. OLAPとデータマイニング
5. 修了試験

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE705 データ蓄積
eラーニング 6時間
<eラーニング>【ナビ機能付き】データウェアハウスにおけるデータモデリング解説

基幹系データベース設計との相違点をふまえながら、データウェアハウスの設計手順について学習します。

到達目標
・トランザクションのACID特性について理解し説明できる。
・さまざまなOLTPシステム構成について理解し説明できる。
・DTPモデルの各種ソフトウェアの役割とAPIについて理解し説明できる。

対象者 データウェアハウスの設計・構築を行うための知識を必要とする方。

前提知識 「【ナビ機能付き】データウェアハウス概説」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. データウェアハウス概要
2. 基幹系データベース設計との相違点
3. データウェアハウスの概念設計
4. 修了試験

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

プロトタイピングと価値検証（分析モデル構築）

各種アナリティクスツールを有効活用し、データ利活用・データ分析を効率的に進めるスキルや、プログラミングによる分析も修得できます。

● BIツールやアナリティクスツールを有効活用しデータ利活用を効率的に進めたい方

DBJ110 マシン実習
NVIDIA Deep Learning Institute (DLI)認定コース 1日でできるディープラーニング−画像認識入門−
1日間

音声有+説明文なし
DBE040 eラーニング
<eラーニング>機械学習 基礎知識編 −初めてでもOK！データ分析を身近に−
9時間

DBJ120 マシン実習
機械学習 ケーススタディで学ぶ実践編−製造物の種類判別と生産設備の故障予兆−
2日間

DBJ111 マシン実習
試行錯誤から学ぶ！Rによるデータ可視化のハンズオン
1日間

DBJ112 マシン実習
試行錯誤から学ぶ！統計理論抜きで学ぶRによる統計的手法のハンズオン
1日間

OAJ049 マシン実習
Excelによる問題解決のためのデータ分析
1日間

PTD001 マシン実習
(Pentaho認定)ビジネスアナリティクスユーザーコンソール
1日間

PTD002 マシン実習
(Pentaho認定)ビジネスアナリティクスレポートデザイナー
2日間

New
HSJ211 マシン実習
BI活用事例に学ぶ分析提案の進め方
1日間

PTD004 マシン実習
(Pentaho認定)CToolsの基本
2日間

PTJ001 マシン実習
Pentahoによるデータの可視化・分析
0.5日間

音声なし+説明文有
DBE039 eラーニング
【スキル定着】Rでのデータ可視化−オープン環境を活用した実装力の磨き方−
4時間

New
DBJ124 マシン実習
テキストマイニング入門 −プログラミングレスで学ぶテキストデータ分析の勘所−
1日間

● 分析モデル構築のためのプログラミング技術を修得したい方

DBJ090 マシン実習
データ分析に使えるSQL −SQLでビッグデータに立ち向かう−
1日間

DBD058 マシン実習
SQLによる集計・分析 −分析の基本的なプロセスを修得し、自社DBデータの活用へ−
1.5日間

DBD057 マシン実習
Rによる統計解析 −分析結果を統計的に正しく理解し、次の意思決定に向けた提案へ−
2.5日間

DBJ107 マシン実習
0から始めるPython入門 −データ分析での活用をテーマとして−
2日間

音声なし+説明文有
DBE038 eラーニング
【スキル定着】Pythonでのデータ可視化−オープン環境を活用した実装力の磨き方−
4時間

DBJ088 マシン実習
体感！機械学習 −ビッグデータ時代のシステムを支える技術−
1日間

Renewal
DBD064 グループ演習
機械学習による問題解決実践 −機械学習で大量データを分析し、データからビジネス価値を創出−
2日間

DBJ100 マシン実習
データビジュアライゼーション基礎
1日間

音声なし+説明文有
AIE001 eラーニング
AIエンジニアリング入門(1) −機械学習の理論と実践−
70時間

音声なし+説明文有
AIE002 eラーニング
AIエンジニアリング入門(2) −深層学習の理論と実践−
34時間

音声なし+説明文有
AIE003 eラーニング
日本ディープラーニング協会(JDLA) E資格取得対策講座
40時間

音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

DBJ110 ツールを活用した分析
マシン実習 1日間
NVIDIA Deep Learning Institute (DLI) 認定コース 1日でできるディープラーニング−画像認識入門−

ディープラーニングの概要、ニューラルネットワークの基礎、画像認識によく使われる畳み込みニューラルネットワークを学習します。さらに、ハンズオンでは、NVIDIA DLI のGPUディープラーニング学習システム「DIGITS」を使った実環境での画像認識を体験します。ディープラーニングの基礎から精度向上のテクニックまでを紹介します。

到達目標
・ディープラーニングによるモデル構築の一連の流れを具体的に説明できる。
・CaffeとNVIDIA DIGITSを利用した画像認識の学習プロセスの概略を説明できる。

対象者
・人工知能のブーム到来を受けて興味はあるが、ディープラーニングの適用イメージ、構築イメージが分からないITエンジニア（若手・中堅）の方。
・これからデータ活用案件において、ディープラーニング利用を要望されており、初歩・中級レベルで理解したい、使えるようにしたい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. ディープラーニング概論
　(1)ディープラーニングとは
　(2)ディープラーニングによる恩恵
　(3)ディープラーニングの適用領域
2. ニューラルネットワーク
　(1)ニューラルネットワークとは
　(2)ディープラーニングにおける学習プロセス
　(3)学習プロセスでのさまざまなテクニック
3. 畳み込みニューラルネットワーク
　(1)畳み込みニューラルネットワークとは
　(2)畳み込み層　(3)プーリング層
4. ディープラーニング学習システム
　(1)DIGITS　(2)Caffe
5. ハンズオン
　(1)DIGITSによる画像分類

備　考
【事前準備のお願い】
研修開始までに、NVIDAアカウントの作成が必要です。事前にアカウントを作成した上でご受講ください。
[1]http://courses.nvidia.com/joinへアクセス
[2][Create an account]をクリック
[3]右下、言語をEnglish[US]から日本語へ。「アカウントをお持ちでないですか？」の右、[アカウントを作成する]をクリック
[4]必要事項を入力し、[アカウントを作成する]をクリック
[5]プライバシー設定承認画面にて「許可する」をクリック
[6]確認用メールが届きます。メールを確認します。
[7][電子メールアドレスの確認]をクリック
[8]姓名、組織名、場所、職種、興味分野を入力（英語）
[9][Submit]をクリック
[10][Public Username]を任意の名前で入力
[11][Create Account]をクリックで完了
・株式会社日立アカデミーは、NVIDIA社のDeep Learning Institute (DLI)トレーニングパートナです。

DBE040 ツールを活用した分析
eラーニング 9時間
<eラーニング>機械学習 基礎知識編 −初めてでもOK！データ分析を身近に−

このコースは、データマイニングの代表的な方法論である「CRISP-DM」に沿って、予測モデルを構築する一連の流れおよびモデルを構築するために必要な各種分析手法を学習します。受講者はソフトウェアをインストール可能なPCを用意いただくことを推奨します。お手元にPCを用意いただくことで、画面の解説に従ってソフトウェアをインストールおよびハンズオンで確認しながら学習することができます。このコースを受講することで、今までよりもデータ分析を身近に感じていただくことができます。「機械学習 ケーススタディで学ぶ実践編−製造物の種類判別と生産設備の故障予兆−」コースを受講するにはこのコースを修了する必要があります。

到達目標
・データマイニングの基本プロセスを説明できる。
・多変量解析やクラスター分析、決定木分析などデータマイニングの基本的な手法を説明できる。
・「機械学習 ケーススタディで学ぶ実践編−製造物の種類判別と生産設備の故障予兆−」コースで使用するツールの基本操作を説明できる。

対象者
・データ活用案件において、アナリティクスを担当する必要がある方、またはしたいと考えている方。
・実際のモデル構築がどんな作業になるかを知っておく必要がある方。
・予測モデルの手法を体系的に学びたい方。
・「機械学習ケーススタディで学ぶ実践編−製造物の種類判別と生産設備の故障予兆−」コースを受講される方。

前提知識
・一次方程式の関数（y=f(x)）がわかること。
・ソフトウェアのインストールができること。
・平均や分散、標準偏差など基本統計量について理解できていること。

内　容
1. データマイニング概要
2. データの理解
3. データの準備
4. モデリング
5. 評価と展開

備　考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・このコースの内容は、予告なく変更する場合がございます。
・お手元にPCをご用意いただいた方は、適宜PC操作をハンズオンで学習いただけます。

DBJ120 ツールを活用した分析
マシン実習 2日間
機械学習 ケーススタディで学ぶ実践編 −製造物の種類判別と生産設備の故障予兆−

「機械学習 基礎知識編 −初めてでもOK！データ分析を身近に−」eラーニングコースで学んだ手法を駆使してモデル構築のケーススタディを行います。ケーススタディは2種類あり、データ分析の結果を大きく左右する「データ磨き（バリューアップ）」の要所を二段階で修得します。業界動向はじめ現場のリアルなやり取りなど実践に役立つ情報を提供します。

到達目標
・予測モデル構築の一連の流れが理解できる。
・データの背景にある顧客業務を理解できる。
・預かった生データを分析用のデータセットとして磨き上げることができる。
・最適なモデルを決めるため、複数の手法でのパフォーマンスを比較できる。

対象者
・データ分析作業を担当する方、またはしたいと考えている方。
・データ分析提案にあたり、実際のモデル構築がどんな作業になるかを知っておく必要がある方。
・モデリングの検討手順が分からず、データ分析の学習に迷われている方。
・予測モデルの手法を体系的に学びたい方。

前提知識「機械学習基礎知識編−初めてでもOK!データ分析を身近に−Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. はじめに
　(1)オリエンテーション
　(2)基礎知識編(eラーニング)の学習内容のおさらい
2. ケース演習
　(1)データから顧客の業務や運用を推測して質問に繋める
　(2)データ汚れの有無をデータ検査ノードや各種グラフを使って確認する
　(3)複数の手法でモデリング
　(4)精度評価とチューニング
　(5)レポート化
　・ケーステーマ例1:製造メーカーにおける種別判別を99%を超える精度で判別するモデルの構築
　・ケーステーマ例2:品質検査におけるばらつきの原因推定モデルの構築
3. おわりに

備　考
・ケーステーマは最新のテーマへと随時変更していくため、予告なく変更いたします。
・「流れを体験！予測モデルの構築プロセス（ケーススタディ編）−データのバリューアップから結果説明に至るまで−」コースと同じものです。2020年4月よりケーススタディ増加に伴い、コース名を変更しました。

DBJ111 ツールを活用した分析
マシン実習 1日間
試行錯誤から学ぶ！Rによるデータ可視化のハンズオン

Rを通じて以下サイトにあるデータ可視化を実装します。
https://www.r-graph-gallery.com/
Web上でグラフを作成するメリットは、
・表現の幅が圧倒的に広がること、
・試行錯誤により思い通りのグラフにプラッシュアップできることです。
試行錯誤するには、
・サッとプログラミングでき、
・どのような属性をどんな表現方法で追加するとよいか構想できるエンジニアリング×サイエンスの力が必要です。
このコースでは、実際にRで可視化のプログラミングを行うことを通して、その試行錯誤のやり方を学ぶことができます。

到達目標
・顧客の要望に合わせて適切に可視化方法を選べるようになる。
・さまざまなグラフをRを通じて実装できるようになる。

対象者
・データ利活用を推進しており、分析の実作業に携わっている、携わる予定、携わりたい方。
・顧客が知らないようなグラフも提示したいが、データ可視化のスキルが十分でないがゆえに効果的なグラフを作成できていない方。

前提知識「試行錯誤から学ぶ!統計理論抜きで学ぶRによる統計的手法のハンズオン」コースを修了しているか、または同等の知識があり、かつRでのプログラミングの基礎知識をお持ちのこと。

内　容
1. はじめに
　(1)データ可視化の目的
　(2)データ可視化の種類
　(3)データ可視化の手順
　(4)データ可視化のセオリー（データインク比、データ濃度、表現方法の選択）
2. Rによるさまざまな可視化の紹介および実装体験
　(1)並行座標プロット　(2)散布図行列
　(3)ヒートマップ　(4)デンドログラム
　(5)ワードクラウド　(6)コロプレス地図
　(7)ネットワーク図
　※ご紹介する可視化手法は予告なく変更する場合があります。
3. おわりに
　(1)学習内容の振り返り
　(2)業務への活用の検討

DBJ112 ツールを活用した分析
マシン実習 1日間
試行錯誤から学ぶ！統計理論抜きで学ぶRによる統計的手法のハンズオン

OSSの統計解析向けのプログラミング言語、およびその開発実行環境であるRのインストール、基本操作を学習します。

到達目標
・Rの基本文法を修得し、基本的なデータ操作や、代表値（平均値、標準偏差など）を求めることができる。
・Rを用いてデータを適切な図表で表現できる。
・Rを用いて各種分析手法を用いることができる。

対象者 データ分析におけるRの操作方法を学びたい方。

前提知識「データ分析手法の理論と適用−ビジネスにおける統計的手法活用の広がり−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. Rの概要
2. Rによるデータ操作の基礎
3. Rによるデータ分析
　(1)重回帰分析
　(2)ロジスティック回帰分析
　(3)クラスター分析

OAJ049 ツールを活用した分析
マシン実習 1日間
Excelによる問題解決のためのデータ分析

業務で利用するデータをどのように分析し、問題解決につなげるか、一連の分析プロセスを理解しながら、Excelの分析機能を用いて学習します。

到達目標
・データ分析のプロセス（データを読むことで問題を把握し、原因仮説を立て、データによって検証し、実際に行動に移す施策を決め、実行した施策をデータで評価する）を理解できる。
・データ分析のための可視化（グラフ）の種類と各グラフを使った分析の計画に立て方、各グラフの作り方、読み方を理解できる。
・自分の業務でのダッシュボード案を考えることができる。

対象者
・Excelのデータを用いて、問題解決のためのデータ分析における基礎的なスキルを修得したい方。
・データは手元にあるが、その活用方法を模索している方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. はじめに
2. 分析によって問題を見つける
3. 分析によって原因を考えるのを助ける
4. 分析によって施策の効果を確かめる
5. 自分の業務への適用に向けて

DBE039 ツールを活用した分析

<eラーニング>【スキル定着】 Rでのデータ可視化 ーオープン環境を活用した実装力の磨き方ー

eラーニング / 4時間

さまざまなデータ可視化の実装を通して、実践で使えるレパートリーを増やします。繰り返し実習することで、Rでのデータ活用の流れの定着を図ります。

到達目標
- Rを使った可視化の実装ができる。
- オープンな環境を利用して、どのように学び（自己学習）を深めればいいか理解できる。

対象者
- Rのライブラリを活用して可視化の実装を試したい方。
- Rの基本は理解しているが腕試しをしたい方。

前提知識 「試行錯誤から学ぶ!統計理論抜きで学ぶRによる統計的手法のハンズオン」コースを修了しているか、または同等の知識（Rの基本構文・データ構造の理解）があること。

内　容
Rによるさまざまなデータの可視化の紹介および実装
1. 平行座標プロット
2. 散布図行列
3. ヒートマップ
4. デンドログラム
5. ワードクラウド
6. コロプレス地図
7. ネットワーク図
8. アニメーションバブル図

備　考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

HSJ211 ツールを活用した分析

BI活用事例に学ぶ 分析提案の進め方

New

マシン実習 / 1日間

データ活用提案をする際には、顧客要望や顧客の持つデータのパターンに応じて、分析のストーリーを提示できる必要があります。このコースでは、どのような点に注意して提案活動を進めていくのかを実例の紹介・BIツール（QlikSense）を用いた演習を交えて学習します。

到達目標
- BIツールで何ができるか理解できる。
- データを前にして、ステークホルダに提示する可視化（図表）が複数パターンイメージできる。

対象者
- データ分析の企画・提案をする/される立場の方。
- BIツールを活用した分析提案を検討および実行している方。
- BIツールの社内導入を検討および実行している方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. はじめに
2. BIツールを中心とした分析提案の進め方
   （1）分析提案のプロセス（要件ヒアリング/概念検証/提案スペックの確定/見積の作成）
   （2）分析提案事例（特定APPへの帳票・分析機能追加/既存BI環境のリプレース/SaaS型サービスへの機能付加/UPへの分析機能追加）

備　考 開始日15営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。

DBJ124 ツールを活用した分析

テキストマイニング入門 ープログラミングレスで学ぶ テキストデータ分析の勘所ー

New

マシン実習 / 1日間

テキストマイニングツールの基本技術を学習します。テキストマイニングの分析の流れを、テキストマイニングツールを使いながら体感します。また事例を通じ、テキストマイニングを進めるうえでの勘所を理解します。なお、テキストマイニングツールは「CoreExplorer」を使用します。

到達目標
- テキストマイニングの基礎技術を説明できる。
- テキストマイニングの流れを理解し、分析を実行できる。
- テキストマイニングを進めるうえでの注意点を説明できる。

対象者
- 業務上扱う分析データにテキストデータが多い方。
- テキストマイニングツールを活用した分析提案を検討している方。
- テキストマイニングツールの社内導入を検討している方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. テキストマイニングとは
2. テキストマイニングの進め方
3. グループ演習
4. 応用事例紹介
5. 分析事例に見る勘所

備　考 開始日15営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。

DBD058 ツールを活用した分析

SQLによる集計・分析 ー分析の基本的なプロセスを修得し、自社DBデータの活用へー

マシン実習 / 1.5日間

分析の設計（指標やKPI、クロス集計の集計軸の考え方など）や、分析の際のデータハンドリング方法など、一連のデータ分析のプロセスをケーススタディを通して、実践的に学習します。

到達目標
- SQLを用いて大量データのハンドリングができる。
- 問題解決のための分析設計（集計軸の設計）ができる。
- 自社DB上のデータに対し、集計・分析ができる。
- 集計・分析を通して、データに基づく改善提案ができる。

対象者
- データ分析のプロセスの知識を実践に結びつけたい方。
- DB上の自社データを活用したい方。

前提知識 Excelでのピボットテーブル操作、もしくはAccessの利用経験をお持ちのこと、かつ「定量分析のスキル」コース、および「基礎から学ぶSQL ー現場で使える力をつけるー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 分析の基本
   （1）分析とは？/基本的な分析プロセス
2. 分析とDB、SQL
   （1）Database/SQLとは？
   （2）検索操作の基本
3. 分析視点でのSQL演習
   （1）分析プロセスのおさらい
   （2）推移/利用/属性別集計
4. 総合演習（新規事業担当のビジネスケーススタディ）
   （1）分析設計ー現状把握と課題抽出
   （2）中間発表ー課題の要因探索ー改善提案作成
   （3）最終発表ー発表/ディスカッション/まとめ

備　考
- このコースは、ブレインパッド社との提携コースのため、ブレインパッド社の研修会場にて開催します。
- コース実施に必要となるご受講者の個人情報をブレインパッド社へ提供いたします。
- このコースは、実事例をもとにしたケーススタディ演習が中心です。スマホアプリの実データ（欠損や不整合を含む）を利用します。研修で利用する実データは予告なく変更することがあります。
- このコースは、マシン実習を通し、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

※別途ご案内いたします。

DBD057 ツールを活用した分析

Rによる統計解析 ー分析結果を統計的に正しく理解し、次の意思決定に向けた提案へー

マシン実習 / 2.5日間

分析結果を統計的に正しく理解し、適切な意思決定支援を行うために必要なスキルをケーススタディで学習します。分析の各プロセスに従いながら、モデル作成や評価の流れをRを用いて実践的に学習します。

到達目標
- 検定などを用いて効果測定ができる（e.g.A/Bテスト、メールCTR比較）。
- 分析・効果測定の結果を統計的に正しく理解できる。
- 分析結果から意思決定に向けた施策提案ができる。
- 予測や分類の解析手法の使い方がわかる（e.g.回帰やクラスタ分析）。

対象者
- 分析結果を統計的に正しく理解したい方。
- 分析を活用して適切な意思決定支援をしたい方。

前提知識 Rのインストールができること。高校数学程度の知識をお持ちで（行列・ベクトル概念、Σの意味）、かつ「定量分析のスキル」コースおよび、「試行錯誤から学ぶ!統計理論抜きで学ぶRによる統計的手法のハンズオン」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 基礎知識の習得ー分析のプロセス、基本統計量とデータの可視化ー
2. 統計・分析手法の基本と活用
   （1）確率分布、統計的仮説検定
   （2）モデル作成と評価（回帰分析と結果の見方、予測精度の評価）
   （3）他手法とパッケージの説明（クラスタ、連関規則、時系列解析）
3. 総合演習（新規事業担当者として、スマホアプリの欠損や不整合を含む実データ分析から、小売店の販促施策の提案を作成）
   （1）集計、統計量算出による現状把握ー仮説構築、分析課題設定
   （2）モデル作成/評価ーモデルの結果から、提案作成
   （3）中間/最終発表ー発表/講師フィードバック/ディスカッション

備　考
- このコースは、ブレインパッド社との提携コースのため、ブレインパッド社の研修会場にて開催します。
- コース実施に必要となるご受講者の個人情報をブレインパッド社へ提供いたします。
- このコースは、実事例をもとにしたケーススタディによる演習が中心です。
- このコースで利用する実データは、予告なく変更される場合があります。
- このコースは、マシン実習を通し、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

※別途ご案内いたします。

DBJ107 ツールを活用した分析

0から始めるPython入門 ーデータ分析での活用をテーマとしてー

マシン実習 / 2日間

データ分析の一連の流れをテーマとしてPythonの基本的な構文やデータ構造を修得します。

到達目標
- Pythonの基本構文・データ構造を理解することができる。
- Pythonを使ってデータ分析の基本となるデータ加工、統計量の計算、可視化ができる。

対象者 これからPythonを利用したアプリケーション開発・データ分析を行う方。

前提知識 フローチャートで基本的なアルゴリズムを表現することができる。

内　容
1. Python概要
2. データ分析の流れ
   （1）データを読み込む
   （2）データを加工する
   （3）結果を集計する
   （4）結果を検索する
   （5）結果を出力する
3. 統計量の計算
4. グラフを使ったデータの可視化
5. 総合演習

備　考 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

DBE038 ツールを活用した分析

<eラーニング>【スキル定着】 Pythonでのデータ可視化 ーオープン環境を活用した実装力の磨き方ー

eラーニング / 4時間

さまざまなデータ可視化の実装を通して、実践で使えるレパートリーを増やします。繰り返し実習することで、Pythonでのデータ活用の流れの定着を図ります。

到達目標
- Pythonを使った可視化の実装ができる。
- オープンな環境を利用してどのように学び（自己学習）を深めればいいか理解できる。

対象者
- Pythonのライブラリを活用して可視化の実装を試したい方。
- Pythonの基本は分かったので腕試ししたい方。

前提知識 「0から始めるPython入門ーデータ分析での活用をテーマとしてー」コースを修了しているか、または同等の知識（Pythonを実装できる環境構築やPythonの基本構文・データ構造の理解）があること。

内　容
1. データ可視化とは
   （1）データ可視化の目的
   （2）データ可視化の種類
   （3）データ可視化の手順
   （4）データ可視化のセオリー（データインク比、データ濃度、表現方法の選択）
2. Pythonを使ったデータ可視化の進め方
   （1）ライブラリの種類と目的に応じた選択
   （2）可視化に使える主なWebアプリとその選択
   （3）学習に使えるオープンデータとソースコード
3. Pythonによるさまざまなデータの可視化の紹介および実装
   （1）平行座標プロット　（2）散布図行列
   （3）ヒートマップ　（4）デンドログラム
   （5）ワードクラウド　（6）コロプレス地図
   （7）ネットワーク図
   （8）アニメーションバブル図

※ご紹介する可視化手法は予告なく変更する場合があります

備　考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBJ088 ツールを活用した分析

体感！機械学習 ービッグデータ時代のシステムを支える技術ー

マシン実習 / 1日間

ビッグデータでは収集したデータを活用する技術が必要です。このコースでは、データ活用技術の一つとして機械学習の導入を学習します。データを活用したシステムに向けた技術を修得できます。

到達目標
- 機械学習の概要が説明できる。
- ツールを用いて簡単な機械学習を用いた分析ができる。

対象者 ビッグデータ関連事業に携わる方。

前提知識 基本的なプログラムの文法（言語は問いません）を理解しており、かつ「デジタル時代に必要なIT技術概説」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 機械学習の概要
   （1）機械学習とは
   （2）機械学習の種類
   （3）機械学習のプロセス
   （4）ビッグデータにおける機械学習の位置づけ
   （5）機械学習とデータマイニング
2. 分析ツールを利用した機械学習
   （1）Rの概要
   （2）事例1最適化
   （3）事例2異常検知
   （4）事例3数値予測
   （5）精度の確認
3. 機械学習の実装

備　考 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

DBD064 ツールを活用した分析

機械学習による問題解決実践 ー機械学習で大量データを分析し、データからビジネス価値を創出ー

Renewal

グループ演習 / 2日間

ログ、センサー、ソーシャルなどの大量データの分析に有効な機械学習について、ケーススタディを通して学びます。SVMなどの手法を用いて、機械学習によるビジネス課題解決のアプローチを実践的に学習します。

到達目標
- 機械学習の概念を理解し、ビジネス課題への適用方法が理解できる。
- モデルの解釈と、チューニングが理解できる。
- オープンソース®による機械学習の実装ができる。

対象者 大量データの分析に機械学習を活用し、ビジネスで成果を出したい方。

前提知識 高校数学程度の知識があり（行列・ベクトルの概念、Σの意味がわかる）、かつ「体感！機械学習ービッグデータ時代のシステムを支える技術ー」コース、および「Rによる統計解析ー分析結果を統計的に正しく理解し、次の意思決定に向けた提案へー」を修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 分析のプロセス/機械学習入門【1日目】
   （1）機械学習の活用シーン、機械学習の流れ、機械学習の種類
2. サポートベクトルマシン
   （1）分類予測問題における機械学習の役割、SVMの境界の決め方、カーネル法
3. 機械学習による分類モデル作成の流れ
   （1）過学習、ホールドアウト検証、交差検証、ハイパーパラメータとチューニング
4. 総合演習（新規事業担当者として、欠損や不整合を含むスマホアプリの実データの分析から、予測モデルを作成し、提案作成）【2日目】
   （1）集計、統計量算出による現状把握ー仮説構築、分析課題設定
   （2）モデル作成/チューニング/評価ーモデルの結果から、提案作成
   （3）中間/最終発表ー発表/講師フィードバック/ディスカッション

備　考
- このコースは、ブレインパッド社との提携コースのため、ブレインパッド社の研修会場にて開催します。
- コース実施に必要となるご受講者の個人情報をブレインパッド社へ提供いたします。
- このコースは、実事例をもとにしたケーススタディによる演習が中心です。
- 研修で利用する実データは予告なく変更することがあります。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

※別途ご案内いたします。

DBJ100 ツールを活用した分析

データビジュアライゼーション基礎

マシン実習 / 1日間

データ可視化について、計画の立てるプロセス・各手順での考え方を学習します。オープンソースのアプリケーションを使用したデータの可視化手順を学習します。
※このコースはデータ可視化の「考え方」の基礎です。実装のプログラミングスキル向上は対象としておりませんのでご注意ください。

到達目標 役立つ可視化の計画を考える思考プロセスを理解できるオープンソースのアプリケーションを活用したデータの可視化の実装の手順のイメージを持てる（※ただし実装のためのプログラミングが中心ではございませんのでご注意ください）。

対象者 データの可視化スキルを必要とする方。例えば、オープンデータの有効活用のために幅広いユーザに使いやすい画面での公開を考える必要がある、データ利活用の提案や構築において一般的なチャートとは異なる魅せ方を必要とする、データ開示系のデータを利活用した新サービスを考案する必要がある方。

前提知識 プログラミングについてコードが読める程度の基礎知識があること。

内　容
1. データビジュアライゼーション概要
   （1）データビジュアライゼーションとは何か、なぜ必要なのか
   （2）どのようにすればデータビジュアライゼーションは実現できるか
2. データビジュアライゼーションの基本
   （1）何を表現するか
   （2）どう表現するか
3. Webアプリを使った実装方法
   （1）実装ワークフローに沿った実装
   （2）スキルアップのための試行錯誤の進め方
   （3）今後の学びのために役立つアプリの紹介
4. 可視化計画の立て方
5. まとめ
   （1）今後のスキルの磨き方

AIE001 ツールを活用した分析

<eラーニング> AIエンジニアリング入門（1） ー機械学習の理論と実践ー

eラーニング / 70時間

機械学習の理論と実装方法について、マシン演習を通して学習します。

到達目標
- 機械学習の実装ができる。
- 数値、画像、時系列データの前処理ができる。
- プロジェクトにおける仮説検証ができる。
- 課題に合わせた手法選択ができる。
- 分析結果のレポーティングができる。

対象者
- AIを扱うエンジニアをめざす方。
- 機械学習の理論と実装方法を修得したい方。

前提知識 1年以上のプログラミング経験があること。

内　容
1. 機械学習とは
2. 単回帰分析
3. 重回帰分析
4. 多項式回帰
5. 正則化
6. パーセプトロン
7. ロジスティック回帰
8. SVM
9. 性能評価とチューニング
10. 欠損値処理とエンコーディング
11. 決定木
12. 主成分分析
13. クラスタリング
14. 自然言語処理の諸手法

備　考
- サービス有効期間は60日間です。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、STANDARD社より提供いたします。
- コース実施に必要となるご受講者の個人情報をSTANDARD社へ提供いたします。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースでは、STANDARD社のAIエンジニアがメンターとして受講者に対応します。メンターは、チャットによる質問対応、演習課題へのフィードバック等を通して、受講者を強力にサポートします。なお、質問対応はSTANDARD社の営業日15:00ー21:00となります。

AIE002 ツールを活用した分析

<eラーニング> AIエンジニアリング入門（2） ー深層学習の理論と実践ー

eラーニング / 34時間

ディープラーニング（深層学習）の理論と実装方法について、マシン演習を通して学習します。

到達目標
- ディープラーニング（深層学習）の実装ができる。
- 数値、画像、時系列データの前処理ができる。
- プロジェクトにおける仮説検証ができる。
- 課題に合わせた手法選択ができる。
- 分析結果のレポーティングができる。

対象者
- AIを扱うエンジニアをめざす方。
- ディープラーニング（深層学習）の理論と実装方法について修得したい方。

前提知識 「AIエンジニアリング入門（1）ー機械学習の理論と実践ーJeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. ディープラーニング（深層学習）とは
2. ニューラルネットワークの基礎
3. CNNによる画像分類
4. ニューラルネットワークの諸問題と対策
5. 画像の前処理とfine-tuning
6. RNN（LSTM）による時系列解析
7. DQNによる強化学習

備　考
- サービス有効期間は30日間です。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、STANDARD社より提供いたします。
- コース実施に必要となるご受講者の個人情報をSTANDARD社へ提供いたします。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースでは、STANDARD社のAIエンジニアがメンターとして受講者に対応します。メンターは、チャットによる質問対応、演習課題へのフィードバック等を通して、受講者を強力にサポートします。なお、質問対応はSTANDARD社の営業日15:00ー21:00となります。

AIE003 ツールを活用した分析

eラーニング
40時間

<eラーニング> 日本ディープラーニング協会（JDLA） E資格取得対策講座

日本ディープラーニング協会（JDLA）のE資格試験の合格を目標に、ディープラーニングの理論面を学習します。

到達目標 日本ディープラーニング協会（JDLA）のE資格試験に合格できる知識を修得する。

対象者 日本ディープラーニング協会（JDLA）のE資格試験の合格をめざす方。

前提知識 「AIエンジニアリング入門（1）ー機械学習の理論と実践ー」および「AIエンジニアリング入門（2）ー深層学習の理論と実践ー」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

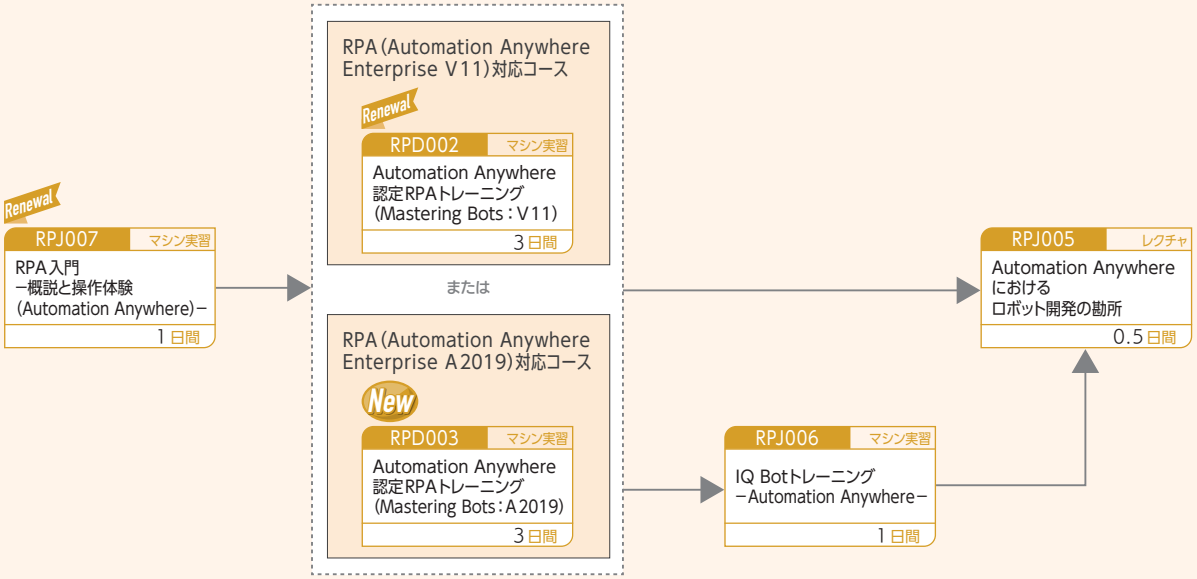
内　容
1. 応用数学（線形代数・確率・統計・情報理論）
2. 機械学習（実用的な方法論）
3. 深層学習
   - 順伝播型ネットワーク/CNN
   - 深層モデルのための正則化/最適化
   - 回帰結合型ニューラルネットワーク
   - 生成モデル
   - 強化学習

備　考
- サービス有効期間は60日間です。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、STANDARD社より提供いたします。
- コース実施に必要となるご受講者の個人情報をSTANDARD社へ提供いたします。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- 日本ディープラーニング協会（JDLA）E資格を受験するには、当該コースに加え下記2コースを受講し、全3コースにおいてSTANDARD社の修了基準（合格基準）を満たす必要があります。
  <eラーニング>AIエンジニアリング入門（1）ー機械学習の理論と実践ー
  <eラーニング>AIエンジニアリング入門（2）ー深層学習の理論と実践ー

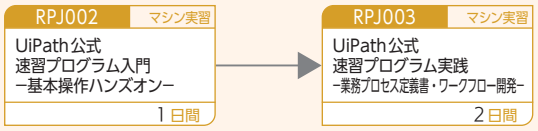
RPA

RPA(Robotic Process Automation)製品を使用して業務自動化のロボットを開発するために必要な基礎知識と技術が修得できます。

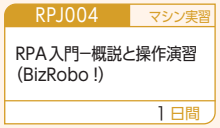
Automation Anywhereを使用して業務自動化のロボットを開発する方



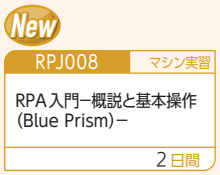
UiPathを使用して業務自動化のロボットを開発する方



BizRobo!を使用して業務自動化のロボットを開発する方



Blue Prismを使用して業務自動化のロボットを開発する方



音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

RPJ007 RPA

マシン実習 1日間

RPA入門 −概説と操作体験（Automation Anywhere）−

Renewal

RPA（Robotic Process Automation）の基礎について学習し、RPA製品（Automation Anywhere Enterprise）によるロボット開発を体験します。

到達目標
- RPAの概要や導入事例が説明できる。
- RPA製品（Automation Anywhere Enterprise）の概要が説明できる。
- RPA製品（Automation Anywhere Enterprise）を使用して基本的な業務自動化ロボットの作成・実行ができる。

対象者 RPAの導入を検討している方、RPAの基礎から学習したい方。

前提知識 Microsoft Windowsの操作経験があること。

内　容
1. RPA概要
2. Automation Anywhere Enterpriseの紹介
3. 業務自動化ロボット開発体験

RPD002 RPA

マシン実習 3日間

Automation Anywhere認定 RPAトレーニング （Mastering Bots : V11）

Renewal

RPA（Automation Anywhere Enterprise V11）を実際に使用することで、単純なものからやや複雑な業務を自動化するためのボット開発方法について、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- Automation Anywhere Enterprise V11のプラットフォーム、アーキテクチャ、コンポーネントについて説明できる。
- 単純なボットを作成するためのレコーダー、エディター、さまざまな基本コマンドについて説明できる。
- 中高程度の複雑なボットを自身で開発できる。
- RPAとそのユースケースについて説明できる。

対象者 RPA（Automation Anywhere Enterprise V11）を使用して業務の省力化・自動化をする方。

前提知識 RPAについて基礎的な知識があること。

内　容
1. Introduction
2. Web Control Room
3. Recorder
4. Bot Creator
5. MetaBot

備　考
- このコースは、Automation Anywhere社認定「Mastering Bots:Design and Build an Advanced Digital Workforce」コースとなり、同社が提供するテキストを使用します。
- コースの内容は、予告なく変更される場合があります。

RPD003 RPA

マシン実習 3日間

Automation Anywhere認定 RPAトレーニング （Mastering Bots : A2019）

New

RPA（Automation Anywhere Enterprise A2019）を実際に使用することで、単純なものからやや複雑な業務を自動化するためのボット開発方法について、マシン実習を通して修得します。

到達目標
- Automation Anywhere Enterprise A2019のプラットフォーム、アーキテクチャ、コンポーネントについて説明できる。
- 単純なタスク、ボットを作成するためのレコーダー、エディター、さまざまな基本アクションについて説明できる。
- 中高程度の複雑なボットを自身で開発できる。
- RPAとそのユースケースについて説明できる。

対象者 RPA製品（Automation Anywhere Enterprise A2019）を使用して業務の省力化・自動化をする方。

前提知識 RPAについて基礎的な知識があること。

内　容
1. Introduction
2. Web Control Room
3. Bot Creator
4. その他のトピック

備　考
- このコースは、Automation Anywhere社認定「Mastering Bots:Design and Build an Advanced Digital Workforce」コースとなり、同社が提供するテキストを使用します。
- コースの内容は、予告なく変更される場合があります。

RPJ005 RPA

レクチャ 0.5日間

Automation Anywhereにおける ロボット開発の勘所

ロボットの安定稼働と品質をテーマに、ロボットの開発・管理・運用という 観点でマニュアルでは紹介されないノウハウ（ロボット開発のコツ、安定稼働のための構成）を学習します。

到達目標
- 高品質なロボットの開発ができる。
- ロボットのエラーから不具合個所の特定ができる。
- ロボットを安定稼働させることができる。

対象者
- Automation Anywhereでロボット開発をされる方。
- Automation Anywhereのシステムを運用管理される方。

前提知識
- 「Automation Anywhere認定RPAトレーニング（Mastering Bots : V11）」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
- Automation Anywhereでロボット開発の経験がある、またはそれと同等の知識があること。

内　容
1. Automation Anywhereの概要（おさらい）
2. 初心者によくある勘違い、陥りやすい罠
3. よくあるエラーと解決法（事例をベースに）
4. 質疑応答（実際に困っていることに対するQ&A）
5. まとめ

RPJ006 RPA

マシン実習 1日間

IQ Botトレーニング −Automation Anywhere−

Automation Anywhere EnterpriseおよびIQ Botを実際に使用することで、非構造データを構造化データに変換しボットにて登録する一連のプロセスについて、マシン実習を通して修得します。

到達目標
- Automation Anywhere IQ Botのアーキテクチャ、コンポーネントについて説明できる。
- IQ BotとRPAを使用した連携プロセスを、IQ Botの基本機能を使用し開発できる。
- IQ Botとそのユースケースについて説明できる。

対象者
- Automation Anywhereでロボット開発をされる方。
- Automation Anywhereでロボットの運用管理される方。

前提知識 RPAについて基礎的な知識があること。また、「Automation Anywhere認定RPAトレーニング（Mastering Bots : V11）」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. IQ Bot概要
2. IQ Bot設定、開発
3. RPA設定、処理

RPJ002 RPA

マシン実習 1日間

UiPath公式速習プログラム入門 −基本操作ハンズオン−

UiPath Studioの基本操作を学習し、UiPathの特徴であるセレクター、処理の制御方法を理解し、UiPathと業務のRPA化につなげます。

到達目標
- UiPath Studioの基本操作について理解できる。
- ワークフロー、UiPath Studio上の処理に対する制御を理解できる。
- レコーディング機能を使用したワークフローの作成方法について理解できる。
- ワークフローにおいてアクティビティの操作方法について理解できる。
- セレクターについて理解できる。
- データスクレイピング機能のについて理解できる。

対象者 UiPath Studioによるロボット開発手法を学習したい方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内　容
1. RPA概要
2. UiPath Studioの紹介
3. 制御構造の基礎
4. ワークフローの変更
5. セレクターとは
6. レコーディング機能
7. データスクレイピング機能

備　考
- このコースは、UiPath社提供のテキストを使用します。
- このコースは、UiPath社の「UiPath公式速習プログラム入門」（2日間）の研修を抜粋して1日で実施します。
- このコースの内容は、予告なく変更される場合があります。

RPJ003 RPA

マシン実習 2日間

UiPath公式速習プログラム実践 −業務プロセス定義書・ワークフロー開発−

RPA開発までのフェーズごとに必要なことと、業務改善手法の基礎、業務可視化のための業務フロー図の作成を学習します。また、RPA開発においてコミュニケーションの要ともなる「業務プロセス定義書」の作成、活用方法を学習します。次に、メンテナンス性が高く、効率的なワークフロー開発、Configファイルの概念を学習します。

到達目標
- 業務改善手法の基礎・業務可視化の重要性を理解できる。
- 業務プロセス定義書の作成・活用ができる。
- ビジネス例外、アプリケーション例外の違いが説明できる。
- 既知のビジネス例外をリストアップできる。
- RPA化する業務プロセス、RPA化しない業務プロセスを選定できる。
- メンテナンス性が高く、効率的なワークフロー開発方法の基礎が理解できる。

対象者
- RPA化対象の業務プロセス定義書の作成方法を修得したい方。
- メンテナンス性に優れたワークフローの開発方法を修得したい方。

前提知識 「UiPath公式速習プログラム入門ー基本操作ハンズオンー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. UiPath公式速習プログラム入門の復習
2. 業務プロセス定義書の活用・作成方法
3. メンテナンス性に優れた安定的なワークフロー開発方法
4. ワークフロー作成演習

備　考
- このコースは、UiPath社提供のテキストを使用します。
- このコースは、UiPath社の「UiPath公式速習プログラム実践」（2日間）の研修と同じ内容です。
- このコースの内容は、予告なく変更される場合があります。

RPJ004 RPA

マシン実習 1日間

RPA入門 −概説と操作演習（BizRobo!）

RPA（BizRobo!）の基礎について学習し、RPAツール（BizRobo!）によるロボット作成の演習を行います。

到達目標
- RPAの概要や導入事例が説明できる。
- RPAツール（BizRobo!）の概要・特徴を理解し、説明できる。
- RPAツール（BizRobo!）を使用して基本的なロボットの作成・実行ができる。

対象者
- RPA（BizRobo!）の導入・提案を検討している方。
- RPA（BizRobo!）の基礎から学習したい方。

前提知識 Microsoft Windowsの操作経験があること。

内　容
1. RPA概要
2. BizRobo!の紹介（構成/インストール/機能概要）
3. ロボット作成演習
   - Webページからの業務情報自動収集
   - PCデスクトップ上で動作するプログラムの自動操作

RPJ008 RPA

マシン実習 2日間

RPA入門 −概説と基本操作（Blue Prism）−

New

RPAツール「Blue Prism」の業務を自動化するための機能について、マシン実習（ロボット作成）を通して学習し、基本操作を修得できます。

到達目標
- Blue Prismの製品概要が説明できる。
- アプリケーションモデラーを使った画面要素の取得ができる。
- オブジェクトの作成ができる。
- プロセスの作成ができる。
- 分岐・繰り返し処理の実装ができる。
- 例外処理の実装ができる。
- ワークキューの作成・実装ができる。

対象者
- Blue Prismによるロボット開発手法を学習したい方。
- Blue Prismの導入を検討している方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内　容
1. Blue Prism製品概要
2. Blue Prismの基本操作（オブジェクト作成、プロセス作成）
3. Blue Prismの応用操作（データの入出力、繰り返し処理の実装、分岐処理の実装、コントロールルームの操作）
4. 例外処理の実装
5. ワークキューの実装

クラウド / サーバ仮想化

クラウド / サーバ仮想化やクラウドという最新システムについての基礎知識と技術が修得できます。

● クラウド基盤の基礎知識や技術を修得したい方

音声なし+説明文有
UXE003 eラーニング
クラウドコンピューティング入門
4時間

CLD001 グループ演習
事業と技術の観点から検討するクラウドへの移行と管理 ー Cloud Essentials ー
2日間

音声なし+説明文有
CLE002 eラーニング
Cloud beginnerのためのインフラストラクチャ基礎
6時間

CLJ003 レクチャ
クラウドコンピューティング技術解説
1日間

CLJ015 マシン実習
Hadoop入門 ーHBaseとSparkハンズオンー
1.5日間

CLJ014 マシン実習
実機で学ぶ！クラウドコンピューティング入門
1日間

Renewal
CLJ019 レクチャ
クラウドコンピューティングで読み解くITサービスの最新動向
0.5日間

【Linux】

UXJ029 マシン実習
Linuxシステム管理 前編 ーLinuxインストールとシステム／ネットワーク管理の基礎ー
2日間

【Microsoft Azure】

CLJ011 マシン実習
Microsoft Azure概説
1日間

New
CLJ018 マシン実習
Microsoft Azureを利用したIoT+AI入門 ーサービス概要から操作体験ー
1日間

CLJ009 マシン実習
Microsoft Azureを用いたWebアプリ開発入門
1日間

<Microsoft Officialコース>

New
CLD014 マシン実習
【短縮版】Microsoft Azure Administrator
3日間

【AWS認定プログラム】

CLD010 マシン実習
AWS Technical Essentials
2日間

CLD012 マシン実習
Architecting on AWS
3日間

CLD013 マシン実習
Developing on AWS
3日間

● サーバ仮想化の基礎知識や技術を修得したい方

CLJ005 マシン実習
実機で学ぶ！サーバ仮想化入門 ーVMware vSphere、Microsoft Hyper-V、KVMー
1日間

音声有+説明文なし
CLE703 eラーニング
【ナビ機能付き】ストレージ関連者向けサーバ仮想化技術概説
3時間

【Microsoft】

CLJ010 マシン実習
実践!Hyper－Vのインストールから可用性向上まで －Windows Server 2016編－
1日間

【VMware】

VMJ007 マシン実習
VMware vSphere システム構築実習[V6.7] ー実装編ー
2日間

VMD010 マシン実習
VMware vSphere: Install, Configure, Manage[V6.7]
5日間

【Linux】

UXJ079 マシン実習
Linuxにおけるコンテナ環境の使い方 ーDockerとKubernetes編ー
1日間

【OSS】

New
音声有+説明文有
UXE006 eラーニング
Kubernetes基礎
35時間

● VMware認定資格の取得をめざす方

<VMware Certified Professional（VCP：VMware 認定プロフェッショナル）>

VMD010 マシン実習
VMware vSphere: Install, Configure, Manage[V6.7]
5日間

音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

資格 アマゾン ウェブ サービス（AWS）認定資格

AWS 認定資格は、AWS プラットフォームで稼働するアプリケーションの設計、デプロイ、管理に必要なスキルと技術知識を有する IT プロフェッショナルであることを証明します。認定資格を取得することにより AWS に関してスキルや知識を有していることを証明できるだけでなく、所属組織が AWS ベースのアプリケーションを運用構築ができる人材を有していることを証明します。

詳しくは、日立アカデミーのWebサイトにてご確認ください。

https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/license/aws.html

資格 VMware 認定資格

VMware認定資格とは、VMwareソリューションの導入・展開を担う技術者を育成するために、VMware社が提供している認定プログラムです。主なVMware認定資格には、VMware Certified Professional（VCP）- VMware 認定プロフェッショナルがあります。

詳しくは、日立アカデミーのWebサイトにてご確認ください。

https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/license/vmware.html

vmware PARTNER AUTHORIZED TRAINING CENTER

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

● デスクトップ仮想化の基礎知識や技術を修得したい方

音声なし・説明文有
CLE704 eラーニング
【ナビ機能付き】デスクトップ仮想化概説
4時間

CLJ016 マシン実習
実機で学ぶデスクトップ仮想化入門−Citrix Virtual Apps and DesktopsとVMware vSphere−
1日間

● クラウド環境で動作するアプリケーションを開発する方

OJJ018 マシン実習
サーバサイド Javaプログラミング（Servlet/JSP編）
3日間

Renewal
CLJ017 マシン実習
クラウドアプリケーション開発
2日間

【Javaテクノロジーの基礎トレーニング】

【Microsoft Azure】

CLJ011 マシン実習
Microsoft Azure概説
1日間

CLJ009 マシン実習
Microsoft Azureを用いたWebアプリ開発入門
1日間

【AWS認定プログラム】

CLD013 マシン実習
Developing on AWS
3日間

音声有・説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有・説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし・説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

クラウド／サーバ仮想化

CLE703 クラウド/サーバ仮想化
eラーニング 3時間
<eラーニング>【ナビ機能付き】ストレージ関連者向けサーバ仮想化技術概説

VMware・Hyper-Vなどのサーバ仮想化環境で日立ストレージを動作させる場合のシステム構成・ポイントをサーバ仮想化の基本技術を交えて学習します。

到達目標 VMware・Hyper-Vなどのサーバ仮想化環境で日立ストレージを動作させる場合のシステム構成・ポイントをサーバ仮想化の基本技術を理解できる。
対象者 ストレージ関連の方で、サーバ仮想化に興味のある方。
前提知識 特に必要としません。
内容 1. サーバ仮想化概要
2. 代表的なサーバ仮想化製品
3. サーバ仮想化環境でのストレージ関連設定
4. 修了試験
備考 ・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

CLJ005 クラウド/サーバ仮想化
マシン実習 1日間
実機で学ぶ！サーバ仮想化入門−VMware vSphere、Microsoft Hyper-V、KVM−

サーバ仮想化の基礎を解説し、市場で大きなシェアを持っているVMware vSphere、Microsoft Hyper-V、KVMを利用したサーバ仮想化方法を実機で学習します。

到達目標 ・サーバ仮想化の概要を説明できる。
・各種製品（VMware vSphere、Microsoft Hyper-V、KVM）をインストールしそれらの製品を使用して仮想サーバを作成できる。
対象者 サーバ仮想化の提案、構築を行う営業、SEの方。
前提知識 特に必要としません。
内容 1. サーバ仮想化の概要
2. VMware vSphereの概要と特徴
(1)演習1：VMware vSphereのインストールと仮想サーバの作成
3. Hyper-Vの概要と特徴
(1)演習2：Microsoft Hyper-Vのインストールと仮想サーバの作成
4. KVMの概要と特徴
(1)演習3：KVMのインストールと仮想サーバの作成
備考 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

CLJ016 クラウド/サーバ仮想化
マシン実習 1日間
実機で学ぶデスクトップ仮想化入門−Citrix Virtual Apps and DesktopsとVMware vSphere−

仮想デスクトップ用仮想マシンの作成から、管理、クライアントでの接続までの一連の作業を実機ベースで行い、デスクトップ仮想化環境を構成する各種サーバ類の役割を理解します。また、複数の仮想デスクトップ構成パターンを実装し、各方式の特徴（長所/短所）を理解します。

到達目標 デスクトップ仮想化の実現に必要なシステムインフラの構成と役割を説明できる。
対象者 デスクトップ仮想化ソリューションを提案・構築する営業/システムエンジニアの方。
前提知識 ・サーバ仮想化の基礎知識があること。
・Windows OSの基本的な操作ができること。
内容 1. デスクトップ仮想化の仕組み
(1)デスクトップ仮想化とは
(2)デスクトップ仮想化のシステム構成
2. 仮想デスクトップの作り方
(1)仮想デスクトップへの接続の流れ
(2)仮想デスクトップ用仮想マシンの作成
(3)仮想デスクトップ接続用クライアント
3. デスクトップ仮想化導入の注意点
(1)ライセンス
(2)デスクトップ仮想化システムのボトルネックについて

CLJ014 クラウド/サーバ仮想化
マシン実習 1日間
実機で学ぶ！クラウドコンピューティング入門

AWSとMicrosoft Azureの概要や違いを実機を操作しながら学習します。

到達目標 ・AWSとMicrosoft Azureの概要を理解し、基本的な違いを説明できる。
・仮想マシンの起動など、AWSとMicrosoft Azureの操作コンソールで基本的な操作ができる。
対象者 これからクラウドを利用・提案するうえで、主要なパブリッククラウドを比較検討したい方。
前提知識 コンピュータの基礎知識があること。
内容 1. クラウドコンピューティングの概要
2. AWS
3. Microsoft Azure
4. AWSとMicrosoft Azureの比較

CLE704 クラウド/サーバ仮想化
eラーニング 4時間
<eラーニング>【ナビ機能付き】デスクトップ仮想化概説

デスクトップを仮想化することで得られるメリット/デメリットと、その実現の仕組みを学習します。また、デスクトップ仮想化の2大製品であるVMware ViewとCitrix Virtual Apps and Desktopsの特徴を紹介します。

到達目標 ・デスクトップを仮想化する事でのメリット/デメリットが説明できる。
・デスクトップ仮想化の実現に必要な機能・役割を説明できる。
・デスクトップ仮想化の2大製品であるVmware ViewとCitrix Virtual Apps and Desktopsの特徴を理解できる。
対象者 デスクトップ仮想化製品をこれから扱うシステムエンジニアおよび営業の方。
前提知識 特に必要としません。
内容 1. デスクトップ仮想化の概念
(1)この章で学ぶこと
(2)デスクトップの仮想化とは
(3)デスクトップ仮想化のメリット・デメリット
2. デスクトップ仮想化のシステム構成
(1)この章で学ぶこと
(2)デスクトップ仮想化のシステム構成
3. 代表的なデスクトップ仮想化製品について
(1)この章で学ぶこと
(2)Vmware Horizon
(3)Citrix Virtual Apps and Desktops
(4)日立SPC
(5)VDIライセンスについて
4. 修了試験
備考 ・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

UXE003 クラウド/サーバ仮想化
eラーニング 4時間
<eラーニング>クラウドコンピューティング入門

クラウドコンピューティングの基本的な内容、適用技術を学習します。

到達目標 クラウドコンピューティングの概要を説明できる。
対象者 クラウドコンピューティングに関する基礎的な知識を必要とする方。
前提知識 特に必要としません。
内容 1. クラウドコンピューティングとは
(1)クラウドコンピューティングの定義
(2)クラウドコンピューティングの背景と出現
(3)クラウドコンピューティングの提供形態
(4)クラウドコンピューティングのサービスモデル
(5)クラウドコンピューティングの歴史
(6)クラウドコンピューティングのメリット、デメリット
(7)クラウドコンピューティングの動向
2. クラウドコンピューティングの適用
(1)パブリッククラウドの適用
(2)プライベートクラウドの構築と運用
(3)クラウドを支える基礎技術
3. 修了試験
備考 ・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HiRDB
OpenTP1
VOS3
XDM
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
DXマインド・プロセス・マネジメント
課題分析（何をなすべきかを着想する）
仮説構築（ビジネスモデルをデザインする）
プロトタイピングと価値検証（共通）
プロトタイピングと価値検証（データ環境構築）
プロトタイピングと価値検証（分析モデル構築）
RPA
クラウド／サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義／設計
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス／ヒューマン
グローバル
OT（製造・生産技術）

CLE002 クラウド/サーバ仮想化

<eラーニング> Cloud beginnerのための インフラストラクチャ基礎

6時間

サーバ、ネットワーク、ストレージ、認証、DNS（名前解決）、データベース、HA、バックアップ、クラウドの基本（XaaS、仮想化、パブリック／プライベートクラウド）といった点について、クラウドの研修を受講する前に押さえておきたい基礎を学習します。

- 到達目標：クラウドを利用するうえで必要となるインフラの基礎知識を修得し、AWS認定コースなどのクラウド研修の前提知識を修得できる。
- 対象者：・これからクラウドを利用するにあたり、インフラの幅広い知識を修得したい方。
  ・AWS認定コースなどのクラウド研修を受講前に、前提知識を修得したい方。
- 前提知識：コンピュータの基礎知識があること。
- 内　容：1. 仮想サーバ
  2. ストレージ
  3. コンテナ
  4. ネットワーク
  5. DNS
  6. データベース
  7. バックアップ
  8. 可用性
  9. クラウド
- 備　考：・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
  ・説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
  ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
  ・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

CLJ003 クラウド/サーバ仮想化

クラウドコンピューティング技術解説

1日間

クラウドコンピューティングの概要と要素技術、クラウドソリューションの全体像について学習します。

- 到達目標：・クラウドの概要と種類を理解できる。
  ・クラウドの要素技術を理解できる。
- 対象者：IT新技術に興味をお持ちのSE、ソフトウェア開発者の方。
- 前提知識：特に必要としません。
- 内　容：1. クラウドコンピューティングの概要
  2. クラウド・サービス
  3. クラウドを支える革新技術群

CLJ017 クラウド/サーバ仮想化

クラウドアプリケーション開発

Renewal

2日間

クラウド環境によるアプリケーションを効果的に設計する上で、必須となる「スケール」について学習します。従来の3層アーキテクチャでのアプリケーション構造との比較、留意点などの知識を学習します。併せて、クラウドサービスを利用した「サーバーレスアーキテクチャ」によるアプリケーション開発の考え方を学習します。マシン演習では、Amazon Web Servicesを利用します。

- 到達目標：・スケールアウトするうえで注意すべき点を理解する。
  ・スケーラビリティを意識した設計ができる。
  ・Webアプリケーションをスケールアウトさせる実装ができる。
  ・クラウドサービスのメリットを活かしたサーバーレスアーキテクチャを理解できる。
- 対象者：クラウド環境化でのWebアプリケーションを設計される方。
- 前提知識：「サーバサイドJavaプログラミングーServlet/JSP編ー」コースを修了しているか、同等の知識があること。
- 内　容：1. クラウド概要
  2. Webレイヤでのスケール
  3. APレイヤでのスケール
  4. DBレイヤでのスケール
  5. サーバーレスアーキテクチャ

CLD001 クラウド/サーバ仮想化

事業と技術の観点から検討する クラウドへの移行と管理 ―Cloud Essentials―

2日間

特定の技術やベンダーに依存しない、汎用的なクラウドの事業上および技術的な観点について学習します。クラウドの導入、運用および管理の方法についての理解を深めます。

- 到達目標：・クラウドの事業上の利点、考慮点を理解しお客様にクラウドサービスのコンサルテーションができるようになる。
  ・ITサービスマネジメントの観点からクラウド・コンピューティングへ移行する場合の検討事項を理解できる。
- 対象者：クラウドサービスの提案を行うプレSE・営業の方。
- 前提知識：「クラウドコンピューティング技術解説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
- 内　容：1. クラウド・コンピューティングの概要
  2. 事業上の観点
  3. 技術上の観点
  4. クラウド・コンピューティングの導入
  5. クラウド・コンピューティングの運用
  6. クラウド・コンピューティングの管理
- 備　考：・このコースは、CompTIA社認定コースです。
  ・このコースは「研修のみ」です。認定試験および受験費用は含まれていません。資格を取得するには、別途ピアソンVUEでの受験が必要となります。
  ・このコースの内容は、予告なく変更される場合があります。
  ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

CLJ011 クラウド/サーバ仮想化

Microsoft Azure概説

1日間

Microsoft Azureの概要およびMicrosoft AzureのPaaS機能、IaaS機能について学習します。マシン実習によりMicrosoft AzureのPaaS、IaaSに対する理解を深めます。なお、演習では、2015年12月から正式提供が開始された新ポータルを使用します。

- 到達目標：・Microsoft Azureの概要を説明できる。
  ・簡単なプログラムを開発しMicrosoft AzureのPaaS機能を利用できる。
  ・Microsoft AzureのIaaSを利用した仮想マシンを作成できる。
- 対象者：ITエンジニア職、若手・中堅の方で、Microsoft Azureを初めて学習する方。
- 前提知識：「クラウドコンピューティング入門」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
- 内　容：1. Microsoft Azureの概要
  2. Microsoft AzureによるPaaS
  3. Microsoft AzureによるIaaS

CLJ018 クラウド/サーバ仮想化

Microsoft Azureを利用した IoT+AI入門 ―サービス概要から操作体験―

New

1日間

Azure IoTを利用したIoTデバイスからAzureへのデータ送信の概要とAzure AIを用いたデータ分析の概要について、マシン実習を通して学習します。
※本コースでは、IoTデバイスとして、Raspberry piを利用します。
※本コースは、IoTとAIの詳細について学習するコースではありません。

- 到達目標：・Azure IoTの概要が説明できる。
  ・IoTデバイスから、Azureにデータを送ることができる。
  ・Azure AIの概要が説明できる。
  ・IoTデバイスから受け取ったデータを、AIサービスを利用して分析をすることができる。
- 対象者：Azure IoTとAzure AIに興味があり、初めてAzure IoTとAzure AIを学習する方。
- 前提知識：「Microsoft Azure概説」コースを修了しているか、同等の知識があること。
- 内　容：1. Microsoft Azureの概要
  2. Azure IoTの概要
  3. Azure AIの概要
  4. Azure IoTとAIの連係

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

CLJ009 クラウド/サーバ仮想化

Microsoft Azureを用いた Webアプリ開発入門

1日間

Microsoft AzureのWeb Appsやクラウドサービス上に、Webアプリを開発、配置する方法を、マシン実習を通して学習します。また、WebアプリのデータをSQLデータベースやストレージに保存する方法も学習します。

- 到達目標：・Microsoft Azure上で動作するWebアプリの開発方法を説明できる。
  ・Microsoft Azure上でWebアプリを動作させるためのサービスの概要を説明できる。
  ・Microsoft Azure上で動作する簡単なWebアプリを開発できる。
  ・Microsoft Azure上のSQLデータベースと連携するWebアプリを開発できる。
- 対象者：・Microsoft Azure上で動作するWebアプリを開発したい方。
  ・Microsoft Azure上で動作するWebアプリの開発方法を知りたい方。
- 前提知識：「Microsoft Azure概説」コースを修了しているか、同等の知識があること。
- 内　容：1. Microsoft Azureで動作するWebアプリの開発概要
  2. Web Appsを利用したWebアプリ開発
  3. クラウドサービスを使用したWebアプリ開発
  4. ストレージサービスの利用
  5. SQLデータベースの利用
- 備　考：このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

CLD014 クラウド/サーバ仮想化

【短縮版】 Microsoft Azure Administrator

New

3日間

Microsoft Azure Administrator試験に対応した、Microsoft AzureのIaaSサービス、IDaaSサービスについて基礎的な内容を学習します。

- 到達目標：・Azureの管理ツールを使用して、Azureを管理できる。
  ・仮想マシンを作成できる。
  ・ストレージを作成できる。
  ・仮想ネットワークの構成ができる。
  ・バックアップの構成ができる。
  ・サイト間接続ソリューションの構成ができる。
  ・ネットワークトラフィックの管理ができる。
  ・サブスクリプションやアカウントの管理ができる。
  ・Azure Active Directoryの実装方法が説明できる。
  ・ID保護の方法を説明できる。
  ・データ共有の方法を説明できる。
  ・Azureインフラストラクチャの監視ができる。
- 対象者：Microsoft Azureの基礎知識を修得したい方、Microsoft Azure Administrator試験に対応した内容を学習したい方。
- 前提知識：「Microsoft Azure概説」コースを修了しているか、同等の知識があること。
- 内　容：1. Azureの管理
  2. Azure仮想マシン
  3. Azure Storage
  4. 仮想ネットワーク
  5. サイト間接続
  6. Azureの監視
  7. データ保護
  8. ネットワークトラフィック管理
  9. Azure Active Directory
  10. IDの保護
  11. ガバナンスとコンプライアンス
  12. データサービス
- 備　考：開始日30営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。

CLD010 クラウド/サーバ仮想化

AWS Technical Essentials

2日間

AWSの特徴やコアサービスを学習し、コアサービスを利用して高い可用性を持つWebシステムを構築します。構築したWebシステムの性能監視とログの収集やバックアップなどを実施し、AWS上のシステムの基本的な運用管理を学習します。

- 到達目標：・データセンター設計の基本概念を理解できる。
  ・AWSプラットフォームに関連する用語と概念を理解し、AWSマネジメントコンソールを操作できる。
  ・VPC、EC2、EBS、S3、RDS、Auto Scaling、およびELBといった基盤インフラストラクチャサービスを理解し基本的な操作ができる。
  ・AWSの提供するセキュリティ対策と、IAMの主要概念を理解できる。
  ・AWSの性能監視およびログ収集のサービスであるAmazon CloudWatchを理解し基本的な操作ができる。
  ・AWS Trusted Advisorを理解できる。
  ・AWSのコアサービスを使って、スケーラブルで可用性のあるWebシステムを構築できる。
  ・Webシステムのバックアップとリカバリができる。
- 対象者：・これからAWSを使い始める方。
  ・AWSのサービスについて技術上の利点をお客さまに説明する方。
  ・AWSのソリューションアーキテクト（設計構築者）、システム運用管理者、および開発者をめざす方。
- 前提知識：・LinuxOSまたは、UNIXOSの導入、管理経験があること（必須）。
  ・一般的なネットワーク概念に関する知識があること（推奨）。
  ・リレーショナルデータベース管理システム（RDBMS）の知識があること（推奨）。
  ・Webシステム構築・運用経験または知識があること（推奨）。
- 内　容：1. AWSの紹介と歴史
  2. AWSインフラストラクチャ：コンピューティング、ストレージ、およびネットワーキング
  3. AWSのセキュリティ、アイデンティティ、およびアクセス管理
  4. AWSのデータベース
  5. AWS管理ツール
  6. EC2とRDSで最小構成のブログサイトを構築する
  7. ELBとRDSのMulti-AZ構成およびS3を使用して高い可用性のブログサイトを構築する
  8. CloudWatchとCloudWatch Logsを使用して性能の監視およびログの収集を実現する
  9. EC2とRDSのスペック変更とEBSボリュームサイズの変更
  10. AutoScalingによるスケーラビリティの実現
  11. EC2およびRDSのバックアップの取得とリカバリ
- 備　考：・このコースは、AWS社認定コースの「AWS Technical Essentials 1」と「AWS Technical Essentials 2」をセットで提供するものです。
  ・このコースは、2017年3月まで実施のAWS社認定コース「AWS実践入門1」「AWS実践入門2」2コースの後継コースです。
  ・このコースは、Gilmore社が提供する電子テキストを使用するため、研修受講にあたりGilmore社のアカウント登録が必要です。
  電子テキストのライセンスコードは研修初日に配布いたしますので、Bookshelfのアカウント登録は研修開始時にお願いいたします。
  既にBookshelfのアカウントをお持ちでしたら、ログインID（メールアドレス）とパスワードをご持参ください。
  ・このコースの内容は、予告なく変更される場合があります。

CLD012 クラウド/サーバ仮想化

Architecting on AWS

3日間

AWSサービスを使って、システムを設計／構築する方法を学習します。また、伸縮自在性、スケーラビリティ、セキュリティ、および高可用性のためのベストプラクティスと機能について学習します。

- 到達目標：・AWS上での、一般的なアーキテクチャーパターンを理解できる。
  ・拡張性、柔軟性、高可用性を考慮したシステム設計を理解できる。
  ・クラウドへの移行パスを理解できる。
  ・コスト最適化を考慮したシステム設計を理解できる。
- 対象者：・AWS上にシステムを設計／構築される方。
  ・AWSをお客さまへご提案される方。
- 前提知識：「AWS Technical Essentials（旧Amazon Web Services実践入門1と実践入門2）」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
- 内　容：1. AWSの主要な知識
  2. AWSの主要サービス
  3. 環境を設計する
  4. 環境の可用性を向上させるパート1
  5. 環境の可用性を向上させるパート2
  6. インフラストラクチャの自動化
  7. インフラストラクチャを疎結合化する
  8. ウェブスケールストレージの設計
  9. そのWell-Architectedフレームワーク
  10. トラブルシューティング
- 備　考：・このコースは、AWS社認定コースです。
  ・このコースは、Gilmore社が提供する電子テキストを使用するため、研修受講にあたりGilmore社のアカウント登録が必要です。
  電子テキストのライセンスコードは研修初日に配布いたしますので、Bookshelfのアカウント登録は研修開始時にお願いいたします。
  既にBookshelfのアカウントをお持ちでしたら、ログインID（メールアドレス）とパスワードをご持参ください。
  ・このコースの内容は、予告なく変更される場合があります。

CLD013 クラウド/サーバ仮想化

Developing on AWS

3日間

セキュアで信頼性が高く、スケーラブルなAWSベースのアプリケーションを設計、構築する方法を学習します。AWS コードライブラリ、SDK、IDE ツールキットの使い方も学習し、AWS プラットフォームでの効率的なコード開発とデプロイの方法を学習します。

- 到達目標：・AWS SDKとIDEツールキットをインストールして設定できる。
  ・基本的なAWSサービス操作をC#またはJavaを利用して自動化できる。
  ・セキュリティモデルを使用してAWSへのアクセスを管理できる。
  ・AWSでのデプロイメントモデルと利用方法を理解できる。
- 対象者：AWSサービスを利用してソフトウェア（アプリケーション）を開発される方。
- 前提知識：・「AWS Technical Essentials（旧Amazon Web Services実践入門1）」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
  ・ソフトウェア開発の実務的知識、クラウドコンピューティングの概念の知識、Javaの基本的な知識があること。
- 内　容：1. Developingon AWSの紹介
  2. データストアを選択する
  3. Amazon S3を使用してストレージソリューションを開発する
  4. Amazon DynamoDBを使用して柔軟なNoSQLソリューションを開発する
  5. イベントの使用
  6. Amazon Kinesisを使用してイベントドリブン型ソリューションを開発する
  7. AWS Step Functions、Amazon SQS、Amazon SNSを使用してイベントドリブン型ソリューションを開発する
  8. AWS Lambdaを使用してイベントドリブン型ソリューションを開発する
  9. 安全なアプリケーションを開発する
  10. スケーラビリティのために情報をキャッシュする
  11. Amazon CloudWatchを使用してアプリケーションとAWSリソースをモニタリングする
  12. AWS Elastic BeanstalkとAWS CloudFormationを使用してアプリケーションをデプロイする
- 備　考：・このコースは、AWS社認定コースです。
  ・このコースは、Gilmore社が提供する電子テキストを使用するため、研修受講にあたりGilmore社のアカウント登録が必要です。
  電子テキストのライセンスコードは研修初日に配布いたしますので、Bookshelfのアカウント登録は研修開始時にお願いいたします。
  既にBookshelfのアカウントをお持ちでしたら、ログインID（メールアドレス）とパスワードをご持参ください。
  ・このコースの内容は、予告なく変更される場合があります。

VMJ007 クラウド/サーバ仮想化

VMware vSphere システム構築実習[V6.7]―実装編―

2日間

VMware vSphere 6.7を使用した仮想マシン環境の構築方法を、実機での実習を通して学習します。

- 到達目標：・サーバ仮想化に関連するVMware製品の概要を説明できる。
  ・VMware vSphere 6.7を使用して、基本的な仮想マシンの実行環境を構築できる。
  ・仮想マシンの構成（仮想マシンの作成/ゲストOSのインストール/リソース割当て）ができる。
  ・vMotionおよびStorage vMotionによる仮想マシンの移動ができる。
  ・VMware vSphere環境における仮想マシンの可用性確保の考え方を説明でき、vSphere HAによる仮想マシンの可用性を確保できる。
  ・VMware vSphereシステムのセキュリティ対策の概要を説明できる。
  ・VMware vSphereシステムの運用、保守の概要を説明できる。
- 対象者：Vmware vSphereを使用した仮想環境を提案・構築予定の方。
- 前提知識：・Windows OSの基本的な管理操作ができること（コマンドプロンプトによるコマンド実行、コンピュータ名/IPアドレスの変更等）。
  ・クライアント/サーバシステムの基本的なシステム構成を理解していること。
- 内　容：1. VMware製品概要
  2. VMware vSphere環境の構築
  3. 仮想マシンの作成
  4. VMware vSphereによる仮想化の仕組み
  5. 仮想環境ならではの機能
  6. リソースの管理と監視
  7. ESXi ホスト間の負荷分散
  8. VMware vSphere環境における可用性の確保
  9. セキュリティの強化
  10. VMware vSphereシステムの運用、保守

VMD010 クラウド/サーバ仮想化

マシン実習
5日間

VMware vSphere: Install, Configure, Manage[V6.7]

ESXiとvCenter Serverを含むVMware vSphere 6.7のインストール、構成、管理を、マシン実習を通して5日間で学習します。このコースはVCP-DCV資格を新規取得する方の、受講必須対象コースです。

到達目標
- vSphere環境の構築と運用に必要な下記の知識、スキル、能力を修得できる。
- ESXiとvCenter Serverのインストールと構成ができる。
- vCenter Serverを使用して、ESXiホストと仮想マシンを管理することができる。

対象者
- ITエンジニア職、若手・中堅の方でVMware vSpherev 6.7を初めて学習する方。
- VCP-DCVを受験する方。

前提知識
サーバ、LAN、SANの基礎知識があり、Windows OSの基本的な操作ができること。

内　容
1. コースについて
2. vSphereとSoftware-Defined Data Centerの概要
3. 仮想マシンの作成
4. vCenter Server
5. 仮想ネットワークの設定および管理
6. 仮想ストレージの設定および管理
7. 仮想マシンの管理
8. リソースの管理および監視
9. vSphere HA、vSphere FTおよびデータ保護
10. vSphere DRS
11. vSphere Update Manager
12. vSphereトラブルシューティング

備　考
- このコースは、ヴイエムウェア株式会社の認定コースです。
- ESXiとvCenter Serverを含むVMware vSphere 6.7のインストール、構成、管理を、マシン実習を通して5日間で学習します。
- VCP-DCV資格を新規取得する方の、受講必須対象コースです。
- このコースの受講には、研修受講にあたりヴイエムウェア株式会社のアカウント登録が必要です。事前登録の詳細は別途ご連絡します。

ITサービスマネジメント

情報システムを活用し、ビジネスを支援するITサービスの業務プロセスを管理・改善するITサービスマネジメントの基礎知識・手法が修得できます。

● システム運用管理に関する基礎知識を身につけたい方

音声なし+説明文有
ITE701 eラーニング
【ナビ機能付き】
運用管理概説
初心者にオススメ 6時間

ITJ008 グループ演習
情報システム運用入門
ーITサービスへー
1日間

● ITIL®に関する知識を修得したい方

Renewal PDU
ITJ014 レクチャ
(PDU)
ITIL®ファンデーション
(ITIL®2011対応)(認定試験付)
3日間

New PDU
ITJ013 レクチャ
(PDU)
ITIL®4ファンデーション
(認定試験付)
3日間

● システム開発・運用を担当する方

音声なし+説明文有
ITE006 eラーニング
SLAにおける
サービスレベル設計の基礎
4時間

ITJ009 グループ演習
IT運用における
ヒューマンエラー予防
1日間

HSJ062 グループ演習
事例から学ぶ
システムトラブル対策の考え方
ー高信頼性システム実現のためにー
1日間

HSJ018 グループ演習
システムトラブルの予防と是正
ーISMS・システム監査の
視点からー
2日間

ITJ004 グループ演習
システム運用の現状分析・
設計力養成ワークショップ
2日間

CLD001 グループ演習
事業と技術の観点から検討
するクラウドへの移行と管理
ー Cloud Essentials ー
2日間

音声有+説明文有 ：説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

JP1を使用してシステムを運用管理する方

JPJ277 マシン実習
JP1操作入門
1日間

JPJ278/JPJ278T レクチャ
JP1エンジニアー機能概説ー
1日間

JPJ279 マシン実習
JP1プロフェッショナル 統合管理1ーシステム監視ー
2日間

JPJ280/JPJ280T マシン実習
JP1プロフェッショナル 統合管理2ーシステム設定ー
2日間

JPJ281/JPJ281T マシン実習
JP1プロフェッショナル 統合管理セットコース
4日間

New
JPJ304 マシン実習
JP1プロフェッショナル 統合管理3 ーインテリジェント統合管理基盤ー
1日間

JPJ282/JPJ282T マシン実習
JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理
2日間

JPJ283 マシン実習
JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 ージョブ定義・監視ー
2日間

JPJ284/JPJ284T マシン実習
JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 ーシステム設定・運用管理ー
2日間

JPJ285/JPJ285T マシン実習
JP1プロフェッショナル ジョブ管理セットコース
4日間

New
JPJ303 マシン実習
JP1プロフェッショナル ジョブ管理 ークライアント業務自動化ー
1日間

JPJ102 マシン実習
JP1/AJS3エキスパート 育成講座ー開発編ー
1日間

JPJ103 マシン実習
JP1/AJS3エキスパート 育成講座ー運用編ー
1日間

JPJ288 マシン実習
JP1プロフェッショナル ネットワーク管理1 ー ネットワーク管理基盤ー
2日間

JPJ289/JPJ289T マシン実習
JP1プロフェッショナル ネットワーク管理2 ーシステムリソース管理ー
1日間

JPJ290/JPJ290T マシン実習
JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 セットコース
3日間

JPJ286 マシン実習
JP1プロフェッショナル IT運用自動化
2日間

JPJ287/JPJ287T マシン実習
JP1プロフェッショナル バックアップ管理
1日間

JPJ291 マシン実習
JP1プロフェッショナル 資産・配布管理1 ー資産管理編ー
1日間

JPJ292 マシン実習
JP1プロフェッショナル 資産・配布管理2 ーセキュリティ管理編ー
1日間

JPJ293/JPJ293T マシン実習
JP1プロフェッショナル 資産・配布管理3 ー配布管理編ー
1日間

JPJ294/JPJ294T マシン実習
JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 セットコース
3日間

JPJ295/JPJ295T マシン実習
JP1プロフェッショナル セキュリティ管理
1日間

JPJ298 レクチャ
JP1コンサルタント ジョブ管理ーシステム設計編ー
1日間

JPJ299/JPJ299T レクチャ
JP1コンサルタント ジョブ管理ーチューニング編ー
1日間

JPJ300/JPJ300T レクチャ
JP1コンサルタント 資産・配布管理
1日間

JPJ296/JPJ296T レクチャ
JP1コンサルタント 統合管理
1日間

JPJ297/JPJ297T レクチャ
JP1コンサルタント パフォーマンス管理
1日間

JPJ301/JPJ301T レクチャ
JP1コンサルタント ネットワーク管理
1日間

音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

資格 ITIL®認定資格

ITIL®［Information Technology Infrastructure Library］は、英国政府が作成したITサービスマネジメントのベストプラクティスがまとめられた書籍です。
ITIL®は、システム運用管理を中心とした幅広い分野で広く利用され、現在、ITサービスマネジメントの世界的な業界標準として普及しています。
ITIL®認定資格は、ITIL®をベースとしたITサービスマネジメントに関するスキルを証明する資格です。

詳しくは、日立アカデミーのWebサイトにてご確認ください。
https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/license/itil.html

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

ITE701 ITサービスマネジメント
eラーニング 6時間
<eラーニング>【ナビ機能付き】運用管理概説

システム運用管理の必要性や、管理項目を学習します。また、各担当の役割や各運用管理の作業内容を、演習を通して理解を深めます。

到達目標
・ITサービスとITシステムの運用管理の必要性の関係を理解し、説明できる。
・運用管理の体制と各担当の作業概要を説明できる。
・システム運用の管理項目の種類や作業概要を説明できる。

対象者
・これから運用業務に携わる方。
・システムサービスの企画・設計に携わる方で、運用管理の知識が必要な方。

前提知識 ITの基本用語ついて知識があること。

内 容
1. ITサービスマネジメント概要
 (1)サービスとは
 (2)ITサービスとITシステム
2. 運用管理概要
 (1)運用管理の目的
 (2)有用性、保証
3. 運用管理の活動
 (1)安定したサービスを提供するための活動
 (2)サービスを安全に変更するための活動
 (3)より良いサービスを提供するための活動
4. 修了試験

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

ITJ008 ITサービスマネジメント
グループ演習 1日間
情報システム運用入門 ー運用からITサービスへー

システム運用の必要性、作業項目、体制について、基本的な考え方を講義と演習を通して学習します。演習を通して、システム運用を行ううえで必要な活動への理解を深めます。

到達目標
・システム運用の管理項目の種類や役割を説明できる。
・ITサービスとITシステムの運用管理の必要性の関係を理解し、説明できる。

対象者
・これから情報システムの運用業務に携わる方。
・システムサービスの企画・設計に携わる方で運用管理の知識が必要な方。

前提知識 ITの基本用語ついて知識があること。

内 容
1. ITサービスマネジメント概説
 (1)サービスとITサービス
  ・サービスとは
  ・ITサービスとは
  ・サービスの有用性と保証
 (2)ITサービスの管理
  ・ITサービスのライフサイクル
2. 運用管理概説
 (1)運用管理の目的
 (2)運用管理の対象
 (3)運用管理の体制
3. 運用管理の活動
 (1)安定したITサービスを提供するための活動
  ・日常の活動
  ・障害発生時の対応
  ・障害対策
  ・災害対策
 (2)ITサービスを安全に変更するための活動
  ・変更管理、リリース・展開管理
  ・資産・構成管理
 (3)より良いITサービスを提供するための活動
  ・運用改善サイクル、ナレッジ管理

備 考
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
・このコースは、「【ナビ機能付き】運用管理概説」eラーニングコース（ITE701）と同等の内容です。eラーニングをご受講済の方は、申し込まれないようご注意ください。

ITJ014 ITサービスマネジメント
レクチャ 3日間
（PDU）ITIL®ファンデーション（ITIL®2011対応）（認定試験付）PDU

Renewal

ITIL®は、ITサービスマネジメントのベストプラクティスです。このコースでは、ITIL®にて紹介されたライフサイクルモデルを学習します。当社はPeopleCert®の認定教育事業者（ATO）であるITプレナーズ社の認定アフィリエイトです。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：18ポイント）の修得が可能です。
※本コースは、ITIL®v3(2011edition)に対応しています。

到達目標
・ITサービスマネジメントの中枢となる分野と概念を説明できる。
・組織におけるITIL®実装の有益性を説明できる。

対象者 ITIL®ファンデーション資格の取得をめざす方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. プラクティスとしてのサービスマネジメント
2. サービスライフサイクル
3. サービスストラテジ
4. サービスデザイン
5. サービストランジション
6. サービスオペレーション
7. 継続的サービス改善
8. 技術とアーキテクチャ
9. 試験対策
10. 認定試験

備 考
・このコースは、認定試験「ITIL®Foundation」が含まれています。受験当日、本人を確認できる顔写真付き証明書（免許証、従業員証、パスポートなど）を忘れずにご持参ください。ご持参いただかない場合は、受験が無効になることがありますので、ご注意ください。
・このコースをご受講の場合、受講者の個人情報を試験機関に提供いたします。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。
・当社はPeopleCert®の認定教育事業者（ATO）であるITプレナーズ社の認定アフィリエイトです。

※別途ご案内いたします。

ITJ013 ITサービスマネジメント
レクチャ 3日間
（PDU）ITIL®4ファンデーション（認定試験付）PDU

New

ITIL®4は、ITサービスマネジメントのベストプラクティスです。このコースでは、用語や概念からITIL®4のコアコンセプトを学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：18ポイント）の修得が可能です。

到達目標
・ITサービスマネジメントの主要なコンセプトを説明できる。
・組織が、従うべき原則の支援を受けながらどのようにITIL®サービスマネジメントを適用し、適応できるかを説明できる。
・ITIL®サービスマネジメントの4つの側面を説明できる。
・ITIL®サービスバリューシステムの目的と構成要素、サービスバリューチェーンの活動、ならびにそれらの関連性を説明できる。
・継続的改善の主要なコンセプトを説明できる。
・ITIL®プラクティスについて学び、それらがバリューチェーンの活動にどう貢献するかを説明できる。

対象者 サービスマネジメント分野において第一歩を踏み出したいと考えている、ITおよび事業部門双方の方。また、旧来のITIL®や類似したベストプラクティスについて知識を有しており、ITIL®4について学びたいと考えている方。ITIL®ファンデーション資格の取得をめざす方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. サービスマネジメント・主要なコンセプト
2. 従うべき原則
3. サービスマネジメントの4つの側面
4. サービス・バリューシステム
5. 継続的改善
6. ITIL®プラクティスの概要
7. 試験対策
8. 認定試験

備 考
・このコースは、認定試験「ITIL® Foundation」が含まれています。受験当日、本人を確認できる顔写真付き証明書（免許証、従業員証、パスポートなど）を忘れずにご持参ください。ご持参いただかない場合は、受験が無効になることがありますので、ご注意ください。
・このコースをご受講の場合、受講者の個人情報を試験機関に提供いたします。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。
・当社はPeopleCert®の認定教育事業者（ATO）であるITプレナーズ社の認定アフィリエイトです。

ITE006 ITサービスマネジメント
eラーニング 4時間
<eラーニング> SLAにおけるサービスレベル設計の基礎

ITサービスの設計要素として、キャパシティ、可用性、継続性の項目を学習します。サービスレベルに基づくサービス設計の基礎を身につけます。

到達目標
・ITサービスのキャパシティ、可用性、継続性を説明できる。
・キャパシティ、可用性、継続性の基本的な設計ができる。

対象者 ITサービスの設計を行う方。

前提知識 ITIL®の概要、用語の知識があること。

内 容
1. ITサービスの設計の概要
2. 可用性管理の設計
3. キャパシティ管理の設計
4. 継続性管理の設計
5. 情報セキュリティの設計
6. 修了試験

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

ITJ009 ITサービスマネジメント
グループ演習 1日間
IT運用におけるヒューマンエラー予防

IT運用現場で起こり得るヒューマンエラーについて、講義と演習を通して学習します。トラブル・事故事例から、ヒューマンエラーの影響と発生のメカニズムを理解します。演習では、自職場での効果的なヒューマンエラー防止策を立案します。

到達目標
・IT運用の現場で起こるヒューマンエラーについて理解できる。
・ヒューマンエラーが起こるメカニズムを理解し、未然に防ぐ方法を理解できる。
・効果的なヒューマンエラー防止策を実施できる。
・チームのヒューマンエラーを無くすための指導やプロセス改善を考えることができる。

対象者 IT運用に携わっている方、IT運用の部署のチームリーダまたはリーダになる方。

前提知識 IT運用の基礎知識があること。IT運用の実務経験があることが望ましい。

内 容
1. IT運用の事故・トラブル
2. ヒューマンエラーとは
3. ヒューマンエラーの防止策

備 考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

ITJ004 ITサービスマネジメント

グループ演習 2日間

システム運用の現状分析・設計力養成ワークショップ

システム運用管理において、現状の課題分析を行い、運用管理ツール（JP1）の導入による運用改善の策定を通して、システム運用設計のスキルを修得します。

到達目標
・システム運用の課題を認識し、解決策を考えることができる。
・ITサービスの改善プロセスを理解し実行できる。

対象者 運用業務に携わる方、運用を考慮したシステム企画・設計を行う方。

前提知識 「【ナビ機能付き】運用管理概説」eラーニングコースを修了しているか、または運用管理の知識があること。

内　容
1. オリエンテーション
　(1)サービス改善のアプローチ
2. 現状の運用理解と運用課題の洗い出し
　(1)システムにより提供されるサービスの目的を確認
　(2)現状の運用を確認
3. 運用管理の改善
　(1)サービスで提供すべきゴール（KPI）を設定
4. 改善後の運用設計
　(1)ゴールを達成するための運用の設計
　(2)ゴール達成度の評価方法の設計（測定項目と測定基準）

備　考
・このコースは、運用ツールとしてJP1製品の活用を想定し、運用業務の設計を行います。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

IT基本

IT基礎力に必要な知識や技術が修得できます。

ITの基礎力を身につけたい方

- SJJ009 レクチャ　コンピュータ基礎　初心者にオススメ　5日間
- SJE701 eラーニング（音声なし+説明文有）【ナビ機能付き】コンピュータ基礎 −ハードウェア編−　初心者にオススメ　8時間
- SJE702 eラーニング（音声なし+説明文有）【ナビ機能付き】コンピュータ基礎 −ソフトウェア編−　初心者にオススメ　8時間
- SJE703 eラーニング（音声なし+説明文有）【ナビ機能付き】コンピュータ基礎 −情報の基礎理論編−　初心者にオススメ　4時間
- SJE704 eラーニング（音声なし+説明文有）【ナビ機能付き】コンピュータ基礎 −情報システム編−　初心者にオススメ　4時間
- SCE708 eラーニング（音声なし+説明文有）【ナビ機能付き】情報セキュリティリテラシー − セキュリティの必要性と対策−　初心者にオススメ　4時間
- CBE006 eラーニング（音声なし+説明文有）アルゴリズムの基礎 −フローチャート編−　初心者にオススメ　16時間
- CBJ001 レクチャ（休講）アルゴリズムの基礎 −フローチャート編−　初心者にオススメ　2日間
- NWJ103 レクチャ　ネットワーク基礎　初心者にオススメ　2日間
- NWE706 eラーニング（音声なし+説明文有）【ナビ機能付き】ネットワーク基礎 I −イーサネットの仕組み−　初心者にオススメ　12時間
  → NWE707 eラーニング（音声なし+説明文有）【ナビ機能付き】ネットワーク基礎 II −TCP/IPの仕組み−　12時間
- DBJ045 マシン実習　データベース入門 −解説と操作体験−　初心者にオススメ　1日間
- DBE711 eラーニング（音声なし+説明文有）【ナビ機能付き】データベース基礎　初心者にオススメ　8時間
- SJJ030 マシン実習　アプリケーション開発者のための文字コード入門 −アプリケーションの文字化けを防ぐ−　1日間
- ESE701 eラーニング（音声有+説明文なし）【ナビ機能付き】組込みシステムとは　初心者にオススメ　7時間
- NWE712 eラーニング（音声なし+説明文有）【ナビ機能付き】基礎から学ぶネットワーク運用管理　12時間
- UXJ070 マシン実習　gitによるソフトウェア構成管理　1日間

ITエンジニアをめざす方

- SJJ009 レクチャ　コンピュータ基礎　初心者にオススメ　5日間
- SCE708 eラーニング（音声なし+説明文有）【ナビ機能付き】情報セキュリティリテラシー − セキュリティの必要性と対策−　初心者にオススメ　4時間
- （休講）CBJ001 レクチャ　アルゴリズムの基礎 −フローチャート編−　初心者にオススメ　2日間
- NWJ103 レクチャ　ネットワーク基礎　初心者にオススメ　2日間
- DBJ045 マシン実習　データベース入門 −解説と操作体験−　初心者にオススメ　1日間

→ OJJ016 マシン実習　Javaプログラミング1（基本文法編）　初心者にオススメ　3日間
または
OJE702 eラーニング（音声有+説明文なし）【ナビ機能付き】Javaプログラミング1（基本文法編）　初心者にオススメ　24時間

→ OJJ017 マシン実習　Javaプログラミング2（基本クラス編）　2日間
または
OJE703 eラーニング（音声有+説明文なし）【ナビ機能付き】Javaプログラミング2 −基本クラス編−　16時間

→ OJE020 eラーニング（音声有+説明文有）【スキル定着】Javaプログラミング1（前編）　4時間
→ OJE021 eラーニング（音声有+説明文有）【スキル定着】Javaプログラミング1（後編）　4時間

音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

SJJ009 IT基本

レクチャ 5日間

コンピュータ基礎

情報処理技術者として必要となる基礎知識を学習します。

到達目標
- コンピュータの動作原理や情報システムの仕組みを説明できる。
- ネットワークやデータベースの基本を説明できる。
- システム開発の手順と各工程の作業を説明できる。

対象者 これから情報システム部門に在籍し、システムを開発またはシステムを運用する方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. コミュニケーションネットワークとコンピュータシステム
2. 入出力装置
3. 記憶装置
4. 中央処理装置
5. オペレーティングシステム
6. 情報処理技術の基礎と理論
7. ファイル編成とデータベース
8. 通信ネットワークシステム
9. 情報セキュリティ
10. 情報システムとRASIS
11. 情報システムの開発

SJE701 IT基本

eラーニング 8時間

<eラーニング>【ナビ機能付き】コンピュータ基礎−ハードウェア編−

情報処理技術者として必要なハードウェアの基礎知識を学習します。

到達目標 情報処理技術者として必要なハードウェアの基礎知識について説明できる。

対象者 これから情報システム部門に在籍し、システムを開発またはシステムを運用する方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. コンピュータとは
   (1)コンピュータとは
   (2)コンピュータの5大基本機能（装置）
2. 記憶装置
   (1)記憶階層　(2)主記憶装置
   (3)半導体（IC）メモリ
   (4)ハードディスクドライブ（HDD）
   (5)その他の補助記憶装置
3. CPU
   (1)CPUの構成要素
   (2)制御装置
   (3)演算装置
   (4)パス
   (5)CPUの高速化
4. 入出力装置
   (1)入力装置
   (2)出力装置
   (3)I/O（Input/Output）
5. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、集合研修「コンピュータ基礎」コース（SJJ009）と学習内容が重複します。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SJE702 IT基本

eラーニング 8時間

<eラーニング>【ナビ機能付き】コンピュータ基礎−ソフトウェア編−

情報処理技術者として必要なソフトウェアの基礎知識を学習します。

到達目標 情報処理技術者として必要なソフトウェアの基礎知識について説明できる。

対象者 これから情報システム部門に在籍し、システムを開発またはシステムを運用する方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. OSの制御プログラム
   (1)タスク管理
   (2)記憶管理
   (3)ジョブ管理
   (4)ファイル管理
2. 言語
   (1)言語プロセッサ
   (2)主記憶装置
   (3)プログラムの作成と実行
   (4)プログラム言語の種類とプログラムの性質
3. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、集合研修「コンピュータ基礎」コース（SJJ009）と学習内容が重複します。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

ESE701 IT基本

eラーニング 7時間

<eラーニング>【ナビ機能付き】組込みシステムとは

組込みシステム技術者の全体的な技術基礎力向上のために、組込みシステムで用いられるハードウェア、ソフトウェアに関する技術を学習します。

到達目標
- 組込みシステムで用いられるハードウェア、ソフトウェアに関して説明できる。
- 組込みソフトウェアが動作するしくみを説明できる。
- リアルタイムOSの概要を説明できる。

対象者 組込みソフトウェアを開発する方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 組込みシステムとは
2. 組込みシステムの基本アーキテクチャ
3. 組込み製品の開発に必要な知識
4. マイコンを利用したソフトウェア開発の基礎
   (1)組込みソフトの開発環境
   (2)入出力制御の概要
   (3)割り込み
5. リアルタイムOSとは
   (1)リアルタイムOSの機能と役割
   (2)タスクと状態遷移
   (3)リアルタイムOSの種類
   (4)リアルタイムOSを使用したシステム構築手順
6. 組込みシステムに関する新技術
7. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SJE703 IT基本

eラーニング 4時間

<eラーニング>【ナビ機能付き】コンピュータ基礎−情報の基礎理論編−

情報処理技術者として必要な情報基礎理論の基礎知識を学習します。

到達目標 情報処理技術者として必要な情報基礎理論の基礎知識について説明できる。

対象者 これから情報システム部門に在籍し、システムを開発またはシステムを運用する方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. データの表現
2. 基数
3. 固定小数点数
4. 浮動小数点数
5. 精度
6. 論理演算
7. 論理回路
8. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、集合研修「コンピュータ基礎」コース（SJJ009）と学習内容が重複します。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SJE704 IT基本

eラーニング 4時間

<eラーニング>【ナビ機能付き】コンピュータ基礎−情報システム編−

情報処理技術者として必要な情報システムの基礎知識を学習します。

到達目標 情報処理技術者として必要な情報システムの基礎知識について説明できる。

対象者 これから情報システム部門に在籍し、システムを開発またはシステムを運用する方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. システム構成
   (1)システムの形態
   (2)処理形態
2. システム性能
   (1)CPUの性能
   (2)システムの性能
3. システムの信頼性
   (1)RASIS
   (2)稼働率
   (3)高信頼システム
   (4)RAID
4. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、集合研修「コンピュータ基礎」コース（SJJ009）と学習内容が重複します。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SJJ030 IT基本

マシン実習 1日間

アプリケーション開発者のための文字コード入門 −アプリケーションの文字化けを防ぐ−

代表的な文字セットと符号化方式を、バイナリエディタを使用した演習を通して学習します。外字や重複文字、改行コードの扱いなど、文字コードが関係するさまざまな問題について扱います。

到達目標
- 代表的な符号化文字集合と符号化方式を説明できる。
- 符号化された文字の実体を確認し文字化けの理由を説明できる。
- 外字や改行コード、全角半角など、ソフトウェアでの文字の扱いに関する諸問題を説明できる。

対象者 コンピュータ上での文字の扱いに関する基礎的な知識を修得したい方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があり、2進数や16進数への基数変換について理解していること。

内 容
1. はじめに
2. コンピュータでの文字の扱い方
3. 代表的な符号化文字集合
4. 代表的な文字符号化方式
5. 文字コードが関係する諸問題
6. プログラミング言語と文字コード

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

オープンソースソフトウェア（OSS）

OSSの概要や活用方法を理解し、OSSによるシステム運用やサーバ構築に関する技術が修得できます。

● OSSを利用する方

音声なし+説明文有
UXE004 eラーニング
オープンソースソフトウェア(OSS)概説
3時間

要件定義／設計
・DevOpsによるアプリケーション開発の流れを理解したい方

● OSSを使用してシステムを運用・管理する方

UXJ029 マシン実習
Linuxシステム管理 前編 −Linuxインストールとシステム／ネットワーク管理の基礎−
2日間

UXJ030 マシン実習
Linuxシステム管理 後編 −システム起動の仕組みとディスク管理技術−
2日間

UXJ077 マシン実習
Linuxで実現！ Zabbixによるシステム監視
1日間

ネットワーク

● 仮想環境を構築・管理する方

UXJ029 マシン実習
Linuxシステム管理 前編 −Linuxインストールとシステム／ネットワーク管理の基礎−
2日間

UXJ079 マシン実習
Linuxにおける コンテナ環境の使い方 −DockerとKubernetes編−
1日間

ネットワーク

<Linux Foundation認定コース>

New 音声有+説明文有
UXE005 eラーニング
Hyperledger Fabric基礎
35時間

New 音声有+説明文有
UXE006 eラーニング
Kubernetes基礎
35時間

音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

● OSSによるサーバ構築をする方

UXJ029 マシン実習
Linuxシステム管理 前編 −Linuxインストールとシステム／ネットワーク管理の基礎−
2日間

Renewal
UXJ081 マシン実習
OSSによるWebシステム構築入門−Linux、Apache、PostgreSQL、PHP−
2日間

ネットワーク

● PostgreSQL を使用してデータベースを管理・運用する方

DBJ045 マシン実習
データベース入門 −解説と操作体験−
初心者にオススメ 1日間

または

音声なし+説明文有
DBE711 eラーニング
【ナビ機能付き】 データベース基礎
初心者にオススメ 8時間

DBJ063 マシン実習
基礎から学ぶSQL −現場で使える力をつける−
2日間

音声なし+説明文有
DBE703 eラーニング
【ナビ機能付き】 SQL入門
初心者にオススメ 8時間

Renewal
UXJ082 マシン実習
OSS-DB PostgreSQL 導入と運用
2日間

UXE004 オープンソースソフトウェア(OSS)

eラーニング 3時間

<eラーニング> オープンソースソフトウェア(OSS)概要

OSSのビジネスモデルや活用領域の紹介を通して、さまざまな分野におけるOSSの利活用手法の基礎を学習します。

到達目標
・OSSの概要を説明できる。
・OSSの活用方法を説明できる。
・OSSが活用されている分野を理解できる。

対象者
・OSSの概要を修得したい方。
・OSS関連事業に従事する方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. OSSとは
2. OSSの活用領域
3. OSS活用におけるコンプライアンス

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

UXJ077 オープンソースソフトウェア(OSS)

マシン実習 1日間

Linuxで実現! ZabbixによるシステムLinux監視

LinuxシステムにZabbixを用いたシステム監視を学習します。また、マシン実習を通して、Zabbixの設定および操作を体験します。

到達目標
・システム監視でよく使う監視項目について説明できる。
・Zabbixによる監視システムを実装できる。

対象者 Linuxシステムを運用・管理する方。

前提知識 「Linuxシステム管理前編ーLinuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. システム監視の概要
2. Zabbixの概要
3. Zabbixのインストールおよび設定
4. 運用監視

UXJ079 オープンソースソフトウェア(OSS)

マシン実習 1日間

Linuxにおけるコンテナ環境の使い方 ーDockerとKubernetes編ー

Dockerを使ってコンテナの概要を学習します。また、コンテナ環境の自動展開やスケーリングといった運用を行うためのツールとして良く利用されるKubernetesとMinikubeを使用して学習します。

到達目標 コンテナの概要を修得し、Kubernetes環境でコンテナを操作できる。

対象者 ITエンジニア職、若手・中堅の方で、コンテナを効率よく管理するツールとしてKubernetesを使用したい方。

前提知識 「Linuxシステム管理前編ーLinuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. コンテナ
 (1)コンテナ概要
 (2)Dockerの基本機能
 (3)Dockerの構築と操作
2. Kubernetes
 (1)Kubernetesの概要
 (2)Kubernetesのアーキテクチャ
 (3)Minikubeを使用したKubernetes環境の構築
 (4)Kubernetesの操作

UXJ082 オープンソースソフトウェア(OSS)

マシン実習 2日間 Renewal

OSS-DB PostgreSQL 導入と運用

これからPostgreSQLを使用したシステム構築を行う開発者や管理者の方を対象に、PostgreSQLのインストールや基本的な設定、基本的な使い方について解説します。更にバックアップやリストア、PITRなどの運用管理、性能チューニング、障害対応について解説します。

到達目標 PostgreSQLを用いたデータベースシステムの構築や管理作業を行うことができる。

対象者 PostgreSQLを用いたデータベースシステムの構築や管理作業を行う方。

前提知識 「基礎から学ぶSQLー現場で使える力をつけるー」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内 容
1. オープンソースデータベースの一般的特徴
2. インストール
3. 標準付属ツール
4. トランザクションとスキーマ
5. アーキテクチャ
6. セキュリティ
7. メンテナンス
8. 実行計画
9. 性能分析
10. 性能改善
11. 障害対応
12. PITR
13. Streaming Replication

UXE005 オープンソースソフトウェア(OSS)

eラーニング 35時間 New

<eラーニング> Hyperledger Fabric基礎

ブロックチェーンと分散台帳技術の基本概念を学びます。
Hyperledger Fabricのコア・アーキテクチャとコンポーネントをカバーしています。
例えば、以下の内容を学びます。
・ビジネスロジック実装…(Hyperledger Fabricのスマートコントラクトである)Chaincodeを通して
・トランザクションタイプの参照方法…分散台帳への読み書きのために利用
・アプリケーションからトランザクションを投入する方法…Hyperledger Fabric Javascript SDKを利用
受講者はソフトウェアをインストール可能なPCを用意いただくことを推奨します。
お手元にPCを用意いただくことで、画面の解説に従ってソフトウェアをインストールおよびハンズオンで確認しながら学習することができます。

到達目標
・ブロックチェーンと分散台帳技術の基本概念を理解できる。
・Hyperledger Fabricのコア・アーキテクチャとコンポーネントを理解できる。

対象者 ブロックチェーン(特にHyperledger)の技術の全体像を知りたい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容 イントロダクション
1. Blockchainと分散台帳技術
2. Hyperledger Fabric
3. Hyperledger Fabricでのトランザクション
4. Hyperledger Fabricでのトランザクションーフル・ライフサイクル
5. メンバーシップ・サービス、MSPとチャネル

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・日立アカデミーはThe Linux Foundation Authorized Training Partnerです。

UXE006 オープンソースソフトウェア(OSS)

eラーニング 35時間 New

<eラーニング> Kubernetes基礎

このコースは、Google等の企業がアプリケーションインフラを管理するために利用しているコンテナ管理プラットフォーム"Kubernetes"の利用法を教授します。Kubernetesの起源から高レベルのアーキテクチャ、API、基本概念に至るまでをカバーしており、このコースの受講により複雑なアプリケーション構築が可能な程度までの知識を得ることができます。

到達目標 Kubernetesの起源から高レベルのアーキテクチャ、API、基本概念に至るまでを理解できる。複雑なアプリケーション構築が可能な程度までの知識を得ることができる。

対象者 Kubernetesの全般的な基礎知識を得たいシステムズエンジニア、ソフトウェア開発者の方。

前提知識 基本的なLinuxコマンドラインの知識と、コンテナに関する基礎知識(Docker等)を持っていること。

内 容
1. コースイントロダクション
2. Kubernetesの基本
3. インストールと構成
4. Kubernetesのアーキテクチャ
5. APIとアクセス
6. OPIオブジェクト
7. デプロイメントでのステート管理
8. サービス
9. ボリュームとデータ
10. イングレス
11. スケジューリング
12. ロギングとトラブルシュート
13. カスタムリソース定義
14. Helm
15. セキュリティ
16. 高可用性

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・日立アカデミーはThe Linux Foundation Authorized Training Partnerです。

UXJ081 オープンソースソフトウェア(OSS)

マシン実習 2日間 Renewal

OSSによるWebシステム構築入門 ーLinux、Apache、PostgreSQL、PHPー

OSからアプリケーションソフトウェアまで、OSSのみ使用したWebシステムの構築方法を学習します。また、OSSを利用する時の注意事項やDBサーバの構築方法なども学習します。

到達目標 Linux上で、Apache、PostgreSQL、PHPを使ったWeb・DB連携システムを構築できる。

対象者 OSSでWebシステムを構築する方。

前提知識 「Linuxシステム管理前編ーLinuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎ー」を修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. オープンソースソフトウェア(OSS)概要
2. Linux
3. Apache
4. PostgreSQL
5. PHP

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

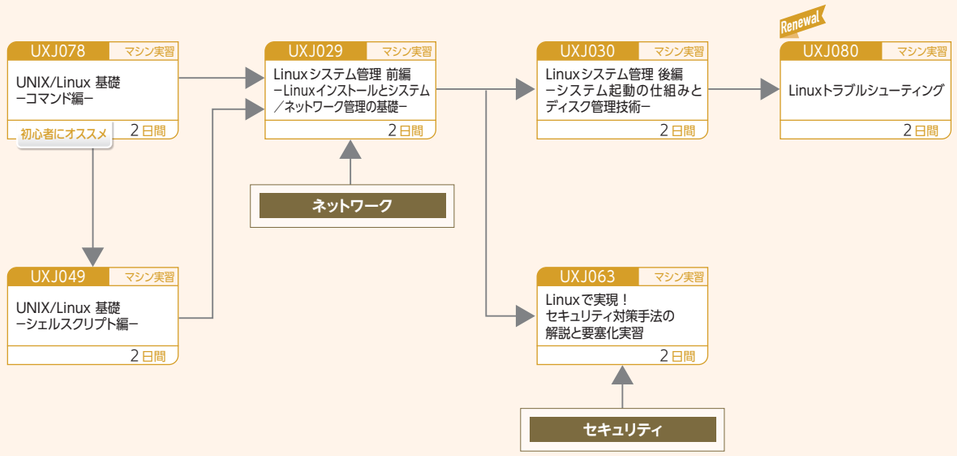
Linux

Linuxの機能や操作方法を理解し、システム構築・運用管理に関する技術が修得できます。

● UNIX/Linuxを利用する方

- UXJ078 マシン実習 UNIX/Linux 基礎 −コマンド編− 初心者にオススメ 2日間
- 音声有＋説明文有 UXE303 eラーニング 【ナビ機能付き】【マシン演習付き】UNIX/Linux基本使用法 初心者にオススメ 8時間

● Linuxを使用してシステムを構築・運用・管理する方



音声有＋説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有＋説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし＋説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

UXJ078 Linux
マシン実習 2日間
UNIX/Linux 基礎 −コマンド編−

UNIXおよびLinuxOSの基本機能とコマンドの基本操作を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
・UNIX/Linuxの基本的な操作ができる。
・ネットワークの基本コマンドを実行できる。

対象者 UNIX、またはLinuxOSの初心者の方で基礎から学習したい方。

前提知識 コンピュータの基礎知識があること。

内 容
1. 概要
2. コマンドの基本操作
3. ファイルシステム
4. viエディタ
5. シェル
6. 知っておくと便利なシェルの機能
7. ネットワークの利用

UXJ049 Linux
マシン実習 2日間
UNIX/Linux 基礎 −シェルスクリプト編−

シェルスクリプトの作成に必要なプログラミング技術を修得するとともに、シェルの機能をより深く理解することができます。

到達目標
・シェルスクリプトの概要を説明できる。
・変数、配列、算術、文字列操作の基本操作ができる。
・制御文の基本を説明できる。
・関数を利用した簡単な応用スクリプトを作成できる。

対象者 UNIX/Linuxでシェルスクリプトの作成をする方、システム管理者の方。

前提知識 「UNIX/Linux基礎−コマンド編−」コース、または「【ナビ機能付き】マシン演習付き】UNIX/Linux基本使用法」eラーニングを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. シェルとシェルスクリプトの概要
2. パラメータの取り扱い
3. 算術評価と文字列操作
4. 制御文（分岐/繰り返しなど）
5. 関数の利用
6. 実践的なシェルスクリプト

備 考 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXE303 Linux
eラーニング 8時間
<eラーニング>【ナビ機能付き】【マシン演習付き】UNIX/Linux基本使用法

UNIX/Linuxの基本的なコマンドの機能、使用方法を学習します。

到達目標
・UNIX/Linuxの基本的な操作ができる。
・ネットワークの基本コマンドを実行できる。

対象者 UNIX/Linux初心者の方で、基礎から学習したい方。

前提知識 オペレーティングシステムおよびネットワークに関する基本的な知識があること。

内 容
1. UNIX/Linux概要
2. ファイルシステムとコマンド
3. ファイルとディレクトリのパーミッション
4. viエディタ
5. シェルの機能
6. UNIX/Linuxのネットワーク操作
7. 修了試験

備 考
・サービス有効期限は21日間です。
【お申し込み前に必ずご確認ください】
・説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf
・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

UXJ029 Linux
マシン実習 2日間
Linuxシステム管理 前編 −Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎−

Linuxシステムの管理や運用に必要な基礎知識を学習します。また、マシン実習を通して、インストール、ユーザ管理、およびネットワーク設定方法などのシステム管理作業を体験します。

到達目標
・Linuxをインストールできる。
・Linuxシステムの運用・管理で必要となる、ユーザ管理、パッケージ管理およびログ管理などができる。
・Linuxにてネットワークを利用するための設定ができる。

対象者 Linuxシステムをはじめて運用・管理する方。

前提知識 「UNIX/Linux基礎−コマンド編−」および「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎 Ⅱ −TCP/IPの仕組み− Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. Linuxシステム管理の基礎
2. Linuxのインストール
3. ネットワークの基本設定とサービス制御
4. ユーザ・グループ管理
5. パッケージ管理
6. ログの取得と管理
7. バックアップとリストア

備 考
・Linuxシステムの管理を行う方には、あわせて「Linuxシステム管理 後編−システム起動の仕組みとディスク管理技術−」コースのご受講を推奨します。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXJ030 Linux
マシン実習 2日間
Linuxシステム管理 後編 −システム起動の仕組みとディスク管理技術−

Linuxシステムの起動の方法、およびディスク管理に必要な知識を学習します。また、マシン実習を通して、ファイルシステムの構築方法やLVMのディスク管理方法を体験します。

到達目標
・Linuxシステムの起動の仕組みを説明できる。
・新規にパーティションやファイルシステムの作成ができる。
・LVMやiSCSIによる高度なディスク管理ができる。

対象者 Linuxシステムを運用・管理する方。

前提知識 「Linuxシステム管理前編−Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. システムの起動
2. ファイルシステムの作成と管理
   (1)ファイルシステムの作成の手順
   (2)ファイルシステムの修復
   (3)ファイルシステムの管理
   (4)ファイルシステムの使用量の制限
3. LVM概要と環境構築
4. LVMの管理
   (1)LVMの特性変更
   (2)LVMの拡張
   (3)LVMの縮小
   (4)LVMの削除
5. iSCSI
   (1)ストレージの共有
   (2)iSCSIとは
   (3)iSCSIの設定
   (4)iSCSIの冗長化

備 考 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXJ080 Linux
マシン実習 2日間
Linuxトラブルシューティング Renewal

このコースではLinuxで発生するトラブルの原因分析方法と解決策を学習します。マシン実習では、運用中に実際に発生する可能性のあるトラブルを再現し、原因の分析と復旧作業を行います。

到達目標
・トラブル発生時の対応手順を説明できる。
・Linuxシステムのトラブル発生時に、緊急ブート手段でブートできる。
・Linuxシステムのトラブル発生状況から原因を究明し復旧できる。

対象者 Linuxシステムの運用／管理する方。

前提知識 「Linuxシステム管理後編−システム起動の仕組みとディスク管理技術−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. トラブルシューティング概要
   (1)トラブルの種類
   (2)トラブルシューティングの流れ
   (3)情報の収集手段
   (4)バックアップとリストア
   (5)トラブル発生時のLinux起動
2. ブート時のトラブルシューティング
   (1)ブートの仕組み
   (2)ブートデバイス関連のトラブルシューティング
   (3)ブートローダ関連のトラブルシューティング
   (4)init/systemd関連のトラブルシューティング
3. システム稼働中のトラブルシューティング
   (1)ログインの仕組み
   (2)ログイン関連のトラブルシューティング
   (3)ファイルシステムの仕組み
   (4)ファイルシステム関連のトラブルシューティング
4. ネットワークのトラブルシューティング
   (1)ネットワークコマンドと設定ファイル
   (2)ネットワークトラブルの原因と調査方法
   (3)ネットワーク設定関連のトラブルシューティング

備 考 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

UXJ063 Linux

マシン実習 2日間

Linuxで実現! セキュリティ対策手法の解説と要塞化実習

Linuxシステムを用いたセキュリティ対策手法を学習します。また、マシン実習を通して、SSH、Netfilter、Snort、Tripwireの設定および操作を体験します。

到達目標
- SSHを利用して、安全な通信ができる。
- Netfilterを利用して、パケットフィルタリングを実装できる。
- Snortを利用して、IDSを実装できる。
- Tripwireを利用して、ファイルの改ざん検知ができる。

対象者 Linuxシステムを運用・管理する方。

前提知識 「Linuxシステム管理前編ーLinuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. セキュリティの概要とLinuxにおけるセキュリティ対策
2. SSHによるセキュアリモートアクセス
3. Netfilterによるパケットフィルタリングと NAT
4. Snortによる侵入検知
5. Tripwireによるファイルの改ざんチェック

備　考 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

Microsoft

Windows ServerなどのMicrosoft製品を使用した、システム構築・運用管理に関する技術が修得できます。

● Windows Server 2019の新機能を知りたい方

MSJ051 マシン実習
ここが新しい! Windows Server 2019 新機能
1日間

● Windows Server 2019を使用してシステムを構築・運用・管理する方

MSJ052 マシン実習
Wnidows Server 2019 管理概説
2日間

→

New
MSJ053 マシン実習
実践! Active Directoryの基礎
2日間

● Windows Server 2016を使用してシステムを構築・運用・管理する方

音声有+説明文有
MSE306 eラーニング
【ナビ機能付き】【マシン演習付き】Windows Server 2016 管理概説
13時間

→

New
MSJ053 マシン実習
実践! Active Directoryの基礎
2日間

または

音声有+説明文なし
MSE701 eラーニング
【ナビ機能付き】Active Directoryの基礎 −Windows Server 2016編−
6時間

※1
MSE307 演習環境
Active Directoryの基礎 −Windows Server 2016編−
4時間

→

音声有+説明文有
SCE707 eラーニング
【ナビ機能付き】グループポリシーを使用したセキュリティ強化 −Windows Server 2016編−
4時間

※2
MSE308 演習環境
グループポリシーを使用したセキュリティ強化 −Windows Server 2016編−
4時間

→

MSJ047 マシン実習
実践! Windows PowerShellを用いたシステム管理の効率化 −Windows Server 2016編−
1日間

→

CLJ010 マシン実習
実践! Hyper−Vのインストールから可用性向上まで −Windows Server 2016編−
1日間

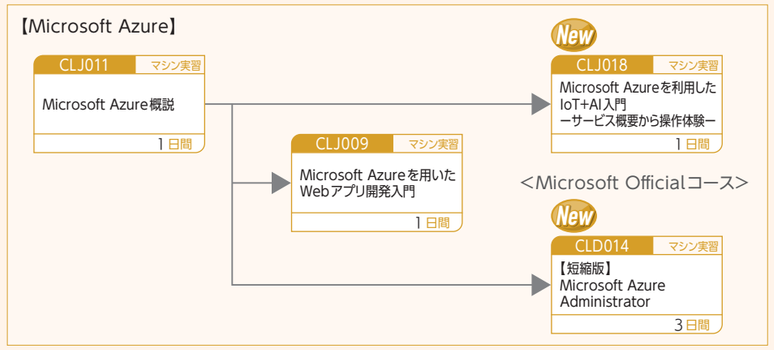
※1:「MSE307<演習環境>Active Directoryの基礎−Windows Server 2016編−」は「MSE701<eラーニング>【ナビ機能付き】Active Directoryの基礎 −Windows Server 2016編−」の修了後のご受講をお薦めします。

※2:「MSE308<演習環境>グループポリシーを使用したセキュリティ強化 −Windows Server 2016編−」は「SCE707<eラーニング>【ナビ機能付き】グループポリシーを使用したセキュリティ強化 −Windows Server 2016編−」の修了後のご受講をお薦めします。

音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

Microsoft Azureを使用してシステムを構築する方



音声有＋説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有＋説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし＋説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

資格 マイクロソフト認定資格

マイクロソフト認定資格は、Microsoft テクノロジにおける専門知識を証明するものです。
マイクロソフト認定プロフェッショナルは、コミュニティ リソースやツールにアクセスして、
仲間とアイデアを交換して自身の知識やスキルを高めたり、キャリアの可能性を広げたりできます。

詳しくは、日立アカデミーのWebサイトにてご確認ください。
https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/license/mcp.html

Microsoft CERTIFIED Professional

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

MSJ051 Microsoft
マシン実習 1日間
ここが新しい！ Windows Server 2019新機能

Windows Server 2019の新機能の概要について、マシン実習を通して学習します。

到達目標 Windows Server 2019の新機能の概要が説明できる。
対象者 最新サーバーOSであるWindows Server 2019の新機能を学びたいITプロフェッショナルの方。
前提知識 Windows Server OS（Windows Server 2016、2012（R2））についての基礎知識、およびWindowsインターフェイスの基本的な操作経験があり、かつネットワークに関する基礎知識があること。
内 容
1. Windows Server 2019の概要
2. ハイブリッドクラウド
3. セキュリティの新機能
4. ストレージの新機能
5. フェールオーバークラスタリングの新機能
6. アプリケーションプラットフォーム
備 考 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

MSJ052 Microsoft
マシン実習 2日間
Wnidows Server 2019管理概説

Windows Server 2019を使用してWindowsシステムを構築・運用・管理するために必要な技術の概要を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
・Windows Server 2019の概要が説明できる。
・ローカルユーザー、ドメインユーザーを管理できる。
・ファイルサーバーを構成し、資源を管理できる。
・Windows Server 2019のトラブルシューティングを実施できる。
対象者
・Windows Server 2019を使用してシステムを管理される方。
・Windows Server 2019の導入を検討している方。
前提知識 Windowsインターフェイスの十分な使用経験があり、「ネットワーク基礎」コース、または【ナビ機能付き】ネットワーク基礎 II ーTCP/IPの仕組みー」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容
1. Windows Server 2019の概要
2. Windows Server 2019のインストール
3. サーバー管理ツール
4. ワークグループ環境のアカウント管理
5. ドメイン環境のアカウント管理
6. ポリシーの概要
7. ディスクの管理
8. アクセス許可の設定
9. ファイルサーバーの構築
10. サーバーの監視
11. サーバーのバックアップ

MSJ053 Microsoft
New
マシン実習 2日間
実践！Active Directoryの基礎

Windows ServerにActive Directoryをインストールし、ドメインの構築・運用・管理をするために必要な技術を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
・Active Directoryの概要と実装方法が説明できる。
・Active Directoryを使用してドメイン環境を管理できる。
・グループポリシーの実装ができる。
・Active Directoryのバックアップと復元ができる。
対象者 Active Directoryを設計・構築・管理する方、またはActive Directoryの導入を検討している方で、Active Directoryの基礎知識をご存じない方。
前提知識 「Windows Server 2019管理概説」コース、または「【ナビ機能付き】【マシン演習付き】Windows Server 2016管理概説」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容
1. Active Directoryドメインサービスの概要
2. Active Directoryドメインサービスの実装
3. Active Directoryドメインのオブジェクト管理
4. グループポリシーの実装と管理
5. Active DirectoryドメインサービスとDNS
6. サイトの構成
7. 信頼関係の構成
8. Active Directoryドメインサービスのバックアップと復元

MSE306 Microsoft
eラーニング 13時間
<eラーニング> 【ナビ機能付き】【マシン演習付き】 Windows Server 2016管理概説

Windows Server 2016を使用してWindowsシステムを構築・運用・管理するために必要な技術の概要を、マシン実習を通して学習します。なお、このコースの学習項目は、「Windows Server 2016管理概説」コースと同一です。

到達目標
・Windows Server 2016の概要が説明できる。
・ローカルユーザー、ドメインユーザーを管理できる。
・ファイルサーバーを構成し、資源を管理できる。
・Windows Server 2016のトラブルシューティングを実施できる。
対象者
・Windows Server 2016を使用してシステムを管理される方。
・Windows Server 2016の導入を検討している方。
前提知識 Windowsインターフェイスの十分な使用経験があり、「ネットワーク基礎」コース、または【ナビ機能付き】ネットワーク基礎 II ーTCP/IPの仕組みー」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容
1. Windows Server 2016の概要
2. Windows Server 2016のインストール
3. サーバー管理ツール
4. ワークグループ環境のアカウント管理
5. ドメイン環境のアカウント管理
6. ポリシーの概要
7. ディスクの管理
8. アクセス許可の設定
9. ファイルサーバーの構築
10. サーバーの監視
11. サーバーのバックアップ
12. 修了試験
備 考
・サービス有効期間は21日間です。
【お申し込み前に必ずご確認ください】
・説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

MSE701 Microsoft
eラーニング 6時間
<eラーニング>【ナビ機能付き】 Active Directoryの基礎 ーWindows Server 2016編ー

Windows Server 2016にActive Directoryをインストールし、ドメインの構築・運用・管理をするために必要な基礎知識を体系的に学習します。なお、このコースの学習項目は、「実践！Active Directoryの基礎ーWindows Server 2016編ー」コースと同一です。

到達目標
・Active Directoryの概要と実装方法について説明できる。
・グループポリシーの管理について説明できる。
・Active Directoryのバックアップと復元について説明できる。
対象者
・Active Directoryを設計・構築・管理する方。
・Active Directoryの導入を検討している方。
前提知識 「Windows Server 2016 管理概説」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容
1. Active Directoryドメインサービスの概要
2. Active Directoryドメインサービスの実装
3. Active Directoryドメインのオブジェクト管理
4. グループポリシーの実装と管理
5. Active DirectoryドメインサービスとDNS
6. サイトとグローバルカタログサーバーの構成
7. 複数ドメイン環境の構成
8. Active Directoryドメインサービスのバックアップと復元
9. 修了試験
備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

MSE307 Microsoft
4時間
<演習環境> Active Directoryの基礎 ーWindows Server 2016編ー

Active Directoryの構築・運用・管理方法を、当社の提供するクラウド上のマシンを使用して学習します。このコースは、クラウド上に演習環境をセットアップしたマシンと、演習題材を利用できるマシン演習環境サービスです。

到達目標
・Active Directoryの構築・運用・管理を実装できる。
対象者
・Active Directoryの管理に関する操作スキルを身につけたいが自身で構築することは困難な方。
・Active Directoryの管理に関する検証を行いたいが実際の運用環境では試せない方。
前提知識 「Windows Server 2016管理概説」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容
1. Active Directoryドメインサービスの実装
2. Active Directoryドメインのオブジェクト管理
3. グループポリシーの実装と管理
4. Active DirectoryドメインサービスとDNS
5. サイトとグローバルカタログサーバーの構成
6. 複数ドメイン環境の構成
7. Active Directoryドメインサービスのバックアップと復元
備 考
・サービス有効期間は21日間です。
・このコースは、演習問題と、それに必要なデータ、マシン環境が利用できるマシン演習環境サービスです。
・このコースの学習要領・学習利用環境をご確認のうえ、お申し込みください。
https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/elearning/mc.html
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

SCE707 Microsoft

eラーニング 4時間

<eラーニング>【ナビ機能付き】グループポリシーを使用したセキュリティ強化 −Windows Server 2016編−

Windows環境のセキュリティを向上するために用意されているグループポリシーを、シナリオベースで紹介します。

到達目標 グループポリシーを使用したWindows環境のセキュリティ向上を実装できる。

対象者 Windows環境のセキュリティ強化における、グループポリシーの活用方法を具体的に知りたい方。

前提知識 「実践!Active Directoryの基礎」コース、または「【ナビ機能付き】Active Directoryの基礎−Windows Server 2016編−Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. グループポリシーの実装
2. グループポリシーによるWindows環境のセキュリティ保護
3. 修了試験

備　考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

MSE308 Microsoft

4時間

<演習環境>グループポリシーを使用したセキュリティ強化 −Windows Server 2016編−

グループポリシーを実装してWindows環境のセキュリティを強化する方法を、クラウド上のマシンを使用して学習します。このコースは、クラウド上に演習環境をセットアップしたマシンと、演習題材を利用できるマシン演習環境サービスです。

到達目標
- グループポリシーを実装し、Windows環境のセキュリティを強化できる。

対象者
- グループポリシーによるセキュリティ強化を実装する操作スキルを身につけたいが自身で構築することは困難な方。
- グループポリシーによるセキュリティ強化に関する検証を行いたいが実際の運用環境では試せない方。

前提知識 「実践!Active Directoryの基礎」コース、または「【ナビ機能付き】Active Directoryの基礎−Windows Server 2016編−Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. グループポリシーの実装
2. グループポリシーによるWindows環境のセキュリティ保護

備　考
- サービス有効期間は21日間です。
- このコースは、演習問題と、それに必要なデータ、マシン環境が利用できるマシン演習環境サービスです。
- このコースの学習要領・学習利用環境をご確認のうえ、お申し込みください。
  https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/elearning/mc.html
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

MSJ047 Microsoft

マシン実習 1日間

実践!Windows PowerShellを用いたシステム管理の効率化 −Windows Server 2016編−

PowerShellを用いたWindowsシステムの管理方法を、マシン実習を通して学習します。また、与えられた要件をもとにPowerShellスクリプトを作成する演習を用意し、実践的な力の強化に繋げます。

到達目標
- Windowsシステム上でPowerShellを使用するメリットを説明できる。
- PowerShellを使用して、Windowsシステムを設定・管理できる。

対象者
- PowerShellを用いて環境構築をしなければならないが、PowerShellの基礎的な内容をご存知ない方。
- PowerShellを用いて、業務を自動化し、効率化したい方。
- Windows Server 2016/Windows 10に対応したPowerShell 5.0を知りたい方。

前提知識 プログラミングの基本を理解し、「Windows Server 2016 管理概説」Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. PowerShellの概要
2. 基本的なコマンドレット
3. PowerShellにおけるオブジェクト操作
4. PowerShellによるリモート管理
5. PowerShellによるシステム管理

備　考 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

CLJ010 Microsoft

マシン実習 1日間

実践!Hyper-Vのインストールから可用性向上まで −Windows Server 2016編−

Microsoft社の仮想化技術であるHyper-Vを使った仮想サーバーの管理の基礎を、Windows Server 2016を使用して学習します。また、与えられた要件を基に、適切な機能を選択し、実装を行う演習により、実践力の強化を図ります。

到達目標
- Hyper-Vによるサーバー仮想化の概要を説明できる。
- 与えられた要件を基に、Hyper-Vを適切にインストールできる。
- 与えられた要件を基に、Hyper-V上に仮想マシンを作成し、ゲストOSをインストールできる。
- Hyper-Vに作成できる仮想スイッチの違いを理解し、要件に応じて適切な仮想スイッチを使用できる。
- Hyper-Vに作成できる仮想ハードディスクの違いを理解し、要件に応じて適切な仮想ハードディスクを使用できる。
- 仮想マシンの運用時、チェックポイントや仮想マシンのバックアップ、仮想マシンのインポート/エクスポートを適切に実行できる。
- 仮想マシンの可用性向上のため、マイグレーションやHyper-Vレプリカの特徴を踏まえ、適切な方法で仮想マシンの可用性向上を実現できる。

対象者 Hyper-V上で動作する仮想サーバーを構築、運用、管理する方。

前提知識 「Windows Server 2016 管理概説」Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. Hyper−Vの概要
   (1)サーバー仮想化の利点
   (2)Hyper−Vのアーキテクチャ
2. Hyper−Vのインストール
   (1)Hyper−Vのインストール要件
   (2)Hyper−V役割の追加　(3)Hyper−Vの管理ツール
3. 仮想マシンの作成
   (1)ウィザードによる仮想マシンの作成
   (2)ゲストOSのインストール
   (3)統合サービスのインストール
4. 仮想スイッチの管理
   (1)仮想スイッチの概要　(2)仮想スイッチの種類
   (3)仮想スイッチの作成と仮想マシンの接続
5. 仮想ハードディスクの管理
   (1)仮想ハードディスクの概要
   (2)仮想ハードディスクの種類
   (3)仮想ハードディスクの作成と接続
6. 仮想マシンの運用
   (1)仮想マシンの操作　(2)仮想マシンの設定
   (3)チェックポイントの利用
   (4)仮想マシンのインポート/エクスポート
   (5)仮想マシンのバックアップ
7. 仮想マシンの可用性向上
   (1)可用性向上のための機能
   (2)仮想マシンのマイグレーション　(3)Hyper−Vレプリカ

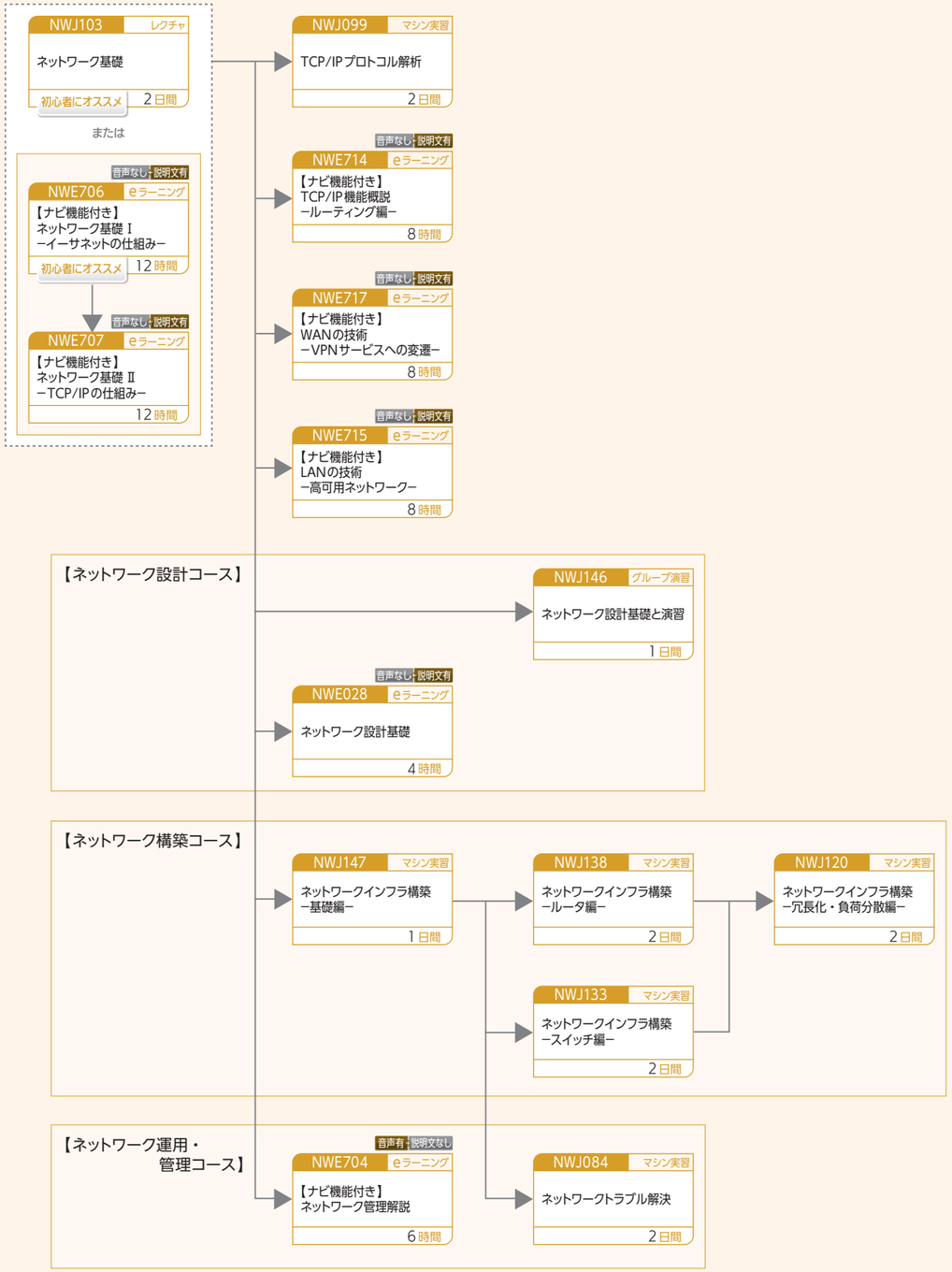
備　考 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

ネットワーク

ネットワークの構成を理解し、LANおよびWANに接続したシステム設計・構築・運用管理に関する技術が修得できます。

ネットワークを設計・構築・運用する方、技術を詳しく学びたい方



インターネットサーバを構築・運用・管理する方

音声なし+説明文有 NWE001 eラーニング
インターネット技術入門
初心者にオススメ 6時間

JP1ネットワーク管理製品を使用したシステムを構築・運用する方

NWJ103 レクチャ
ネットワーク基礎
初心者にオススメ 2日間

または

音声なし+説明文有 NWE706 eラーニング
【ナビ機能付き】
ネットワーク基礎Ⅰ
ーイーサネットの仕組みー
初心者にオススメ 12時間

音声なし+説明文有 NWE707 eラーニング
【ナビ機能付き】
ネットワーク基礎Ⅱ
ーTCP/IPの仕組みー
12時間

JPJ288 マシン実習
JP1プロフェッショナル
ネットワーク管理1
ー ネットワーク管理基盤ー
2日間

JPJ289/JPJ289T マシン実習
JP1プロフェッショナル
ネットワーク管理2
ーシステムリソース管理ー
1日間

または

JPJ290/JPJ290T マシン実習
JP1プロフェッショナル
ネットワーク管理
セットコース
3日間

JPJ301/JPJ301T レクチャ
JP1コンサルタント
ネットワーク管理
1日間

IPv6ネットワークを構築・運用・管理する方、技術を詳しく学びたい方

NWJ103 レクチャ
ネットワーク基礎
初心者にオススメ 2日間

または

音声なし+説明文有 NWE706 eラーニング
【ナビ機能付き】
ネットワーク基礎Ⅰ
ーイーサネットの仕組みー
初心者にオススメ 12時間

音声なし+説明文有 NWE707 eラーニング
【ナビ機能付き】
ネットワーク基礎Ⅱ
ーTCP/IPの仕組みー
12時間

音声なし+説明文有 NWE703 eラーニング
【ナビ機能付き】
IPv6の基礎と移行技術
12時間

音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

ネットワークシステム、インターネットを利用する方

NWJ103 レクチャ
ネットワーク基礎
初心者にオススメ 2日間

または

音声なし+説明文有 NWE706 eラーニング
【ナビ機能付き】
ネットワーク基礎Ⅰ
ーイーサネットの仕組みー
初心者にオススメ 12時間

音声なし+説明文有 NWE707 eラーニング
【ナビ機能付き】
ネットワーク基礎Ⅱ
ーTCP/IPの仕組みー
12時間

音声なし+説明文有 NWE001 eラーニング
インターネット技術入門
初心者にオススメ 6時間

NWJ103 ネットワーク

ネットワーク基礎

レクチャ 2日間

コンピュータネットワークで利用される技術や、コンピュータネットワークの構築に必要な基礎知識を総合的に学習します。

到達目標
- LANの構成要素（ハード/ソフト）について説明できる。
- OSI基本参照モデルに対応したネットワークの基本動作を説明できる。
- イーサネット、IPv4、TCP/UDPの基本について説明できる。

対象者 ネットワーク技術者をめざす方、業務の中でネットワークの基礎知識を必要とする方、小規模なネットワークを構築・運用する方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. ネットワークの基礎知識
2. プロトコル
3. ネットワークインタフェース層
4. インターネット層
5. トランスポート層
6. アプリケーション層
7. ネットワーク機器
8. インターネット

NWE706 ネットワーク

<eラーニング>【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅰ −イーサネットの仕組み−

eラーニング 12時間

ネットワークの階層構造、および各階層におけるプロトコルの概要、LANで使われる基礎技術について、イーサネットを中心に学習します。

到達目標
- ネットワークの階層構造、プロトコルの役割について説明できる。
- イーサネットの基礎技術、機器について説明できる。

対象者 ネットワークに関する基礎的な知識を必要とする方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. ネットワークの基礎知識
2. プロトコル
3. ネットワークの通信例
4. アプリケーションプロトコル
5. TCP/UDP
6. IP
7. 伝送媒体
8. イーサネット
9. LANデバイス
10. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

NWE707 ネットワーク

<eラーニング>【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ −TCP/IPの仕組み−

eラーニング 12時間

TCP/IPの概要をインターネット層、トランスポート層、アプリケーション層を中心に解説します。

到達目標
- TCP/IPの基礎的な説明ができる。
- IP関連プロトコルの基礎的な説明ができる。
- TCP/IP上のアプリケーションの基礎的な説明ができる。

対象者 TCP/IPの基礎的な知識を必要とする方。

前提知識 「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅰ−イーサネットの仕組み−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. TCP/IPの概要
2. IP
3. アドレス解決（ARP）
4. ICMP
5. TCP/UDP
6. IP関連技術
7. リモート・ログイン（Telnet）
8. ファイル転送（FTP）
9. 名前解決（DNS）
10. WWW（HTTP）
11. 電子メール
12. IPv6
13. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

NWE715 ネットワーク

<eラーニング>【ナビ機能付き】LANの技術−高可用ネットワーク−

eラーニング 8時間

VLAN、無線LAN、負荷分散装置など、LANを構築するうえで必要な知識を学習します。

到達目標
- VLAN、無線LANの基礎を説明できる。
- 負荷分散装置、冗長化技術の基礎について説明できる。

対象者 LAN技術の基礎的な知識を必要とする方。

前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ−TCP/IPの仕組み−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. LANの構築
2. リンクアグリゲーション
3. STP
4. VRRP
5. 負荷分散
6. VLAN
7. ネットワーク・ストレージ
8. 無線LAN
9. LANデバイス
10. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

NWE714 ネットワーク

<eラーニング>【ナビ機能付き】TCP/IP機能概説−ルーティング編−

eラーニング 8時間

TCP/IPでのルーティングの仕組みやルーティングプロトコル（RIP、OSPF、BGP）を学習します。

到達目標
- 小規模ネットワークにおけるルーティングに必要な各種設定および項目を説明できる。
- ルーティングプロトコル各種の特性を説明できる。

対象者 ネットワーク技術者をめざす方。

前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ−TCP/IPの仕組み−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. ルーティング
2. スタティックルーティング
3. ルーティングアルゴリズム
4. RIP
5. OSPF
6. BGP
7. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

NWJ099 ネットワーク

TCP/IPプロトコル解析

マシン実習 2日間

LANアナライザを用いてTCP/IPのシーケンスを視覚的にとらえることにより、TCP/IPの内部的な動作を学習します。

到達目標 TCP/IPの内部的な動作を説明できる。

対象者 TCP/IPについてネットワーク内部での動作を把握し、知識を深めたい方。

前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ−TCP/IPの仕組み−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. TCP/IPの構造
2. TCP/IPのデータの流れ
3. 各プロトコルヘッダの構造
4. ICMPメッセージの種類
   (1) EchoRequest、EchoReply
   (2) Redirect
   (3) TimeExceeded
5. 各アプリケーションの動作
   (1) ftp
   (2) telnet
6. シーケンス確認（演習）
   (1) TCP/IPレベルのシーケンス
   (2) アプリケーションのシーケンス

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

NWE717 ネットワーク

<eラーニング>【ナビ機能付き】WANの技術−VPNサービスへの変遷−

eラーニング 8時間

VPNをはじめとするWANサービスの概要と、サービスを構成する基礎技術を学習します。

到達目標
- 代表的なWANサービスの基礎技術を説明できる。
- VPN（広域イーサネット、IP−VPN、インターネットVPN）について技術とサービスの特性を説明できる。

対象者 WANサービスの基礎的な知識を必要とする方。

前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ−TCP/IPの仕組み−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容 序章. WANサービスの変遷
1. WANの利用
2. 伝送技術とデータリンク層プロトコル
3. 専用線
4. PSTN・ISDN
5. xDSL・FTTH
6. 無線アクセス回線
7. 広域イーサネット
8. IP−VPN
9. インターネットVPN
10. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

NWE001 ネットワーク

<eラーニング> インターネット技術入門

eラーニング 6時間

WWWや電子メールの仕組み、WebアプリケーションやFTPの概要を学習します。

到達目標
- Webアプリケーションの概要を説明できる。
- Webページ記述言語の概要について説明できる。
- インターネットでの通信の仕組みについて説明できる。
- FTPの概要について説明できる。

対象者 インターネットの基礎的な知識を必要とする方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. インターネットの基礎知識
2. インターネットでの通信の仕組み
   (1) ドメイン名
   (2) インターネットでの通信の仕組み
3. 電子メールの仕組み
   (1) 電子メールとは
4. WWWの仕組み
   (1) Webページの記述言語
5. Webアプリケーションの技術概要
6. Webのセキュリティに関わる基礎知識
7. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

NWE028 ネットワーク

<eラーニング> ネットワーク設計基礎

eラーニング 4時間

ネットワークシステムの計画、設計において必要な基礎知識を学習します。

到達目標 ネットワークシステムの計画、設計工程に必要な基礎知識を説明できる。

対象者 ネットワークシステムの計画、設計をする方、ネットワークシステムの設計を依頼する方。

前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ−TCP/IPの仕組み−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. ネットワーク設計・構築の全体像
2. LANの設計
3. 拠点間接続の設計
4. インターネット接続の設計
5. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

NWJ146 ネットワーク

ネットワーク設計基礎と演習

グループ演習 1日間

ネットワークシステムの計画・設計において必要な基礎知識を学習します。

到達目標 ネットワークシステムの計画、設計工程に必要な基礎知識を説明できる。

対象者
- 職種共通、若年層ネットワークシステムの計画、設計をする方。
- ネットワークシステムの設計を依頼する方。

前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ−TCP/IPの仕組み−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. ネットワーク設計・構築の全体像
2. LANの設計
3. 拠点間接続の設計
4. インターネットの接続設計
5. 拠点ネットワークの設計演習
6. 全社ネットワークの設計演習

備 考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

NWJ147 ネットワーク

ネットワークインフラ構築 −基礎編−

マシン実習 1日間

PC、LANスイッチ、ルータの基本的な操作を通して、ネットワークの基礎知識、またネットワーク構築の基礎技術の理解を深めます。

到達目標 PC、LANスイッチ、ルータの基礎的な設定ができる。

対象者 ネットワークを構築・管理する方、ネットワーク機器の操作を通してネットワーク技術の知識を深めたい方。

前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ−TCP/IPの仕組み−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. LANとは
   (1) OSI基本参照モデル
   (2) イーサネット
   (3) TCP/IP
2. ネットワーク機器の基本操作
   (1) モード
   (2) 基本コマンド
   (3) インタフェースの設定
3. スイッチを用いたLANの構築
   (1) スイッチの機能
   (2) VLAN
4. ルータを用いたLANの構築
   (1) ルータの機能
   (2) スタティックルーティング
   (3) ダイナミックルーティング

NWJ138 ネットワーク

ネットワークインフラ構築 −ルータ編−

マシン実習 2日間

LANでのルーティング技術について、ルータを使ったマシン実習を通して学習します。

到達目標 小規模ネットワークにおけるルーティング設定ができる。

対象者 ルータを使用したネットワークを構築、管理する方。

前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ−TCP/IPの仕組み−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. ルータの基本操作
2. ルーティングの基礎
3. スタティックルーティング
4. ダイナミックルーティング（シングルエリアOSPF）
5. ダイナミックルーティング（マルチエリアOSPF）
6. ダイナミックルーティング（BGP）
7. 経路再配布

備 考 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

NWJ133 ネットワーク

マシン実習 2日間

ネットワークインフラ構築 ースイッチ編ー

L3スイッチを使ったマシン演習を通し、VLAN、リンクアグリゲーション、STP、ルーティング、フィルタリング、運用管理について学習します。

到達目標 L3スイッチによるネットワークを構築できる。

対象者 LANスイッチを使用したネットワークを構築、管理する方。

前提知識 「ネットワークインフラ構築ー基礎編ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. スイッチの概要
2. スイッチの基本操作（コンフィギュレーション、ミラーポート）
3. VLAN（ポートVLAN、タグVLAN、VLAN間ルーティング）
4. リンクアグリゲーション
5. STP（RSTP、MSTP）
6. パケットフィルタリング（ACL）
7. 運用管理（SNMP、Syslog）

NWJ120 ネットワーク

マシン実習 2日間

ネットワークインフラ構築 ー冗長化・負荷分散編ー

高可用ネットワークを実現するための冗長化技術および負荷分散技術について、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- 冗長化技術を用いたネットワークを設計・構築できる。
- 負荷分散技術を用いたネットワークを設計・構築できる。

対象者 ネットワークインフラを設計、構築、管理する方。

前提知識 「ネットワークインフラ構築ースイッチ編ー」および「ネットワークインフラ構築ールータ編ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. L2冗長化・負荷分散（STP、RSTP、MSTP）
2. L3冗長化・負荷分散（OSPF、RIP）
3. ゲートウェイ冗長化（VRRP）
4. ロードバランサによる負荷分散
5. NIC冗長化（チーミング）
6. 総合演習

NWE703 ネットワーク

eラーニング 12時間

<eラーニング>【ナビ機能付き】 IPv6の基礎と移行技術

IPv6プロトコルに関連する基礎技術（アドレス、ヘッダ、ICMP等）と移行技術を学習します。

到達目標
- IPv6の概要を説明できる。
- IPv6移行技術の概要を説明できる。

対象者 IPv6の基礎的な知識を必要とする方、ネットワークの設計、構築、運用管理を行う方。

前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または【ナビ機能付き】ネットワーク基礎IーTCP/IPの仕組みー」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. IPv4の問題点とIPv6の特徴
2. IPv6の仕様（プロトコルスタックやアドレスなど）
3. ICMPv6の仕様（アドレス解決やステートレスアドレス自動設定など）
4. IPv6への移行（移行形態やアドレス設計例など）
5. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

NWJ084 ネットワーク

マシン実習 2日間

ネットワークトラブル解決

ネットワークにおけるトラブルシュートについて、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- トラブルシュートの基礎的な考え方について説明できる。
- トラフィック解析ツールを利用したトラブルシュートができる。

対象者 ネットワークを構築・管理する方、トラブルの切り分けを行う方。

前提知識 「ネットワークインフラ構築ー基礎編ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. ネットワーク概要
2. トラブル解析手順
   (1)ネットワークトラブルに対する考え方
   (2)トラブルシュートで必要なこと
   (3)トラブルの絞り込み
3. ルータの基本操作
4. スイッチの基本操作
5. LANアナライザの使用方法
6. トラブルシューティング演習

NWE704 ネットワーク

eラーニング 6時間

<eラーニング>【ナビ機能付き】 ネットワーク管理解説

ネットワークの運用管理の対象となる項目（構成管理・性能管理・障害管理等）と、ネットワーク運用管理において利用するプロトコル、各種管理ツールの特徴について学習します。

到達目標
- ネットワークの管理項目（構成管理・性能管理・障害管理等）について説明できる。
- 各種管理ツールの利用方法・特徴について説明できる。
- SNMPによるネットワーク管理の構成要素と、要素の概要を説明できる。

対象者 情報システムにおけるネットワークの運用管理を行う方。

前提知識 「ネットワークインフラ構築ー基礎編ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. ネットワーク管理の概要
2. 資産・構成管理
3. 性能管理
4. 障害管理
5. ネットワーク管理ツール
6. SNMPを用いたネットワーク管理
7. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

ハードウェア

サーバ・ストレージシステムの構築・活用に有効なハードウェア技術が修得できます。

SAN関連業務に携わる方

音声有+説明文なし
SJE705 eラーニング
【ナビ機能付き】
SAN概説
5時間

音声なし+説明文有
SJE708 eラーニング
【ナビ機能付き】
ストレージシステム基礎
8時間

サーバ・ストレージシステムを活用・構築する方

音声有+説明文なし
SJE016 eラーニング
Fibre Channel概説
−日立ストレージ・ホストの接続を理解するために−
4時間

音声有+説明文なし
SJE028 eラーニング
SCSI入門
−ストレージインタフェースを理解するために−
2時間

サーバ製品の設計・システム構築に携わる方

音声有+説明文なし
SJE018 eラーニング
SAS(Serial Attached SCSI)入門−ストレージインタフェースを理解するために−
2時間

HDDを含む製品の開発に携わる方

音声有+説明文なし
SJE017 eラーニング
SATA入門
2時間

音声有+説明文有：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

SJE705 ハードウェア

eラーニング 5時間

<eラーニング>【ナビ機能付き】SAN概説

SAN（Storage Area Network）およびSAN関連製品に携わっていくためのSANの基礎知識を学習します。

到達目標 SANの全体像が説明できる。
対象者 SAN関連業務に従事する方。
前提知識 特に必要としません。
内 容
1. SANとは
2. SANトポロジ（FC-SAN、IP-SAN）
3. SANソリューションバックアップ、ディザスタリカバリ、ストレージ仮想化
4. ストレージ管理
5. NAS（Network Attached Storage）/データアーカイブ
6. 修了試験

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SJE016 ハードウェア

eラーニング 4時間

<eラーニング>Fibre Channel概説 −日立ストレージ・ホストの接続を理解するために−

ホスト・ストレージ間接続に使用されるFibre Channelについての基礎知識を学習します。

到達目標
・Fibre Channelに関する用語を使いこなすことができる。
・サーバ・ストレージ製品で使用されているFibre Channel技術を理解できる。
対象者 日立ストレージに関する業務を担当している方。
前提知識 特に必要としません。
内 容
1. Fibre Channelの歴史と特徴
2. Fibre Channelハードウェア
(1)メディアタイプ
(2)FC-Switch
3. Fibre Channel基本事項
(1)トポロジ
(2)アドレス構成
4. 憶えておきたいキーワード
5. Fibre Channel詳細/各レイヤの詳細
6. 修了試験

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SJE028 ハードウェア

eラーニング 2時間

<eラーニング>SCSI入門 −ストレージインタフェースを理解するために−

ホスト（UNIX・Windows）とストレージ（HDD）を接続するインタフェースであるSCSIの基本事項について、パラレルSCSIを中心に学習します。

到達目標
・パラレルSCSIのシステム構成を説明できる。
・パラレルSCSIの動作概要を説明できる。
・シリアルSCSIの種類と特徴を説明できる。
対象者 サーバ・ストレージなどSCSIを使用した製品に関する業務を担当する方。
前提知識 特に必要としません。
内 容
1. SCSIとは
2. パラレルSCSI概要
(1)ハードウェア
(2)システム構成
3. パラレルSCSI詳細
(1)コマンド体系
(2)ステータス、センスデータ
(3)コマンドシーケンス
4. 関連事項
CommandQueuing機能
5. 修了試験

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SJE018 ハードウェア

eラーニング 2時間

<eラーニング> SAS（Serial Attached SCSI）入門 −ストレージインタフェースを理解するために−

SASの基本知識を学習します。

到達目標
・SASのシステム構成を説明できる。
・SASの動作概要を説明できる。
・SASのSATAデバイスサポートを説明できる。
対象者 サーバ・ストレージなどHDDを使用した製品に関する業務を担当する方。
前提知識 特に必要としません。
内 容
1. SASとは
2. SAS概要
(1)ハードウェア
(2)システム構成
3. SAS詳細
(1)データ転送
(2)コマンド体系
(3)コマンドシーケンス
4. SASのSATAデバイスサポート
5. 修了試験

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SJE017 ハードウェア

eラーニング 2時間

<eラーニング>SATA入門

SATAの機能・システム構成・内部動作を学習します。

到達目標
・SATAの機能、システム構成を説明できる。
・SATAの内部動作を理解できる。
対象者 サーバ・ストレージなどHDDを使用した製品に関する業務を担当する方。
前提知識 PCの構造を理解していること。
内 容
1. ATAとは
(1)歴史
(2)ATAのシステム的な位置づけ
2. パラレルATA
(1)システム構成
(2)レジスタインタフェース
(3)基本的なシーケンス
3. シリアルATA（SATA）
(1)パラレルATAとの異なり/システム構成
(2)基本的なシーケンス
(3)独自機能コマンドキューイング・SAS連携
4. 修了試験

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

セキュリティ

個人情報保護や情報セキュリティに関する基礎知識、セキュリティを考慮したシステム構築・管理に必要な技術が修得できます。

● セキュリティの最新動向を知りたい方

SCJ041 レクチャ
セキュリティ最新動向
0.5日間

● 社会人としてのセキュリティ意識を身につけたい方

音声なし+説明文有
SCE708 eラーニング
【ナビ機能付き】
情報セキュリティリテラシー
− セキュリティの必要性と対策−
初心者にオススメ 4時間

● 企業内の情報セキュリティを管理する方

SCJ052 レクチャ
情報セキュリティ基礎
−セキュリティ全体を俯瞰する−
1日間

→ 音声なし+説明文有
SCE706 eラーニング
【ナビ機能付き】
情報セキュリティマネジメント概説
−セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度−
8時間

→
SCJ048 グループ演習
セキュリティリスク分析
−IPA「制御システムのセキュリティリスク分析ガイド」解説−
1日間

SCJ047 グループ演習
ケーススタディから学ぶ
情報セキュリティ
リスクマネジメント
1日間

SCJ038 グループ演習
情報セキュリティ
マネジメント運用
1日間

SCJ039 グループ演習
情報セキュリティ
マネジメントの評価と改善
1日間

音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HiRDB
OpenTP1
VOS3
XDM
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
DXマインド・プロセス・マネジメント
課題分析（何をなすべきかを着想する）
仮説構築（ビジネスモデルをデザインする）
プロトタイピングと価値検証（共通）
プロトタイピングと価値検証（データ環境構築）
プロトタイピングと価値検証（分析モデル構築）
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル
OT（製造・生産技術）

セキュリティインシデント対応の基礎を身につけたい方

音声なし+説明文有 SCE011 eラーニング
サイバー攻撃対応基礎（知識修得編）
3時間

→

SCJ053 グループ演習
サイバー攻撃対応コミュニケーション訓練（ITシステム編）
0.5日間

情報システムを構築・運用する方（セキュリティの基礎）

SCJ052 レクチャ
情報セキュリティ基礎 −セキュリティ全体を俯瞰する−
1日間

→

音声なし+説明文有 SCE703 eラーニング
【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎 − 要素技術（暗号、認証）編−
6時間

→

音声なし+説明文有 SCE705 eラーニング
【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎 −ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編−
6時間

ネットワークシステムを構築・運用する方

【セキュリティの基礎コース】

SCJ052 レクチャ
情報セキュリティ基礎 −セキュリティ全体を俯瞰する−
1日間

→

音声なし+説明文有 SCE703 eラーニング
【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎 − 要素技術（暗号、認証）編−
6時間

→

音声なし+説明文有 SCE705 eラーニング
【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎 −ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編−
6時間

→

SCJ051 マシン実習
ネットワークセキュリティ対策実習 −FW/IDS/PKI−
2日間

Windows、Linuxで情報システムを構築・運用・管理する方

【セキュリティの基礎コース】

SCJ052 レクチャ
情報セキュリティ基礎 −セキュリティ全体を俯瞰する−
1日間

→

音声なし+説明文有 SCE703 eラーニング
【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎 − 要素技術（暗号、認証）編−
6時間

→

音声なし+説明文有 SCE705 eラーニング
【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎 −ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編−
6時間

→

UXJ063 マシン実習
Linuxで実現！セキュリティ対策手法の解説と要塞化実習
2日間

Linuxに関する技術
Linux

音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

JP1セキュリティ管理製品を使用してシステムを構築・運用する方

音声なし+説明文有 SCE703 eラーニング
【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎 − 要素技術（暗号、認証）編−
6時間

→

JPJ295/JPJ295T マシン実習
JP1プロフェッショナルセキュリティ管理
1日間

JP1資産・配布管理製品を使用してシステムを構築・運用する方

JPJ291 マシン実習
JP1プロフェッショナル資産・配布管理1 −資産管理編−
1日間

→

JPJ292 マシン実習
JP1プロフェッショナル資産・配布管理2 −セキュリティ管理編−
1日間

→

JPJ293/JPJ293T マシン実習
JP1プロフェッショナル資産・配布管理3 −配布管理編−
1日間

または

JPJ294/JPJ294T マシン実習
JP1プロフェッショナル資産・配布管理セットコース
3日間

→

JPJ300/JPJ300T レクチャ
JP1コンサルタント資産・配布管理
1日間

データベースを構築・運用する方

【セキュリティの基礎コース】

SCJ052 レクチャ
情報セキュリティ基礎 −セキュリティ全体を俯瞰する−
1日間

→

音声なし+説明文有 SCE703 eラーニング
【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎 − 要素技術（暗号、認証）編−
6時間

→

音声なし+説明文有 SCE705 eラーニング
【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎 −ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編−
6時間

→

音声なし+説明文有 SCE704 eラーニング
【ナビ機能付き】データベースセキュリティ概説
4時間

DBJ045 マシン実習
データベース入門 −解説と操作体験−
初心者にオススメ 1日間

または

音声なし+説明文有 DBE711 eラーニング
【ナビ機能付き】データベース基礎
初心者にオススメ 8時間

● 制御システムを構築・運用・管理する方

SCJ048 グループ演習
セキュリティリスク分析
−IPA「制御システムのセキュリティリスク分析ガイド」解説−
1日間

● IoTのシステムを構築・運用・管理する方

【セキュリティの基礎コース】

SCJ052 レクチャ
情報セキュリティ基礎
−セキュリティ全体を俯瞰する−
1日間

→

SCE703 音声なし+説明文有 eラーニング
【ナビ機能付き】
情報技術者に求められるセキュリティの基礎
− 要素技術（暗号、認証）編−
6時間

→

SCE705 音声なし+説明文有 eラーニング
【ナビ機能付き】
情報技術者に求められるセキュリティの基礎
−ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編−
6時間

→

IOE002 音声なし+説明文有 eラーニング
IoT技術解説
セキュリティ編
3時間

● ホワイトハッカーをめざす方

SCD001 マシン実習
CEH
(Certified Ethical Hacker)
5日間

音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

資格 EC-Council認定資格

EC-Council認定資格は、EC-Council Internationalが「情報セキュリティ技術者として、一定水準以上の技術力を持つこと」を認定する資格です。

詳しくは、日立アカデミーのWebサイトにてご確認ください。
https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/license/ecc.html

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

SCE708 情報セキュリティ
eラーニング 4時間
<eラーニング>【ナビ機能付き】情報セキュリティリテラシー −セキュリティの必要性と対策−

情報システムの利用者が理解しておくべき、セキュリティ上の対策の必要性、および基礎的なセキュリティ用語について学習します。

到達目標
・情報システムにおけるセキュリティの必要性について説明できる。
・情報システムの利用者が理解しておくべき、セキュリティ上のリスクとその対策方法を説明できる。
・基礎的な情報セキュリティ用語を説明できる。
対象者 情報セキュリティに関する基礎知識を必要とする方。
前提知識 特に必要としません。
内 容
1. 情報セキュリティ概要
2. 通常業務におけるリスクと対策
3. Web利用におけるリスクと対策
4. メール利用におけるリスクと対策
5. コンプライアンス
6. 修了試験
備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SCJ052 情報セキュリティ
レクチャ 1日間
情報セキュリティ基礎 −セキュリティ全体を俯瞰する−

これからセキュリティを学ぶにあたり、セキュリティの全体像（俯瞰して捉える）と、基礎的な技術/事項の関連性を学習します。

到達目標
・セキュリティの全体像を俯瞰して説明できる。
・自分の業務に関連する様々なセキュリティ技術について、内容と関係性を説明できる。
対象者
・これからセキュリティを学んでいく方。
・SIベンダー、情報システム部門の担当者の方。
前提知識 ITに関する基礎的な知識があること。
内 容
1. セキュリティとは
2. セキュリティに対する脅威
3. セキュリティの基礎技術
(1)暗号
(2)認証
4. セキュリティ対策
(1)通信の制御
(2)Webシステム対策
(3)セキュアプロトコル
(4)システムセキュリティ
5. セキュリティマネジメント

SCJ041 情報セキュリティ
レクチャ 0.5日間
セキュリティ最新動向

セキュリティの基本概念からセキュリティ対策の最新動向を学習します。

到達目標
・セキュリティの必要性が説明できる。
・最新のセキュリティ脅威を説明できる。
・セキュリティ対策における最新動向を説明できる。
対象者 セキュリティの最新動向を知りたい方。
前提知識 オペレーティングシステム、およびネットワークに関する基本的な知識があること。
内 容
1. 情報セキュリティの基礎
2. 最新の攻撃方法と対策
3. セキュリティ対策の実際
4. 今後増加すると考えられる攻撃
5. 新しい対策技術
6. さらに知りたい人のために

SCE706 情報セキュリティ
eラーニング 8時間
<eラーニング>【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説 −セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度−

情報セキュリティ維持、個人情報保護のための管理システムと情報セキュリティに関連する規格、法律制度など管理的対策に関する概要を学びます。

到達目標
・情報セキュリティ、コンプライアンスの概念を説明できる。
・情報セキュリティ維持、個人情報保護のマネジメントシステムの概要を説明できる。
・情報セキュリティに関連する規格、法律制度を説明できる。
対象者
・情報システムを運用・管理する方。
・情報セキュリティを計画・立案する方。
前提知識 コンピュータシステムの基礎知識があること。
内 容
1. 情報セキュリティの概要
2. 情報セキュリティマネジメントの基本概念
(1)情報セキュリティマネジメントの概要
(2)情報セキュリティポリシーの概要
3. リスクマネジメント
(1)リスクアセスメント
(2)リスク対応
4. 情報セキュリティの維持
(1)ISMS認証基準
(2)インシデントレスポンス
5. 情報セキュリティ関連の法規と規格
(1)個人情報保護
(2)サイバー犯罪関連法規
6. 修了試験
備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SCJ048 情報セキュリティ
グループ演習 1日間
セキュリティリスク分析 −IPA「制御システムのセキュリティリスク分析ガイド」解説−

「制御システムのセキュリティリスク分析ガイド」（IPA発行）をベースに、リスク分析の代表的な手法である「資産/攻撃シナリオ（事業被害）ベース」の手順を学習します。また、制御システムの事例を用いて演習を行います。

到達目標 制御システム、情報システムにおけるセキュリティリスク分析ができる。
対象者
・制御システムのセキュリティリスク管理（現状分析）の関係者の方。
・重要インフラのセキュリティに関わる視野を広げたい方。
・情報システムのセキュリティリスク管理を行う方。
前提知識
・情報セキュリティにおける基礎的な知識があること。
・「情報セキュリティマネジメント概説ーセキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度ー」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容
1. 制御セキュリティと本講義で解説する手法について
2. セキュリティ対策におけるリスク分析の位置付けとその全体像
3. リスク分析の手順
(1)事前定義・演習
(2)資産ベースのリスク分析手順・演習
(3)シナリオベースのリスク分析手順・演習
4. リスク分析結果の活用
備 考 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

SCJ047 情報セキュリティ
グループ演習 1日間
ケーススタディから学ぶ 情報セキュリティリスクマネジメント

部門の情報セキュリティマネジメントを構築するための基本事項・部門で守るべき情報資産の洗い出し・リスクアセスメントの実施、管理台帳の作成について、部門の情報セキュリティマネジメントの観点からケーススタディを通して修得します。

到達目標
・部門の情報セキュリティマネジメントの位置づけ、体制、構築対象、プロセスを説明できる。
・部門の情報資産の捉え方を理解し、リスクアセスメントができる。
対象者 情報セキュリティを計画・立案する方。
前提知識 「【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説ーセキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度ーJeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容
1. 情報セキュリティマネジメントの構築
(1)情報セキュリティ対策の基本
(2)情報セキュリティ規程の体系と部門ルール
2. 情報資産の調査と分類、管理台帳
(1)守るべき情報資産の洗い出し
(2)情報資産の分類
3. リスクアセスメントの実施
(1)リスクアセスメントの流れ
(2)アプローチ方法と例
(3)情報セキュリティ対策
4. ケーススタディ
備 考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

SCJ038 情報セキュリティ

グループ演習 1日間

情報セキュリティマネジメント運用

このコースでは、部門の情報セキュリティマネジメントの運用に必要な項目とインシデントへの具体的な対応方法について、部門の情報セキュリティマネジメントの観点から、ケーススタディを通して修得します。

到達目標
- 部門の情報セキュリティを維持するために欠かせない作業ができる。
- 部門担当者として重要となるインシデントへの対応について、部門状況やインシデントの種類に従った適切な行動ができる。
- 運用において重要である、インシデントの種類に応じた状況の把握と判断および初動、緊急対応、緊急対応後の措置、報告ができる。

対象者
- 現在部門内の情報セキュリティ管理を担当している方。
- IPAの「情報セキュリティマネジメント試験」を受験したい方。

前提知識 「【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説ーセキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度ーJeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 部門の情報セキュリティマネジメント運用の概要
   (1) 情報セキュリティ環境変化の把握
   (2) 部門で対応すべき事項
2. インシデントへの対応
   (1) インシデント種別ごとの対応
   (2) インシデント時の初動と対策の強化
   (3) インシデントの報告
3. ケーススタディ
   - インシデント発生への対応
   - インシデントの判断
   - 緊急的対応
   - 緊急対応後の措置
   - インシデント報告

備 考
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 開催にあたっては、最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

SCJ039 情報セキュリティ

グループ演習 1日間

情報セキュリティマネジメントの評価と改善

このコースでは、情報セキュリティの評価の基準や部門の情報セキュリティ監査への対応、特に不適合への対応方法について、部門の情報セキュリティマネジメントの観点から、ケーススタディを通して修得します。

到達目標
- 評価基準、情報セキュリティ監査、セキュリティ対策の有効性評価ができる。
- 是正処置、再発防止策、情報セキュリティ監査への対応や不適合への対応ができる。
- 情報セキュリティ事故や情報セキュリティ監査からの改善指示などに適切に対応するための不適合への処置や再発防止の施策を策定することができる。

対象者
- 現在部門内の情報セキュリティ管理を担当している方。
- IPAの「情報セキュリティマネジメント試験」を受験したい方。

前提知識 「【ナビ機能付き】情報セキュリティマネジメント概説ーセキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度ーJeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 情報セキュリティの評価
   (1) 情報セキュリティ評価の基準
   (2) 各種情報セキュリティ基準の活用場面
2. 情報セキュリティ監査への対応と改善
   (1) 情報セキュリティの評価活動の分類
   (2) 情報セキュリティ監査で問われること
   (3) 情報セキュリティ監査への対応
   (4) 不適合への対応
3. ケーススタディ
   - 不適合への対応
   - 情報セキュリティ監査の不適合の理解
   - 不適合への対処
   - 再発防止策
   - 不適合対策の報告

備 考
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- 開催にあたっては、最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

SCE011 情報セキュリティ

eラーニング 3時間

<eラーニング> サイバー攻撃対応基礎（知識修得編）

サイバー攻撃に関して最低限必要な基礎知識の解説と、インシデント発生時の対応方法を解説します。

到達目標
- サイバー攻撃に伴う予防の対応を説明できる。
- サイバー攻撃に伴うインシデント発生時の初動の対応を説明できる。

対象者 情報システムを運用・管理する方。

前提知識 ITに関する基礎的な知識があること。

内 容
1. 基礎知識修得編
   (1) 日常業務での注意点
   (2) サイバー攻撃への対処
   (3) 開発時の注意点
   (4) 脆弱性情報の収集と対策検討
   (5) インシデント発生時の備え
   (6) まとめ
2. 体験学習編
   (1) 標的型攻撃による情報漏えい
   (2) ランサムウェア感染による業務妨害
   (3) Webアプリケーションの脆弱性とサービス妨害攻撃
   (4) 内部不正、過失による自社からの情報漏えい
   (5) サイバー攻撃を防ぐために

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

SCJ053 情報セキュリティ

グループ演習 0.5日間

サイバー攻撃対応コミュニケーション訓練（ITシステム編）

ITシステムのセキュリティインシデントを疑似体験するコースです。参加者は、事業責任者、システム担当者、広報などになり代わり、セキュリティインシデントのボードゲームを通して、インシデント発生時の迅速な意思決定、関係者とのコミュニケーションを疑似体験します。

到達目標 サイバー攻撃に伴うインシデント発生時の初動対応ができる。

対象者
- セキュリティインシデントの対応についての基礎知識を必要とする方。
- ITシステムを運用・管理している方。
- ITシステムを利用している方、または部門のセキュリティ担当の方。

前提知識 ITに関する基礎的な知識があること。

内 容
1. セキュリティインシデントとは
2. グループワークによるコミュニケーション訓練
3. 各グループ発表
4. 講評

備 考
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

SCE703 セキュリティ技術

eラーニング 6時間

<eラーニング>【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎ー要素技術（暗号、認証）編ー

安全性の高い情報システムの実現に利用される、セキュリティ要素技術の基礎について学習します。

到達目標
- セキュリティ技術の必要性について説明できる。
- 共通鍵暗号や公開鍵暗号などの暗号技術について説明できる。
- 認証の分類や代表的な方式について説明できる。

対象者 情報システムにおいてネットワークやサーバを管理/構築する方。

前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または【ナビ機能付き】ネットワーク基礎IIーTCP/IPの仕組みーJeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. セキュリティの概要
2. 暗号技術
   (1) 共通鍵暗号方式
   (2) 公開鍵暗号方式
3. 認証技術
   (1) ユーザ認証
   (2) データ認証
4. 暗号や認証の利用例
   (1) 公開鍵の信頼
   (2) Web通信における利用例
   (3) メール通信における利用例
5. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SCE705 セキュリティ技術

eラーニング 6時間

<eラーニング>【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎ーネットワーク構成技術とシステム保護の概要編ー

ネットワークセキュリティの実現に使用される技術や、コンピュータを保護するためのOSのセキュリティ機能、コンピュータウイルス対策の概要について学習します。

到達目標
- ファイアウォールの機能や種類について説明できる。
- OSの機能設定によるシステム強化の手法について説明できる。
- コンピュータウイルスの概要と対策について説明できる。

対象者 情報システムにおいてネットワークやサーバを管理/構築する方。

前提知識 「【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎ー要素技術（暗号、認証）編ーJeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. ファイアウォール
   (1) ファイアウォールの役割
   (2) ファイアウォールの種類
2. VPN（Virtual Private Network）
   (1) VPNとは
   (2) VPNの種類
3. OSの機能設定によるセキュリティ
4. コンピュータウイルス
   (1) コンピュータウイルスの種類
   (2) コンピュータウイルス対策
5. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

マシン演習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

SCJ051 セキュリティ技術

マシン演習 2日間

ネットワークセキュリティ対策実習ーFW/IDS/PKIー

実機を用いて、ネットワークセキュリティにおける攻撃手法および防御手法を学習します。

到達目標
- 不正アクセスの手法や危険性が説明できる。
- ファイアウォールや侵入検知システムが構成できる。
- ユーザ認証の仕組みやTLS/SSLの動作が説明できる。

対象者 情報システムにおいてネットワークやサーバを管理する方。

前提知識 「情報技術者に求められるセキュリティの基礎ーネットワーク構成技術とシステム保護の概要編ーJeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 攻撃方法とセキュリティ対策
2. ファイアウォール
3. ユーザ認証
4. 侵入検知システム
5. 安全な通信の実現

SCE704 セキュリティ技術

eラーニング 4時間

<eラーニング>【ナビ機能付き】データベースセキュリティ概説

データベース管理システムの構築、運用において発生するセキュリティ脅威、対策および具体的なデータベースセキュリティ機能を学習します。

到達目標
- ユーザ認証やユーザ管理、アクセス制御方法が説明できる。
- ネットワーク経由でデータベースアクセスする際に必要となるセキュリティ技術が説明できる。
- データベースへのアクセス監視が必要となる考え方が説明できる。

対象者 情報システムを運営・管理する方。

前提知識 「【ナビ機能付き】情報技術者に求められるセキュリティの基礎ー要素技術（暗号、認証）編ーJeラーニングコースおよび「データベース入門ー解説と操作体験ー」コース、または【ナビ機能付き】データベース基礎Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. データベースセキュリティ概要
2. ユーザ認証とユーザ管理
3. アクセス制御
4. セキュリティ監査
5. データ暗号化
6. SQLインジェクション対策
7. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SCD001 セキュリティ技術

マシン演習 5日間

CEH（Certified Ethical Hacker）

- 最新のセキュリティ脅威、高度の攻撃ベクトルと、最新のハッキングの技術、手法、ツール、巧みな技、情報セキュリティ対策のリアルタイムでの実演/実用に重点を置いた、エシカル・ハッキング/情報システム・セキュリティ監査の統合型プログラムを学習します。
- 18のモジュールから、最新のセキュリティ脅威、ハッキング技術を構造的に学習します。

到達目標 最新のセキュリティ脅威、ハッキング技術を構造的に理解できる。

対象者 情報セキュリティの責任者/監査人/専門家、サイト管理者の方。

前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または【ナビ機能付き】ネットワーク基礎 IIーTCP/IPの仕組みーJeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. エシカル・ハッキング概論
2. フットプリンティングおよび偵察
3. ネットワークのスキャン
4. 列挙
5. システムのハッキング
6. マルウェアの脅威
7. スニッフィング
8. ソーシャル・エンジニアリング
9. サービス妨害攻撃（DoS攻撃）
10. セッション・ハイジャック
11. Webサーバのハッキング
12. Webアプリケーションのハッキング
13. SQLインジェクション
14. 無線ネットワークのハッキング
15. モバイル・プラットフォームのハッキング
16. IDS、ファイアウォール、ハニーポットの回避
17. クラウド・コンピューティング
18. 暗号化

備 考
- このコースは、EC-Councilの認定コースです。
- このコースは、グローバルセキュリティエキスパート（株）（GSX社）との提携コースのため、GSX社の研修会場にて開催いたします。
- 受講料の中に受験料（1回分）が含まれています。受験は後日となります。申込み方法等は研修中に説明があります。
- コースの受講登録には、会社名、氏名（漢字およびローマ字）、E-mailアドレスが必要です。これらの登録情報は、GSX社に提供いたします。

※オーダー研修での開催を希望の方は、お問い合わせください。

データベース

データベースの概念を理解し、データベースシステムを構築するための技術が修得できます。

● データベースを利用する方

- DBJ045 マシン実習 データベース入門 −解説と操作体験− 初心者にオススメ 1日間
- または
- DBE711 eラーニング 音声なし 説明文有 【ナビ機能付き】データベース基礎 初心者にオススメ 8時間
- DBJ063 マシン実習 基礎から学ぶSQL −現場で使える力をつける− 2日間
- DBE703 eラーニング 音声なし 説明文有 【ナビ機能付き】SQL入門 初心者にオススメ 8時間
- DBJ067 マシン実習 脱初心者のためのSQL −SQLでここまでできる− 1日間

● データベースを利用したアプリケーションを開発する方

- DBJ045 マシン実習 データベース入門 −解説と操作体験− 初心者にオススメ 1日間
- または
- DBE711 eラーニング 音声なし 説明文有 【ナビ機能付き】データベース基礎 初心者にオススメ 8時間
- DBE703 eラーニング 音声なし 説明文有 【ナビ機能付き】SQL入門 初心者にオススメ 8時間
- DBE710 eラーニング 音声なし 説明文有 【ナビ機能付き】データベース概説 −入門・設計・SQL編− 12時間

【SQLの基礎】
- Renewal DBD065 マシン実習 Oracle Database 12c 入門 SQL基礎Ⅰ 3日間
- DBJ063 マシン実習 基礎から学ぶSQL −現場で使える力をつける− 2日間

【データベースプログラミング】
- DBE304 eラーニング 音声有 説明文なし 【マシン演習付き】SQLによる標準データベースプログラミング−体感!埋め込みSQL− 6時間
- DBE306 eラーニング 音声有 説明文なし 【マシン演習付き】HiRDBアプリケーションプログラミング 6時間
- Renewal OJJ034 マシン実習 Javaによるデータベースプログラミング 2日間
- DBJ067 マシン実習 脱初心者のためのSQL −SQLでここまでできる− 1日間
- DBJ090 マシン実習 データ分析に使えるSQL −SQLでビッグデータに立ち向かう− 1日間
- DBE332 eラーニング 音声有 説明文なし 【マシン演習付き】Oracle Database 12c PL/SQL基礎 14時間
- DBE309 eラーニング 音声有 説明文なし 【マシン演習付き】Oracle Database 12c PL/SQLプログラム開発 21時間

音声有 説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有 説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし 説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修　グループ演習 グループ演習を中心とした研修　レクチャ 座学による研修　eラーニング インターネット接続による自己学習　その他　休講 休講 今期の定期開催はありません

● データベースを設計する方

- DBJ045 マシン実習 データベース入門 −解説と操作体験− 初心者にオススメ 1日間
- または
- DBE711 eラーニング 音声なし 説明文有 【ナビ機能付き】データベース基礎 初心者にオススメ 8時間

<データベース論理構造の設計>
- DBJ054 レクチャ データベース設計技法と演習 2日間
- DBE707 eラーニング 音声なし 説明文有 【ナビ機能付き】データベース設計基礎 6時間
- DBJ055 レクチャ 速習！1日でわかるデータベース設計の基礎 1日間
- または
- DBE708 eラーニング 音声有 説明文なし 【ナビ機能付き】速習！1日でわかるデータベース設計の基礎 6時間

<DBMS製品ごとの物理設計・性能設計>

【HiRDB】
- DBJ092 マシン実習 HiRDBデータベース管理 2日間
- または
- DBE305 eラーニング 音声有 説明文なし 【マシン演習付き】HiRDBデータベース管理 12時間
- DBE026 eラーニング 音声有 説明文なし HiRDBデータベースチューニング 6.5時間
- DBE330 eラーニング 音声有 説明文なし 【マシン演習付き】HiRDBバックアップリカバリとクラスタリング 12時間
- DBE329 eラーニング 音声有 説明文なし 【マシン演習付き】HiRDBパラレルサーバ構築 13時間

【Oracle】
- Renewal DBD066 マシン実習 Oracle Database 12c R2 管理 クイック・スタート 2日間
- DBE310 eラーニング 音声有 説明文なし 【マシン演習付き】Oracle Database 12c パフォーマンス・チューニング 35時間
- DBD052 マシン実習 Oracle Database 12c SQLチューニング ワークショップ 3日間

<データウェアハウスに特化した論理設計>
- DBE706 eラーニング 音声なし 説明文有 【ナビ機能付き】データウェアハウス概説 6時間
- DBE705 eラーニング 音声なし 説明文有 【ナビ機能付き】データウェアハウスにおけるデータモデリング解説 6時間

【Hitachi Advanced Data Binder】
- 休講 DBJ118 レクチャ Hitachi Advanced Data Binder 概説 0.5日間

データベースのチューニング方法を修得したい方

【標準】

- DBJ067 マシン実習 脱初心者のためのSQL −SQLでここまでできる− 1日間

【HiRDB】

- 音声有+説明文なし DBE026 eラーニング HiRDBデータベース チューニング 6.5時間
- 音声有+説明文なし DBE318 eラーニング 【マシン演習付き】HiRDB アプリケーション チューニング 13時間

【Oracle】

- DBD052 マシン実習 Oracle Database 12c SQLチューニング ワークショップ 3日間
- Renewal DBD068 レクチャ Oracle Database 実例から学ぶ！パフォーマンス・チューニング 1日間
- 音声有+説明文なし DBE310 eラーニング 【マシン演習付き】Oracle Database 12c パフォーマンス・チューニング 35時間

データウェアハウスに特化した論理設計を修得したい方

- DBJ045 マシン実習 データベース入門 −解説と操作体験− 初心者にオススメ 1日間
  - または
  - 音声なし+説明文有 DBE711 eラーニング 【ナビ機能付き】データベース基礎 初心者にオススメ 8時間
- → 音声なし+説明文有 DBE706 eラーニング 【ナビ機能付き】データウェアハウス概説 6時間
- → 音声なし+説明文有 DBE705 eラーニング 【ナビ機能付き】データウェアハウスにおけるデータモデリング解説 6時間
- → 休講 DBJ118 レクチャ Hitachi Advanced Data Binder 概説 0.5日間

オンライントランザクション処理（OLTP）やTPモニターの概要を修得したい方

- DBJ009 レクチャ OpenTP1基礎 1日間
  - または
  - 音声なし+説明文有 DBE709 eラーニング 【ナビ機能付き】OpenTP1基礎 6時間
- 【推 奨】
- 音声なし+説明文有 DBE704 eラーニング 【ナビ機能付き】OLTP概説 7時間

音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

HiRDBの概要を修得したい方

- ※1 DBJ045 マシン実習 データベース入門 −解説と操作体験− 初心者にオススメ 1日間
  - または
  - ※1 音声なし+説明文有 DBE711 eラーニング 【ナビ機能付き】データベース基礎 初心者にオススメ 8時間
- → 音声有+説明文なし DBE015 eラーニング HiRDB機能解説 7時間

※1：このコースは、HiRDBに特化した内容ではありません。

HiRDBを使用してデータベースを構築・運用・アプリケーションプログラム開発をする方

- Renewal ※1 OJJ034 マシン実習 Javaによるデータベースプログラミング 2日間
- ※1 音声有+説明文なし DBE304 eラーニング 【マシン演習付き】SQLによる標準データベースプログラミング−体感！埋め込みSQL− 6時間
- ※1 DBJ045 マシン実習 データベース入門 −解説と操作体験− 初心者にオススメ 1日間
  - または
  - ※1 音声なし+説明文有 DBE711 eラーニング 【ナビ機能付き】データベース基礎 初心者にオススメ 8時間
- → ※1 DBJ063 マシン実習 基礎から学ぶSQL −現場で使える力をつける− 2日間
  - → 音声有+説明文なし DBE306 eラーニング 【マシン演習付き】HiRDBアプリケーションプログラミング 6時間
    - → 音声有+説明文なし DBE318 eラーニング 【マシン演習付き】HiRDB アプリケーションチューニング 13時間
  - → DBJ092 マシン実習 HiRDBデータベース管理 2日間
    - または
    - 音声有+説明文なし DBE305 eラーニング 【マシン演習付き】HiRDBデータベース管理 12時間
    - → 音声有+説明文なし DBE026 eラーニング HiRDBデータベースチューニング 6.5時間
    - → 音声有+説明文なし DBE330 eラーニング 【マシン演習付き】HiRDBバックアップリカバリとクラスタリング 12時間
    - → 音声有+説明文なし DBE329 eラーニング 【マシン演習付き】HiRDBパラレルサーバ構築 13時間
  - → ※1 DBJ067 マシン実習 脱初心者のためのSQL −SQLでここまでできる− 1日間
  - → DBJ064 マシン実習 HiRDB入門 −データベース構築編− 1日間
    - または
    - 音声有+説明文なし DBE338 eラーニング 【ナビ機能付き】【マシン演習付き】HiRDB入門 −データベース構築編− 7時間
  - → 音声有+説明文なし DBE307 eラーニング 【マシン演習付き】HiRDB入門−GUIによる構築・運用・チューニング操作体験編− 7時間
  - → 音声有+説明文なし DBE015 eラーニング HiRDB機能解説 7時間

※1：このコースは、HiRDBに特化した内容ではありません。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

データベース

SQL Server 2016 を使用してデータベースを管理・運用する方

DBJ045 マシン実習
データベース入門
−解説と操作体験−
初心者にオススメ 1日間

または

音声有+説明文有
DBE711 eラーニング
【ナビ機能付き】
データベース基礎
初心者にオススメ 8時間

DBJ063 マシン実習
基礎から学ぶSQL
−現場で使える力をつける−
2日間

音声なし+説明文有
DBE703 eラーニング
【ナビ機能付き】
SQL入門
初心者にオススメ 8時間

音声有+説明文なし
DBE337 eラーニング
【マシン演習付き】
SQL Server 2016
データベース管理
14時間

または

DBJ113 マシン実習
SQL Server 2016
データベース管理
2日間

PostgreSQL を使用してデータベースを管理・運用する方

DBJ045 マシン実習
データベース入門
−解説と操作体験−
初心者にオススメ 1日間

または

音声なし+説明文有
DBE711 eラーニング
【ナビ機能付き】
データベース基礎
初心者にオススメ 8時間

DBJ063 マシン実習
基礎から学ぶSQL
−現場で使える力をつける−
2日間

音声なし+説明文有
DBE703 eラーニング
【ナビ機能付き】
SQL入門
初心者にオススメ 8時間

Renewal
UXJ082 マシン実習
OSS-DB PostgreSQL
導入と運用
2日間

音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

MySQL を使用してデータベースを管理・運用する方

DBJ045 マシン実習
データベース入門
−解説と操作体験−
初心者にオススメ 1日間

または

音声有+説明文有
DBE711 eラーニング
【ナビ機能付き】
データベース基礎
初心者にオススメ 8時間

DBJ063 マシン実習
基礎から学ぶSQL
−現場で使える力をつける−
2日間

音声なし+説明文有
DBE703 eラーニング
【ナビ機能付き】
SQL入門
初心者にオススメ 8時間

音声有+説明文なし
DBE346 eラーニング
【マシン演習付き】
MySQL 5.7
データベース管理Ⅰ
14時間

音声有+説明文なし
DBE347 eラーニング
【マシン演習付き】
MySQL 5.7
データベース管理Ⅱ
21時間

Oracleのチューニング方法を修得したい方

DBD052 マシン実習
Oracle Database 12c
SQLチューニング
ワークショップ
3日間

音声有+説明文なし
DBE310 eラーニング
【マシン演習付き】
Oracle Database 12c
パフォーマンスチューニング
35時間

Renewal
DBD068 レクチャ
Oracle Database
実例から学ぶ！
パフォーマンス・チューニング
1日間

Oracleを使用してPL/SQLによるアプリケーションを開発する方

Renewal
DBD065 マシン実習
Oracle Database 12c
入門 SQL基礎Ⅰ
3日間

音声有+説明文なし
DBE332 eラーニング
【マシン演習付き】
Oracle Database 12c
PL/SQL基礎
14時間

音声有+説明文なし
DBE309 eラーニング
【マシン演習付き】
Oracle Database 12c
PL/SQLプログラム開発
21時間

Oracleにおけるトラブル発生時における対応方法を修得したい方

Renewal
DBD069 レクチャ
Oracle Database
実例から学ぶ！
トラブル・シューティング
1日間

● Oracleを使用してデータベースを設計・運用する方

- DBD048 マシン実習 Oracle Database 12c 入門 SQL基礎 I 3日間
- DBD066 マシン実習 Renewal Oracle Database 12c R2 管理 クイック・スタート 2日間
- DBD067 マシン実習 Renewal Oracle Database 12c R2 管理 ネクスト・ステップ 3日間
- DBE315 eラーニング 音声有+説明文なし 【マシン演習付き】Oracle Database 11g R2 管理 ワークショップII 35時間
- DBJ067 マシン実習 ※2 脱初心者のためのSQL −SQLでここまでできる− 1日間
- DBE316 eラーニング 音声有+説明文なし 【マシン演習付き】Oracle Database 12c 新機能 35時間
- DBE308 eラーニング 音声有+説明文なし 【マシン演習付き】Oracle Database 12c バックアップ・リカバリ 35時間
- DBE319 eラーニング 音声有+説明文なし 【マシン演習付き】Exadata Database Machine 管理ワークショップ 35時間
- DBE311 eラーニング 音声有+説明文なし 【マシン演習付き】Oracle Database 12c インストール&アップグレード 14時間
- DBE322 eラーニング 音声有+説明文なし 【マシン演習付き】Oracle Database 12c Clusterware 管理 28時間
- DBE333 eラーニング 音声有+説明文なし 【マシン演習付き】Oracle Database 12c SQL基礎 II 14時間
- DBE331 eラーニング 音声有+説明文なし 【マシン演習付き】Oracle Database 12c RAC管理 28時間
- DBE332 eラーニング 音声有+説明文なし 【マシン演習付き】Oracle Database 12c PL/SQL基礎 14時間
- DBE019 eラーニング 音声有+説明文なし Oracleではじめる統計入門 7時間
- DBE321 eラーニング 音声有+説明文なし 【マシン演習付き】Oracle Database 12c ASM 管理 14時間
- DBE324 eラーニング 音声有+説明文なし 【マシン演習付き】Oracle Database 12c セキュリティ 35時間
- DBE323 eラーニング 音声有+説明文なし 【マシン演習付き】Oracle Database 12c Database Vault 14時間
- DBE325 eラーニング 音声有+説明文なし 【マシン演習付き】Oracle Database 12c マルチテナント・アーキテクチャ 14時間
- DBE341 eラーニング 音声有+説明文なし 【マシン演習付き】Oracle Database 12c R2 新機能 for 12c R1 管理者 35時間
- DBE343 eラーニング 音声有+説明文なし 【マシン演習付き】Oracle Enterprise Manager Cloud Control 12c による管理 21時間

※2：このコースは、Oracleに特化した内容ではありません。

音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● Oracle Exadataを使用してデータベースを管理・運用する方

- DBE308 eラーニング 音声有+説明文なし 【マシン演習付き】Oracle Database 12c バックアップ・リカバリ 35時間
- DBE319 eラーニング 音声有+説明文なし 【マシン演習付き】Exadata Database Machine 管理ワークショップ 35時間

● Oracleを使用してデータ分析をする方

- DBD066 マシン実習 Renewal Oracle Database 12c R2 管理 クイック・スタート 2日間
- DBE019 eラーニング 音声有+説明文なし Oracleではじめる統計入門 7時間
- DBE342 eラーニング 音声有+説明文なし 【マシン演習付き】Oracle Database 12c データ・マイニング手法 14時間
- DBE332 eラーニング 音声有+説明文なし 【マシン演習付き】Oracle Database 12c PL/SQL基礎 14時間

● ORACLE MASTER 資格取得をめざされている方

- DBE043 eラーニング New 音声有+説明文なし 資格試験準備セミナー：ORACLE MASTER Bronze DBA（受験チケット付） 7時間
- DBE044 eラーニング New 音声有+説明文なし 資格試験準備セミナー：ORACLE MASTER Silver SQL（受験チケット付） 7時間
- DBE045 eラーニング New 音声有+説明文なし 資格試験準備セミナー：ORACLE MASTER Silver DBA（受験チケット付） 7時間
- DBE046 eラーニング New 音声有+説明文なし 資格試験準備セミナー：ORACLE MASTER Gold DBA（受験チケット付） 7時間

● Oracle全般の技術を修得したい方

- DBE714 eラーニング 音声有+説明文なし 【マシン演習付き】Oracle Unlimited Product Learning Subscription 使用可能期間 1年間

資格 オラクル認定技術者制度

オラクル認定技術者制度とは、日本オラクル社が世界で高い評価を受けているOracle製品に関する技術者を認定する制度です。認定を受けるためには、日本オラクル社の試験に合格する必要があり、合格した試験科目の組み合わせにより認定技術資格を取得できます。

詳しくは、日立アカデミーのWebサイトにてご確認ください。

https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/license/oramas.html

ORACLE APPROVED EDUCATION PROVIDER

DBJ045 共通

マシン実習 1日間

データベース入門−解説と操作体験−

データベースの基礎知識やDBMSの基本機能、SQLによるデータ操作方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- データベースとデータモデルを理解し説明できる。
- DBMSの基本機能を理解し説明できる。
- 基本的なSQLを発行しリレーショナルデータベースを操作できる。

対象者 データベースにアクセスするアプリケーションを開発する方、データベースを管理・運用する方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. データベースとデータモデル
2. DBMSの基本機能
   (1)データ独立性
   (2)データの機密保護
   (3)トランザクション
   (4)同時実行制御
   (5)整合性制約
   (6)障害回復
   (7)インデックス
3. SQL概要
   (1)リレーショナルデータベースの基本操作
   (2)SQLの種類
   (3)SQL構文

備 考 マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。

DBE711 共通

eラーニング 8時間

<eラーニング>【ナビ機能付き】データベース基礎

データベースの基礎やDBMSの基本機能を学習します。

到達目標
- データベースとデータモデルを理解し説明できる。
- DBMSの基本機能を理解し説明できる。

対象者
- データベースにアクセスするアプリケーションを開発する方。
- データベースを管理、運用する方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. データベースの概念
2. DBMS基本機能
3. データモデル
4. データベース設計
5. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBJ063 共通

マシン実習 2日間

基礎から学ぶSQL −現場で使える力をつける−

リレーショナルデータベースを操作するためのSQL、トランザクションを制御するためのSQL、オブジェクトを作成するためのSQLの文法と機能を学習します。

到達目標
- リレーショナルデータベースの表の検索ができる。
- リレーショナルデータベースに行の追加、削除、値の更新ができる。
- SQLを用いてトランザクションの制御ができる。
- リレーショナルデータベース上にオブジェクトの作成ができる。

対象者 SQLの知識を必要とする方。

前提知識「データベース入門−解説と操作体験−」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. リレーショナルデータベースとSQLの概要
2. SQLによるデータ検索
   (1)全件検索
   (2)探索条件
   (3)結合
   (4)集合関数
   (5)グループ化
   (6)並び替え
   (7)集合演算
   (8)副問合せ
3. SQLによるデータ追加/更新/削除
4. SQLによるトランザクションの制御
5. SQLによるデータ定義
   (1)表の定義
   (2)ビューの定義
   (3)インデックスの定義

備 考
- このコースでは、ISO標準のSQL文法を解説します。
- 演習ではPostgreSQLを用いますが、学習内容はいかなる製品でも使用可能です。

DBE703 共通

eラーニング 8時間

<eラーニング>【ナビ機能付き】SQL入門

リレーショナルデータベースを操作するためのSQLの基礎を学習します。

到達目標
- データ操作をするSQLについて、基本的な機能と文法を理解し説明できる。
- データ定義をするSQLについて、基本的な機能と文法を理解し説明できる。
- トランザクション制御をするSQLについて、基本的な機能と文法を理解し説明できる。

対象者
- リレーショナルデータベースを管理・運用する方。
- リレーショナルデータベースのアプリケーションを開発する方。

前提知識 リレーショナルデータベースの基礎知識があること。

内 容
1. リレーショナルデータベースとSQL
2. データ操作文（DML）
   (1)検索処理
   (2)追加処理
   (3)更新処理
   (4)削除処理
3. データ定義文（DDL）
   (1)表の定義
   (2)参照制約
   (3)ビュー表
4. データ制御文（DCL）
   (1)データの確定
   (2)データの取り消し
5. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBJ055 共通

レクチャ 1日間

速習！1日でわかるデータベース設計の基礎

具体的な業務を想定しながら、リレーショナルデータベースの論理設計、物理設計、性能設計に必要な基礎知識を、机上演習を通して学習します。

到達目標 リレーショナルデータベースの論理設計、物理設計、性能設計に関する基礎的な手法を理解し説明できる。

対象者 リレーショナルデータベースの設計に関する知識を必要とする方。

前提知識「データベース入門−解説と操作体験−」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. データベース設計の概要
2. ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計
   (1)ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計の流れ
   (2)正規化
   (3)ER図の作成
   (4)確認作業−トップダウンアプローチの観点からの確認−
3. データベース物理設計
   (1)テーブル関連図とテーブル定義書の作成
   (2)領域配置図の作成
4. データベース性能設計
   (1)インデックス設計

DBE710 共通

eラーニング 12時間

<eラーニング>【ナビ機能付き】データベース概説 −入門・設計・SQL編−

データベースの入門として、データベース分野全般の概要を学習します。さらに、データベース設計、およびSQLを用いたデータベース操作について、具体的な例を用いて学習します。

到達目標
- データベース全般の基礎的な知識・技術について理解ができる。
- ニーズに応じたデータベースを適切に設計し、構築したデータベース上でデータを操作できる。

対象者 データベースのデータを活用するにあたり、データベース分野全般の基礎知識について効率よく学習したい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. データベースの基礎知識
2. データベース設計
3. SQLの操作法
4. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HiRDB
OpenTP1
VOS3
XDM
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
DXマインド・プロセス・マネジメント
課題分析（何をなすべきかを着想する）
仮説構築（ビジネスモデルをデザインする）
プロトタイピングと価値検証（共通）
プロトタイピングと価値検証（データ環境構築）
プロトタイピングと価値検証（分析モデル構築）
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル
OT（製造・生産技術）

DBE708 共通

eラーニング 6時間

<eラーニング>【ナビ機能付き】速習！1日でわかるデータベース設計の基礎

具体的な業務を想定しながら、リレーショナルデータベースの論理設計、物理設計、性能設計に必要な基礎知識を、机上演習を通して学習します。

到達目標 リレーショナルデータベースの論理設計、物理設計、性能設計に関する基礎的な手法を理解し説明できる。

対象者 リレーショナルデータベースの設計に関する知識を必要とする方。

前提知識「データベース入門−解説と操作体験−」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. データベース設計の概要
2. ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計
   (1)ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計の流れ
   (2)正規化
   (3)ER図の作成
   (4)確認作業−トップダウンアプローチの観点からの確認−
3. データベース物理設計
   (1)テーブル関連図とテーブル定義書の作成
   (2)領域配置図の作成
4. データベース性能設計
   (1)インデックス設計
5. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBJ054 共通

レクチャ 2日間

データベース設計技法と演習

演習を通し、データベース論理構造の適切な設計手順について学習します。

到達目標
- データベース設計技法について理解し説明できる。
- データベースの論理構造の設計ができる。

対象者 データベースシステムの設計・構築をする方、または予定している方。

前提知識「データベース入門−解説と操作体験−」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. データモデル
   (1)データモデルとは
   (2)ERモデル
   (3)リレーショナルモデル
2. 正規化
   (1)正規化のねらい
   (2)正規化理論の前提知識
   (3)正規化手順
3. 論理構造の設計手順
   (1)論理構造の設計手順概要
   (2)トップダウンアプローチ例題
   (3)ボトムアップアプローチ例題
4. RDBMSへの実装および性能を考慮した変形操作
   (1)RDBMSへ実装可能な形式への変形
   (2)非正規化

DBE707 共通

eラーニング 6時間

<eラーニング>【ナビ機能付き】データベース設計基礎

データベース設計手順についての基礎理論を、eラーニングでの演習を通して学習します。

到達目標
- 基本的なデータベース設計手順を理解し説明できる。
- 設計手順に基づいて、簡単なデータベース設計ができる。

対象者 リレーショナルデータベースの設計の知識を必要とする方。

前提知識「データベース入門−解説と操作体験−」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. データベース設計概要
2. ERモデルとER図
3. 正規化
4. ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計例題
5. トップダウンアプローチによるデータベース論理設計例題
6. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE304 共通

eラーニング 6時間

<eラーニング>【マシン演習付き】SQLによる標準データベースプログラミング −体感！埋め込みSQL−

埋め込みSQLによるアプリケーションを開発するための基礎知識について、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標 埋め込みSQLを用いてデータベースにアクセスするプログラムを開発できる。

対象者 埋め込みSQLを用いてDBMSにアクセスするアプリケーションを開発する方。

前提知識 SQL、RDBMSの基礎知識があり、かつC言語の基本的な文法に関しての知識があること。

内 容
1. SQLの基礎
2. 埋め込みSQLを用いたAP作成
3. 修了試験

備 考
- サービス有効期間は21日間です。

【お申し込み前に必ずご確認ください】
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
  https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf
- 操作演習用テキストは、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- このコースは、旧「演習で学ぶ埋め込みSQLプログラミング」コース（集合研修）と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBJ067 共通

マシン実習 1日間

脱初心者のためのSQL −SQLでここまでできる−

ショッピングサイトを題材にして、システムに実装済みのSQL文を、性能、可読性、保守性の観点から改善することにより、CASE式や自己結合といった、高度なSQL文の使いどころを学習します。

到達目標
- EXISTS述語の使用方法を理解し説明できる。
- NOT EXISTS述語の使用方法を理解し説明できる。
- 相関副問合せの使用方法を理解し説明できる。
- 自己結合の使用方法を理解し説明できる。
- CASE式の使用方法を理解し説明できる。

対象者 高度なSQL文の知識を修得したい方。

前提知識「基礎から学ぶSQL−現場で使える力をつける−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 演習環境概要
2. 高度なSQL文
   (1)EXISTS述語を使用した存在チェック
   (2)相関副問合せを使用したランキング表示
   (3)分析関数を使用したランキング表示
   (4)CASE式を使用したSELECT句での条件分岐
   (5)自己結合を使用した組み合わせ表示
   (6)NOTEXISTS述語と相関副問合せを使用した更新処理

備 考
- 演習ではPostgreSQLを用いますが、学習内容はいかなる製品でも使用可能です。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

DBJ090 共通

マシン実習 1日間

データ分析に使えるSQL −SQLでビッグデータに立ち向かう−

高度なSQL文やSQL分析関数を使用して、データベースに格納されたデータを分析する手法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- SQLによるデータ分析の概要を説明できる。
- 高度なSQL文・SQL分析関数の文法を理解し説明できる。
- 高度なSQL文・SQL分析関数を利用したデータ集計・分析を理解し説明できる。

対象者 SQLを用いたデータ分析手法を修得したい方。

前提知識「基礎から学ぶSQL−現場で使える力をつける−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. データ分析概要
2. 高度なSQL文
   (1)CASE式
   (2)相関副問合せ
3. SQL分析関数
   (1)ウィンドウ関数
   (2)レポート関数
   (3)LAG/LEAD関数
   (4)中間データの加工 −副問合せと共通表式（WITH句）−

備 考 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

DBE704 共通

<eラーニング>【ナビ機能付き】OLTP概説

eラーニング 7時間

OLTP(オンライントランザクション処理)の基本的な概念や機能、および分散トランザクションシステムを実現するために必要なソフトウェアとAPIを規定した、DTPモデルについて学習します。

到達目標
- トランザクションのACID特性について理解し、説明できる。
- さまざまなOLTPシステム構成について理解し、説明できる。
- DTPモデルの各種ソフトウェアの役割とAPIについて理解し、説明できる。

対象者
- オンライントランザクションシステムを構築する方。
- 分散トランザクションやDTPモデルの知識を必要とする方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. トランザクション処理とは
2. トランザクション処理の変遷
3. OLTPの特徴
4. OLTPのシステム要件
5. OLTPのシステム構成
6. The Open Group DTPモデル
7. OLTPシステムの基本機能
8. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE337 SQL Server

<eラーニング>【マシン演習付き】SQL Server 2016 データベース管理

eラーニング 14時間

SQL Serverのデータベースとしての基本機能、およびSQL Serverを用いたデータベースシステムの構築方法について学習します。

到達目標
- SQL Serverのデータベース機能を理解し説明できる。
- SQL Serverを用いたデータベースシステムを構築できる。
- SQL Serverのデータベースの障害から回復できる。

対象者
- SQL Serverを管理する方。
- アプリケーション開発者としてSQL Serverの基本的な知識を必要とする方。

前提知識「データベース入門ー解説と操作体験ー」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. SQL Server 2016概要
2. インストールと環境設定
3. データベースファイルの管理
4. データベースコンポーネントの管理
5. ユーザーの管理
6. バックアップと障害回復

備 考
- サービス有効期間は21日間です。

【お申し込み前に必ずご確認ください】
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
  https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf
- 操作演習用テキストは、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBJ113 SQL Server

SQL Server 2016 データベース管理

マシン演習 2日間

SQL Serverのデータベースとしての基本機能、およびSQL Serverを用いたデータベースシステムの構築方法について学習します。

到達目標
- SQL Serverのデータベース機能を理解し説明できる。
- SQL Serverを用いたデータベースシステムを構築できる。
- SQL Serverのデータベースの障害から回復できる。

対象者
- SQL Serverを管理する方。
- アプリケーション開発者としてSQL Serverの基本的な知識を必要とする方。

前提知識「基礎から学ぶSQLー現場で使える力をつけるー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. SQL Server 2016概要
2. インストールと環境設定
3. データベースファイルの管理
4. データベースコンポーネントの管理
5. ユーザーの管理
6. バックアップと障害回復

DBE346 Oracle

<eラーニング>【マシン演習付き】MySQL 5.7 データベース管理 Ⅰ

eラーニング 14時間

MySQLデータベース管理者および開発者向けの基礎となる内容を学習します。

到達目標
- MySQL データベースのイントール、および運用管理方法について修得できる。
- MySQL Cloud Serviceを使用する利点について修得できる。

対象者 MySQLの知識修得をされたい方。

前提知識「基礎から学ぶSQLー現場で使える力をつけるー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. MySQLサーバーおよびクライアント・プログラムのインストールおよび構成
2. MySQLアーキテクチャの主なコンポーネントの確認
3. サーバーの保護
4. サーバー速度低下およびその他の問題のトラブルシューティング
5. クエリーのパフォーマンス向上
6. さまざまなレプリケーション・トポロジの構成および管理
7. MySQL Cloudの利点の理解

備 考 本ページ右下をご参照ください。

DBE347 Oracle

<eラーニング>【マシン演習付き】MySQL 5.7 データベース管理 Ⅱ

eラーニング 21時間

MySQLデータベース管理者および開発者向けの基礎となる内容を学習します。

到達目標 MySQL Serverの構成、レプリケーションおよびセキュリティの設定、データベース・バックアップの実行、クエリー・パフォーマンスの最適化および高可用性の確保について修得できる。

対象者 MySQLの知識修得をされたい方。

前提知識「MySQL 5.7データベース管理Ⅰ」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. MySQLサーバーおよびクライアント・プログラムのインストールおよび構成
2. MySQLアーキテクチャの主なコンポーネントの確認
3. サーバーの保護
4. サーバー速度低下およびその他の問題のトラブルシューティング
5. クエリーのパフォーマンス向上
6. さまざまなレプリケーション・トポロジの構成および管理
7. MySQL Cloudの利点の理解

備 考 本ページ右下をご参照ください。

※1
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。
  お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。
  https://www.oracle.com/a/ocom/docs/dc/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf
- このコースは、日本オラクル（株）が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」（PDF）を使用します。
- このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日の内の連続した6日間です。
- 受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。
- このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。
- ご利用最終日は、16：00まで利用可能です。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

マシン演習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

DBE345 Oracle

<eラーニング>【マシン演習付き】MySQL パフォーマンス・チューニング

eラーニング 28時間

さまざまなツールを使用して、サーバー、データベース、およびクエリーを構成、モニタリングおよびトラブルシューティングするためのベスト・プラクティスを学習します。

到達目標 MySQLツールを使用してアプリケーションの速度、効率性および安全性を保つためのさまざまな構成オプション、モニタリング・ツールおよび技術の使用方法を修得できる。

対象者 MySQLのパフォーマンスチューニングを担当される方。

前提知識「【マシン演習付き】MySQLデータベース管理Ⅰ/Ⅱ」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 概要
2. パフォーマンス・チューニングの概念
3. パフォーマンス・チューニングのツール
4. パフォーマンス・スキーマ
5. メモリー、接続およびスレッド
6. テーブル、ファイルおよびログ
7. ステートメントのモニタリング、ソート・バッファーおよびクエリー・キャッシュ
8. InnoDBストレージ・エンジン
9. スキーマ設計およびパフォーマンス
10. クエリーの最適化
11. パフォーマンス問題のトラブルシューティング
12. アプリケーション環境に合わせたMySQLの最適化
13. ハードウェアの最適化
14. まとめ

備 考 本ページ右下をご参照ください。

DBE316 Oracle

<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c 新機能

eラーニング 35時間

Oracle Database 12cの新機能と強化された機能について学習します。Oracle Database 12cによって管理性、セキュリティ、およびパフォーマンスが向上する仕組みを学習します。

到達目標
- Oracle Database 12cの新機能について説明できる。
- Oracle Database 12cで強化された機能について説明できる。
- Oracle Database 12cのパフォーマンスについて説明できる。

対象者 Oracle Database 12cを運用する方、Oracle Database 12cを管理する方。

前提知識 Oracle Database 11gに関する十分な知識があること。

内 容
1. Oracle Database 12cの各種ツールの新機能
2. Oracle Database 12cの監査・権限・監視機能の拡張
3. Oracle Database 12cのパフォーマンスの拡張
4. Oracle Database 12cのSQL機能拡張

備 考
- 本ページ右下をご参照ください。
- このコースは、旧「Oracle Database 12c：新機能」コース（集合研修）と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。

DBD065 Oracle

Oracle Database 12c 入門 SQL基礎 Ⅰ

Renewal

マシン演習 3日間

リレーショナル・データベースの概念、SQLによるデータ操作およびスキーマ・オブジェクトの作成方法について学習します。

到達目標
- SQL関数（TO_CHAR、SUBSTR、SUMなど）でデータを加工して取得できる。
- 複数の表の結合や、副問合せでデータを取得できる。
- INSERT文、UPDATE文、DELETE文を使用できる。
- 表を作成、管理できる。

対象者 Oracleデータベースを使用し、かつSQL文の知識を必要とする方。ORACLE MASTER Bronze Oracle Databaseの資格取得をめざす方。

前提知識「データベース入門ー解説と操作体験ー」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. はじめに
2. SQL SELECT文を使用したデータの取得
3. データの制限とソート
4. 単一行関数を使用した出力のカスタマイズ
5. 変換関数と条件式の使用方法
6. グループ関数を使用した集計データのレポート
7. 結合を使用した複数の表のデータの表示
8. 集合演算子の使用
9. DML文を使用した表の管理
10. データ定義言語の概要

備 考
- このコースは、Oracle社認定コースです。
- このコースは、日本オラクル（株）が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」（PDF）を使用します。
- コース実施およびメール送信に必要となるご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。ダウンロード時に必要な情報は、ご受講前（開始日の約1週間前）にOracle社よりご受講者の方へメールにてご連絡します。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。

DBE333 Oracle

<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c SQL基礎 Ⅱ

eラーニング 14時間

スキーマ・オブジェクトの管理、データ・ディクショナリ・ビューの使用方法、および応用的な問い合わせやデータセットの操作や正規表現を使用など効率的なSQLの記述方法を学習します。

到達目標
- スキーマオブジェクトの管理やデータディクショナリ
- ビューを使用することができる。
- 副問い合わせを活用して効率的な問い合わせを行うことができる。
- 正規表現を使用した複雑な問い合わせを行うことができる。

対象者 Oracle Database 12cを使用したアプリケーションを開発する方。

前提知識 Oracle Database 12cに関する基本的な知識があること、および基本的なSQLに関する知識があること。

内 容
1. データ・ディクショナリ・ビューの概要
2. 順序、シノニム、索引の作成
3. ビューの作成
4. スキーマ・オブジェクトの管理
5. 副問い合わせを使用したデータの取得
6. 副問い合わせを使用したデータの操作
7. ユーザーアクセスの制御
8. データの操作
9. 異なるタイム・ゾーンのデータの管理

備 考 本ページ右下をご参照ください。

DBD066 Oracle

Oracle Database 12c R2 管理クイック・スタート

Renewal

マシン演習 2日間

Oracleデータベースのインストールから環境構築、記憶域の管理、バックアップ・リカバリなど、データベース管理者の第一歩となる基礎的な技術を、マシン演習を通して学習します。

到達目標
- Oracleデータベースをインストールしデータベースを作成できる。
- Enterprise Manager Database Expressを用いデータベース記憶域構造、ユーザーおよびセキュリティの管理ができる。
- Oracle SQL Developerを用いてスキーマ・オブジェクトの作成と管理ができる。
- データベースの監視、およびアドバイザの使用について説明できる。

対象者 Oracleデータベースを運用する方。ORACLE MASTER Bronze Oracle Databaseの資格取得をめざす方。

前提知識「Oracle Database 12c入門SQL基礎Ⅰ」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内 容
1. Oracleデータベース管理の概要
2. データベースのインストールおよび作成
3. Oracle Enterprise Manager Database ExpressとSQLベース管理ツールの使用
4. Oracleネットワーク環境の構成
5. Oracleインスタンスの管理
6. データベース記憶域構造の管理
7. ユーザーおよびセキュリティの管理
8. スキーマ・オブジェクトの管理
9. バックアップおよびリカバリの実行
10. データベースの監視およびアドバイザの使用
11. ソフトウェア

備 考
- このコースは、Oracle社認定コースです。
- このコースは、日本オラクル（株）が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」（PDF）を使用します。
- コース実施およびメール送信に必要となるご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。ダウンロード時に必要な情報は、ご受講前（開始日の約1週間前）にOracle社よりご受講者の方へメールにてご連絡します。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。

※1
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。
  お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。
  https://www.oracle.com/a/ocom/docs/dc/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf
- このコースは、日本オラクル（株）が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」（PDF）を使用します。
- このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日の内の連続した6日間です。
- 受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。
- このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。
- ご利用最終日は、16：00まで利用可能です。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBD067 Oracle

マシン実習 3日間

Oracle Database 12c R2 管理ネクスト・ステップ

Renewal

データベースの環境構築、オブジェクト管理、セキュリティ管理、バックアップ・リカバリを行う際に必要な知識や操作方法をより深く学習します。

到達目標
- Oracle Databaseインスタンスの管理ができる。
- 記憶域構造の作成および管理ができる。
- Oracleネットワーク環境の構成ができる。
- データベースの監視とパフォーマンスの管理ができる。
- バックアップの取得と簡単な障害からのリカバリができる。

対象者 Oracleデータベースを運用する方。ORACLE MASTER Silver Oracle Databaseの資格取得をめざす方。

前提知識 「Oracle Database 12c R2管理クイック・スタート」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内 容
1. Oracle Databaseアーキテクチャの確認
2. データベース・インスタンスの管理
3. Oracleネットワーク環境の構成
4. ユーザー・セキュリティの管理
5. データベース記憶域構造の管理
6. 領域の管理
7. データ同時実行性の管理
8. Oracle Database監査の実装
9. バックアップおよびリカバリ
10. データの移動
11. データベースのメンテナンス
12. パフォーマンスの管理

備 考
- このコースは、Oracle社認定コースです。
- このコースは、日本オラクル（株）が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」（PDF）を使用します。
- コース実施およびメール送信に必要となるご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。ダウンロード時に必要な情報は、ご受講前（開始日の約1週間前）にOracle社よりご受講者の方へメールにてご連絡します。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。

DBE332 Oracle

eラーニング 14時間

<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c PL/SQL基礎

基本的なPL/SQLプログラミングを学習します。制御文、明示カーソル、例外処理、ストアド・プロシージャ、ファンクションの概要など、プログラムを作成する上で必須の内容について学習します。

到達目標
- PL/SQLのプログラミング構造を理解し作成できる。
- 効率的に実行されるPL/SQL無名ブロックを作成できる。
- データベースに接続するPL/SQLコードの記述ができる。
- 実行時エラーの処理を理解し活用できる。

対象者 PL/SQLを使用してOracleデータベースのアプリケーションを開発する方。

前提知識 「Oracle Database 12c入門SQL基礎Ⅰ」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内 容
1. はじめに
2. PL/SQLの概要
3. PL/SQL変数の宣言
4. 実行文の記述
5. PL/SQLブロック内でのSQL文の使用
6. 制御構造の記述
7. コンポジット・データ型の処理
8. 明示カーソルの使用
9. 例外の処理
10. ストアド・プロシージャおよびストアド・ファンクションの作成

備 考 本ページ右下をご参照ください。

DBE309 Oracle

eラーニング 21時間

<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c PL/SQLプログラム開発

基礎的なPL/SQL知識をお持ちの開発者向けのコースです。ファンクション、パッケージおよびデータベース・トリガーなどのPL/SQLストアド・プロシージャの開発・運用・管理を学習します。

到達目標
- ストアド・プロシージャおよびファンクションを作成できる。
- PL/SQLパッケージの設計による関連構造のグループ化および包含を説明できる。
- PL/SQLサブプログラム間の依存関係を管理できる。

対象者 PL/SQLを使用してOracleデータベースのアプリケーションを開発する方。

前提知識 「【マシン演習付き】Oracle Database 12c PL/SQL基礎Ⅰeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. はじめに
2. ストアド・プロシージャの作成
3. ファンクションの作成およびサブプログラムのデバッグ
4. パッケージの作成
5. パッケージの使用
6. アプリケーション開発でのオラクル社が提供するパッケージの使用
7. 動的SQLの使用項
8. PL/SQLコードの設計上の考慮事項
9. トリガーの作成
10. 複合トリガー、DDLトリガーおよびイベント・データベース・トリガーの作成
11. PL/SQLコンパイラの使用
12. 依存性の管理

備 考 本ページ右下をご参照ください。

DBD069 Oracle

レクチャ 1日間

Oracle Database 実例から学ぶ! トラブル・シューティング

Renewal

運用担当者として必ず押さえておく必要があるトラブル発生時の対応について修得します。また、よくあるエラーとその対処方法についても説明します。

到達目標 Oracle Database トラブル発生時の対応について修得し、落ち着いて対応できる。

対象者 Oracleデータベースを運用する方。

前提知識 「Oracle Database 12c R2管理クイック・スタート」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内 容
1. アーキテクチャ
2. 自動診断リポジトリとその他の調査資料
3. サポート・サービスとの連携
4. よくあるエラーとその原因

備 考
- このコースは、Oracle社認定コースです。
- このコースは、日本オラクル（株）が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」（PDF）を使用します。
- コース実施およびメール送信に必要となるご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。ダウンロード時に必要な情報は、ご受講前（開始日の約1週間前）にOracle社よりご受講者の方へメールにてご連絡します。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。

DBD052 Oracle

マシン実習 3日間

Oracle Database 12c SQLチューニングワークショップ

自動SQLチューニング・コンポーネント、EXPLAIN、SQL Trace、TKPROF、SQL*Plus AUTOTRACE等のOracleの診断ツール・機能を用い、SQLをチューニングするための知識やノウハウについて学習します。

到達目標
- 効率の悪いSQL文を識別できる。
- SQL文を最適に実行するために改良できる。
- アプリケーション・トレースを使用できる。
- オプティマイザ・ヒントを効果的に使用できる。

対象者 Oracleデータベースにおいて、SQL文のチューニングに対する知識を必要とする方。

前提知識 「Oracle Database 12c入門SQL基礎Ⅰ」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. Oracle Databaseアーキテクチャの検討
2. SQLチューニングの概要
3. オプティマイザの概要
4. オプティマイザ演算子
5. 実行計画の解釈
6. ケース・スタディ：スター型変換
7. オプティマイザ統計
8. バインド変数の使用
9. オプティマイザ・ヒントの使用
10. アプリケーション・トレース
11. SQLチューニングの自動化

備 考
- このコースは、Oracle社認定コースです。
- このコースは、日本オラクル（株）が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」（PDF）を使用します。
- コース実施およびメール送信に必要となるご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。ダウンロード時に必要な情報は、ご受講前（開始日の約1週間前）にOracle社よりご受講者の方へメールにてご連絡します。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。

※1
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。
  お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。
  https://www.oracle.com/a/ocom/docs/dc/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf
- このコースは、日本オラクル（株）が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」（PDF）を使用します。
- このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日の内の連続した6日間です。
- 受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。
- このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。
- ご利用最終日は、16：00まで利用可能です。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

DBE308 Oracle

eラーニング 35時間

<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c バックアップ・リカバリ

バックアップおよびリカバリ手順の適切な計画の立案について、さまざまなシナリオで学習します。要件の評価および適切なバックアップ・リカバリ計画の立案に役立つ知識も学習できます。

到達目標
- 適切なバックアップおよびリカバリ手順の立案ができる。
- リカバリ手順を使用したメディア障害からのリカバリができる。
- フラッシュバック・テクノロジを使用したバックアップおよびリカバリ手順の補完ができる。

対象者 Oracle Database 12cのバックアップリカバリに携わる方。

前提知識 「Oracle Database 12c管理ネクスト・ステップ」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. はじめに
2. リカバリ可能性の構成
3. RMANリカバリ・カタログの使用
4. バックアップ計画および用語
5. バックアップの実行
6. バックアップの向上
7. RMANによる暗号化バックアップの使用
8. 障害の診断
9. リストアおよびリカバリの概要
10. リカバリの実行（パート1）
11. リカバリの実行（パート2）
12. RMANおよびOracle Secure Backup
13. フラッシュバック・テクノロジの使用
14. フラッシュバック・データベース
15. データの転送
16. Point-in-Timeリカバリの実行
17. データベースの複製
18. RMANパフォーマンスおよびチューニング
19. バックアップおよびリカバリ・ワークショップ

備 考 本ページ右下をご参照ください。

DBE310 Oracle

eラーニング 35時間

<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c パフォーマンス・チューニング

SQLチューニング・アドバイザ、SQLアクセス・アドバイザ、自動ワークロード・リポジトリや自動データベース診断モニタなどのOracle Database自動チューニング機能の使い方を学習します。

到達目標
- DB統計およびメトリックを使用したパフォーマンス問題が認識できる。
- チューニング診断を活用できる。
- チューニング・ツールの目的と使用方法を理解できる。
- 問題のあるSQL文を認識できる。

対象者 Oracleデータベースのパフォーマンス・チューニング知識を必要とする方。

前提知識 「Oracle Database 12c管理ネクスト・ステップ」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. パフォーマンス・チューニング概要
2. 基本ツールを使用した監視
3. 自動ワークロード・リポジトリ（AWR）の使用
4. 問題の認識
5. 問題のあるSQL文の認識
6. オプティマイザの適用
7. SQL計画管理
8. 変更の管理
9. メトリックおよびアラートの使用
10. AWR関連ツールの使用
11. サービスを使用したアプリケーションの監視
12. ベースライン
13. 共有プールのチューニング
14. バッファ・キャッシュのチューニング
15. PGAおよび一時領域
16. 自動メモリー管理
17. ブロック領域使用量のチューニング
18. I/Oのチューニング
19. まとめ

備 考 本ページ右下をご参照ください。

DBD068 Oracle

レクチャ 1日間

Oracle Database 実例から学ぶ! パフォーマンス・チューニング

Renewal

オラクル社のサポートセンターに問合せがあった実例をもとに、実運用を行う上で必須となるパフォーマンス低下発生時の原因調査方法と対処方法について学習します。

到達目標
- パフォーマンス低下時の原因調査方法とその対処方法を理解し、説明できる。
- STATSPACKの活用方法を理解し、説明できる。

対象者 Oracleデータベースを運用する方。

前提知識 「Oracle Database 12c R2管理クイック・スタート」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内 容
1. 特定のアプリケーションのパフォーマンスが低下した場合の原因調査方法と対処方法
   (1) SQL_TRACE/TKPROFを使用した原因調査方法
   (2) EXPLAIN PLAN/AUTOTRACEを使用した原因調査方法
   (3) 検索処理のパフォーマンス低下の対処方法
   (4) 更新処理のパフォーマンス低下の対処方法
2. データベース全体のパフォーマンスが低下した場合の原因調査方法と対処方法
   (1) STATSPACKを使用したパフォーマンス低下の原因調査方法
   (2) 各ケースにおいての対処方法について

備 考
- このコースは、Oracle社認定コースです。
- このコースは、日本オラクル（株）が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」（PDF）を使用します。
- コース実施およびメール送信に必要となるご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。ダウンロード時に必要な情報は、ご受講前（開始日の約1週間前）にOracle社よりご受講者の方へメールにてご連絡します。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。

DBE311 Oracle

eラーニング 14時間

<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c インストール&アップグレード

Oracle Database 12c ソフトウェアのインストールの詳細や、既存の Oracle Database から Oracle Database 12c へのアップグレード方法を学習します。

到達目標
- スタンドアロン・サーバー用のOracle Grid Infrastructureのインストールができる。
- Oracle Restart を使用したコンポーネントの管理ができる。
- Oracle Database 12cへのアップグレードができる。

対象者 Oracle Databaseの管理やサポートを担当する方。

前提知識 「Oracle Database 12c管理クイック・スタート」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. Oracle Database 12c概要
2. スタンドアロン・サーバー用のOracle GridInfrastructureのインストール
3. Oracle Databaseソフトウェアのインストール
4. DBCAを使用したOracle Databaseの作成
5. Oracle Restartの使用
6. Oracle Database 12cへのアップグレードの概要
7. Oracle Database 12cへのアップグレードの準備
8. Oracle Database 12cへのアップグレード
9. アップグレード後の作業の実行
10. Oracle Data Pumpを使用したデータの移行

備 考 本ページ右下をご参照ください。

DBE315 Oracle

eラーニング 35時間

<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 11g R2 管理ワークショップⅡ

バックアップ・リカバリのアーキテクチャおよびテクニックや、メモリーを効果的に管理する方法、パフォーマンスの評価およびチューニング・タスクを行う方法について学習します。

到達目標
- Recovery Managerを使用したDBのBackUpおよびリカバリができる。
- 最適なリカバリのためのOracle Databaseの構成ができる。
- データベースに適した柔軟なメモリー構成が使用できる。
- リソースを適切に割り当てるためのDB・インスタンスの構成ができる。

対象者 Oracleデータベースを運用する方、ORACLE MASTER Gold Oracle Database 11gの資格取得をめざす方。

前提知識 「Oracle Database 11g管理クイック・スタート」および「Oracle Database 11g管理ネクスト・ステップ」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. Oracle Databaseの主要な概念およびツール
2. リカバリ可能性のための構成
3. Recovery Managerのリカバリ・カタログの使用

備 考
- 本ページ右下をご参照ください。
- このコースは、旧「Oracle Database 11g R2管理ワークショップⅡ」コース（集合研修）と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。

※1
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。
  お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。
  https://www.oracle.com/a/ocom/docs/dc/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf
- このコースは、日本オラクル（株）が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」（PDF）を使用します。
- このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日の内の連続した6日間です。
- 受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。
- このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。
- ご利用最終日は、16：00まで利用可能です。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE319 Oracle

<eラーニング>【マシン演習付き】Exadata Database Machine 管理ワークショップ

eラーニング 35時間

Exadata Database Machine（X3/X4/X5対応）のさまざまな機能と構成、およびExadata Storage Serverによって実現される独自の機能に重点を置いて学習します。

到達目標 ExaDataのベスト・プラクティスを理解し、実装することによってExadata Database Machineの効率性と効果を最大化する事ができる。

対象者 Exadata Database Machine（X3/X4/X5対応）を管理する方。

前提知識 Clusterware、ASMおよびRACを含む、Oracle Database1 2cに関する十分な知識があること、およびUnix/Linuxの実用的な知識があること。

内 容
1. Exadata Storage Serverの構成
2. I/Oリソース管理
3. データベース・パフォーマンスを最適化するための推奨事項
4. スマート・スキャンの使用
5. 統合の推奨ストレージ構成
6. Exadata Database Machineへのデータベースの移行
7. Oracle DBFSを使用したバルク・データ・ロード
8. Exadata Database Machineのプラットフォーム監視:はじめに
9. Exadata Database Machineを監視するためのEnterprise Manager Cloud Control 12cの構成
10. Exadata Storage Serversの監視
11. データベース・サーバーの監視
12. InfiniBandネットワークの監視
13. その他のExadata Database Machineコンポーネントの監視
14. その他の役立つ監視ツール
15. バックアップとリカバリ
16. Exadata Database Machineのメンテナンス・タスク
17. Exadata Database Machineのパッチ適用

備 考 本ページ右下をご参照ください。

DBE322 Oracle

<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c Clusterware 管理

eラーニング 28時間

一般的なクラスタの概念と Oracle Clusterware のアーキテクチャについて学習します。

到達目標
- Grid Infrastructure をインストールし、標準的なクラスタ、およびOracle Flex Cluster を構成できる。
- クラスタ内のノード管理について理解し、ポリシー・ベースのクラスタ管理を行うことができる。

対象者 Oracle Database 12cを管理する方。

前提知識 Clusterware、ASMおよびRACを含む、Oracle Database 12cに関する十分な知識があること。

内 容
1. Oracle Clusterwareのアーキテクチャ
2. Grid Infrastructureのインストール
3. クラスタ・ノードの管理
4. 従来のClusterwareの管理
5. ポリシーベースのクラスタ管理
6. Oracle Clusterwareのトラブルシューティング
7. アプリケーションの高可用性

備 考 本ページ右下をご参照ください。

DBE331 Oracle

<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c RAC管理

eラーニング 28時間

Oracle Database 12c RAC アーキテクチャの理解、RAC データベースを構成方法、マルチテナント環境での RAC データベースの管理に加えて、バックアップ・リカバリや RAC 環境での高可用性について学習します。

到達目標
- RAC データベース環境を構成できる。
- RAC データベースの管理を行うことができる。
- RAC データベースのバックアップ・リカバリを行うことができる。
- RAC データベースの高可用性機能について説明できる。

対象者 Oracle Database 12c RACデータベースを管理する方。

前提知識 Clusterware、ASMおよびRACを含む、Oracle Database 12cに関する十分な知識があること。

内 容
1. Oracle RACアーキテクチャ
2. Oracle RACの構成と管理
3. バックアップ・リカバリ
4. RACの監視とチューニング
5. RAC環境での高可用性
6. RAC One Note

備 考 本ページ右下をご参照ください。

DBE321 Oracle

<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c ASM 管理

eラーニング 14時間

Oracle ASMのアーキテクチャやACSFの管理方法について、Oracle Database 12cでの機能強化点を含めて学習します。

到達目標
- Oracle ASM やACFSの管理を行うことができる。
- Flex ASMを構成することができる。
- ACSF監査やACSF暗号化、高可用性NFSなどOracle Cloud File System の高度なデータ・サービスについて説明できる。

対象者 Oracle Database 12cを管理する方。

前提知識 Clusterware、ASMおよびRACを含む、Oracle Database 12cに関する十分な知識があること。

内 容
1. Oracle ASMインスタンスの管理
2. Flex ASM
3. ASMディスク・グループの管理
4. ASMファイル、ディレクトリおよびテンプレートの管理
5. Oracle Cloud File Systemの管理

備 考 本ページ右下をご参照ください。

DBE324 Oracle

<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c セキュリティ

eラーニング 35時間

Oracleの認証、権限とロールの管理に加えて、Oracle Label Security、データベース暗号化、およびOracle Data Reductionなどを使用した機密データを保護する方法を学習します。

到達目標 OracleのOracle Label Security、データベース暗号化、およびOracle Data Reductionなどを使用した、機密データ保護の方法を理解できる。

対象者 Oracle Database 12cを運用する方、Oracle Database 12cを管理する方。

前提知識 Oracle Database 12cに関する十分な知識があること。

内 容
1. セキュリティ要件について
2. セキュリティ・ソリューションの選択
3. 基本的なデータベース・セキュリティの実装
4. ネットワーク上のデータの保護
5. ユーザーの基本認証および厳密認証の資料
6. グローバル・ユーザー認証の構成
7. プロキシ認証の使用
8. 権限とロールの使用
9. 権限分析の使用
10. アプリケーション・コンテキストの使用
11. 仮想プライベート・データベースの実装
12. Oracle Label Securityの実装
13. データのリダクション
14. Oracleデータ・マスキングの使用
15. 透過的機密データ保護の使用
16. 暗号化の概念とソリューション
17. DBMS_CRYPTOパッケージによる暗号化
18. 透過的データ暗号化の使用
19. データベース・ストレージのセキュリティ
20. 統合監査の使用
21. ファイングレイン監査の使用

備 考 本ページ右下をご参照ください。

※1
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。
  お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。
  https://www.oracle.com/a/ocom/docs/dc/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf
- このコースは、日本オラクル（株）が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」（PDF）を使用します。
- このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日の内の連続した6日間です。
- 受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。
- このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。
- ご利用最終日は、16：00まで利用可能です。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE323 Oracle

<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c Database Vault

eラーニング 14時間

Oracle Database Vaultを有効化し、レルム、ルール・セット、コマンド・ルール、セキュア・アプリケーション・ロールを用いてデータベース・インスタンスのセキュリティを管理する方法を学習します。

到達目標 Oracle Database Vaultを使ったデータベースのセキュリティ管理ができる。

対象者 Oracle Database 12cを運用する方、Oracl Database 12cを管理する方。

前提知識 SQLおよびPL/SQLに関する基本的な知識があること。

内 容
1. Database Vaultの概要
2. Database Vaultの構成
3. 権限の分析Configuring Realms
4. レルムの構成
5. ルール・セットの定義
6. コマンド・ルールの構成
7. ルール・セットの拡張
8. セキュア・アプリケーション・ロールの構成
9. Database Vaultレポートによる監査
10. ベスト・プラクティスの実装

備 考 本ページ右下をご参照ください。

DBE325 Oracle

<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c マルチテナント・アーキテクチャ

eラーニング 14時間

Oracle Database 12c の新機能であるマルチテナント・アーキテクチャの概念を学習します。

到達目標 マルチテナント・コンテナ・データベースの作成、管理ができる。

対象者 Oracle Database 12cを管理する方、Oracle Database 12cを設計する方。

前提知識 Oracle Database 12c、LinuxOSに関する十分な知識があること。

内 容
1. コンテナおよびプラガブル・データベースのアーキテクチャ
2. CDBおよびPDBの作成
3. CDBおよびPDBの管理
4. CDBおよびPDBの記憶域の管理
5. CDBおよびPDBのセキュリティの管理
6. 可用性の管理
7. パフォーマンスの管理
8. その他

備 考 本ページ右下をご参照ください。

DBE341 Oracle

<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c R2 新機能 for 12c R1 管理者

eラーニング 35時間

Oracle Database 12c R1 データベース管理者を対象に Oracle Database 12c R2 の新機能を学習します。さらに Oracle Database Cloud Service の概要についても学習します。

到達目標 マルチテナント、セキュリティ、可用性、パフォーマンス、管理性、パーティション化、SQLなど、さまざまなOracle Database 12c Release 2（12.2.0.1）の新機能や機能拡張について説明できる。

対象者 Oracle Database 12cR2データベースを管理する方。

前提知識 「【マシン演習付き】Oracle Database 12c新機能」eラーニングコースを修了されているか、同等の知識があること。

内 容
1. はじめに
2. アプリケーション・コンテナとアプリケーション
3. CDB、アプリケーション・コンテナおよびPDBのセキュリティ
4. 新しい方法を使用したPDBの作成
5. PDBのリカバリとフラッシュバック
6. CDBとPDBのパフォーマンス
7. CDBおよびPDBでのアップグレードおよびその他の操作
8. 権限およびユーザー・プロファイル
9. 監査
10. データ・リダクション
11. データ暗号化
12. 透過的機密データ保護
13. データの可用性
14. Oracle Data Pump、SQL*Loaderおよび外部表
15. インメモリー列ストア
16. SQLチューニングの機能拡張
17. リソース・マネージャおよびその他のパフォーマンスの拡張
18. オンステートメント・リフレッシュ・マテリアライズド・ビューの使用
19. 管理性の拡張
20. 診断性の機能拡張
21. Oracle Database Cloud Services
22. SQLおよびSQLcl

備 考 本ページ右下をご参照ください。

DBE343 Oracle

<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Enterprise Manager Cloud Control 12c による管理

eラーニング 21時間

Oracle Enterprise Manager Cloud Control 12cのコア機能の使用方法を学習します。

到達目標 Cloud Controlの管理と監視、ホストやグループ、システム、サービスの管理、ターゲットの監視、ジョブ・システムとEnterprise Managerレポート・ツールの使用、構成の表示と比較、コンプライアンスの管理などのタスクについて修得できる。

対象者 Oracle Enterprise Manager Cloud Control 12cを用いたシステムの統合管理に携わる方。

前提知識 「Oracle Database 12c管理ネクスト・ステップ」コースを修了されているか、同等の知識があること。

内 容
1. はじめに
2. Enterprise Managerのコア概念の確認
3. Enterprise Manager Cloud Controlの管理および監視
4. ターゲットの監視
5. ホストの管理
6. グループの管理
7. システムおよびサービスの管理
8. ジョブ・システムの使用
9. インシデントの管理
10. パッチ適用およびプロビジョニング
11. 構成の管理
12. コンプライアンスの管理
13. Enterprise Managerレポートの作成および使用

備 考 本ページ右下をご参照ください。

DBE019 Oracle

<eラーニング> Oracleではじめる統計入門

eラーニング 7時間

Oracle製品ユーザを対象に、データベースに格納されている膨大なデータの活用方法や、統計に関する基本的な知識および分析関数を活用したデータ分析を、レクチャ形式で学習します。

到達目標
- Big Dataを取り巻く環境を説明できる。
- 基本的な統計手法について説明できる。
- Oracle Databaseにおけるデータ分析ができる。

対象者 Oracleデータベースを運用する方、Oracleデータベースのアプリケーション開発やデータ分析業務に携わる方。

前提知識 「Oracle Database 11g入門SQL基礎Ⅰ」、「Oracle Database 11g管理クイック・スタート」および「Oracle Database 11g PL/SQL基礎」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. BigDataを取り巻く環境
2. 統計概要
3. 平均
4. 度数分布と標準偏差
5. 散布図とバブル・チャート
6. 時系列分析（傾向分析）
7. 多次元分析
8. Oracle Databaseで提供される分析関数

備 考
- このコースは、日本オラクル（株）が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」（PDF）を使用します。
- このコースのサービス有効期間は90日間です。
- このコースは、旧「Oracleではじめる統計入門」コース（集合研修）と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。
  お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。
  https://www.oracle.com/a/ocom/docs/dc/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf
- 受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。
- このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。
- ご利用最終日は、16:00まで利用可能です。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

※1
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。
  お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。
  https://www.oracle.com/a/ocom/docs/dc/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf
- このコースは、日本オラクル（株）が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」（PDF）を使用します。
- このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日の内の連続した6日間です。
- 受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。
- このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。
- ご利用最終日は、16：00まで利用可能です。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE342 Oracle

eラーニング 14時間

<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Database 12c データ・マイニング手法

データ・マイニングの基本的な概念から、Oracle Advanced Analyticsオプションのコンポーネントであるデータ・マイニングによる予測分析まで、Oracle Database機能を活用したアナリティクスの実践方法を学習します。

到達目標 Oracle Data MiningのGUIツールであるOracle Data Miner 4.1を使用できるようになり、データのグラフィカルな調査、複数のデータ・マイニング・モデルの作成と評価、新しいデータへのOracle Data Miningモデルの適用およびOracle Data Miningの予測および洞察の企業全体へのデプロイを行うことができる。

対象者 Oracleデータベースを用いたデータ・マイニング作業について携わる方。

前提知識 「Oracleではじめる統計入門」eラーニングコースを修了されているか、同等の知識があること。

内 容
1. はじめに
2. 予測分析とデータ・マイニングの概念
3. データ・マイニングのプロセス
4. Oracle Data Miner 4.1の紹介
5. 分類モデルの使用
6. 回帰モデルの使用
7. クラスタリング・モデルの使用
8. マーケット・バスケット分析の実行
9. 異常検出の使用
10. 構造化データ及び非構造化データのマイニング
11. 予測問合せの使用
12. 予測モデルのデプロイ

備 考
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。
お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。
https://www.oracle.com/a/ocom/docs/dc/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf
- このコースは、日本オラクル（株）が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」(PDF)を使用します。
- このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日の内の連続した6日間です。
- 受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。
- このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。
- ご利用最終日は、16:00まで利用可能です。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE043 Oracle

eラーニング 7時間 New

<eラーニング>資格試験準備セミナー：ORACLE MASTER Bronze DBA（受験チケット付）

ORACLE MASTER Bronze Oracle Database資格試験（1Z0-085-JPN: Bronze DBA Oracle Database Fundamentals）の頻出トピックを模擬問題とインストラクターによるポイント解説で学習します。また、試験をご受験いただけるように、受験チケット：Oracle認定資格会場試験用が1枚付いています。

到達目標 ORACLE MASTER Bronze DBA資格試験の受験準備ができる。

対象者 ORACLE MASTER Bronze DBAの資格取得をめざす方。

前提知識 「Oracle Database 12c R2管理クイック・スタート」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内 容 1. ORACLE MASTER Bronze DBA試験の受験準備

備 考
- サービス有効期間は180日間です。
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。
お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。
https://www.oracle.com/a/ocom/docs/dc/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf
- 受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。
- このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。
- ご利用最終日は、16:00まで利用可能です。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE044 Oracle

eラーニング 7時間 New

<eラーニング>資格試験準備セミナー：ORACLE MASTER Silver SQL（受験チケット付）

ORACLE MASTER Silver SQL資格試験（1Z0-071-JPN: Oracle Database SQL）の頻出トピックを模擬問題とインストラクターによるポイント解説で学習します。また、試験をご受験いただけるように、受験チケット：Oracle認定資格会場試験用が1枚付いています。

到達目標 ORACLE MASTER Silver SQL資格試験の受験準備ができる。

対象者 ORACLE MASTER Silver SQLの資格取得をめざす方。

前提知識 「Oracle Database1 2c入門SQL基礎Ⅰ」コースおよび、「【マシン演習付き】Oracle Database 12c SQL基礎Ⅱ」eラーニングコースを修了しているか、同等の知識があること。

内 容 1. ORACLE MASTER Silver SQL試験の受験準備

備 考
- サービス有効期間は180日間です。
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。
お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。
https://www.oracle.com/a/ocom/docs/dc/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf
- 受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。
- このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。
- ご利用最終日は、16:00まで利用可能です。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE045 Oracle

eラーニング 7時間 New

<eラーニング>資格試験準備セミナー：ORACLE MASTER Silver DBA（受験チケット付）

ORACLE MASTER Silver Oracle Database資格試験（1Z0-082-JPN：Oracle Database Administration Ⅰ）の頻出トピックを模擬問題とインストラクターによるポイント解説で学習します。また、試験をご受験いただけるように、受験チケット：Oracle認定資格会場試験用が1枚付いています。

到達目標 ORACLE MASTER Silver DBA資格試験の受験準備ができる。

対象者 ORACLE MASTER Silver DBAの資格取得をめざす方。

前提知識 「Oracle Database 12c入門SQL基礎Ⅰ」コースおよび、「Oracle Database 12c R2管理ネクスト・ステップ」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内 容 1. ORACLE MASTER Silver DBA試験の受験準備

備 考
- サービス有効期間は180日間です。
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。
お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。
https://www.oracle.com/a/ocom/docs/dc/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf
- 受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。
- このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。
- ご利用最終日は、16:00まで利用可能です。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE046 Oracle

eラーニング 7時間 New

<eラーニング>資格試験準備セミナー：ORACLE MASTER Gold DBA（受験チケット付）

ORACLE MASTER Gold Oracle Database資格試験（1Z0-083-JPN：Oracle Database Administration Ⅱ）の頻出トピックを模擬問題とインストラクターによるポイント解説で学習します。また、試験をご受験いただけるように、受験チケット：Oracle認定資格会場試験用が1枚付いています。

到達目標 ORACLE MASTER Gold DBA資格試験の受験準備ができる。

対象者 ORACLE MASTER Gold DBAの資格取得をめざす方。

前提知識 ORACLE MASTER Silver DBAを取得しており、「【マシン演習付き】Oracle Database 12cバックアップ・リカバリ」、「【マシン演習付き】Oracle Database 12cマルチテナント・アーキテクチャ」および、「【マシン演習付き】Oracle Database 12cインストール＆アップグレード」eラーニングコースを修了しているか、同等の知識があること。

内 容 1. ORACLE MASTER Gold DBA試験の受験準備

備 考
- サービス有効期間は180日間です。
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。
お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。
https://www.oracle.com/a/ocom/docs/dc/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf
- 受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。
- このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。
- ご利用最終日は、16:00まで利用可能です。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

DBE714 Oracle

eラーニング –

<eラーニング>【マシン演習付き】Oracle Unlimited Product Learning Subscription

Oracle社が提供する、各種のOracleトレーニング・オンデマンド及び関連する動画などのコンテンツを期間中自由に学習します。

到達目標 担当するOracleデータベース技術分野についての実践的な知識・技術について理解できる。

対象者 Oracleデータベース製品について、全般的な技術力の向上をめざす方。

前提知識 特に必要としません。ただし、コンテンツごとに前提知識が設定されている場合があります。

内 容 1. 各種のOracleトレーニング・オンデマンドのコース
2. 各種の関連する技術についての動画

備 考
- 提供されているコンテンツの種類や詳細につきましては、以下のページをご覧ください。
https://education.oracle.com/unlimited-product-learning-subscription/ls_upls
- このコースのサービス有効期間は365日間です。
- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境が必須です。）
- このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。
お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。
https://www.oracle.com/a/ocom/docs/dc/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf
- 受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。
- このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。
- ご利用最終日は、16:00まで利用可能です。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

IT戦略・IS企画

IT戦略・企画立案やプロセス評価、BA(Business Analysis)に関する知識や手法が修得できます。

● 経営戦略／IT戦略の立案・強化をお考えの方

＜ITコーディネータ関連コース＞

PDU CTD010 レクチャ
(PDU) IT経営ストラテジ(経営戦略コース)
2日間

PDU CTD011 レクチャ
(PDU) IT経営ストラテジ(IT戦略コース)
2日間

PDU CTD007 レクチャ
ITC資格試験対策
1日間

PDU CTJ016 グループ演習
(PDU) IT投資対効果の考え方 −IT投資マネジメントの基礎−
1日間

→

PDU SPJ008 グループ演習
(PDU) IT投資の評価手法 −IT投資の種類・パターンから効果を考える−
2日間

● 内部統制の向上・強化をお考えの方

HSJ062 グループ演習
事例から学ぶ システムトラブル対策の考え方 −高信頼性システム実現のために−
1日間

HSJ018 グループ演習
システムトラブルの予防と是正 −ISMS・システム監査の視点から−
2日間

● システム企画／要件定義に携わる方

SPJ058 グループ演習
演習で学ぶ! 情報システムの役割と開発の進め方
初心者にオススメ
2日間

→

Renewal SPJ071 グループ演習
システムのニーズ分析
2日間

→

SPJ036 グループ演習
システム化要求を実現するための業務設計
2日間

↓

SPJ024 グループ演習
システムの要件定義技法
2日間

→

CTJ018 グループ演習
非機能要求の考え方
1日間

CTD009 グループ演習
ビジネスプロセスの分析と設計
1日間

PDU CTJ005 グループ演習
(PDU) トラブルを防止する調達要件の分析−RFPの作成と提案書の評価を中心に−
2日間

音声有+説明文有 ：説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU ：PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

IT戦略・IS企画

システム企画／要件定義に携わる方（特に、現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたってお悩みの方向け）

〔新規事業に基づく開発〕

CTJ055 グループ演習
IT主導で攻めのビジネスを実現するための構想立案とIT化企画の作り方
1日間

〔業務改善をねらいとした開発〕

CTJ053 グループ演習
現場主導で現状業務の見える化を推進するための業務フロー作成技法
1日間

CTJ052 グループ演習
現行システムのリプレース／改修における現状洗い出しを確実にするための業務フロー作成技法
1日間

→ **CTJ054** グループ演習
IT活用による業務改善を実現するための問題分析と新業務プロセス設計技法
1日間

→ **SPJ067** グループ演習
後工程で慌てない!ユーザ／業務要件の漏れを未然に防ぐ業務設計と要件定義のコツ
1日間

→ **SPJ068** グループ演習
業務要件とユーザビリティを確保するための要件定義のポイント
1日間

→ **SPJ069** グループ演習
開発での手戻りを最小限にする要件品質チェックのポイントと基本設計の肝
1日間

ビジネスアナリシスに取り組まれる方、関心をお持ちの方

New PDU
CTJ068 グループ演習
(PDU) BABOK®で学ぶビジネスアナリシスの基礎
2日間

CTJ051 グループ演習
ビジネス要求引き出しのための業務課題抽出のテクニック
1日間

Renewal PDU
CTD013 グループ演習
(PDU) エンタープライズ・ビジネスアナリシス
2日間

PDU
CTD008 レクチャ
(PDU) CBAP® 試験対策コース
3日間

音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。

情報システム部門でベンダー・マネジメントに携わる方

CTJ046 グループ演習
情報システム導入を成功させる要件定義とベンダー折衝の実践ポイント
1日間

CTJ026 グループ演習
情報システムのユーザテストと移行・切替・本番稼動の準備実務
1日間

PDU
CTJ005 グループ演習
(PDU) トラブルを防止する調達要件の分析−RFPの作成と提案書の評価を中心に−
2日間

CTJ022 グループ演習
情報システム部門のための開発工程におけるベンダー・マネジメント
2日間

システムエンジニア（SE）でサブベンダーのマネジメントに携わる方

Renewal PDU
CTJ069 グループ演習
(PDU) プロジェクトマネジメントにおけるベンダーマネジメント
2日間

保守開発に携わる方

SPJ033 グループ演習
保守開発におけるトラブル対策の考え方
1日間

SPJ008 IT戦略・IS企画

グループ演習 2日間

（PDU）IT投資の評価手法 −IT投資の種類・パターンから効果を考える− PDU

IT投資に対するユーザ企業の評価は依然として厳しい状況が続いています。このような状況を解決しIT投資を生かすためには、経営陣の積極的な関与はもちろん、IT投資の目標を明確にし、目標に対する費用対効果について適切な評価ができるモデルを構築する必要があります。BSC、IT-BSC、SLMを、演習を通して体験するとともに、IT投資効果を戦略的投資、基盤への投資、保守への投資の観点から把握し、IT投資の評価モデル構築へのアプローチを学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：13ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- IT投資の評価モデル構築へのアプローチを理解できる。
- IT投資の種類・パターンから見た効果を把握できる。

対象者 いかに効果的なIT投資を行うかに心を砕いておられるIT部門/ユーザ部門およびベンダの方、中小企業診断士・システムアナリスト・プロジェクトマネージャの方、またはこれらをめざす方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

内 容
1. IT投資の実態と評価の状況
2. 情報化におけるコストの内訳、構造
3. IT投資の種類・パターンからみた効果把握のアプローチ
4. BSC（バランススコアカード）、IT-BSC（ITバランススコアカード）へのアプローチ、演習
5. SLM（サービスレベルマネジメント）へのアプローチ、演習
6. IT投資評価モデル構築へのアプローチ

備 考
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

CTJ016 IT戦略・IS企画

グループ演習 1日間

（PDU）IT投資対効果の考え方 −IT投資マネジメントの基礎− PDU

IT投資の提案者や評価者が身につけておきたいIT投資マネジメントに関する実践的スキルを、講師による解説、グループ演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：6ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- 我が国のIT投資マネジメントの現状を再確認できる。
- IT投資マネジメントが抱える課題とそれを解決する各種方法論を理解できる。
- IT投資マネジメントシステムの構築手順を理解できる。

対象者 ITプロジェクトの提案及び評価を担当する方、および候補の方。または興味をお持ちの方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

内 容
1. 今なぜIT投資マネジメントなのか
   （1）我が国のIT投資を取り巻く環境
   （2）IT投資マネジメントが抱える課題
2. IT投資マネジメント概論
   （1）IT投資マネジメントに関するガイドライン
   （2）ITIM成熟度モデル
3. IT投資マネジメントシステムを構築する
   （1）IT投資マネジメントプロセス
   （2）ITバランススコアカード
   （3）ITプロジェクトの費用対効果分析
   （4）IT投資ポートフォリオモデル
4. まとめ

備 考
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

CTJ005 IT戦略・IS企画

グループ演習 2日間

（PDU）トラブルを防止する調達要件の分析 −RFPの作成と提案書の評価を中心に− PDU

情報システムの開発/導入は重要な投資案件であるにも関わらず、処理能力不足や予算超過など、多くの失敗事例が報告されています。これらの中には調達要件の分析不備が原因と推定されるケースも少なくありません。システム要件を的確に伝えるRFPの作成、ベンダからの提案書の合理的な評価方法、および信頼性を向上させるIT契約書の締結などに関する知識を、演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：12ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- RFPの作成と提案書の合理的な評価ができる。
- 信頼性の高いIT契約を締結できる。

対象者 情報システム部門でシステム企画/調達等を担当する方、システムアナリスト・プロジェクトマネージャ・システムエンジニア・セールスエンジニアの方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

内 容
1. IT調達が抱える課題と調達要件分析の重要性
2. プロジェクト調達マネジメント/IT調達ガイドライン
3. 要件を的確に伝えるRFP（提案依頼書）
   （1）演習：新システム導入に関するRFP検討
4. 合理的な提案書評価
   （1）演習：ベンダからの提案書評価
5. 信頼性を向上させるIT契約書

備 考
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

SPJ033 IT戦略・IS企画

グループ演習 1日間

保守開発におけるトラブル対策の考え方

既存システムの修正や改良といった“保守開発”におけるトラブル対策の実践的知識を学習します。保守開発を進めるうえで留意すべきトラブル対策のポイントを、講師による解説とグループ演習を通して理解することができます。

到達目標
- 保守開発の現状と課題が説明できる。
- 保守開発プロセスにおいて強化すべき改善ポイントが提言できる。
- 保守開発で発生したシステムトラブルの原因分析と対策立案を実践できる。

対象者 プロジェクトマネージャ、保守開発担当者、品質管理担当者、内部監査担当者の方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

内 容
1. 今なぜ保守開発のトラブル対策なのか
   （1）保守開発の現状
   （2）保守開発プロセスが抱える課題
2. 保守開発マネジメント概論
   （1）保守開発に関連するガイドライン
   （2）トラブル防止に向けた取り組み
3. 保守開発プロセスの改革提言
   （1）保守開発段階での品質管理とは
   （2）保守開発計画と工数見積りのレベルアップ
   （3）開発環境とテスト環境の強化ポイント
4. 保守開発トラブルのマネジメント
   （1）トラブル関連情報の収集と傾向分析
   （2）ヒューマンファクタ分析の応用

演習：保守開発におけるトラブルの事例研究
5. まとめ

講師：前橋システムコンサルティング株式会社代表取締役
前橋雅夫氏（公認システム監査人）

備 考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

CTD010 IT戦略・IS企画

レクチャ 2日間

（PDU）IT経営ストラテジ（経営戦略コース） PDU

IT経営推進のマネジメントプロセスとして、経営課題を引き出し、経営改革を実現するために「経営戦略プロセス」を中心に学習します。このコースでは企業ケース事例を用いながら、IT経営実現領域の経営戦略策定から、経営戦略実行、経営戦略評価段階にいたるまでの一連のIT経営を推進する手順を学習します。このコースは、IT経営推進プロセスガイドライン Ver. 3. 1に準拠し、ITコーディネータ協会のIT経営体感ケース研修の認定コースとされているため、ITコーディネータ資格取得をめざす人にとっての推奨研修になっています。

※IT戦略、IT利活用プロセスについては、別コースの【IT経営ストラテジ（IT戦略コース）】で学習が可能です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：16ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- IT経営の戦略策定と評価のポイントについて理解できる。
- 経営者視点に基づいた経営戦略の策定に関するポイントを理解できる。

対象者
- IT提案に経営者視点を加味したい方。
- IT戦略の前工程を学びたい方。
- 経営企画業務に携わる方。
- 経営改革または業務改革を提案する方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. IT経営推進プロセスガイドラインの理解
2. 変革認識プロセスの理解
3. 持続的成長認識プロセスの理解とまとめ

備 考
- このコースは、パーソルラーニング株式会社との提携コースのため、パーソルラーニング株式会社で開催します。
- コース実施に必要となるご受講者の個人情報をパーソルラーニング株式会社へ提供いたします。
- 開始日15営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

※別途ご案内いたします。

CTD011 IT戦略・IS企画

レクチャ 2日間

（PDU）IT経営ストラテジ（IT戦略コース） PDU

IT経営推進のマネジメントプロセスとして、IT経営実現領域の「IT戦略プロセス」および「IT利活用プロセス」を中心に学習します。このコースでは企業ケース事例を用いながら、IT経営実現領域のITサービスやIT利活用のための戦略を立て、実行を評価する「IT戦略プロセス」と、具体的なIT利活用実現に向けた活動である「IT利活用プロセス」の重要性を理解します。このコースは、IT経営推進プロセスガイドライン Ver. 3. 1に準拠し、ITコーディネータ協会のIT経営体感ケース研修の認定コースとされているため、ITコーディネータ資格取得をめざす人にとっての推奨研修になっています。

※経営戦略の策定・実行・評価を行う経営戦略プロセスについては、別コースの【IT経営ストラテジ（経営戦略コース）】で学習が可能です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：16ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- IT化が経営戦略に基づくものであることを理解できる。
- ITユーザー企業視点に基づいたIT戦略およびIT利活用に関するポイントを理解できる。

対象者
- IT提案にユーザー企業視点を加味したい方。
- IT導入・利活用の前工程を学びたい方。
- IT企画業務に携わる方。
- ITユーザー企業へIT戦略を提案する方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. IT経営推進プロセスガイドラインの理解
2. 経営戦略プロセスの理解（一部、業務改革プロセスを含む）
3. IT戦略プロセスの理解
4. IT利活用プロセスの理解
5. 持続的成長認識プロセスの理解とまとめ

備 考
- このコースは、パーソルラーニング株式会社との提携コースのため、パーソルラーニング株式会社で開催します。
- コース実施に必要となるご受講者の個人情報をパーソルラーニング株式会社へ提供いたします。
- 開始日15営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

※別途ご案内いたします。

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HiRDB
OpenTP1
VOS3
XDM
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
DXマインド・プロセス・マネジメント
課題分析（何をなすべきかを着想する）
仮説構築（ビジネスモデルをデザインする）
プロトタイピングと価値検証（共通）
プロトタイピングと価値検証（データ環境構築）
プロトタイピングと価値検証（分析モデル構築）
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル
OT（製造・生産技術）

CTD007 IT戦略・IS企画

レクチャ 1日間

ITC資格試験対策 PDU

このコースはITC資格試験に合格するための対策コースで、「出題される箇所」「出題される理由」「具体的な対策方法」を中心に、いかにITCプロセスを要領良く理解し、いかに効率的に対策すれば良いかを学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：8ポイント）の取得が可能です。

到達目標 ITC試験合格に必要なプロセスガイドラインを本質的に理解し説明できる。

対象者 ITC試験を受験予定の方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. ITC試験の傾向と対策
2. IT経営プロセス全体概要
3. IT経営認識プロセス
4. IT経営共通プロセス
5. 上流（経営戦略・IT戦略）
6. 下流（IT調達・IT導入・ITサービス活用）

備 考
- このコースは、パーソルラーニング株式会社との提携コースのため、パーソルラーニング株式会社で開催します。
- コース実施に必要となるご受講者の個人情報をパーソルラーニング株式会社へ提供いたします。
- 解説・演習問題確認を繰り返しわかりやすく学習します。
- このコースは、2011年に発行されました「ITCプロセスガイドラインVer.2.0（2011年8月31日発行）」版に対応しています。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

※別途ご案内いたします。

CTJ068 IT戦略・IS企画

グループ演習 2日間

New

（PDU）BABOK®で学ぶ ビジネスアナリシスの基礎 PDU

ビジネスニーズを特定し、ビジネスソリューションを決定するために必要なビジネスアナリシスおよびビジネスアナリストの役割について学習します。補助教材としてBABOK®を配布いたします。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：12ポイント）の取得が可能です。

到達目標 ビジネスアナリシスという専門職務と、その標準的なタスクやテクニックを説明できる。

対象者 ビジネスアナリシスを理解し、業務へ適用したい方。

前提知識 情報システム開発プロセスに関する概略的な知識があること。

内 容
1. ITプロジェクトの課題とBAの必要性
2. BABOK®の概要
3. 各知識エリアの解説
4. BAの専門知識
5. BABOK®活用の勘所
6. *PMBOK®ガイド*とのつながり
7. BAの資格認定制度

備 考
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

CTD013 IT戦略・IS企画

グループ演習 2日間

Renewal

（PDU）エンタープライズ・ビジネスアナリシス PDU

このコースでは、どのようにして企業規模での複雑性や変革にビジネスアナリシスを適用するのかを学習します。具体的には、エンタープライズ分析とは- といった基本から始めたうえ、ディスカッションを通して、それがどのように投資戦略や変革対応に役立つのか、さまざまなビジネス・アーキテクチャとエンタープライズ・アーキテクチャの関係について理解します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：15ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- 企業におけるビジネスアナリシスを説明できる。
- 企業の構成要素をモデル化し、それらがどのように働くかを説明できる。
- 戦略を形成するために必要となる顧客価値を特定することができる。
- エンタープライズ分析を通して、どのように組織の人と資産の有効性を強化することができるのかを説明できる。

対象者 ビジネスアナリシスの分野に関心のある方。

前提知識 ビジネスアナリシスに関する基本的な知識、一般的な戦略論に関する知識があること。

内 容
1. エンタープライズ・ビジネスアナリシス
2. ビジネスアーキテクチャ
3. 価値マッピング
4. ビジネスモデルからビジネス・ブループリントへ
5. ビジネスプロセス管理
6. 組織マップ
7. エンタープライズ・アーキテクチャの作成
8. ケイパビリティ・マップ
9. エンタープライズ・プロセス・ソリューション
10. 組織学習

備 考
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

※別途ご案内いたします。

CTD008 IT戦略・IS企画

レクチャ 3日間

（PDU）CBAP® 試験対策コース PDU

CBAP®試験は米国の非営利団体IIBA（International Institute of Business Analysis）が認定する資格で唯一日本語での受験が可能な資格です。そのCBAP®資格を取得するための試験対策として、米国Strategy Execution社のノウハウを活用し、合格に向けた学習ポイントを修得します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：24ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- BABOK®の全体像と基礎知識を深く掘り下げ、合格に向けた学習ポイントや試験傾向と対策を説明できる。
- 現状知識の強いエリア・弱いエリアを明確にし、受験に向けた強化ポイントを説明できる。
- CBAP®およびIIBAに関する知識と受験申請の手続き、受験に際しての心構えについて説明できる。

対象者 CBAP®資格取得をめざす方。

前提知識 BABOK®の基礎知識を修得していること。

内 容
1. 試験概要/受験申請手続き
2. 基本概念
3. 計画と監視
4. 引き出しとコラボレーション
5. 戦略アナリシス
6. 要求分析とデザイン定義
7. ソリューション評価
8. 基礎コンピテンシー
9. 要求ライフサイクル管理
10. パースペクティブ
11. 150問模擬試験/解答解説

備 考【持参品】
事前に「BABOK®ビジネスアナリシス知識体系ガイドV3」をご購入のうえ、当日ご持参ください。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

※別途ご案内いたします。

CTJ046 IT戦略・IS企画

グループ演習 1日間

情報システム導入を成功させる要件定義とベンダー折衝の実践ポイント

要件定義とベンダー折衝を通して、情報システム導入を成功に導く方法論を解説します。特にパッケージ・システム導入を事例として、各種のチェックリストや問題解決技法のテンプレート使用して具体的な進め方を修得します。

到達目標
- 要件定義作業の進め方、ベンダー提示資料の検討の方法について説明できる。
- 社内手続き、業務改善・管理基準・ルールの改定と整理ができる。
- 要件定義作業成果物の不安、未了および不確定の扱いについて検討できる。

対象者 企業内の情報システム部門で情報システム導入に携わる方。

前提知識
- 情報システムの開発に携わった経験があること。
- これから情報システム開発に携わる方で3年以上の実務経験があるか、または同等の知識があること。

内 容
1. 要件定義とは
2. 作業充実の要点とリスク回避
3. 要件定義作業とユーザ対応
4. 検討作業と整理技法
5. 要件定義の事例
6. ユーザ資料の作成要領
7. まとめ

備 考
- このコースは、機能要件の明確化と委託先との交渉に関する実務を中心に扱っており、クラウドサービスの非機能要件については扱っておりません。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

CTJ026 IT戦略・IS企画

グループ演習 1日間

情報システムのユーザテストと移行・切替・本番稼働の準備実務

情報システム部門が情報システム導入時に安定稼働を保証する条件は、「新規システムの品質確保」と「移行処理・切替作業の確実な実施」および「社内準備のミスのない実行」にあります。このコースでは、情報システム導入時に情報システム部門が社内に対して行う安定稼働を保証するための作業である、ユーザテストと移行・切替・本番稼働の準備の実務について学習します。

到達目標
- システムの品質保証、問題の管理と解決、移行処理、切替作業の概要を説明できる。
- 社内外への必要情報の提示、教育研修とマニュアルが作成できる。
- 業務改善、管理基準の変更および運用に関するドキュメントが作成できる。

対象者 企業内の情報システム部門で情報システムのユーザテスト・移行・切替・本番稼働の準備に携わる方。

前提知識
- 情報システムの開発に携わった経験があること。
- これから情報システム開発に携わる方で3年以上の実務経験があるか、または同等の知識があること。

内 容
1. 万全な準備の対象
2. ベンダテストの限界とユーザ関与
3. 品質を保証するユーザテスト
4. 「移行処理」とその対応策
5. 切替作業の方法と成功要因
6. 安定稼働のための社内準備
7. まとめ

備 考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

CTJ022 IT戦略・IS企画

グループ演習 2日間

情報システム部門のための開発工程におけるベンダー・マネジメント

外部委託先がシステム開発プロジェクトに参画した段階からの、開発工程におけるベンダー・マネジメントの基礎知識を学習します。プロジェクトのリスクとトラブルを予防し、問題やその兆候を早期に発見し、委託先と協調しながら、現実的かつ確実に課題の解決を図るための方策を修得します。

到達目標
- システム開発プロジェクトのベンダー・マネジメントにおける進捗管理・品質管理・リスク管理・変更管理・コスト管理の特性を説明できる。
- 現状把握、進捗管理、問題解決に向けた有効な質問と聞き取りができる。
- 自身の責任範囲を理解したうえで自社内への問題解決行動の候補を案出できる（折衝/上位者からの交渉/エスカレーション等とるべき行動の判断）。
- 委託先との協調、連携作業を意識した自発的コミュニケーションができる。

対象者 企業内の情報システム部門で外部委託先（ベンダー）と連携してシステム開発に携わる方。

前提知識
- 情報システムの開発に携わった経験があること。
- これから情報システム開発に携わる方で3年以上の実務経験があるか、または同等の知識があること。

内 容
1. イントロダクション
2. 要求とは何か
3. 契約と委託内容
4. コミュニケーションのマネジメント
5. 品質管理とリスク管理
   (1)委託先の作業計画の確認
6. 進捗管理
   (1)現状把握
   (2)予定と実績の差異確認
   (3)問題への対処
7. 変更管理
8. まとめ

備 考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

CTJ069 IT戦略・IS企画

グループ演習 2日間

（PDU）プロジェクトマネジメントにおけるベンダーマネジメント PDU

Renewal

このコースでは、調達方針を踏まえ、SEがサブベンダーを取り纏める際のVMについて、開発プロジェクトの現場でサブベンダーの作業実態を把握し、作業進捗管理とリスクマネジメントを遂行する方法を修得します。SEがサブベンダーを取り纏める際の、VMのための「プロジェクト実施方法の合意」「VM計画と問題解決プロセスの共有」「VM実行・監視コントロール」の具体策を学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：13ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- ベンダーマネジメント（VM）の基本枠組みを説明できる。
- 実際のVM状況の改善策の実務検討ができる。
- ベンダーの問題解決行動を判断、評価する方法を説明できる。

対象者 外部委託先を使って顧客向けシステムを開発するSEの方。

前提知識 情報システム開発に携わる方で3年以上の実務経験があるか、または同等の知識があること。

内 容
1. プロジェクト合意
   (1)プロジェクトで開発するプロダクト、サービス、文書
   (2)主要マイルストーン
   (3)前提条件の共有
   (4)リスク要因の共有
   (5)契約文書の理解
   (6)ベンダー責任の明確化
2. VM計画と問題解決プロセス共有
   (1)プロジェクト計画の確認
   (2)役割と責任の確認
   (3)進捗管理方法の共有
   (4)問題解決プロセスの共有
   (5)リスクマネジメントプロセスの共有
   (6)問題解決プロセスの運用方法の共有
   (7)ベンダーとのコミュニケーションプランの共有
3. VM実行・監視コントロール・終結
   (1)ベースラインの確認
   (2)ベンダーの進捗報告コントロール
   (3)双方でのリスクコントロール
   (4)変更コントロール
   (5)終結のコントロール

備 考
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

CTJ054 IT戦略・IS企画

グループ演習 1日間

IT活用による業務改善を実現するための問題分析と新業務プロセス設計技法

組織の生産性向上を実現するためにはITを活用した業務改善が重要になります。しかし、ともすれば既存業務の在り方に引っ張られてしまい単なる現状の焼き直しに留まり期待したほどの成果を得られないケースも度々です。本当に取り組むべき問題をどのようにして発見しIT化によって解決するのかの考え方について、書籍「はじめよう！プロセス設計」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心にお伝えします。

到達目標
- 問題構造分析について説明できる。
- 新しい業務プロセスの作り方について説明できる。

対象者 取り組みが進まず困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのか悩んでいるITエンジニア職の方。

前提知識 5年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。また、情報システムの開発または運用に携わった経験があることが望ましい。

内 容
1. 業務改善とは何か？
2. 問題構造分析と真の問題
3. ITと業務プロセスの関係
4. 新しいプロセスのつくり方
5. IT化における要件

備 考
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- このコースは、2017年度まで公開していた「ビジネス視点からのIT活用と業務プロセス改善の立案技法ーIT化企画の基礎から実践までー」と同等の内容を含みます。

CTJ051 IT戦略・IS企画

グループ演習 1日間

ビジネス要求引き出しのための業務課題抽出のテクニック

工場系・営業系・管理系・SCM系に関する、質問によるMECEな業務課題の引き出し方、主要課題一覧表の作成と確認方法を学習します。

到達目標 企業の全ての業務機能に対して、MECEな質問により業務改革に位置するハイレベルの業務課題を引き出すことができる。

対象者
- ITエンジニア職の若手・中堅の方で、BABOK®ガイド程度の知識はあるがビジネスアナリシスの実践に不安を抱えている方。
- ITエンジニア職の若手・中堅の方で、実践において適切な上位者の指導が必要な方。

前提知識 「（PDU）ソリューション提案のための経営と情報戦略ー経営・事業・情報戦略のあるべき関係性ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. ビジネスアナリシス方法論GUTSY-4の概論
2. 業務課題インタビューシートの作成方法
3. 主要課題一覧表の作成方法

備 考
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

CTJ055 IT戦略・IS企画

グループ演習 1日間

IT主導で攻めのビジネスを実現するための構想立案とIT化企画の作り方

デジタライゼーション・AI・IoT…など、ITを全面的に活用することでこれまでになかった新しいビジネスモデルを実現する企業がどんどん生まれています。自社においてこのような取り組みをどのように進めれば良いのかを、その最重要ポイントに絞って、書籍「はじめよう！プロセス設計」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心にお伝えします。

到達目標
- ITの真の価値について説明できる。
- 新しい業務プロセスの作り方について説明できる。

対象者 取り組みが進まず困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのか悩んでいるITエンジニア職の方。

前提知識 5年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。また、情報システムの開発または運用に携わった経験があることが望ましい。

内 容
1. ITイ化と従来のシステム化の違い
2. 企画とは何か？
3. 顧客と本業とビジネスモデル
4. 顧客の真のニーズとToBe設計
5. カスタマーエクスペリエンスとIT
6. サービスデザインとIT
7. IT化とデジタル化の違い

備 考
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- このコースは、2017年度まで公開していた「ビジネス視点からのIT活用と業務プロセス改善の立案技法ーIT化企画の基礎から実践までー」および「ビジネス視点からのITサービスデザインの進め方」と同等の内容を含みます。

CTJ053 IT戦略・IS企画

グループ演習 1日間

現場主導で現状業務の見える化を推進するための業務フロー作成技法

IT化に限らず現状業務の改善を推進するには現行業務の見える化が不可欠です。現場担当者が前向きになり、かつ割く時間を最小限に抑えながら精度の高い現場業務の見える化を実現するための方法について、書籍「はじめよう！プロセス設計」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心にお伝えします。

到達目標
- 業務の構造について説明できる。
- 業務フローの作成方法について説明できる。

対象者 取り組みが進まず困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのか悩んでいるITエンジニア職の方。

前提知識 3年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。また、情報システムの開発または運用に携わった経験があることが望ましい。

内 容
1. どうして業務改善が難しいのか
2. 業務の構造
3. 見える化が難しい理由
4. 業務フロー作成技法

備 考
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- このコースは、2017年度まで公開していた「現状業務の洗い出しを確実に実現するための業務フロー作成ー書き方・書かせ方ー」と同等の内容を含みます。

CTJ052 IT戦略・IS企画

グループ演習 1日間

現行システムのリプレース/改修における現状洗い出しを確実にするための業務フロー作成技法

昨今のレガシーマイグレーションやモダナイゼーションのような既存システムの改修・高度化における難関は現状の利用実態を把握しきれず必要な業務ニーズを取りこぼすことです。これを予防するには現行システムの利用状況をしっかりと把握する必要があります。ともすればドキュメントが揃ってなかったりする現実において、現状の洗い出しを高速かつ簡便に実現する方法について、書籍「はじめよう！プロセス設計」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心にお伝えします。

到達目標
- 現行システムの洗い出し方法を説明できる。
- 業務の構造について説明できる。
- 業務フローの作成方法について説明できる。

対象者 取り組みが進まず困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのか悩んでいるITエンジニア職の方。

前提知識 3年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。また、情報システムの開発または運用に携わった経験があると尚良い。

内 容
1. 現行システム調査の盲点
2. ユーザが期待するもの
3. 業務フロー作成が難しい理由と業務の構造
4. 業務フロー作成技法

備 考
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- このコースは、2017年度まで公開していた「現状業務の洗い出しを確実に実現するための業務フロー作成ー書き方・書かせ方ー」と同等の内容を含みます。

要件定義／設計

情報システムの開発に必要な基礎知識や、開発手順、分析、設計技法が修得できます。

● 初めて情報システムの開発に携わる方

SPJ058 グループ演習
演習で学ぶ！
情報システムの役割と
開発の進め方
初心者にオススメ　2日間

音声なし+説明文有
SJE707 eラーニング
【ナビ機能付き】
システム開発の基礎
初心者にオススメ　4時間

● システムの分析・要件定義を担当する方

SPJ058 グループ演習
演習で学ぶ!
情報システムの役割と
開発の進め方
初心者にオススメ　2日間

Renewal
SPJ071 グループ演習
システムのニーズ分析
2日間

SPJ036 グループ演習
システム化要求を
実現するための業務設計
2日間

SPJ024 グループ演習
システムの要件定義技法
2日間

CTJ018 グループ演習
非機能要求の考え方
1日間

CTD009 グループ演習
ビジネスプロセスの
分析と設計
1日間

PDU
CTJ005 グループ演習
(PDU) トラブルを防止する
調達要件の分析−RFPの作成と
提案書の評価を中心に−
2日間

音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP® 資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。

● システム企画／要件定義に携わる方（特に、現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたってお悩みの方向け）

〔新規事業に基づく開発〕

CTJ055 グループ演習
IT主導で攻めのビジネスを
実現するための構想立案と
IT化企画の作り方
1日間

〔業務改善をねらいとした開発〕

CTJ053 グループ演習
現場主導で現状業務の
見える化を推進するための
業務フロー作成技法
1日間

CTJ052 グループ演習
現行システムのリプレース／
改修における現状洗い出しを
確実にするための業務フロー作成技法
1日間

CTJ054 グループ演習
IT活用による業務改善を
実現するための問題分析と
新業務プロセス設計技法
1日間

SPJ067 グループ演習
後工程で慌てない!ユーザ／
業務要件の漏れを未然に防ぐ
業務設計と要件定義のコツ
1日間

SPJ068 グループ演習
業務要件とユーザビリティを
確保するための
要件定義のポイント
1日間

SPJ069 グループ演習
開発での手戻りを最小限にする
要件品質チェックポイントと
基本設計の肝
1日間

● システム開発の設計を担当する方

SPJ058 グループ演習
演習で学ぶ！
情報システムの役割と
開発の進め方
初心者にオススメ　2日間

音声なし+説明文有
SPE017 eラーニング
構造化モデリングによる
システムの機能抽出
5時間

音声なし+説明文有
SPE702 eラーニング
【ナビ機能付き】
待ち行列理論
7時間

SPJ038 マシン実習
アプリケーション・
アーキテクチャ策定演習
2日間

CTJ065 グループ演習
エンタープライズ
ITアーキテクチャのセオリー
2日間

SPJ068 グループ演習
業務要件とユーザビリティを
確保するための
要件定義のポイント
1日間

音声なし+説明文有
CTE701 eラーニング
【ナビ機能付き】
アプリケーション・
アーキテクチャ基礎
6時間

SPJ069 グループ演習
開発での手戻りを最小限にする
要件品質チェックポイントと
基本設計の肝
1日間

● システムの最新動向や事例を把握したい方

Renewal

CLJ019 クラウドコンピューティングで読み解くITサービスの最新動向 — 0.5日間

IOJ011 スマートスピーカの最新動向と社会インフラ適用の可能性 — 0.5日間

● DevOpsによるアプリケーション開発の流れを理解したい方

SPJ060 体験! 最新OSSを活用したDevOps入門−Lumadaにおけるアプリケーション開発の流れ− — 1日間

→ PDU **SPJ059** (PDU)実践! DevOpsによるアジャイル開発−お客様に素早く価値を届けるために− — 1日間

UXJ070 gitによるソフトウェア構成管理 — 1日間

● システムまたはプログラムのテストを担当する方

SPJ058 演習で学ぶ！情報システムの役割と開発の進め方 — 2日間（初心者にオススメ）

SPJ028 品質確保のためのソフトウェアテスト — 1日間（初心者にオススメ）

SPE701 音声なし+説明文有 eラーニング 【ナビ機能付き】プログラムのテスト技法 — 7時間

SPJ063 ソフトウェアテストの管理手法 — 1日間

eラーニング×集合研修 推奨コースフロー ※1

SPE016 音声なし+説明文有 eラーニング 実践！テストケース設計（テスト技法演習編） — 8時間

→ **SPJ051** 実践！テストケース設計（テスト設計実践編） — 1日間

※1：必須知識をeラーニングで学習したうえで集合研修で演習に取り組むため、eラーニングと集合研修両方のご受講を推奨します。

Renewal **NWE032** 音声なし+説明文有 eラーニング Webシステム入門 — 6時間（初心者にオススメ）

→ **SPE019** 音声なし+説明文有 eラーニング 速習! Webシステムテストのポイント — 3時間

Javaに関する技術 Java

SPJ032 Javaモジュールテスト演習 — 1日間

→ **SPJ062** Javaによるテスト駆動開発演習 — 1日間

SPD002 DevOpsテスト入門〜継続的デリバリーを実現するテスト自動化の基礎〜 — 1日間

SPD003 テストプロセス改善〜評価・改善案策定を一日で習得！〜 — 1日間

SPJ035 Seleniumによる Webアプリケーションテスト自動化演習 — 1日間

音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU ：PMP® 資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。

SPJ058 要件定義／設計

グループ演習 2日間

演習で学ぶ！情報システムの役割と開発の進め方

情報システムを開発・発注するうえで必要な基礎知識として、工程別に作業内容や作業目的を学習します。加えて開発プロジェクトの計画・統制・終結の側面から、代表的な仕事（見積り、契約など）についても学習します。

到達目標
・情報システムの役割を説明できる。
・開発プロセスおよび作業工程における作業概要を説明できる。
・開発方法論、代表的な成果物の表記法を説明できる。

対象者 これからシステムを企画、開発する方。

前提知識 「コンピュータ基礎」コースを修了しているか、またはコンピュータの基礎知識があること。

内 容
1. 情報システムとは
 (1)市場、定義、役割
2. 情報システムの開発
 (1)作業と作業順序
 (2)開発プロセス
 (3)開発方式
3. 情報システムの維持・メンテナンス
 (1)情報システムの寿命と保管場所
 (2)必要な作業
4. 情報システムに関わる人
 (1)プロジェクト・ステークホルダ
 (2)職種
5. 情報システムのコスト
 (1)見積り
 (2)契約
6. 情報システムを支える技術
 (1)サーバ、冗長化、クラウド、ビッグデータ
7. 演習
 (1)業務分析、データ分析、機能分析

備 考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

SJE707 要件定義／設計

eラーニング 4時間

<eラーニング>【ナビ機能付き】システム開発の基礎

システム設計の手法について基礎的な知識を学習します。

到達目標 システム設計に必要な作業について、手順や内容を説明できる。

対象者
・システム設計をこれからはじめる方。
・システム設計の基礎知識を身につけたい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. システム開発と設計の役割
2. システムの品質と設計手法
3. 基本から詳細設計概略
 (1)段階的詳細化のレベル
 (2)業務機能設計
 (3)実現方式設計（アーキテクチャ）
 (4)外部インタフェース設計（遷移、レイアウト）
 (5)バッチ処理設計
 (6)データ基本設計（論理DB設計）
 (7)プログラム詳細設計
 (8)共通部品設計
 (9)データ詳細設計
4. その他の開発手法
5. 修了試験

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SPJ071 要件定義／設計

グループ演習 2日間 Renewal

システムのニーズ分析

顧客の業務に一歩踏み込み、的確なシステム化要件を導き出すまでの一連の基本動作を、ニーズ分析の進め方の解説と演習を通して学習します。

到達目標
・ニーズ分析の基礎を説明できる。
・顧客の業務に一歩踏み込み、的確なシステム化要件を導き出すまでの一連の基本動作を理解できる。

対象者 要求分析に関心のある方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. ニーズ分析の位置付けと意義
 (1)「上流工程」で行うべきこと
 (2)ニーズ分析の全体プロセス
 (3)ニーズ分析の意義
2. ニーズ分析のプロセス
 (1)準備フェーズ
 (2)分析フェーズ

備 考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

SPJ036 要件定義／設計

グループ演習 2日間

システム化要求を実現するための業務設計

ニーズ分析に基づく業務アプリケーションの基本設計トレーニングです。システム設計の前提となる要求仕様定義を、業務の仕組みを念頭に確実に行うための手法を修得します。

到達目標
・業務設計の進め方を説明できる。
・要求仕様定義を、業務の仕組みを念頭に確実に行うことができる。

対象者 業務モデリングに関心のある方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 業務設計の位置づけと意義
 (1)「上流工程」で行うべきこと
 (2)業務設計の全体プロセス
 (3)業務設計の意義
2. 業務設計のプロセス
 (1)業務プロセスデザインフェーズ
 (2)アプリケーションデザインフェーズ

備 考
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
・このコースは、「ビジネスアプリケーション設計」コースの内容改訂および名称を変更したものです。

SPJ024 要件定義／設計

グループ演習 2日間

システムの要件定義技法

システム化による問題解決を図る際に求められる"システムが提供すべき機能"の導出方法について学習します。また、要件定義書を策定するうえで必須となる考え方について演習を通して学習します。非機能要件については、性能、セキュリティなどの観点から整理しておくべき事項を紹介します。

到達目標
・要件定義工程の作業概要、考慮すべき点を説明できる。
・要件定義工程で作成すべき成果物を説明できる。

対象者 システム開発プロジェクトにおいて要件定義に携わる方。

前提知識 「演習で学ぶ!情報システムの役割と開発の進め方」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 要件とは
 (1)定義
 (2)各要件の内容
2. 要件定義と前後の作業
 (1)共通フレームでの位置付け
 (2)一般的な位置付け
 (3)現状調査
 (4)問題点分析・課題設定
 (5)基本設計
3. 要件定義
 (1)業務の表記法
 (2)業務の検討
 (3)アプリケーションの検討
 (4)データの検討
 (5)非機能要件の検討

CTJ018 要件定義／設計

グループ演習 1日間

非機能要求の考え方

非機能要求グレードの意義や要求項目の定義を正しく理解し、非機能要件を的確に分析・仕様化するための知識修得をめざします。

到達目標
・非機能要求の概要を説明できる。
・非機能要求を規定する際の勘所を理解できる。
・非機能要求グレードの活用方法を説明できる。

対象者 上流工程を担当するシステムエンジニアの方。

前提知識 「演習で学ぶ!情報システムの役割と開発の進め方」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 非機能要求とは
 (1)定義
 (2)業務、実現手段との関係
 (3)ステークホルダとの関係
 (4)非機能要求間の関係
2. 非機能要求グレードとは
 (1)概要
 (2)非機能要求グレード活用の手順
 (3)非機能要求グレード活用事例
3. ケーススタディ演習（非機能要求の分析）
4. まとめ

備 考
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

※別途ご案内いたします。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

CTD009 要件定義／設計

グループ演習 1日間

ビジネスプロセスの分析と設計

ビジネスプロセスに着目した業務設計の重要性と、モデリング技法を紹介します。そのうえで、UMLなどを用いたビジネスプロセスの設計手順を学習します。

到達目標
- ビジネスプロセスの概要を説明できる。
- ビジネスプロセスの設計手順を説明できる。

対象者 業務の設計、あるいは情報システムの計画を行う方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. ビジネスプロセスとは
2. ビジネスプロセスモデリング
3. ビジネスプロセス設計
4. ケース演習

備 考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

SPE702 要件定義／設計

eラーニング 7時間

<eラーニング>【ナビ機能付き】待ち行列理論

ITシステムの設計時に必要となる、待ち行列理論の基本的な考え方を理解します。単一窓口(M/M/1)と複数窓口(M/M/n)を中心に適用方法を修得します。

到達目標 待ち行列モデルの「M/M/1」に関して説明できる。

対象者 待ち行列理論の基本を修得したい方。

前提知識 数学的な基礎知識があること。

内 容
1. 待ち行列理論
2. 解析事例学習項目
3. 演習問題
4. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

CTJ065 要件定義／設計

グループ演習 2日間

エンタープライズ ITアーキテクチャのセオリー

近年の企業システムは初期の導入から数十年が経過し、相次ぐ改変によって複雑化、巨大化し、多くの問題を抱えています。こうした背景にある企業システムに、今こそ求められるものはアーキテクチャ(構造)です。老朽化した企業システムをやみくもに再構築するのではなく、自社がめざすアーキテクチャを描き、それに向けてシステム全体を着実に整備して行くことが今求められています。このコースでは、問題提起に始まり、EA の本質を踏まえた上で、具体的なソリューションの設計に至るまで、ITアーキテクチャ主導の企業シスム設計について多くのセオリーを学びます。

到達目標
- 企業のビジネスモデルに適合したITアーキテクチャ設計を修得できる。
- 柔軟で拡張性に富んだ企業システムのITアーキテクチャがどうあるべきかを修得できる。
- めざすアーキテクチャに基づいた企業システムの構築ロードマップを描けるようになる。
- 大規模システムの緩やかな再構築手法を理解し、ビッグバンリスクの回避策について修得できる。

対象者
- 企業システムを今後どのような方向に導くかを策定する立場の方。
- 将来の事業変化に備えて、企業システムを柔軟に対応できるようにしたいとお考えの方。
- カオスと化したレガシー企業システムを整理整頓したいとお考えの方。
- 大規模基幹系システムの再構築を成功裏に収めたいとお考えの方。

前提知識
- 中規模から大規模アプリケーションシステムの設計・開発の経験があること。
- SCM、会計、生産、販売、営業といった一会社の一般的業務知識があること。

内 容
1. 今なにをすべきか（問題の所在と取り組むべき課題について、取り組みに際しての留意点）
2. アーキテクチャについて（EA、DA、AA、TAについて）
3. 戦略ソリューションについて（エンタープライズデータHUB、マスタデータHUB、トランザクションデータHUB、情報系データハウスの構築について）
4. 戦術ソリューション（リポジトリで情報を可視化、ゆるやかなシステム移行の進め方、近未来へ先手を打つために何をすべきかについて）

備 考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

SPE017 要件定義／設計

eラーニング 5時間

<eラーニング> 構造化モデリングによるシステムの機能抽出

データフロー図やデータディクショナリ、ERD、状態遷移図を用いてシステムを構造的に分析する手法を学習します。また、システムを段階的に詳細化しモデル化する価値や思考法を学習します。

到達目標
- データフロー図、データディクショナリ、ERD、状態遷移図を読み、理解できる。
- データフロー図、データディクショナリ、ERD、状態遷移図を用いて問題記述を分析・詳細化できる。

対象者 情報システム開発プロジェクトに参画し、分析モデリングを行う方。

前提知識 システム開発に関する基礎知識があること。

内 容
1. 背景
   (1)現実とソフトウェアのギャップ
   (2)要求とソフトウェアのギャップ
   (3)ソフトウェアの開発に必要な作業
2. 思考方法
3. モデリング
   (1)構造化モデリングとは
   (2)図を書く（DFD、データディクショナリ、ERD、状態遷移図）
   (3)モデルを書く（DFD、データディクショナリ、ERD）
4. まとめ

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、旧「構造化モデリングによるシステムの機能抽出」コース（集合研修）をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

CTE701 要件定義／設計

eラーニング 6時間

<eラーニング>【ナビ機能付き】アプリケーション・アーキテクチャ基礎

アプリケーションのアーキテクチャを設計するための基本的な考え方を学習します。本コンテンツではレイヤアーキテクチャを例に、それぞれの層の役割、代表的なコンポーネントについて説明します。

到達目標
- アーキテクチャの重要性を説明できる。
- アーキテクチャを設計するための基本的な手段を説明できる。

対象者 これからアプリケーション開発に携わる方。

前提知識 プログラミングの経験があること。

内 容
1. アーキテクチャ設計
2. 論理アーキテクチャ
3. プレゼンテーション層のアーキテクチャ設計
4. アプリケーション層のアーキテクチャ設計
5. データ層のアーキテクチャ設計
6. その他のアーキテクチャ設計
7. 論理アーキテクチャ設計の効果
8. まとめ
9. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SPJ038 要件定義／設計

マシン演習 2日間

アプリケーション・アーキテクチャ策定演習

演習を通して、アプリケーション・アーキテクチャの策定要領を学習します。

到達目標
- アプリケーション分野の機能要件、およびアプリケーション実行の土台となるシステム分野の非機能要件の整理の仕方を説明できる。
- アプリケーション構築のための道具立てについて説明できる。
- 業務処理に適した業務オブジェクトの構成方法を説明できる。

対象者 アプリケーション・アーキテクチャの策定をお考えの方。

前提知識 情報システム開発の経験があること。

内 容
1. 要件定義と方式（アーキテクチャ）設計
2. 演習対象システムの概要
3. 要件定義
4. システム方式
5. アプリケーション方式

備 考 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

CLJ019 要件定義／設計

レクチャ 0.5日間

クラウドコンピューティングで読み解くITサービスの最新動向

Renewal

クラウドコンピューティングの技術的背景を総括しながら、新たなITサービスの動向や、今後の可能性について紹介します。

到達目標
- クラウドコンピューティングの概念を理解できる。
- ビジネスにおける活用例を知ることができる。
- 提案につなげるヒントについて考えることができる。

対象者 最近のIT動向を把握したいとお考えの営業/SE/プログラマの方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. クラウドコンピューティングとは?
2. クラウドコンピューティングを実現する技術
3. クラウドコンピューティングを実現化するサービス実例
4. クラウドコンピューティングによる近未来のITサービス

UXJ070 要件定義／設計

マシン演習 1日間

gitによるソフトウェア構成管理

構成管理の必要性、集中型/分散型それぞれの特徴を、マシン演習を通して学習します。個人演習だけでなくペア演習も行い、複数人開発で起こり得る問題点とその解決策も学習します。

到達目標
- 構成管理の必要性と概要を説明できる。
- 構成管理ツールの基本的な操作ができる。
- 複数人で構成管理する時の注意点を説明できる。

対象者 構成管理をこれから利用してアプリケーションを開発する方。

前提知識 システム開発で実装工程の経験があること。

内 容
1. 構成管理とは
2. 構成管理の方法
   (1)集中型
   (2)分散型
3. 個人での構成管理の利用
   (1)集中型ツール（Subversion）の基本的な使用方法
   (2)分散型ツール（git）と基本的な使用方法
   (3)演習
4. 複数人での構成管理の利用
   (1)マージと競合
   (2)リポジトリホスティングサービス（GitHub）と基本的な使用方法
   (3)ペア演習

備 考 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

SPJ067 要件定義／設計

グループ演習 1日間

後工程で慌てない! ユーザ／業務要件の漏れを未然に防ぐ業務設計と要件定義のコツ

システム開発プロジェクトの赤字の発生要因となる仕様変更や仕様追加を未然に防ぐためには、詰めの甘い業務設計や機能要件の漏れを早期にチェックし、対策することが求められます。設計工程や開発工程に課題を先送りしないための要件定義への取り組み方について、書籍「はじめよう! 要件定義」の著者が豊富な現場経験に基づく実戦的な要点をビジネス系システムを中心にお伝えします。

到達目標
- 業務設計のチェックポイントを理解できる。
- 業務設計とシステム要件の関係を理解できる。
- システム要件の具体的な定義の仕方を理解できる。

対象者 現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのか悩んでいる担当者（IT知識が無くても可）やシステムエンジニアの方。

前提知識
- 情報システムの開発または運用での業務経験があること。
- 情報システムの開発または運用に強い興味があること。

内 容
1. 後工程で困る理由
2. 要件とは何か
3. 業務と要件の構造
4. ソフトウェア要件の三点セット
5. 要件定義の手順
6. 演習

備 考
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- このコースは、2017年度まで公開していた「後工程での仕様変更/仕様追加を未然に防ぐ要件定義のコツ」と同等の内容を含みます。

SPJ068 要件定義／設計

グループ演習 1日間

業務要件とユーザビリティを確保するための要件定義のポイント

コンピュータの用途が多様化した現代において、システム開発プロジェクトの終盤においてユーザの検証に伴って生じる「このシステムは使えない」という事態は単なる手戻りというレベルを超えて、プロジェクト自体の意義を問われることすら起こります。この事態を防止するためには、業務上の要件を満たすこととユーザの現場での使い勝手を確保することが不可欠です。ではどうすれば良いのかということについて、書籍「はじめよう! 要件定義」の著者が豊富な現場経験に基づく実戦的な要点をビジネス系システムを中心にお伝えします。

到達目標
- 業務要件とオペレーション要件の階層を理解できる。
- 業務要件とUIデザインの関係について理解できる。
- オペレーション定義の具体的な手法について理解できる。

対象者 現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのか悩んでいる担当者（IT知識が無くても可）やシステムエンジニアの方。

前提知識
- 情報システムの開発または運用での業務経験があること。
- 情報システムの開発または運用に強い興味があること。

内 容
1. なぜ今ユーザビリティなのか
2. ユースケースの変遷
3. 要件とユーザビリティの構造
4. オペレーションフローとUIデザイン
5. 手順
6. 演習

備 考
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- このコースは、2017年度まで公開していた「開発時の手戻り予防を実現する要件品質チェック技法」と同等の内容を含みます。

SPJ069 要件定義／設計

グループ演習 1日間

開発での手戻りを最小限にする要件品質チェックポイントと基本設計の肝

不十分な要件を無理やり設計に落とし込んだ結果、スムースに実装できないような設計を行うと開発工程が迷走しコストを延々と垂れ流すことになります。また仕様変更への意識の足りない設計は、リリース時から硬直したシステムを強いることになり将来的な保守コストを増大させます。これを防止してきちんと要件を開発につなぐための要件チェックと、一貫性と柔軟性を併せ持つ基本設計をどのようにすべきかについて、書籍「はじめよう! システム設計」の著者が豊富な現場経験に基づく実戦的な要点をビジネス系システムを中心にお伝えします。

到達目標
- 要件と設計の関係について理解できる。
- 設計について理解できる。
- 各層における設計の方法について理解できる。

対象者 現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのか悩んでいる担当者（IT知識が無くても可）やシステムエンジニアの方。

前提知識
- 情報システムの開発または運用での業務経験があること。
- 情報システムの開発または運用に強い興味があること。

内 容
1. 手戻りの原因とユーザニーズの変化
2. 要件の構造とチェックの要点
3. 設計とは何か
4. 仕様変更に耐え続ける設計とモジュール化
5. 基本設計の考え方と手順
6. 演習

備 考
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- このコースは、2017年度まで公開していた「開発時の手戻り予防を実現する要件品質チェック技法」と同等の内容を含みます。

SPJ028 要件定義／設計

レクチャ 1日間

品質確保のためのソフトウェアテスト

システム開発を行ううえで品質を確保するために必要な、ソフトウェアテスト分野全般の知識を、担当者と管理者の両視点で学習します。

到達目標
- ソフトウェアテストの必要性を説明できる。
- ソフトウェアテストを実行しソフトウェアの欠陥を摘出できる。
- ソフトウェアテストの流れを説明できる。

対象者 これからソフトウェアテストに関わる方。

前提知識 「コンピュータ基礎」コースを修了しているか、またはコンピュータの基礎知識があること。

内 容
1. ソフトウェアテスト概要
   （テストの必要性、テストの目的、テストの実施と管理）
2. 開発におけるテストの位置づけ
   （テストレベル、W字モデル）
3. 静的テスト
   （コードレビュー、静的解析ツール）
4. テスト技法の活用法
   (1)制御構造に着目したテストケース設計
   (2)入出力に着目したテストケース設計
   (3)複雑な入出力に着目したテストケース設計
   (4)欠陥の修正
5. テストの管理
   (1)バグゼロの落とし穴
   (2)テスト計画
   (3)ソフトウェアメトリクス
   (4)改善のための布石

SPJ063 要件定義／設計

レクチャ 1日間

ソフトウェアテストの管理手法

ソフトウェアテストを管理する手法について、テスト計画とテスト結果の分析と評価を中心に学習します。

到達目標
・テスト計画を立てることができる。
・テスト結果の分析と評価ができる。

対象者 これからプロジェクト管理（特にテスト工程の管理）を担当する方。

前提知識 「品質確保のためのソフトウェアテスト」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. ソフトウェアテストの管理ですべきこと
2. テスト計画
3. テスト結果の分析と評価

SPE016 要件定義／設計

eラーニング 8時間

<eラーニング> 実践！テストケース設計（テスト技法演習編）

現在知られているテスト技法の全体像を知り、代表的な手法を扱う演習を通して、テスト実装のスキルを修得します。

到達目標 代表的なテスト技法を使用してテストケースを作成できる。

対象者 これからテスト技法を修得したい方。

前提知識 「品質確保のためのソフトウェアテスト」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. ソフトウェアテストにおける基本概念
2. テスト技法
   (1)テスト技法の概要
   (2)入出力に着目したテスト
   (3)入力の組合せに着目したテスト
   (4)状態に着目したテスト
   (5)ユースケースに着目したテスト

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・このコースは、「eラーニング×集合研修」の推奨コースです。
・このコースは集合研修「実践！テストケース設計（テスト設計実践編）」コース（SPJ051）の前提となる共通の基礎知識部分をeラーニング化したものです。集合研修とあわせてのご受講を推奨します。
・詳細につきましては、「eラーニング×集合研修」推奨コース学習要領をご覧ください。
https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/elearning/BlendingLearning.html
・このコースは、旧題「実践！テストケース設計」コース（集合研修）と学習内容が重複します。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。

SPJ051 要件定義／設計

マシン実習 1日間

実践！テストケース設計（テスト設計実践編）

このコースではモデルケースを使いテスト分析・設計に基づいてテストケースを作成する演習に取り組みます。その後ペアまたは小グループでレビューをし、より良いテストケースをめざします。

到達目標
・テスト分析・設計の考え方を理解できる。
・テスト分析・設計に基づいてテストケースを作成できる。
・テストケースの良し悪しについてレビューできる。

対象者
・これからソフトウェアテストを担当する人で、テストの目的を踏まえたテストケースを作りたい方。
・テストケース密度を参考にテストケースを作るがバグが出ないなど、テストケースに関する問題を抱えている方。

前提知識 「実践！テストケース設計（テスト技法演習編）」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. ソフトウェアテストを取り巻く環境
2. テスト分析・設計
   (1)テスト分析・設計の目的
   (2)テスト分析・設計の進め方
   (3)分析・設計結果の活用
3. 総合演習
   (1)テスト分析・設計とテストケース作成
   (2)テストケースレビューと振り返り

備 考
・このコースは、「eラーニング×集合研修」の推奨コースです。
・「実践！テストケース設計（テスト技法演習編）」eラーニングコース（SPE016）とあわせてのご受講を推奨します。eラーニングでは、このコースの前提となる基礎知識を修得します。
・詳細につきましては、「eラーニング×集合研修」推奨コース学習要領をご覧ください。
https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/elearning/BlendingLearning.html
・このコースは、グループ演習を含む構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

SPE019 要件定義／設計

eラーニング 3時間

<eラーニング> 速習！Webシステムテストのポイント

Webシステムにおけるテスト設計において必要となる、テスト体系、着眼点、代表的な技法について学習します。

到達目標
・Webシステムテストの留意点を説明できる。
・Webシステムテストの種類を説明できる。

対象者 Webシステムをテストする方、またはWebシステムを設計する方。

前提知識 「プログラムのテスト技法」eラーニングコース、または「品質確保のためのソフトウェアテスト」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. Webシステムを取り巻く状況
2. Webシステムのテストにおける姿勢と施策
   (1)品質の定義を知る
   (2)ビジネスリスクを捉える
   (3)テスタビリティに留意する
3. Webシステムテストの種類
4. Webシステムテストのポイント
   (1)非機能テスト
   (2)グレーボックステスト
   (3)経験値ベーステスト
   (4)回帰テスト
5. Webシステムテストを自動化するツール

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SPJ032 要件定義／設計

マシン実習 1日間

Javaモジュールテスト演習

単体テスト（モジュールテスト）を自動化して、効率的にテストを実施する方法について学習します。またマシン実習では、JUnit等のテスト作成支援ツールを利用してテストコードを作成しテストを実施します。

到達目標
・自動テスト作成の考え方や、ツールを利用した実践的なテスト手順について説明できる。
・ツールを利用して自動テストを実施できる。

対象者 Java言語でプログラムを作成する方、モジュールテストの自動化に興味のある方。

前提知識 「品質確保のためのソフトウェアテスト」コースおよび「Javaプログラミング2（基本クラス編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. テスト駆動開発について
   (1)テスト自動化の必要性
   (2)本コースで利用するツールの関係
2. JUnitを使用したテスト自動化
   (1)JUnitとは
   (2)テストコードの基本
   (3)テストコード作成ガイド
3. 動的解析支援ツール
   (1)使用する動的解析ツール概要
   (2)カバレッジ収集
   (3)レポート作成
4. 演習

SPJ062 要件定義／設計

マシン実習 1日間

Javaによるテスト駆動開発演習

テストを活用した開発手法であるテスト駆動開発について学習します。Javaによるアプリケーション開発を通して、テスト駆動開発の進め方やJUnitなどを利用した自動化の仕組みを学習します。

到達目標
・テスト駆動開発の進め方を説明できる。
・テスト駆動開発を進めるうえでの重要点を説明できる。
・実装前にテストコードを作成し、テストファーストの開発を実践できる。

対象者 テスト駆動開発を利用して開発を進める方。

前提知識
・「Javaプログラミング2ー基本クラス編ー」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
・「Javaモジュールテスト演習」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. はじめに
2. テスト駆動開発
3. 効率的にテスト駆動開発を進めるために
4. テスト駆動開発演習

備 考 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

SPJ035 要件定義／設計

マシン実習 1日間

SeleniumによるWebアプリケーションテスト自動化演習

SeleniumによりWebアプリケーションテストを自動化し、JUnitとSelenium WebDriverを用いてテストコードを作成して、効率的にテストを実施する方法について学習します。

到達目標
・Selenium WebDriverのJava用APIを利用してブラウザの操作を行うプログラムを作成できる。
・Selenium WebDriverとJUnitフレームワークを利用して、Webアプリケーションの自動テストを実施できる。

対象者 Webアプリケーションのテストを行う方、Webアプリケーション自動操作のツールを作成する方。

前提知識 「Javaプログラミング2（基本クラス編）」コース/eラーニングコースおよび「Javaモジュールテスト演習」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. Seleniumとは
2. Selenium Web Driver使用方法
3. JUnitフレームワークを利用したWebアプリケーションのテスト作成
4. Webアプリケーションのテスト自動化演習

備 考 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

SPE701 要件定義／設計

eラーニング 7時間

<eラーニング>【ナビ機能付き】プログラムのテスト技法

プログラムのテスト作業における手順、技法についての基本的な考え方を学習します。

到達目標
・プログラムのテストを実施する手順を説明できる。
・テスト実施時に必要なテスト技法の概要と種類を説明できる。

対象者 これからプログラムのテストに携わる方。

前提知識 コンピュータおよびプログラミングの基礎知識があること。

内 容
1. プログラムテストの概要
   (1)テスト作業の位置づけ
   (2)テストの必要性
   (3)テスト作業の内容
2. プログラムのテスト技法
   (1)テストデータの設計方法
   （ホワイトボックステスト、ブラックボックステスト）
   (2)テスト・デバッグの方法
3. テストの管理
4. 修了試験

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

SPD002 要件定義／設計

グループ演習 1日間

DevOpsテスト入門 ～継続的デリバリーを実現するテスト自動化の基礎～

テストの進め方、手動テスト・自動テストの使い分け、代表的な自動化ツールの適切な選択、およびその効果的な適用法を身につけるコースです。実際のプロジェクト現場からの声を集め、DevOpsにおいて非常に有効なリスクベースドテストのやり方、そこにおけるテスト技法の選択の勘所を学習し、実際に体感し、どのように活用していくかを修得します。

到達目標
・基本的なDevOpsの概念を理解できるようになる。
・DevOpsにおける品質の捉え方、またアジャイルテストにおけるリスクベースドテストを活用したテスト技法の使い分け、自動テストとマニュアルテストの使い分けができるようになる。
・TDD/ATDD/BDDを活用した自動化テストの基礎が理解できるようになる。

対象者 DevOpsにおけるテストについての基礎を学び、より効果的、効率的なテストを会得したい方。

前提知識 テスト設計およびテスト実行の経験があること。

内 容
1. DevOps基礎
   (1)DevOpsとは
   (2)DevOpsとAgile
   (3)品質とテスト
   (4)テストプロセス
   (5)テスト計画
   (6)テストレベル・テストタイプ
   (演習)良い品質のポイント
   (演習)リスク抽出
2. DevOpsにおけるリスクベースドテスト
   (1)リスクベースドテストの重要性
   (2)リスクとは
   (3)リスクに応じたテスト技法の使い分け
   (4)テスト技法
   (演習)(1)リスク抽出
   (演習)(2)リスクポーカー->リスクチャート
   (演習)(3)テスト技法の選択
3. DevOpsにおけるテスト自動化入門
   (1)自動化の目的
   (2)TDD/ATDD/BDDの活用
   (演習)Gherkin

備 考
・このコースは、株式会社SHIFTとの提携コースのため、株式会社SHIFTで開催します。
・コース実施に必要となるご受講者の個人情報を株式会社SHIFTへ提供いたします。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

SPD003 要件定義／設計

グループ演習 1日間

テストプロセス改善 ～評価・改善案策定を一日で習得！～

演習を繰り返すことによってソフトウェアテストを品質向上させる鍵となる「テストプロセス評価と改善」をたった一日で修得することができます。現場ですぐに使える実践的な技法です。講師は「萩田和夫氏」(「TPI NEXT®日本語版」訳者)。特典：副読本として「TPI NEXT日本語版」をプレゼントします！！

到達目標
・ソフトウェアテストに関するさまざまな標準モデルとTPI NEXT®の位置づけを修得できる。
・TPI NEXT®モデルの基本的な構造を修得できる。
・TPI NEXT®のキーエリア・チェックポイントの理解と評価方法を修得できる。
・TPI NEXT®を使ったプロセス改善実施計画の立案方法を修得できる。

対象者
・テストの品質を向上させたいと考えているリーダー、マネジャーの方。
・品質向上のためにプロセス改善を検討している方。

前提知識 テストプロジェクト（もしくは開発プロジェクトでのテスト作業）の経験があること。

内 容
1. ソフトウェアテスト技術の標準化動向とTPI NEXT®の位置づけ
2. TPI NEXT®キーエリアとチェックポイント
3. プロセス評価と改善計画作成手順
4. テストプロセスの自己評価と発表
5. テストプロセス改善の自己計画作成と発表
6. まとめ

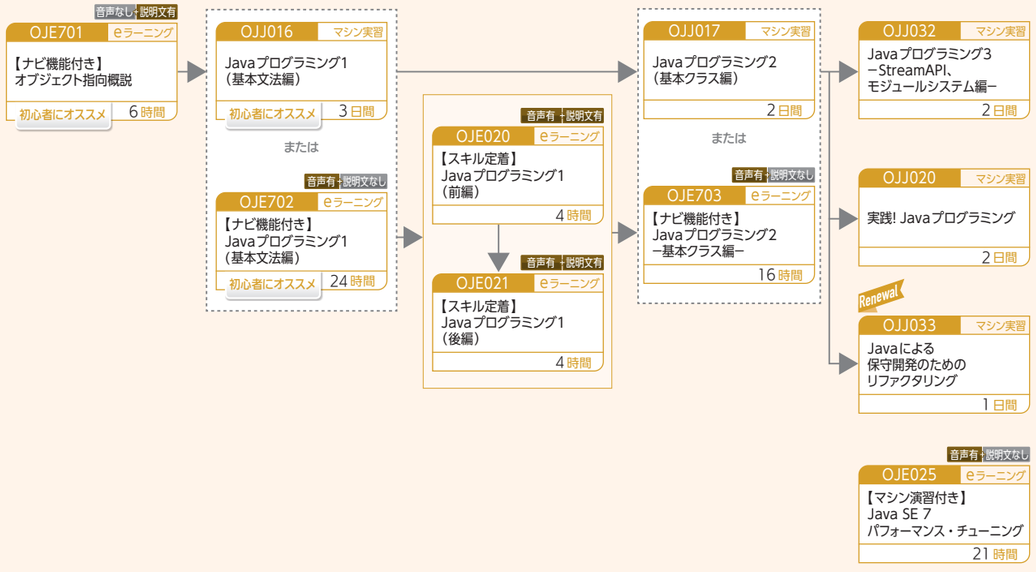
備 考
・このコースは、株式会社SHIFTとの提携コースのため、株式会社SHIFTで開催します。
・コース実施に必要となるご受講者の個人情報を株式会社SHIFTへ提供いたします。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

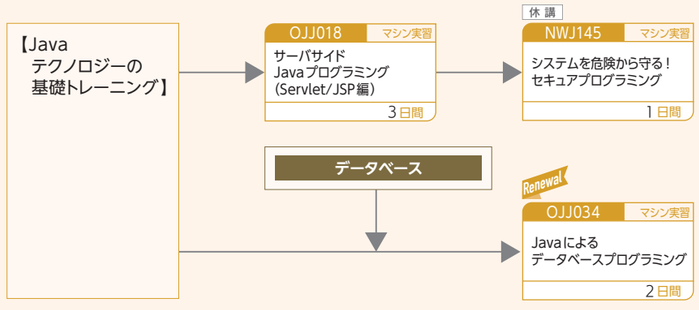
プログラミング

各種プログラミング言語を使用したアプリケーション開発を行うために必要な基本文法やプログラミング技術、Webアプリケーションの開発技術が修得できます。

Java言語を使用してプログラムを開発する方（Javaテクノロジーの基礎トレーニング）



サーバサイド・テクノロジーを使用してアプリケーションを開発する方（Java EEテクノロジーのトレーニング）



音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 今期の定期開催はありません

Python言語を使ってアプリケーション開発する方

DBJ107 マシン実習
0から始めるPython入門
ーデータ分析での活用を
テーマとしてー
2日間

Java言語の資格取得をめざす方

音声有+説明文有
OJE022 eラーニング
資格試験準備セミナー：
OCJP Bronze SE 7/8
（受験チケット付）
7時間

音声有+説明文有
OJE023 eラーニング
資格試験準備セミナー：
OCJP Silver SE 8
（受験チケット付）
7時間

音声有+説明文なし
OJE024 eラーニング
資格試験準備セミナー：
OCJP Gold SE 8
（受験チケット付）
7時間

はじめてプログラミングを学習する方

New
DBJ123 マシン実習
プログラミングはじめの一歩
ーPythonで学ぶ
アルゴリズム入門ー
1日間

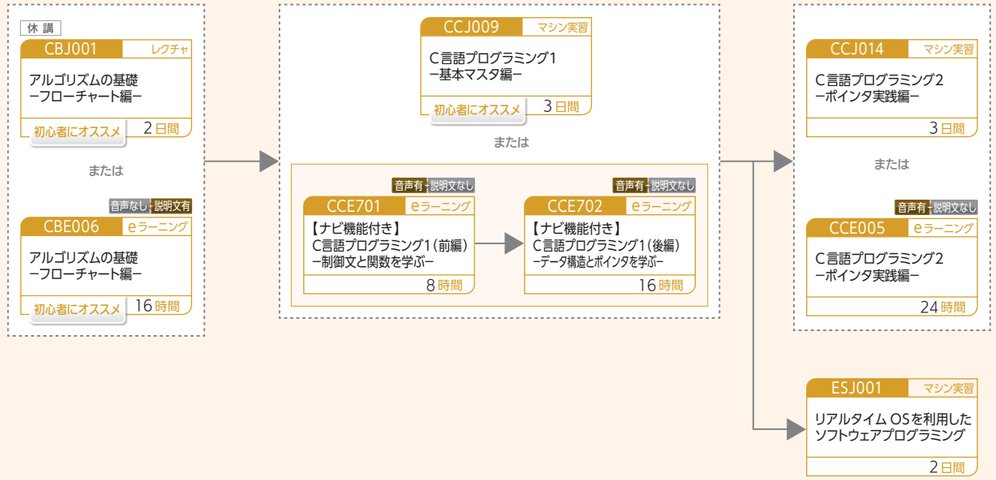
COBOLを使用してプログラムを開発する方

※1：学習内容は、【マシン演習付き】eラーニングと同じですが、当該コースにはマシン演習はありません。

音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

C言語を使用してプログラムを開発する方

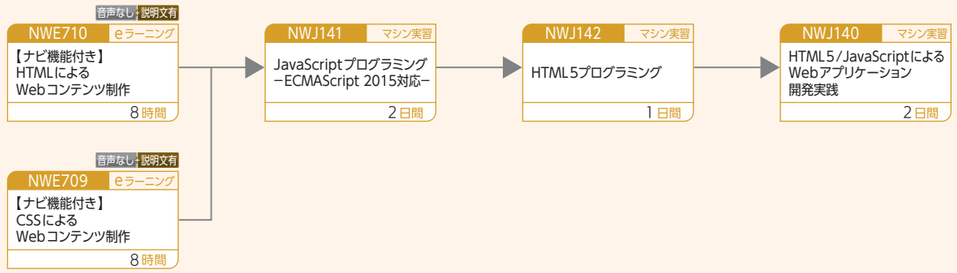


Visual Basic を使用してアプリケーションを開発する方

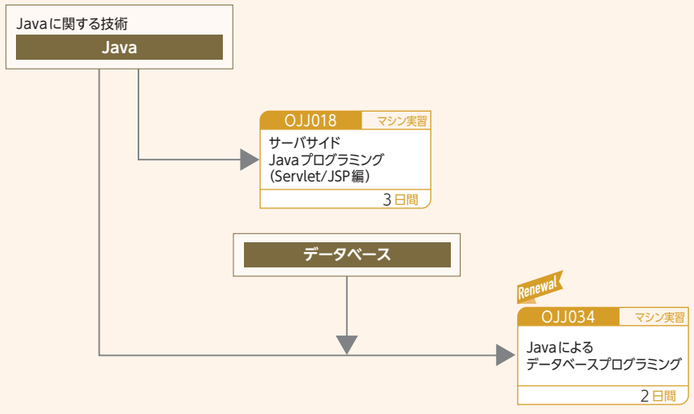
Visual C# を使用してアプリケーションを開発する方

Webアプリケーションの開発技術について幅広く知りたい方

Webコンテンツを制作する方



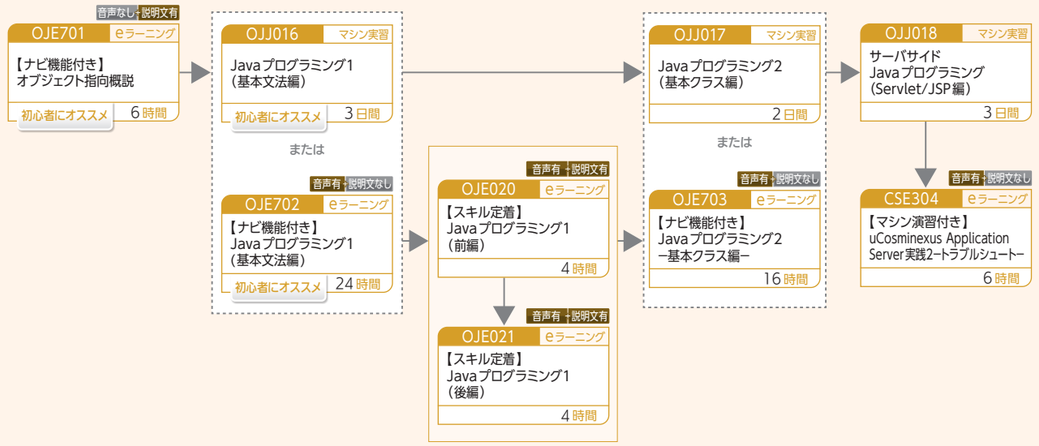
Java EEテクノロジーのトレーニング（サーバサイド・テクノロジーを使用してアプリケーションを開発する方）



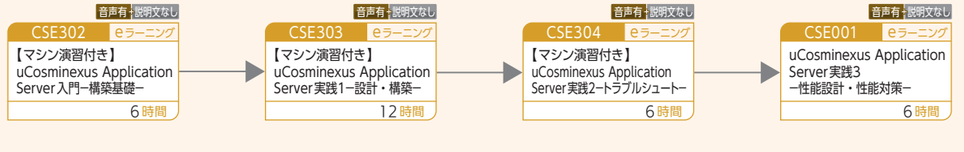
音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

uCosminexus Application Serverを使用してWebアプリケーションの開発をする方

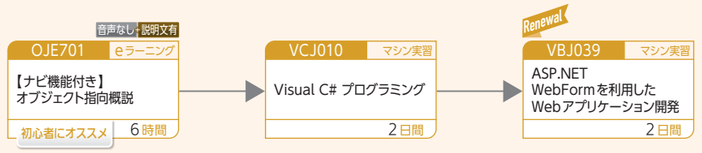


uCosminexus Application Serverを使用したWebシステムの性能設計・性能対策をする方



Visual Basicを使用してWebアプリケーションを開発する方

Visual C#を使用してWebアプリケーションを開発する方



スマートデバイスの導入を検討する方

音声有+説明文なし
NWE029 eラーニング
スマートデバイス
活用システムの提案概説
3時間

スマートデバイスに対応したWebアプリケーションを設計する方

NWJ144 マシン実習
スマートフォンの特性を
踏まえたWebアプリケーション
設計の考え方
1日間

Androidアプリケーションを開発する方

Renewal
NWJ150 マシン実習
体験！Android
アプリケーションの開発
−Kotlinを利用して−
1日間

スマートスピーカを用いたシステムの企画や開発に携わる方

IOJ011 レクチャ
スマートスピーカの
最新動向と
社会インフラ適用の可能性
0.5日間

音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

DBJ123 共通
マシン実習 1日間
プログラミングはじめの一歩 −Pythonで学ぶアルゴリズム入門− New

このコースでは、プログラミングに必要な「順次/分岐/繰り返し」の考え方を（1）フローチャートでの表現（2）Pythonを用いた実装 の手順で学習します。研修ではPythonを用いてプログラミングしますが、本研修で学習する内容はプログラム言語を学習するうえで言語を問わず必要になる知識になります。そのため、Python以外の言語でこれからプログラミングを学習する方でもご受講いただけます。
※プログラミング経験者は本コースを受講する必要はありません。
※本コースはPythonの文法を学習するコースではありません。

到達目標
・プログラムの制御構造である「順次/分岐/繰り返し」について説明できる。
・Pythonを使って、「順次/分岐/繰り返し」を組み合わせたプログラムを作成できる。
対象者 はじめてプログラミング言語を学習する方。
前提知識 特に必要としません。
内 容
1. ソフトウェア開発とプログラム
2. 簡単な命令を実行してみよう
3. データを使ってみよう
4. 条件によって異なる処理を実行しよう
5. 同じ処理を繰り返してみよう
6. これまでの内容を使って、処理の流れを考えてみよう

CBJ001 共通
レクチャ 2日間
アルゴリズムの基礎 −フローチャート編− 休講

プログラミングに必要なアルゴリズムの基礎を、フローチャートを用いた演習を通して学習します。

到達目標
・フローチャートの処理記号を説明できる。
・合計と平均を求めるアルゴリズムを説明できる。
・最大値、最小値を求めるアルゴリズムを説明できる。
・スタックのアルゴリズムを説明できる。
・素数を求めるアルゴリズムを説明できる。
・探索（逐次探索、二分探索）のアルゴリズムを説明できる。
・整列（交換法、選択法、挿入法）のアルゴリズムを説明できる。
・文字列検索のアルゴリズムを説明できる。
対象者 プログラム設計やプログラム開発を行う方。
前提知識 特に必要としません。
内 容
1. アルゴリズムとは
2. フローチャートの書き方
3. 基本的なアルゴリズム
（1）合計・平均
（2）最大値・最小値
4. 探索
（1）逐次探索
（2）二分探索
5. 整列
（1）整列（交換法）
（2）整列（選択法）
（3）整列（挿入法）
6. 文字列の処理
備 考 ※このコースは、休講とさせていただきます。

CBE006 共通
eラーニング 16時間
<eラーニング> アルゴリズムの基礎 −フローチャート編−

プログラミングに必要なアルゴリズムの基本的な考え方をフローチャートを利用して学習します。

到達目標
・フローチャートの処理記号を説明できる。
・合計・平均、最大値・最小値など基本的なアルゴリズムを説明できる。
・基本的な探索、整列のアルゴリズムを説明できる。
・文字列検索のアルゴリズムを説明できる。
・コントロールブレイク、マッチングのアルゴリズムを説明できる。
対象者 プログラム設計やプログラム開発を行う方。
前提知識 特に必要としません。
内 容
1. アルゴリズムとは
2. フローチャートの書き方
3. 基本的なアルゴリズム
（1）合計、平均の求め方
（2）最大値、最小値の求め方
（3）スタックの考え方
（4）素数の求め方
4. 探索（逐次探索、二分探索）
5. 整列（交換法、選択法、挿入法）
6. 文字列の処理
7. 事務処理での活用
（1）コントロールブレイク
（2）ファイル併合、照合、更新
8. 修了試験
備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

OJE701 共通
eラーニング 6時間
<eラーニング>【ナビ機能付き】 オブジェクト指向概説

オブジェクト指向の考え方と基本概念、およびオブジェクト指向による開発の流れを学習します。

到達目標
・オブジェクト指向の基本概念（オブジェクト、クラス、カプセル化、継承、ポリモフィズムなど）を説明できる。
・オブジェクト指向による開発の流れを説明できる。
・UML（Unified Modeling Language）の役割、概要を説明できる。
対象者 これからオブジェクト指向による情報システム開発に携わる方。
前提知識 特に必要としません。
内 容
1. オブジェクト指向概要
2. UML概要
3. オブジェクト指向の基本概念
（1）オブジェクト
（2）クラス
（3）関連
（4）継承
（5）多態性
4. オブジェクト指向開発手順の概要
5. 修了試験
備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

OJJ016 Java
マシン実習 3日間
Javaプログラミング1（基本文法編）

Java言語の基本文法とオブジェクト指向プログラミングの基本知識を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
・Java言語の基本的な文法が説明できる。
・Java言語でオブジェクト指向プログラミングができる。
対象者 これからJava言語でアプリケーションを開発する方。
前提知識 コンピュータの基礎知識があること。
内 容
1. Java言語ことはじめ
2. 基本文法
3. クラス
4. インタフェース
5. ポリモフィズム
6. 継承
7. 例外
8. パッケージ
備 考
・このコースの内容は、Java SE7以降に対応しています。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・このコースは、【ナビ機能付き】Javaプログラミング1（基本文法編）」eラーニングコース（OJE702）とは内容が異なります。

OJE702 Java
eラーニング 24時間
<eラーニング>【ナビ機能付き】 Javaプログラミング1（基本文法編）

Java言語の基本文法とオブジェクト指向プログラミングの基本知識を学習します。演習ファイルをダウンロードし、ご自身のPCでの実機演習を通して、より理解を深めます。

到達目標
・Java言語の特徴を説明できる。
・Java言語でオブジェクト指向プログラミングができる。
対象者 これからJava言語でアプリケーションを開発する方。
前提知識 「【ナビ機能付き】オブジェクト指向概説」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容
1. Javaの概要
2. 基本文法
3. クラスとオブジェクト
4. 継承
5. ポリモフィズム
6. 例外処理
7. 修了試験
備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・ダウンロードした演習ファイルを使って演習するためには、お使いのPCにJDKがインストールされている必要があります。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・このコースは、集合研修「Javaプログラミング1（基本文法編）」コース（OJJ016）とは内容が異なります。

OJE020 Java

eラーニング 4時間

<eラーニング>【スキル定着】Javaプログラミング1（前編）

複数のテーマでJavaプログラム作成とリファクタリングの演習を繰り返し、プログラミングスキルの定着化をめざします。

到達目標
・オブジェクト指向を考慮した、拡張性、保守性の高いJavaプログラムを作成できる。
・Javaプログラム作成の際に、必要な情報を自身で調べることができる。

対象者
・これからJava言語によるアプリケーション開発を行う方。
・Javaのプログラミングスキルの定着をめざす方。

前提知識
「Javaプログラミング1（基本文法編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 分岐構文、繰り返し構文を用いたプログラム
2. オブジェクト指向プログラミング
3. 例外を用いたプログラム
4. パッケージを用いたプログラム
5. プログラムのリファクタリング

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

OJE021 Java

eラーニング 4時間

<eラーニング>【スキル定着】Javaプログラミング1（後編）

複数のテーマでJavaプログラム作成とリファクタリングの演習を繰り返し、プログラミングスキルの定着化をめざします。また、単純なプログラミングスキルだけでなく、設計書に基づいて仕様を把握するスキルの向上を同時にめざします。

到達目標
・オブジェクト指向を考慮した、拡張性、保守性の高いJavaプログラムを作成できる。
・Javaプログラム作成の際に、設計書を元に必要な情報を自身で調べてプログラムを作成できる。

対象者
・これからJava言語によるアプリケーション開発を行う方。
・Javaのプログラミングスキルの定着をめざす方。

前提知識
「Javaプログラミング1（基本文法編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. オブジェクト指向プログラミング
2. プログラムのリファクタリング
3. 設計書に基づいたプログラミング

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

OJJ017 Java

マシン実習 2日間

Javaプログラミング2（基本クラス編）

Java言語での開発において利用頻度の高いAPIの概要と使用方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
・APIドキュメントからクラス、メソッドの使い方を把握できる。
・参照の一致と内容の一致の違いを説明できる。
・マルチスレッドプログラムの作成方法を説明できる。
・ファイル入出力プログラムの作成方法を説明できる。

対象者
これからJava言語でアプリケーションを開発する方。

前提知識
「Javaプログラミング1（基本文法編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. APIドキュメント
2. 文字列を扱うクラス
3. Objectクラス
4. ラッパークラス
5. スレッド
6. 入出力
7. コレクション

備 考
・このコースの内容は、Java SE7以降に対応しています。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

OJE703 Java

eラーニング 16時間

<eラーニング>【ナビ機能付き】Javaプログラミング2−基本クラス編−

Java言語での開発において利用頻度の高いAPIの概要と使用方法について、マシン演習を通して学習します。

到達目標
・APIドキュメントからクラス、メソッドの使い方を把握できる。
・参照の一致と内容の一致の違いを説明できる。
・マルチスレッドプログラムの作成方法を説明できる。
・ファイル入出力プログラムの作成方法を説明できる。

対象者
これからJava言語でアプリケーションを開発する方。

前提知識
「Javaプログラミング1（基本文法編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. APIドキュメント
2. 文字列を扱うクラス
3. Objectクラス
4. ラッパークラス
5. スレッド
6. 入出力
7. コレクション
8. 修了試験

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・ダウンロードした演習ファイルを使って演習するためには、お使いのPCにJDKがインストールされている必要があります。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

OJJ032 Java

マシン実習 2日間

Javaプログラミング3 −StreamAPI、モジュールシステム編−

このコースは、JavaSE8で追加されたStreamAPI、JavaSE9で追加されたモジュールシステムなどについて、マシン演習を通して学習します。

到達目標
・Javaにおけるラムダ式の概要を説明できる。
・StreamAPIを利用した一連の操作手順を説明できる。
・Javaのモジュールシステムの概要を説明できる。

対象者
・Java言語でアプリケーションを開発する方。
・StreamAPI、モジュールシステムといった機能を開発に活用したい方。

前提知識
「Javaプログラミング2（基本クラス編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. java.util、Functionインタフェースとラムダ式
2. java.util.Optionalクラス
3. StreamAPI
4. java.timeパッケージ
5. モジュールシステム
6. Jshell

備 考
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・このコースは、旧コース（OJJ021）「ハンズオンJava8/9新機能」コースと同内容となっています。

OJJ034 Java

マシン実習 2日間

Javaによるデータベースプログラミング

Renewal

Javaプログラムからデータベースへの一般的なアクセス方法を学習します。

到達目標
JDBCを利用してデータベースにアクセスするプログラミングができる。

対象者
Javaでデータベース連携を伴うアプリケーションを開発する方。

前提知識
「Javaプログラミング2（基本クラス編）」コース/eラーニングコース、および「基礎から学ぶSQL−現場で使える力をつける−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. JDBC概要
2. JDBCによる基本的なデータベース利用
3. トランザクション制御
4. O/Rマッピング

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

OJJ018 Java

マシン実習 3日間

サーバサイドJavaプログラミング（Servlet/JSP編）

要素技術を順に組み合わせてWebアプリケーションを構築する過程を通して、JavaEEによるWebアプリケーション構築に必要なスキルを学習します。

到達目標
・ServletおよびJSPを作成できる。
・MVCモデルに則したWebアプリケーションの特徴を説明できる。
・Webアプリケーションの実行時に発生するエラーに対処できる。

対象者
これからJavaEEによるWebアプリケーションの開発に携わる方。

前提知識
「Javaプログラミング2（基本クラス編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. Webアプリケーションとは
2. 静的なWebページ
3. 動的なWebページ
4. 静的、動的なWebページの連係
5. HTMLとプログラムの分離
6. HTML、Servlet、JSPの連係
7. HTML、Servlet、JSP、Beanの連係
8. Webアプリケーションの設計

備 考
このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

OJJ020 Java

マシン実習 2日間

実践！Javaプログラミング

Javaアプリケーション開発者に必要な実用的かつ保守性の高いプログラムの作成ノウハウを学習します。

到達目標
・開発効率を向上するための機能を利用したプログラミングができる。
・プログラムの実行効率を向上する際の観点を説明できる。
・変更容易性を意識したプログラミングの効果や観点を説明できる。

対象者
ITエンジニア職、若手・中堅の方でJavaでアプリケーションを開発する方。

前提知識
「Javaプログラミング2（基本クラス編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 設計におけるノウハウ
（1）凝集度と結合度
（2）アクセス範囲を限定する
2. プログラミングにおけるノウハウ
（1）EoDを意識したプログラミング
（2）実行効率を意識したプログラミング
（3）変容容易性を意識したプログラミング
3. 開発演習

備 考
このコースの内容は、Java SE7以降に対応しています。

NWJ145 Java

マシン実習 1日間

システムを危険から守る！セキュアプログラミング

休講

Webアプリケーションのセキュリティ脆弱性の作りこみ防止技術と適切な設計・対策について学習します。

到達目標
・Webアプリケーションで作りこみやすいセキュリティ脆弱性の特徴を説明できる。
・セキュリティ脆弱性の作りこみ防止を考慮してプログラムを作成できる。

対象者
Webアプリケーションを実装する方。

前提知識
「サーバサイドJavaプログラミング−Servlet/JSP編−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. Webアプリケーションのしくみ
2. hiddenフィールドの書き換え
3. SQLインジェクション
4. クロスサイトスクリプティング
5. クロスサイトリクエストフォージェリ

備 考
※このコースは、休講とさせていただきます。

OJJ033 Java

マシン実習 1日間

Javaによる保守開発のためのリファクタリング

Renewal

リファクタリングの概要、注意点を学習します。また、保守性・再利用性を向上させるためのリファクタリングテクニックを、演習を通して学習します。

到達目標
・リファクタリングの概要や注意点を説明できる。
・リファクタリングにより保守性・再利用性を向上させることができる。

対象者
Javaでアプリケーションを開発される方。保守性・再利用性を向上させるテクニックを知りたい方。

前提知識
「Javaプログラミング2（基本クラス編）」コース/eラーニングコース修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. リファクタリングの必要性
2. リファクタリング概要
3. 主要なリファクタリング

OJE025 Java

eラーニング 21時間

<eラーニング>【マシン演習付き】Java SE 7 パフォーマンス・チューニング

Javaのパフォーマンスチューニングの具体的な方法論やノウハウを学習します。

到達目標
Javaプログラミングにおけるパフォーマンスチューニングについて説明できる。

対象者
Javaアプリケーションの開発業務に携わる方。

前提知識
「Javaプログラミング2（基本クラス編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. コースの概要
2. Java仮想マシンおよびパフォーマンスの概要
3. JVMおよびJavaガベージ・コレクション
4. Javaガベージ・コレクタ
5. コマンドラインからのJVMの監視
6. Mission ControlおよびJVM監視ツール
7. Java Flight Recorder
8. オペレーティング・システムのパフォーマンスの監視
9. パフォーマンス・プロファイリング・ツール
10. プロファイリングを使用したパフォーマンス問題のトラブルシュート
11. ガベージ・コレクションのチューニング
12. 言語レベルでの考慮事項とガベージ・コレクション

備 考
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。
お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。
https://www.oracle.com/a/ocom/docs/dc/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf
・このコースは、日本オラクル（株）が提供するダウンロード可能な電子ファイル教材「eKit」（PDF）を使用します。
・このコースのマシン演習の利用可能日数は、サービス有効期間90日の内の連続した6日間です。
・受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。
・このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。
・このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。
・ご利用最終日は、16：00まで利用可能です。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

OJE022 Java

eラーニング 7時間

<eラーニング>資格試験準備セミナー：OCJP Bronze SE 7/8（受験チケット付）

Oracle Certified Java Programmer、Bronze SE 7/8 資格試験の出題内容を模擬問題とインストラクターによる詳しい解説でキャッチアップすることができます。また、試験を受験いただけるように、受験チケット：Oracle認定資格オンライン試験用が1枚付いています。

到達目標
Oracle Certified Java Programmer、Bronze SE 7/8 資格試験（1Z0-814:Java SE 7/8 Bronze）の出題内容を理解できる。

対象者
OCJP Bronze SE 7/8資格取得をめざす方。

前提知識
「Javaプログラミング1（基本文法編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. はじめに
2. Java言語のプログラムの流れ
3. データの宣言と使用
4. 演算子と分岐文
5. ループ文
6. オブジェクト指向コンセプト
7. クラス定義とオブジェクトの生成、使用
8. 継承とポリモフィズム

備 考
・サービス有効期間は180日間です。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。
お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。
https://www.oracle.com/a/ocom/docs/dc/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf
・受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。
・このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。
・このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。
・ご利用最終日は、16:00まで利用可能です。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

OJE023 Java

eラーニング 7時間

<eラーニング>資格試験準備セミナー：OCJP Silver SE 8（受験チケット付）

Oracle Certified Java Programmer、Silver SE 8 資格試験の出題内容を模擬問題とインストラクターによる詳しい解説でキャッチアップすることができます。また、試験を受験いただけるように、受験チケット：Oracle認定資格会場試験用が1枚付いています。

到達目標 Oracle Certified Java Programmer、Silver SE 8 資格試験（1Z0-808:Java SE 8 Programmer Ⅰ）の出題内容を理解できる。

対象者 OCJP Silver SE 8資格取得をめざす方。

前提知識 「Javaプログラミング1（基本文法編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. はじめに
2. Javaの基本
3. Javaのデータ型の操作
4. 演算子と判定構造の使用
5. 配列の作成と使用
6. ループ構造の使用
7. メソッドとカプセル化の操作
8. 継承の操作
9. 例外の処理
10. JavaAPIの主要なクラスの操作
11. まとめ

備　考
- サービス有効期間は180日間です。
- このコースのサービス有効期間は180日間です。
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。
  お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。
  https://www.oracle.com/a/ocom/docs/dc/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf
- 受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。
- このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。
- ご利用最終日は、16:00まで利用可能です。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

OJE024 Java

eラーニング 7時間

<eラーニング>資格試験準備セミナー：OCJP Gold SE 8（受験チケット付）

Oracle Certified Java Programmer、Gold SE 8 資格試験の出題内容を模擬問題とインストラクターによる詳しい解説でキャッチアップすることができます。また、試験を受験いただけるように、受験チケット：Oracle認定資格会場試験用が1枚付いています。

到達目標 Oracle Certified Java Programmer、Gold SE 8 資格試験（1Z0-809:Java SE 8 Programmer Ⅱ）の出題内容を理解できる。

対象者 OCJP Gold SE 8資格取得をめざす方。

前提知識 「Javaプログラミング2（基本クラス編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. はじめに
2. Javaクラスの設計
3. 高度なJavaクラスの設計
4. ジェネリクスとコレクション
5. コレクション、ストリームおよびフィルタ
6. ラムダ組込み関数型インタフェース
7. JavaストリームAPI
8. 例外とアサーション
9. Java SE 8の日付/時刻APIを使用する
10. JavaのI/Oの基本
11. Javaのファイル I/O（NIO.2）
12. Javaの同時実行性
13. JDBCによるデータベース・アプリケーションの作成
14. ローカライズ
15. まとめ

備　考
- サービス有効期間は180日間です。
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- このコースは、Oracle社が提供するトレーニング・オンデマンドコースです。
  お申し込みの際は、下記URLの「トレーニング・オンデマンドについて」内の学習利用環境を必ずご確認ください。
  https://www.oracle.com/a/ocom/docs/dc/tod-video-viewing-2111198-ja.pdf
- 受講に必要な情報は、開始日以降にOracle社よりメールにてご連絡いたします。
- このコースの実施およびOracle社からのメール送信に必要となる、ご受講者の個人情報をOracle社へ提供いたします。
- このコースの内容、受講料、開催日程は予告なく変更される場合があります。
- ご利用最終日は、16:00まで利用可能です。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

CBJ002 COBOL

マシン実習 3日間

COBOLプログラミング基礎編（PAD）

休講

COBOLの文法と、ファイル処理プログラムの構造を理解し、データ印刷のプログラムを、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- 各DIVISIONとSECTIONの役割を理解し、コーディングできる。
- データの構成を説明できる。
- プログラムの構造化ができる。
- データの入出力処理、移動処理をコーディングできる。
- 繰り返し処理をコーディングできる。
- 印刷プログラムのポイントを理解し、作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 アルゴリズムの基礎知識があり、かつMicrosoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内　容
1. COBOLの基礎知識
2. データ加工のプログラム
3. データ印刷のプログラム
4. マシン実習ーデータ印刷のプログラムー

備　考
- 基本的な文法やプログラム構造は自習教材を使用して学習します。
- 東京（大森）開催においては、「COBOLプログラミング基礎編（フローチャート）」コースと合同クラスで開催します。
- 各章のポイントは、講師が解説します。
- 処理の図式化にはPADを使用します。
- マシン実習はWindows環境COBOL 2002の開発ツールを使用します。

※このコースは、休講とさせていただきます。

CBJ004 COBOL

マシン実習 4日間

COBOLプログラミング応用編（PAD）

休講

事務処理用プログラムを作成するために必要なプログラム構造とCOBOLの文法を理解し、集計処理、突合せ処理および表の取り扱いを、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- コントロールブレーク処理を理解し、集計処理プログラムを作成できる。
- マスタレコードとトランザクションレコードの組合せとその処理パターンを理解し、更新処理プログラムを作成できる。
- 表と添え字を理解し、表を扱ったプログラムを作成できる。
- 表操作のポイントを理解し、プログラムを作成できる。
- 多分岐のプログラムが作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 「COBOLプログラミング基礎編（PAD）」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 集計処理プログラム
2. 突合せ処理プログラム
3. 表の取り扱い/表操作
4. 多分岐処理プログラム
5. マシン実習

備　考
- 文法やプログラムのロジックは自習教材を使用して学習します。
- 東京（大森）開催においては、「COBOLプログラミング応用編（フローチャート）」コースと合同クラスで開催します。
- 各章のポイントは、講師が解説します。
- 処理の図式化にはPADを使用します。
- マシン実習はWindows環境COBOL 2002の開発ツールを使用します。

※このコースは、休講とさせていただきます。

CBJ007 COBOL

マシン実習 3日間

COBOLプログラミング基礎編（フローチャート）

休講

COBOLの文法と、ファイル処理プログラムの構造を理解し、データ印刷のプログラムを、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- 各DIVISIONとSECTIONの役割を理解し、コーディングできる。
- データの構成を説明できる。
- プログラムの構造化ができる。
- データの入出力処理、移動処理をコーディングできる。
- 繰り返し処理をコーディングできる。
- 印刷プログラムのポイントを理解し、作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 アルゴリズムの基礎知識があり、かつMicrosoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内　容
1. COBOLの基礎知識
2. データ加工のプログラム
3. データ印刷のプログラム
4. マシン実習ーデータ印刷のプログラムー

備　考
- 基本的な文法やプログラム構造は自習教材を使用して学習します。
- 東京（大森）開催においては、「COBOLプログラミング基礎編（フローチャート）」コースと合同クラスで開催します。
- 各章のポイントは、講師が解説します。
- 処理の図式化にはフローチャートを使用します。
- マシン実習はWindows環境COBOL 2002の開発ツールを使用します。

※このコースは、休講とさせていただきます。

CBJ008 COBOL

マシン実習 4日間

COBOLプログラミング応用編（フローチャート）

休講

事務処理用プログラムを作成するために必要なプログラム構造とCOBOLの文法を理解し、集計処理、突合せ処理および表の取り扱いを、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- コントロールブレーク処理を理解し、集計処理プログラムを作成できる。
- マスタレコードとトランザクションレコードの組合せとその処理パターンを理解し、更新処理プログラムを作成できる。
- 表と添え字を理解し、表を扱ったプログラムを作成できる。
- 表操作のポイントを理解し、プログラムを作成できる。
- 多分岐のプログラムが作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 「COBOLプログラミング基礎編（フローチャート）」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 集計処理プログラム
2. 突合せ処理プログラム
3. 表の取り扱い/表操作
4. 多分岐処理プログラム
5. マシン実習

備　考
- 文法やプログラムのロジックは自習教材を使用して学習します。
- 東京（大森）開催においては、「COBOLプログラミング応用編（フローチャート）」コースと合同クラスで開催します。
- 各章のポイントは、講師が解説します。
- 処理の図式化にはフローチャートを使用します。
- マシン実習はWindows環境COBOL 2002の開発ツールを使用します。

※このコースは、休講とさせていただきます。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

CBE301 COBOL

eラーニング 24時間

<eラーニング>【マシン演習付き】COBOLプログラミング基礎編（PAD）

COBOLの文法と、ファイル処理プログラムの構造を理解し、データ印刷のプログラムを、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
- 各DIVISIONとSECTIONの役割を理解し、コーディングできる。
- データの構成を説明できる。
- プログラムの構造化ができる。
- データの入出力処理、移動処理をコーディングできる。
- 繰り返し処理をコーディングできる。
- 印刷プログラムのポイントを理解し、作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 アルゴリズムの基礎知識があり、かつMicrosoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内　容
1. COBOLの基礎知識
2. データ加工のプログラム
3. データ印刷のプログラム
4. マシン実習ーデータ印刷のプログラムー
5. 修了試験

備　考
- サービス有効期間は21日間です。

【お申し込み前に必ずご確認ください】
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
  https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf
- 操作演習用テキストは、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- このコースは、集合研修「COBOLプログラミング基礎編（PAD）」コース（CBJ002）と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
- 処理の図式化にはPADを使用します。
- Windows環境COBOL 2002の開発ツールを使用します。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

CBE302 COBOL

eラーニング 32時間

<eラーニング>【マシン演習付き】COBOLプログラミング応用編（PAD）

事務処理用プログラムを作成するために必要なプログラム構造とCOBOLの文法を理解し、集計処理、突合せ処理および表の取り扱いを、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
- コントロールブレーク処理を理解し、集計処理プログラムを作成できる。
- マスタレコードとトランザクションレコードの組合せとその処理パターンを理解し、更新処理プログラムを作成できる。
- 表と添え字を理解し、表を扱ったプログラムを作成できる。
- 表操作のポイントを理解し、プログラムを作成できる。
- 多分岐のプログラムが作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 「【マシン演習付き】COBOLプログラミング基礎編（PAD）」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 集計処理プログラム
2. 突合せ処理プログラム
3. 表の取り扱い/表操作
4. 多分岐処理プログラム
5. マシン実習
6. 修了試験

備　考
- サービス有効期間は21日間です。

【お申し込み前に必ずご確認ください】
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
  https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf
- 操作演習用テキストは、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- このコースは、集合研修「COBOLプログラミング応用編（PAD）」コース（CBJ004）と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
- 処理の図式化にはPADを使用します。
- Windows環境COBOL 2002の開発ツールを使用します。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

CBE303 COBOL

eラーニング 24時間

<eラーニング>【マシン演習付き】COBOLプログラミング基礎編（フローチャート）

COBOLの文法と、ファイル処理プログラムの構造を理解し、データ印刷のプログラムを、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
- 各DIVISIONとSECTIONの役割を理解し、コーディングできる。
- データの構成を説明できる。
- プログラムの構造化ができる。
- データの入出力処理、移動処理をコーディングできる。
- 繰り返し処理をコーディングできる。
- 印刷プログラムのポイントを理解し、作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 アルゴリズムの基礎知識があり、かつMicrosoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内　容
1. COBOLの基礎知識
2. データ加工のプログラム
3. データ印刷のプログラム
4. マシン実習ーデータ印刷のプログラムー
5. 修了試験

備　考
- サービス有効期間は21日間です。

【お申し込み前に必ずご確認ください】
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
  https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf
- 操作演習用テキストは、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- このコースは、集合研修「COBOLプログラミング基礎編（フローチャート）」コース（CBJ007）と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
- 処理の図式化にはフローチャートを使用します。
- Windows環境COBOL 2002の開発ツールを使用します。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

CBE304 COBOL

eラーニング 32時間

<eラーニング>【マシン演習付き】COBOLプログラミング応用編（フローチャート）

事務処理用プログラムを作成するために必要なプログラム構造とCOBOLの文法を理解し、集計処理、突合せ処理および表の取り扱いを、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
- コントロールブレーク処理を理解し、集計処理プログラムを作成できる。
- マスタレコードとトランザクションレコードの組合せとその処理パターンを理解し、更新処理プログラムを作成できる。
- 表と添え字を理解し、表を扱ったプログラムを作成できる。
- 表操作のポイントを理解し、プログラムを作成できる。
- 多分岐のプログラムが作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 「【マシン演習付き】COBOLプログラミング基礎編（フローチャート）」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 集計処理プログラム
2. 突合せ処理プログラム
3. 表の取り扱い/表操作
4. 多分岐処理プログラム
5. マシン実習
6. 修了試験

備　考
- サービス有効期間は21日間です。

【お申し込み前に必ずご確認ください】
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
  https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/service/opcourse/elearning/manual.pdf
- 操作演習用テキストは、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- このコースは、集合研修「COBOLプログラミング応用編（フローチャート）」コース（CBJ008）と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
- 処理の図式化にはフローチャートを使用します。
- Windows環境COBOL 2002の開発ツールを使用します。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

CBE002 COBOL

eラーニング 16時間

<eラーニング> COBOLプログラミング基礎編（PAD）

COBOLの文法と、ファイル処理プログラムの構造を理解し、データ印刷のプログラムを学習します。

到達目標
- 各DIVISIONとSECTIONの役割を理解し、コーディングできる。
- データの構成を説明できる。
- プログラムの構造化ができる。
- データの入出力処理、移動処理をコーディングできる。
- 繰り返し処理をコーディングできる。
- 印刷プログラムのポイントを理解し、作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 アルゴリズムの基礎知識があること。

内　容
1. COBOLの基礎知識
2. データ加工のプログラム
3. データ印刷のプログラム
4. 修了試験

備　考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースには、マシン演習はありません。
- このコースは、「COBOLプログラミング基礎編（PAD）」自習テキストとあわせて利用されることを推奨します。
- 処理の図式化にはPADを使用します。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

CBE003 COBOL

eラーニング 16時間

<eラーニング> COBOLプログラミング応用編（PAD）

事務処理用プログラムを作成するために必要なプログラム構造とCOBOLの文法を理解し、集計処理、突合せ処理および表の取り扱いを学習します。

到達目標
- コントロールブレーク処理を理解し、集計処理プログラムを作成できる。
- マスタレコードとトランザクションレコードの組合せとその処理パターンを理解し、更新処理プログラムを作成できる。
- 表と添え字を理解し、表を扱ったプログラムを作成できる。
- 表操作のポイントを理解し、プログラムを作成できる。
- 多分岐のプログラムが作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 「COBOLプログラミング基礎編（PAD）」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 集計処理プログラム
2. 突合せ処理プログラム
3. 表の取り扱い/表操作
4. 多分岐処理プログラム
5. 修了試験

備　考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースには、マシン演習はありません。
- このコースは、「COBOLプログラミング応用編（PAD）」自習テキストとあわせて利用されることを推奨します。
- 処理の図式化にはPADを使用します。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

CBE004 COBOL

<eラーニング>
COBOLプログラミング基礎編（フローチャート）

16時間

COBOLの文法と、ファイル処理プログラムの構造を理解し、データ印刷のプログラムを学習します。

到達目標
- 各DIVISIONとSECTIONの役割を理解し、コーディングできる。
- データの構成を説明できる。
- プログラムの構造化ができる。
- データの入出力処理、移動処理をコーディングできる。
- 繰り返し処理をコーディングできる。
- 印刷プログラムのポイントを理解し、作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 アルゴリズムの基礎知識があること。

内 容
1. COBOLの基礎知識
2. データ加工のプログラム
3. データ印刷のプログラム
4. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースには、マシン演習はありません。
- このコースは、「COBOLプログラミング基礎編（フローチャート）」自習テキストとあわせて利用されることを推奨します。
- 処理の図式化にはフローチャートを使用します。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

CBE005 COBOL

<eラーニング>
COBOLプログラミング応用編（フローチャート）

16時間

事務処理用プログラムを作成するために必要なプログラム構造とCOBOLの文法を理解し、集計処理、突合せ処理および表の取り扱いを学習します。

到達目標
- コントロールブレーク処理を理解し、集計処理プログラムを作成できる。
- マスタレコードとトランザクションレコードの組合せとその処理パターンを理解し、更新処理プログラムを作成できる。
- 表と添え字を理解し、表を扱ったプログラムを作成できる。
- 表操作のポイントを理解し、プログラムを作成できる。
- 多分岐のプログラムが作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 「COBOLプログラミング基礎編（フローチャート）」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 集計処理プログラム
2. 突合せ処理プログラム
3. 表の取り扱い/表操作
4. 多分岐処理プログラム
5. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースには、マシン演習はありません。
- このコースは、「COBOLプログラミング応用編（フローチャート）」自習テキストとあわせて利用されることを推奨します。
- 処理の図式化にはフローチャートを使用します。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

－ COBOL

COBOLプログラミング基礎編（PAD）（自習テキスト）

18時間

COBOLの文法と、ファイル処理プログラムの構造を理解し、データ印刷のプログラムを学習します。

到達目標
- 各DIVISIONとSECTIONの役割を理解し、コーディングできる。
- データの構成を説明できる。
- プログラムの構造化ができる。
- データの入出力処理、移動処理をコーディングできる。
- 繰り返し処理をコーディングできる。
- 印刷プログラムのポイントを理解し、作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 アルゴリズムの基礎知識があること。

内 容
1. COBOLの基礎知識
2. データ加工のプログラム
3. データ印刷のプログラム

備 考 お申し込みについては、下記URLをご覧ください。
https://www.hitachi-ac.co.jp/guide/free.html

－ COBOL

COBOLプログラミング応用編（PAD）（自習テキスト）

18時間

事務処理用プログラムを作成するために必要なプログラム構造とCOBOLの文法を理解し、集計処理、突合せ処理および表の取り扱いを学習します。

到達目標
- コントロールブレーク処理を理解し、集計処理プログラムを作成できる。
- マスタレコードとトランザクションレコードの組合せとその処理パターンを理解し、更新処理プログラムを作成できる。
- 表と添え字を理解し、表を扱ったプログラムを作成できる。
- 表操作のポイントを理解し、プログラムを作成できる。
- 多分岐のプログラムが作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 「COBOLプログラミング基礎編（フローチャート）」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 集計処理プログラム
2. 突合せ処理プログラム
3. 表の取り扱い/表操作
4. 多分岐処理プログラム

備 考 お申し込みについては、下記URLをご覧ください。
https://www.hitachi-ac.co.jp/guide/free.html

－ COBOL

COBOLプログラミング基礎編（フローチャート）（自習テキスト）

18時間

COBOLの文法と、ファイル処理プログラムの構造を理解し、データ印刷のプログラムを学習します。

到達目標
- 各DIVISIONとSECTIONの役割を理解し、コーディングできる。
- データの構成を説明できる。
- プログラムの構造化ができる。
- データの入出力処理、移動処理をコーディングできる。
- 繰り返し処理をコーディングできる。
- 印刷プログラムのポイントを理解し、作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 アルゴリズムの基礎知識があること。

内 容
1. COBOLの基礎知識
2. データ加工のプログラム
3. データ印刷のプログラム

備 考 お申し込みについては、下記URLをご覧ください。
https://www.hitachi-ac.co.jp/guide/free.html

－ COBOL

COBOLプログラミング応用編（フローチャート）（自習テキスト）

18時間

事務処理用プログラムを作成するために必要なプログラム構造とCOBOLの文法を理解し、集計処理、突合せ処理および表の取り扱いを学習します。

到達目標
- コントロールブレーク処理を理解し、集計処理プログラムを作成できる。
- マスタレコードとトランザクションレコードの組合せとその処理パターンを理解し、更新処理プログラムを作成できる。
- 表と添え字を理解し、表を扱ったプログラムを作成できる。
- 表操作のポイントを理解し、プログラムを作成できる。
- 多分岐のプログラムが作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 「COBOLプログラミング基礎編（フローチャート）」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 集計処理プログラム
2. 突合せ処理プログラム
3. 表の取り扱い/表操作
4. 多分岐処理プログラム

備 考 お申し込みについては、下記URLをご覧ください。
https://www.hitachi-ac.co.jp/guide/free.html

CCJ009 C/C++

C言語プログラミング1 －基本マスタ編－

3日間

C言語の基本的な文法を学習します。プログラミング演習を通して理解を深めます。

到達目標
- C言語の基本的な構文を説明できる。
- C言語による簡単なプログラムを作成できる。
- ポインタの概要を説明できる。

対象者 はじめてプログラミングをする方、今後C++言語やJava言語を利用する方で基礎から学習したい方。

前提知識 コンピュータの基礎知識があること。

内 容
1. C言語プログラム作成の基本
2. 制御構造
3. 関数
4. データ型
5. ポインタ
6. 入出力
7. データ型修飾子および演算子
8. プリプロセッサ

CCJ014 C/C++

C言語プログラミング2 －ポインタ実践編－

3日間

C言語のポインタを多く利用したプログラミングを学習します。題材としてポインタ配列や線形リストのようなデータ構造の実装と関数ポインタを扱います。

到達目標 C言語のポインタを使用したプログラムを作成できる。

対象者 ポインタについてより詳しく理解したい方、C言語を用いたアプリケーションを開発・保守する方。

前提知識 「C言語プログラミング1－基本マスタ編－」コース、または「【ナビ機能付き】C言語プログラミング1（後編）－データ構造とポインタを学ぶー」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. ポインタと関数の引数の参照渡し
2. 領域の動的確保
   (1)変数領域の動的確保
   (2)いろいろな領域の動的確保
3. ポインタを活用したプログラミング
   (1)ポインタ配列の利用
   (2)関数ポインタの利用
   (3)線形リストの実装
   (4)二分木の実装

CCE005 C/C++

<eラーニング>
C言語プログラミング2 －ポインタ実践編－

24時間

C言語のポインタを多く利用したプログラミングを学習します。題材としてポインタ配列や線形リストのようなデータ構造の実装と関数ポインタを扱います。

到達目標 C言語のポインタを使用したプログラムを作成できる。

対象者
- ITエンジニア職、若手・中堅の方でポインタについてより詳しく理解したい方。
- C言語を用いたアプリケーションを開発、保守する方。

前提知識 「【ナビ機能付き】C言語プログラミング1（後編）－データ構造とポインタを学ぶー」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. ポインタと関数の引数の参照渡し
2. 領域の動的確保
   (1)変数領域の動的確保
   (2)いろいろな領域の動的確保
3. ポインタを活用したプログラミング
   (1)ポインタ配列の利用
   (2)関数ポインタの利用
   (3)線形リストの実装
   (4)二分木の実装
4. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースは、マシン演習を多く取り入れたeラーニングコースです。ダウンロードした演習ファイルを使って演習します。
- このコースは、集合研修「C言語プログラミング2-ポインタ実践編-」コース（CCJ014）と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。

CCE701 C/C++

<eラーニング>【ナビ機能付き】
C言語プログラミング1（前編）－制御文と関数を学ぶー

8時間

C言語の制御文と関数を中心に学習します。

到達目標
- C言語の制御文について説明できる。
- C言語の関数について説明できる。

対象者 C言語を使用してアプリケーションを開発する方。

前提知識 コンピュータの基礎知識があること。

内 容
1. C言語のプログラミングの基本
   (1)プログラムが実行されるまで
   (2)簡単なC言語のプログラムを作ってみよう
   (3)C言語プログラムの基本構成
2. 制御文
   (1)分岐
   (2)繰り返し
   (3)制御の変更
3. 関数
   (1)関数とは
   (2)関数作成の基本
   (3)戻り値のある関数
   (4)引数のある関数
   (5)戻り値と引数のある関数
   (6)関数プロトタイプ
   (7)関数の分類
4. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

CCE702 C/C++

<eラーニング>【ナビ機能付き】
C言語プログラミング1（後編）－データ構造とポインタを学ぶー

16時間

C言語のデータ構造、ポインタ、およびライブラリ関数を用いたファイルの入出力について学習します。

到達目標
- C言語のデータ構造について説明できる。
- ポインタの概要を説明できる。
- ファイル入出力について説明できる。

対象者 C言語を使用してアプリケーションを開発する方。

前提知識 「【ナビ機能付き】C言語プログラミング1（前編）－制御文と関数を学ぶー」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. データ型、配列と文字列、構造体
2. ポインタ
3. ファイル入出力
4. いろいろなデータ型と演算子
5. プリプロセッサ
6. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

ESJ001 C/C++

リアルタイムOSを利用したソフトウェアプログラミング

2日間

組込みシステム用リアルタイムOSの仕組みを学習し、リアルタイムOSを用いたプログラミングを、実機を用いて実施します。

到達目標 リアルタイムOSを利用したマルチタスクプログラミングができる。

対象者 組込みソフトウェアを開発する方。

前提知識 「C言語プログラミング1－基本マスタ編－」コース、または「【ナビ機能付き】C言語プログラミング1（後編）－データ構造とポインタを学ぶー」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. リアルタイムOSとは
   (1)リアルタイムOSの機能と役割
   (2)タスクと状態遷移
   (3)スケジューラとプリエンプティブ
   (4)リアルタイムOSの種類
   (5)統合開発環境
2. シングルタスクプログラミング
   (1)タスクの生成と起動方法
   (2)タスクの状態遷移
   (3)割り込みを用いたプログラミング
3. マルチタスクプログラミング
   (1)タスク間通信
   (2)イベントフラグ
   (3)リソース（セマフォ）

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休 講 今期の定期開催はありません

VBJ038 VB/VC#

マシン実習 2日間

Visual Basicプログラミング

.NET Frameworkの概要、Visual Basicによるオブジェクト指向プログラミングの基本文法、およびVisual BasicによるWindowsアプリケーションの作成方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- クラスやオブジェクト、継承などオブジェクト指向の基本用語を説明できる。
- Visual Basicの基本文法を理解し、オブジェクト指向プログラミング（クラスの定義・継承）ができる。
- 例外処理の必要性を理解し、例外処理を実装できる。
- Windowsアプリケーションの作成から実行までの一連の操作ができる。

対象者 Visual Basicによるオブジェクト指向プログラミングを身につけたい方、これからVisual Basicを使用してアプリケーションを開発する方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があり、「【ナビ機能付き】オブジェクト指向概説」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. Visual Studioを利用したアプリケーション開発
2. Visual Basicプログラミングの基本
3. Visual Basicの基本文法
4. モジュールの定義
5. クラスの定義
6. 構造体の定義
7. 継承
8. 例外処理

VBJ039 VB/VC#

マシン実習 2日間 Renewal

ASP.NET WebFormを利用したWebアプリケーション開発

ASP.NET によるWebアプリケーションを作成するために必要な知識を学習します。また、ADO.NETを利用したデータベース連携の概要を学習します。

到達目標
- ASP.NET Webフォームの特徴を理解し、Webアプリケーションのライフサイクルやポストバックについて説明できる。
- サーバコントロールを使用したWebフォームを作成できる。
- ステート管理の重要性を理解し、セッション管理をするWebアプリケーションを作成できる。
- ADO.NETによるデータベース連携の実装方法を説明できる。

対象者 これからASP.NET WebFormを使ったWebアプリケーション開発に携わる方。

前提知識 インターネットの基礎知識があり、「Visual Basicプログラミング」または「Visual C#プログラミング」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. ASP.NET概要
2. Webフォームの基本実装
3. サーバコントロール
4. ステート管理
5. ADO.NETの利用

備 考 使用するプログラミング言語は、Visual Basic.NETおよびVisual C#から選択可能です。

VCJ010 VB/VC#

マシン実習 2日間

Visual C#プログラミング

.NET Frameworkの概要、Visual C#によるオブジェクト指向プログラミングの基本文法、およびVisual StudioによるWindowsアプリケーションの作成方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- クラスやオブジェクト、継承などオブジェクト指向の基本用語を説明できる。
- Visual C#の基本文法を理解し、オブジェクト指向プログラミング（クラスの定義・継承）ができる。
- 例外処理の必要性を理解し、例外処理を実装できる。
- Windowsアプリケーションの制作から実行までの一連の操作ができる。

対象者 VisualC#によるオブジェクト指向プログラミングを身につけたい方、これからVisualC#を使用してアプリケーションを開発する方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があり、「【ナビ機能付き】オブジェクト指向概説」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. Visual Studioを利用したアプリケーション開発
2. Visual C#プログラミングの基本
3. Visual C#の基本文法
4. クラス
5. 構造体
6. 継承
7. 例外処理

NWE032 Web関連技術

eラーニング 6時間 Renewal

<eラーニング> Webシステム入門

Webシステムの構成要素と代表的なアプリケーション開発技術を学習します。加えて、開発時における留意点を学習します。

到達目標
- Webシステムにおけるクライアントとサーバの役割を説明できる。
- Webシステムにおけるサーバの種類と代表的な製品を説明できる。
- Webシステムにおける開発時の留意点を説明できる。

対象者 これからWebシステムを構築、管理する方、これからWebアプリケーションを開発する方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. Webシステムを取り巻く環境
2. 構成要素と動作イメージ
3. システム構成
4. アプリケーションの実装技術
5. 開発時の留意点
6. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

NWE031 Web関連技術

eラーニング 8時間

<eラーニング> Webアプリケーション設計の基礎

Webアプリケーション開発に関わるに当たり、設計の観点からの基本的な知識や留意点を学習する入門コースです。ユーザビリティ向上と実装難易度をふまえた画面設計、開発効率や保守性を考慮したフレームワークの必要性、実行効率向上のためのデータと画面設計の対応について学習します。

到達目標
- Webシステムの画面設計時に、ユーザビリティ向上にあたっての留意点を説明できる。
- 保守性、開発効率をふまえフレームワーク導入の意義を説明できる。

対象者 これからWebアプリケーション開発にかかわる方。

前提知識 「Webシステム入門」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. Webシステム概要
   (1)サーバ/クライアント
2. Webアプリケーションの設計とは
   (1)設計フェーズの確認・機能要件/非機能要件
3. 画面設計
   (1)ユーザビリティへの配慮
   (2)ウィンドウサイズ/スクロールバー/画面部品/画面遷移
4. プログラムの設計
   (1)フレームワークの利用・セッション管理
5. データ設計
   (1)画面設計との整合性
6. 多様化するクライアントの役割
   (1)非同期通信、多様なデータ形式
7. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

NWE709 Web関連技術

eラーニング 8時間

<eラーニング>【ナビ機能付き】CSSによるWebコンテンツ制作

CSSを用いたスタイルシートの効果的な指定方法を学習します。

到達目標 CSSを使ってWebコンテンツ（画面レイアウト）を作成できる。

対象者 JavaScirptやWebアプリケーション開発技術を学習する前提として、CSSを学ぶ方。

前提知識
- 「【ナビ機能付き】HTMLによるWebコンテンツ制作」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識をお持ちの方。
- Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内 容
1. CSSの概要
2. CSSの基本文法
3. CSSの主要なプロパティ
4. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- HTML5によるWebコンテンツ作成ついては「HTML5プログラミング」コースにてご案内しています。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

NWE710 Web関連技術

eラーニング 8時間

<eラーニング>【ナビ機能付き】HTMLによるWebコンテンツ制作

HTMLによるリンク、テーブル、フォームなどを用いたWebコンテンツの作成方法を学習します。

到達目標
- HTML、スタイルシートの基礎を説明できる。
- リンク、マルチメディアデータ、テーブル、フォームを用いたWebコンテンツをHTMLで作成できる。

対象者 JavaScirptやWebアプリケーション開発技術を学習する前提として、HTMLを学ぶ方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内 容
1. HTMLの概要
2. HTMLの基本文法（テーブル・フォーム・リンク等）
3. HTMLの主要な要素
4. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- HTML5によるWebコンテンツ作成ついては「HTML5プログラミング」コースにてご案内しています。

NWJ141 Web関連技術

マシン実習 2日間

JavaScriptプログラミング −ECMAScript 2015対応−

JavaScriptの基本文法と、DOM、イベント、ライブラリの使用方法、Ajaxについて学習します。従来の文法だけでなく、ECMAScript 2015からの文法・機能についても学習します。さらに演習を通して、JavaScriptを使用したアプリケーション開発の方法を学習します。

到達目標
- JavaScriptの特徴を説明できる。
- JavaScriptのライブラリを用いたアプリケーション開発ができる。
- DOMの概要を説明できる。
- Ajaxの概要を説明できる。

対象者 JavaScriptによるアプリケーション開発に携わる方。

前提知識 「【ナビ機能付き】HTMLによるWebコンテンツ制作」および「【ナビ機能付き】CSSによるWebコンテンツ制作」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。プログラミング経験があること。

内 容
1. JavaScript概要
2. JavaScriptの基本文法
3. DOM
4. JavaScriptのイベント
5. JavaScriptのライブラリ
6. JavaScriptとAjax

NWJ142 Web関連技術

マシン実習 1日間

HTML5プログラミング

HTML5の概要を知り、マシン実習を通してHTML5の使用方法を学習します。

到達目標
- HTML5の各規格の概要を説明できる。
- HTML5の新機能の概要を説明できる。

対象者 HTML5によるアプリケーション開発に携わる方。

前提知識 「JavaScriptプログラミング−ECMAScript 2015対応−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. HTML5概要
2. HTML5によるマークアップ
   (1)HTML5の基本文法
   (2)HTML5で廃止になった要素
   (3)HTML5の新要素
   (4)演習
3. HTML5のAPI
   (1)ドラッグ&ドロップAPI
   (2)FileAPI
   (3)WebSocketAPI
   (4)WebWorkersAPI
   (5)ServiceWorkerAPI
   (6)WebStrageAPI
   (7)HistoryAPI
   (8)演習
4. HTML5関連技術

NWJ140 Web関連技術

マシン実習 2日間

HTML5/JavaScriptによるWebアプリケーション開発実践

HTML5、JavaScriptを用いたWebアプリケーションの設計と実装を学習します。設計演習では、テキストで紹介した技術だけでなくインターネットを用いた自主的な技術調査も実施し、適用技術を各自で検討します。また、検討結果を共有し、与えられた要件をどのように実現するかといった観点で議論します。実装演習では、各自の設計を実際に実装することで、選択した各技術に対する理解を深めます。

到達目標 HTML5、JavaScriptの技術を組み合わせ、Webアプリケーションの設計と実装ができる。

対象者 ITエンジニア職・若手・中堅の方でHTML5、JavaScript等の技術を組み合わせてWebアプリケーションを開発したい方。

前提知識 「JavaScriptプログラミング−ECMAScript 2015対応−」および「HTML5プログラミング」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. Webアプリケーションの変遷
2. サンプルプログラムの確認
3. 設計演習
   (1)要件の確認
   (2)アーキテクチャ、実装技術の調査検討
   (3)検討結果の共有
4. 実装演習
   (1)プログラミング
   (2)成果物の共有

備 考 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

NWE029 スマートデバイス

eラーニング 3時間

<eラーニング> スマートデバイス活用システムの提案概説

スマートデバイスの概要と、エンタープライズ分野でスマートデバイスを活用するうえで検討すべきポイントを学習します。

到達目標 スマートデバイスの特徴や、エンタープライズシステムへ適用するうえで検討すべき事項を説明できる。

対象者 スマートデバイスに関心のある方、スマートデバイスの導入に携わる方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. スマートデバイスの概要
2. 目的の明確化
3. スマートデバイスの管理
4. システムへの導入方式
5. アプリケーション開発方式
6. アプリケーション開発を支える技術

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースは、「スマートデバイス概説と導入の考え方」eラーニングコースの内容改訂および名称を変更したものです。

NWJ144 スマートデバイス

マシン実習 1日間

スマートフォンの特性を踏まえたWebアプリケーション設計の考え方

スマートフォン用Webブラウザから利用するWebアプリケーションを開発するうえで必要となる、スマートフォンの特性を踏まえた画面設計や高速化手法の考え方を学習します。

到達目標
- スマートフォンに対応したWebアプリケーションにおける画面設計の留意点を説明できる。
- 非同期通信やキャッシュを用いて、スマートフォンに対応したWebアプリケーションを高速化する手法を説明できる。

対象者 スマートフォンに対応したWebアプリケーションを設計する方。

前提知識 「Webアプリケーション設計の基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. スマートフォンに対応したWebアプリケーションとは
   (1)PC向けWebアプリケーションとの比較
   (2)ネイティブアプリケーションとの比較
2. スマートフォンの特性を踏まえた画面設計
   (1)UIレイアウト・デザインの考え方
   (2)代表的なライブラリ
3. Webアプリケーションの高速化
   (1)ネットワーク環境に留意したWebアプリケーション設計の考え方
   (2)非同期通信と事前読み込み
   (3)キャッシュ
4. セキュリティへの配慮

NWJ150 スマートデバイス

マシン実習
1日間

体験！Androidアプリケーションの開発 −Kotlinを利用して−

Renewal

Androidアプリケーションの開発方法を学習します。利用するプログラミング言語はKotlinです。

到達目標
- Androidが提供するアプリケーションフレームワークの役割を説明できる。
- Androidアプリケーションの開発方法について説明できる。

対象者 これからAndroidアプリケーションの開発に携わる方。

前提知識 なんらかのプログラミング言語利用経験があること。

内　容
1. Androidアプリケーション開発の概要
   (1) Androidの構成
   (2) 主要なAndroidアプリケーションコンポーネント
   (3) Android Studioによるアプリケーション作成の概要
2. Androidアプリケーションの作成から実行まで
3. Kotlinの概要と基本文法
4. Androidアプリケーション開発演習

情報処理技術者試験対策

情報処理技術者試験の資格取得に向け、
知識や解答技法が修得できます。

情報処理技術者試験の取得をめざす方

<春秋期実施試験対策>

【IP】【FE】共通

音声なし+説明文有
SCE703 eラーニング
【ナビ機能付き】
情報技術者に求められるセキュリティの基礎
－要素技術(暗号、認証)編－
6時間

音声なし+説明文有
NWE706 eラーニング
【ナビ機能付き】
ネットワーク基礎Ⅰ
－イーサネットの仕組み－
12時間

音声なし+説明文有
NWE707 eラーニング
【ナビ機能付き】
ネットワーク基礎Ⅱ
－TCP/IPの仕組み－
12時間

音声なし+説明文有
DBE711 eラーニング
【ナビ機能付き】
データベース基礎
初心者にオススメ
8時間

【IP】ITパスポート試験対策

音声なし+説明文なし
SJE301 eラーニング
集中演習
ITパスポート試験【IP】
80時間

【SG】情報セキュリティマネジメント試験対策

音声なし+説明文なし
SJE302 eラーニング
集中演習
情報セキュリティ
マネジメント試験【SG】
162時間

【FE】基本情報技術者試験対策

音声なし+説明文なし
SJE303 eラーニング
集中演習
基本情報技術者試験【FE】
200時間

New
SJD012 レクチャ
基本情報技術者試験
【FE】対策講座(試験直前に
模擬試験で得点をUPする)
1日間

【AP】応用情報技術者試験対策

SJD002 レクチャ
応用情報技術者試験
【AP】対策講座
(合格に必要な知識と解答力を養う)
3日間
→
SJD003 レクチャ
応用情報技術者試験
【AP】対策講座(試験直前に
模擬試験で得点をUPする)
1日間

音声なし+説明文なし
SJE304 eラーニング
集中演習
応用情報技術者試験【AP】
162時間

【SC】情報処理安全確保支援士試験対策

SJD006 レクチャ
情報処理安全確保支援士試験
【SC】対策講座
(合格に必要な知識と解答力を養う)
3日間
→
SJD007 レクチャ
情報処理安全確保支援士試験
【SC】対策講座(試験直前に
模擬試験で得点をUPする)
1日間

音声なし+説明文なし
SJE312 eラーニング
集中演習
情報処理安全確保支援士試験
【SC】
162時間

音声有+説明文有 ：説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)
音声なし+説明文なし ：説明画面で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

資格 情報処理技術者試験・情報処理安全確保支援士試験

情報処理技術者試験、および情報処理安全確保支援士試験は、「情報処理の促進に関する法律」に基づき、
情報処理に関する一定水準以上の「知識・技能」を持っていることを、経済産業省が認定する国家試験です。

詳しくは、日立アカデミーのWebサイトにてご確認ください。
https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/license/hcom.html

<春期実施試験対策>

【DB】データベーススペシャリスト試験対策

SJD004 レクチャ
データベーススペシャリスト試験【DB】対策講座（合格に必要な知識と解答力を養う）
3日間

→

SJD005 レクチャ
データベーススペシャリスト試験【DB】対策講座（試験直前に模擬試験で得点をUPする）
1日間

音声なし-説明文なし
SJE309 eラーニング
集中演習 データベーススペシャリスト試験【DB】
162時間

【PM】プロジェクトマネージャ試験対策

SJD001 レクチャ
高度試験受験者向け 論文の書き方−問題文の読み方から論文構成方法まで−
1日間

→

SJD011 レクチャ
春期高度試験【PM】【AU】対策講座 実践！論文を書く−添削指導で合格するための論述力を養成する−
2日間

音声なし-説明文なし
SJE307 eラーニング
集中演習 プロジェクトマネージャ試験【PM】
162時間

【AU】システム監査技術者試験対策

SJD001 レクチャ
高度試験受験者向け 論文の書き方−問題文の読み方から論文構成方法まで−
1日間

→

SJD011 レクチャ
春期高度試験【PM】【AU】対策講座 実践！論文を書く−添削指導で合格するための論述力を養成する−
2日間

音声なし-説明文なし
SJE311 eラーニング
集中演習 システム監査技術者試験【AU】
162時間

<秋期実施試験対策>

【NW】ネットワークスペシャリスト試験対策

休講
SJD008 レクチャ
ネットワークスペシャリスト試験【NW】対策講座（合格に必要な知識と解答力を養う）
3日間

→

休講
SJD009 レクチャ
ネットワークスペシャリスト試験【NW】対策講座（試験直前に模擬試験で得点をUPする）
1日間

休講 音声なし-説明文なし
SJE308 eラーニング
集中演習 ネットワークスペシャリスト試験【NW】
162時間

【ST】ITストラテジスト試験対策

SJD001 レクチャ
高度試験受験者向け 論文の書き方−問題文の読み方から論文構成方法まで−
1日間

→

休講
SJD010 レクチャ
秋期高度試験【SM】【SA】【ST】対策講座実践！論文を書く−添削指導で合格するための論述力を養成する−
2日間

休講 音声なし-説明文なし
SJE305 eラーニング
集中演習 ITストラテジスト試験【ST】
162時間

【SA】システムアーキテクト試験対策

SJD001 レクチャ
高度試験受験者向け 論文の書き方−問題文の読み方から論文構成方法まで−
1日間

→

休講
SJD010 レクチャ
秋期高度試験【SM】【SA】【ST】対策講座実践！論文を書く−添削指導で合格するための論述力を養成する−
2日間

休講 音声なし-説明文なし
SJE306 eラーニング
集中演習 システムアーキテクト試験【SA】
162時間

【SM】ITサービスマネージャ試験対策

SJD001 レクチャ
高度試験受験者向け 論文の書き方−問題文の読み方から論文構成方法まで−
1日間

→

休講
SJD010 レクチャ
秋期高度試験【SM】【SA】【ST】対策講座実践！論文を書く−添削指導で合格するための論述力を養成する−
2日間

休講 音声なし-説明文なし
SJE310 eラーニング
集中演習 ITサービスマネージャ試験【SM】
162時間

音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
音声なし+説明文なし ：説明画面で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

SJE301 春秋期実施試験対策

eラーニング 80時間

<eラーニング> 集中演習 ITパスポート試験【IP】

eラーニングを使用し、ITパスポート試験【IP】の合格に必要な知識を学習します。

到達目標
・職業人が共通に備えておくべき情報技術に関する基礎的な知識を持ち、担当業務に対して情報技術を活用できる。
・ITパスポート試験【IP】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 ITパスポート試験【IP】合格をめざす方。

前提知識 情報技術の基礎知識があること。

内 容
1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は4月30日になります。
・説明画面で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・このコースは、アイテック社より提供いたします。
・コース実施に必要となるご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。
・学習開始日15営業日前を過ぎてのキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。

SJE302 春秋期実施試験対策

eラーニング 162時間

<eラーニング> 集中演習 情報セキュリティマネジメント試験【SG】

eラーニングを使用し、情報セキュリティマネジメント試験【SG】の合格に必要な知識を学習します。

到達目標
・高度IT人材となるために必要な基本知識・技能を持ち、実践的な活用能力を身につけることができる。
・情報セキュリティマネジメント試験【SG】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 情報セキュリティマネジメント試験【SG】の合格をめざす方。

前提知識 ITパスポート試験【IP】に合格しているか、または同等の知識/技術があること。

内 容
1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は4月30日になります。
・説明画面で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・このコースは、アイテック社より提供いたします。
・コース実施に必要となるご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。
・学習開始日15営業日前を過ぎてのキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。

SJE303 春秋期実施試験対策

eラーニング 200時間

<eラーニング> 集中演習 基本情報技術者試験【FE】

eラーニングを使用し、基本情報技術者試験【FE】の合格に必要な知識を学習します。

到達目標
・高度IT人材となるために必要な基本知識・技能を持ち、実践的な活用能力を身につけることができる。
・基本情報処理技術者試験【FE】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 基本情報技術者試験【FE】合格をめざす方。

前提知識 ITパスポート試験【IP】に合格しているか、あるいは基本戦略立案やITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事していること。

内 容
1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は4月30日になります。
・説明画面で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・このコースは、アイテック社より提供いたします。
・コース実施に必要となるご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。
・学習開始日15営業日前を過ぎてのキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。

SJD012 春秋期実施試験対策

レクチャ 1日間

基本情報技術者試験【FE】対策講座（試験直前に模擬試験で得点をUPする） New

模擬試験により、積み重ねた学習成果を再確認し、知識を定着させ、合格ライン到達をめざして学習します。

到達目標
・試験対策の総仕上げとして、重要ポイントを再確認できる。
・現状から得点をUPできる知識、解答技法を本試験に活用できる。

対象者 基本情報技術者試験【FE】合格をめざす方。

前提知識 上位指導者のもと、基本戦略立案やITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事していること。

内 容
1. 模擬試験（iTECまたはTAC模擬試験を使用）
2. 解答と解説

SJD002 春秋期実施試験対策

レクチャ 3日間

応用情報技術者試験【AP】対策講座（合格に必要な知識と解答力を養う）

応用情報技術者試験【AP】合格に向けて、必要な知識や解答方法を問題演習を中心として学習します。

到達目標 応用情報技術者試験【AP】に出題される重点テーマの知識から応用問題を解答できる。

対象者 応用情報技術者試験【AP】合格をめざす方。

前提知識 基本情報技術者試験【FE】に合格された方、あるいは基本戦略立案やITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事している方。

内 容
1. 基礎理論について
2. コンピュータシステムについて
3. 技術要素について
4. 開発技術について
5. 組込みシステムについて
6. マネジメント/ストラテジ系について

備 考 このコースは、学習効果を高めるため日程をあけて開催します。開催日程は以下の通りです。
【東京（大森）地区】
1/18（1日目）
2/ 8（2日目）
3/ 8（3日目）

SJD003 春秋期実施試験対策

レクチャ 1日間

応用情報技術者試験【AP】対策講座（試験直前に模擬試験で得点をUPする）

模擬試験により、積み重ねた学習成果を再確認し、知識を定着させ、合格ライン到達をめざして学習します。

到達目標
・試験対策の総仕上げとして、重要ポイントを再確認できる。
・現状から得点をUPできる知識、解答技法を本試験に活用できる。

対象者 応用情報技術者試験【AP】合格をめざす方。

前提知識 基本情報技術者試験【FE】に合格された方、あるいは基本戦略立案やITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事している方。

内 容
1. 模擬試験（iTECまたはTAC模擬試験を使用）
2. 解答&解説

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

SJE304 春秋期実施試験対策

eラーニング 162時間

<eラーニング> 集中演習 応用情報技術者試験【AP】

eラーニングを使用し、応用情報技術者試験【AP】の合格に必要な知識を学習します。

到達目標
・高度IT人材となるために必要な応用的知識・技能を持ち、高度IT人材としての方向性を確立できる。
・応用情報技術者試験【AP】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 応用情報技術者試験【AP】合格をめざす方。

前提知識 基本情報技術者試験【FE】に合格しているか、あるいは基本戦略立案やITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事していること。

内 容
1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は4月30日になります。
・説明画面で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・このコースは、アイテック社より提供いたします。
・コース実施に必要となるご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。
・学習開始日15営業日前を過ぎてのキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。

SJD006 春秋期実施試験対策

レクチャ 3日間

情報処理安全確保支援士試験【SC】対策講座（合格に必要な知識と解答力を養う）

情報処理安全確保支援士試験【SC】合格に向けて、必要な知識や解答方法を問題演習を中心として学習します。

到達目標 情報処理安全確保支援士試験【SC】に出題される重点テーマの知識から記述問題攻略法を知ることができる。

対象者 情報処理安全確保支援士試験【SC】合格をめざす方。

前提知識 応用情報技術者試験【AP】に合格されているか、セキュリティ機能の企画・要件定義・開発・運用・保守を推進・支援する業務に従事していること。

内 容
1. 午前Ⅱ対策・演習
（1）セキュリティについての基本知識の確認
2. 午後Ⅰ、午後Ⅱ対策・演習
（1）情報セキュリティシステムの企画/開発/運用/保守に関すること
（2）情報セキュリティの運用に関すること
（3）情報セキュリティ技術に関すること
（4）情報セキュリティ関連の法的要求事項に関すること

備 考 このコースは、学習効果を高めるため日程をあけて開催します。開催日程は以下の通りです。
【東京（大森）地区】
1/21（1日目）
2/18（2日目）
3/10（3日目）

SJD007 春秋期実施試験対策

レクチャ 1日間

情報処理安全確保支援士試験【SC】対策講座（試験直前に模擬試験で得点をUPする）

模擬試験により、積み重ねた学習成果を再確認し、知識を定着させ、合格ライン到達に向けて学習します。

到達目標
・試験対策の総仕上げとして、重要ポイントを再確認できる。
・現状から得点をUPできる知識、解答技法を本試験に活用できる。

対象者 情報処理安全確保支援士試験【SC】合格をめざす方。

前提知識 応用情報技術者試験【AP】に合格しているか、あるいはセキュリティ機能の企画・要件定義・開発・運用・保守を推進・支援する業務に従事していること。

内 容
1. 模擬試験（iTECまたはTAC模擬試験を使用）
2. 解答&解説
3. 本試験での注意事項及びアドバイス

SJE312 春秋期実施試験対策

eラーニング 162時間

<eラーニング> 集中演習 情報処理安全確保支援士試験【SC】

eラーニングを使用し、情報処理安全確保支援士試験【SC】の合格に必要な知識を学習します。

到達目標
・高度IT人材として確立した専門分野を持ち、情報セキュリティ技術の専門家として情報セキュリティ管理を支援できる。
・情報処理安全確保支援士試験【SC】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 情報処理安全確保支援士試験【SC】合格をめざす方。

前提知識 応用情報技術者試験【AP】に合格しているか、あるいはセキュリティ機能の企画・要件定義・開発・運用・保守を推進・支援する業務に従事していること。

内 容
1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は4月30日になります。
・説明画面で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・このコースは、アイテック社より提供いたします。
・コース実施に必要となるご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。
・学習開始日15営業日前を過ぎてのキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。

SJD004 春秋期実施試験対策

レクチャ 3日間

データベーススペシャリスト試験【DB】対策講座（合格に必要な知識と解答力を養う）

データベーススペシャリスト試験【DB】合格に向けて、必要な知識や解答方法を学習します。

到達目標 データベーススペシャリスト試験【DB】に出題される重点テーマの知識から記述問題攻略法を知ることができる。

対象者 データベーススペシャリスト試験【DB】合格をめざす方。

前提知識 応用情報技術者試験【AP】に合格しているか、あるいはデータベースシステムの企画・要件定義・開発・運用・保守を推進・支援する業務に従事していること。

内 容
1. データベースシステムの設計・構築に関すること
2. データベースシステムの運用・保守に関すること
3. データベース技術に関すること

備 考 このコースは、学習効果を高めるため日程をあけて開催します。開催日程は以下の通りです。
【東京（大森）地区】
1/20（1日目）
2/17（2日目）
3/17（3日目）

SJD005 春秋期実施試験対策

レクチャ 1日間

データベーススペシャリスト試験【DB】対策講座（試験直前に模擬試験で得点をUPする）

模擬試験により、積み重ねた学習成果を再確認し、知識を定着させ、合格ライン到達にむけて学習します。

到達目標
・試験対策の総仕上げとして、重要ポイントを再確認することができる。
・現状から得点をUPできる知識、解答技法を本試験に活用することができる。

対象者 データベーススペシャリスト試験【DB】合格をめざす方。

前提知識 応用情報技術者試験【AP】に合格しているか、あるいはデータベースシステムの企画・要件定義・開発・運用・保守を推進・支援する業務に従事していること。

内 容
1. 模擬試験（iTECまたはTAC模擬試験を使用）
2. 解答&解説
3. 本試験での注意事項及びアドバイス

SJE309 春期実施試験対策

eラーニング 162時間

<eラーニング> 集中演習 データベーススペシャリスト試験【DB】

eラーニングを使用し、データベーススペシャリスト試験【DB】の合格に必要な知識を学習します。

到達目標
・高度IT人材として確立した専門分野を持ち、データベース技術の専門家として情報システムへの技術支援できる。
・データベーススペシャリスト試験【DB】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 データベーススペシャリスト試験【DB】合格をめざす方。

前提知識 応用情報技術者試験【AP】に合格しているか、あるいはデータベースシステムの企画・要件定義・開発・運用・保守を推進・支援する業務に従事していること。

内 容
1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は4月30日になります。
・説明画面で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・このコースは、アイテック社より提供いたします。
・コース実施に必要となるご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。
・学習開始日15営業日前を過ぎてのキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。

SJD011 春期実施試験対策

レクチャ 2日間

春期高度試験【PM】【AU】対策講座 実践！論文を書く −添削指導で合格するための論述力を養成する−

講師による面談を踏まえながら、合格するための論述力を学習します。

到達目標
・試験区分において、求められるスキルを説明できる。
・問題文の読み方から論文を構成できる。
・各設問において、論述する内容を明確にできる。
・論述することができる。

対象者 春期高度試験【PM】【AU】の午後Ⅱ（論述式）の論述を実践したい方。

前提知識 情報処理技術者試験(SC/DB/NW/その他の高度)に合格された方、あるいは同等の知識・業務経験をお持ちの方。また「高度試験受験者向け論文の書き方ー問題文の読み方から論文構成方法までー」を受講された方。

内 容
1. 論文解答攻略のポイント解説
2. 過去問題を題材にした論文解答実践
3. 講師が個人面談指導
4. 添削
5. 1日目の論文をブラッシュアップ
6. 時間内に書き上げるためのステップ
7. 個別にて論文添削

備 考 このコースは、学習効果を高めるため日程をあけて開催します。
【東京（大森）地区】
1/19(1日目)
2/24(2日目)

SJE307 春期実施試験対策

eラーニング 162時間

<eラーニング> 集中演習 プロジェクトマネージャ試験【PM】

eラーニングを使用し、プロジェクトマネージャ試験【PM】の合格に必要な知識を学習します。

到達目標
・高度IT人材として確立した専門分野を持ち、システム開発プロジェクトの責任者として、プロジェクトを管理・運営することができる。
・プロジェクトマネージャ試験【PM】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 プロジェクトマネージャ試験【PM】合格をめざす方。

前提知識 情報処理技術者試験高度試験に合格しているか、または同等の同等の知識・業務経験があること。

内 容
1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は4月30日になります。
・説明画面で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・このコースは、アイテック社より提供いたします。
・コース実施に必要となるご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。
・学習開始日15営業日前を過ぎてのキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。

SJE311 春期実施試験対策

eラーニング 162時間

<eラーニング> 集中演習 システム監査技術者試験【AU】

eラーニングを使用し、システム監査技術者試験【AU】の合格に必要な知識を学習します。

到達目標
・高度IT人材として確立した専門分野を持ち、情報システムに関するリスクおよびコントロールを総合的に点検評価し、改善を勧告することができる。
・システム監査技術者試験【AU】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 システム監査技術者試験【AU】合格をめざす方。

前提知識 情報処理技術者試験高度試験に合格しているか、または同等の同等の知識・業務経験があること。

内 容
1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は4月30日になります。
・説明画面で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・このコースは、アイテック社より提供いたします。
・コース実施に必要となるご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。
・学習開始日15営業日前を過ぎてのキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。

SJD008 秋期実施試験対策

レクチャ 3日間

ネットワークスペシャリスト試験【NW】対策講座（合格に必要な知識と解答力を養う） 休講

ネットワークスペシャリスト試験【NW】合格に向けて、必要な知識や解答方法を問題演習を中心として学習します。

到達目標 ネットワークスペシャリスト試験【NW】に出題される重点テーマの知識から記述問題攻略法を知ることができる。

対象者 ネットワークスペシャリスト試験【NW】合格をめざす方。

前提知識 応用情報技術者試験【AP】に合格しているか、あるいはネットワークシステムの企画・要件定義・開発・運用・保守を推進・支援する業務に従事していること。

内 容
1. 午前Ⅱ対策・演習
(1)ネットワークについての基本知識の確認
2. 午後Ⅰ、午後Ⅱ対策・演習
(1)ネットワークシステムの設計、構築に関すること
(2)ネットワークの技術、運用、保守に関すること
(3)ネットワークサービスに関すること

備 考 このコースは、学習効果を高めるため日程をあけて開催します。

※このコースは、休講とさせていただきます。

SJD009 秋期実施試験対策

レクチャ 1日間

ネットワークスペシャリスト試験【NW】対策講座（試験直前に模擬試験で得点をUPする） 休講

模擬試験により、積み重ねた学習成果を再確認し、知識を定着させ、合格ライン到達に向けて学習します。

到達目標
・試験対策の総仕上げとして、重要ポイントを再確認できる。
・現状から得点をUPできる知識、解答技法を本試験に活用できる。

対象者 ネットワークスペシャリスト試験【NW】合格をめざす方。

前提知識 応用情報技術者試験【AP】に合格しているか、あるいはネットワークシステムの企画・要件定義・開発・運用・保守を推進・支援する業務に従事していること。

内 容
1. 模擬試験（iTECまたはTAC模擬試験を使用）
2. 解答&解説
3. 本試験での注意事項及びアドバイス

備 考 ※このコースは、休講とさせていただきます。

SJE308 秋期実施試験対策

eラーニング 162時間

<eラーニング> 集中演習 ネットワークスペシャリスト試験【NW】 休講

eラーニングを使用し、ネットワークスペシャリスト試験【NW】の合格に必要な知識を学習します。

到達目標
・高度IT人材として確立した専門分野を持ち、ネットワーク技術の専門家として、情報システムへの技術支援を行うことができる。
・ネットワークスペシャリスト試験【NW】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 ネットワークスペシャリスト試験【NW】合格をめざす方。

前提知識 応用情報技術者試験【AP】に合格しているか、あるいはネットワークシステムの企画・要件定義・開発・運用・保守を推進・支援する業務に従事していること。

内 容
1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト

備 考
・説明画面で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・このコースは、アイテック社より提供いたします。
・コース実施に必要となるご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。
・学習開始日15営業日前を過ぎてのキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。

※このコースは、休講とさせていただきます。

SJD001 秋期実施試験対策

レクチャ 1日間

高度試験受験者向け 論文の書き方 −問題文の読み方から論文構成方法まで−

講師によるポイント面談で論述をするために必要な基盤を学習します。

到達目標
・各試験区分において、求められるスキルを説明できる。
・問題文の読み方から論文を構成できる。
・各設問において、論述する内容を明確にできる。

対象者 高度試験の午後Ⅱ（論述式）の基盤作りをしたい方。

前提知識 情報処理技術者試験（SC/DB/NW/その他の高度）に合格しているか、または同等の知識・業務経験があること。

内 容
1. 各試験区分の求められるスキルとは
2. 「論文の書き方」共通部分
3. 採点者の視点
4. 問題文の読み方と論文構成
5. 論文演習
6. 個別面談

SJD010 秋期実施試験対策

レクチャ 2日間

秋期高度試験【SM】【SA】【ST】対策講座 実践！論文を書く −添削指導で合格するための論述力を養成する− 休講

講師による面談を踏まえながら、合格するための論述力を学習します。

到達目標
・試験区分において、求められるスキルを説明できる。
・問題文の読み方から論文を構成できる。
・各設問において、論述する内容を明確にできる。
・論述することができる。

対象者 秋期高度試験【SM】【SA】【ST】の午後Ⅱ（論述式）の論述を実践したい方。

前提知識 情報処理技術者試験(SC/DB/NW/その他の高度)に合格された方、あるいは同等の知識・業務経験をお持ちの方。また「高度試験受験者向け論文の書き方ー問題文の読み方から論文構成方法までー」コースを受講された方。

内 容
1. 論文解答攻略のポイント解説
2. 過去問題を題材にした論文解答実践
3. 講師が個人面談指導
4. 添削
5. 1日目の論文をブラッシュアップ
6. 時間内に書き上げるためのステップ
7. 個別にて論文添削

備 考 このコースは、学習効果を高めるため日程をあけて開催します。

※このコースは、休講とさせていただきます。

SJE310 秋期実施試験対策

eラーニング 162時間

<eラーニング> 集中演習 ITサービスマネージャ試験【SM】 休講

eラーニングを使用し、ITサービスマネージャ試験【SM】の合格に必要な知識を学習します。

到達目標
・高度IT人材として確立した専門分野を持ち、情報システム全体について、安全性と信頼性の高いサービスの提供を行うことができる。
・ITサービスマネージャ試験【SM】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 ITサービスマネージャ試験【SM】合格をめざす方。

前提知識 情報処理技術者試験（SC/DB/NW/その他の高度）に合格しているか、または同等の知識・業務経験があること。

内 容
1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト

備 考
・説明画面で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・このコースは、アイテック社より提供いたします。
・コース実施に必要となるご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。
・学習開始日15営業日前を過ぎてのキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。

※このコースは、休講とさせていただきます。

SJE305 秋期実施試験対策

eラーニング 162時間

<eラーニング> 集中演習 ITストラテジスト試験【ST】 休講

eラーニングを使用し、ITストラテジスト試験【ST】の合格に必要な知識を学習します。

到達目標
・高度IT人材として確立した専門分野を持ち、企業の経営戦略に基づいて、情報システムの基本戦略を策定・提案・推進することができる。
・ITストラテジスト試験【ST】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 ITストラテジスト試験【ST】合格をめざす方。

前提知識 情報処理技術者試験（SC/DB/NW/その他の高度）に合格しているか、または同等の知識・業務経験があること。

内 容
1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト

備 考
・説明画面で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・このコースは、アイテック社より提供いたします。
・コース実施に必要となるご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。
・学習開始日15営業日前を過ぎてのキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。

※このコースは、休講とさせていただきます。

SJE306 秋期実施試験対策

eラーニング 162時間

<eラーニング> 集中演習 システムアーキテクト試験【SA】 休講

eラーニングを使用し、システムアーキテクト試験【SA】の合格に必要な知識を学習します。

到達目標
・高度IT人材として確立した専門分野を持ち、情報システムの開発に必要となる要件定義・アーキテクチャ設計・開発主導を行うことができる。
・システムアーキテクト試験【SA】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 システムアーキテクト試験【SA】合格をめざす方。

前提知識 情報処理技術者試験（SC/DB/NW/その他の高度）に合格しているか、または同等の知識・業務経験があること。

内 容
1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト

備 考
・説明画面で学習するタイプのコースです。（音声の再生環境がなくても学習できます。）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・このコースは、アイテック社より提供いたします。
・コース実施に必要となるご受講者の個人情報をアイテック社へ提供いたします。
・学習開始日15営業日前を過ぎてのキャンセル、日程変更および受講者変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。

※このコースは、休講とさせていただきます。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

ITリテラシ

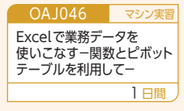
情報の扱い方、特にコンピュータを利用して業務を行うための基礎的な知識や技術が修得できます。

● Excelを使用して表やグラフを作成する方

● Wordを使用して文書を作成する方

● PowerPointを使用してプレゼンテーション資料を作成する方

● Excelを使用してデータ活用をしたい方



音声有＋説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有＋説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし＋説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

OAE027 ITリテラシ

eラーニング 2時間

<eラーニング> Excel 2016 基礎編

Microsoft Excel 2016の基礎的な知識・操作方法を学習します。

到達目標
・データを入力できる。
・表の体裁を整えることができる。
・目的に応じて印刷できる。
・表計算機能を活用できる。

対象者 Microsoft Excel 2016を初めて利用する方、および、より体系的な学習を必要とする方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. はじめに
2. Microsoft Excel 2016の画面
3. データ入力の基本
4. 目的に応じた印刷
5. 表計算機能の活用
6. その他の便利な機能

備 考
・サービス有効期間は30日間です。
・音声付きのアニメーションと操作シミュレーションで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境やMicrosoft Excel 2016がなくても学習できます。）
・このコースは、ライトワークス社より提供いたします。
・コース実施に必要となるご受講者の個人情報をライトワークス社へ提供いたします。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

OAE028 ITリテラシ

eラーニング 2時間

<eラーニング> Excel 2016 応用編

Microsoft Excel 2016について、より深い知識や効率的な操作方法を学習します。

到達目標
・グラフを作成できる。
・データベースを管理できる。
・関数を利用できる。
・マクロを作成できる。

対象者 Microsoft Excel 2016の基礎的な知識・操作方法をすでに修得し、さらに高度な学習を必要とする方。

前提知識 「Excel 2016基礎編 Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. はじめに
2. グラフの作成
3. データベースの管理
4. 関数の基礎知識
5. マクロの作成
6. Excel VBA
7. Excel Online

備 考
・サービス有効期間は30日間です。
・音声付きのアニメーションと操作シミュレーションで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境やMicrosoft Excel 2016がなくても学習できます。）
・このコースは、ライトワークス社より提供いたします。
・コース実施に必要となるご受講者の個人情報をライトワークス社へ提供いたします。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

OAJ046 ITリテラシ

マシン実習 1日間

Excelで業務データを使いこなす －関数とピボットテーブルを利用して－

関数を使用してExcelにインポートしたダウンロードデータを整形する方法、ピボットテーブルを使用してデータの集計や分析をする方法を学習します。

到達目標
・関数を効率よく入力し、データの整形ができる。
・ピボットテーブルを使用してデータの集計や分析ができる。

対象者
・業務で扱うデータを活用できるようになりたい方。
・Excelの関数やピボットテーブルを使いこなしたい方。

前提知識 Microsoft Excelの基礎的な知識・操作方法を修得されていること。

内 容
1. ダウンロードデータをExcelにインポートする
2. 関数を効率よく入力する
3. ダウンロードデータを整形する
4. ピボットテーブルを使用してデータの集計や分析をする

備 考 このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

OAE029 ITリテラシ

eラーニング 2時間

<eラーニング> Word 2016 基礎編

Microsoft Word 2016の基礎的な知識・操作方法を学習します。

到達目標
・文書を作成できる。
・文書の体裁を整えることができる。
・文書の保存と印刷ができる。

対象者 Microsoft Word 2016を初めて利用する方、および、より体系的な学習を必要とする方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. はじめに
2. Microsoft Word 2016の画面
3. 文書作成の基本
4. 文書の体裁を整える
5. 文書の保存と印刷
6. その他の便利な機能

備 考
・サービス有効期間は30日間です。
・音声付きのアニメーションと操作シミュレーションで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境やMicrosoft Word 2016がなくても学習できます。）
・このコースは、ライトワークス社より提供いたします。
・コース実施に必要となるご受講者の個人情報をライトワークス社へ提供いたします。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

OAE030 ITリテラシ

eラーニング 2時間

<eラーニング> Word 2016 応用編

Microsoft Word 2016について、より深い知識や効率的な操作方法を学習します。

到達目標
・図形や画像を挿入できる。
・文書の校閲ができる。
・長文文書を作成できる。

対象者 Microsoft Word 2016の基礎的な知識・操作方法をすでに修得し、さらに高度な学習を必要とする方。

前提知識 「Word 2016基礎編 Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. はじめに
2. 図形や画像の挿入
3. 文書の校閲
4. 長文文書作成のサポート
5. Word Online
6. その他の便利な機能

備 考
・サービス有効期間は30日間です。
・音声付きのアニメーションと操作シミュレーションで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境やMicrosoft Word 2016がなくても学習できます。）
・このコースは、ライトワークス社より提供いたします。
・コース実施に必要となるご受講者の個人情報をライトワークス社へ提供いたします。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

OAE031 ITリテラシ

eラーニング 2時間

<eラーニング> PowerPoint 2016 基礎編

Microsoft PowerPoint 2016の基礎的な知識・操作方法を学習します。

到達目標
・プレゼンテーションを構成できる。
・スライドの作成とデザインができる。
・図形や画像を挿入できる。
・スライドショーの準備と実行ができる。

対象者 Microsoft PowerPoint 2016を初めて利用する方、および、より体系的な学習を必要とする方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. はじめに
2. Microsoft PowerPoint 2016の画面
3. プレゼンテーションの構成
4. スライドの作成とデザイン
5. 図形や画像の挿入
6. スライドショーの準備と実行
7. その他の便利な機能

備 考
・サービス有効期間は30日間です。
・音声付きのアニメーションと操作シミュレーションで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境やMicrosoft PowerPoint 2016がなくても学習できます。）
・このコースは、ライトワークス社より提供いたします。
・コース実施に必要となるご受講者の個人情報をライトワークス社へ提供いたします。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

OAE032 ITリテラシ

eラーニング
2時間

<eラーニング> PowerPoint 2016 応用編

Microsoft PowerPoint 2016について、より深い知識や効率的な操作方法を学習します。

到達目標
・表やグラフを挿入できる。
・アニメーションを活用できる。
・動画を挿入、編集できる。
・マスターとテンプレートを活用できる。

対象者 Microsoft PowerPoint 2016の基礎的な知識・操作方法をすでに修得し、さらに高度な学習を必要とする方。

前提知識 「PowerPoint 2016基礎編」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

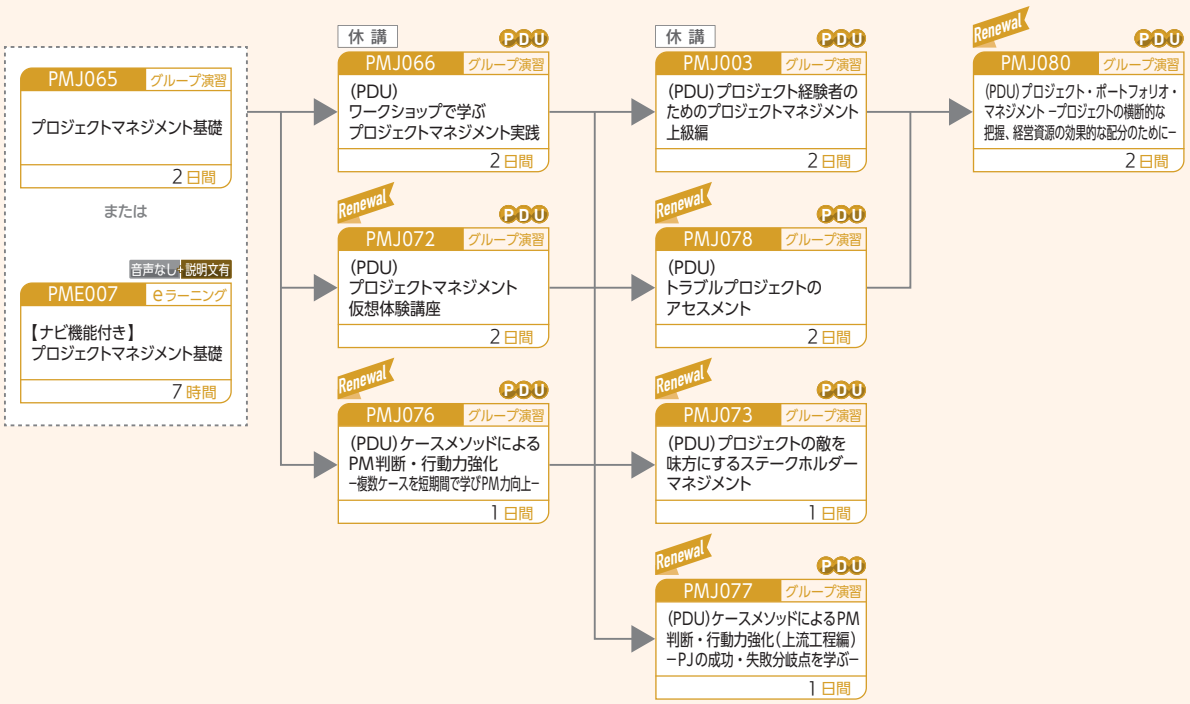
内　容
1. はじめに
2. 表やグラフの挿入
3. アニメーションの活用
4. 動画の挿入、編集
5. マスターとテンプレートの活用
6. PowerPoint Online
7. その他の便利な機能

備　考
・サービス有効期間は30日間です。
・音声付きのアニメーションと操作シミュレーションで学習するタイプのコースです。（音声の再生環境やMicrosoft PowerPoint 2016がなくても学習できます。）
・このコースは、ライトワークス社より提供いたします。
・コース実施に必要となるご受講者の個人情報をライトワークス社へ提供いたします。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

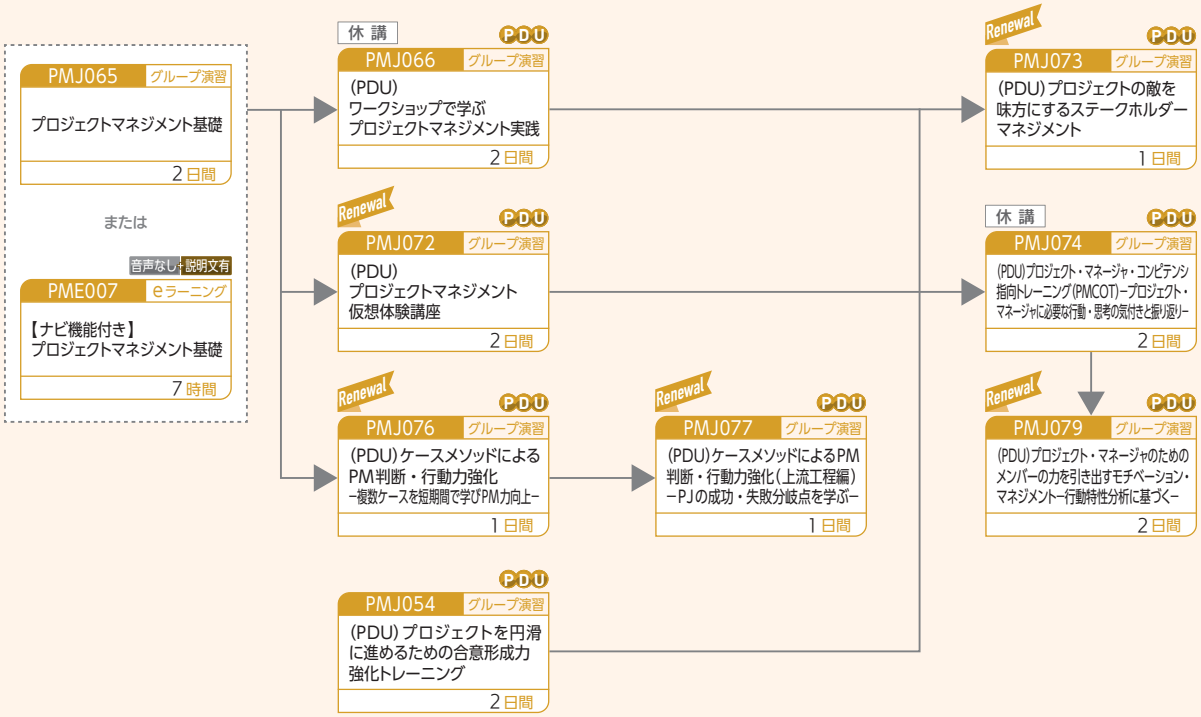
プロジェクトマネジメント

情報システム開発プロジェクトの計画・実行を行うために必要な知識や手順、技法が修得できます。

プロジェクトマネージャをめざす方



プロジェクトマネージャに必要なヒューマン系能力向上をめざす方



音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP® 資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。

● プロジェクトマネージャに必要な専門能力向上をめざす方

PMJ065 グループ演習
プロジェクトマネジメント基礎
2日間

または

音声なし+説明文有 PMJ007 eラーニング
【ナビ機能付き】プロジェクトマネジメント基礎
7時間

休講 PDU PMJ066 グループ演習
(PDU) ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践
2日間

Renewal PDU PMJ076 グループ演習
(PDU)ケースメソッドによるPM判断・行動力強化 −複数ケースを短期間で学びPM力向上−
1日間

Renewal PDU PMJ077 グループ演習
(PDU)ケースメソッドによるPM判断・行動力強化(上流工程編) −PJの成功・失敗分岐点を学ぶ−
1日間

<知識エリア編>

Renewal PDU PMJ081 グループ演習
(PDU) プロジェクトマネジメントの契約・調達マネジメント
2日間

PMJ006 レクチャ
ソフトウェア開発の品質管理と信頼性 −日立の取り組み紹介−
1日間

Renewal PDU PMJ082 レクチャ
(PDU) プロジェクトマネージャのためのファイナンシャルマネジメント
2日間

Renewal PDU PMD019 グループ演習
(PDU) プロジェクトマネジメントの要求マネジメント
2日間

Renewal PDU PMJ073 グループ演習
(PDU)プロジェクトの敵を味方にするステークホルダーマネジメント
1日間

<ツールと技法編>

音声なし+説明文有 PDU PME701 eラーニング
【ナビ機能付き】(PDU) ファンクションポイント法基礎
4時間

音声有+説明文なし PDU PME005 eラーニング
(PDU) 2時間でわかるファンクションポイント法
2時間

音声有+説明文有：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP® 資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。

● プロジェクトマネージャの国際資格PMP®の取得をめざす方

PMJ065 グループ演習
プロジェクトマネジメント基礎
2日間

または

音声なし+説明文有 PME007 eラーニング
【ナビ機能付き】プロジェクトマネジメント基礎
7時間

休講 PDU PMJ066 グループ演習
(PDU) ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践
2日間

Renewal PDU PMJ083 レクチャ
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第6版セミナー
2日間

または

音声有+説明文なし PDU PME013 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第6版セミナー プロジェクトとは
2時間

音声有+説明文なし PDU PME014 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第6版セミナー プロジェクトの運営環境とプロジェクト・マネジャーの役割
2時間

音声有+説明文なし PDU PME018 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第6版セミナー 統合マネジメント
2時間

音声有+説明文なし PDU PME011 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第6版セミナー スコープ・マネジメント
2時間

音声有+説明文なし PDU PME010 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第6版セミナー スケジュール・マネジメント
2時間

音声有+説明文なし PDU PME008 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第6版セミナー コスト・マネジメント
2時間

音声有+説明文なし PDU PME019 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第6版セミナー 品質マネジメント
2時間

音声有+説明文なし PDU PME016 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第6版セミナー 資源マネジメント
2時間

音声有+説明文なし PDU PME009 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第6版セミナー コミュニケーション・マネジメント
2時間

音声有+説明文なし PDU PME015 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第6版セミナー リスク・マネジメント
2時間

音声有+説明文なし PDU PME017 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第6版セミナー 調達マネジメント
2時間

音声有+説明文なし PDU PME012 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第6版セミナー ステークホルダー・マネジメント
2時間

※本コース群は、「(PDU) *PMBOK®ガイド* 第6版セミナー (PMJ083)」の講義収録型（eラーニング）コースとなります。

Renewal PDU PMJ084 レクチャ
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第5版と第6版の差分講座 −半日でわかる第6版−
0.5日間

PMJ056 レクチャ
PMP® 対策講座（2日間）
2日間

PMJ028 レクチャ
PMP® 直前講座（模試）（1日間）
1日間

● アジャイル開発に携わる方、関心のある方

SPJ064 グループ演習
スクラムの基礎と実践
1日間

→

PDU
SPJ045 グループ演習
（PDU）［リーダー向け］アジャイル開発における自律型チーム運営
1日間

→

Renewal PDU
PMJ075 グループ演習
（PDU）マネージャのための1日でわかるアジャイル・プロジェクトマネジメントの効用
1日間

PMD012 レクチャ
［EXIN アジャイル スクラム ファンデーション］資格対策
2日間

SPJ070 グループ演習
アジャイル開発（スクラム）におけるプロダクトオーナー体験ワークショップ
1日間

● PMP®資格維持を図る方（PMP®資格維持に必要なPDUが取得できます）

日立講習会では、PMP®資格（米国PMI®認定）に対応したコースを多数提供しています。
詳細は、Webサイトをご覧ください。
https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/license/pmp.html

● イギリス発祥プロジェクトマネジメント方法論～事業計画立案から事業の価値創造まで～

Renewal PDU
PMD017 グループ演習
（PDU） PRINCE2®
ファンデーション
（認定試験付き）
3日間

→

Renewal PDU
PMD018 グループ演習
（PDU） PRINCE2®
プラクティショナ
（認定試験付き）
2日間

PMP®：Project Management Professionalの略で、米国PMI®(Project Management Institute)が認定する国際資格です。
PDU　：Professional Development Unitの略で、PMP®資格維持に必要な単位です。
*PMBOK®ガイド*はプロジェクトマネジメント協会発行のA Guide to the Project Management Body of knowledgeの略称です。
PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、PM Network®、PMI Today®、PMCDF®、R.E.P.ロゴは、プロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

音声有＋説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有＋説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし＋説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。

資格 PMP®資格（米国PMI®認定）

- Project Management Professional（PMP）®資格は、プロジェクトマネジメントの専門知識を有していることを証明するために、米国Project Management Institute（PMI）®が認定する資格です。
- PMP®の人気は世界的に非常に高く、資格受講者は年々増加を続けています。
- PMP®は、システム発注条件に記載されるケースも増えており、また、各社のプロジェクト・マネージャ資格認定制度においても認定要件である公的資格の一つに位置付けられることが多く、プロジェクト・マネージャをめざす方にとって人気の高い資格となっています。

詳しくは、日立アカデミーのWebサイトにてご確認ください。
https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/license/pmp.html

PMI R.E.P.ロゴはプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HiRDB
OpenTP1
VOS3
XDM
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
DXマインド・プロセス・マネジメント
課題分析（何をなすべきかを着想する）
仮説構築（ビジネスモデルをデザインする）
プロトタイピングと価値検証（共通）
プロトタイピングと価値検証（データ環境構築）
プロトタイピングと価値検証（分析モデル構築）
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービス
マネジメント
システム基盤
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル
OT（製造・生産技術）

● PDU 対象コース一覧

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません

分野	コースコード	区分	コース名	日数※	PDU合計	テクニカル・プロジェクトマネジメント	リーダーシップ	ストラテジック&ビジネスマネジメント
デジタルトランスフォーメーション								
プロトタイピングと価値検証（共通）	SPJ059		（PDU）実践! DevOpsによるアジャイル開発 −お客様に素早く価値を届けるために−	1日	6.5	6.5	0	0
ITサービスマネジメント								
ITサービスマネジメント	ITJ014	Renewal	（PDU）ITIL® ファンデーション（ITIL®2011対応）（認定試験付）	3日	18	5	8	5
	ITJ013	New	（PDU） ITIL®4ファンデーション（認定試験付）	3日	18	5	8	5
IT戦略・IS企画								
IT戦略・IS企画	SPJ008		（PDU）IT投資の評価手法 −IT投資の種類・パターンから効果を考える−	2日	13	0	0	13
	CTJ016		（PDU）IT投資対効果の考え方−IT投資マネジメントの基礎−	1日	6	0	0	6
	CTJ005		（PDU）トラブルを防止する調達要件の分析 −RFPの作成と提案書の評価を中心に−	2日	12	0	0	12
	CTD010		（PDU） IT経営ストラテジ（経営戦略コース）	2日	16	0	0	16
	CTD011		（PDU） IT経営ストラテジ（IT戦略コース）	2日	16	0	0	16
	CTD007		ITC資格試験対策	1日	8	0	0	8
	CTJ068	New	（PDU）BABOK®で学ぶビジネスアナリシスの基礎	2日	12	12	0	0
	CTD013	Renewal	（PDU）エンタープライズ・ビジネスアナリシス	2日	15	5	0	10
	CTD008		（PDU）CBAP® 試験対策コース	3日	24	24	0	0
	CTJ069	Renewal	（PDU）プロジェクトマネジメントにおけるペンダマネジメント	2日	13	9	0	4
プロジェクトマネジメント								
	PMJ066	休講	（PDU）ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践	2日	12	6	4	2
	PMJ072	Renewal	（PDU）プロジェクトマネジメント仮想体験講座	2日	13	7.5	5.5	0
	PMJ076	Renewal	（PDU）ケーススメソッドによるPM判断・行動力強化 −複数ケースを短期間で学びPM力向上−	1日	6.5	2.5	2	2
	PMJ077	Renewal	（PDU）ケーススメソッドによるPM判断・行動力強化（上流工程編） −PJの成功・失敗分岐点を学ぶ−	1日	6.5	2.5	2	2
	PMJ003	休講	（PDU）プロジェクト経験者のためのプロジェクトマネジメント上級編	2日	12	6	4	2
	PMJ078	Renewal	（PDU）トラブルプロジェクトのアセスメント	2日	13	0	0	13
	PMJ073	Renewal	（PDU）プロジェクトの敵を味方にするステークホルダーマネジメント	1日	6.5	1	3.5	2
	PMJ074	休講	（PDU）プロジェクト・マネージャ・コンピテンシ指向トレーニング（PMCOT） −プロジェクト・マネージャに必要な行動・思考の気付きと振り返り−	2日	13	0	13	0
	PMJ079	Renewal	（PDU）プロジェクト・マネジャーのためのメンバーの力を引き出すモチベーション・マネジメント−行動特性分析に基づく−	2日	13	0	13	0
	PMJ080	Renewal	（PDU）プロジェクト・ポートフォリオ・マネジメント −プロジェクトの横断的な把握、経営資源の効果的な配分のために−	2日	13	0	0	13
	PMJ054		（PDU）プロジェクトを円滑に進めるための合意形成力強化トレーニング	2日	13	5	3	5
	PMJ081	Renewal	（PDU）プロジェクトマネジメントの契約・調達マネジメント	2日	13	0	0	13
	PMJ082	Renewal	（PDU）プロジェクトマネージャのためのファイナンシャルマネジメント	2日	13	0	0	13
	PMD019	Renewal	（PDU）プロジェクトマネジメントの要求マネジメント	2日	14	10	4	0

※eラーニングコースの日数欄には、平均学習時間を記載しています。

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません

分　野	コースコード	区　分	コース名	日数※	PDU合計	テクニカル・プロジェクトマネジメント	リーダーシップ	ストラテジック&ビジネスマネジメント
	PME701		<eラーニング>【ナビ機能付き】(PDU) ファンクションポイント法基礎	4時間	4	4	0	0
	PME005		<eラーニング> (PDU) 2時間でわかるファンクションポイント法	2時間	2	2	0	0
	PMJ083	Renewal	(PDU) *PMBOK®ガイド*第6版セミナー	2日	13	13	0	0
	PME013		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド*第6版セミナー プロジェクトとは	2時間	2	2	0	0
	PME014		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド*第6版セミナー プロジェクトの運営環境とプロジェクト・マネジャーの役割	2時間	2	2	0	0
	PME018		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド*第6版セミナー 統合マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME011		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド*第6版セミナー スコープ・マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME010		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド*第6版セミナー スケジュール・マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME008		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド*第6版セミナー コスト・マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME019		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド*第6版セミナー 品質マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME016		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド*第6版セミナー 資源マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME009		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド*第6版セミナー コミュニケーション・マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME015		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド*第6版セミナー リスク・マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME017		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド*第6版セミナー 調達マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME012		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド*第6版セミナー ステークホルダー・マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PMJ084	Renewal	(PDU) *PMBOK®ガイド*第5版と第6版の差分講座 −半日でわかる第6版−	0.5日	3.5	3.5	0	0
	SPJ045		(PDU) [リーダー向け]アジャイル開発における自律型チーム運営	1日	6	4.5	1.5	0
	PMJ075	Renewal	(PDU) マネージャのための1日でわかる アジャイル・プロジェクトマネジメントの効用	1日	6.5	3.5	2	1
	PMD017	Renewal	(PDU) PRINCE2®ファンデーション（認定試験付き）	3日	21	6	10	5
	PMD018	Renewal	(PDU) PRINCE2®プラクティショナ（認定試験付き）	2日	14	4	5	5
ビジネス／ヒューマン								
コミュニケーション	HSE117		<eラーニング> (PDU) リーダ向け報連相	4時間	4	1	2	1
	HSJ212	Renewal	(PDU) ストラクチャード・コミュニケーション −会議を空中戦にせず、図で共有する・伝える・理解する・考える−	1日	7	0	7	0
	HSJ125		(PDU) アサーティブ・コミュニケーション −職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上−	1日	6.5	0	6.5	0
マネジメント／リーダシップ	HSJ147		(PDU) 目標達成のためのコーチング実践	2日	14	1	5	8
	HSJ148		(PDU) 会議/プロジェクトを円滑に進めるための ファシリテーション・スキル向上	2日	14	4	5	5
	HSJ195		(PDU) 部下のパフォーマンスを高める1 on 1 ミーティングと フィードバック	1日	7.5	0	5.5	2

※eラーニングコースの日数欄には、平均学習時間を記載しています。

マシン実習：マシンを使用しながらの研修
グループ演習：グループ演習を中心とした研修
レクチャ：座学による研修
eラーニング：インターネット接続による自己学習
その他
休講：今期の定期開催はありません

日立製品
JP1
uCosminexus Application Server
HiRDB
OpenTP1
VOS3
XDM
Hitachi Advanced Data Binder
日立ストレージ
Pentaho
デジタルトランスフォーメーション
DXマインド・プロセス・マネジメント
課題分析（何をなすべきかを着想する）
仮説構築（ビジネスモデルをデザインする）
プロトタイピングと価値検証（共通）
プロトタイピングと価値検証（データ環境構築）
プロトタイピングと価値検証（分析モデル構築）
RPA
クラウド/サーバ仮想化
ITサービスマネジメント
システム基盤
IT基本
オープンソースソフトウェア(OSS)
Linux
Microsoft
ネットワーク
ハードウェア
セキュリティ
データベース
IT戦略・IS企画
システム開発
要件定義/設計
プログラミング
情報処理技術者試験対策
ITリテラシ
プロジェクトマネジメント
コンプライアンス
ビジネス/ヒューマン
グローバル
OT（製造・生産技術）

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません

分　野	コースコード	区　分	コース名	日数※	PDU合計	テクニカル・プロジェクトマネジメント	リーダーシップ	ストラテジック&ビジネスマネジメント
戦略・マーケティング	HSE130		<eラーニング> (PDU) 知っておくべきビジネスモデルの基本 −顧客のビジネスをより理解するために−	17時間	14	0	0	14
	HSJ181		(PDU) ソリューション提案のための経営と情報戦略 −経営・事業・情報戦略のあるべき関係性−	1日	6.5	0	0	6.5
	HSJ182		(PDU) ITビジネスにおける戦略の基本と最新動向 −イノベーション実現のために−	1日	6.5	0	0	6.5
アカウンティング／ファイナンス	HSE705		<eラーニング>【ナビ機能付き】(PDU) 財務諸表の基礎知識	4時間	4	3	0	1
	HSE103		<eラーニング> (PDU) よくわかるファイナンス1 −投資の判断、リスクとリターン−	4時間	3.5	0	0	3.5
	HSE104		<eラーニング> (PDU) よくわかるファイナンス2 −企業価値評価−	4時間	2.5	0	0	2.5
	HSE105		<eラーニング> (PDU) よくわかるファイナンス3 −資金調達の方法−	6時間	3.5	0	0	3.5
	HSE106		<eラーニング> (PDU) よくわかるファイナンス4 −M&A、コーポレートガバナンス、財務計画−	6時間	3.5	0	0	3.5
ビジネスセンスアップ	HSE118		<eラーニング> (PDU) よくわかるビジネス・ミクロ経済1 − 経済学の思考、費用分析、市場経済、ゲーム理論−	6時間	3	0	0	3
	HSE098		<eラーニング> (PDU) よくわかるビジネス・ミクロ経済2 −不完全な情報、期待効用、行動経済学−	4時間	2.5	0	0	2.5
	HSE099		<eラーニング> (PDU) よくわかるマクロ経済1 −効率性と公平性、アダムスミスとケインズ−	4時間	2.5	0	0	2.5
	HSE100		<eラーニング> (PDU) よくわかるマクロ経済2 −GDP、為替、財政−	6時間	4	0	0	4
	HSE101		<eラーニング> (PDU) よくわかるマクロ経済3 −金融政策、ハイエク、フリードマン、シュンペーター−	4時間	2.5	0	0	2.5
	HSE102		<eラーニング> (PDU) よくわかるマクロ経済4 −景気循環、経済成長、格差社会と少子高齢化−	6時間	3.5	0	0	3.5
	HSE115		<eラーニング> (PDU) 中国古典に見る指導者の条件	10時間	7	0	7	0
	HSE113		<eラーニング> (PDU)「貞観政要」に学ぶリーダの心得	10時間	5	0	5	0
	HSE114		<eラーニング> (PDU)「書経」に学ぶリーダの心得	10時間	6	0	6	0
	HSE112		<eラーニング> (PDU)「韓非子」のリーダ学	10時間	5	0	5	0
	HSE111		<eラーニング> (PDU) 孫子の兵法を現代に役立てる方法	10時間	8	0	8	0
	HSE110		<eラーニング> (PDU) リーダに必要な人間力 三国志から学ぶリーダ学	10時間	7	0	7	0
グローバル								
	GBE010		<eラーニング> (PDU) グローバルビジネスの基礎 −ビジネスルールと多様性−（基本セット）	4時間	4	0	2	2
	GBE023		<eラーニング> (PDU) 中国ビジネスの鉄則	10時間	7	0	0	7
	GBE024		<eラーニング> (PDU) インドビジネスの鉄則	10時間	6	0	0	6

※eラーニングコースの日数欄には、平均学習時間を記載しています。

PMJ065 プロジェクトマネジメント

グループ演習 2日間

プロジェクトマネジメント基礎

プロジェクトマネジメントを進めるために必要なプロジェクトの概念やプロジェクトマネジメントのための各手法、考え方を、講義と演習を通して学習します。

到達目標
・プロジェクトの概念が説明できる。
・プロジェクトマネジメントのための各手法、考え方が説明できる。

対象者 ITエンジニア職、若手・中堅の方でこれからプロジェクトマネジメント業務を行う方。

前提知識 情報システム開発プロジェクトへの参加経験があり、システム開発に関する基礎知識があること。

内 容
1. プロジェクトマネジメントとは
2. プロジェクト立上げ（ケーススタディ、演習）
   (1)上位マネジメントの役割
   (2)プロジェクト憲章
3. プロジェクト計画（ケーススタディ、演習）
   (1)プロジェクトマネジメント計画書（スコープ、WBS、スケジュール、コスト、品質、リソース、コミュニケーション、リスク、調達）
4. 実行とコントロール（ケーススタディ、演習）
   (1)ベースラインの確認
   (2)パフォーマンス評価
   (3)アーンド・バリュー・マネジメント
   (4)実績報告書作成
5. プロジェクト完了

備 考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

PME007 プロジェクトマネジメント

eラーニング 7時間

<eラーニング>【ナビ機能付き】プロジェクトマネジメント基礎

プロジェクトマネジメントを進めるために必要なプロジェクトの概念やプロジェクトマネジメントのための各手法、考え方の基本を学習します。

到達目標
・プロジェクトの概念が説明できる。
・プロジェクトマネジメントのための各手法、考え方が説明できる。

対象者 ITエンジニア職、若手・中堅の方でこれからプロジェクトマネジメント業務を行う方。

前提知識 情報システム開発プロジェクトへの参加経験があり、システム開発に関する基礎知識があること。

内 容
1. プロジェクトとプロジェクトマネジメント
2. プロジェクトマネジメントの仕事の流れ
3. *PMBOK®ガイド*の考え方
4. 統合マネジメント
5. スコープ・マネジメント
6. タイム・マネジメント
7. コスト・マネジメント
8. 品質マネジメント
9. 人的資源マネジメント
10. コミュニケーション・マネジメント
11. リスク・マネジメント
12. 調達マネジメント
13. ステークホルダー・マネジメント
14. 修了試験

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・このコースは、集合研修「プロジェクトマネジメント基礎」コース（PMJ065）と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

PMJ066 プロジェクトマネジメント

グループ演習 2日間 休講

（PDU）ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践 PDU

プロジェクトマネジメントのベースとなるスコープ記述書の作成、WBSの作成、プロジェクトマネジメント計画書の作成、リスク登録簿の作成などプロジェクト計画のための各手法、考え方を、講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：12ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・スコープ記述書が作成できる。
・ステークホルダー分析ができる。
・プロジェクトマネジメント計画書が作成できる。
・リスク登録簿が作成できる。

対象者 ITエンジニア職、若手・中堅の方でこれからプロジェクトマネジメント業務を行う方。

前提知識 プロジェクトへの参加経験があり、「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. プロジェクトマネジメントの概要
2. *PMBOK®ガイド*の概要
   (1)演習：ステークホルダー分析
3. スコープ記述書
   (1)演習：スコープ記述書の作成
4. プロジェクト管理計画書
   (1)演習：プロジェクト管理計画書の作成
5. リスクマネジメント
   (1)演習：リスク登録簿の作成

備 考
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

※このコースは、休講とさせていただきます。

PMJ072 プロジェクトマネジメント

グループ演習 2日間 Renewal

（PDU）プロジェクトマネジメント仮想体験講座 PDU

シミュレータを使って仮想プロジェクトを計画し、チーム編成を行い、プロジェクトを実行します。実行中に発生するさまざまな問題に対応し、解決する方法を学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：13ポイント）の取得が可能です。

到達目標 プロジェクトを計画し、チーム編成を行い、プロジェクト実行中に発生するさまざまな問題に対応し解決する方法について説明できる。

対象者 プロジェクトに携わる主任技師、技師の方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. シミュレーションツールの使い方
2. 期間1（プロジェクト立上げから4週目まで）
   (1)計画立案
   (2)シミュレーション実行
   (3)進捗報告
   (4)解説
3. 期間2（5週目から8週目まで）
   (1)計画立案
   (2)シミュレーション実行
   (3)進捗報告
   (4)解説
4. 期間3（9週目からプロジェクト完了まで）
   (1)計画立案
   (2)シミュレーション実行
   (3)進捗報告
   (4)解説
5. まとめ

備 考
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

※別途ご案内いたします。

PMJ076 プロジェクトマネジメント

グループ演習 1日間 Renewal

（PDU）ケースメソッドによるPM判断・行動力強化 −複数ケースを短期間で学びPM力向上− PDU

プロジェクトマネジャーがよく遭遇する事例を対象に、トラブル原因を分析し、ある時点・ある状況に対してどのような対策が必要かを学びます。数多くの事例に取り組むことで、短期間で実践力を身につけます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：6.5ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・複雑な前提条件や制約条件のプロジェクトマネジメントにおいて、具体的な問題解決の思考ができる。
・QCD含め様一なトレードオフの状況下で、問題解決の思考ができる。
・他受講者との交流により、多様な解決方法や文化を理解し、視野を広げることができる。

対象者
・プロジェクトマネジメントに従事している方（サブリーダ、リーダ、マネジャー）。
・運用/保守など特定業務に従事し、プロジェクトマネジメント経験を十分に積むことができない方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. ケースメソッドによる学習のコンセプト
2. ステークホルダーの合意を得てスコープをコントロールする
3. ステークホルダーを巻き込んで品質を確保する
4. プロジェクトメンバとのコミュニケーション（役割分担など）を行う
5. スコープとスケジュールのバランスを保つ
6. コストとスケジュールのバランスを保つ

備 考
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

PMJ077 プロジェクトマネジメント

グループ演習 1日間 Renewal

（PDU）ケースメソッドによるPM判断・行動力強化（上流工程編）−PJの成功・失敗分岐点を学ぶ− PDU

プロジェクトマネジャーがよく遭遇する事例を対象に、トラブル原因を分析し、ある時点・ある状況に対してどのような対策が必要かを学びます。上流工程（企画−基本設計）を主なテーマとして、数多くの事例に取り組むことで、短期間で実践力を身につけます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：6.5ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・上流工程での複雑な前提条件や制約条件のプロジェクトマネジメントにおいて、具体的な問題解決の思考ができる。
・QCD含め様一なトレードオフの状況下で、問題解決の思考ができる。
・他受講者との交流により、多様な解決方法や文化を理解し、視野を広げることができる。

対象者
・プロジェクトマネジメントに従事している方（サブリーダ、リーダ、マネジャー）。
・運用/保守など特定業務に従事し、プロジェクトマネジメント経験を十分に積むことができない方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. ケースメソッドによる学習のコンセプト
2. ステークホルダーとの関係を強化する
3. 要求仕様を明確にする
4. プロジェクトスコープを明確化・コントロールする
5. プロジェクト体制を構築する
6. 要求仕様があいまな状態で概算見積りをする
7. パッケージ適用開発を推進する

備 考
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

PMJ003 プロジェクトマネジメント

グループ演習 2日間 休講

（PDU）プロジェクト経験者のためのプロジェクトマネジメント上級編 PDU

プロジェクトマネージャが、失敗しない（成功する）プロジェクトをめざすために必要な計画・管理工程における各種ガイドラインについて、講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：12ポイント）の取得が可能です。

到達目標 計画・管理工程における各種ガイドラインを用いて、プロジェクトマネジメントを実践できる。

対象者 プロジェクトマネジメント業務を行う方。

前提知識 プロジェクトの計画と管理に関する基礎知識があり、「（PDU）ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. モダンプロジェクトマネジメントの重要性
2. プロジェクトの立上げ、計画プロセスにおけるマネジメントと留意点
3. プロジェクト遂行プロセスにおけるマネジメントと留意点
4. プロジェクト完了プロセスにおけるマネジメントと留意点
5. 事例演習と講評

備 考
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

※このコースは、休講とさせていただきます。

PMJ078 プロジェクトマネジメント

グループ演習 2日間 Renewal

（PDU）トラブルプロジェクトのアセスメント PDU

問題の起きたプロジェクトや起きそうなプロジェクトを短期間でアセスメントし、最初の計画に戻すように回復・挽回する方法を講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：13ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・プロジェクトを短期間でアセスメントし、最初の計画に戻すように回復・挽回する方法について説明できる。
・具体的な各種ツールについて説明できる。

対象者 プロジェクトに携わる主任技師、技師の方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコース、および「（PDU）ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 緊急アセスメントと復旧策の主要概念
2. アセスメント憲章を定義する
3. アセスメント計画を策定する
4. アセスメントを実施する
5. 復旧策を計画する
6. 復旧策を実施する
7. トラブルプロジェクトを予防する
8. まとめ

備 考
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。。

PMJ073 プロジェクトマネジメント

グループ演習 1日間 Renewal

（PDU）プロジェクトの敵を味方にするステークホルダーマネジメント PDU

プロジェクトの複雑度やスピード感が高まる中、顧客や上級マネジメント、関連部署などプロジェクトに影響を与えるステークホルダーの協力的な関与を引き出すことが、プロジェクトの成功に直結します。このコースでは、ステークホルダーマネジメントと体系的に学び、具体的なツールを修得します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：6.5ポイント）の取得が可能です。

到達目標 ステークホルダーマネジメントのプロセスを理解し、具体的な作業をイメージできる。

対象者 プロジェクトマネジメント業務を行う方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコース、および「（PDU）ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. ステークホルダーマネジメントの基本知識と実践方法を修得できる
2. ステークホルダーのマネジメントを計画するポイントを理解する
3. ステークホルダーそれぞれの関心事と要求を把握することができる
4. ステークホルダー・エンゲージマネジメントのポイントを理解する
5. ステークホルダーとの対立関係をコントロールすることができる

備 考
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

PMJ074 プロジェクトマネジメント

グループ演習 2日間 休講

（PDU）プロジェクト・マネージャ・コンピテンシ指向トレーニング（PMCOT）−プロジェクト・マネージャに必要な行動・思考の気付きと振り返り− PDU

プロジェクト・マネージャに必要な行動や思考について、自らの行動を振り返ることにより自分の強化すべきコンピテンシを学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：13ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・プロジェクト・マネージャに必要なコンピテンシを自分の言葉で表現できる。
・自分自身のコンピテンシ傾向を知り、強化すべき能力を自己評価できる。

対象者 情報システム開発プロジェクトへの参加経験があり、顧客との折衝や他のメンバーを取り纏めた経験のある方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコース、および「（PDU）プロジェクト・マネージャ・コンピテンシ指向トレーニング（PMCOT）−プロジェクト・マネージャに必要な行動・思考の気付きと振り返り−」を修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. コンピテンシの理解と定義
2. コンピテンシの感覚的理解
3. コンピテンシ・フレームワーク
4. コンピテンシ強化トレーニング
5. コンピテンシ自己診断と振り返り

備 考
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

※このコースは、休講とさせていただきます。

PMJ079 プロジェクトマネジメント

グループ演習 2日間 Renewal

（PDU）プロジェクト・マネジャーのためのメンバーの力を引き出すモチベーション・マネジメント−行動特性分析に基づく− PDU

メンタリングとは何かについて、メンタリングに関する知識を修得し、メンティの育成を支援できるようなメンターとしてのスキルをフレームワークを通して学習します。このコースは、統合共有研究所発行の「メンターズガイド」をフレームワークとして利用します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：13ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・メンタリングとは何かを説明できる。
・メンタリングの心構えを説明できる。

対象者 情報システム開発プロジェクトへの参加経験があり、後続の育成に興味を持っている方。

前提知識 後進の育成を行う方で、「（PDU）プロジェクト・マネージャ・コンピテンシ指向トレーニング（PMCOT）−プロジェクト・マネージャに必要な行動・思考の気付きと振り返り−」を修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. メンタリングの理解
2. メンタリングの心構え
3. メンタリングのプロセス理解
   (1)診断フェーズ
   (2)信頼構築フェーズ
   (3)支援フェーズ
   (4)自律フェーズ
4. PMメンタリング事例
   (1)ケースを元に、メンターとしてアドバイスするにはどうするかを議論する

備 考
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

PMJ080 プロジェクトマネジメント

グループ演習 2日間 Renewal

（PDU）プロジェクト・ポートフォリオ・マネジメント−プロジェクトの横断的な把握、経営資源の効果的な配分のために− PDU

組織の戦略設定とプロジェクト選定（ポートフォリオ）、個々のプロジェクト実施の戦略的なプロジェクトマネジメントを学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：13ポイント）の取得が可能です。

到達目標 個々のプロジェクトの状況や特性（進捗、将来性、リスクなど）に応じたプロジェクトの選定・投資・中止などの意志決定について説明できる。

対象者 プロジェクトに携わる主任技師、技師の方。または複数のプロジェクトを管理する立場の方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコース、および「（PDU）ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. キーコンセプト解説
2. 組織戦略の内容
3. 組織戦略：アプローチとテクニック
4. ポートフォリオ・マネジメント：戦略内容
5. ポートフォリオ・マネジメント：認定と選定
6. ポートフォリオ・マネジメント：アライメントの維持
7. 戦略的プロジェクトマネジメント
8. プロジェクトマネジメント：アライメントの維持
9. まとめ

備 考
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

PMJ054 プロジェクトマネジメント

グループ演習 2日間

（PDU）プロジェクトを円滑に進めるための合意形成力強化トレーニング PDU

顧客やチームメンバと合意形成するコミュニケーションのプロセスを理解しながら、自己のコミュニケーションの「クセ」ならびに、その改善・強化方法を学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：13ポイント）の取得が可能です。

到達目標 ・成功確率を高める交渉の原則を説明できる。
・プロジェクトマネジメントに必要な交渉技法を身につけられる。
・顧客と信頼関係を築くコミュニケーションをとることができる。

対象者 5年以上の業務経験がある方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. ビジネスコミュニケーションとは
2. コミュニケーションプロセスの理解
(1)アイスブレイク
(2)自分の意見を説明する
(3)相手の意見を積極的に聞きだす
(4)解決ポイントを見出す
(5)協力して解決策を作成する
(6)合意を形成する
3. コミュニケーションプロセス理解のためのミニ演習
4. 総合ロールプレイングトレーニング
5. まとめ

備　考 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

PMJ081 プロジェクトマネジメント

グループ演習 2日間

（PDU）プロジェクトマネジメントの契約・調達マネジメント PDU

Renewal

契約の知識、契約・調達に関わるプロジェクトマネージャとしての役割と責任および契約者またはサブコントラクタが契約上の要求通りに実行することを確認するための有益なアクション策について、学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：13ポイント）の取得が可能です。

到達目標 ・契約・調達に関わる知識を説明できる。
・契約・調達に関わるプロジェクトマネージャとしての役割と責任について説明できる。

対象者 プロジェクトに携わる主任技師、技師の方。

前提知識 プロジェクトへの参画経験があり、、「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコース、および「（PDU）ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 契約マネジメントプロセス
2. チームワーク一役割と責任ー
3. 契約法の概念と原則
4. 契約方法
5. 契約の価格協定
6. 契約前フェーズ
7. 締結フェーズ
8. 締結後フェーズ

備　考 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

PMJ082 プロジェクトマネジメント

レクチャ 2日間

（PDU）プロジェクトマネージャのためのファイナンシャルマネジメント PDU

Renewal

プロジェクト・マネージャに必要な財務・会計の基本、契約時の利益計画などの基礎知識とプロジェクト遂行における財務分析ツールをケーススタディや演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：13ポイント）の取得が可能です。

到達目標 ・財務・会計の基本、契約時の利益計画、資産管理などの基礎知識を説明できる。
・プロジェクト遂行における一般的な財務分析ツールについて説明できる。

対象者 プロジェクトに携わる主任技師、技師の方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコース、および「（PDU）ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 財務の基本
2. 収益性の価格設定
3. 契約条件
4. コスト見積り
5. 資産マネジメント

備　考 ・計算用具（電卓）をご持参ください。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

PMJ006 プロジェクトマネジメント

レクチャ 1日間

ソフトウェア開発の品質管理と信頼性 ー日立の取り組み紹介ー

情報システムの高品質化（高信頼性化）を実現するための基本的考え方、および一連の施策について学習します。

到達目標 情報システムの高品質化（高信頼性化）を実現するための基本的考え方、および一連の施策を説明できる。

対象者 情報システムの設計・開発を行う技術者の方、品質に関連する業務に携わる方。

前提知識 ソフトウェア開発に関する基礎知識があること。ソフトウェア開発経験があることが望ましい。

内　容
1. オリエンテーション
2. システムのニーズと特徴・ソフトウェア開発上の障害
3. ソフトウェアの特徴
4. ソフトウェアの信頼性の定義
5. 信頼性向上技術
6. 実践的品質評価方法
7. プロジェクト管理における考え方

講師：日立製作所のSE部門品質保証部にて品質管理を実務として担当している専門家が講義します。

備　考 このコースは、「ソフトウェア開発の品質管理と信頼性」コースの名称を変更したものです。

※別途ご案内いたします。

PMD019 プロジェクトマネジメント

グループ演習 2日間

（PDU）プロジェクトマネジメントの要求マネジメント PDU

Renewal

プロジェクト・スコープの基礎となる要求マネジメント・プロセス、ステークホルダーとの関係性構築について講義と演習を通じて学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：14ポイント）の取得が可能です。

到達目標 ・要求マネジメント・プロセスを説明できる。
・要求マネジメントの手法を説明できる。

対象者 プロジェクトに携わる主任技師、技師の方。

前提知識 、「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコース、および「（PDU）ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. プロジェクトに影響を及ぼす要求の諸要素
2. 要求マネジメント・プロセス
3. ステークホルダーと要求
4. 要求識別ー要求抽出
5. 分析・レビュー・承認ー要求変更管理ー要素成果物テスト
6. 要求プロセス終結

備　考 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

※別途ご案内いたします。

PME701 プロジェクトマネジメント

eラーニング 4時間

<eラーニング>【ナビ機能付き】（PDU）ファンクションポイント法基礎 PDU

ソフトウェアの機能量を測る手段であり、顧客や開発発注先との価格交渉、見積に効果的なファンクションポイント法の基本を学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：4ポイント）の取得が可能です。

到達目標 ファンクションポイント法の基本について説明できる。

対象者 担当クラスの方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. FP算出方法
2. FPの性質と特徴
3. FP法と見積
4. 修了試験

備　考 ・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・このコースは、集合研修「（PDU）ファンクションポイント法基礎」コース（PMJ033）と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。。

PME005 プロジェクトマネジメント

eラーニング 2時間

<eラーニング>（PDU）2時間でわかるファンクションポイント法 PDU

ソフトウェア開発の規模を見積るためのファンクションポイント法について、計測方法の基礎を2時間で解説します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2ポイント）の取得が可能です。

到達目標 ファンクションポイント法の概要、および計測手順を説明できる。

対象者 プロジェクトリーダ（マネージャ）の方、または今後めざす方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. ファンクションポイント法の基本的な概念
2. ファンクションポイント算出手順
3. データファンクションの計測
4. トランザクションファンクションの計測
5. ファンクションポイントの算出
6. 修了試験

備　考 ・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

PMJ083 プロジェクトマネジメント

レクチャ 2日間

（PDU）*PMBOK®ガイド*第6版セミナー PDU

Renewal

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：13ポイント）の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*の概要を説明できる。

対象者 *PMBOK®ガイド*を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方、PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコース、および「（PDU）ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. はじめに
2. プロジェクトの運営環境
3. プロジェクト・マネジャーの役割
4. 統合マネジメント
5. スコープ・マネジメント
6. スケジュール・マネジメント
7. コスト・マネジメント
8. 品質マネジメント
9. 資源マネジメント
10. コミュニケーション・マネジメント
11. リスク・マネジメント
12. 調達マネジメント
13. ステークホルダー・マネジメント

備　考 ・「*PMBOK®ガイド*」が受講料に含まれます。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

PME013 プロジェクトマネジメント

eラーニング 2時間

<eラーニング>（PDU）*PMBOK®ガイド*第6版セミナー プロジェクトとは PDU

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2ポイント）の取得が可能です。

到達目標 ・*PMBOK®ガイド*の概要を説明できる。

対象者 ・*PMBOK®ガイド*を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
・PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 本ガイドの概要と目的
2. 基本的要素
3. 修了試験

備　考 ・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

PME014 プロジェクトマネジメント

eラーニング 2時間

<eラーニング>（PDU）*PMBOK®ガイド*第6版セミナー　プロジェクトの運営環境とプロジェクト・マネジャーの役割 PDU

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2ポイント）の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*の概要を説明できる。

対象者 ・*PMBOK®ガイド*を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
・PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 概要
2. 組織体の環境要因（EEE）
3. 組織のプロセス資産（OPA）
4. 組織のシステム
5. プロジェクト・マネジャーの定義（概要含む）
6. プロジェクト・マネジャーの影響がおよぶ範囲
7. プロジェクト・マネジャーのコンピテンシー
8. 統合の実施
9. 修了試験

備　考 ・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

PME018 プロジェクトマネジメント

eラーニング 2時間

<eラーニング>（PDU）*PMBOK®ガイド*第6版セミナー 統合マネジメント PDU

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2ポイント）の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*の概要を説明できる。

対象者 ・*PMBOK®ガイド*を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
・PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. プロジェクト憲章の作成
2. プロジェクトマネジメント計画書の作成
3. プロジェクト作業の指揮・マネジメント
4. プロジェクト知識のマネジメント
5. プロジェクト作業の監視・コントロール
6. 統合変更管理
7. プロジェクトやフェーズの終結
8. 修了試験

備　考 ・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

PME011 プロジェクトマネジメント

eラーニング 2時間

<eラーニング>（PDU）*PMBOK®ガイド*第6版セミナー スコープ・マネジメント PDU

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2ポイント）の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*の概要を説明できる。

対象者 ・*PMBOK®ガイド*を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
・PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. スコープ・マネジメントの計画
2. 要求事項の収集
3. スコープの定義
4. WBSの作成
5. スコープの妥当性確認
6. スコープのコントロール
7. 修了試験

備　考 ・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

PME010 プロジェクトマネジメント

eラーニング 2時間

<eラーニング>（PDU）*PMBOK®ガイド*第6版セミナー スケジュール・マネジメント PDU

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2ポイント）の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*の概要を説明できる。

対象者
- *PMBOK®ガイド*を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
- PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. スケジュール・マネジメントの計画
2. アクティビティの定義
3. アクティビティの順序設定
4. アクティビティの所要期間見積り
5. スケジュールの作成
6. スケジュールのコントロール
7. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

PME008 プロジェクトマネジメント

eラーニング 2時間

<eラーニング>（PDU）*PMBOK®ガイド*第6版セミナー コスト・マネジメント PDU

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2ポイント）の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*の概要を説明できる。

対象者
- *PMBOK®ガイド*を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
- PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. コスト・マネジメントの計画
2. コストの見積り
3. 予算の設定
4. コストのコントロール
5. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

PME019 プロジェクトマネジメント

eラーニング 2時間

<eラーニング>（PDU）*PMBOK®ガイド*第6版セミナー 品質マネジメント PDU

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2ポイント）の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*の概要を説明できる。

対象者
- *PMBOK®ガイド*を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
- PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 品質マネジメントの計画
2. 品質のマネジメント
3. 品質のコントロール
4. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

PME016 プロジェクトマネジメント

eラーニング 2時間

<eラーニング>（PDU）*PMBOK®ガイド*第6版セミナー 資源マネジメント PDU

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2ポイント）の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*の概要を説明できる。

対象者
- *PMBOK®ガイド*を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
- PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 資源マネジメントの計画
2. アクティビティ資源の見積り
3. 資源の獲得
4. チームの育成
5. チームのマネジメント
6. 資源のコントロール
7. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

PME009 プロジェクトマネジメント

eラーニング 2時間

<eラーニング>（PDU）*PMBOK®ガイド*第6版セミナー コミュニケーション・マネジメント PDU

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2ポイント）の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*の概要を説明できる。

対象者
- *PMBOK®ガイド*を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
- PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. コミュニケーション・マネジメントの計画
2. コミュニケーションのマネジメント
3. コミュニケーションの監視
4. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

PME015 プロジェクトマネジメント

eラーニング 2時間

<eラーニング>（PDU）*PMBOK®ガイド*第6版セミナー リスク・マネジメント PDU

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2ポイント）の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*の概要を説明できる。

対象者
- *PMBOK®ガイド*を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
- PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. リスク・マネジメントの計画
2. リスクの特定
3. リスクの定性的分析
4. リスクの定量的分析
5. リスク対応の計画
6. リスク対応策の実行
7. リスクの監視
8. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

PME017 プロジェクトマネジメント

eラーニング 2時間

<eラーニング>（PDU）*PMBOK®ガイド*第6版セミナー 調達マネジメント PDU

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2ポイント）の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*の概要を説明できる。

対象者
- *PMBOK®ガイド*を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
- PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 調達マネジメントの計画
2. 調達の実行
3. 調達のコントロール
4. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。。

PME012 プロジェクトマネジメント

eラーニング 2時間

<eラーニング>（PDU）*PMBOK®ガイド*第6版セミナー ステークホルダー・マネジメント PDU

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2ポイント）の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*の概要を説明できる。

対象者
- *PMBOK®ガイド*を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
- PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. ステークホルダーの特定
2. ステークホルダー・エンゲージメントの計画
3. ステークホルダー・エンゲージメントのマネジメント
4. ステークホルダー・エンゲージメントの監視
5. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。。

PMJ084 プロジェクトマネジメント

レクチャ 0.5日間

（PDU）*PMBOK®ガイド*第5版と第6版の差分講座 ー半日でわかる第6版ー PDU

Renewal

*PMBOK®ガイド*第6版では、アジャイルマネジメントなど新たな考え方が入ってきます。*PMBOK®ガイド*第5版と比較してどの程度改訂され、どのような新しい内容が組み入れられたかを、両版の知識エリアを中心に比較し、わかりやすく解説します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：3.5ポイント）の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド*第6版の改訂内容を説明できる。

対象者 *PMBOK®ガイド*の内容に関心があり、改訂内容を知りたい方。

前提知識 PMP®資格をお持ちであるか、または*PMBOK®ガイド*第5版の内容をある程度理解していること。

内 容
1. *PMBOK®ガイド*第6版の主な変更点
2. 1章から3章の変更点
3. マネジメント・プロセス群の変更点
4. 各知識エリアのプロセス比較
5. 各知識エリアの変更点

備 考
- 「*PMBOK®ガイド*第6版」が受講料に含まれます。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

PMJ056 プロジェクトマネジメント

レクチャ 2日間

PMP®対策講座（2日間）

PMP®資格試験合格に必要な*PMBOK®ガイド*および関連知識、解答のポイント、受験手続方法を学習します。テキストは、本番テストと同じ6つのカテゴリー（11ユニット）に分かれて構成されています。1-11の各ユニット終了時に模擬演習問題を実施し、試験スタイルに慣れていただきます。付属の問題集（400問）で自己学習が可能です。
【注意_試験改訂の延期】
新型コロナウィルスの影響で、PMP®試験改訂の延期が発表されました（3月18日PMIより発表。当初発表は2020年7月1日から試験を改定）。本コースは現行試験に対応したコースであることをご確認の上、お申込みください。
・現行試験の実施期間 ⇒ 2020年12月31日まで
・新試験の実施期間 ⇒ 2021年1月2日から
詳細は、以下のPMIサイトをご参照いただけますようお願いいたします。https://www.pmi.org/certifications/types/project-management-pmp

到達目標 PMP®資格試験合格に必要な*PMBOK®ガイド*および関連知識、解答のポイント、受験手続方法を修得できる。

対象者 PMP®資格を取得したい方。（業界を問いません）

前提知識 プロジェクトへの参加経験があり、「（PDU）*PMBOK®ガイド*第6版セミナー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. プロジェクト統合マネジメント
2. プロジェクト・スコープ・マネジメント
3. プロジェクト・タイム・マネジメント
4. プロジェクト・コスト・マネジメント
5. プロジェクト品質マネジメント
6. プロジェクト人的資源マネジメント
7. プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント
8. プロジェクト・リスク・マネジメント
9. プロジェクト調達マネジメント
10. ステークホルダー・マネジメント
11. プロフェッショナルの役割と責任
12. 受験ガイド（受験の手続き説明）

備 考
- このコースの受講により、PMP®試験受験資格である学習時間の14時間分の受講証明書を発行いたします。
- 「*PMBOK®ガイド*」をお持ちの方は、ご持参されることを推奨いたします。
- 受験料は含まれておりません。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

PMJ028 プロジェクトマネジメント

レクチャ 1日間

PMP®直前講座（模試）（1日間）

PMP®資格試験合格のために出題数の多い分野を重点的に、得点力アップをめざして学習します。
【注意_試験改訂の延期】
新型コロナウィルスの影響で、PMP®試験改訂の延期が発表されました（3月18日PMIより発表。当初発表は2020年7月1日から試験を改定）。本コースは現行試験に対応したコースであることをご確認の上、お申込みください。
・現行試験の実施期間 ⇒ 2020年12月31日まで
・新試験の実施期間 ⇒ 2021年1月2日から
詳細は、以下のPMIサイトをご参照いただけますようお願いいたします。https://www.pmi.org/certifications/types/project-management-pmp

到達目標 PMP®資格試験合格のために模擬試験を実施し得点力をアップできる。

対象者 PMP®資格を取得したい方。（業界を問いません）

前提知識 「PMP®対策講座（2日間）」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 全体おさらい
2. 模擬問題演習（200問）
3. 問題解答解説
4. 模擬問題演習（50問）
5. 合格への近道（受験ハウツー）

備 考
- このコースの受講により、PMP®試験受験資格である学習時間の7時間分の受講証明書を発行いたします。
- 計算用具（電卓）をご持参ください。
- 「*PMBOK®ガイド*」をお持ちの方は、ご持参されることを推奨いたします。
- 受験料は含まれておりません。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

SPJ064 プロジェクトマネジメント

グループ演習 1日間

スクラムの基礎と実践

このコースは、アジャイル開発手法の中でも主流のスクラムを取り上げます。基礎知識の解説に加え、実際のプロジェクトの進め方や要素技術など、アジャイル開発／スクラムの基礎と実践について学習します。また演習やワークショップによってアジャイル開発のメリットを体験します。

到達目標 スクラムの基本的なプロセスフレームワークを理解し、実践できる。

対象者
- アジャイル開発の基礎を修得したい方。
- スクラムの修得をめざす方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. アジャイル開発の概要
2. スクラム入門
3. アジャイル開発の演習／ワークショップ
4. まとめ

備 考
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

SPJ045 プロジェクトマネジメント

(PDU)[リーダー向け] アジャイル開発における自律型チーム運営 PDU

グループ演習 1日間

アジャイル開発を担当するリーダーとして、その力量がもっとも発揮されるべき局面がチーム運営です。「チームがうまくまとまっていかない」「メンバは指示待ちで自分から動かない」というように自律型チームにならないことが多いのが現実です。このコースでは、自律的なチームとは何か、どうすれば自律的なチームになるのかを、開発現場の状況を想定した講師とのディスカッション演習や質疑応答を通して考察します。それを通して、適用可能なプラクティスからチーム運営のあり方をつかむことをめざします。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：6ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- リーダーとしてアジャイル手法におけるチーム運営のヒントを説明できる。
- アジャイルプラクティスの実践的な取り組み方を説明できる。

対象者
- アジャイル開発に適したチームを作りたい方。
- アジャイルに限らず、効果的なチームビルディングを行いたいリーダー（マネージャ）の方。

前提知識
- 一般的なソフトウェア開発プロセス（ウォーターフォール開発）を理解していること。
- ソフトウェア開発の経験があること。

内 容
1. アジャイル開発におけるチームとは
   (1)アジャイル開発とチーム
   (2)チームを構成するもの
   (3)チームを動かすもの
   (4)チームの成長
2. アジャイル開発における要件管理とは
   (1)反復のサイクル
   (2)ストーリーとタスク
   (3)ストーリーの見積方法
3. ディスカッション演習：ユーザストーリー
4. アジャイル開発における進捗管理とは
   (1)タスクボード
   (2)バーンダウンチャート
5. ディスカッション演習：タスクボードの効果的な使い方
6. アジャイル開発における品質管理とは（CI）
7. アジャイル開発における「カイゼン」とは
8. ディスカッション演習：レトロスペクティブケーススタディ

備 考
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute、Inc.）の登録商標です。

PMJ075 プロジェクトマネジメント

(PDU)マネージャのための1日でわかるアジャイル・プロジェクトマネジメントの効用 PDU

Renewal

グループ演習 1日間

従来、行われてきた計画重視型のプロジェクトマネジメントから、アジャイル開発導入への変化をマネジメント視点で学びます。経営管理上のメトリクスを残しながら、プロジェクトガバナンスをどのように確立するかを理解し、顧客に提案できる知識を身につけます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：6.5ポイント）の取得が可能です。

到達目標
マネジメント視点でのアジャイル開発の利点を理解し、顧客に提案できる。

対象者
アジャイル開発の導入を検討しているマネジャー、リーダの方。

前提知識
「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. アジャイルの背景
   (1)なぜアジャイルが生まれたのか
   (2)従来の「ウォーターフォール」との相違
2. アジャイルによるマネジメント
   (1)アジャイルマネジメントの導入
   (2)失敗例からの教訓
   (3)アジャイルマネジメントの事例から
3. まとめ

備 考
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute、Inc.）の登録商標です。

PMD012 プロジェクトマネジメント

「EXIN アジャイル スクラム ファンデーション」資格対策

レクチャ 2日間

EXIN（www.exin.com）本部が公開する試験要件に沿ったカリキュラムにより基本事項の概念や用例を学習します。なお、研修の最後にアジャイル スクラム ファンデーション認定試験（60分）を用意しています。

到達目標
- アジャイル手法の重要性と、アジャイルがどのように付加価値を付けられるかを説明できる。
- アジャイルの原則とアジャイルマニフェストについて説明できる。
- アジャイル・プロジェクトマネジメント・フレームワークを説明できる。
- アジャイル スクラム ファンデーション認定試験に合格できる。

対象者
アジャイル・プロジェクトマネジメント、スクラムの基本を体系的に把握したい方。

前提知識
プロジェクトマネジメントに関する基本的な知識・技術があること。

内 容
1. アジャイルとスクラム
2. 役割、儀式、タイムボックス
3. 手法とプラクティス
4. バックログ
5. 上級概念
6. 計画とリリース
7. モニタリング
8. アジャイルスクラムファンデーション認定試験（60分）

備 考
- このコースは、株式会社ITプレナーズジャパン・アジアパシフィック主催の「EXIN アジャイル スクラム ファンデーションコース」を実施するものです。
- コース実施に必要となるご受講者の個人情報をITプレナーズ社へ提供いたします。

SPJ070 プロジェクトマネジメント

アジャイル開発（スクラム）におけるプロダクトオーナー体験ワークショップ

グループ演習 1日間

このコースは、ワークショップを通してアジャイル開発（スクラム）におけるプロダクトオーナーの責務、作業内容、振る舞いについて体験します。

到達目標
アジャイル開発（スクラム）においてプロダクトオーナーを実践できる。

対象者
スクラムにおけるプロダクトオーナの責務、仕事の進め方を理解し体験したい方。

前提知識
特に必要としません。

内 容
1. アジャイル開発の概要
2. スクラムの基礎
3. 製品開発のプロダクトオーナー体験ワークショップ

備 考
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
- 学習項目は予告なく変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

PMD017 プロジェクトマネジメント

(PDU) PRINCE2®ファンデーション（認定試験付き） PDU

Renewal

グループ演習 3日間

プロジェクト管理の手法として国際的なデファクトスタンダードであるPRINCE2®を学習します。PRINCE2®の基礎知識の修得を目的としています。研修の最後にPRINCE2®ファンデーション認定試験を受験します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：21ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- PRINCE2®の概要を理解し、PRINCE2®でのプロジェクト管理の原則を理解できる。
- 品質管理、リスク管理、ビジネスケースや予算、納期の範囲でプロジェクトを完了する方法を理解できる。

対象者
- プロジェクトマネジメントに従事している方。
- PRINCE2®の導入を考えている方。

前提知識
特に必要としません。

内 容
1. PRINCE2®のプロジェクト管理の手法
2. PRINCE2®の使用と実施の意味
3. プロジェクトへのPRINCE2®の原則の適用
4. 品質、リスク、および利益の管理方法
5. 既定のビジネス・ケースや予算、納期の範囲内でプロジェクトを完了する方法
6. さまざまなプロジェクト環境に合わせてPRINCE2®を調整する方法

備 考
- このコースは、株式会社ITプレナーズジャパン・アジアパシフィック主催の「PRINCE2®ファンデーションコース」を実施するものです。
- コース実施に必要となるご受講者の個人情報を株式会社ITプレナーズジャパン・アジアパシフィックへ提供いたします。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute、Inc.）の登録商標です。

※別途ご案内いたします。

PMD018 プロジェクトマネジメント

(PDU) PRINCE2®プラクティショナ（認定試験付き） PDU

Renewal

グループ演習 2日間

PRINCE2®の考え方を理解し、組織の全てのプロジェクトで使用できる共通のプロセス、役割、および用語を提供し、効率的で有効なプロジェクト管理方法を学びます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：14ポイント）の取得が可能です。

到達目標
組織の全てのプロジェクトで使用できる共通のプロセス、役割、および用語を提供し、効率的で有効なプロジェクト管理方法を理解できる。

対象者
- プロジェクトマネジメントに従事している方。
- PRINCE2®の導入を考えている方。

前提知識
PRINCE2®ファンデーション認定資格をお持ちの方、またはPMP®資格をお持ちの方。

内 容
1. はじめに
2. 原則、テーマ、およびプロセス
3. ビジネスケース
4. 組織
5. 課題のレビュー
6. 品質
7. 計画
8. リスク
9. 変更
10. 進捗と試験準備ガイド
11. プロセスを利用したテーマのレビュー

備 考
- このコースは、株式会社ITプレナーズジャパン・アジアパシフィック主催の「PRINCE2®プラクティショナコース」を実施するものです。
- コース実施に必要となるご受講者の個人情報を株式会社ITプレナーズジャパン・アジアパシフィックへ提供いたします。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute、Inc.）の登録商標です。

※別途ご案内いたします。

コンプライアンス

個人情報保護や情報セキュリティ、内部統制といった、コンプライアンス意識向上に不可欠な知識が修得できます。

● モニタリング：内部統制が有効に機能しているかを継続的に監視する

HSJ062 グループ演習
事例から学ぶ
システムトラブル対策の考え方
−高信頼性システム実現のために−
1日間

HSJ018 グループ演習
システムトラブルの予防と是正
−ISMS・システム監査の
視点から−
2日間

● 記録管理：内部統制の状況の確認、不正の発見、不正の抑止効果、内部統制の有効性の説明のために、企業活動を網羅的かつ正確に記録として残し管理する

音声有+説明文なし
DBE015 eラーニング
HiRDB機能解説
7時間

DBJ092 マシン実習
HiRDBデータベース管理
2日間

または

音声有+説明文なし
DBE305 eラーニング
【マシン演習付き】
HiRDBデータベース管理
12時間

● セキュリティ管理：内部統制を実現するシステムが不正にアクセスされることを防止・抑止するためのセキュリティを管理する

音声なし+説明文有
SCE708 eラーニング
【ナビ機能付き】
情報セキュリティリテラシー
− セキュリティの必要性と対策−
初心者にオススメ
4時間

音声なし+説明文有
SCE706 eラーニング
【ナビ機能付き】
情報セキュリティマネジメント概説
− セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度−
8時間

音声なし+説明文有
SCE703 eラーニング
【ナビ機能付き】
情報技術者に求められるセキュリティの基礎
− 要素技術（暗号、認証）編−
6時間

音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP® 資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。

● システム運用管理：内部統制を実現する各システムが正しく導入・運用されることを保証するために管理する

JPJ279 マシン実習
JP1プロフェッショナル 統合管理1−システム監視−
2日間

JPJ280/JPJ280T マシン実習
JP1プロフェッショナル 統合管理2−システム設定−
2日間

JPJ281/JPJ281T マシン実習
JP1プロフェッショナル 統合管理セットコース
4日間

JPJ282/JPJ282T マシン実習
JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理
2日間

JPJ291 マシン実習
JP1プロフェッショナル 資産・配布管理1 −資産管理編−
1日間

JPJ292 マシン実習
JP1プロフェッショナル 資産・配布管理2 −セキュリティ管理編−
1日間

JPJ293/JPJ293T マシン実習
JP1プロフェッショナル 資産・配布管理3 −配布管理編−
1日間

JPJ294/JPJ294T マシン実習
JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 セットコース
3日間

JPJ295/JPJ295T マシン実習
JP1プロフェッショナル セキュリティ管理
1日間

JPJ296/JPJ296T レクチャ
JP1コンサルタント 統合管理
1日間

JPJ297/JPJ297T レクチャ
JP1コンサルタント パフォーマンス管理
1日間

JPJ300/JPJ300T レクチャ
JP1コンサルタント 資産・配布管理
1日間

音声なし+説明文有
ITE701 eラーニング
【ナビ機能付き】 運用管理概説
初心者にオススメ 6時間

ITJ008 グループ演習
情報システム運用入門 −運用からITサービスへ−
1日間

ITJ009 グループ演習
IT運用における ヒューマンエラー予防
1日間

音声なし+説明文有
ITE006 eラーニング
SLAにおける サービスレベル設計の基礎
4時間

ITJ004 グループ演習
システム運用の現状分析・設計力養成ワークショップ
2日間

Renewal PDU
ITJ014 レクチャ
(PDU) ITIL®ファンデーション (ITIL®2011対応) (認定試験付)
3日間

New PDU
ITJ013 レクチャ
(PDU) ITIL®4ファンデーション (認定試験付)
3日間

CLD001 グループ演習
事業と技術の観点から検討するクラウドへの移行と管理 − Cloud Essentials −
2日間

● SNSコンプライアンス：SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）のトラブルを防ぐ

音声なし+説明文なし
HSE129 eラーニング
SNSのリスクと 利用時のガイドライン
1時間

音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU ：PMP® 資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

HSJ062 コンプライアンス
グループ演習 1日間
事例から学ぶ システムトラブル対策の考え方 −高信頼性システム実現のために−

情報化社会におけるコンピュータシステムは、組織や社会のインフラを支えるという極めて重要な役割を担っています。これらのシステムに障害が発生すると、ビジネスに与える影響は非常に大きなものとなるため、今日の情報システムには高い信頼性と安全性が求められています。システムトラブル対策の実践的知識を学習します。IT技術者が開発段階や運用段階で実施すべきトラブル対策のポイントを、解説とグループ演習を通して学習します。

到達目標
・システムトラブル発生状況とその対策実施状況を確認できる。
・開発段階と運用段階で留意すべきトラブル対策のポイントを理解できる。
・システムトラブルマネジメントシステムの構築手順を理解できる。

対象者 プロジェクトマネージャ、システム開発担当者、システム運用担当者の方、システム品質管理担当者、ISMS導入担当者、内部監査担当者の方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

内 容
1. 今なぜシステムトラブル対策なのか
 (1)システムトラブル統計情報
 (2)トラブル防止に向けた取り組み
2. 開発段階で実施するトラブル対策
 (1)開発段階における留意事項
 (2)開発段階での対策提言
3. 運用段階で実施するトラブル対策
 (1)運用段階における留意事項
 (2)運用段階での対策提言
4. システムトラブルをマネジメントする
 (1)トラブル情報の収集とその活用
 (2)原因分析と対策立案
5. まとめ
講師：前橋システムコンサルティング株式会社代表取締役 前橋雅夫氏（公認システム監査人）

備 考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

HSJ018 コンプライアンス
グループ演習 2日間
システムトラブルの予防と是正 −ISMS・システム監査の視点から−

情報システムの開発業務や運用業務で発生したトラブル事例を、予防処置と是正処置の観点から分析し、自らの職場において同様のトラブルを引き起こさないようにするためには何をするべきか、その対策ポイントについて研究・学習します。

到達目標
・情報システムの開発業務や運用業務でトラブルを引き起こさないための対策ポイントを説明できる。
・システムトラブルの原因分析ならびに対策立案の手法を説明できる。
・ケーススタディ演習において、システムトラブルの原因分析ならびに対策方法を立案できる。

対象者 ISMS導入を担当する方、ISMS内部監査人、プロジェクトマネージャ、システム開発・運用を担当する方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

内 容
1. 今なぜシステムトラブルの予防と是正なのか
 (1)情報セキュリティ対策の実施状況
 (2)システムトラブルの発生状況ほか
2. 情報セキュリティ概論
 (1)情報資産とは
 (2)脅威と脆弱性ほか
3. システムトラブルを未然に防止する
 (1)物理的な事前対策
 (2)技術的な事前対策
 (3)管理的な事前対策
 (4)システム監査によるトラブル防止ほか
4. システムトラブルの再発を防止する
 (1)セキュリティ事件・事故への対処
 (2)システムトラブル報告書
 (3)ヒューマンファクタ分析ほか
5. まとめ
 (1)危機管理の鉄則
講師：前橋システムコンサルティング株式会社代表取締役 前橋雅夫氏（公認システム監査人）

備 考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

HSE129 コンプライアンス
eラーニング 1時間
<eラーニング> SNSのリスクと利用時のガイドライン

SNSの特性やリスクについて事例を交えて紹介します。トラブルを未然に防ぐ重要性とそのポイントを学習し、SNS利用時のガイドラインを紹介します。また、万一、トラブルが起きた時に影響を最小化するためのポイントを学習します。

到達目標
・SNSの特性、リスクを理解できる。
・トラブル予防の重要性を理解し、実行できる。
・迅速な対応の重要性を理解し、トラブル発生可能性がある、または発生した際に適切な初期対応ができる。

対象者
・SNSを利用している全ての方。
・SNS上のトラブルを予防したい方。
・トラブル発生時の対応を知りたい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. SNSとは
 (1)SNSとは (2)SNSの影響力
 (3)利便性と危険性の共存
 (4)トラブルに巻き込まれる企業
 (5)SNSのトラブルは身近な問題
2. SNSの特性
 (1)SNS理解の重要性 (2)SNSの特性
 (3)SNS利用時には
3. SNSのリスクおよび個人・企業への影響
 (1)SNSのリスクを知る意義 (2)SNSのリスク分類
 (3)企業の機密情報の漏えい (4)顧客情報の漏えい
 (5)私的な投稿によるトラブル
 (6)著作権・肖像権侵害リスク
 (7)不適切な業務遂行に関する投稿
 (8)誹謗中傷・風評 (9)なりすまし
 (10)企業におよぼす影響
4. SNS利用時のガイドライン
 (1)トラブル防止の重要性
 (2)SNS利用時のガイドライン
 (3)ガイドラインの目的
5. トラブル発生時の対応
 (1)初期対応の重要性 (2)トラブル対応の流れ
 (3)企業の初期対応 (4)従業員の初期対応
6. まとめ
 (1)SNSのリスクの再確認 (2)今後に向け

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・説明画面で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

ビジネス/ヒューマン

仕事を進めるうえで必要となるスキル（ロジカルシンキング、コミュニケーション、ライティング、リーダシップ、業務知識など）が修得できます。

ビジネススキル修得のための推奨講座体系〜変化の激しい時代を生き抜くために〜

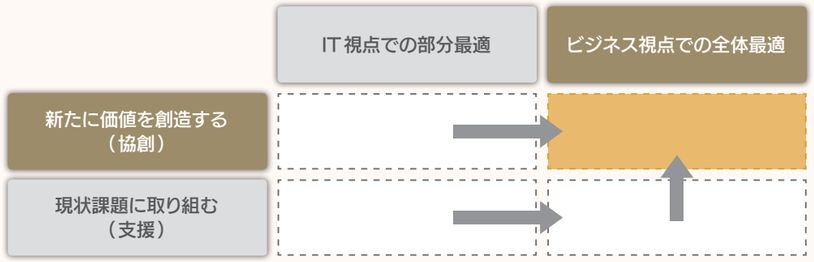
今後、IT技術者は何を学ぶべきか

ITが融合した市場・社会でのパラダイムシフトに企業が応えるためには、企業活動とITとの融合を継続的に進化（深化）させていくことが必要です。ビジネスプロセス＝ITシステムという現在、IT部門・技術者は「ITシステムを作るだけの人」で良いのでしょうか。

ITがビジネスのあらゆる場面を支えるインフラとなり、ユーザー部門がIT部門・技術者に期待する関わり方は、「支援」ではなく「一体」に、そして「結果の共有」まで、全工程をマネジメントすることが求められるようになりました。

また、経営戦略の具現化・課題解決のために、ITの知見を軸としながらも、ITのみの視点にとどまらず、ビジネスの視点で全体最適な解決策を提案することが期待されています。

ITという技術を社会やビジネスで役立たせるには、「現実の場」とITを結びつけ、協創することが不可欠です。ビジネス推進と一体となって、ビジネスでの結果の共有を実践するために、IT技術者は使命の拡大に合わせて学習の領域を拡げていくことが望まれています。



IT技術者に求められている学習領域はシフトしつつあります

確実なスキルアップを促す講座体系の特長

上記のような要請を踏まえ日立講習会では、システム計画系やプロジェクトマネジメント系の講座体系に、ビジネススキル系のコースを追加し、段階的に拡充を図って参りました。

ビジネススキルの修得は「なかなか効果が見えないもの」といわれます。

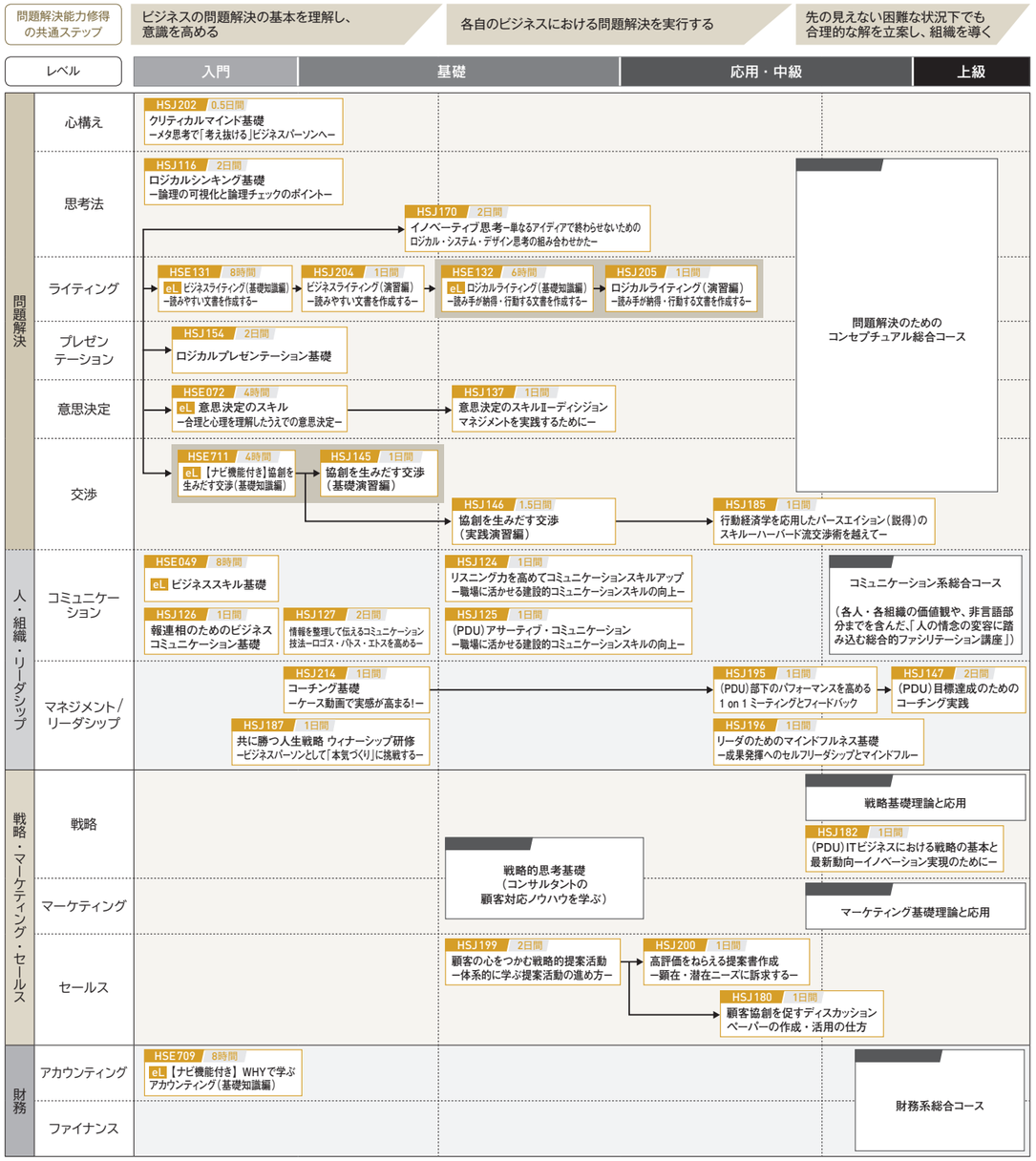
そこで日立講習会では、日立グループ向けのビジネス教育のノウハウを活用し、最短期間で修得できるよう、各項目の最終的な到達レベルを定義したうえで、その修得までに最適な時間を導き出しています。また、修得内容に一貫性を持たせつつ、必要最小限の項目で構成しています。

講座体系を活用したコースの選び方

次ページの講座体系では、ビジネス推進のスキルとして欠かせない四分野（問題解決、人・組織・リーダシップ、戦略・マーケティング・セールス、財務）を縦軸に採り、横軸にレベル感や難易度を表現しました。お客様内での階層別育成の実施状況や、対象者の方の経験年数・業務経験・職位と照らし合わせて、コースをご検討ください。

また、P.232以降では、ビジネススキルの講座群を目的別のコースフローで掲載しています。こちらでは、今必要なスキル修得に最適なコース選択のために、“速引き”でコースを見つけていただけるように整理しました。

実績豊富な日立講習会のビジネス／ヒューマン講座をご活用いただければ幸いです。



：順次提供予定コース　eL eラーニング

確実なスキルアップを促す4つの講座群

問題解決スキル
ビジネスパーソンが修得すべき論理的思考をベースとした問題解決のためのスキルを身につけることができます。

人・組織・リーダシップスキル
個人と組織が連携していくための真の対人能力を身につけ、「組織マネジメント」と「変革のリーダシップ」を修得できます。

戦略・マーケティング・セールススキル
顧客の環境変化や顧客との協創を考え、ビジネスアイデアを創造するスキルを修得できます。

財務スキル
アカウンティングの本質から、連結経営、ファイナンス、経営分析を用いた経営改革のスキルを修得できます。

● 文書作成、プレゼンテーション力を高めたい方

文書作成の基本を押さえたい／押さえさせたい

eラーニング×集合研修 推奨コースフロー ※1

音声なし・説明文有
HSE131 eラーニング
ビジネスライティング（基礎知識編）−読みやすい文書を作成する−
初心者にオススメ 8時間

前提eラーニングコースを受講いただく方が集合研修の効果が高まります

集合研修当日持参
事前課題
所要時間 50分

HSJ204 グループ演習
ビジネスライティング（演習編）−読みやすい文書を作成する−
1日間

事前課題：https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/elearning/BlendingLearning.html

eラーニング×集合研修 推奨コースフロー ※1

音声有・説明文なし
HSE132 eラーニング
ロジカルライティング（基礎知識編）−読み手が納得・行動する文書を作成する−
6時間

集合研修の内容を理解するために基本的には前提eラーニングコースを受講していただきます

集合研修当日持参
事前課題
所要時間 60〜120分

HSJ205 グループ演習
ロジカルライティング（演習編）−読み手が納得・行動する文書を作成する−
1日間

事前課題：https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/elearning/BlendingLearning.html

※1：必須知識をeラーニングで学習したうえで集合研修で演習に取り組むため、eラーニングと集合研修両方のご受講を推奨します。集合研修は事前課題に取り組むことが前提となります。

指導・添削のポイントが知りたい

HSJ153 グループ演習
リーダ向け「文書添削と指導法」
1日間

社内成果報告論文を書く

《オーダー研修》
社内成果報告論文の書き方

《オーダー研修》
成果報告論文向けプレゼンテーション研修

«オーダー研修»
ご希望に応じて個別開催いたします。
開催をご希望の方は、お問い合わせください。

プレゼンテーションの準備プロセスを知りたい

HSJ154 グループ演習
ロジカルプレゼンテーション基礎
2日間

音声有・説明文なし
HSE127 eラーニング
ロジカルプレゼンテーション基礎 −レクチャ編−
8時間

資料のデザインのポイントを知りたい

eラーニング×集合研修 推奨コースフロー ※1

音声有・説明文なし
HSE701 eラーニング
【ナビ機能付き】ビジュアル化技法の基本 −魅力的なビジュアル資料を作る−
4時間

前提eラーニングコースを受講いただく方が集合研修の効果が高まります

集合研修当日持参
事前課題
所要時間 30〜90分

HSJ155 マシン実習
プレゼンを生き生きさせるビジュアル化技法 −相手を惹きつけるための資料作成−
0.5日間

事前課題：https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/elearning/BlendingLearning.html

※1：必須知識をeラーニングで学習したうえで集合研修で演習に取り組むため、eラーニングと集合研修両方のご受講を推奨します。
集合研修は事前課題に取り組むことが前提となります。

● 論理的思考、問題発見・解決能力、発想力を高めたい方

論理的に考えるうえでの心構えを知りたい

HSJ202 グループ演習
クリティカルマインド基礎 −メタ思考で「考え抜ける」ビジネスパーソンへ−
0.5日間

問題解決のプロセス、論理的思考の技法を知りたい

HSJ116 グループ演習
ロジカルシンキング基礎 −論理の可視化と論理チェックのポイント−
初心者にオススメ 2日間

または

音声有・説明文なし
HSE126 eラーニング
ロジカルシンキング基礎 −論理の可視化と論理チェックのポイント−
8時間

音声なし・説明文有
HSE302 eラーニング
【スキル定着】相手を納得させる論理構成力を磨く
4時間

論理的にアイディアを発想する手順が知りたい

音声有・説明文なし
HSE037 eラーニング
TRIZで学ぶ発想のパターン −科学的な強制発想法−
4時間

音声有・説明文なし
HSE066 eラーニング
思考技法の概要
4時間

イノベーティブに新しいことを考え出す必要性・考え方を知りたい

HSJ163 グループ演習
クリエイティブシンキング
1日間

イノベーティブな問題解決の場合の手順、思考技法が知りたい

HSJ170 グループ演習
イノベーティブ思考 −単なるアイディアで終わらせないためのロジカル・システム・デザイン思考の組み合わせかた−
2日間

相互の関連する要因から成る問題の可視化が知りたい

HSJ157 グループ演習
システムシンキング基礎 −問題を構成する互いに影響しあう要素の「つながり」を可視化する−
2日間

問題解決の適用シーンを拡大するために、チーム・組織などのさまざまな立場（視座）で問題を捉えます

シーン別学習

戦略マップ /KPIツリーを作成することに応用する

PDU
HSJ181 グループ演習
(PDU)ソリューション提案のための経営と情報戦略−経営・事業・情報戦略のあるべき関係性−
1日間

音声有・説明文有：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし・説明文有：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP® 資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。

プレゼンテーションの構成づくりに応用する

HSJ154 グループ演習
ロジカルプレゼンテーション基礎
2日間

音声有＋説明文なし
HSE127 eラーニング
ロジカルプレゼンテーション基礎
−レクチャ編−
8時間

文書構成に応用する

eラーニング×集合研修 推奨コースフロー ※1

集合研修の内容を理解するために基本的には前提eラーニングコースを受講していただきます

音声有＋説明文なし
HSE132 eラーニング
ロジカルライティング（基礎知識編）−読み手が納得・行動する文書を作成する−
6時間

→ 集合研修当日持参 事前課題 所要時間 60〜120分

HSJ205 グループ演習
ロジカルライティング（演習編）−読み手が納得・行動する文書を作成する−
1日間

事前課題：https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/elearning/BlendingLearning.html

意思決定に応用する

音声有＋説明文なし
HSE036 eラーニング
QFD（品質機能展開）で学ぶマトリクス表の上手な使い方
−マトリクス表を使って「決める」を考える−
4時間

音声有＋説明文なし
HSE072 eラーニング
意思決定のスキル
−合理と心理を理解したうえでの意思決定−
4時間

HSJ137 グループ演習
意思決定のスキルII
−ディシジョンマネジメントを実践するために−
1日間

テストケースの作成に応用する

eラーニング×集合研修 推奨コースフロー ※2

音声なし＋説明文有
SPE016 eラーニング
実践！テストケース設計（テスト技法演習編）
8時間

→

SPJ051 マシン実習
実践！テストケース設計（テスト設計実践編）
1日間

ニーズ分析に応用する

Renewal
SPJ071 グループ演習
システムのニーズ分析
2日間

仮説をもとに顧客と検証する

HSJ180 グループ演習
顧客協創を促すディスカッションペーパーの作成・活用の仕方
1日間

※1：必須知識をeラーニングで学習したうえで集合研修で演習に取り組むため、eラーニングと集合研修両方のご受講を推奨します。
集合研修は事前課題に取り組むことが前提となります。
※2：必須知識をeラーニングで学習したうえで集合研修で演習に取り組むため、eラーニングと集合研修両方のご受講を推奨します。

音声有＋説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有＋説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし＋説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP® 資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。

サービスマインドを高めたい方

HSJ152 グループ演習
SEのためのサービスマインド醸成−顧客対応の質を高め、他社と差別化を図る−
1日間

社会人としての基本動作を身につけたい方

音声有＋説明文なし
HSE049 eラーニング
ビジネススキル基礎
初心者にオススメ 8時間

HSJ126 グループ演習
報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎
初心者にオススメ 1日間

音声なし＋説明文有
HSE131 eラーニング
ビジネスライティング（基礎知識編）−読みやすい文書を作成する−
初心者にオススメ 8時間

音声有＋説明文なし
HSE123 eラーニング
報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎
−レクチャ編−
4時間

コミュニケーションスキルを高めたい方

【コミュニケーションスキルの基礎】

HSJ116 グループ演習
ロジカルシンキング基礎
−論理の可視化と論理チェックのポイント−
初心者にオススメ 2日間

または

音声有＋説明文なし
HSE126 eラーニング
ロジカルシンキング基礎
−論理の可視化と論理チェックのポイント−
8時間

HSJ127 グループ演習
情報を整理して伝えるコミュニケーション技法
−ロゴス・パトス・エトスを高める−
2日間

音声なし＋説明文有 PDU
HSE117 eラーニング
(PDU)リーダ向け報連相
4時間

HSJ126 グループ演習
報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎
初心者にオススメ 1日間

音声有＋説明文なし
HSE123 eラーニング
報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎
−レクチャ編−
4時間

HSJ154 グループ演習
ロジカルプレゼンテーション基礎
2日間

音声有＋説明文なし
HSE127 eラーニング
ロジカルプレゼンテーション基礎
−レクチャ編−
8時間

Renewal PDU
HSJ212 グループ演習
(PDU)ストラクチャード・コミュニケーション−会議を空中戦にせず、図で共有する・伝える・理解する・考える−
1日間

HSJ197 グループ演習
自分を知り他者を知るコミュニケーションマネジメント
−DiSCモデルによる−
2日間

HSJ124 グループ演習
リスニング力を高めてコミュニケーションスキルアップ−職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上−
1日間

PDU
HSJ125 グループ演習
(PDU)アサーティブ・コミュニケーション−職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上−
1日間

音声有＋説明文なし
HSE124 eラーニング
リスニング力を高めてコミュニケーションスキルアップ
−レクチャ編−
4時間

音声有＋説明文なし
HSE125 eラーニング
アサーティブ・コミュニケーション
−レクチャ編−
4時間

HSJ188 レクチャ
わたしを活かすキャリアデザイン
−人生100年時代のキャリアを考える−
1日間

ネゴシエーションスキルを高めたい方

eラーニング×集合研修 推奨コースフロー ※1

集合研修の内容を理解するために前提eラーニングコースの受講を強く推奨します

音声有＋説明文なし
HSE711 eラーニング
【ナビ機能付き】
協創を生みだす交渉
（基礎知識編）
4時間

集合研修当日持参
事前課題
所要時間　30～40分

HSJ145 グループ演習
協創を生みだす交渉
（基礎演習編）
1日間

事前課題：https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/elearning/BlendingLearning.html

集合研修5営業日前にメール提出
事前課題
所要時間　30分

HSJ146 グループ演習
協創を生みだす交渉
（実践演習編）
1.5日間

事前課題：https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/elearning/BlendingLearning.html

HSJ185 グループ演習
行動経済学を応用したパースエイション（説得）のスキル
ーハーバード流交渉術を越えてー
1日間

ビジュアルデザインの基本スキルを身につけたい方

eラーニング×集合研修 推奨コースフロー ※1

前提eラーニングコースを受講いただく方が集合研修の効果が高まります

音声有＋説明文なし
HSE701 eラーニング
【ナビ機能付き】
ビジュアル化技法の基本
ー魅力的なビジュアル資料を作るー
4時間

集合研修当日持参
事前課題
所要時間　30～90分

HSJ155 マシン実習
プレゼンを生き生きさせる
ビジュアル化技法
ー相手を惹きつけるための資料作成ー
0.5日間

事前課題：https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/elearning/BlendingLearning.html

音声なし＋説明文有
HSE301 eラーニング
【スキル定着】
ビジュアルデザイン
4時間

音声なし＋説明文有
HSE708 eラーニング
【ナビ機能付き】
グラフィカルトレーニング
ー思考を図解で強化するー
2時間

※1：必須知識をeラーニングで学習したうえで集合研修で演習に取り組むため、eラーニングと集合研修両方のご受講を推奨します。集合研修は事前課題に取り組むことが前提となります。

音声有＋説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有＋説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし＋説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

リーダシップ能力を向上し、チームをマネジメントしたい方

【リーダシップスキルの基礎】

HSJ052 グループ演習
メンバーシップとチームワーク
ーチーム力向上のために
大切なことー
初心者にオススメ　1日間

音声有＋説明文なし
HSE122 eラーニング
メンバーシップとチームワーク
ーレクチャ編ー
4時間

音声なし＋説明文有
HSE128 eラーニング
リーダシップの原理・原則
4時間

HSJ187 グループ演習
共に勝つ人生戦略 ウィナーシップ研修ービジネスパーソンとして「本気づくり」に挑戦するー
1日間

Renewal
HSJ214 グループ演習
コーチング基礎
ーケース動画で実感が高まる！ー
1日間

音声有＋説明文なし
HSE121 eラーニング
コーチング基礎
ーレクチャ編ー
4時間

PDU
HSJ148 グループ演習
（PDU）会議／プロジェクトを円滑に進めるためのファシリテーション・スキル向上
2日間

音声なし＋説明文有
HSE097 eラーニング
コーチングマニュアル
1時間

HSJ196 グループ演習
リーダのためのマインドフルネス基礎ー成果発揮へのセルフリーダシップとマインドフルー
1日間

PDU
HSJ147 グループ演習
（PDU）目標達成のためのコーチング実践
2日間

PDU
HSJ195 グループ演習
（PDU）部下のパフォーマンスを高める1 on 1 ミーティングとフィードバック
1日間

事業、マーケティング戦略、セールスを学びたい方

PDU ※2
音声有＋説明文なし
HSE130 eラーニング
（PDU）知っておくべき
ビジネスモデルの基本
ー顧客のビジネスをより理解するためにー
17時間

PDU
HSJ181 グループ演習
（PDU）ソリューション提案のための経営と情報戦略ー経営・事業・情報戦略のあるべき関係性ー
1日間

PDU
HSJ182 グループ演習
（PDU）ITビジネスにおける戦略の基本と最新動向
ーイノベーション実現のためにー
1日間

※2：SBI大学院大学が提供する単科コースを一部カスタマイズしてご提供します。

サプライチェーンの基礎、経営を学びたい方

HSJ201 グループ演習
サプライチェーン経営（SCM）の世界標準APICSの認定講師と学ぶSCM基礎
0.5日間

HSJ203 グループ演習
体験型サプライチェーン経営（SCM）学習プログラム「The Fresh Connection」
2日間

《フロント営業活動のプロセスに添った学習フロー》

アカウントプラン → 引合前後 → RFP後 → 提案

HSJ180 グループ演習
顧客協創を促す
ディスカッションペーパーの
作成・活用の仕方
1日間

HSJ199 グループ演習
顧客の心をつかむ
戦略的提案活動
ー体系的に学ぶ提案活動の進め方ー
2日間

HSJ200 グループ演習
高評価をねらえる提案書作成
ー顕在・潜在ニーズに訴求するー
1日間

プロポーザルマネジメント準拠※

プレゼンテーションコースへ
ビジュアルデザインコースへ

※：プロポーザルマネジメントとは、一般社団法人日本プロポーザルマネジメント協会の登録商標です

● アカウンティングに関するスキルを高めたい方

音声有+説明文有 PDU
HSE709 eラーニング
【ナビ機能付き】
WHYで学ぶアカウンティング（基礎知識編）
初心者にオススメ 8時間

音声有+説明文有
HSE710 eラーニング
【ナビ機能付き】
業務に活かす簿記入門
初心者にオススメ 8時間

音声有+説明文有 PDU
HSE705 eラーニング
【ナビ機能付き】
(PDU)財務諸表の基礎知識
初心者にオススメ 4時間

● 中国古典を通して経営人間学を学びたい方

音声有+説明文なし PDU ※2
HSE115 eラーニング
(PDU)
中国古典に見る
指導者の条件
10時間

→

音声有+説明文なし PDU ※2
HSE113 eラーニング
(PDU)
「貞観政要」に学ぶ
リーダの心得
10時間

→

音声有+説明文なし PDU ※2
HSE114 eラーニング
(PDU)
「書経」に学ぶリーダの心得
10時間

→

音声有+説明文なし PDU ※2
HSE112 eラーニング
(PDU)
「韓非子」のリーダ学
10時間

音声有+説明文なし ※2
HSE109 eラーニング
経世済民の哲学としての
朱子学
10時間

音声有+説明文なし PDU ※2
HSE111 eラーニング
(PDU)
孫子の兵法を
現代に役立てる方法
10時間

音声有+説明文なし PDU ※2
HSE110 eラーニング
(PDU)
リーダに必要な人間力
三国志から学ぶリーダ学
10時間

※2：SBI大学院大学が提供する単科コースを一部カスタマイズしてご提供します。

● ビジネス教養を身につけたい方

音声有+説明文なし PDU ※2
HSE118 eラーニング
(PDU)よくわかるビジネス・ミクロ経済 1−経済学の思考、費用分析、市場経済、ゲーム理論−
6時間

→

音声有+説明文なし PDU ※2
HSE098 eラーニング
(PDU)よくわかるビジネス・ミクロ経済 2−不完全な情報、期待効用、行動経済学−
4時間

音声有+説明文なし PDU ※2
HSE099 eラーニング
(PDU)よくわかるマクロ経済 1−効率性と公平性、アダムスミスとケインズ−
4時間

→

音声有+説明文なし PDU ※2
HSE100 eラーニング
(PDU)よくわかるマクロ経済 2−GDP、為替、財政−
6時間

→

音声有+説明文なし PDU ※2
HSE101 eラーニング
(PDU)よくわかるマクロ経済 3−金融政策、ハイエク、フリードマン、シュンペーター−
4時間

→

音声有+説明文なし PDU ※2
HSE102 eラーニング
(PDU)よくわかるマクロ経済 4−景気循環、経済成長、格差社会と少子高齢化−
6時間

音声有+説明文なし PDU ※2
HSE103 eラーニング
(PDU)よくわかるファイナンス 1−投資の判断、リスクとリターン−
4時間

→

音声有+説明文なし PDU ※2
HSE104 eラーニング
(PDU)よくわかるファイナンス 2−企業価値評価−
4時間

→

音声有+説明文なし PDU ※2
HSE105 eラーニング
(PDU)よくわかるファイナンス 3−資金調達の方法−
6時間

→

音声有+説明文なし PDU ※2
HSE106 eラーニング
(PDU)よくわかるファイナンス 4−M&A、コーポレートガバナンス、財務計画−
6時間

音声有+説明文なし PDU ※2
GBE023 eラーニング
(PDU)中国ビジネスの鉄則
10時間

音声有+説明文なし PDU ※2
GBE024 eラーニング
(PDU)インドビジネスの鉄則
10時間

※2：SBI大学院大学が提供する単科コースを一部カスタマイズしてご提供します。

音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP® 資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

HSJ202 思考法
グループ演習 0.5日間
クリティカルマインド基礎 −メタ思考で「考え抜ける」ビジネスパーソンへ−
いくつかの業務経験を経た方に、よくあるシーンを取り上げ、考え抜けていないことを感じてもらい、どう行動すべきかを考えます。

到達目標 クリティカルに考える（考え抜く）とはどういうことか、理解できる。
対象者 ・日頃「考え抜く」ということが実践できていない方。
・問題解決を進めるうえで、ロジカルシンキングのスキルを理解しているものの有効活用できていない方。
前提知識 「ロジカルシンキング基礎−論理の可視化と論理チェックのポイント−」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
内 容 1. 仮説を持って具体的に考える
2. 範囲を広げて考える
3. 目的を中心に考える
4. クリティカルな態度で臨む議論
5. そして実務へ
備 考 ・このコースは、9:00−12:00の開催です。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

HSJ116 思考法
グループ演習 2日間
ロジカルシンキング基礎 −論理の可視化と論理チェックのポイント−
問題を解決する際や、相手の納得を得られるために伝える際に必要となる、論理的思考の標準的なプロセスと構成を学習します。日々の業務での出来事・経験と自己の成長と結び付けながら思考技術を学習します。

到達目標 ・論理展開の基本が理解できる。
・前提から結論までの論理のつなぎかたを理解できる。
・事実としての正しさを考える論理的問題解決のプロセスを理解できる。
・本当にそれは問題か、本当にそれは真の原因か、本当にそれは最もよい解決策か、本当にその解決策は実行して成果を生むかをクリティカルマインドを持って確認できる。
対象者 ・問題解決の標準的な進め方を身につけたい方。
・うまく相手に伝えられないと感じている方。
・仕事のやり方を概念的に見つめ直したい方。
前提知識 特に必要としません。
内 容 1. オリエンテーション
2. 論理的思考の基礎知識
(1)意味論と構文論 (2)論点と切り口
(3)問題解決のプロセス (4)仮説検証サイクル
(5)挙げる（拡散思考）/絞る（収束思考）/確かめる（事実による検証）
(6)クリティカルマインドでの問題解決
3. 構文論の基本
(1)演繹法のポイント (2)帰納法のポイント
4. 構文論力の向上の方法
(1)ピラミッドストラクチャによる論理構成の可視化
(2)「なぜそう言えるの-」と「だから何が言えるの-」
(3)「なぜ大事な論点が漏れていないと言えるの-」
5. 意味論力向上の方法
(1)選択肢を挙げる/絞り込む手法
(2)問題解決のプロセスへの論理思考の適用
6. そして実務へ
備 考 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
・このコースは、「ロジカルシンキング基礎」コースの内容改訂および名称を変更したものです。

HSE126 思考法
eラーニング 8時間
<eラーニング> ロジカルシンキング基礎 −論理の可視化と論理チェックのポイント−
問題を解決する際や、相手の納得を得られるために伝える際に必要となる、論理的思考の標準的なプロセスと構成を学習します。日々の業務での出来事・経験と自己の成長と結び付けながら思考技術を学習します。

到達目標 ・論理展開の基本が理解できる。
・前提から結論までの論理のつなぎかたを理解できる。
・事実としての正しさを考える論理的問題解決のプロセスを理解できる。
対象者 ・問題解決の標準的な進め方を身につけたい方。
・うまく相手に伝えられないと感じている方。
・仕事のやり方を概念的に見つめ直したい方。
前提知識 特に必要としません。
内 容 1. 論理的思考の基礎知識
(1)意味論と構文論 (2)論点と切り口
(3)問題解決のプロセス (4)仮説検証サイクル
(5)挙げる（拡散思考）/絞る（収束思考）/確かめる（事実による検証）
2. 構文論の基本
(1)演繹法のポイント
(2)帰納法のポイント
3. 構文論力の向上の方法
(1)ピラミッドストラクチャによる論理構成の可視化
(2)「なぜそう言えるの-」と「だから何が言えるの-」
(3)「なぜ大事な論点が漏れていないと言えるの-」
(4)「話の筋が通っているってどういうこと-」
4. 意味論力向上の方法
(1)選択肢を挙げる/絞り込む手法
(2)問題解決のプロセスへの論理思考の適用
備 考 ・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者お申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

HSE066 思考法
eラーニング 4時間
<eラーニング> 思考技法の概要
これまで以上に業務における「思考」のウェイトが増しています。このような状況に対応するため、古今東西のあらゆる思考技法を、発想と情報整理の技法を中心に広く浅く学習します。

到達目標 ・業務における思考の重要性を理解し、思考に時間を割く意識が持てる。
・各思考法の特長とそれぞれの適用シーンを理解できる。
・自己業務で有効な思考法を特定し、その技法の修得計画を立案できる。
対象者 ・思考法についてこれから学習をはじめる方。
・アイデア出しや情報を整理する必要があり、その手法を知りたい方。
前提知識 特に必要としません。
内 容 1. 発散技法
(1)ブレインストーミング
(2)ブレインライティングほか多数
2. 収束技法
(1)KJ法
(2)特性要因図ほか多数
3. 統合技法
(1)ケプナートリゴー法
(2)TOC思考プロセス
(3)バランススコアカード
(4)ロジックツリーほか多数
4. 態度技法
5. 修了試験
備 考 ・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

HSE036 思考法
eラーニング 4時間
<eラーニング>QFD（品質機能展開）で学ぶマトリクス表の上手な使い方 −マトリクス表を使って「決める」を考える−
QFD（品質機能展開）の手法を学習します。

到達目標 QFD（品質機能展開）の概要を説明できる。
対象者 「決める」プロセスを知りたい方、QFDに興味のある方。
前提知識 特に必要としません。
内 容 1. QFDの基礎知識
(1)QFDとは何か?
(2)QFDはどう役立つのか?
(3)QFDはどう進めるのか?
(4)品質って何?
2. 要求分析の手順とポイント
(1)要求品質の抽出
(2)品質企画の設定
(3)品質特性の抽出
(4)要求品質と品質特性の関連付け
(5)品質設計の設定
3. 考える手順の応用
(1)どんな横軸・縦軸が考えられるか?
(2)決めたいことには何があるか?
備 考 ・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

HSE037 思考法
eラーニング 4時間
<eラーニング> TRIZで学ぶ発想のパターン −科学的な強制発想法−
TRIZの手法を学習します。

到達目標 TRIZの概要を説明できる。
対象者 「発想する」プロセスを知りたい方、TRIZに興味のある方。
前提知識 特に必要としません。
内 容 1. TRIZの基礎知識
(1)TRIZとは何か?
(2)TRIZはどう役立つのか?
(3)TRIZはどう進めるのか?
2. 矛盾を定義する
(1)何を良くしたいのか?
(2)誰の究極の理想解なのか?
(3)何が妨げになるのか?
3. 解決策を考える
(1)40の発明原理
(2)矛盾解決マトリクス（48のパラメータ）
備 考 ・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

HSE302 思考法

eラーニング

4時間

<eラーニング>【スキル定着】相手を納得させる論理構成力を磨く

ロジックツリーやピラミッドストラクチャを何度も作って練習します。例えば、相手を納得させなければならない企画・提案の状況をケースとして設定し、その中で相手を納得させる論理構成をピラミッドストラクチャで作ります。

到達目標 ロジックツリーやピラミッドストラクチャに対して自分なりの活用シーン、活用の型をイメージできるようになる。

対象者
・営業・ITエンジニア（若手・中堅）の方。
・ロジカルシンキング基礎を学び、ロジックツリーやピラミッドストラクチャを理解したが、練習の機会が研修だけで実務に適用するには不安のある方。
・もっとさまざまな問題を解いて活用に慣れたい方。

前提知識 「ロジカルシンキング基礎ー論理の可視化と論理チェックのポイントー」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 論拠をつなげて主張をとおす
2. 論拠を事実で支える
3. 結論を支える枠組みを考える
4. 結論を納得させるうえで何が言えればよいかを考える
5. 何が言えればよいか、を構造的に整理する

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

HSE131 ライティング

eラーニング

8時間

<eラーニング>ビジネスライティング（基礎知識編）ー読みやすい文書を作成するー

読み手に正しく理解していただくためのビジネス文書の書き方のポイントを学習します。

到達目標 読み手を意識した分かりやすい文書を作成するためのポイントを説明できる。

対象者 ビジネス文書の基本を学びたい新入社員の方、またはビジネス文書作成スキルを向上させたい担当クラスの方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. ビジネス文書とは
2. 文書作成サイクル
 (1)文書作成サイクル
 (2)文書作成前の準備
 (3)文書の作成
 (4)文書のレビュー
3. ビジネスシーンに応じた文書の書き方
 (1)メールの書き方（社外/社内）
 (2)議事録の書き方
 (3)報告書の書き方
4. 修了試験

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・このコースは、「eラーニング×集合研修」の推奨コースです。
・詳細につきましては、「eラーニング×集合研修」推奨コース学習要領をご覧ください。
https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/elearning/BlendingLearning.html
・説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・このコースは、2019年度下期までの「文書作成力向上トレーニング（基礎知識編）」eラーニングコースと同じものです。

HSJ204 ライティング

グループ演習

1日間

ビジネスライティング（演習編）ー読みやすい文書を作成するー

「ビジネスライティング（基礎知識編）ー読みやすい文書を作成するー」eラーニングコースで文書の基本を学習した後、演習を通して、ビジネス文書の作成ポイントを学習します。文書作成力の向上には、セルフレビュー力の向上がポイントとの考えのもと、演習では、自己レビュー・他者レビューを行い、読み手視点でレビューするマインドおよびレビュー観点のポイントを学習します。演習の題材としては、日頃よく扱うメール・議事録・報告書を扱います。

到達目標
・文書作成サイクルを使って効率よく文書を作成できる。
・読み手を意識した分かりやすい文書を作成できる。

対象者 ビジネス文書の基本を学びたい新入社員の方、またはビジネス文書作成スキルを向上させたい担当クラスの方。

前提知識 「ビジネスライティング（基礎知識編）ー読みやすい文書を作成するー」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. ビジネス文書とは
2. 文書作成サイクル
 (1)文書作成サイクル
 (2)文書作成前の準備
 (3)文書の作成
 (4)文書のレビュー
3. ビジネスシーンに応じた文書の書き方
 (1)メールの書き方
 (2)議事録の書き方
 (3)報告書の書き方

備 考
・このコースは、「eラーニング×集合研修」の推奨コースです。
・詳細につきましては、「eラーニング×集合研修」推奨コース学習要領をご覧ください。
https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/elearning/BlendingLearning.html
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
・このコースは、2019年度下期までの「文書作成力向上トレーニング（演習編）」コースと同じものです。
当日は、以下をご持参ください。
・事前課題
・鉛筆またはシャープペンシル
・消しゴム
・赤ボールペン

HSE132 ライティング

eラーニング

6時間

<eラーニング>ロジカルライティング（基礎知識編）ー読み手が納得・行動する文書を作成するー

ロジカルシンキングの基礎コースで学んだ論理構造化の手法を使って論理的な文書作成法を学びます。また、読み手が理解しやすい文書作成のスキルを実習を通して身につけます。

到達目標 ビジネス文書の基本とロジカルライティングの重要性を理解し、論理的な文書作成に必要な知識を修得できる。

対象者 読み手を納得・行動させる論理的な文書を作成したい方。

前提知識 「ロジカルシンキング基礎ー論理の可視化と論理チェックのポイントー」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. イントロダクション
 (1)研修の目的　(2)文書が分かりにくい人の共通点
 (3)分かりにくい文書の特徴
 (4)文書の目的と読み手に期待する行動
 (5)誰に伝えるのか
2. ロジカルライティングとは
 (1)ロジカルライティングの目的
 (2)ロジカルライティングに必要なマインド
 (3)ロジカルライティングに向けて
3. メッセージの論理構造化
 (1)考える時にやること
 (2)テーマに対する「問い」の把握
 (3)「問い」に対する答えを決める
 (4)結論・主張に対する根拠を示す
 (5)ストラクチャの要約文は明瞭であること
 (6)ロジックの展開を考える【帰納法】
 (7)ロジックの展開を考える【演繹法】
 (8)帰納法と演繹法（まとめ）
4. 論理の文書化とビジュアル化
 (1)論理の文書化　(2)メッセージ構造をそのまま文書へ
 (3)文書全体のレイアウト　(4)文書化のポイント
 (5)文書のビジュアル化
 (6)レイアウト（ビジュアル）のチェックポイント
5. 分かりやすく書くための基本ルール
 (1)分かりやすく書くための基本ルール
 (2)前後関係を明確にする
 (3)文書のチェックポイント
6. まとめ

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・このコースは、「eラーニング×集合研修」の推奨コースです。
・詳細につきましては、「eラーニング×集合研修」推奨コース学習要領をご覧ください。
https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/elearning/BlendingLearning.html
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・このコースは、2019年度下期までの「ロジカルライティング（基礎知識編）」eラーニングコースと同じものです。

HSJ205 ライティング

グループ演習

1日間

ロジカルライティング（演習編）ー読み手が納得・行動する文書を作成するー

「ロジカルライティング（基礎知識編）ー読み手が納得・行動する文書を作成するー」eラーニングコースで学んだ論理構造化の手法を使って論理的な文書作成法を学びます。また、読み手が理解しやすい文書作成のスキルを実習を通して身につけます。

到達目標 ビジネス文書の基本とロジカルライティングの重要性を理解し、ライティング実習を通して、論理的な文書を作成できる。

対象者 読み手を納得・行動させる論理的な文書を作成したい方。

前提知識
・「ロジカルライティング（基礎知識編）ー読み手が納得・行動する文書を作成するー」eラーニングコースを修了し、論理的思考に基づきピラミッドストラクチャを作成できること、または同等の知識があること。
・事前課題にあるピラミッドストラクチャの作成ならびに提出ができていること。

内 容
1. イントロダクション
2. ロジカルライティングとは
3. メッセージの論理構造化（振り返り）
 (1)【演習1】事前課題で作成したピラミッドストラクチャのロジックチェック
4. 論理の文書化とビジュアル化（振り返り）
5. 分かりやすい文書の基本ルール
 (1)【演習2】提案書の作成
 (2)【演習3】文書の相互添削
 (3)【演習4】添削結果のブラッシュアップ
6. まとめ

備 考
・このコースは、「eラーニング×集合研修」の推奨コースです。
・詳細につきましては、「eラーニング×集合研修」推奨コース学習要領をご覧ください。
https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/elearning/BlendingLearning.html
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
・このコースは、2019年度下期までの「ロジカルライティング（演習編）」コースと同じものです。

HSJ153 ライティング

グループ演習

1日間

リーダ向け「文書添削と指導法」

技術文書の指導には、部下の文書の悪い点を論理的に指摘し、改善策を提示する必要があります。指導者自身の持つ文書技術を体系的に整理し、指導できるための知識と技術について学習します。

到達目標
・文書の役割と作成法の考え方について説明できる。
・文書目的に応じた評価方法を体系について説明できる。
・文書添削のポイントを修得し、適切な文書添削ができる。

対象者 業務経験5年以上で、文書の作成方法を指導・添削する立場にあるリーダの方。

前提知識 日本語文書を業務で日常的に作成していること。

内 容
1. 文書作成技法の振り返り
 (1)文書の役割と文書作成法の考え方
 (2)文書作成手順と技法
2. 文書添削と指導法
 (1)文書力向上のための要件
 (2)提案文書の添削と指導ポイント
 (3)報告文書の添削と指導ポイント
 (4)論文添削と指導ポイント

備 考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

HSJ154 プレゼンテーション

グループ演習

2日間

ロジカルプレゼンテーション基礎

プレゼンテーションに必要な4種のスキル（ストラクチャリング、ストーリーデザイン、ビジュアライゼーション、デリバリー）のポイントと準備のプロセスを学習します。なかでも、このコースはストーリーデザインを重視したコースです。紙芝居はなぜ特別な準備をしなくても、能力を有さなくても相手を引き込めるのでしょうか。それは裏面にストーリーデザインがしっかりと準備されているからに他なりません。演習では、紙芝居の裏面をめざしたストーリーデザインの作り込み方をワークシートを用いて学習します。また、デリバリーについては、発表練習をビデオ撮影し、その再生を通して改善点・改善方法を具体的に学習します。

到達目標
・プレゼンテーションの基本概念を理解できる。
・プレゼンテーションに不可欠な4種のスキルのポイントを理解できる。
・プレゼンテーション準備のプロセスを理解できる。

対象者 プレゼンテーション能力を高めたい方。例えば、社内での業務・学習成果の報告会を控えている、社内での改善提案・企画のプレゼンテーションを控えている、プレゼンテーションの学習を通して相手に分かりやすく伝え、素早く納得を得るスキルを磨きたい方。

前提知識 「ロジカルシンキング基礎ー論理の可視化と論理チェックのポイントー」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. プレゼンテーションの基礎知識
 (1)ビジネスプレゼンテーションの目的は何か？
 (2)納得に必要な3要素（相手の問いを定義する、問いにダイレクトな答えを提示する、答えの納得に足る話の筋と事実を示す）
 (3)プレゼンテーション準備のプロセス（相手・相手の状況・問いの分析と定義、論理構成、ストーリーの作成、資料作成、リハーサル）
 (4)プレゼンテーションに必要な4種のスキル（ストラクチャリング、ストーリーデザイン、ビジュアライゼーション、デリバリー）
2. 定義分析フェーズのポイント
 (1)相手は誰で、どんな状況下におり、何を望んでいるのか？
 (2)目的達はプレゼンテーションによって何を得たいのか？
3. 論理構成のポイント
 (1)どうすれば論理構成を可視化できるのか？
 (2)どうすれば論理構成をを確にチェックできるのか？
4. ストーリーを作るポイント
 (1)どうすれば相手を聞く気にさせられるのか？
 (2)どうすれば分かりやすい流れになるのか？
 (3)どのすれば行動する気にさせられるのか？
 (4)どのようにストーリー計画を可視化するのか？
5. 資料作成のポイント
 (1)どうすれば整理整頓できるのか？
 (2)図表はどうやって決めるのか？
6. プレゼンターの振る舞いのポイント
 (1)どうすれば相手の目に訴えられるのか？
 (2)どうすれば相手の耳に訴えられるのか？

備 考
・プレゼンテーションの一連の準備プロセスが学習の中心です。論理構成について深く学びたい方は「ロジカルシンキング基礎ー論理の可視化と論理チェックのポイントー」コースを、資料作成について深く学びたい方は「ビジュアルデザイン」のコース群をご受講いただくことをお薦めいたします。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

HSE127 プレゼンテーション

eラーニング

8時間

<eラーニング>ロジカルプレゼンテーション基礎ーレクチャ編ー

プレゼンテーションに必要な4種のスキルのポイントと準備のプロセスを学習します。グループ演習を通して理解を深めたい方は、集合研修「ロジカルプレゼンテーション基礎」コースの受講をお薦めします。

到達目標
・プレゼンテーションの基本概念を理解できる。
・プレゼンテーションに不可欠な4種のスキルのポイントを理解できる。
・プレゼンテーション準備のプロセスを理解できる。

対象者 プレゼンテーション能力を高めたい方。

前提知識 「ロジカルシンキング基礎ー論理の可視化と論理チェックのポイントー」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. プレゼンテーションの基礎知識
 (1)ビジネスプレゼンテーションの目的は何か？
 (2)納得に必要な3要素（相手の問いを定義する、問いにダイレクトな答えを提示する、答えの納得に足る話の筋と事実を示す）
 (3)プレゼンテーション準備のプロセス（相手・相手の状況・問いの分析と定義、論理構成、ストーリーの作成、資料作成、リハーサル）
 (4)プレゼンテーションに必要な4種のスキル（ストラクチャリング、ストーリーデザイン、ビジュアライゼーション、デリバリー）
2. 定義分析フェーズのポイント
 (1)相手は誰で、どんな状況下におり、何を望んでいるのか？
 (2)目的達はプレゼンテーションによって何を得たいのか？
3. 論理構成のポイント
 (1)どうすれば論理構成を可視化できるのか？
 (2)どうすれば論理構成をを確にチェックできるのか？
4. ストーリーを作るポイント
 (1)どうすれば相手を聞く気にさせられるのか？
 (2)どうすれば分かりやすい流れになるのか？
 (3)どのすれば行動する気にさせられるのか？
 (4)どのようにストーリー計画を可視化するのか？
5. 資料作成のポイント
 (1)どうすれば整理整頓できるのか？
 (2)図表はどうやって決めるのか？
6. プレゼンターの振る舞いのポイント
 (1)どうすれば相手の目に訴えられるのか？
 (2)どうすれば相手の耳に訴えられるのか？
7. その他のポイント
 (1)どうすれば質疑応答で信頼を勝ち取れるのか？
 (2)どうすれば緊張を和らげられるのか？

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

HSE708 プレゼンテーション

eラーニング

2時間

<eラーニング>【ナビ機能付き】グラフィカルトレーニングー思考を図解で強化するー

情報の伝達は速く正確であることが求められます。情報の可視化は「考えや情報をうまく伝えられない」「伝わるまでに時間がかかる」という悩みを解決するための技術の一つです。このコースでは、「思考を視覚化するヒント」「図解の基本的なパターン」「美しく分かりやすい図解を作るための基本セオリー」のポイントを中心として、整理され、伝わりやすい情報の可視化技法の基本手法を学習します。

到達目標
・文章や口頭の説明では伝えにくいような概念を、ダイレクトにイメージとして伝達するためのコツを理解できるようになる。
・自分なりの実践の仕方を身につけられるようになる。

対象者
・資料（Webページや提案資料など）を作成するさまざまな場面で、言葉で表現すると伝わりにくい概念などを、ダイレクトに伝わるイメージを美しく、かつ一目で伝わるようにしたい方。
・基本となる知識を短時間で手軽に知りたい、または改めて整理したい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. オリエンテーション
2. 情報を可視化する意義
3. 情報を図で整理する基本
 (1)情報整理のコツ　(2)演習：情報を整理する
4. 情報を図で表現する基本
 (1)図で可視化するための基本要素
 (2)要素を組み合わせた基本パターン
 (3)応用パターン　(4)表とグラフ
 (5)演習：情報に最適な図を選ぶ
5. Officeアプリケーションを用いたグラフィック化
 (1)文字と数字　(2)位置揃え
 (3)囲みと余白　(4)表とグラフ
 (5)演習：Excelでグラフィックを活用する
 (6)演習：Wordでグラフィックを活用する
 (7)演習：PowerPointでグラフィックを活用する
6. 総合演習
7. 修了試験

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

HSE701 プレゼンテーション

eラーニング

4時間

<eラーニング>【ナビ機能付き】ビジュアル化技法の基本ー魅力的なビジュアル資料を作るー

プレゼンテーションのビジュアル資料に不可欠なビジュアル要素として、図解、レイアウト、色彩、ユニバーサルデザインの基本を学習します。

到達目標 ビジュアル化技法とは何かを学び、それぞれの要素技術を説明することができる。

対象者 ビジュアル化技法に関心のある方、または集合研修「プレゼンを生き生きさせるビジュアル化技法ー相手を惹きつけるための資料作成ー」コース（HSJ155）の受講を予定している方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. レイアウトの基本
 (1)代表的なレイアウト　(2)余白の効果
 (3)レイアウトを美しく見せるコツ
2. 図解の基本
 (1)図解のプロセス　(2)読解力を養う
 (3)内容を整理する
3. 色彩の基本
 (1)色の構成 (2)色の三属性
 (3)色の表現
4. ユニバーサルデザインの基本
 (1)ユニバーサルデザインとは
 (2)UDによる色の考え方 (3)配色の工夫
5. 修了試験

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、「eラーニング×集合研修」の推奨コースです。
・集合研修「プレゼンを生き生きさせるビジュアル化技法ー相手を惹きつけるための資料作成ー」コース（HSJ155）の前提となる知識部分をeラーニング化したものです。集合研修とあわせてのご受講を推奨します。
・詳細につきましては、「eラーニング×集合研修」推奨コース学習要領をご覧ください。
https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/elearning/BlendingLearning.html
・このコースは、旧「プレゼンを生き生きさせるビジュアル化技法ー相手を惹きつけるための資料作成ー」コース（集合研修：1日間）と学習内容が重複します。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

HSJ155 プレゼンテーション

マシン実習

0.5日間

プレゼンを生き生きさせるビジュアル化技法ー相手を惹きつけるための資料作成ー

ビジュアル化は、プレゼンテーションを成功させるための重要な技術の一つです。見やすく、訴求力の高い資料を作成するためのビジュアル化技法を、演習主体で実践、学習します。

到達目標
・ビジュアル化技法とは何かを学び、それぞれの要素技術を説明することができる。
・見やすい資料の作成ポイントを理解し、実践に活かすことができる。

対象者 ビジュアル化技法を学び、訴求力の高い資料を作成したい方。

前提知識 PowerPointの操作ができること。【ナビ機能付き】ビジュアル化技法の基本ー魅力的なビジュアル資料を作るー」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. イントロダクション
2. 事前課題の振り返りとポイントの解説
 (1)対比の効果
 (2)写真やイラストの活用
3. ビジュアル化技法の実践
 (1)課題の説明
 (2)課題取り組み
4. 振り返りとフィードバック
5. クロージング

備 考
・このコースは、「eラーニング×集合研修」の推奨コースです。
・「【ナビ機能付き】ビジュアル化技法の基本ー魅力的なビジュアル資料を作るー」eラーニングコース（HSE701）とあわせてのご受講を推奨します。eラーニングでは、このコースの前提となる基礎知識を修得します。
・このコースでは、事前課題にお取り組みいただきます。当社サイトよりファイルをダウンロードいただき、課題にお取り組みください。
・詳細につきましては、「eラーニング×集合研修」推奨コース学習要領をご覧ください。
https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/elearning/BlendingLearning.html
・受講後3ヶ月間で事後アドバイスサービスを1回受けられます。

HSE301 プレゼンテーション

eラーニング

4時間

<eラーニング>【スキル定着】ビジュアルデザイン

提案などの場において、内容を伝達するのに資料を活用する機会は多いです。その資料がビジュアル化されていることで、よりわかりやすく迅速に、かつ誤解なく、相手に伝達することができます。このコースでは、ビジュアル化技法の問題に繰り返し取り組むことで、知識としてのビジュアル化技法からより実践的なポイントを押さえたビジュアル化技法を身につけます。

到達目標
・わかりやすいビジュアル資料の作成ポイントを踏まえ、自信を持って実践できる。
・実現したい効果を狙い、適切な方法でビジュアル資料を作成できる。
・他者の作成した資料も、具体的な効果とそれに到達するための方法を踏まえ、適切にレビューできる。

対象者
・ITエンジニア（若手・中堅）の方。
・提案などでビジュアル資料の作成が必要だが、これまでは我流で行ってきており、改めて効果的な資料作成ポイントを知りたい方。
・資料作成はひととおりできるが、それがわかりやすさという点で効果的なものであるか自信が持てない方。
・見やすい・わかりやすい資料を作成したいが、何をポイントにしたらよいかわからない方。

前提知識 ビジュアル化技法について、基本的な知識があること。

内 容
1. レイアウトドリル
2. 色彩ドリル
3. 図解ドリル
4. 表ドリル
5. グラフドリル

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

HSE072 意思決定

eラーニング 4時間

<eラーニング> 意思決定のスキル －合理と心理を理解したうえでの意思決定－

ロジカルシンキングを踏まえ、ビジネス上の意思決定の場面において必要な基本概念とスキルを学習できます。意思決定において無意識のうちに行ってしまう錯誤のパターンをクイズ形式で解きながら体感します。

到達目標
- 意思決定の際に無意識に行ってしまう勘違いを理解し「思考のワナ」に陥ることなく正しい意思決定ができる。
- 阻害要因などを取り除き、状況を整理してから意思決定を行うことができる。
- デシジョンツリーを使って合理的な意思決定の考え方を理解できる。

対象者 決めることに毎回迷いのある方。何かを決める際に一貫性がないと思われる方。何かを決めた後によく後悔のある方。

前提知識 「ロジカルシンキング基礎－論理の可視化と論理チェックのポイントー」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 意思決定における心理的側面
   (1)ヒューリスティックによるバイアス
   (2)フレーミングによるバイアス
2. 合理的意思決定の考え方
   (1)デシジョンツリーの作り方
   (2)期待値とミニマックス

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

HSJ137 意思決定

グループ演習 1日間

意思決定のスキルⅡ －ディシジョンマネジメントを実践するために－

ロジカルシンキングを踏まえ、ビジネス上の意思決定の場面において必要な基本概念とスキルを学習します。

到達目標
- 意思決定思考について理解しビジネスにおけるさまざまな場面で意思決定ができる。
- ビジネス人生相談のような卑近な事例から事業戦略課題に関する戦略的意思決定まで、事例に即して意思決定思考を活用できる。

対象者 3-7年程度の業務経験がある方。

前提知識 「ロジカルシンキング基礎－論理の可視化と論理チェックのポイントー」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 意思決定思考導入編
2. 事例紹介1：ビジネス人生相談
3. 事例紹介2：事業戦略課題のケース
4. 実課題への取り組みワークショップ
5. まとめ

備 考
- このコースでは、事前課題にお取り組みいただきます。当社サイトよりファイルをダウンロードいただき、課題にお取り組みください。
  https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/pre-problem.html
- 学習開始日15営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

HSE711 交渉

eラーニング 4時間

<eラーニング>【ナビ機能付き】協創を生みだす交渉（基礎知識編）

ビジネスにおける交渉の位置づけや、交渉を合理的な合意に導くプロセスを、交渉研究によって培われた基礎理論に基づき学習します。

到達目標
- 交渉相手との状況からどのようにミッション、ZOPA、BATNAを設定するかを理解できる。
- 交渉相手と自分を取り巻く環境分析を行い図式化する必要性を理解できる。
- 交渉で使われる心理テクニックやコンフリクトマネジメントのポイントを理解できる。

対象者 交渉の基礎知識を修得したい方、または集合研修「協創を生みだす交渉（基礎演習編）」コース（HSJ145）、「協創を生みだす交渉（実践演習編）」コース（HSJ146）の受講を予定している方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. イントロダクション
2. 交渉とは
   (1)交渉の原則　(2)交渉のタイプ
   (3)ロジカルシンキングと発想力
3. 交渉のプロセス
   (1)プロセス全体像　(2)交渉準備
   (3)交渉の実施　(4)合意後のアクション
4. 交渉の心理テクニック
5. コンフリクトマネジメント
6. まとめ
7. 修了試験

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須)
- このコースは、「eラーニング×集合研修」の推奨コースです。
- 集合研修「協創を生みだす交渉（基礎演習編）」コース（HSJ145）、および「協創を生みだす交渉（実践演習編）」コース（HSJ146）の前提となる共通の基礎知識部分をeラーニング化したものです。集合研修とあわせてのご受講を推奨します。
- 詳細につきましては、「eラーニング×集合研修」推奨コース学習要領をご覧ください。
  https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/elearning/BlendingLearning.html
- このコースは、旧「協創を生みだす交渉（基礎編）」コース（集合研修）と学習内容が重複します。集合研修をご受講済みの方は、申し込まれないようご注意ください。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

HSJ145 交渉

グループ演習 1日間

協創を生みだす交渉（基礎演習編）

模擬交渉を通して、交渉研究による基礎理論とロジカルシンキングを活用した基礎的な問題解決型交渉スキルを学習します。模擬交渉は1対1の社内交渉であり、日立グループで協創を生みだした実例から開発したケースを用いて実施します。

到達目標
- 交渉相手との状況からミッション、ZOPA、BATNAを設定できる。
- 交渉相手と自分を取り巻く環境分析を行い図式化できる。
- 比較的対立の少ない状況において、交渉シナリオに基づき協創を生みだす交渉ができる。

対象者 交渉を基礎から学びたい方。

前提知識 「【ナビ機能付き】協創を生みだす交渉（基礎知識編）」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 事前学習の振り返り
2. 演習1
   (1)クリエイティブオプションのためのストレッチトレーニング
   (2)トレーニングの振り返り
3. 演習2
   (1)利害関係者のマッピングトレーニング
4. 模擬交渉「共通ミッション達成に向け部門間で役割分担と稼動調整をする」
   (1)模擬交渉の進め方
   (2)事前準備と作戦会議
   (3)模擬交渉実施（1対1交渉）
   (4)振り返りとまとめ

備 考
- このコースは、「eラーニング×集合研修」の推奨コースです。
- 「【ナビ機能付き】協創を生みだす交渉（基礎知識編）」eラーニングコース（HSE711）とあわせてのご受講を推奨します。eラーニングでは、このコースの前提となる基礎知識を修得します。
- このコースには事前課題がありますので、ご受講前にお取り組みください。
- 詳細につきましては、「eラーニング×集合研修」推奨コース学習要領をご覧ください。
  https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/elearning/BlendingLearning.html
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

HSJ146 交渉

グループ演習 1.5日間

協創を生みだす交渉（実践演習編）

「協創を生みだす交渉（基礎演習編）」コースの上位コースとして、より複雑な状況の模擬交渉を通して、交渉学の基礎理論およびロジカルシンキングを活用した問題解決型交渉を学習します。受講者自身のケースを題材に、交渉学の基礎理論を振り返ったうえで、より複雑な状況での交渉に臨むなど、基礎演習編で得た交渉スキルをさらに向上させるポイントを学習します。なお、模擬交渉は日立グループで協創を生みだした実例から開発したケースを用いて3回実施します。そのうち1回は2対2の社外交渉を扱うものです。

到達目標
- 交渉相手との状況からミッション、ZOPA、BATNAを設定できる。
- 交渉相手と自分を取り巻く複雑な環境を分析、図式化し、把握できる。
- 複雑な状況において、交渉シナリオに基づいて協創を生みだす交渉ができる。

対象者 入社3年次以上で、ご自身の交渉力を更に強化したい方、コンフリクト（意見の対立や衝突）交渉に直面することが多い方。

前提知識 「ロジカルシンキング基礎－論理の可視化と論理チェックのポイントー」コース/eラーニングコースおよび「【ナビ機能付き】協創を生みだす交渉（基礎知識編）」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 事前学習の振り返り
2. 事前課題の共有
3. 模擬交渉1（1対1の社内交渉）
   (1)共通ミッション達成に向け部門間で役割分担と稼動調整をする
4. クリエイティブオプション、利害関係者のマッピング
5. 模擬交渉2（1対1の社内交渉）
   (1)問題が起きた状況下で部門間の利害を調整し協力して問題解決する
6. 模擬交渉3（2対2の社外交渉）
   (1)顧客との間に生じたコンフリクトを解消する

備 考
- このコースは、「eラーニング×集合研修」の推奨コースです。
- このコースでは、事前課題にお取り組みいただきます。
- 学習開始日15営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。当社サイトよりファイルをダウンロードいただき、課題にお取り組みください。
- 詳細につきましては、「eラーニング×集合研修」推奨コース学習要領をご覧ください。
  https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/elearning/BlendingLearning.html
- 「【ナビ機能付き】協創を生みだす交渉（基礎知識編）」eラーニングコース（HSE711）とあわせてのご受講を推奨します。eラーニングでは、このコースの前提となる基礎知識を修得します。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

HSJ185 交渉

グループ演習 1日間

行動経済学を応用したパースエイション（説得）のスキル －ハーバード流交渉術を越えて－

ハーバード流の基本を押えつつ、人間の不合理な行動を理解した説得のスキルを身につけます。協調戦略や損失回避・期間選択・心理会計といった行動経済学上のテーマを活用しながら、役割を交代しつつロールプレイを実施し、体験的に交渉力を改善します。

到達目標
- 交渉においてうまく行かないと感じていた隘路の突破口が開ける。
- ハーバード流交渉学の真価を理解することができる。

対象者 どなたでも受講できます。交渉の基礎コースを受講済みであることが望ましい。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. はじめに
   (1)ハーバード流交渉学がめざすもの
   (2)パースエイション（説得）のスキルと行動経済学
2. ロールプレイ1
   (1)理論と実践
   (2)ロールプレイ
   (3)振り返り
3. ロールプレイ2
   (1)理論と実践
   (2)ロールプレイ
   (3)振り返り
4. ロールプレイ3
   (1)理論と実践
   (2)ロールプレイ
   (3)振り返り
5. まとめ

備 考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

HSE049 コミュニケーション

eラーニング 8時間

<eラーニング> ビジネススキル基礎

ビジネスパーソンに必須のスキルである、ビジネスマナー、報連相、ビジネス文書、プレゼンテーションの基本を学習します。プレゼンテーションはデリバリーを中心に紹介します。

到達目標 ビジネスパーソンとしての基本的なスキルを修得できる。

対象者
- ビジネスパーソンとしての基本的なスキルを修得したい新人、若手の方。
- 基本的なビジネススキルを振り返りたい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. ビジネスマナーの基本
   (1)ビジネスマナーの目的
   (2)人の印象を決める要素とは
   (3)あいさつのポイント　(4)身だしなみのポイント
   (5)言葉遣いのポイント　(6)電話応対のマナー
   (7)顧客訪問のマナー
   (8)日々の業務マナーとルール
2. 報連相の基本
   (1)報連相の目的　(2)報告・連絡・相談とは
   (3)指示の受け方
   (4)報告・連絡・相談の手段
   (5)報告のタイミングとポイント
   (6)連絡のタイミングとポイント
   (7)相談のタイミングとポイント
   (8)効果的な報連相のために意識するポイント
3. ビジネス文書の基本
   (1)ビジネス文書が必要な理由
   (2)ビジネス文書の作成手順
   (3)事前準備のポイント　(4)作成時のポイント
   (5)分かりやすく書くためのポイント
   (6)簡潔に書くためのポイント
   (7)丁寧に書くためのポイント
   (8)ビジネス文書の基本構造
   (9)レビュー時のポイント　(10)メール作成のポイント
4. プレゼンテーションの基本
   (1)プレゼンテーションの基礎知識
   (2)デリバリーとは　(3)目に訴えるポイント
   (4)耳に訴えるポイント
   (5)その他テクニック的なポイント

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

HSJ126 コミュニケーション

グループ演習 1日間

報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎

社会人として身につけたい報連相（報告・連絡・相談）の重要性を、グループによる論議やロールプレイを行うことで学習します。

到達目標
- 効率的な伝え方に必要なスキルを高められる。
- 報連相の重要なポイントをふまえ、質の高いアウトプットで仕事ができる。

対象者 新入社員、または若手社員の方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 報連相の基本ポイント
   (1)なぜ報連相が必要なのかーPDCAサイクル
   (2)報連相とは
   (3)仕事における報連相のサイクル
   (4)報告
   (5)連絡
   (6)相談
2. コミュニケーションの基本とポイント
   (1)コミュニケーションとは何か
   (2)コミュニケーションの手段
   (3)職場で求められるコミュニケーション能力
   (4)仕事に対する基本姿勢
   (5)言語と非言語コミュニケーション
3. 話し方
   (1)ONEWAYでなくTWOWAYを心がける
   (2)話し方のポイント
   (3)話す技術
4. 聴き方
   (1)聴き方のポイント
   (2)聴く技術
   (3)良い聴き手となるために
   (4)質問

備 考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

HSE123 コミュニケーション

eラーニング 4時間

<eラーニング>報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎 －レクチャ編－

社会人として身につけたい報連相（報告・連絡・相談）の重要性を理解します。このコースは演習を含みません。演習を通して理解を深めたい方は、集合研修「報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎」コースの受講をお薦めします。

到達目標
- 効率的な伝え方に必要なスキルを高められる。
- 報連相の重要なポイントをふまえ、質の高いアウトプットで仕事ができる。

対象者 新入社員、または若手社員の方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 報連相の基本とポイント
   (1)なぜ報連相が必要なのかーPDCAサイクル
   (2)報連相とは
   (3)仕事における報連相のサイクル
   (4)報告　(5)連絡　(6)相談
2. コミュニケーションの基本とポイント
   (1)コミュニケーションとは何か
   (2)コミュニケーションの手段
   (3)職場で求められるコミュニケーション能力
   (4)仕事に対する基本姿勢
   (5)言語と非言語コミュニケーション
3. 話し方
   (1)ONEWAYでなくTWOWAYを心がける
   (2)話し方のポイント
   (3)話す技術
4. 聴き方
   (1)聴き方のポイント
   (2)聴く技術
   (3)良い聴き手となるために
   (4)質問

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

HSJ127 コミュニケーション

グループ演習 2日間

情報を整理して伝えるコミュニケーション技法 －ロゴス・パトス・エトスを高める－

論理的なコミュニケーションをとるための手法を、演習を通して学習します。

到達目標
- 伝えたい情報を論理的に整理することができる。
- 状況や相手に合わせたコミュニケーションがとれる。

対象者 コミュニケーション力を高めたい方。

前提知識 「ロジカルシンキング基礎－論理の可視化と論理チェックのポイントー」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. ロジカルコミュニケーションの必要性
2. 情報の分析・整理法
3. 分かりやすく伝えるために
4. ロジカルコミュニケーションには根拠・感情・信頼が大切
5. ロジックだけでは人を動かせない
6. 積極的傾聴
7. 総合演習

備 考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

HSE117 コミュニケーション

eラーニング 4時間

<eラーニング> （PDU）リーダ向け報連相 PDU

職場における報連相（報告、連絡、相談）の指導ポイントを学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：4ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- 報連相のポイントが指導できる。
- 報連相を受けるポイントが説明できる。

対象者 部下または新規配属者などを指導する立場の方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 職場における報連相の問題点
2. 仕事のサイクルと報連相の関係
3. 報告の受け方
4. 連絡の受け方
5. 相談の受け方
6. 報連相指導のポイント
7. 職場での情報共有を進めるためには

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

HSJ212 コミュニケーション

グループ演習 1日間

（PDU）ストラクチャード・コミュニケーション －会議を空中戦にせず、図で共有する・伝える・理解する・考える－ PDU

Renewal

このコースでは、限られた時間の中で、できるだけ有効な情報を引き出し、整理し、考えを伝えることが求められる方が、相手とのコミュニケーションにおいて、情報を構造化し図で表現するために必要な知識を学びます。基本となる図解パターンを元に、考えを伝える演習や、聞く演習、また考えをまとめる演習を通して、相手の課題を解決するための図解スキルを修得します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：7ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- 自分の伝えたい情報を構造化し図に描きながら説明できる。
- 相手からヒヤリングした情報を構造化し図にまとめながら確認できる。
- 相手を巻き込み共に図を描きながら交渉を進められる。

対象者
- 相手とのやり取りを口頭だけで済ませず、イメージを明確に共有しつつコミュニケーションを進めたい方。
- お客さまをはじめ、社内関係者など業務上の関係者と交渉や調整をされる方。
- 部下・後輩（入社5年目まで）指導に当たられる方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. オリエンテーション
2. 図解で伝える
   (1)代表的な情報の構造の基本パターン
   (2)情報の構造の図解表現を知る演習
   (3)自分の伝えたいことを図解で説明する演習
3. 図解で聞く
   (1)相手の発言を書き出す演習
4. 図解で考える
   (1)相手の考えを図解でまとめる演習
   (2)図解しやすいように質問を構造化する演習
   (3)情報を構造化してから文章にまとめる演習
5. 振返りとまとめ

備 考
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

HSJ188 コミュニケーション

レクチャ 1日間

わたしを活かすキャリアデザイン −人生100年時代のキャリアを考える−

自分のキャリアを棚卸して、自分にできること、将来やりたいことを明確にし、次のステップへ踏み出すためのヒントを学習します。

到達目標
・自分のキャリアを振り返り、整理と分析ができる。
・分析結果と自分の興味を併せて、本当は何をやりたいのかを明文化できる。

対象者 実務経験が3年以上の方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. キャリアデザインとは
2. キャリアデザインの理論と現実
3. 自分を知る
   (1)キャリアの棚卸
   (2)興味と経験
   (3)グループワークによる共有と共感
4. キャリアビジョンの策定
   (1)アクションプランの作成
   (2)グループワークによる共有と共感
   (3)決意表明

HSJ124 コミュニケーション

グループ演習 1日間

リスニング力を高めて コミュニケーションスキルアップ −職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上−

対話のスキルとして重要な2つの要素「傾聴」と「アサーション」のうち、「傾聴」を中心に学習します。

到達目標
・傾聴のポイントを説明できる。
・自分の日頃の聴き方のクセを認識できる。
・対話をスムーズにするための、自分の聴き方の改善点が分かる。

対象者 同僚や顧客との対話において自分の聴き方に問題を感じている方、現在の自分の聴き方で本当によいのか確認したい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. リスニングとは
2. なぜ人の話を聞けないのか
3. 傾聴
4. 質問
5. リスニング演習
6. 批判を受け止める
7. 振り返り

備 考
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
・「(PDU)アサーティブ・コミュニケーション−職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上−」コースとあわせてのご受講を推奨します。

HSE124 コミュニケーション

eラーニング 4時間

<eラーニング>リスニング力を高めて コミュニケーションスキルアップ −レクチャ編−

対話のスキルとして重要な2つの要素「傾聴」と「アサーション」のうち「傾聴」を中心に学習します。このコースは演習を含みません。演習を通して理解を深めたい方は、集合研修「リスニング力を高めてコミュニケーションスキルアップ」コースの受講をお薦めします。

到達目標
・傾聴のポイントを説明できる。
・自分の日頃の聴き方のクセを認識できる。
・対話をスムーズにするための、自分の聴き方の改善点が分かる。

対象者
・同僚や顧客との対話において自分の聴き方に問題を感じている方。
・現在の自分の聴き方で本当によいのか確認したい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. リスニングとは
2. なぜ人の話を聞けないのか
3. 傾聴
4. 質問
5. 批判を受け止める

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

HSJ125 コミュニケーション

グループ演習 1日間

(PDU)アサーティブ・コミュニケーション −職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上− PDU

自他尊重のマインドに基づいて、自分の考えや気持ちを明快に伝えるアサーティブコミュニケーションを学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：6.5ポイント)の取得が可能です。

到達目標
・アサーティブの考えを理解できる。
・自己主張が対人関係に与える重要性を認識できる。
・自分の日頃の伝え方
・聞き方を認識できる。

対象者 コミュニケーション能力を高めたい方。

前提知識 4年以上の業務経験があること。

内 容
1. アサーティブとは
2. なぜアサーティブになれないのか
3. それぞれの自己表現の特徴からみた考察
4. 考え方をアサーティブにする
5. なぜアサーティブを身につけるのか
6. アサーティブ行動になるために
7. アサーティブ演習
8. 振り返り

備 考
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
・「リスニング力を高めてコミュニケーションスキルアップ−職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上−」コースとあわせてのご受講を推奨します。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

HSE125 コミュニケーション

eラーニング 4時間

<eラーニング> アサーティブ・コミュニケーション −レクチャ編−

自他尊重のマインドに基づいて、自分の考えや気持ちを明快に伝えるアサーティブコミュニケーションを学習します。このコースは演習を含みません。演習を通して理解を深めたい方は、集合研修「アサーティブ・コミュニケーション」コースの受講をお薦めします。

到達目標
・アサーティブの考えを理解できる。
・自己主張が対人関係に与える重要性を認識できる。
・自分の日頃の伝え方
・聞き方を認識できる。

対象者 コミュニケーション能力を高めたい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. アサーティブとは
2. なぜアサーティブになれないのか
3. それぞれの自己表現の特徴からみた考察
4. 考え方をアサーティブにする
5. なぜアサーティブを身につけるのか
6. アサーティブ行動になるために

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

HSJ197 コミュニケーション

グループ演習 2日間

自分を知り他者を知る コミュニケーションマネジメント −DiSCモデルによる−

さまざまな考え方やキャリアを持つ他者と、どうコミュニケーションをとればよいか学習します。自己を知り、他者を推察し「違いは間違いではない」という考えのもと、具体的アプローチ方法を学習します。

到達目標
・自己のタイプを認識し、他者のタイプの推察ができる。
・他者を推察し、相手に合った対応ができる。
・コミュニケーションにおけるPDCAサイクルを回すことができる。
・チームに効果的なアプローチのアクションプランが作成できる。

対象者 自己の、そして職場のコミュニケーション改善をしたい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1.「あの人」が苦手な理由、好きな理由
2. フラストレーションはどこから生まれるか
3. 自分のタイプを読み解く
4. 自分以外のタイプを知る
5. モチベーションが上がる理由
6. 強みと弱みは表裏一体
7. 苦手な人とコミュニケーションを取るアクションプラン作成
8. 周りの空気は自分が作る
9. 本当の意味での多様性理解

備 考
・このコースでは、事前に「DiSC：行動特性を測るアセスメント」を受検いただきます。詳細は開催日近くになりましたらご連絡いたします。
・開始日25営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

HSJ052 マネジメント／リーダシップ

グループ演習 1日間

メンバーシップとチームワーク −チーム力向上のために大切なこと−

チームのメンバーとして求められる、情報共有・責任性・実行力などの基本的資質を学習します。さらにチーム力向上のために必要な要素を、体験演習で学習します。

到達目標
・組織の一員であるメンバーとしての行動基準を実践できる。
・チーム力向上のための、重要な要素を説明できる。

対象者 新入社員または若手社員の方、チーム力を向上したいと考えている方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. メンバーシップの基本
   (1)メンバーシップとは
   (2)フォロワーシップ
   (3)仕事に取り組む姿勢
2. 情報共有
3. コミュニケーションの基本
   (1)コミュニケーションの3V
   (2)効果的なコミュニケーションのために
   (3)報連相の基本
4. 仕事の基本(PDCAサイクル)
5. チームワーク
   (1)チームとは
   (2)欲求とモチベーション
   (3)チームワークとは
   (4)チームビルディング
6. まとめ(振り返りとフィードバック)

備 考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

HSE122 マネジメント／リーダシップ

eラーニング 4時間

<eラーニング> メンバーシップとチームワーク −レクチャ編−

チームのメンバーとして求められる、情報共有・責任性・実行力などの基本的資質を学習します。更にチーム力向上のために必要な要素を理解します。このコースは演習を含みません。演習を通して理解を深めたい方は、集合研修「メンバーシップとチームワーク」の受講をお薦めします。

到達目標
・組織の一員であるメンバーとしての行動基準を説明できる。
・業務においてチーム力向上のための行動がとれる。

対象者 新入社員または若手社員の方、チーム力を向上したいと考えている方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 組織で仕事をするということ
2. メンバーの基本
3. コミュニケーション
4. 個人の責任とチームワーク

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

HSE128 マネジメント／リーダシップ

eラーニング 4時間

<eラーニング> リーダシップの原理・原則

リーダシップの原理・原則を理解し、状況に合致した行動のノウハウを得ることができます。

到達目標
・多様性に富む組織の中で、リーダシップを自分なりに高められる。
・リーダとして部下/上司との関係の中で適切な組織行動を取れる。
・部下および自分自身が如何にして成長していくかのポイントを理解できる。

対象者
・リーダシップの原理・原則を理解したい方。
・リーダまたは、これからリーダになる方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 世の中の変化と一人ひとりがめざすべきものを理解し、自分の行動を振り返る
2. 人を動かすために身につけるべき事柄
3. 主要なリーダシップ理論の変遷と背景
4. 自分を成長させ、他人を伸ばす方法を理解し、自分の行動を振り返る

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

HSJ196 マネジメント／リーダシップ

グループ演習 1日間

リーダのためのマインドフルネス基礎 −成果発揮へのセルフリーダシップとマインドフル−

忙しい現代ビジネスパーソンが集中力を高め記憶力や思考力を増進し、些事に悩まない強靭なリーダシップが発揮できるようになるための手がかりです。グーグルやインテルのみならず世界のトップ企業において実践され始めている、マインドフルネスについて学習します。基本的な方法論を学び、実践できるようにします。

到達目標 マインドフルネスという概念と手法について理解し、実践できるようになる。

対象者 ビジネスリーダを志す方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. パフォーマンス発揮の仕組み
2. パフォーマンス向上とセルフリーダシップ
3. エクスペリエンス(体験)の強化
4. 強化トレーニングの代表メニュー
5. マインドフル強化の神経科学アプローチ
6. 現場実践でのレパートリー拡大
7. 定着と行動革新に向けて

備 考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

HSJ214 マネジメント／リーダシップ

グループ演習 1日間

コーチング基礎 −ケース動画で実感が高まる！−

Renewal

コーチングのさまざまなスキルを活用した、部下指導に役立つ演習を中心とした内容です。部下または新規配属者などを指導する立場の方が、OJTを効果的に進めるためのポイントを学習します。また、実際のコーチングシーンを動画を利用して実体験し、コーチングの必要性やポイントを学習します。

到達目標
・コーチングの基本概念を説明できる。
・コーチングが有効である場面を説明できる。
・コーチングスキルを部下指導に活用できる。

対象者 部下または新規配属者などを指導する立場の方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. コーチングとは
2. コーチングの活用場面
3. コーチングの基本スキル
   (1)傾聴
   (2)確認
   (3)承認
   (4)質問
   (5)提案
4. コーチング演習ミニワーク
5. GROWモデル
6. ロールプレイング
7. コーチングスキルをOJTに活かすポイント
8. 振り返り

備 考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

HSE121 マネジメント／リーダシップ

eラーニング 4時間

<eラーニング> コーチング基礎−レクチャ編−

部下または新規配属者などを指導する立場の方が、OJTを効果的に進めるためのポイントを学習します。コーチングのさまざまなスキルを活用した、部下指導に役立つ内容です。このコースは演習を含みません。演習を通して理解を深めたい方は、集合研修「コーチング基礎」コースの受講をお薦めします。

到達目標
・コーチングの基本概念を説明できる。
・コーチングが有効である場面を説明できる。
・コーチングスキルを部下指導に活用できる。

対象者 部下または新規配属者などを指導する立場の方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. コーチングとは
2. コーチングの活用場面
3. コーチングの基本スキル
   (1)傾聴
   (2)確認
   (3)承認
   (4)質問
   (5)提案
4. GROWモデル
5. コーチングスキルをOJTに活かすポイント

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

HSE097 マネジメント／リーダシップ

eラーニング 1時間

<eラーニング> コーチングマニュアル

クライアントとのセッション時に何をすればよいか、がガイドとして確認できます。相手のモチベーションを上げ、目標を明確にし、クライアントが解決策を導き出すための後押しになります。

到達目標
- GROWフレームでコーチングができる。
- クライアントに質問すべき事項がわかる。

対象者
- 全職種：技師・課長・部長。
- 「コーチング基礎」コースは受講したものの、うまくいかない方。
- フレームは学んだものの、GROWをうまく回せない方。
- 部下やステークホルダーとの信頼関係を強化したい方。

前提知識 「コーチング基礎」コースを修了しているか、同等の知識があること。または、GROWフレームでコーチングを実施した経験があること。

内 容
1. セッションを始めるときの心構え
2. GROWの簡易マニュアル
3. 勇気づけのメッセージ集
4. “こんな部下がいます、あなたならどうする”パターン集
5. ラポールの重要性
6. フィードバック事例集

備 考
- 開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
- 説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

HSJ147 マネジメント／リーダシップ

グループ演習 2日間

（PDU） 目標達成のためのコーチング実践 PDU

部下後輩の目標達成を支援するためのコーチングのスキルを学習します。また、キャリアコーチングを学習することで、部下後輩の中長期的キャリア達成を支援できます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：14ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- 部下後輩が目標を達成するためのコーチングの方法を身につけることができる。
- 部下後輩との面談や、中長期的キャリア支援に活用することができる。
- メンバーの能力や可能性を最大限に引き出すビジネスコーチングのスキルを身につけることができる。

対象者 メンバの指導、育成に携わる方。

前提知識 「コーチング基礎」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 自身のコーチングの現状を振り返る
2. コーチングに必要なスキル
3. 目標達成のために必要なこと
4. パフォーマンスコーチング
   (1)目標設定のコーチング
   (2)目標達成につながる行動へのフィードバック
   (3)中間の達成状況確認コーチング
   (4)振り返りのコーチング
   (5)コーチング演習
5. キャリアコーチング
   (1)メンバのキャリアの考え方
   (2)キャリアコーチング
   (3)キャリアプランニング
   (4)キャリア面談
   (5)キャリアコーチング演習
6. ロールプレイング
7. アクションプランの作成

備 考
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
- このコースは、「（PDU）個を活かし、チームをまとめるコーチングスキルアップ研修ーコーチングを学びファシリテーションスキルを活かした協働の場づくりー」コースの内容改訂および名称を変更したものです。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

HSJ148 マネジメント／リーダシップ

グループ演習 2日間

（PDU） 会議/プロジェクトを円滑に進めるための ファシリテーション・スキル向上 PDU

効率的、効果的な会議/プロジェクトを運営するために有効である、ミーティング・コミュニケーションと対応法を学習します。さらに、生産的会議に必要となるファシリテーション・スキルを理解し、適切なコミュニケーション技術を修得できます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：14ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- 会議やミーティングにおけるファシリテーションの基礎ならびに一対多数型のコミュニケーションスキルを改善し、強化することができる。
- 成果を上げる会議とは何かを理解し、効率的・効果的な会議運営に必要なノウハウを修得できる。

対象者 会議/プロジェクト運営に悩んでいる方。

前提知識 2年以上の業務経験があること。

内 容
1. 成果を上げる会議とは
2. 効果的な「伝え方」
3. 効果的な「聴き方」
4. 効果的な「場づくり」
5. 効果的な会議の進め方（会議進行編）
6. 効果的な会議の進め方（問題解決編）

備 考
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

HSJ152 マネジメント／リーダシップ

グループ演習 1日間

SEのためのサービスマインド醸成 ー顧客対応の質を高め、他社と差別化を図るー

CSやサービスとは何か、そして満足とは何かを、サービスサイエンスと心理学と経験則から学び、お客様や組織内の人間同士でのサービス応対スキルを学習します。

到達目標
- CS（お客様の満足）向上の必要性を認識できる。
- CS向上対策/付加価値戦略を認識し、対策を立てられる。
- サービス対応の質による他社との差別化ができる。

対象者 SEまたは営業の方で、顧客と接する機会のある方。

前提知識 3年以上の業務経験があること。

内 容
1. 満足のモデル/サービスの特徴
2. サービスサイエンスとCSとは
3. 苦手なお客様（グループ研究）
4. 心に残るサービス（グループ研究）
5. 自己管理
6. 満足感を与えるためのロールプレイング
7. 4つの状態に対する交流スキル
8. 交流の終わりにすること
9. 状態ごとのロールプレイング
10. 対応ルール

備 考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

HSJ195 マネジメント／リーダシップ

グループ演習 1日間

（PDU） 部下のパフォーマンスを高める 1 on 1ミーティングとフィードバック PDU

メンバが話したいことを話すミーティングとは何か、またメンバの自主性が上がっていく会話とは何か、をロールプレイングを通して体系的に学習します。PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：7.5ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- メンバと適切な信頼関係構築ができる。
- メンバのモチベーションを向上させながら、意図したフィードバックを伝えることができる。

対象者
- 部下、後輩を持つ全ての方。
- そももそもメンバとどのように会話したらよいかわからない方。
- メンバの本音を引き出せない方。
- 自分に自信がなく、メンバに厳しいフィードバックを伝えられない方。
- こんなことを伝えたら、パワハラに繋がってしまうのではないかと心配な方。
- メンバにどうコミットさせればよいか、モチベーションを少しでも上げるにはどうしたらよいかわからない方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 1 on 1ミーティング
   (1)1 on 1ミーティングとは
   (2)メンバの経験学習サイクルを促進させる
   (3)コーチングとの違い
2. 1 on 1ミーティングの効果
   (1)メンバの視点
   ・タイムリーに相談できるメリットとその効果
   (2)リーダの視点
   ・メンバの様々な情報を得ることで指導・育成に役立てる
   ・メンバとの関係性を強化する
3. 1 on 1ミーティングの注意点
4. 1 on 1の基本スキル-メンバがリーダに忌憚なく話す条件とは-
   (1)信頼関係の構築/アクティブリスニング
   (2)目的や背景を伝える
   (3)適切な頻度の設定
   (4)アジェンダの設定
   (5)リーダの話す時間は2割
5. フィードバックの目的
   (1)メンバの学びを深める3つの働きかけ
   ・ティーチング、コーチング、フィードバック
   (2)フィードバックの目的
6. フィードバックのスキル
   (1)相手のパフォーマンス観察
   (1)メンバの学びを深める3つの働きかけ
   (2)パフォーマンス強化のための伝え方
   (3)パフォーマンス改善のための伝え方
7. ロールプレイング
8. 振り返り

備 考
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

HSJ187 マネジメント／リーダシップ

グループ演習 1日間

共に勝つ人生戦略 ウィナーシップ研修 ービジネスパーソンとして「本気づくり」に挑戦するー

誰もが陥りがちなコンフォートゾーン（心地のよい自己領域）を自ら破り、関わる人達とさらに高度な人間関係を構築するために「本気力」で自己変革をめざすために学習します。

到達目標
- 「本気による人との関わりあい」を認識することにより、しっかりとした「パートナーシップ」を身につけることができる。
- 自分の可能性に蓋をしているのは自分であることに気づき、今後の自分の職場人生における挑戦力をつけることができる。

対象者 「本気」で自己変革に挑戦したい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 自己理解と現状認識
2. 反省の原則
3. リーダシップの定義
4. 成果集団への実践項目
5. 3つの責任
6. 本気人間の生き方
7. 感謝の法則
8. リーダシップを超えるウィナーシップへ
9. ストローク
10. 他律と自律
11. 成果を創る8大機能
12. 意志の9段階
13. 職場の現状分析

備 考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

HSE130 戦略・マーケティング

eラーニング 17時間

<eラーニング>（PDU） 知っておくべきビジネスモデルの基本 ー顧客のビジネスをより理解するためにー PDU

実際の成功事例（1次産業:農業、2次産業:メッキ工場、3次産業:レストラン、通信販売）から、各事業の顧客価値の提供、価値を高めたバリューチェーンの箇所、工夫された仕組み、事業成功要因の知識を学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：14ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- 顧客の仕事、仕事上の課題を事業的視点で見るための知識を得ることができる。

対象者
- 顧客のITシステム提案に携わる方。
- 自社の業務改善に関わる方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. イントロダクション
2. IT・AI・IoTビジネスモデル
3. ダイレクト型ビジネスモデル
4. コーディネート型ビジネスモデル
5. 顧客サービス型ビジネスモデル
6. アウトソーシング型ビジネスモデル
7. 垂直／水平統合／事業拡張（成長）モデル

備 考
- サービス有効期限は56日間です。
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

HSJ181 戦略・マーケティング

グループ演習 1日間

（PDU）ソリューション提案のための 経営と情報戦略 ー経営・事業・情報戦略のあるべき関係性ー PDU

戦略論にはさまざまなフレームワークがありますが、それぞれの使いどころを学ばなければ、頭でっかちの使えない知識です。そこでこのコースでは、ソリューション提案をする際の考える流れに沿って各フレームワークを学習します。具体的には、ポーターのポジショニング戦略（5F分析・PESTLE分析）で外部の競争環境を、バーニーのリソースベースドビュー（VC分析・VRIO分析）で内部の競争優位性の分析を紹介します。また、自社が取りうる競争戦略をポーターの3つの基本戦略、コトラーの競争地位別戦略から学びます。そして、具体的な企業内での行動目標を決めるために、BSCの考え方、戦略マップの作り方を学びます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：6.5ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- 経営・事業戦略のフレームワークを理解、使い分けられる。
- 顧客業務を利益・顧客価値・業務プロセスの観点で捉えたうえで、ソリューション提案をする考え方が理解できる。

対象者 ソリューション提案する必要があり、まずは顧客の事業を理解する基本的な経営・事業戦略の考え方やフレームワークを知りたい方。

前提知識 「ロジカルシンキング基礎ー論理の可視化と論理チェックのポイントー」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 経営における戦略
   (1)重要成功要因を決める流れ
   ・外部環境分析（5F分析、PESTLE分析）
   ・内部環境分析（VC分析、VRIO分析）
   ・環境分析を踏まえたクロスSWOT
2. 事業戦略と情報戦略の連携
   (1)BSCによる財務目標と業務施策の結び付け
   (2)戦略マップによる可視化
3. さまざまな戦略フレームワーク
   ・アンゾフの成長マトリクス、バーニーの3つの競争の型、PPM、ライフサイクル仮説、コトラーの競争地位別戦略、戦略キャンパス、3つの価格戦略、BMCなど

備 考
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

HSJ182 戦略・マーケティング

グループ演習 1日間

（PDU）ITビジネスにおける 戦略の基本と最新動向 ーイノベーション実現のためにー PDU

ポジショニングやリソースベースドビュー等の事業・企業戦略論をしっかりと腹落ちして自らの事業に適用できるようになるまで理解します。またIT分野の企業が、旧来の実業分野に対して有力な競合として参入して行くケース等、ITビジネスとして戦略上踏まえておくべき最新動向を紹介します。IT分野におけるイノベーションやサービスビジネス創造のための実践的な知的基盤となります。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：6.5ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- 事業戦略の理論について理解し、自らの事業について適用することができる。
- ITビジネスの戦略として押さえるべき最新動向について理解し、自らの事業への適用について考えることができる。

対象者
- 技師・主任クラス以上の方（目安）。
- 事業戦略や企業戦略、あるいはイノベーションやビジネス創造について主体的に取り組む意思のある方。

前提知識 ロジカルシンキングやフレームワーク思考等、ビジネス系コンセプチュアルスキルを一通り踏まえていることが望ましい。

内 容
1. 事業戦略、企業戦略とは
   (1)事業における戦略とは　(2)戦略論の系譜
   (3)自事業にとっての意味合い
2. 戦略の最新動向
   (1)ITビジネス戦略の最新動向
   (2)その他の注目すべき動向
   (3)自事業にとっての意味合い
3. ケーススタディ
   (1)グループ討議　(2)全体討議
4. まとめ

備 考
- このコースでは、事前課題にお取り組みいただきます。当社サイトよりファイルをダウンロードいただき、課題にお取り組みください。指定の回答用紙はご入力後、2部印刷のうえ、研修当日にご持参ください。
  https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/pre-problem.html
- 開始日15営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

HSJ201 戦略・マーケティング

グループ演習 0.5日間

サプライチェーン経営（SCM）の世界標準 APICSの認定講師と学ぶSCM基礎

SCM関連業務に関わる基礎的ながらも改善に関わる重要なキーワードを取り上げ、APICSの標準知識に基づき、演習なども交えながら学習します。また、在庫・物流業務等、製造業の主たる一連のマネジメント業務とその関連知識を学習します。標準的な英語を合わせて学習することで、国内外の社内外の組織との連携の円滑化に求められる知識が底上げされます。

到達目標
- 担当する関連業務の質とスピードの向上ができる。
- 国内外の関連部門、組織との連絡効率の向上ができる。

対象者
- 製造・流通・物流業の営業・マーケティング、SCM、需給調整、生産管理、製造・倉庫、調達・購買・資材関連業務部門関係者の方。
- SCM関連コンサル・ITエンジニアの方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. サプライチェーン経営・管理の概要
2. 需要管理
3. マスタープランニング（MRP）
4. 購買
5. 在庫管理
6. 物流

備 考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

HSJ203 戦略・マーケティング

グループ演習 2日間

体験型サプライチェーン経営（SCM） 学習プログラム 「The Fresh Connection」

架空のフルーツジュース製造業、The Fresh Connection社のサプライチェーン経営（SCM）の疑似体験を通し、SCM関連の業務プロセスを把握し、このプロセス上で行う意思決定が、業績にどう影響するかを体験学習します。加えて、チームでプレーすることにより、業務間の繋がりの持つ意味や戦略に沿ったチームでの意思決定の有り方を体験学習します。

到達目標
- 目標と戦略を実現できる。
- 意思決定、組織間連携の加速ができる。
- 経営・財務の視点を踏まえた改善活動の加速ができる。
- SCM業務・コミュニケーションの円滑化ができる。

対象者
- 製造・流通・物流業の営業・マーケティング、SCM、需給調整、生産管理、製造・倉庫、調達・購買・資材関連業務部門関係者の方。
- SCM関連コンサル・ITエンジニアの方。

前提知識 特に必要としませんが、次の前提条件を満たしていることが望ましい。
- SCMに関わる基本的な役割と業務内容を理解していること
- 財務諸表（損益計算書、貸借対照表）の基本的な見方を理解していること

内 容
1. チーム編成イントロ
2. ラウンド1（1期）
3. ラウンド2（2期）
4. ラウンド3（3期）
5. ラウンド4（4期）
6. ラウンド5（5期）
7. ラウンド6（6期）
8. 結果発表振り返り

備 考
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
- 自信のない方には、「サプライチェーン経営（SCM）の世界標準APICSの認定講師と学ぶSCM基礎」コースの同時受講をお奨めします。

HSJ180 セールス

グループ演習 1日間

顧客協創を促す ディスカッションペーパーの 作成・活用の仕方

顧客の状況や課題を整理した討議資料を事前に作成しておけば、それを用いて顧客の発言を促し、情報を引き出すことができます。そして、その情報を元に、提案内容に磨きをかけていくことができます。提案プロセスにおいて「ディスカッション・ペーパー」は、本提案前に仮説（提案シナリオ案）を顧客に提示して、それを検証するためのツールとなります。このコースは「ディスカッション・ペーパー」の考え方や作成方法を通して、顧客との打合せに向けてアジェンダを設定し、ファシリテーション・シナリオを用意できるようになります。

到達目標
- ディスカッション・ペーパーとは何か、その必要性とともに説明できる。
- 顧客とのミーティングにおいてディスカッション・ペーパーを活用できる。

対象者 営業職の方、営業職と共に顧客にヒアリング・提案活動されるフロントの方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 問題解決のステップ
   (1)「業務・システムの視点」ではなく「事業の視点」を持つ
   (2)顧客の現状を整理し、整理された事実から意味合いを抽出し、本質的な課題が何かをまとめる
2. 仮説の構築と検証
   (1)仮説の構築・検証のサイクルがソリューションビジネスにおける付加価値の源泉
   (2)顧客とのミーティングにおいて仮説を構築・検証する
3. 顧客とのミーティング
   (1)会議の着地点を想定して戦略的にアジェンダを設定する
   (2)アジェンダに基づいて会議のプロセスをデザインし、ファシリテーション・シナリオを用意する
   (3)検証したい仮説をファシリテーション・シナリオに則って「ディスカッション・ペーパー」に反映させる
4. 総合演習
   (1)他社事例をベースにした「ディスカッション・ペーパー」の作成・活用

備 考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

HSJ199 セールス

グループ演習 2日間

顧客の心をつかむ戦略的提案活動 ―体系的に学ぶ提案活動の進め方―

ビジネスが複雑化する中、提案プロセスを効果的にマネジメントすることが求められています。このコースでは、受注をねらい優位な立場をつくるための戦略策定を行います。そのうえで、社内を巻き込み提案書を作成するためのオポチュニティプランとコンテンツプラン、エグゼクティブサマリを作成します。

到達目標
・引き合いを可視化する見込みがある案件に注力する方法を理解できる。
・顧客組織内に競合よりも優位なポジションの確立方法を理解できる。

対象者
・ITエンジニア職、営業職の方で提案活動において、顧客の悩みをつかみ、社内を巻き込み解決策を協創できないか、お悩みの方。
・提案活動を一つのプロジェクトとして捉え、体系的・戦略的にマネジメントされた提案活動が必要だと感じている方。

前提知識 1年以上の業務経験があるか、または同等の知識があること。

内 容
1. オポチュニティの評価
　(1)案件情報の収集
　(2)ビジネスの適合性の評価
2. オポチュニティプラン
　(1)提案体制の確立
　(2)顧客/競合/自社分析
3. 戦略策定
　(1)案件獲得戦略
　(2)案件獲得計画
4. エグゼクティブサマリ
　(1)エグゼクティブサマリ草案作成
　(2)バリュープロポジション策定
　(3)コンテンツプラン
5. 振り返りとまとめ

備 考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

HSJ200 セールス

グループ演習 1日間

高評価をねらえる提案書作成 ―顕在・潜在ニーズに訴求する―

評価者に選ばれやすい提案を、RFPを受領してから提出するまでの期間で、効果的に作成するための方法を学習します。演習を通して、顧客のニーズを満たす品質の高い提案書を作成するための、提案戦略／スケジュール／章立て／枠割分担の方法を修得します。

到達目標
・無駄な作業を減らし、提案書内容の質を高めるための提案書作成計画のポイントが説明できる。
・短い時間で訴求力のある提案書を作成するポイントが説明できる。
・提案書の章立てやキーメッセージの組み立て方を理解できる。

対象者 ・ITエンジニア職、営業職の方で、提案書をチームで効率よく書くにはどうすればよいか、迷われている方。
・提案活動を一つのプロジェクトとして捉え、体系的・戦略的にマネジメントされた提案活動が必要だと感じている方。

前提知識 1年以上の業務経験があるか、または同等の知識があること。

内 容
1. 提案書作成戦略の策定
2. コンテンツプラン
　(1)コンテンツプランとは
　(2)プロポーザルアウトライン
　(3)解決策の検討
　(4)価格検討
3. 提案活動の疑似体験
4. 振り返りとまとめ

備 考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

HSE709 アカウンティング／ファイナンス

eラーニング 8時間

<eラーニング>【ナビ機能付き】 WHYで学ぶアカウンティング （基礎知識編）

「なぜ（Why）」の問いかけを通して、アカウンティングの必要性を理解しながら、財務諸表を読み解くための基礎知識を学習します。

到達目標
・財務諸表に必要な基礎知識を理解できる。
・財務諸表の諸数値の意味を理解できる。

対象者 財務の視点をお持ちになりたい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. なぜアカウンティングか
2. なぜ財務三表かB/S、P/L、CF
3. B/S-資産、負債、純資産の意味と構造
4. P/L-売上、費用、利益の意味と構造
5. CF-キャッシュフローの意味と構造
6. キャッシュフロー経営
7. 管理会計-固定費、変動費、損益分岐点
8. 修了試験

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

HSE710 アカウンティング／ファイナンス

eラーニング 8時間

<eラーニング>【ナビ機能付き】 業務に活かす簿記入門

簿記の基礎概念を学習します。また、取引、仕訳から決算処理までの一連の流れと仕組みを学習します。

到達目標
・企業活動と財務活動の関係をふまえて業務に取り組むことができる。
・財務諸表が作成されるプロセスを説明できる。

対象者
・簿記の学習を始めたいとお考えの方。
・財務、経理の概要を知りたい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 企業会計と簿記
2. 会社の設立
3. 取引
4. 記帳
5. 決算
6. 修了試験

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・計算用具（電卓）をご用意ください。

HSE705 アカウンティング／ファイナンス

eラーニング 4時間

<eラーニング>【ナビ機能付き】 （PDU）財務諸表の基礎知識 PDU

財務諸表の目的（役割）と用語を学習します。財務三表ともいわれる貸借対照表・損益計算書・キャッシュフロー計算書の仕組みや見方の基礎を学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：4ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・財務諸表の基礎を理解し分析のための前提知識が説明できる。
・経済の時事、動向に興味を持ち、業務に活かせる。

対象者 財務諸表の構成、内容を知りたい方、財務の入門知識を簡単に確認したい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 財務諸表の概念
2. 貸借対照表
3. 損益計算書
4. キャッシュフロー計算書
5. 修了試験

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

HSE103 アカウンティング／ファイナンス

eラーニング 4時間

<eラーニング> （PDU）よくわかるファイナンス1 ―投資の判断、リスクとリターン― PDU

ファイナンスの基本論点をマスターするだけではなく、ファイナンスに関する指標を計算し、その指標を用いて経営を語ることができるように学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：3.5ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・自社や投資プロジェクトの収益率の計算方法が分かり、自分でExcelを使って計算できる。
・ベンチャー企業へ出資する際、どのような点を考慮すれば企業価値向上に貢献できるのかを理解できる。
・出資か借り入れか、株主構成はどうあるべきか等に関し、勘所を理解できる。
・理論を自分の仕事に当てはめて考え、ファイナンスの視点から振り返ることができる。

対象者 ファイナンスの知識を業務に活用したい方。

前提知識 Excelの基本的操作ができること。

内 容
1. ファイナンスの重要性・講義概要
2. 投資の判断
3. リスクとリターン
※「よくわかるファイナンス1−4」eラーニングコースは連続した内容のため、番号順の受講をお薦めします。

備 考
・サービス有効期間は28日間です。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

HSE104 アカウンティング／ファイナンス

eラーニング 4時間

<eラーニング> （PDU）よくわかるファイナンス2 ―企業価値評価― PDU

ファイナンスの基本論点をマスターするだけではなく、ファイナンスに関する指標を計算し、その指標を用いて経営を語ることができるように学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2.5ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・自社や投資プロジェクトの収益率の計算方法が分かり、自分でExcelを使って計算できる。
・ベンチャー企業へ出資する際、どのような点を考慮すれば企業価値向上に貢献できるのかを理解できる。
・出資か借り入れか、株主構成はどうあるべきか等に関し、勘所を理解できる。
・理論を自分の仕事に当てはめて考え、ファイナンスの視点から振り返ることができる。

対象者 ファイナンスの知識を業務に活用したい方。

前提知識 Excelの基本的操作ができること。「（PDU）よくわかるファイナンス1−投資の判断、リスクとリターン−Jeラーニングコース」を修得しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 企業価値評価(1)
2. 企業価値評価(2)
3. 企業価値と資本構成
※「よくわかるファイナンス1−4」Jeラーニングコースは連続した内容のため、番号順の受講をお薦めします。

備 考
・サービス有効期間は28日間です。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

HSE105 アカウンティング／ファイナンス

eラーニング 6時間

<eラーニング> （PDU）よくわかるファイナンス3 ―資金調達の方法― PDU

ファイナンスの基本論点をマスターするだけではなく、ファイナンスに関する指標を計算し、その指標を用いて経営を語ることができるように学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：3.5ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・自社や投資プロジェクトの収益率の計算方法が分かり、自分でExcelを使って計算できる。
・ベンチャー企業へ出資する際、どのような点を考慮すれば企業価値向上に貢献できるのかを理解できる。
・出資か借り入れか、株主構成はどうあるべきか等に関し、勘所を理解できる。
・理論を自分の仕事に当てはめて考え、ファイナンスの視点から振り返ることができる。

対象者 ファイナンスの知識を業務に活用したい方。

前提知識 Excelの基本的操作ができること。「（PDU）よくわかるファイナンス1−投資の判断、リスクとリターン−Jeラーニングコース、および「（PDU）よくわかるファイナンス2−企業価値評価−Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 資金調達の方法
2. 債券
3. 株式
4. デリバティブ、予想レンジ
※「よくわかるファイナンス1−4」Jeラーニングコースは連続した内容のため、番号順の受講をお薦めします。

備 考
・サービス有効期間は28日間です。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

HSE106 アカウンティング／ファイナンス

eラーニング 6時間

<eラーニング> （PDU）よくわかるファイナンス4 ―M&A、コーポレートガバナンス、財務計画― PDU

ファイナンスの基本論点をマスターするだけではなく、ファイナンスに関する指標を計算し、その指標を用いて経営を語ることができるように学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：3.5ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・自社や投資プロジェクトの収益率の計算方法が分かり、自分でExcelを使って計算できる。
・ベンチャー企業へ出資する際、どのような点を考慮すれば企業価値向上に貢献できるのかを理解できる。
・出資か借り入れか、株主構成はどうあるべきか等に関し、勘所を理解できる。
・理論を自分の仕事に当てはめて考え、ファイナンスの視点から振り返ることができる。

対象者 ファイナンスの知識を業務に活用したい方。

前提知識 Excelの基本的操作ができること。「（PDU）よくわかるファイナンス1−投資の判断、リスクとリターン−」/「（PDU）よくわかるファイナンス2−企業価値評価−」/「（PDU）よくわかるファイナンス3−資金調達の方法−Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 外国為替管理、合併・買収・ガバナンス
2. 財務計画
3. ベンチャーファイナンス
4. まとめ（企業評価のケーススタディ）
※「よくわかるファイナンス1−4」Jeラーニングコースは連続した内容のため、番号順の受講をお薦めします。

備 考
・サービス有効期間は28日間です。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

HSE118 ビジネスセンスアップ

eラーニング 6時間

<eラーニング> （PDU）よくわかるビジネス・ミクロ経済1 ―経済学の思考、費用分析、市場経済、ゲーム理論― PDU

ビジネスでの活用を念頭に、ビジネスケースにおける課題を提示し、その課題解決のための有効な枠組みとしてミクロ経済学の思考法と理論を学習します。数式は多用せず、言葉とグラフによる論理展開によって、文系出身のビジネスマンにも理解できるよう紹介します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：3ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・ミクロ経済学の理論を活用して、ビジネス上での課題をより適切に解決できる。

対象者
・対象業務・業界に参入した方。
・ビジネス・ミクロ経済について概要や動向、業務などに不理解な点があり、整理して理解したいと考えている方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 経済学の思考法をビジネスに活かす【エコカー導入のケース】
2. 誤った費用分析が誤った判断を引き起こす【受注可否判断のケース】
3. 市場経済の機能と限界【アウトソーシング判断のケース】
4. ライバルとの駆け引き<ゲーム理論>【価格戦略・出店戦略に関するケース】
5. 修了試験
※「よくわかるビジネス・ミクロ経済1−2」eラーニングコースは連続した内容のため、番号順の受講をお薦めします。

備 考
・サービス有効期間は28日間です。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

HSE098 ビジネスセンスアップ

eラーニング 4時間

<eラーニング> （PDU）よくわかるビジネス・ミクロ経済2 ―不完全な情報、期待効用、行動経済学― PDU

ビジネスでの活用を念頭に、ビジネスケースにおける課題を提示し、その課題解決のための有効な枠組みとしてミクロ経済学の思考法と理論を学習します。数式は多用せず、言葉とグラフによる論理展開によって、文系出身のビジネスマンにも理解できるよう紹介します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2.5ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・ミクロ経済学の理論を活用して、ビジネス上での課題をより適切に解決できる。

対象者
・対象業務・業界に参入した方。
・ビジネス・ミクロ経済について概要や動向、業務などに不理解な点があり、整理して理解したいと考えている方。

前提知識「（PDU）よくわかるビジネス・ミクロ経済1−経済学の思考、費用分析、市場経済、ゲーム理論−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 情報不完全が現実経済をこう変える【大手ブランドのOEMか自社ブランドか判断するケース】
2. 人はなぜ保険に入るのか<期待効用理論>【成果型賃金体系の導入検討のケース】
3. 合理性と非合理性が入り交じる相場の世界<行動経済学>【ネット証券の新サービス企画のケース】
※「よくわかるビジネス・ミクロ経済1−2」eラーニングコースは連続した内容のため、番号順の受講をお薦めします。

備 考
・サービス有効期間は28日間です。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

HSE099 ビジネスセンスアップ

eラーニング 4時間

<eラーニング> （PDU）よくわかるマクロ経済1 ―効率性と公平性、アダムスミスとケインズ― PDU

ビジネスに必要な知識である経済用語、経済データ、経済の仕組み、経済理論を学ぶだけではなく、各々の理論の枠を超えた経済思想について、その思想の社会的背景を踏まえて学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2.5ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・一国経済全体や世界経済の動きを論理的に分析し、それが自分のビジネスや生活にどのように関わるのかを理解できる。
・時代背景を含めて経済思想を学び、現在の経営判断に活用できる。
・経済論理を使って、将来をどこまで予測でき、どこからは予測できないかを認識できる。

対象者
・対象業務・業界に参入した方。
・マクロ経済について概要や動向、業務などに不理解な点があり、整理して理解したいと考えている方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 望ましい経済とは何か？−効率性と公平性−
2. 市場経済−アダム・スミスの思想と時代背景から何を学ぶか−
3. 有効需要管理政策−ケインズ理論と時代背景から何を学ぶか−
※「よくわかるマクロ経済1−4」eラーニングコースは連続した内容のため、番号順の受講をお薦めします。

備 考
・サービス有効期間は28日間です。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

HSE100 ビジネスセンスアップ

<eラーニング> (PDU) よくわかるマクロ経済2 −GDP、為替、財政− PDU

eラーニング 6時間

ビジネスに必要な知識である経済用語、経済データ、経済の仕組み、経済理論を学ぶだけではなく、各々の理論の枠を超えた経済思想について、その思想の社会的背景を踏まえて学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：4ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・一国経済全体や世界経済の動きを論理的に分析し、それが自分のビジネスや生活にどのように関わるのかを理解できる。
・時代背景を含めて経済思想を学び、現在の経営判断に活用できる。
・経済論理を使って、将来をどこまで予測でき、どこからは予測できないかを認識できる。

対象者
・対象業務・業界に参入した方。
・マクロ経済について概要や動向、業務などに不理解な点があり、整理して理解したいと考えている方。

前提知識
「（PDU）よくわかるマクロ経済1−効率性と公平性、アダムスミスとケインズ−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 国内総生産（GDP）・物価の推移
2. 為替レートの推移と日本経済
3. 財政の3機能
4. 財政危機と日本経済

※「よくわかるマクロ経済1−4」eラーニングコースは連続した内容のため、番号順の受講をお薦めします。

備 考
・サービス有効期間は28日間です。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

HSE101 ビジネスセンスアップ

<eラーニング> (PDU) よくわかるマクロ経済3 −金融政策、ハイエク、フリードマン、シュンペーター− PDU

eラーニング 4時間

ビジネスに必要な知識である経済用語、経済データ、経済の仕組み、経済理論を学ぶだけではなく、各々の理論の枠を超えた経済思想について、その思想の社会的背景を踏まえて学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2.5ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・一国経済全体や世界経済の動きを論理的に分析し、それが自分のビジネスや生活にどのように関わるのかを理解できる。
・時代背景を含めて経済思想を学び、現在の経営判断に活用できる。
・経済論理を使って、将来をどこまで予測でき、どこからは予測できないかを認識できる。

対象者 ビジネスにマクロ経済学を活用したい方。

前提知識
「（PDU）よくわかるマクロ経済1−効率性と公平性、アダムスミスとケインズ−」eラーニングコース、および「（PDU）よくわかるマクロ経済2−GDP、為替、財政−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 金融政策
2. 選択の自由−ハイエクとフリードマンの思想と時代背景から何を学ぶのか-
3. イノベーション−シュンペーターの思想と時代背景から何を学ぶか-

※「よくわかるマクロ経済1−4」eラーニングコースは連続した内容のため、番号順の受講をお薦めします。

備 考
・サービス有効期間は28日間です。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

HSE102 ビジネスセンスアップ

<eラーニング> (PDU) よくわかるマクロ経済4 −景気循環、経済成長、格差社会と少子高齢化− PDU

eラーニング 6時間

ビジネスに必要な知識である経済用語、経済データ、経済の仕組み、経済理論を学ぶだけではなく、各々の理論の枠を超えた経済思想について、その思想の社会的背景を踏まえて学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：3.5ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・一国経済全体や世界経済の動きを論理的に分析し、それが自分のビジネスや生活にどのように関わるのかを理解できる。
・時代背景を含めて経済思想を学び、現在の経営判断に活用できる。
・経済論理を使って、将来をどこまで予測でき、どこからは予測できないかを認識できる。

対象者 ビジネスにマクロ経済学を活用したい方。

前提知識
「（PDU）よくわかるマクロ経済1−効率性と公平性、アダムスミスとケインズ−」/「（PDU）よくわかるマクロ経済2−GDP、為替、財政−」/「（PDU）よくわかるマクロ経済3−金融政策、ハイエク、フリードマン、シュンペーター−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 景気循環
2. 経済成長
3. 格差社会（+複雑系経済）
4. 少子化と高齢化の日本経済への影響（+フリー経済・シェア経済）

※「よくわかるマクロ経済1−4」eラーニングコースは連続した内容のため、番号順の受講をお薦めします。

備 考
・サービス有効期間は28日間です。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

HSE115 ビジネスセンスアップ

<eラーニング> (PDU) 中国古典に見る指導者の条件 PDU

eラーニング 10時間

ヒューマニズムに立って「徳治」を主張した「論語」、性悪説に立って「法」と「術」による統治を唱えた「韓非子」、それらに類する中国古典を通して現代におけるリーダの条件を学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：7ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・「徳治」、「法と術による統治」の考え方と思想を理解できる。
・リーダとしての正しい判断力を会得できる。

対象者
・リーダとしての振る舞いに悩み・疑問を抱えている方。
・リーダ像を考えるきっかけを必要とする方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 今なぜ中国古典か−「修己治人」の学
2. 孔子のめざしたもの−「事上磨錬」の教え
3. 信頼される指導者の条件とは−『徳』の教え
4. 「韓非子」と性悪説
5. 法と術による統治−部下を使うことについて
6. 危機管理について−「狡兎三窟」
7. 指導者の要件とは−「桃李不言、下自成蹊」について
8. 修了試験

備 考
・サービス有効期間は56日間です。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

HSE113 ビジネスセンスアップ

<eラーニング> (PDU) 「貞観政要」に学ぶリーダの心得 PDU

eラーニング 10時間

帝王学の指南書とされる「貞観政要」を通して、現代企業の経営者が持つべき指導者のあり方、人間に不変な倫理観について理論面と行動面を学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：5ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・経営者として持つべきリーダシップに必要な考え方を理解できる。
・あるべきリーダとなるために琢磨を推進する基礎力を会得する。

対象者
・リーダとしての振る舞いに悩み・疑問を抱えている方。
・今後リーダになるにあたり、リーダ像を考えるきっかけを必要とする方。

前提知識
「（PDU）中国古典に見る指導者の条件」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 創業か守成か
   （1）創業（攻めの経営）と守成（守りの経営）ではどちらが難しいか
2. わが身を正す
   （1）トップが自分の姿勢を正すようにすると、部下はついてくる
3. 緊張感を持続させる
   （1）安定している時こそ気持ちを引き締める
4. 諫言に耳を傾ける
   （1）部下が意見を言いやすい環境作りを心がける
5. 自己コントロール
   （1）私利私欲をなくしてこそ、組織をまとめていくことができる
6. 謙虚にそして慎重に
   （1）トップの発言は影響力が大きいため、謙虚さ・慎重さを忘れない
7. 初心忘るべからず
   （1）初心に戻り、自分を戒め、前に進んでいく
8. 修了試験

備 考
・サービス有効期間は56日間です。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

HSE114 ビジネスセンスアップ

<eラーニング> (PDU) 「書経」に学ぶリーダの心得 PDU

eラーニング 10時間

儒教の唱えた政治学の原典とされる「書経」を通して、組織を統率する者はどうあるべきか、時代を超えて現代にも当てはまる指導者の心得の条件を先人の苦労を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：6ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・組織を統率するのに必要な技術力や能力を高められる。
・リーダとして、組織の様々な担当者の立場と心得を理解できる。

対象者
・リーダとしての振る舞いに悩み・疑問を抱えている方。
・今後リーダになるにあたり、リーダ像を考えるきっかけを必要とする方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 堯と舜−理想の天子
   （1）堯と舜から組織をまとめていくコツを学ぶ
2. 禹−治水の功労者
   （1）リーダの率先垂範、刻苦精励により部下はついてくる
3. 殷の湯王−日々に新たに
   （1）リーダは日々徳を身につけ、より良くなるように努める
4. 伊尹と太甲
   （1）仕事を成功させる秘訣は「熟慮」と「断行」である
5. 傅説と高宗
   （1）補佐役の重要性について説くとともに、なるほどと思ったことは実行に移していく
6. 周の文王と武王
   （1）どんな仕事でも、最後まで気を抜かずにとりかかる
7. 周公旦と成王
   （1）大きな仕事を成し遂げるためには「志」と「勤」が必要である
8. 修了試験

備 考
・サービス有効期間は56日間です。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

HSE112 ビジネスセンスアップ

<eラーニング> (PDU)「韓非子」のリーダ学 PDU

eラーニング 10時間

中国戦国時代の法家である韓非子の著書「韓非子」から、春秋・戦国時代の思想・社会における性悪説に立ったリーダのあり方について学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：5ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・従来の「性善説」に基づく組織運営に、「性悪説」に基づく組織運営のよいところを取り入れるポイントを理解できる。

対象者
・リーダとしての振る舞いに悩み・疑問を抱えている方。
・今後リーダになるにあたり、リーダ像を考えるきっかけを必要とする方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 韓非子の思想
   （1）理想のトップとしてのあり方
2. 理想のリーダ像
   （1）部下に心の中を見せないようにする
3. 組織管理のコツ
   （1）部下に権限を与えすぎないようにする
4. トップの自滅する理由
   （1）トップは過ちを犯した場合、すぐ改めるようにする
5. 実権者に仕える心得
   （1）部下はトップに対し、礼儀を持ち、諫言はほのめかすように伝える
6. 現実を生きる人間像
   （1）大事になる前に手を打つことが、問題解決の秘訣である
7. 韓非子の名言
   （1）トップは部下を信用しすぎないようにする
8. 修了試験

備 考
・サービス有効期間は56日間です。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

HSE109 ビジネスセンスアップ

<eラーニング> 経世済民の哲学としての朱子学

eラーニング 10時間

朱子学を通してモラルセンスの向上を学習します。経世済民（世の乱れを治め、人の苦しみを救うこと）をめざす実践的かつ人道的な朱子学ならびに陰陽五行、医学など中国思想を広く学習します。

到達目標
・朱子学で使われる主要な用語を理解できる。
・朱子学の概要を理解できる。
・朱子学を自身のモラルセンス向上に役立てることができる。

対象者
・自己のモラルセンスを高め、より良い社会、顧客価値を追求したい方。
・リーダとしてコンプライアンス意識向上の必要性を感じている方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 朱子学の誕生
   （1）朱子学とは
2. 朱子学から見た宇宙
   （1）世の中を構成する理と気を知る
3. 朱子学から見た人間
   （1）自分自身の法則を知り、道心にしたがう
4. 朱子学から見た人生
   （1）天命を果たすために困難に立ち向かい学ぶことで自分を鍛える
5. 朱子学から見た学問
   （1）モラルセンスのある人になるために学ぶ
6. 朱子学から見た教育
   （1）本当の意味で豊かな社会を実現するための教育
7. 朱子学の展開
   （1）これからのトップやリーダに求められる素質とは

備 考
・サービス有効期間は56日間です。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

HSE111 ビジネスセンスアップ

<eラーニング> (PDU) 孫子の兵法を現代に役立てる方法 PDU

eラーニング 10時間

孫子の兵法の概要を理解したうえで、その教えを現代に活かすための考え方を学習します。このコースでは「孫武の兵法」に加え、戦国時代の「孫臏の兵法」の両方を紹介します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：8ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・孫子の兵法の概要を理解できる。
・孫子の兵法を活用するための思考方法を会得できる。

対象者
・「孫子の兵法」に興味がある方。
・これから戦略を学び始める方で、古典を知っておきたい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 孫武の兵法始計から謀攻まで
   （1）中国兵法を現代のビジネスに活かすにあたり必要なこと
2. 孫武の兵法軍形から虚実まで
   （1）戦わずして勝つ方法
3. 孫武の兵法軍争から行軍まで
   （1）戦わずして勝つ方法
4. 孫武の兵法地形から用間まで
   （1）状況や環境に応じてやり方を変える
5. 孫臏の兵法擒ホウ涓から殺士まで
   （1）成功には信用と正義が欠かせない
6. 孫臏の兵法延気から将義まで
   （1）イマジネーションを働かせて活用の方法を考えてみる
7. 孫臏の兵法将徳から奇正まで
   （1）事前に準備をし、勝ちに行ける状態を作っておく
8. 修了試験

備 考
・サービス有効期間は56日間です。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

HSE110 ビジネスセンスアップ

<eラーニング> (PDU) リーダに必要な人間力 三国志から学ぶリーダ学 PDU

eラーニング 10時間

正史『三国志』にもとづき、主な登場人物－魏の曹操、蜀の劉備、呉の孫権、蜀の諸葛亮、魏の司馬懿らを取り上げ、彼らがこの激動の時代を、どう生き抜いたのか、また、リーダとしてどんな長所を持っていたのか、そのあたりを中心に紹介します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：7ポイント）の取得が可能です。

到達目標 激動の時代を生きた『三国志』のリーダから、現代を生きる知略と勇気を学ぶことができる。

対象者 3年以上の業務経験がある方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 非常の人、曹操1
2. 非常の人、曹操2
3. 蜀の劉備
4. 呉の孫権
5. 戦略家、諸葛亮1
6. 名宰相、蜀の諸葛亮2
7. 権謀家、魏の司馬懿

備 考
・サービス有効期間は56日間です。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

グローバル

グローバルでビジネスを進めるうえで必要となるスキル（グローバルマインドセット、各国の動機付け要因、反発要因など）が修得できます。

● 多様性について理解を深めたい方

音声なし 説明文有 PDU
GBE010 eラーニング
(PDU)
グローバルビジネスの基礎
−ビジネスルールと多様性−(基本セット)
4時間

音声なし 説明文有
GBE025 eラーニング
多様性の理解
（グローバルナビゲーター）
−A.アジア編−
3時間

音声なし 説明文有
GBE026 eラーニング
多様性の理解
（グローバルナビゲーター）
−B.ロシア、インド、イスラム編−
3時間

音声なし 説明文有
GBE008 eラーニング
多様性の理解
（グローバルナビゲーター）
−C.ヨーロッパ編−
3時間

音声なし 説明文有
GBE009 eラーニング
多様性の理解
（グローバルナビゲーター）
−D.アメリカ、オセアニア編−
3時間

● 中国ビジネスを学びたい方

音声有 説明文なし PDU ※1
GBE023 eラーニング
(PDU)中国ビジネスの鉄則
10時間

※1：SBI大学院大学が提供する単科コースを一部カスタマイズしてご提供します。

● インドビジネスを学びたい方

音声有 説明文なし PDU ※1
GBE024 eラーニング
(PDU)インドビジネスの鉄則
10時間

※1：SBI大学院大学が提供する単科コースを一部カスタマイズしてご提供します。

音声有 説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有 説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし 説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP® 資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ実習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
その他
休講 休講 今期の定期開催はありません

GBE010 グローバル
eラーニング 4時間
<eラーニング> (PDU)グローバルビジネスの基礎 −ビジネスルールと多様性−（基本セット） PDU

グローバル化モデルの7つの思考パターンを理解し、身につけるとともに、多様な人たちの心の構図を読み解く土台となる「文化の世界地図」、各国別の動機付け要因、反発要因に関する辞書を身につけます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：4ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・1990年代に起こった世界のグローバル市場化の意味合いを理解し、そこで生きていくためのルールが分かる。
・民族のアイデンティティや文化のDNAを把握できるようになる。
・グローバル人材度のチェックを行い、今後の修得必要分野を知る。

対象者 グローバルビジネスに関わる方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. グローバル時代のモデルチェンジ
−新しい方程式へのコペルニクス的転換を!−
2. グローバルマインドの設定
世界市場で競争力を持つ7つの思考パターンを身につける
3. 文化の世界地図
70億の多様な人たちの心の構図を読み解く
4. グローバルナビゲーター
国別理解による事例の分析−心の中の世界地図に具体性を持たせる−
(1)米国
(2)中国
(3)日本
5. グローバル人材度アセスメント
30問のアセスメントでグローバル人材度をセルフチェック（解説付き）

備 考
・学習終了日は3月31日になります。
・説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

GBE025 グローバル
eラーニング 3時間
<eラーニング> 多様性の理解（グローバルナビゲーター） A. アジア編

日本、中国、台湾、香港、韓国、フィリピン、ベトナム、シンガポール、タイ、ミャンマーの文化/思想/価値観/習慣等について学習します。このコースは「(PDU)グローバルビジネスの基礎−ビジネスルールと多様性−（基本セット）」eラーニングコース（コースコード：GBE010）のオプションです。

到達目標 日本、中国、台湾、香港、韓国、フィリピン、ベトナム、シンガポール、タイ、ミャンマーの史的文化層や動機付け要因、反発要因をふまえて行動できる。

対象者 グローバルビジネスに現在または将来関わる方。

前提知識 グローバルマインドセット、文化の世界地図、グローバルナビゲーターを学習済のこと。事前に「(PDU)グローバルビジネスの基礎」eラーニングコースを受講することをお薦めします。

内 容 日本、中国、台湾、香港、韓国、フィリピン、ベトナム、シンガポール、タイ、ミャンマーそれぞれについての、
1. 史的文化層
2. カルチュラル・モティベータ
3. カルチュラル・ディモティベータ

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

GBE026 グローバル
eラーニング 3時間
<eラーニング> 多様性の理解（グローバルナビゲーター） B. ロシア、インド、イスラム編

ロシア、インド、インドネシア、マレーシア、ブルネイ、カザフスタン、パキスタン、サウジアラビア、UAEの文化/思想/価値観/習慣等について学習します。このコースは「(PDU)グローバルビジネスの基礎−ビジネスルールと多様性−（基本セット）」eラーニングコース（コースコード：GBE010）のオプションです。

到達目標 ロシア、インド、インドネシア、マレーシア、ブルネイ、カザフスタン、パキスタン、サウジアラビア、UAEの史的文化層、動機付け要因、反発要因をふまえて行動できる。

対象者 グローバルビジネスに現在または将来関わる方。

前提知識 グローバルマインドセット、文化の世界地図、グローバルナビゲーターを学習済のこと。事前に「(PDU)グローバルビジネスの基礎」eラーニングコースを受講することをお薦めします。

内 容 ロシア、インド、インドネシア、マレーシア、ブルネイ、カザフスタン、パキスタン、サウジアラビア、UAEそれぞれについての、
1. 史的文化層
2. カルチュラル・モティベータ
3. カルチュラル・ディモティベータ

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

GBE008 グローバル
eラーニング 3時間
<eラーニング> 多様性の理解（グローバルナビゲーター） C.ヨーロッパ編

ドイツ、スイス、フランス、イタリア、オーストリア、ポーランド、オランダ、スペイン、イギリスの文化/思想/価値観/習慣等について学習します。このコースは「(PDU)グローバルビジネスの基礎−ビジネスルールと多様性−（基本セット）」eラーニングコース（コースコード：GBE010）のオプションです。

到達目標 ドイツ、スイス、フランス、イタリア、オーストリア、ポーランド、オランダ、スペイン、イギリスの史的文化層、動機付け要因、反発、要因をふまえて行動できる。

対象者 グローバルビジネスに現在または将来関わる方。

前提知識 「(PDU)グローバルビジネスの基礎−ビジネスルールと多様性−（基本セット）」eラーニングコースを修了していること。

内 容 ドイツ、スイス、フランス、イタリア、オーストリア、ポーランド、オランダ、スペイン、イギリスそれぞれについての、
1. 史的文化層
2. カルチュラル・モティベータ
3. カルチュラル・ディモティベータ

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

GBE009 グローバル
eラーニング 3時間
<eラーニング> 多様性の理解（グローバルナビゲーター） D.アメリカ、オセアニア編

カナダ、米国、アルゼンチン、ブラジル、メキシコ、オーストラリア、ニュージーランドの文化/思想/価値観/習慣等について学習します。このコースは「(PDU)グローバルビジネスの基礎−ビジネスルールと多様性−（基本セット）」eラーニングコース（コースコード：GBE010）のオプションです。

到達目標 カナダ、米国、アルゼンチン、ブラジル、メキシコ、オーストラリア、ニュージーランドの史的文化層、動機付け要因、反発要因をふまえて行動できる。

対象者 グローバルビジネスに現在または将来関わる方。

前提知識 「(PDU)グローバルビジネスの基礎−ビジネスルールと多様性−（基本セット）」eラーニングコースを修了していること。

内 容 カナダ、米国、アルゼンチン、ブラジル、メキシコ、オーストラリア、ニュージーランドそれぞれについての、
1. 史的文化層
2. カルチュラル・モティベータ
3. カルチュラル・ディモティベータ

備 考
・開始日にかかわらず学習終了日は3月31日になります。
・説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。

GBE023 グローバル
eラーニング 10時間
<eラーニング> (PDU)中国ビジネスの鉄則 PDU

中国人はビジネスに際し、他人に対しては敵対的、友人に対しては寛容であり、信頼できる相手であるかどうかを慎重に見極めようとします。中国ビジネス成功の鍵は、中国社会でうまくネットワークを築くことにあります。このコースでは中国ビジネスを理解するために、まず中国社会・経済の特色について学習します。そして中国企業の企業形態や株式市場を詳しく見ていきながら、中国でのビジネスについて学習します。さらに、国有企業、民間企業、外資系企業それぞれについて特徴を詳しく見ていきながら、グローバルな環境で活動を行うための組織の政治的風土・文化について学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：7ポイント）の取得が可能です。

到達目標 中国企業の実態を理解するための基礎知識を身につけ、中国企業とビジネスで関わる場合に必要な知識を修得できる。

対象者 中国とのビジネスに現在および将来関わる方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 企業を取り巻く社会環境
2. 産業の特徴
3. 企業形態と株式市場の成長
4. 国有企業
5. 民間企業
6. 外資系企業
7. 中国企業のグローバル経営

備 考
・サービス有効期間は56日間です。
・収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
・このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。
・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

GBE024 グローバル

eラーニング
10時間

<eラーニング>（PDU）インドビジネスの鉄則 PDU

インドは近年、その人口による巨大な市場と経済発展から、世界的な存在感を高めています。また一方で古くから日本との交流があり、近年でも各分野において経済提携が進んでいます。しかし、ビジネスを交流させるに至るまでの理解に至っていない場合も多く見ることができます。このコースではインドにビジネス進出をするために必要な考え方（歴史・文化・宗教等）について学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：6ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- インドにおいてビジネスを展開する場合に必要な、文化的背景や歴史、現在のインド事情について説明できる。
- インドへ進出してビジネスを成功させるにおいて必要なポイントについて理解を深める。
- インド人との交渉の方法、インド人の考え方、などについて日本人が誤解しがちな注意点に言及し、インドビジネスを成功に導く戦略的思考について学ぶ。

対象者 インドとのビジネスに現在および将来関わる方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. インドの紹介、歴史
2. インドの各地域の文化とビジネスの関係
3. インドの宗教とビジネスの関係
4. インドの優秀な人材を作る、教育制度
5. 日印関係
6. インドの国際関係
7. 実際の手順とケーススタディ

備　考
- サービス有効期間は56日間です。
- 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
- このコースは、SBI大学院大学の単科コースをカスタマイズしたセルフラーニング教材です。同学の単位認定にはなりません。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

OT（製造・生産技術）

自動化設備の運用・保守に関する電気と制御の基礎知識が修得できます。

● 自動化設備の運用・保守に関する電気と制御の基礎知識を修得したい方

OTJ001 グループ演習	OTJ002 グループ演習	OTJ004 グループ演習
リレーシーケンスの基礎とトラブル診断	トラブルシューティング（制御系基礎）	シーケンスコントローラ活用入門
2日間	（宿泊有）5日間	（宿泊有）5日間

音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者にオススメ ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

OTJ001 OT（製造・生産技術）

グループ演習 2日間

リレーシーケンスの基礎とトラブル診断

電気の基礎、シーケンス制御、リレー回路、テスターの使い方、トラブル診断の基礎を学びます。さらに、学んだ基礎知識を使ってトラブルシューティングを実習で体験する2日間の研修となっています。

到達目標 電気と安全に関する基礎知識を学び、実際の器材を用いた配線とトラブル原因の診断をゲーム感覚で体系的に身につけていきます。

対象者 新人・若手の技術者・技能者、電気の初学者、初めて電気機器、自動機を扱う方、営業職の方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 自動制御の概要
2. 電気の基礎と安全
3. シーケンス制御回路の基礎
4. トラブルシューティング基礎

備　考 【持参品】
BまたはHBのシャープペンシル、消しゴム、多色ボールペン（赤・青・緑）、直定規（短いものでも可）

OTJ002 OT（製造・生産技術）

グループ演習 5日間（宿泊有）

トラブルシューティング（制御系基礎）

電気関係のトラブルに対応できる基礎知識と診断方法を実際に体験しながら修得します。（リレーシーケンス、テスターの使い方、制御盤配線実習、自動機実習ユニットによるトラブルシューティング実習、ほか）

到達目標
- 自動化設備を扱う人が知っておくべき基本的な事項（電気と安全、テスタの使い方、シーケンス制御のしくみ、トラブル診断と修理
- 調整の方法など）を、実際に回路を組み立てながら分かりやすく学習します。
- 実機を使用した故障診断修理実習等を通し、実際の設備トラブルへの対応力を身につけます。

対象者
- 自動機械設備／セル生産ツール／JIT生産設備等の運転／保守改善に携わる方。
- ソフトウェアやシステム開発および品質保証関連業務の新人で電気制御の基本を実機レベルで実習したい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. シーケンス制御の基礎
2. リレーシーケンス入門
3. トラブルシューティング基礎
4. 制御盤配線実習
5. 故障診断修理実習
6. 終了課題

備　考
- このコースは宿泊研修です。宿泊先は当社にて用意しておりますので、宿泊に必要な物は各自ご用意ください。なお、宿泊費は受講料に含まれています。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

【持参品】
BまたはHBのシャープペンシル、消しゴム、多色ボールペン（赤・青・緑）、直定規（短いものでも可）

※別途ご案内いたします。

OTJ004 OT（製造・生産技術）

グループ演習 5日間（宿泊有）

シーケンスコントローラ活用入門

生産設備をはじめ、試験装置や実験設備などの制御に使用されるPLCの概要を実機を用いて基礎から修得できます。（シーケンス制御の基礎、PLCの構成と配線、基本操作、基本回路要素の働き、プログラミング演習、課題実習、ほか）

到達目標 PLCの組み込まれた自動化設備などの操作やPM・設備改善等に携わる実務者向け入門研修です。
PLCの基本機能と役割、実装配線、運転操作とプログラミングの基礎、および活用のポイント等に関し、電気を苦手とする方でも一通りのことが理解できるよう実習します。
（実習は日立と三菱のPLCから選択可、それ以外のPLCでも基本的な機能は共通です）

対象者 プログラマブルコントローラ（PLC）の操作や活用のための知識を必要とする初心者の方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. シーケンス制御の基礎
2. PLCの構成と配線
3. PLCの基本操作
4. 基本回路要素の動き
5. プログラミング演習
6. 課題実習
7. 発表会
8. まとめ

備　考
- このコースは宿泊研修です。宿泊先は当社にて用意しておりますので、宿泊に必要な物は各自ご用意ください。なお、宿泊費は受講料に含まれています。
- このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

【持参品】
BまたはHBのシャープペンシル、消しゴム、多色ボールペン（赤・青・緑）、直定規（短いものでも可）

※別途ご案内いたします。

研修会場

東京地区

東 京（大 森）

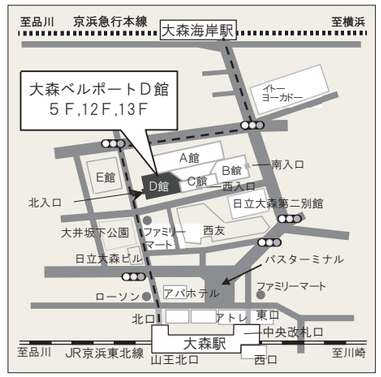
大森ベルポートD館5階・12階・13階

（株）日立アカデミー
大森キャンパス

品川区南大井6丁目26番3号（〒140-0013）
電 話（03）5471-8962
FAX（03）5471-2564

●JR京浜東北線 大森駅北口（改札を出て右）より徒歩約3分
●京浜急行線 大森海岸駅より徒歩約5分

※当ビル西入口、または北入口、南入口よりアトリウムに入り、D館入口のエレベータにてご来場ください。
※エレベータは、7:30～9:30、12:00～13:00の時間帯は特別運転となりますので、ご入館の際にはご注意くださいますようお願いします。
■12階/13階へお越しの方 ▶D館正面入口の左側エレベータをご利用ください。
■ 5階へお越しの方 ▶D館正面入口の右側エレベータをご利用ください。
※「日立講習会受講ご案内（受講券）」に記載の研修室をご確認の上、直接研修室へお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



日立地区

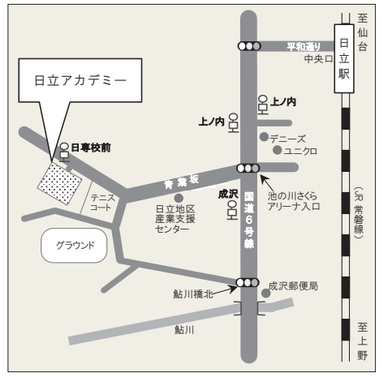
日 立

（株）日立アカデミー
日立キャンパス

日立市西成沢町2丁目17番1号（〒316-0032）
電 話（0294）28-5019
FAX（0294）28-5394

●JR常磐線 日立駅または常陸多賀駅下車
日立電鉄バス（兎平方面行き）乗り換え、
日専校前下車 徒歩1分
または成沢、上ノ内下車 徒歩10分
●JR常磐線 日立駅または常陸多賀駅より
タクシー約10分

※受付は研修室で行いますので、直接研修室にお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



東京地区

提携コースの研修会場

※提携先により研修会場が変更になる場合がございます。その場合は、事前に当社よりご連絡いたします。

会場地図は、当社Webサイト（https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/bureau.html）よりご確認ください。

開催地区	住所・会場名
東京（PLI）	〒108-0071　東京都港区白金台3-2-10　白金台ビル3階 パーソルラーニング（株） パーソルラーニング株式会社主催の研修会場につきましては、コース・日程により会場が異なっております。 お申し込み後、「ご受講のご案内」にて、研修会場をご連絡いたします。
白金台（BrainPad）	〒108-0071　東京都港区白金台3-2-10　白金台ビル3階 （株）ブレインパッド
浜松町（GSX）	〒105-0022　東京都港区海岸1-15-1　スズエベイディアム4階 グローバルセキュリティエキスパート（株）東京本社
麹町（ITプレナーズ）	〒102-0083　東京都千代田区麹町2-3-3　FDC麹町ビル5階 （株）ITプレナーズジャパン・アジアパシフィック
麻布台（SHIFT）	〒106-0041　東京都港区麻布台2-4-5　メソニック39MTビル11階 （株）SHIFT

大阪地区

大 阪

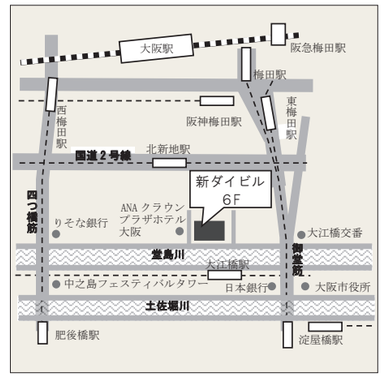
新ダイビル6階

（株）日立アカデミー
大阪キャンパス

大阪市北区堂島浜1丁目2番1号（〒530-0004）
電 話（06）4797-7360
FAX（06）4797-7361

●京阪中之島線 大江橋駅より徒歩約2分
●地下鉄御堂筋線／京阪本線 淀屋橋駅より徒歩約5分
●JR東西線 北新地駅より徒歩約5分
●地下鉄四つ橋線 肥後橋駅より徒歩約7分

※受付は研修室で行いますので、直接研修室にお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



名古屋地区

名古屋

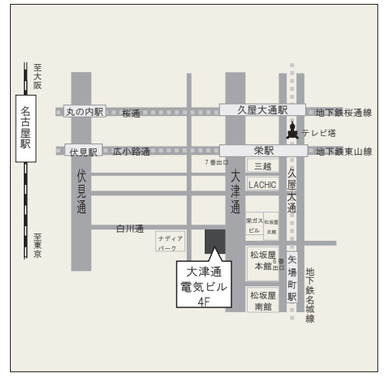
大津通電気ビル4階

（株）日立アカデミー
名古屋キャンパス

名古屋市中区栄3丁目17番12号（〒460-8435）
電 話（052）269-8940
FAX（052）261-8276

●地下鉄名城線 矢場町駅 6番出口から西へ徒歩2分
●地下鉄東山線 栄駅 サカエチカ7番出口から南へ徒歩5分

※4階にてコース別会場案内をご確認の上、直接研修室にお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



広島地区

広 島

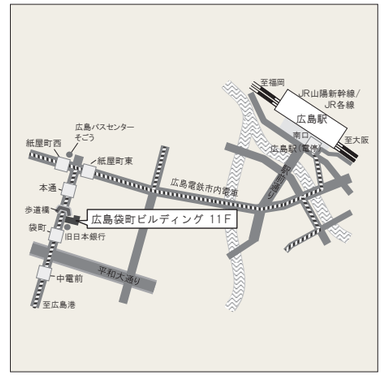
広島袋町ビルディング11階

（株）日立アカデミー
広島キャンパス

広島市中区袋町5番25号（〒730-0036）
電 話（082）546-6172
FAX（082）546-6173

●広島電鉄（市内電車）宇品線 袋町（電停）より徒歩約1分
●広島バスセンターより徒歩約8分

※受付は研修室で行いますので、直接研修室にお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



福岡地区

福 岡

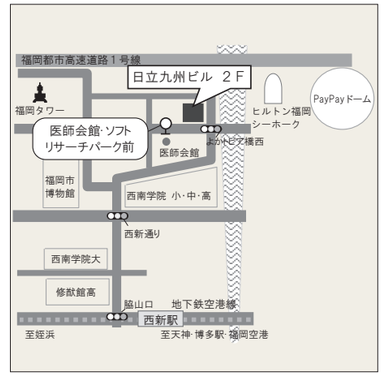
日立九州ビル2階

（株）日立アカデミー
福岡キャンパス

福岡市早良区百道浜2丁目1番1号（〒814-8577）
電 話（092）844-7522
FAX（092）844-7580

●天神高速バスターミナル前（1A）のりばより、[302][W1][W2]などのバスに乗車。医師会館・ソフトリサーチパーク前にて下車。<所要時間：約20分>
●博多バスターミナル1F（5）（6）のりばより、[306][312][直行]などのバスに乗車。医師会館・ソフトリサーチパーク前にて下車。<所要時間：約30分>
（地下鉄の場合は、西新駅より約1.5kmです。バスまたは徒歩にてお越しください。）

※1階受付で「日立講習会受講ご案内」（受講券）を提示し、入館証をお受け取りのうえ、該当研修室にお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



お申込方法

日立講習会 集合研修のお申し込みからご受講までの流れ

法人のお客さま

1 **お申し込み**
日立講習会窓口にて受付

↓

2 **受講案内の受取り（受講日約１週間前 メール配信）**
お申込責任者、メールアドレス登録のご受講者へメールでお送りいたします。（お申込責任者へ受講案内を郵送する場合もございます）

↓

3 **ご受講**
入館受付手続きはございません。直接会場にお入りください。

↓

4 **請求書の受取り（受講月月末頃お届け）**
お申込責任者へ郵送いたします。

↓

5 **お支払い（日立アカデミー口座へ）**
原則、受講月翌月末が振込期限です。

■ お問い合わせ・お申込先

地区	TEL
東京地区	03-5471-8962
大阪地区	06-4797-7360
名古屋地区	052-269-8940
広島地区	082-546-6172
福岡地区	092-844-7522

URL https://www.hitachi-ac.co.jp/
E-Mail hiac.info-kensyu.vq@hitachi.com

個人のお客さま

（注1）個人のお客さまの場合
・お申し込み後、請求書を発行いたしますので、講習会開始日の１０営業日前までに受講料をお振込みください。
・受講料のお振込みが確認できない場合はキャンセル扱いとさせていただきます。

お申し込み

●お申込責任者の方は、(株)日立アカデミーのWebサイト(URL >>> https://www.hitachi-ac.co.jp/)からお申し込みいただくか、または「日立講習会お申込書」をダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、ご受講希望地区の上記受付窓口までメール、または日立営業経由にてお申し込みください。Webサイトをご利用できない場合は、ご受講希望地区の上記受付窓口までお問い合わせください。
なお、お申し込みの前には必ずコース内容および以下についてご確認ください。

■日立製品研修
・「日立製品研修受講規約」
・「株式会社日立製作所個人情報保護に関して（保護方針と要旨）」
・「株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して」

■IT／ビジネス研修
・「IT ／ビジネス研修受講規約」
・「株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して」

上記についてお申込責任者および受講される本人が同意のうえお申し込みください。
●お申し込みは、原則として講習会開始日の10営業日前までにお願いいたします。
●お申し込みの受付は、先着順にしておりますので、定員になり次第締め切らせていただきます。
●ご希望の講習会が最少開催人数に達しない場合には、やむを得ず中止にさせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

受講料お支払い

●法人のお客さまの場合は、原則として受講月の月末締めで、請求書をお申込責任者の方にお送りいたします。請求書に記載のお振込み口座、期限（原則、受講月の翌月末）までにお振込みください。
●個人のお客さまの場合は、お申し込み後、請求書を発行いたします。講習会開始日の10営業日前までに請求書に記載の口座にお振込みください。受講料のお振込みが確認できない場合はキャンセルとさせていただくことがございます。
●お振込手数料は、お客さまのご負担でお願いいたします。

振込先銀行：三菱 UFJ 銀行　大森駅前支店
普通預金口座　口座番号　1105485
口座名称　(株)（カ）日立アカデミー（ヒタチアカデミー）

※日立製品研修は(株)日立製作所が提供する研修サービスです。
(株)日立アカデミーは(株)日立製作所からの委託を受けて日立製品研修の実施・運営を行い、また、日立製品研修の申込み受付、請求書発行および受講料の受領については(株)日立製作所の代理人として対応します。

ご受講にあたって

●お申し込み受付後、「日立講習会受講ご案内」（以下、「受講案内」といいます。）を、お申込責任者および受講者（メールアドレスご入力いただいた場合のみ）へメールでお送りいたします。（お申込責任者へ受講案内を郵送する場合もございます。）
●「受講案内」には、お申込地区の地図や会場（研修室）、開催時間等を記載しておりますので、内容を必ずご確認ください。
●「受講案内」を講習会開始日の1週間前頃に配信いたします。配信が確認できない場合は、お申し込みの受付窓口までお問い合わせください。
●「受講案内」配信後に諸事情により講習会の開催を中止させていただく場合がありますので、あらかじめご承知おきください。
●講習会で使用するテキスト教材等は、当日会場にてお渡ししております。事前のお渡しは行っておりません。
●駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。
●お電話でのお取り次ぎはできませんので、あらかじめご了承ください。また、ご受講中に研修室内での携帯電話等の使用は、他のお客さまへのご迷惑となりますので、ご遠慮いただいております。
●研修会場内での撮影または録音は、禁止させていただきます。
●あらかじめ体調をご確認のうえ、講習会にご参加いただくようお願いいたします。インフルエンザなどの感染が懸念される場合は参加をお控えくださいますようお願いいたします。

変更・キャンセル

●ご都合により、受講者・受講日を変更、もしくはキャンセルされる場合は「日立講習会変更／キャンセル連絡票」をWebサイトからダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、講習会開始日の10営業日前までに、お申し込みの受付窓口までメールにてご連絡ください。

＜キャンセル規定＞

学習形態	受講者、受講日変更およびキャンセル締切日
集合研修	講習会開始日の10営業日前
eラーニング	学習開始日の10営業日前

●変更・キャンセル締切日を過ぎての変更・キャンセルにつきましては、受講料を全額請求させていただきます。すでに受講料をお支払いいただいている場合は、受講料は返金いたしません。
また、下記コースは個別に変更・キャンセル締切日を設定しております。詳細はWebサイトのコース詳細ページの備考に明記しておりますのでご確認ください。

・事前課題／事前学習ありコース

講習会開催時間

●コースカリキュラムの備考欄に開催時間をご案内しています。正式には、ご受講前に送付いたします「日立講習会受講ご案内」をご確認ください。
●講習会の進捗により終了時間が予定時刻を超える場合があります。あらかじめご了承ください。

日立講習会 ｅラーニングのお申し込みからご受講までの流れ

法人のお客さま

1 **動作環境確認とサービス仕様書のご承諾** → 2 **お申し込み**
お申し込み前に必ずご確認ください。　日立講習会窓口にて受付

↓

3 **受講案内の受取り（学習開始日当日までにメール配信）**
お申込責任者、ご受講者にメールでログイン情報（ユーザID/パスワード）をお送りいたします。

↓

4 **ご受講**
学習開始日当日からご利用いただけます。
お申し込み責任者の方は、受講者の受講状況や学習理解度を随時確認できます。

↓

5 **請求書の受取り（受講月月末頃お届け）**
お申込責任者へ郵送いたします。

↓

6 **お支払い（日立アカデミー口座へ）**
原則、受講月翌月末が振込期限です。

■ お問い合わせ・お申込先

TEL 03-5471-8962
URL https://www.hitachi-ac.co.jp/
E-Mail hiac.info-kensyu.vq@hitachi.com

（注1）以下提携コースeラーニングは、お申込責任者への「ユーザID」と「パスワード」の通知はありません。
また、進捗状況を把握できません。あらかじめご了承ください。
・Oracle トレーニング・オンデマンド　eラーニング
・アイテック社　情報処理技術者試験対策　eラーニング
・SBI大学院　eラーニング
・ライトワークス社　Microsoft Officeシリーズ　eラーニング
・STANDARD社　AI　eラーニング

個人のお客さま

（注2）個人のお客さまの場合
・お申し込み後、請求書を発行いたしますので、学習開始日の10営業日前までに受講料をお振込みください。
・受講料のお振込みが確認できない場合はキャンセル扱いとさせていただきます。

お申し込み

●お申込責任者の方は、(株)日立アカデミーのWebサイト(URL >>> https://www.hitachi-ac.co.jp/)からお申し込みいただくか、または「日立講習会お申込書」をダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、上記のお申込先までメール、または日立営業経由にてお申し込みください。
なお、お申し込みの前には必ずコース内容、動作環境、ｅラーニングサービス仕様書（上記Webサイトに掲載）、および以下についてご確認ください。

■日立製品研修
・「日立製品研修受講規約」
・「株式会社日立製作所個人情報保護に関して（保護方針と要旨）」
・「株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して」

■IT／ビジネス研修
・「IT ／ビジネス研修受講規約」
・「株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して」

上記についてお申込責任者および受講される本人が同意のうえお申し込みください。
動作環境はコースによって異なりますので、上記Webサイトから各コースの動作環境をご確認ください。
●お申し込みは、原則として学習開始日の10営業日前までにお願いいたします（個人申し込みの場合は、15営業日前まで）。一部のコースにおきましては、人数制限がありますので定員になり次第締め切らせていただきます。
●ご受講にあたって、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となりますので、ご了承ください。

受講料お支払い

●法人のお客さまの場合は、原則として学習開始月の月末締めで、請求書をお申込責任者の方にお送りいたします。請求書に記載のお振込み口座、期限（原則、学習開始月の翌月末）までにお振込みください。
●個人のお客さまの場合は、お申し込み後、請求書を発行いたします。学習開始日の10営業日前までに請求書に記載の口座にお振込みください。受講料のお振込みが確認できない場合はキャンセルとさせていただくことがございます。
●お振込手数料は、お客さまのご負担でお願いいたします。
●ご入金の確認ができなかった場合、やむを得ずご利用を停止させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
●eラーニングの中止・変更等、(株)日立製作所および(株)日立アカデミーの責に帰すべき場合は、お振込みいただいた受講料を返金いたします。

振込先銀行：三菱 UFJ 銀行　大森駅前支店
普通預金口座　口座番号　1105485
口座名称　(株)（カ）日立アカデミー（ヒタチアカデミー）

※日立製品研修は(株)日立製作所が提供する研修サービスです。
(株)日立アカデミーは(株)日立製作所からの委託を受けて日立製品研修の実施・運営を行い、また、日立製品研修の申込み受付、請求書発行および受講料の受領については(株)日立製作所の代理人として対応します。

ご受講にあたって

●お申し込み受付後、学習開始日の当日までに、ご受講者とお申込責任者の方へ「ユーザ ID」と「パスワード」をメールにてご通知いたします。
●「ユーザ ID」と「パスワード」の通知が届かない場合は、早急に上記のお申込先までお問い合わせください。
●お申込責任者の方は、受講者の進捗状況を随時確認できます。
なお、以下提携コースｅラーニングにつきましては、お申込責任者への「ユーザ ID」と「パスワード」の通知はありません。
また、進捗状況を確認できません。あらかじめご了承ください。
・Oracle トレーニング・オンデマンド　eラーニング
・アイテック社　情報処理技術者試験対策　eラーニング
・SBI大学院　eラーニング
・ライトワークス社　Microsoft Officeシリーズ　eラーニング
・STANDARD社　AI　eラーニング
●eラーニングのご利用に際して通信に関わる費用は、お客さまのご負担でお願いいたします。
●演習用データ、テキストサンプル等のWeb教材、プラグインソフトのダウンロードは、お客さまの責任で実施するものであり、その結果生じる障害や損害はお客さまのご負担でお願いいたします。

変更・キャンセル

●ご都合により、受講者・受講日を変更、もしくは、キャンセルされる場合は「日立講習会変更／キャンセル連絡票」をWebサイトからダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、学習開始日の10営業日前までに、お申し込みの受付窓口までメールにてご連絡ください。

＜キャンセル規定＞

学習形態	受講者、受講日変更およびキャンセル締切日
集合研修	講習会開始日の10営業日前
eラーニング	学習開始日の10営業日前

●変更・キャンセル締切日を過ぎての変更・キャンセルにつきましては、受講料を全額請求させていただきます。すでに受講料をお支払いいただいている場合は、受講料は返金いたしません。
また、下記コースは個別に変更・キャンセル締切日を設定しております。詳細はWebサイトのコース詳細ページの備考に明記しておりますのでご確認ください。

・アイテック社　情報処理技術者試験対策　eラーニングコース

基本動作環境

●eラーニングをご利用の場合には、パソコン、Web環境が必要となります。詳細につきましては、(株)日立アカデミーのWebサイトに各コースの動作環境を掲載しておりますので、お申し込みの前には必ずご確認ください。

受講規約

日立講習会のうち、日立製品研修（株式会社日立製作所（以下、「日立」といいます。）が発行する研修サービスガイド（以下、「日立製品研修ガイド」といいます。）の日立製品研修に指定されているコース群）は、日立が提供する研修サービスです。株式会社日立アカデミー（以下、「当社」といいます。）は日立からの委託を受けて日立製品研修の実施・運営を行い、また、日立製品研修の申込み受付、請求書発行および受講料の受領については日立の代理人として対応します。日立製品研修のご受講に際しては、「株式会社日立製作所個人情報保護に関して（保護方針と要旨）」、「株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して」、および本規約の「1 日立製品研修受講規約」をご了承のうえ、お申し込みください。

日立講習会のうち、IT／ビジネス研修（当社が発行する研修サービスガイド（以下、「IT／ビジネス研修ガイド」といいます。）のIT／ビジネス研修に指定されているコース群）は、当社が提供する研修サービスです。IT／ビジネス研修のご受講に際しては、「株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して」、および本規約のうち「2 IT／ビジネス研修受講規約」をご了承のうえ、お申し込みください。

1 日立製品研修受講規約

1－1 日立製品研修

日立製品研修は、日立が指定する研修施設・設備を利用して開催する集合研修、およびeラーニング等の総称であり、日立製品研修ガイドに記載されたもの、またはその他日立が指定するものに限られます。ただし、日立は、これらを予告なしに追加、変更または廃止することがあります。

1－2 お申し込み・開催延期／中止

日立製品研修の受講お申し込みについては日立製品研修ガイド「お申込方法」に定めるとおりとしますので、ご参照ください。日立製品研修は日立製品研修ガイド「開催スケジュール」に記載されている日程で開催されますが、日立がこの日程で都合のつかない場合には「日立講習会受講ご案内」（受講案内）に記載する別の日程で開催するものとします。日立はお申し込み済のお客さまに対して少なくとも5営業日前の予告をもって日立製品研修の開催を延期または中止をする権利を留保します。

1－3 受講料・消費税

日立製品研修ガイドに記載されている受講料は、少なくとも開始日の10営業日前までに書面（電子メールを含みます。）による通知で変更される場合があります。日立製品研修の受講料は開始日における日立所定の受講料が適用されます。お客さまのお申し込みを当社がお受けした後に、受講料が変更され新受講料が発効される場合は、お客さまが当該お申し込みを、少なくとも開始日の5営業日前に書面により取り消さない限り、新受講料が適用されます。受講料には日立製品研修で使用する教材の代金および機械使用料を含みますが、ご受講者の交通費および宿泊費（宿泊費が受講料に含まれるコースを除きます。）は含みません。日立製品研修の受講料に課せられる消費税等の租税公課は、お客さまのご負担とします。なお、税率等が変更になった場合、集合研修は講習会終了日、eラーニングは学習開始日時点の税率を適用した金額となります。

1－4 受講料のお支払いおよび返金

受講料につきましては法人のお客さまは日立製品研修ご受講後のお支払い（後払い）、個人のお客さまはご受講前のお支払い（前払い）になります。日立製品研修の受講料は、お客さまが当社からの請求書を受領後、お振込指定期日までにお支払いいただくこととします。前払いのお客さまでお振込指定期日までにご入金の確認ができなかった場合は、ご受講できないことがあります。お振込手数料は、お客さまのご負担とします。日立製品研修が、日立の責に帰すべき事由で中止された場合で、すでに前払いにて受講料をお支払いいただいている場合には、お振込みいただいた受講料を返金いたします。

1－5 キャンセル料

キャンセル料発生日前日までにご受講お申し込みのキャンセルお申し出があった場合は、キャンセル料は発生いたしません。また、すでに前払いにて受講料をお支払いいただいている場合は、お支払いいただいている受講料からお振込手数料を差し引いた金額を返金いたします。キャンセル料発生日以降にキャンセルのお申し出があった場合はキャンセル料が発生いたします。前払いの場合はお支払いいただいた受講料は返金いたしません。また、後払いの場合は受講料全額を請求いたします。

キャンセル料発生日はお申し込みになられたコースによって異なりますので、詳しくは「5. お申込方法」の「変更・キャンセル」の項をご覧ください。

1－6 責任の制限

日立は、日立製品研修ガイドに記載された範囲（講座の内容等）で日立製品研修に関するテキスト教材、eラーニングコンテンツ等（以下、「日立製品研修教材等」といいます。）の更新と提供を行います。ただし、日立は、これらのサービスの有用性、目的適合性、正確性その他一切の結果を保証するものではありません。また、日立製品研修教材等もしくは日立製品研修における質疑応答の内容を合理的範囲で正確性を保つように努力するものとしますが、すべての誤りが訂正されることを保証するものではありません。また、日立はサービスを提供するにあたり、インターネット、データセンター、クラウドサービス等を利用しています。日立は、商慣習において合理的な努力を払って本サービスを提供しており、日立および当社の責に帰すことができない事由によるサービス提供の停止については、損害賠償その他いかなる責任も負わないものとします。

1－7 著作権・その他知的財産権

日立が日立製品研修で提供または使用を許諾する文書・印刷物・ソフトウェア・Webサイト・コンテンツ等（以下「日立製品研修提供資料等」といいます。）の著作権またはその他知的財産権は、すべて日立または当社、または日立がテキスト教材、eラーニングコンテンツ、日立製品研修ガイドに記載する第三者に帰属しており、お客さまは日立の事前の書面による許諾がない限り、いかなる形態においても日立製品研修提供資料等の全部、または一部について転載および複製並びに改変を行ってはならず、また日立製品研修提供資料等を第三者へ開示または提供（貸与や使用許諾を含みます）もしくは譲渡してはならないものとします。

1－8 損害賠償

日立製品研修に関してお客さまが被った損害に対する日立の損害賠償責任は、債務不履行、法律上の瑕疵担保責任、不当利得、不法行為、その他請求原因・訴訟形態のいかんにかかわらず、お客さまに当該日立製品研修の受講料としてお支払いいただいた金額を限度とします。日立は、いかなる場合にも逸失利益、無体物に生じた損害、第三者からお客さまに対してなされた損害賠償請求に基づく損害、特別損害等について、一切責任を負わないものとします。なお、日立は、当該損害賠償責任に代えて、日立が合理的と判断した日立製品研修の再提供を行うことができるものとします。

1－9 暴力団等の排除

日立は、お客さままたはその関係者が次の各号のいずれか一つに該当したときは、お客さまへ何ら催告することなく、直ちに本契約を解除することができるものとします。

①日立および講師等の指示に従わないとき、または他の受講者に迷惑になるような行為、言動を行ったとき。
②公序良俗に違反、または犯罪に結びつくおそれのある言動を行ったとき。
③日立または日立の利害関係者へ誹謗中傷をしたと認められる事実があるとき。
④暴力団員、準構成員、暴力団関係企業、特殊知能暴力団その他これに準じる者、またはこれらの者と密接なかかわりを持つ者であることが判明したとき。
⑤自ら、または第三者を利用して、暴力的な要求行為、法的責任を超える不当な要求行為、詐欺・脅迫行為、業務妨害行為その他これに準じる行為を行ったとき。
⑥その他、お客さまが日立製品研修を利用することについて不適切と日立が判断した場合。

1－10 受講規約の変更

日立は、本規約その他の日立製品研修に関するお客さまと日立との契約を必要に応じて変更できるものとし、お客さまへの通知をもって変更の効力が適用されることとします。また、日立は、本規約に別に定める場合を除き、日立製品研修ガイドを予告なしに変更できるものとします。

1－11 その他

・当事者の一方に、本規約その他の日立製品研修に関するお客さまと日立との契約上の不履行がある場合には、書面による通知により日立製品研修のお申し込みを取り消すことができるものとします。
・日立は、日立製品研修の受講により、お客さまが特定の知識や技術等を修得されることを保証するものではありません。また、日立製品研修がお客さま保有の特定の目的に対し、適合・有益・最適等であることを保証するものではありません。これらはお客さまの責任で決定いただきたくお願いいたします。
・本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。また、本製品とは、研修で取り扱った知識・技術、スキル、テキスト教材および相当資料、eラーニングコンテンツとします。なお、ご不明な場合は日立担当営業にお問い合わせください。
・日立製品研修ガイドに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

2 IT／ビジネス研修受講規約

2－1 IT／ビジネス研修

IT／ビジネス研修は、当社が指定する研修施設・設備を利用して開催する集合研修、およびeラーニング等の総称であり、IT／ビジネス研修ガイドに記載されたもの、またはその他当社が指定するものに限られます。ただし、当社は、これらを予告なしに追加、変更または廃止することがあります。

2－2 お申し込み・開催延期／中止

IT／ビジネス研修の受講お申し込みについてはIT／ビジネス研修ガイド「お申込方法」に定めるとおりとしますので、ご参照ください。IT／ビジネス研修はIT／ビジネス研修ガイド「開催スケジュール」に記載されている日程で開催されますが、当社がこの日程で都合のつかない場合には「日立講習会受講ご案内」（受講案内）に記載する別の日程で開催するものとします。当社はお申し込み済のお客さまに対して少なくとも5営業日前の予告をもってIT／ビジネス研修の開催を延期または中止をする権利を留保します。

2－3 受講料・消費税

IT／ビジネス研修ガイドに記載されている受講料は、少なくとも開始日の10営業日前までに書面（電子メールを含みます。）による通知で変更される場合があります。IT／ビジネス研修の受講料は開始日における当社所定の受講料が適用されます。お客さまのお申し込みを当社がお受けした後に、受講料が変更され新受講料が発効される場合は、お客さまが当該お申し込みを、少なくとも開始日の5営業日前に書面により取り消さない限り、新受講料が適用されます。受講料にはIT／ビジネス研修で使用する教材の代金および機械使用料を含みますが、ご受講者の交通費および宿泊費（宿泊費が受講料に含まれるコースを除きます。）は含みません。IT／ビジネス研修の受講料に課せられる消費税等の租税公課は、お客さまのご負担とします。なお、税率等が変更になった場合、集合研修は講習会終了日、eラーニングは学習開始日時点の税率を適用した金額となります。

2－4 受講料のお支払いおよび返金

受講料につきましては法人のお客さまはIT／ビジネス研修ご受講後のお支払い（後払い）、個人のお客さまはご受講前のお支払い（前払い）になります。IT／ビジネス研修の受講料は、お客さまが当社からの請求書を受領後、お振込指定期日までにお支払いいただくこととします。前払いのお客さまでお振込指定期日までにご入金の確認ができなかった場合は、ご受講できないことがあります。お振込手数料は、お客さまのご負担とします。IT／ビジネス研修が、当社の責に帰すべき事由で中止された場合で、すでに前払いにて受講料をお支払いいただいている場合には、お振込みいただいた受講料を返金いたします。

2－5 キャンセル料

キャンセル料発生日前日までにご受講お申し込みのキャンセルお申し出があった場合は、キャンセル料は発生いたしません。また、すでに前払いにて受講料をお支払いいただいている場合は、お支払いいただいている受講料からお振込手数料を差し引いた金額を返金いたします。キャンセル料発生日以降にキャンセルのお申し出があった場合はキャンセル料が発生いたします。前払いの場合はお支払いいただいた受講料は返金いたしません。また、後払いの場合は受講料全額を請求いたします。

キャンセル料発生日はお申し込みになられたコースによって異なりますので、詳しくは「5. お申込方法」の「変更・キャンセル」の項をご覧ください。

2－6 責任の制限

当社は、IT／ビジネス研修ガイドに記載された範囲（講座の内容等）でIT／ビジネス研修に関するテキスト教材、eラーニングコンテンツ等（以下、「IT／ビジネス研修教材等」といいます。）の更新と提供を行います。ただし、当社は、これらのサービスの有用性、目的適合性、正確性その他一切の結果を保証するものではありません。また、IT／ビジネス研修教材等もしくはIT／ビジネス研修における質疑応答の内容を合理的範囲で正確性を保つように努力するものとしますが、すべての誤りが訂正されることを保証するものではありません。また、当社はサービスを提供するにあたり、インターネット、データセンター、クラウドサービス等を利用しています。当社は、商慣習において合理的な努力を払って本サービスを提供しており、当社の責に帰すことができない事由によるサービス提供の停止については、損害賠償その他いかなる責任も負わないものとします。

2－7 著作権・その他知的財産権

当社がIT／ビジネス研修で提供または使用を許諾する文書・印刷物・ソフトウェア・Webサイト・コンテンツ等（以下「IT／ビジネス研修提供資料等」といいます。）の著作権またはその他知的財産権は、すべて当社、または当社がテキスト教材、eラーニングコンテンツ、IT／ビジネス研修ガイドに記載する第三者に帰属しており、お客さまは当社の事前の書面による許諾がない限り、いかなる形態においてもIT／ビジネス研修提供資料等の全部、または一部について転載および複製並び改変を行ってはならず、またIT／ビジネス研修提供資料等を第三者へ開示または提供（貸与や使用許諾を含みます）もしくは譲渡してはならないものとします。

2－8 損害賠償

IT／ビジネス研修に関してお客さまが被った損害に対する当社の損害賠償責任は、債務不履行、法律上の瑕疵担保責任、不当利得、不法行為、その他請求原因・訴訟形態のいかんにかかわらず、お客さまに当該IT／ビジネス研修の受講料としてお支払いいただいた金額を限度とします。当社は、いかなる場合にも逸失利益、無体物に生じた損害、第三者からお客さまに対してなされた損害賠償請求に基づく損害、特別損害等については、一切責任を負わないものとします。なお、当社は、当該損害賠償責任に代えて、当社が合理的と判断したIT／ビジネス研修の再提供を行うことができるものとします。

2－9 暴力団等の排除

当社は、お客さままたはその関係者が次の各号のいずれか一つに該当したときは、お客さまへ何ら催告することなく、直ちに本契約を解除することができるものとします。

①当社および講師等の指示に従わないとき、または他の受講者に迷惑になるような行為、言動を行ったとき。
②公序良俗に違反、または犯罪に結びつくおそれのある言動を行ったとき。
③当社または当社の利害関係者へ誹謗中傷をしたと認められる事実があるとき。
④暴力団員、準構成員、暴力団関係企業、特殊知能暴力団その他これに準じる者、またはこれらの者と密接なかかわりを持つ者であることが判明したとき。
⑤自ら、または第三者を利用して、暴力的な要求行為、法的責任を超える不当な要求行為、詐欺・脅迫行為、業務妨害行為その他これに準じる行為を行ったとき。
⑥その他、お客さまがIT／ビジネス研修を利用することについて不適切と当社が判断した場合。

2－10 受講規約の変更

当社は、本規約その他のIT／ビジネス研修に関するお客さまと当社との契約を必要に応じて変更できるものとし、お客さまへの通知をもって変更の効力が適用されることとします。本規約に別に定める場合を除き、IT／ビジネス研修ガイドは予告なしに変更できるものとします。

2－11 その他

・当事者の一方に、本規約の不履行がある場合には、書面による通知によりIT／ビジネス研修のお申し込みを取り消すことができるものとします。
・当社は、IT／ビジネス研修の受講により、お客さまが特定の知識や技術等を修得されることを保証するものではありません。また、IT／ビジネス研修がお客さま保有の特定の目的に対し、適合・有益・最適等であることを保証するものではありません。これらはお客さまの責任で決定いただきたくお願いいたします。
・本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。また、本製品とは、研修で取り扱った知識・技術、スキル、テキスト教材および相当資料、eラーニングコンテンツとします。なお、ご不明な場合は当社担当営業にお問い合わせください。
・IT／ビジネス研修ガイドに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

株式会社日立製作所　個人情報保護に関して（保護方針と要旨）
Privacy Notice Highlights

制定日 2005 年 4 月 1 日
改定日 2010 年 4 月 1 日
株式会社 日立製作所 代表執行役 執行役社長
東原　敏昭

1．個人情報保護に関する当社の考え方

株式会社日立製作所（以下「当社」といいます。）は、トータルソリューションを提供できるグローバルサプライヤーとして、当社の技術情報や、お客さまからお預かりする情報をはじめ様々な情報を取扱っております。このことから、当社ではこれら情報価値を尊重するために、情報管理体制の確立とその徹底に努めて参りました。

このような経緯を踏まえ、当社における個人情報保護について、規則の制定および管理体制の確立を図ると共に、個人情報保護方針を定め、役員および従業員に周知させるとともに、一般の方が、容易に入手できる措置を講じるものとします。

そして、この方針に従い個人情報の適切な保護に努めます。

2．個人情報保護方針

(1) 個人情報管理規則の策定および個人情報保護マネジメントシステムの継続的改善

当社は、役員および従業員に個人情報保護の重要性を認識させ、個人情報を適切に利用し、保護するための個人情報管理規則を策定し、個人情報保護マネジメントシステムを着実に実施します。更に、維持し、継続的に改善します。

(2) 個人情報の収集・利用・提供および目的外利用の禁止

当社は、事業活動において、個人情報をお預かりしていることを考慮し、それぞれの業務実態に応じた個人情報保護のための管理体制を確立すると共に、個人情報の収集、利用、提供において所定の規則に従い適切に取扱います。また、目的外利用は行わない、およびそのための措置を講じます。

(3) 安全対策の実施並びに是正

当社は、個人情報の正確性および安全性を確保するため、情報セキュリティに関する諸規則に則り、個人情報へのアクセス管理、個人情報の持ち出し手段の制限、外部からの不正アクセスの防止等の対策を実施し、個人情報の漏洩、滅失またはき損の防止に努めます。また、安全対策上の問題が確認された場合など、その原因を特定し、是正措置を講じます。

(4) 法令・規範の遵守

当社は、個人情報の取扱いに関する法令、国が定める指針その他の規範を遵守します。また、当社の個人情報管理規則を、これらの法令および指針その他の規範に適合させます。

(5) 個人情報に関する本人の権利尊重

当社は、個人情報に関して本人から情報の開示、訂正もしくは削除、または利用もしくは提供の拒否を求められたとき、および苦情、相談の申し出を受けたときは、個人情報に関する本人の権利を尊重し、誠意をもって対応します。

3．プライバシーマークについて

当社は、一般財団法人日本情報経済社会推進協会より、個人情報の適切な取扱いを行う事業者に付与されるプライバシーマークの付与認定を受けています。

10300031(07)

4．適用範囲

当社が事業で取扱う全ての個人情報に関する取扱いを定めるものです。

5．個人情報保護の取組み

当社は、「個人情報保護に関する当社の考え方」および「個人情報保護方針」に基づき、個人情報を取り扱っている部門ごとに管理責任者を設置し、個人情報について細心の注意と最大限の努力をもって、保護、管理を行っております。

この取扱い要旨において「個人情報」とは、次の各号に該当する情報のうち、ご本人さまを識別することができる情報をいうものとします。

1.「お問い合わせ入力フォーム」その他の方法で入力され、ご本人さまから当社に提供された情報
2. 前号の他、当社がご本人さまから提供を受けた情報

6．個人情報の取扱い方針（取得・利用目的、第三者提供）

1. 当社は、電機機械器具・情報通信機械器具・電子部品製造業および情報サービス業を主とした事業活動に関して、個人情報を各号の目的の達成に必要な範囲でのみ取得し、利用するものとします。また、ご本人さまに個人情報を提供いただく場合には事前にその使用目的を明示し、ご本人さまに同意をいただくものとします。
2. 当社は、特定の条件のものを除き、あらかじめご本人さまの事前の同意を得ないで、ご本人さまの個人情報を第三者に提供しません。
3. 当社は、当社のグループ会社と共同して事業活動を行う場合に必要となる、お名前並びに職場およびご自宅の住所、電話番号、FAX 番号、電子メールアドレス等のご本人さまの個人情報につき、当該グループ会社に提供することがあります。

7．個人情報の開示等の請求、または苦情のお申し出

当社が保有しているご本人さまの個人情報について、開示、訂正、追加、削除、利用停止、第三者提供の停止、若しくは利用目的の通知（以下「開示等」といいます。）を請求される場合または苦情をお申し出になる場合は、所定の手続きに則り請求をお願い致します。

8．その他重要事項

1. ご本人さまからの個人情報の提供、事前同意の取得等、個人情報保護に関してご本人さまへのお願いがございます。
2.「個人情報保護に関して」の取扱いに関する連絡事項がございます。
3. ウエブサイトにおけるクッキーおよび Web ビーコンの利用についての注意事項がございます。
4. ご本人さまが当社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を録音させていただくことがあります。
5. 当社が提供している個々の個人情報取扱いサイトに関するご連絡がございます。

9．認定個人情報保護団体

当社を管掌する認定個人情報保護団体※は、下記となります。

認定個人情報保護団体名
一般財団法人日本情報経済社会推進協会
個人情報保護苦情相談室

所在地
〒 106-0032 東京都港区六本木 1-9-9 六本木ファーストビル内

電話番号
03-5860-7565, 0120-700-779

※個人情報保護法で規定されている、個人情報に関する苦情処理や情報提供を行う第三者機関。
当社の商品・サービスに関する問い合わせ先ではございません。

10．連絡先

個人情報の開示等の請求および苦情のお申し出を除く、本取扱要旨に関するご質問・お問い合わせは、下記の方法にてご連絡ください。

郵送によるご連絡
〒 101-8608　東京都千代田区外神田一丁目 18 番 13 号
株式会社日立製作所 情報セキュリティリスク統括本部
情報リスクマネジメント部

株式会社日立製作所　個人情報保護に関して（保護方針と要旨）
詳細は当社ホームページ
http://www.hitachi.co.jp/utility/privacy/index.html
をご覧ください。

株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して

制定年月日 2004 年 6 月 23 日
最終改定年月日 2019 年 4 月　1 日
株式会社 日立アカデミー
取締役社長　迫田　雷蔵

10860958(07)

当社は、一般財団法人日本情報経済社会推進協会より、個人情報の適切な取扱いを行う事業者に付与されるプライバシーマークの付与認定を受けています。

個人情報保護の理念

株式会社 日立アカデミー（以下、「当社」といいます。）は人財育成のためのトータルソリューションの提供を通じて社会に貢献してまいります。
そうした中で、当社は氏名、生年月日のような個人を特定できる情報（以下、「個人情報」と総称します。）が従業員のみならずお客さまにとりまして重要な情報であり、適切に扱われるべき情報であると認識しております。又、これら個人情報を利用し、保護することが当社の社会的責任であり、当社の事業の基本であると考えております。
当社では個人情報を適切に取扱うべく役員、従業員に「個人情報保護方針」の周知徹底を図り、その実行、維持、改善に努めます。

株式会社 日立アカデミー 個人情報保護方針

1. 個人情報の取得・利用・提供
   当社は、事業活動において、お客さまの情報をお預かりしていることを考慮し、各事業に応じた個人情報保護のための管理体制を確立します。又、個人情報の取得、利用、提供において、特定された利用目的の達成に必要な範囲を超えた個人情報の取扱いを行わないための適切な措置を講じます。
2. 法令・規範の遵守
   当社は、個人情報の取扱いにおいて、当該個人情報の保護に適用される法令および国が定める指針その他の規範を遵守します。又、これらの法令および指針その他の規範に適合した、当社の個人情報管理規則を作成し、遵守いたします。
3. 安全対策の実施
   当社は、個人情報の正確性及び安全性を確保するため、当社の情報セキュリティに関する諸規則に則り、個人情報へのアクセス管理、個人情報の持ち出し手段の制限、外部からの不正アクセスの防止等の対策を実施し、個人情報の漏えい、滅失又はき損の防止および是正に努めます。
4. 個人情報に関する本人の権利尊重
   当社は、個人情報に関するご本人さまから求められる開示、内容の訂正、追加又は削除、又は苦情および相談を求められた時は、個人情報に関するご本人さまの権利を尊重し、誠意を持って対応いたします。
5. 個人情報保護マネジメントシステムの確立及び継続的改善
   当社は、役員および従業員に個人情報保護の重要性を認識させ、個人情報を適切に利用し、保護するための個人情報保護マネジメントシステムを確立し、これを着実に実施します。更に、これを維持し、継続的に改善いたします。

個人情報の利用目的

当社は、次の利用目的の範囲内で利用するため、個人情報を収集させていただく場合がございます。

個人情報	利用目的
(1) お客さまに関する個人情報	• お客さまへの連絡のため • 研修サービス業務の運用・実施のため （受講案内・請求書発行、名簿・名札作成等の事務処理、ロイヤリティ支払いの確証、ご案内冊子送付） • 各種研修サービスご案内のための DM や電子メール等の発送のため （商品 / サービス / 展示会等の情報や宣伝物等のご案内。委託先会社が独自に企画・開催するものも含む） • 教材販売業務の運用のため（教材発送、請求書発行） • チケット販売業務の運用のため（チケット発送、請求書発行） • より良い商品・サービス開発、サービス品質維持・改善のための調査・分析のため • お客さまとの交渉、契約履行のため 上記の目的に必要な範囲で、お客さまの自社窓口部署または各種施策の取纏め部署に提供することがあります。
(2) お取引先、提携先に関する個人情報	• お取引先、提携先への連絡のため • お取引先、提携先との各種研修サービスの運用・実施のため • お取引先、提携先との交渉、契約履行のため • お取引先、提携先との事業協力のため
(3) お取引先から委託を受けた個人情報	• お取引先への連絡のため • お取引先から受託した各種研修サービスの運用・実施のため • お取引先との契約履行のため
(4) イベント、展示会等で取得した個人情報	• 連絡、イベントの関連情報のご提供 • 商品またはサービスのご案内 • お取引先から委託を受けた調査、分析、宣伝、広告業務の遂行等 上記の目的に必要な範囲で、当社の関係会社、販売店、お取引先などに提供することがあります。
(5) 当社へ入社を希望される皆様に関する個人情報	• 連絡、情報のご提供および採用選考 • 採用選考に関わる業務委託
(6) 当社に派遣入場している皆様に関する個人情報	• 構内秩序の維持、当社の財産又は営業秘密の管理上、本人特定するため • 法令に定められた義務を履行するため
(7) 上記以外の個人情報	• 防犯のための監視カメラによる撮影と録画

Web サイトでの情報の取扱い

当社が運営する Web サイト（以下、「本 Web サイト」という。）を利用される方に関わる情報を以下の通り取扱います。

A. 本 Web サイトへアクセスしたことを契機として機械的に取得される情報

当社は、閲覧された本 Web サイトのセキュリティ確保・ユーザビリティ向上のため、アクセスログおよび Cookie により、閲覧された方の情報を取得します。
・取得した個人情報は、当社規定に基づき厳重な管理を行います。
・取得する個人情報の取扱いを外部に委託する場合があります。
・取得した個人情報は、利用目的に応じて保存期間を設定し、保存期間終了後は速やかに削除、廃棄します。

B. クッキーおよび Web ビーコンの利用について

本 Web サイトの一部では、ご本人さまがより便利にご利用いただくために、クッキー (Cookie)*1 や Web ビーコン (クリア GIF)*2 を利用しております。
ご本人さまは、ウェブブラウザの設定を変更することにより、クッキーの受け取りを拒否し、または、クッキーを受け取った場合に警告を表示させることができます。詳しくは、ご使用のブラウザの説明をご覧ください。また、ご本人さまは、クッキーの受け取りを拒否することによって、Web ビーコンを拒否することができます。
しかし、クッキーの受け取りを拒否された場合には、本 Web サイトにて提供するサービスの全部または一部がご利用できなくなる場合もございますので、ご了承ください。

C. Google Analytics の利用について

本 Web サイトでは、お客さまの本 Web サイトの訪問状況を把握するために Google 社のサービスである Google Analytics を利用しています。
Google Analytics では、当社が発行するクッキーをもとにして、Google 社がお客さまの本 Web サイトの訪問履歴を収集、記録、分析します。
当社は、Google 社からその分析結果を受け取り、お客さまの本 Web サイトの訪問状況を把握します。
お客さまは、ブラウザのアドオン設定で Google Analytics を無効にすることにより、当社の Google Analytics 利用によるお客さまの情報の収集を停止することも可能です。
また、Google Analytics により収集された情報は、Google 社のプライバシーポリシーに基づいて管理されます。

Google Analytics によるクッキーの使用に関する説明およびクッキーにより収集される情報は、Google Analytics の利用規約およびプライバシーポリシーをご確認ください。
Google Analytics の利用規約
http://www.google.com/analytics/terms/jp.html
Google のプライバシーポリシー
http://www.google.com/intl/ja/policies/privacy/
Google Analytics オプトアウトアドオン
https://tools.google.com/dlpage/gaoptout?hl=ja

D. Google の行動ターゲティング広告利用について

個人を特定しない属性情報・行動履歴の取得および利用について

本 Web サイトでは、広告配信事業者が提供するプログラムを利用し、特定のサイトにおいて行動ターゲティング広告（サイト閲覧情報などをもとにユーザーの興味・関心にあわせて広告を配信する広告手法）を行っております。その際、ユーザーのサイト訪問履歴情報を採取するため Cookie を使用しています（ただし、個人を特定・識別できるような情報は一切含まれておりません）
広告配信事業者は 当該Cookie を使用して本Web サイトへの過去のアクセス情報に基づいて広告を配信します。この広告の無効化を希望されるユーザーは 広告配信事業者のオプトアウトページにアクセスして、Cookie の使用を無効にできます。ブラウザの変更、Cookie の削除および新しい PC へ変更等の場合には再度設定が必要となります。
ユーザーは広告のオプトアウトページで Google の Cookie を使用しないよう設定できます（また、Network Advertising Initiative のオプトアウトページでも第三者配信事業者の Cookie の使用を無効にできます）。
オプトアウトを行っていない場合、Google 他、第三者配信事業者または広告ネットワークの Cookie も使用される可能性があります。Network Advertising Initiative のオプトアウト ウェブサイトでは、一部の Cookie（全てではありません）をまとめて無効にできます。

E. 本 Web サイトで利用してるソーシャルメディアサービスについて

当該サイトのうち他のソーシャルメディア（SNS）のボタン等が設置されているページを閲覧した際、当該 SNS に閲覧者に関する情報が送信されることがあります。
当該サイトで利用している他の SNS 等のサービスのプライバシーポリシー等は、各事業者のサイト等でご確認ください。
Facebook「データに関するポリシー」https://www.facebook.com/privacy/explanation
YouTube「ポリシーとセキュリティ」https://www.youtube.com/intl/ja/yt/about/policies/#community-guidelines

F. 本 Web サイトからリンクされている当社外の Web サイト

本 Web サイトからリンクされている当社外の Web サイトにおけるご本人さまの個人情報の安全性確保については、当社では責任を負いかねますので、ご承知おきください。
当社では、より良い個人情報保護を実現するために、また、法令、政省令、およびその他の規範の制改定に伴い、本ページに掲載いたしております個人情報保護方針を改定することがございます。定期的に当社の Web サイトにてご確認いただきますようお願いいたします。
本ページの内容は、掲載日以降に適用されるものといたします。

用語説明
***1 クッキー：**ウェブサイトを管理するウェブサーバとお客さまのウェブブラウザとの間で相互にやりとりされる情報のことをいいます。クッキーは、お客さまのコンピュータのディスクにファイルとして格納されることがあります。クッキーをご利用になりますと、ウェブサーバは特定のコンピュータがウェブサイト中のどのページを訪れたか等を記録することが可能となります。但し、お客さまがお客さまご自身の個人情報をウェブサイト上で入力されない限り、当社はお客さまを特定、識別することはできません。
***2 Web ビーコン：**クッキーと一緒に機能し、ご本人さまが特定のページに何回アクセスされたかを知ることができる技術のことをいいます。但し、ご本人さまが、ご自身の個人情報をクッキーの受け取り時に入力されない限り、当社はご本人さまを特定、識別することはできません。

個人情報の目的外利用の禁止

取得した個人情報は、お客さまの承諾がない限り、および以下のいずれかに該当する場合を除き、利用目的の範囲を超えて利用したり、第三者へ開示または提供しません。
・法令に基づく場合
・人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合であって、ご本人さまの同意を得ることが困難であるとき
・公衆衛生の向上又は児童の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であって、ご本人さまの同意を得ることが困難であるとき
・国の機関若しくは地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、ご本人さまの同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき

個人情報の取扱いの委託

利用目的を達成するために、個人情報の取扱いを外部に委託する場合があります。その場合も、十分な個人情報保護水準を有する会社を選定するとともに、個人情報保護の覚書等を締結し、必要な管理・監督を行います。

開示・利用停止等手続きのご案内

個人情報に関して開示等の求め（利用目的の通知、開示、内容の訂正、追加または削除、利用の停止、消去および第三者への提供の停止）は、ご本人さまによる場合のほか、代理人による場合も受けさせていただきます。

A. 開示等の求めのお申し出先

下記窓口宛に所定の申請書および必要書類を添付のうえ、郵送にてお送りいただきますようお願い申し上げます。
(1) お申し出先窓口　〒 110-0015　東京都台東区東上野二丁目 16 番 1 号　上野イーストタワー 18 階
株式会社日立アカデミー　コンプライアンス推進センタ　センタ長
(2) 当社所定の申請書
・個人情報の開示等の請求書※
※：当社 Web サイト（https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/utility/privacy/priv01.pdf）をご覧ください。
(3) ご本人さま確認のため、以下の書類を (2) 申請書とともに (1) に郵送ください。
・運転免許証、パスポート等の写真でご本人さま確認ができるものの写し（開示等の求めをするご本人さまの名前および住所が記載されているもの）
・住民票の写し（開示等の求めをする日前 30 日以内に作成されたもの）
(4) 代理人の方が手続きをされる場合は、(2) 申請書、(3) ご本人さま確認書類に加え、以下の書類も郵送してください。
・代理人を証明する書類、代理人の運転免許証、パスポート等の写真で代理人確認ができるものの写し（開示等の求めをする代理人の名前および住所が記載されているもの）
・代理人の住民票の写し（開示等の求めをする日前 30 日以内に作成されたもの）
・代理人が弁護士の場合は、登録番号のわかる書類
・代理を示す旨の委任状

B. 開示等の求めに対するその他の注意事項

・個人情報保護法上対応を要しない場合、所定の書類に不備があった場合等には、開示等の求めに対応できないこともあります。
・開示等の求めにともない取得した個人情報は、開示等の求めに必要な範囲でのみ取り扱うものとします。開示等の求めに際しご提出いただきました書面は返却致しかねます。
・申請書の記載住所 (日本国内) の請求者 (代理人宛の場合は代理人) ご本人さま宛に書面によってご回答させていただきます。
・お問い合わせの内容によっては回答にお時間をいただく場合もございます。
・個人情報の消去の求めの場合において、当該個人情報を消去させていただいたときでも、個人情報の消去の求めの申請書、ご本人さま確認の書面、回答書の写しは保管させていただきます。
・個人情報の利用停止もしくは消去、または第三者への提供停止の求めの結果、当該の個人情報に対するサービス等はご利用いただけなくなることをあらかじめご承知おきください。

個人情報に関するお問い合わせ

A. 個人情報の取扱いに関する苦情のお申出に関して

個人情報の取扱いに関する苦情のお申出に関しては「個人情報の取扱いに関する苦情申出書※」に必要事項をご記入いただき、郵送にてお問い合わせください。
※：当社 Web サイト（https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/utility/privacy/priv02.pdf）をご覧ください。
（郵送先）〒 110-0015　東京都台東区東上野二丁目 16 番 1 号　上野イーストタワー 18 階
株式会社日立アカデミー　コンプライアンス推進センタ

B. 個人情報に関するお問い合わせ（個人情報保護管理者）

当社の個人情報の取扱い全般に関するお問い合わせは、お問い合わせ入力フォーム※からご連絡ください。
※：お問い合わせ入力フォーム（https://www.hitachi-ac.co.jp/inquiry/index.html#06）

雇用関係助成金のご案内

人材開発支援助成金

人材開発支援助成金は、事業主等が雇用する労働者に対して、職務に関連した専門的な知識及び技能の習得を目的とした職業訓練等を計画に沿って実施した場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等を助成する制度です。

●人材開発支援助成金

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html
（厚生労働省 Web サイト）

※上記は2020年6月現在の内容です。
最新情報は、日立アカデミーのWebサイトをご覧ください。https://www.hitachi-ac.co.jp/support/crjo.html

他社所有商標に対する表示

・Adobe、Adobeロゴ、Adobe Flash Player、Adobe Reader、Flash、Flex、MXML、ActionScriptは、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
・アマゾン ウェブ サービス、Amazon Web Services、Amazon EC2 およびAmazon Web Services ロゴは、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。
・Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。
・Automation Anywhere、Bot Insight、IQ BotはAutomation Anywhere, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
・BABOK®およびBusiness Analysis Body of Knowledge®、CCBA®、CBAP®は、International Institute of Business Analysisの登録商標です。
・BizRobo！は、RPA テクノロジーズ株式会社の登録商標です。
・Blue Prismは、Blue Prism株式会社の商標または登録商標です。
・CMMI、Capability Maturity Modelは、米国カーネギーメロン大学及びその他の国における商標または登録商標です。
・CoreExplorer、SynVizは株式会社日立ソリューションズ東日本の登録商標です。
・DataStageは、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corp.の商標です。
・EQI®は（株）アドバンテッジリスク マネジメントの登録商標です。
・Ethernet/イーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
・Ethernetは、米国Xerox Corp.の商品名称です。
・Getting Things Done®とGTD®は、David Allen Companyの登録商標です。
・Hadoopは、Apache Software Foundationの米国およびその他の国における商標です。
・HP-UXは、米国Hewlett-Packard Companyのオペレーティングシステムの名称です。
・IBM、IBMロゴ、ibm.com、AIXは、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corporationの商標です。
・ITIL®、PRINCE2は、AXELOS Limitedの登録商標です。The Swirl logo はAXELOS社の商標です。
・iPhone,iPad,iOS,iBooks, Safariは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
・JP1、HiRDB、Cosminexus、BladeSymphony、Hitachi Storage Solutions、Groupmax、GEMPLANET、HIPACE、e-CANDO、EP8000、OpenTP1、XDM、Hitachi Command Suite、Hitachi Advanced Data Binder、Hitachi Virtual File Platform は株式会社日立製作所の商標または登録商標です。
・Jtestは、米国ParaSoft Corporationの商標または登録商標です。
・Linuxは、Linus Torvalds氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
・Microsoft、Azure、Visual Basic、Visual C++、Visual Studio、Windows、Windows Server、Windows PowerShell、SQL Server、Active Directory、Hyper-V、Excel、PowerPoint、Word、Outlook、Access、SharePoint、Internet Explorer、Silverlightは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
・Netscreenは米国Juniper Networks, Inc.の商標です。
・NVIDIAは、米国NVIDIA Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
・Pentahoは、Hitachi Vantara Corporationの日本及びその他の国における商標または登録商標です。
・OCUP、オーカップ、UML技術者資格試験は、（株）UML教育研究所の商標、または登録商標です。
・OMG、UML、Unified Modeling Language、UMLロゴ、UML Certificationロゴ、MDA、Model Driven Architectureは、Object Management Group Inc.の商標または登録商標です。
・Oracle、Oracle Database 11g、Oracle Database 12c、Java、JavaScript、Solarisは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、OPM3®、CAPM®、PgMP®、PMI-ACP®、PMI-SP®、PMI-RMP®、PM Network®、PMI Today®、PMCDP®、R.E.P.ロゴはプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute Inc.）の登録商標です。
・Red Hat、Red Hat Enterprise Linux、JBossは、米国およびその他の国におけるRed Hat, Inc.の登録商標です。
・Salesforce、Salesforce ロゴは、米国その他の国における米国 salesforce.com, inc. の登録商標または商標です。
・SAPは、SAP AGのドイツおよびその他の国における登録商標または商標です。
・SEIは、カーネギーメロン大学のサービスマークです。
・Sixseconds、シックスセカンズ、SEI、SEI360、SEI-YV、Vital Signs、OVS、TVS、LVS、EQプラクティショナー、SEIアセッサー、EQエデュケーター、EQコーチ、CreatePositiveChangeはシックスセカンズジャパン株式会社およびグループの日本、その他の国における登録商標または商標です。
・TOEIC®は、Educational Testing Service（ETS）の登録商標です。
・UiPathは、UiPath 株式会社の登録商標です。
・UNIXは、The Open Groupの米国ならびに他の国における登録商標です。
・VMware、VMware vSphere、ESXi、VMware vCenter、VMware View は、VMware, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
・7つの習慣®、5つの選択®、スピード・オブ・トラスト®は、米国フランクリン・コヴィーまたはフランクリン・コヴィー・ジャパン株式会社の登録商標です。
・秘文、活文は株式会社日立ソリューションズの登録商標です。

その他記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。
なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。

© Hitachi Academy Co.,Ltd. & Hitachi, Ltd. 2020. All Rights Reserved.

HITACHI

Inspire the Next

VEGETABLE OIL INK